

**令和 7 年度
次期スポーツビジョン策定支援業務
県民アンケート報告書**

(一社) 長崎交流センター
令和 7 年 6 月

《目次》

I 県民アンケート調査概要

1. 調査目的.....	1
2. 実施時期.....	1
3. 調査対象.....	1
4. 抽出方法.....	1
5. 調査方法.....	1
6. 配布回収結果.....	1
7. 報告書の見方.....	2
8. 設問項目.....	3

II 県民アンケート調査結果概要

1. 県民アンケート調査結果概要.....	14
-----------------------	----

II 県民アンケート調査結果

1. 属性について.....	20
2. 健康・運動・スポーツの実施状況について.....	22
(1)健康状態.....	22
(2)普段、運動不足を感じるか.....	26
(3)生涯にわたり運動やスポーツを実施していきたいと思うか.....	29
(4)この1年間に行った運動やスポーツ.....	33
(5)これから最も実施してみたいと思う運動やスポーツ.....	36
(6)この1年間に運動やスポーツを実施した日数.....	39
(7)週に1日以上運動・スポーツを実施できなかった理由.....	42
(8)この1年間に、運動やスポーツを実施した理由.....	45
(9)この1年間に、運動・スポーツを実施した場所.....	48
(10)この1年間に、運動・スポーツを実施した時間帯.....	51
(11)この1年間に、運動・スポーツを実施した形態.....	54
3. 運動・スポーツの今後の意識について.....	57
(1)どのような条件がそろっていれば、運動やスポーツを実施したいか.....	57
(2)現在の運動・スポーツの実施頻度に満足しているか.....	61
(3)自身が実施する運動・スポーツに1年間にいくら程度費用をかけているか.....	64
(4)新型コロナウイルス感染症の国内発生は自身のスポーツ活動に影響したか.....	67
4. 運動・スポーツの実施環境について.....	70
(1)この1年間に、どのようなスポーツイベント、大会に参加したか.....	70
(2)普段、運動・スポーツの指導やサポートをしてくれるひとはいるか.....	73
(3)職場で、運動・スポーツ実施を支援するような取組が実施されているか.....	76
5. 運動・スポーツの価値について.....	78
(1)スポーツが個人や社会にもたらす効果についてあてはまると思うものは.....	78
(2)日常生活の中で、どの程度充実感を感じているか.....	81
(3)長崎県のスポーツ・運動普及を盛んにするための重要事項.....	84

1. 学校体育施設の積極的な開放.....	87
2. 公園や広場等、身近でスポーツができる場の創出.....	90
3. 歩道や防犯灯など昼夜安心してウォーキングなどができる環境整備.....	93
4. 障害のある人も身近でスポーツに親しめる環境の整備.....	96
5. 地域で初心者を指導できる指導者の確保.....	99
6. 地域で上級者を指導できる指導.....	102
7. 多種目のスポーツ教室の開催..	105
8. 健康・体力づくりに関する教室・講演会などの開催.....	108
9. 職場でのスポーツ・健康づくりの取組の推進.....	111
10. 誰もが気軽に参加し、スポーツがおこなえるクラブづくり.....	114
11. 誰もが気軽に参加できるスポーツ・健康づくりイベントの開催.....	117
12. 女性が気軽にスポーツ・健康づくりに親しめる機会・場の充実.....	120
13. 手軽にできるスポーツ種目(レクリエーション)の普及.....	123
14. 障害者スポーツの普及・啓発やイベントの開催.....	126
15. ホームページ等によるスポーツイベント情報の提供.....	129
16. 国際的あるいは大規模なスポーツイベントの誘致・開催.....	132
17. 野球・バスケットボール等プロスポーツの試合の誘致.....	135
18. 県外トップチーム(実業団・プロ)のスポーツ合宿の誘致.....	138
19. 県内プロスポーツチーム(V・ファーレン、ヴェルカ)の支援・連携.....	141
20. 新たな県内プロスポーツチームの発足支援.....	144
21. 国体での総合成績を向上させるための強化策.....	147
22. 中学校・高校での運動部活動の充実.....	150
23. 学校外や地域における子どものスポーツ機会の充実.....	153
24. 幼児期に外遊びや体を動かして遊ぶ楽しさを教えること.....	156
6. スポーツに関するボランティア活動について.....	159
(1)この1年間に、運動・スポーツに関するボランティア活動を行ったか.....	159
(2)ボランティア活動は具体的な内容.....	162
(3)今後、参加してみたいスポーツに関するボランティア活動.....	164
(4)スポーツに関するボランティア活動のきっかけや動機づけ.....	167
7. 運動・スポーツに関する情報について.....	170
(1)運動やスポーツに関する欲しい情報.....	170
(2)運動やスポーツに関する情報をどこから得ているか.....	174
8. 用語の認知度等について.....	177
(1)「がんばらんば体操」の認知度.....	177
(2)スポーツ推進委員の認知度.....	180
(3)総合型地域スポーツクラブの認知度.....	183
(4)今後「総合型地域スポーツクラブ」の会員になりたいと思うか.....	186
(5)「総合型地域スポーツクラブ」の運営に興味があるか.....	189
9. スポーツ観戦について.....	192
(1)この1年間に、V・ファーレン長崎の試合を観戦したか.....	192
(2)この1年間に、長崎ヴェルカの試合を観戦したか.....	195
(3)この1年間に、V・ファーレン長崎・長崎ヴェルカ以外の プロスポーツの試合を観戦したか.....	198
(4)自身が直接スポーツを観戦のために1年間にかけた費用.....	201
(5)誘致・開催されれば積極的に観戦したいと思うスポーツ大会.....	204
10. アーバンスポーツについて.....	207
(1)アーバンスポーツのどの競技に興味があるか.....	207
(2)アーバンスポーツとの関係性.....	210
(3)アーバンスポーツを行ううえでの課題.....	213
(4)一流選手参加のアーバンスポーツ大会実際に観戦したいか.....	214

11. サイクルツーリズムについて.....	217
(1)最近のサイクリングの頻度.....	217
(2)サイクリングへの興味.....	220
(3)興味がない理由.....	222
(4)長崎県指定サイクリングコースの認知度.....	224
(5)サイクリング実施に必要な事.....	226
【参考質問】eスポーツについて.....	229
(1)「eスポーツ」の認知度.....	229
(2)「eスポーツ」に対する認識.....	232
(3)「eスポーツ」をスポーツだと思う理由.....	235
(4)「eスポーツ」をしてみたいと思うか.....	236

第 1 章 調査概要

第1章 調査概要

1. 調査目的

本調査は、令和8年度以降のスポーツ振興の基本的な指針となる「次期ながさきスポーツビジョン（スポーツ推進計画）」の策定に向け、県民の皆様の健康・体力に関する意識や運動・スポーツ実施状況などスポーツ実態を集計分析することにより県民のスポーツに対するニーズや課題を把握し、今後の効果的・効率的な施策展開のための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査実施期間

令和7年2月1日（土）から令和7年2月28日（金）まで

3. 調査対象

長崎県内に在住する18歳以上の方

4. 抽出方法

無作為抽出法

5. 調査方法

10代及び60～70代は郵送による自記入式、20～50代はWEB調査。

6. 配布回収結果

本調査の回収結果は下記の通り。

回収1,400件（WEB：850件、郵送：550件）

〈参考〉

アンケート票数と誤差との関係は、当然アンケート票数が少ないと誤差は大きく、アンケート票数が多いと誤差は小さくなる。しかし、統計学において、アンケート票数と誤差の関係については、一定の数を超えると、票数を大幅に増やしても誤差はほとんど変わらなくなることが知られている。この「一定の数」は、下記の計算式によって表される。

$$\sigma = k \sqrt{\frac{(M - n)}{(M - 1)} \times \frac{p(1 - p)}{n}}$$

M：母集団

n：有効回答数

p：結果の比率

K：信頼率による定数

σ：標本誤差

必要サンプル数を計算すると n=384.03 となる。

※M=1,244,627（令和7年3月1日現在の長崎県の推計人口）

※pについては、安全側を取り、比率の標準偏差 $\sqrt{p(1-p)}$ が最大となる0.5を用いる。

※kは信頼率を決めると自動的に決まる定数で、信頼率に対応する標準正規分布の%点である。信頼率は、統計的な慣習として95%とすることが多く、信頼率95%ならばkは1.96となる。

※標本誤差については、統計学的に誤差を3~5%に抑えたいため、今回は5%として0.05を用いる。

今回の調査においては、有効回答数が1,400件であり、対象者の意向の把握として十分信頼性があるといえる。

ただし、付問等により回答数が少なくなった場合は信頼性が担保されない可能性があり、参考程度にとどめておく必要がある。

7. 報告書の見方

- (1) 比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分率の計が100%にならない場合がある。
- (2) 基数となる実数はnとして掲載した。その比率は件数を100%として算出した。
- (3) 1人の回答者が複数回答を行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- (4) 図表中には、回答者数が非常に少ない場合がある。このような場合には、回答比率の数字が動きやすく、厳密な比較をすることが難しいので、回答の傾向を見る程度になる。
- (5) 図表の各項目は表示の関係上省略して表示する場合がある。
- (6) 集計対象数は「N」単回答は「SA」、複数回答は「MA」、記述式回答は「FA」で表している。
- (7) 単回答(SA)に対し複数回答したもの、複数回答(MA)の回答数制限(例:3つまでに対し回答数が4以上)の数を超えて回答した場合は無効とし集計を行っている。
- (8) **集計における地域区分**
集計における地域区分は以下の通りとする。

地 域	市 町
長崎・西彼地域	長崎市、長与町、時津町
県央地域	諫早市、大村市
県北地域	佐世保市、平戸市、松浦市、西海市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、佐々町
島原半島地域	島原市、雲仙市、南島原市
離島地域	対馬市、壱岐市、五島市、小値賀町、新上五島町

8. 設問項目

No	設問	選択肢	回答区分
□属性について			
1	あなたが現在お住まいの市町はどちらですか。	(市・町)	FA
2	あなたの性別をお答えください。	1 男性 2 女性 3 答えない	SA
3	あなたの令和6年(昨年)4月1日時点の年齢をお答えください。	1 10歳代 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代 5 50歳代 6 60歳代 7 70歳代	SA
4	あなたのご職業をお答えください。	1 農林漁業 2 自営業主(農林漁業除く) 3 家族従業者(農林漁業除く) 4 会社・団体役員 5 正規の従業員・職員 6 パート・アルバイト・派遣・嘱託 7 学生 8 専業主婦(主夫) 9 無職 10 その他()	SA
5	あなたの「休み」の形態をお答えください (※No4で「8.専業主婦(主夫)」「9.無職」と回答した以外の方はお答えください)	1 完全週休2日制 2 その他の週休2日制 (隔週、月1回、夏季だけなど) 3 週休1日半制 4 週休1日制 5 週休制ではないが休日はある 6 休日はない 7 その他()	SA
6	あなたが現在一緒に住んでいる家族をお答えください(当てはまるものすべてに○)	1 配偶者 2 父親・母親 3 子ども 4 祖父母 5 兄弟姉妹 6 孫・ひ孫 7 その他() 8 一人暮らし 9 答えたくない	MA
7	世帯収入(生計を一にする家族全員の収入の合算)は、去年1年間で、おおよそどれくらいになりましたか。税込みでお答えください。	1 収入なし 2 100万円未満 3 100～ 200万円未満 4 200～ 300万円未満 5 300～ 400万円未満 6 400～ 500万円未満 7 500～ 600万円未満 8 600～ 700万円未満 9 700～ 800万円未満 10 800～ 1,000万円未満 11 1,000万円以上 12 わからない 13 答えたくない	SA
□健康・運動・スポーツの実施状況について			
8	あなたの健康状態はいかがですか。	1 大変良い 2 まあまあ良い 3 あまり良くない 4 まったく良くない	SA
9	あなたは普段、運動不足を感じますか。	1 大いに感じる 2 ある程度感じる 3 あまり感じない 4 ほとんど(全く)感じない	SA

No	設問	選択肢	回答区分
10	あなたは生涯にわたり運動やスポーツを実施していきたいと思いませんか。	1 ずっと実施していきたい 2 できれば実施していきたい 3 あまり思わない 4 まったく思わない	SA
	この中にあなたがこの1年間に行った運動やスポーツがあれば全部あげてください。		
11	1 ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む) 2 階段昇降(2アップ3ダウン等) 3 ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝 4 陸上競技 5 サイクリング・自転車・BMX 6 スケートボード・ローラースケート・インラインスケート・一輪車 7 トレーニング(筋力トレーニング・トレッドミル(ランニングマシーン)・室内運動器具を使ってする運動等) 8 体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操等) 9 エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス 10 縄跳び・ダブルダッチ 11 器械体操・新体操・トランポリン 12 ダンス(ブレイキン[ブレイクダンス]・フォークダンス・ジャズダンス・社交ダンス・民謡踊り・フラダンス等) 13 チアリーディング・バトントワリング 14 水泳(競泳・水球・飛び込み・アーティスティックスイミング・オープンウォータースイミング等) 15 アクアエクササイズ・水中ウォーキング 16 野球(硬式・軟式等) 17 ソフトボール 18 キャッチボール 19 テニス・ソフトテニス 20 バドミントン 21 卓球(ラージボール含む) 22 ゴルフ(コースでのラウンド) 23 ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ) 24 グラウンドゴルフ・パークゴルフ・マレットゴルフ・スナッグゴルフ・ディスクゴルフ・バターゴルフ等 25 バレーボール・ビーチバレー・ソフトバレーボール 26 バasketボール・3×3・ポートボール 27 ドッジボール 28 ハンドボール・その他屋内球技 29 サッカー 30 フットサル 31 ラグビー・アメリカンフットボール・タグラグビー 32 グラウンドホッケー・ラクロス 33 ボウリング	34 ゲートボール 35 レスリング・相撲・ボクシング 36 テコンドー・太極拳・合気道 37 柔道 38 剣道・居合道・なぎなた・銃剣道 39 空手・少林寺拳法 40 登山・トレッキング・トレイルランニング・ロッククライミング 41 フリークライミング(ボルダリング・リードクライミング・スピードクライミング等) 42 キャンプ・オートキャンプ 43 ハイキング・ワンダーフォーゲル・オリエンテーリング 44 ボート・漕艇・カヌー・カヤック・ラフティング 45 ヨット・水上スキー・ウェイクボード・水上バイク・ジェットスキー 46 スキューバダイビング・スキンドайビング・フリーダイビング・シュノーケリング 47 サーフィン・ボディボード・ボードセーリング・ウインドサーフィン 48 釣り 49 スキー 50 スノーボード 51 クロスカントリースキー・スノーシュー 52 アイススケート・アイスホッケー・カーリング 53 アーチェリー・弓道・射撃・クレ射撃 54 グライダー・ハンググライダー・パラグライダー・スカイダイビング 55 乗馬 56 レクリエーションスポーツ(ティーボール・フライングディスク・インディアカ・スポーツチャンバラ・ユニカール・アルティメット・キンボール・シャフルボード・ペタンク・綱引き・ダーツ・スポーツ吹き矢・モルック等) 57 障害者スポーツ 58 その他 59 この1年間に運動・スポーツはしなかった	MA
12	現在実施しているものを含め、これから最も実施してみたいと思う運動やスポーツを上記の種目名一覧の中から最大3つまで選び、下の口の中に番号を記入してください。(学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったものは除きます)(自宅でオンラインやTVを介して実施したものも含まれます)		MA
13	この1年間に運動やスポーツを実施した日数を全部合わせると、何日くらいになりますか。	1 週に5日以上(年251日以上) 2 週に3日以上(年151日～250日) 3 週に2日以上(年101日～150日)	SA

No	設問	選択肢	回答区分
		4 週に1日以上（年51日～100日） 5 月に1～3日（年12日～50日） 6 3か月に1～2日（年4日～11日） 7 年に1～3日 8 しなかった	
14	<p>週に1日以上（年51日～100日）運動・スポーツを実施できなかった理由は何ですか。 （主なものを3つまで選んであてはまる番号を○で囲んでください。）</p> <p>※No.13において、 「5：月に1～3日（年12日～50日）」 「6：3か月に1～2日（年4日～11日）」 「7：年に1～3日」 「8：しなかった」を選択した方のみお答えください。</p>	1 仕事や家事が忙しいから 2 子どもに手がかかるから 3 病気やけがをしているから 4 年をとったから 5 場所や施設がないから 6 仲間がいないから 7 指導者がいないから 8 お金に余裕がないから 9 運動・スポーツが嫌いだから 10 面倒くさいから 11 運動・スポーツ以上に大切なことがあるから 12 生活や仕事で体を動かしているから 13 新型コロナウイルス感染防止対策のため 14 その他（ ） 15 特に理由はない	MA
15	<p>この1年間に、あなたが運動やスポーツを実施したのはどのような理由からですか。 （主なものを3つまで選んであてはまる番号を○で囲んでください。）</p> <p>※No.13において、 「8：しなかった」以外を選択した方のみお答えください。</p>	1 健康のため 2 体力増進・維持のため 3 筋力増進・維持のため 4 楽しみ、気晴らしとして 5 運動不足を感じるから 6 精神の修養や訓練のため 7 自己の記録や能力を向上させるため 8 家族のふれあいとして 9 友人・仲間との交流として 10 美容のため 11 肥満解消、ダイエットのため 12 その他（ ）	MA
16	<p>この1年間に、運動・スポーツをどこで実施しましたか。 （主なものを3つまで選んであてはまる番号を○で囲んでください。）</p> <p>※No.13において、 「8：しなかった」以外を選択した方のみお答えください。</p>	1 公共体育・スポーツ施設 2 学校体育施設 3 民間商業インドア施設（フィットネスクラブ、ジム等） 5 自宅または自宅敷地内 6 職場または職場敷地内 7 公園 8 公民館 9 空き地 10 道路 11 山岳・森林・海・湖・川等の自然環境 12 その他（ ）	MA
17	<p>この1年間に、運動・スポーツをどの時間帯に実施しましたか。 （主なものを3つまで選んであてはまる番号を○で囲んでください。）</p> <p>※No.13において、 「8：しなかった」以外を選択した方のみお答えください。</p>	1 【平日】早朝(5:00～9:00) 2 【平日】午前中(9:00～12:00) 3 【平日】昼間(12:00～15:00) 4 【平日】夕方(15:00～18:00) 5 【平日】夜間(18:00～21:00) 6 【平日】深夜(21:00以降) 7 【休日】早朝(5:00～9:00) 8 【休日】午前中(9:00～12:00) 9 【休日】昼間(12:00～15:00) 10 【休日】夕方(15:00～18:00) 11 【休日】夜間(18:00～21:00) 12 【休日】深夜(21:00以降)	MA

No	設問	選択肢	回答区分
18	<p>この1年間に、運動・スポーツをどのような形で実施しましたか。 (主なものを3つまで選んであてはまる番号を○で囲んでください。)</p> <p>※No.13において、 「8:しなかった」以外を選択した方のみお答えください。</p>	1 職場のクラブや同好会に所属して 2 学校のクラブや同好会に所属して 3 おおむね同じ県内の人が入属しているクラブや同好会に所属して 4 おおむね同じ市町内の人が入属しているクラブや同好会に所属して 5 公共施設で行われているスポーツや体カづくりの教室で 6 フィットネスクラブ等の民間の会員制スポーツクラブで 7 個人で自由に 8 地域の友人と自由に 9 職場の友人と自由に 10 地域のイベントで 11 職場のイベントで 12 家族と 13 その他 ()	MA
19	<p>あなたは、どのような条件がそろっていれば、運動やスポーツを実施したいと思えますか。すでに定期的な運動やスポーツ活動を実施しておられる方もお答えください。 (主なものを3つまで選んであてはまる番号を○で囲んでください。)</p>	1 一緒に運動やスポーツをおこなう仲間がいること 2 専門的・親身になってくれる指導者がいること 3 身近なところにスポーツ施設や運動ができる場所があること 4 託児所が備えてあること 5 駐車場が完備されていること 6 会費が安いこと 7 他の世代の人たちと交流できること 8 やりたい種目を選択し体験できること 9 簡単にスポーツ施設の予約ができること 10 活動の情報が手軽に入手できること 11 初心者や家族でも参加しやすいこと 12 年齢や技術レベルに応じたプログラムが用意されていること 13 スポーツだけではなく他の文化的活動も並行して楽しむことができること 14 シャワーやサウナ、談話室、レストランなどがあること 15 健康や体カチェックなどができる保健センターや施設(医療機関)と連携していること 16 ポイント獲得などの動機付け(モチベーション)があること 17 その他 ()	MA
20	<p>あなたは現在の運動・スポーツの実施頻度に満足していますか。</p>	1 満足している 2 もっとやりたいと思う 3 どちらともいえない	SA
21	<p>あなたはご自身が実施する運動・スポーツのために1年間にいくら程度費用をかけていますか(スポーツ用品、スポーツクラブやトレーニングジム等の会費、ゴルフ場等の施設使用料、交通費・宿泊費等を含む)。</p>	1 0円(まったくお金はかけていない) 2 ~ 2,000円未満 3 2,000円~ 5,000円未満 4 5,000円~ 10,000円未満 5 10,000円~ 15,000円未満 6 15,000円~ 20,000円未満 7 20,000円~ 30,000円未満 8 30,000円以上	SA

No	設問	選択肢	回答区分
22	新型コロナウイルス感染症の国内発生から5類感染症移行までの間において、あなたご自身の運動・スポーツの状況に最もよく当てはまるのはどれですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 発生以前より運動・スポーツの実施頻度は増えた 2 発生以前と同頻度で運動・スポーツを行っていた 3 発生以前から運動・スポーツは続けていたが、その実施頻度は減った 4 発生以降、運動・スポーツを実施しなくなった 5 発生以前から運動・スポーツを実施していない 	SA
23	この1年間に、どのようなスポーツイベント、大会に参加しましたか。また、どのようなスポーツイベント、大会であれば参加したいと思いますか。 (あてはまるものすべて○印をつけてください。)	<ul style="list-style-type: none"> 1 マラソン大会や競技会など本格的にスポーツを楽しめるイベント、大会 2 ウォーキングイベントやレクリエーション的なスポーツイベントなど老若男女が楽しめるイベント、大会 3 学校の運動会や地域のスポーツ大会など近隣住民が交流できるイベント、大会 4 社内運動会や会社主催のボウリング大会など社員同士や同業者が交流できるイベント、大会 5 スポーツの指導、講習が受けられるイベント 6 介護予防など健康づくりをテーマとしたイベント 7 体力テスト、スポーツテストなど 8 その他のスポーツイベント、大会() 9 スポーツイベント、大会に参加していない 10 身の周りにどのようなスポーツイベント、大会があっても参加したいとは思わない 	MA
24	普段、運動・スポーツの指導やサポート(リーダー的な存在として運動・スポーツと一緒に取り組んでくれる人も含む)を受けていますか。また、自分の身の周りにどのような運動・スポーツ指導者(サポートしてくれる人)がいれば、指導を受けてみたいと思いますか。 (あてはまるものすべて○印をつけてください。)	<ul style="list-style-type: none"> 1 各競技の専門的な指導者(有償、無償のいずれも含む) ヨガやエアロビ、レクリエーションなどのインストラクター、パーソナルトレーナー 2 健康運動指導士、健康運動実践指導者などの健康づくりのための運動・スポーツ指導者 3 スポーツ推進委員 4 地域や職場の友人(リーダー的な存在として運動・スポーツと一緒に取り組んでくれる人も含む) 5 その他の運動・スポーツ指導者() 6 運動・スポーツ指導者の指導は受けていない 7 身の周りどのような運動・スポーツ指導者がいても指導を受けてみたいとは思わない 	MA
25	企業・団体にお勤めの方にお聞きします。あなたの職場では、従業員の運動・スポーツ実施を支援するような取組が実施されていますか。 (あてはまるものすべて○印をつけてください。)	<ul style="list-style-type: none"> 1 就業中でも可能な範囲で体を動かす運動機会作り(昇降デスクやスタンディングチェアの導入によるスタンディングワークの実施、階段利用の奨励など) 2 就業前後や空き時間を活用したスポーツ実施(朝や就業中の体操・ストレッチ時間の設定など) 3 社内スポーツイベントの実施、社外スポーツイベントへの参加(企業運動会やウ 	

No	設問	選択肢	回答区分
		<p>ウォーキングイベントの実施や社外のスポーツイベントへの参加など)</p> <p>4 スポーツの奨励、インセンティブ(報奨金、表彰、景品など)の付与(クラブ活動の支援、徒歩通勤、自転車通勤の奨励(補助)、ウォーキングポイントの実施など)</p> <p>5 その他()</p> <p>6 特に取組は実施されていない</p> <p>7 わからない</p>	
26	<p>スポーツが個人や社会にもたらす効果についてあてはまると思うものはどれですか。(あてはまるものすべて○印をつけてください。)</p>	<p><個人的価値></p> <p>1 健康・体力の保持増進</p> <p>2 精神的な充足感</p> <p>3 青少年の健全な発育</p> <p>4 克己心(自分の欲望を抑える力)、自制心</p> <p>5 思考力や判断力の発達</p> <p>6 夢と感動</p> <p>7 リーダーシップ、コミュニケーション能力</p> <p>8 リラックス、癒し、爽快感</p> <p>9 達成感の獲得</p> <p>10 生産性の向上、仕事・学業の能率アップ</p> <p><社会的価値></p> <p>11 経済の活性化</p> <p>12 人と人との交流</p> <p>13 地域の一体感や活力</p> <p>14 国際相互理解の促進</p> <p>15 我が国の国際的地位の向上</p> <p>16 長寿社会の実現</p> <p>17 共生社会の実現</p> <p><個人的&社会的価値></p> <p>18 他者を尊重し協同する精神</p> <p>19 フェアプレイ精神(公正さと規律を尊ぶ態度)の醸成</p> <p>20 豊かな人間性</p> <p>21 その他()</p> <p>22どれも当たらない</p>	MA
27	<p>あなたは日常生活の中で、どの程度充実感を感じていますか。</p>	<p>1 十分充実感を感じている</p> <p>2 まあ充実感を感じている</p> <p>3 あまり充実感を感じていない</p> <p>4 ほとんど(全く)充実感を感じていない</p>	SA
28	<p>あなたは長崎県のスポーツ・運動の普及をもっと盛んにするために、以下の各事柄に対してどの程度「重要性」を感じますか。</p>		
<p><施設の充実></p>			
①	学校体育施設の積極的な開放(大学含む)	<p>1 全く重要とは思わない</p> <p>2 あまり重要とは思わない</p> <p>3 まあ重要だと思う</p> <p>4 大変重要だと思う</p>	SA
②	公園や広場等、身近でスポーツができる場の創出(オープンスペース等の有効活用)		
③	歩道や防犯灯など昼夜安心してウォーキングなどができる環境整備		
④	障害のある人も身近でスポーツに親しめる環境の整備		
<p><指導者や種目などの充実、普及・広報関係></p>			
⑤	地域で初心者指導できる指導者の確保	<p>1 全く重要とは思わない</p> <p>2 あまり重要とは思わない</p> <p>3 まあ重要だと思う</p> <p>4 大変重要だと思う</p>	SA
⑥	地域で上級者を指導できる指導者の確保		
⑦	多種目のスポーツ教室の開催		
⑧	健康・体力づくりに関する教室・講演会などの開催		
⑨	職場でのスポーツ・健康づくりの取組の推進		

No	設問	選択肢	回答区分
⑩	誰もが気軽に参加し、スポーツがおこなえるクラブづくり	1 全く重要とは思わない 2 あまり重要とは思わない 3 まあ重要だと思う 4 大変重要だと思う	SA
⑪	誰もが気軽に参加できるスポーツ・健康づくりイベントの開催		
⑫	女性が気軽にスポーツ・健康づくりに親しめる機会・場の充実（イベント・体験教室など）		
⑬	手軽にできるスポーツ種目（レクリエーション）の普及		
⑭	障害者スポーツの普及・啓発やイベントの開催		
⑮	ホームページ等によるスポーツイベント情報の提供		
＜スポーツイベント・合宿の誘致・開催＞			
⑯	国際的あるいは大規模なスポーツイベントの誘致・開催	1 全く重要とは思わない 2 あまり重要とは思わない 3 まあ重要だと思う 4 大変重要だと思う	SA
⑰	野球・バスケットボール等プロスポーツの試合の誘致		
⑱	県外トップチーム（実業団・プロ）のスポーツ合宿の誘致		
＜国体・競技力向上＞			
⑲	県内プロスポーツチーム（V・ファーレン、ヴェルカ）の支援・連携	1 全く重要とは思わない 2 あまり重要とは思わない 3 まあ重要だと思う 4 大変重要だと思う	SA
⑳	新たな県内プロスポーツチームの発足支援		
＜国体・競技力向上＞			
㉑	国体での総合成績を向上させるための強化策	1 全く重要とは思わない 2 あまり重要とは思わない 3 まあ重要だと思う 4 大変重要だと思う	SA
＜子どもの体力・競技力向上＞			
㉒	中学校・高校での運動部活動の充実	1 全く重要とは思わない 2 あまり重要とは思わない 3 まあ重要だと思う 4 大変重要だと思う	SA
㉓	学校外や地域における子どものスポーツ機会の充実		
㉔	幼児期に外遊びや体を動かして遊ぶ楽しさを教えること		
29	この1年間に、スポーツの指導やスポーツ大会の運営、自身やお子さんが所属するスポーツクラブの手伝い（練習や大会での参加者の送迎、参加者の飲料や弁当の準備等）など運動・スポーツに関するボランティア活動を行いましたか。	1 日常的・定期的に行った 2 不定期に行った 3 行っていない	SA
30	そのボランティア活動は具体的にどのような内容ですか。 （主なものを3つまで選んであてはまる番号を○で囲んでください。） ※No.29において、「3：行っていない」以外の方はお答えください。	1 運動・スポーツの指導 2 トレーナー 3 スポーツの審判 4 スポーツクラブ・団体の運営や世話 5 スポーツ施設の管理の手伝い 6 イベント・大会の運営や世話 7 自身やお子様所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動（練習や大会での参加者の送迎、参加者の飲料や弁当の準備、活動場所や施設の予約・手配、指導や審判の補助、役員や会計係等、ウェブサイトやチラシの作成等） 8 スポーツ団体・選手への寄付・クラウドファンディング等への参加（スポーツイベントでの募金やオークションなどのチャリティ活動含む） 9 その他（ ）	

No	設問	選択肢	回答区分
31	あなたは今後、スポーツに関するボランティア活動に参加してみたいですか。	1 ぜひ参加したい 2 機会があれば参加したい 3 参加しない（関心がない）	SA
32	どんなきっかけや動機づけ(モチベーション)があれば、スポーツに関するボランティア活動を行ったり続けたりすると思いませんか。 (主なものを3つまで選んであてはまる番号を○で囲んでください。)	1 好きなスポーツの普及・支援 2 地域での居場所、役割、生きがい 3 出会い・交流の場 4 指導・大会運営スキルの取得・活用 5 社会貢献 6 顕彰や表彰 7 その大会・クラブ等への家族・友人の参加 8 実費程度の報酬 9 特に動機づけは必要ない 10 その他() 11 どんなきっかけや動機づけがあっても、しない・できない	MA
33	あなたは運動やスポーツに関するどのような情報が欲しいと思っていますか。 (主なものを3つまで選んであてはまる番号を○で囲んでください。)	1 自分が参加できる競技会・イベントの情報 2 観戦するためのスポーツ行事・イベント情報 3 スポーツボランティアの募集案内 4 スポーツ教室の案内 5 スポーツ施設の案内 (空き状況など含む) 6 スポーツ指導者の紹介 7 クラブや同好会などの活動案内 8 新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報 9 健康・体づくりの情報 10 スポーツに関する医学的・科学的な情報 11 その他()	MA
34	あなたは運動やスポーツに関する情報をどこから得ていますか。 (主なものを3つまで選んであてはまる番号を○で囲んでください。)	1 市町の広報 2 新聞・雑誌 3 自治会の回覧 4 専門誌 5 知人や友人から 6 テレビ・ラジオ 7 クラブや同好会 8 職場や施設の仲間 9 インターネット 10 その他()	MA
<input type="checkbox"/> 用語の認知について			
35	あなたは、「がんばらんば体操」をご存知ですか。	1 知っており、実施したことがある 2 知っているが、実施したことはない 3 知らない	SA
36	あなたは、各市町の教育委員会等から委嘱されているスポーツ推進委員の存在を知っていますか。	1 スポーツ推進委員の存在を知っており、活動内容もある程度知っている 2 スポーツ推進委員の存在は知っているが、活動内容はあまり知らない 3 スポーツ推進委員の存在を知らない	SA
37	あなたは総合型地域スポーツクラブをご存知ですか。	1 知っている 2 知らない	SA
38	あなたは、今後「総合型地域スポーツクラブ」の会員になりたいと思われませんか。	1 すでにクラブ会員である 2 身近にそういったクラブがあれば、ぜひ会員になりたい 3 開講種目次第で考える 4 会員にはならないと思う	SA

No	設問	選択肢	回答区分
39	あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」の運営に興味がありますか。	1 すでにクラブの運営に携わっている、支援している 2 クラブの運営に興味がある、携わりたい、支援したい 3 運営に携わりたいとは思わない 4 わからない	SA
□スポーツ観戦について			
40	この1年間において、V・ファーレン長崎（※サッカー）について、あなたが当てはまる項目すべてに○をつけてください。	1 V・ファーレン長崎を応援することを目的として、1回以上現地観戦した 2 V・ファーレン長崎を応援することを目的として、1回以上テレビ等で試合を視聴した 3 公式グッズを購入した 4 クラブ SNS（関連アカウント含む）をフォローしている 5 試合結果やチームに関する情報をチェックしている 6 上記1～5のいずれにも該当しない	MA
41	この1年間において、長崎ヴェルカ（※バスケット）について、あなたが当てはまる項目すべてに○をつけてください。	1 長崎ヴェルカを応援することを目的として、1回以上現地観戦した 2 長崎ヴェルカを応援することを目的として、1回以上テレビ等で試合を視聴した 3 公式グッズを購入した 4 クラブ SNS（関連アカウント含む）をフォローしている 5 試合結果やチームに関する情報をチェックしている 6 上記1～5のいずれにも該当しない	MA
42	あなたはこの1年間に、V・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカ以外のプロスポーツの試合を観戦に行きましたか。	1 観戦に行った 2 観戦には行っていない	SA
43	あなたご自身が直接スポーツを観戦・視聴するために1年間にいくら程度費用をかけていますか（交通費・宿泊費等を含み、スタジアム等での飲食代は含みません）	1 0円（まったくお金はかけていない） 2 ～ 2,000円未満 3 2,000円～ 5,000円未満 4 5,000円～ 10,000円未満 5 10,000円～ 15,000円未満 6 15,000円～ 20,000円未満 7 20,000円～ 30,000円未満 8 30,000円以上	SA
44	あなたは、長崎県にどのようなトップレベルのスポーツ大会が誘致・開催されれば、より積極的に観戦してみたいと思いますか。（主なものを3つまで選んで当てはまる番号を○で囲んでください。）	1 野球 2 サッカー 3 バスケットボール 4 バレーボール 5 ラグビー 6 大相撲 7 プロゴルフ 8 陸上競技（フルマラソン・駅伝を除く） 9 フルマラソン・駅伝 10 自転車 11 水上スポーツ（ボート、カヌー、ヨットなど） 12 その他（ ） 13 スポーツ観戦に興味がない	MA

No	設問	選択肢	回答区分
□アーバンスポーツについて			
45	アーバンスポーツ(※)のどの競技に興味がありますか。 (主なものを3つまで選んであてはまる番号を○で囲んでください。)	1 スケートボード 2 BMX 3 スポーツクライミング 4 パルクール 5 プレイキン(ブレイクダンス) 6 3×3 7 フットサル 8 インラインスケート 9 スラックライン 10 その他() 11 興味がない	MA
46	あなたのアーバンスポーツとの関係性を教えてください。	1 現在アーバンスポーツに取り組んでいる 2 体験・経験したことがあるが、現在継続していない 3 体験・経験したことはないが見たことがある(映像・メディアも含む) 4 全く見たことがない	SA
47	アーバンスポーツを行ううえでの課題は何ですか。 (あてはまるものすべて○印をつけてください。) ※No.46において、「1:現在アーバンスポーツに取り組んでいる」又は「2:体験・経験したことがあるが、現在継続していない」を選択した方はお答えください。	1 実施できる場所・専用施設が少ない、遠い 2 指導してくれる人がいない 3 教室のようなものが少なく、受講しにくい 4 一緒に活動する仲間が見つからない 5 特に課題はない 6 その他()	MA
48	一流の選手が参加するアーバンスポーツの大会やデモンストレーションを実際に観戦したいと思いますか。	1 はい 2 いいえ	SA
□サイクルツーリズムについて			
49	あなたは最近、どれくらいの頻度でサイクリング(楽しむことを目的とした自転車の遠乗り)をしていますか。	1 週1回以上 2 月1～3回程度 3 年数回程度 4 これまで数回(定期的にはやっていない) 5 したことがない	SA
50	サイクリングに興味はありますか。 ※No.49において、「5:したことがない」を選択した方はお答えください。	1 興味はある 2 興味はない	SA
51	サイクリングに興味がない理由を教えてください。 (主なものを3つまで選んであてはまる番号を○で囲んでください。) ※No.50において、「2:興味はない」を選択した方はお答えください。	1 道路が狭く交通量が多いので、自動車との並走が怖いから 2 体力や身体上の理由でできない、もしくは自信がないから 3 自転車を持っていない、もしくは乗れないから 4 別の運動や趣味等をしているから 5 自動車ドライバーの運転マナーが悪いから 6 自転車に乗ることが楽しいと思わないから 7 自転車の故障が心配だから 8 目的地となる魅力的なスポット等がないから 9 道に迷いそうだから 10 自転車の交通ルールや走行マナーがわからないから 11 その他()	MA

No	設問	選択肢	回答区分
52	長崎県では、自転車地域を巡り、沿線の魅力を楽しむ体験型・交流型旅行等を推進することを目的として「下五島ルート」「上五島ルート」「大村湾南部ルート」「島原半島一周ルート」という県内4つのモデルルートを設定しています。このことをご存じでしょうか。	1 はい 2 いいえ	SA
53	サイクリングを行うにあたり、あなたが必要だと思うことについて教えてください。 (主なものを3つまで選んであてはまる番号を○で囲んでください。)	1 自転車が安全・安心に走れる道路環境 2 自転車の交通ルールや走行マナーの周知 3 自転車だから行ける観光スポット情報 4 観光スポット等への案内看板・路面標示 5 自動車ドライバーの運転マナー向上 6 地元住民や自動車ドライバーのサイクリストへの理解 7 レンタサイクルの web 予約など利便性の向上 8 おしゃれ又はカッコいいレンタサイクル 9 サイクリングが健康に良いことの周知 10 その他 ()	MA
<input type="checkbox"/> eスポーツについて			
1	あなたは、「eスポーツ」をご存知でしたか。	1 知っていた 2 聞いたことはあったが、内容は知らなかった 3 知らなかった	SA
2	「eスポーツ」をスポーツだと思えますか。	1 とてもそう思う 2 わりとそう思う 3 あまりそう思わない 4 まったくそう思わない 5 種目による	SA
3	「eスポーツ」をスポーツだと思うのはどのような理由からですか。 (主なものを2つまで選んであてはまる番号を○で囲んでください。) ※上記 No.2 において、「1：とてもそう思う」「2：わりとそう思う」を選択した方のみお答えください。	1 名称にスポーツとついているため 2 個人やチームで対戦するため 3 反射神経や動体視力、瞬発力などが求められるため 4 その他 ()	SA
4	あなたは、「eスポーツ」をしてみたいと思えますか。	1 ぜひやってみたい 2 機会があればやってみたい 3 あまりやってみたくはない 4 全く思わない(関心がない)	SA

第 2 章 県民アンケート調査結果概要

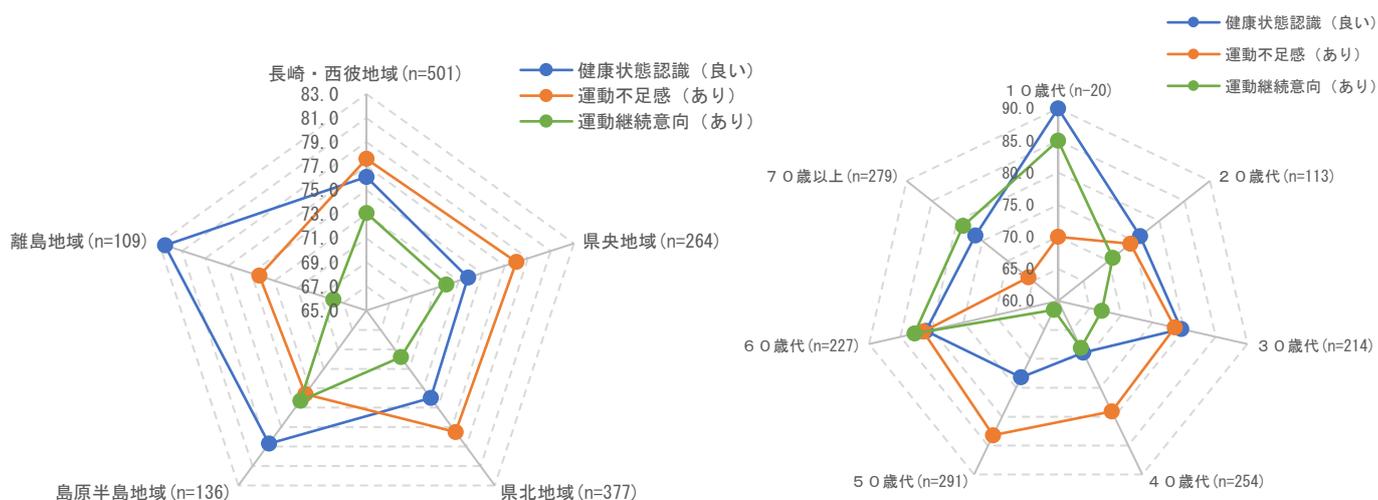
1. 県民アンケート調査結果概要

【健康・運動・スポーツの実施状況について】

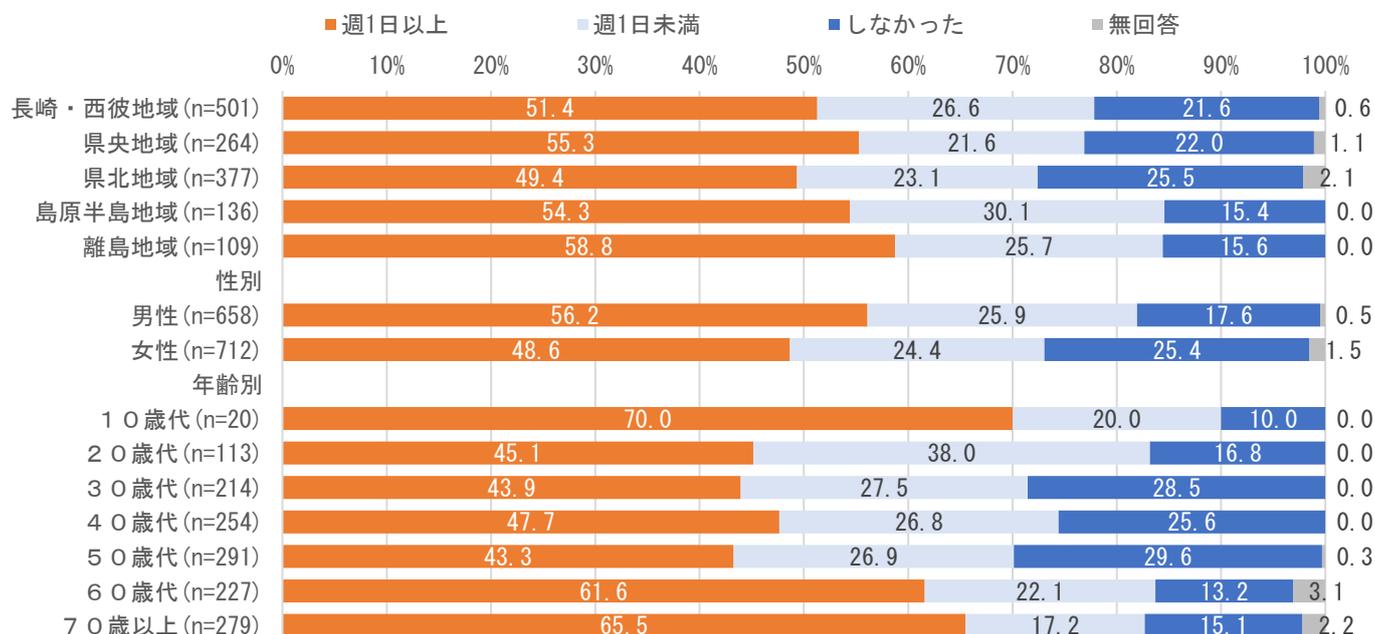
健康状態の認識は「良い」75.7%と高いが前回調査（令和2年度）の87.8%と比べると12.1ポイント減少となっており、地域差は6.4ポイント以内であり地域差はほぼない。また、「運動不足感」を感じるは77.0%で前回比較0.2ポイント減少、地域差も4.4ポイント以内となっている。年代では50歳代をピークに増減がある。

スポーツ・運動の生涯実施意向は71.5%で前回調査比較9.0ポイント減少。地域差は6.4%でありあまり差はないものの、年代では50歳代をボトムに減少している。

各回答を、偏差値で表すと地域別で、健康状態認識が良く、運動不足感がやや低く、運動継続意向が高いのは「島原半島地域」となっており、年代別では「20歳代～50歳代」は健康状態認識が低く、運動不足感が高いものの、運動継続意向が低くなっている。



スポーツ実施率は全体で52.1%、20歳以上で51.9%と前回調査よりも4.0ポイント増加となっているが、スポーツ庁が目標とする70.0%までは17.9ポイントの乖離がある。スポーツ実施率は、地域、性別、年齢による乖離が大きい。また、できなかった理由は「仕事や家事が忙しいから」が変わらず1位。実施した理由は「健康のため」も変わらず1位項目であるが前回比較14.1ポイント増加、「体力増進・維持のため」が2位項目となっており、健康志向は高まっている。一方、「楽しみ、気晴らしとして」は11.5ポイント減少している。



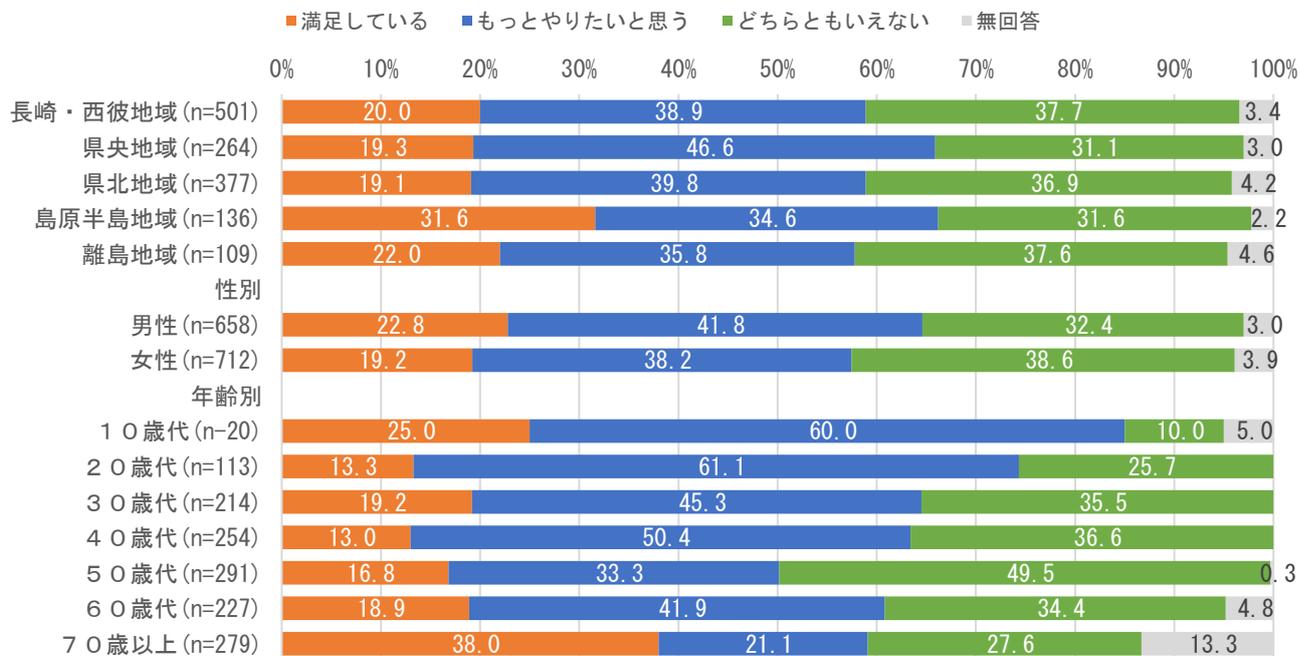
スポーツ実施の場所としては前回調査同様「道路」が1位となり「公共体育・スポーツ施設」は3位→4位へ順位を下げ9.8ポイント減少となっている。また、実施時間帯に大きな変化はみられないが、実施形態は「個人」がトップは変わらないものの複数人数での実施は減っている。

課題

- ・スポーツ実施率は増加しているが、地域・性・年齢による乖離が大きい。
- ・健康志向は高まったが、「楽しみ」としてのスポーツ実施率は減少。
- ・スポーツ実施場所は「道路」が1位、「公共体育・スポーツ施設」は減少。

【運動・スポーツの今後の意識について】

スポーツ実施の条件は「身近なところにスポーツ施設や運動ができる場所があること」が1位、上位5項目の変動はないが、実施頻度の満足度は20.9%と前回調査より1.6ポイント増加、満足度は島原半島地域が突出して高くなっており、満足度・実施意向ともに地域・性・年齢により大きな乖離がある。



運動・スポーツにかかる費用は53.9%が「0円」となり地域・性・年齢により大きな乖離がある。

新型コロナウイルス感染症による影響でスポーツ実施頻度の影響があったのは27.8%（実施しなくなった：6.9%）

課題

- ・スポーツ実施頻度の満足度に地域・性・年齢による乖離が大きい。
- ・スポーツ実施意向に年齢差、実施意欲に地域・年齢による乖離が大きい。
- ・スポーツ実施に係る費用負担の意識が低い。

【運動・スポーツの実施環境について】

スポーツイベント・大会への参加意向は「スポーツイベント、大会に参加していない」が51.4%、「ウォーキングイベントやレクリエーション的なスポーツイベントなど老若男女が楽しめるイベント、大会」が38.5%、「体力テスト、スポーツテストなど」が36.1%と本格的なスポーツ大会への参加意識は低い。また、「ウォーキングイベントやレクリエーション的なスポーツイベントなど老若男女が楽しめるイベント、大会」・「体力テスト、スポーツテストなど」は60歳以上参加意向が強い。

普段、運動・スポーツの指導やサポートを受けていないと70.6%が回答していること、また、従業員の運動・スポーツ実施を支援するような取組で「特に取り組みは実施されていない」が56.9%であることから、「クラブ・部活動」等の定期活動の場に参加していないことがうかがえる。

課題

- ・「ウォーキングイベントやレクリエーション的なスポーツイベントなど老若男女が楽しめるイベント、大会」・「体力テスト、スポーツテストなど」は60歳以上の参加意向が比較的高い傾向。
- ・「クラブ・部活動」等の定期活動の場に参加していない。

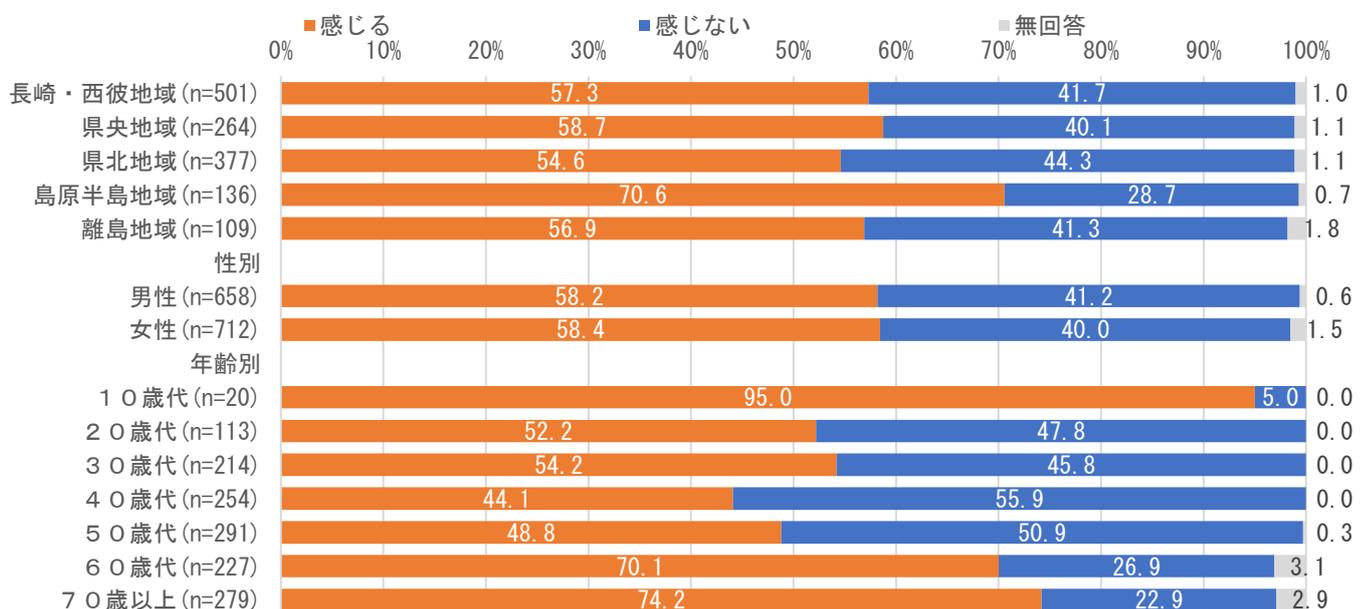
【運動・スポーツの価値について】

スポーツがもたらす効果は「健康・体力の保持増進」、「人と人との交流」、「精神的な充足感」が挙がっておりこれは地域・性・年齢による差はない。

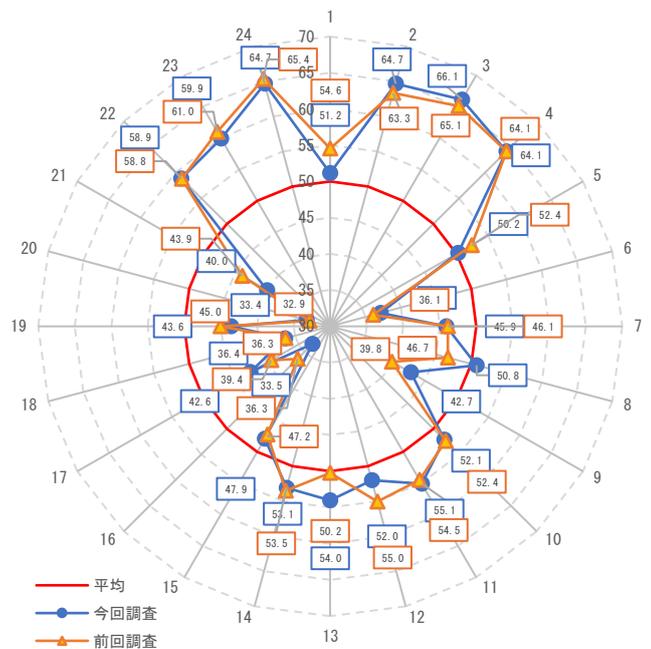
日常生活での「充実感がある」は58.2%と前回比較で13.9ポイント減少しているが、地域・性・年齢の乖離状況はスポーツ実施率と日常生活の充実度は比例しているように見える。

長崎県のスポーツ・運動の普及をもっと盛んにするために重要と回答されたのは県民が重要と思う割合の平均以下となったのは項目番号（下記凡例参照）で6・7・9・15・16・17・18・19・20・21の10項目であり前回調査の11項目から減少している。

経年比較で「重要度（%）」が10ポイント以上減少したのは、大きい順に1・12・23・4・3・5・2の順となっており、偏差値で最も減少したのは「1:学校体育施設の積極的な開放」の3.4ポイント減少であった。



1	学校体育施設の積極的な開放
2	公園や広場等、身近でスポーツができる場の創出
3	歩道や防犯灯など昼夜安心してウォーキングなどができる環境整備
4	障害のある人も身近でスポーツに親しめる環境の整備
5	地域で初心者を指導できる指導者の確保
6	地域で上級者を指導できる指導者の確保
7	多種目のスポーツ教室の開催
8	健康・体かづくりに関する教室・講演会などの開催
9	職場でのスポーツ・健康づくりの取組の推進
10	誰もが気軽に参加し、スポーツがおこなえるクラブづくり
11	誰もが気軽に参加できるスポーツ・健康づくりイベントの開催
12	女性が気軽にスポーツ・健康づくりに親しめる機会・場の充実
13	手軽にできるスポーツ種目（レクリエーション）の普及
14	障害者スポーツの普及・啓発やイベントの開催
15	ホームページ等によるスポーツイベント情報の提供
16	国際的あるいは大規模なスポーツイベントの誘致・開催
17	野球・バスケットボール等プロスポーツの試合の誘致
18	県外トップチーム（実業団・プロ）のスポーツ合宿の誘致
19	県内プロスポーツチーム（V・ファーレン）の支援・連携
20	新たな県内プロスポーツチームの発足支援
21	国体での総合成績を向上させるための強化策
22	中学校・高校での運動部活動の充実
23	学校外や地域における子どものスポーツ機会の充実
24	幼児期に外遊びや体を動かして遊ぶ楽しさを教えること



スポーツ・運動の普及をもっと盛んにするために重要と回答された上位5項目

- ・歩道や防犯灯など昼夜安心してウォーキングなどができる環境整備
- ・幼児期に外遊びや体を動かして遊ぶ楽しさを教えること
- ・公園や広場等、身近でスポーツができる場の創出
- ・障害のある人も身近でスポーツに親しめる環境の整備
- ・学校外や地域における子どものスポーツ機会の充実

【スポーツに関するボランティア活動について】

スポーツに関するボランティア活動を「行った」は 17.5% 前回調査比較 2.0 ポイント増加、属性別で「島原半島地域」「離島地域」「男性」「20歳代」「30歳代」「40歳代」が多く、内容は「イベント・大会の運営や世話」「自身やお子様が所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動」「運動・スポーツの指導」「スポーツクラブ・団体の運営や世話」等。

今後のボランティア参加意向は 39.3%、属性別で「県央地域」「島原半島地域」「離島地域」「男性」「20歳代」「60歳代」が多く、前回調査比 8.1 ポイント減少。また、34.1%が「どんなきっかけや動機づけがあっても、しない・できない」と回答しており、前回調査比較で焼く倍増している。

課題

- ・スポーツに関するボランティア活動参加率が 17.5% と低い。
- ・「イベント・大会の運営や世話」「自身やお子様が所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動」等受動的な内容？

【運動・スポーツに関する情報について】

ほしい情報は「健康・体力づくりの情報」、「自分が参加できる競技会・イベントの情報」、「観戦するためのスポーツ行事・イベント情報」が上位3項目で属性による大きな傾向の相違はみられない。情報を得る方法は「インターネット」、「市町の広報」、「知人や友人から」の順で「テレビ・ラジオ」、「新聞・雑誌」の旧主力媒体は15ポイント以上の減少となっている。

課題

- ・情報取得の媒体による変化が顕著

【用語の認知度について】

「がんばらんば体操」の認知度は62.2%、「島原半島地域」が突出して高く、前回調査比較14.2ポイント減少している。

「スポーツ推進委員」の認知度は38.5%、「島原半島地域」が突出して高く、前回調査比較0.3ポイント増加している。

「総合型地域スポーツクラブ」の認知度は12.9%、「県北地域」「島原半島地域」がやや高く、前回調査比較4.3ポイント増加しており、「入会意思」は5.3%、「長崎・西彼地域」がやや高く、前回調査比較0.4ポイント減少している。また、運営に「興味あり」は7.8%、属性別で、「伴星」「20歳代」「30歳代」「40歳代」がやや高く、前回調査比較で増減はない。

課題

- ・「がんばらんば体操」「スポーツ推進委員」「総合型地域スポーツクラブ」の認知度は低い。

【スポーツ観戦について】

「V・ファーレン長崎を応援することを目的として、1回以上テレビ等で試合を視聴した」「試合結果やチームに関する情報をチェックしている」「V・ファーレン長崎を応援することを目的として、1回以上現地観戦した」「クラブSNS（関連アカウント含む）をフォローしている」「公式グッズを購入した」等重複もあるが「V・ファーレン長崎を応援している」が37.9%、「長崎ヴェルカを応援することを目的として、1回以上テレビ等で試合を視聴した」「試合結果やチームに関する情報をチェックしている」「長崎ヴェルカを応援することを目的として、1回以上現地観戦した」「クラブSNS（関連アカウント含む）をフォローしている」「公式グッズを購入した」等重複もあるが「長崎ヴェルカを応援している」が34.9%となっている。

V・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカ以外の観戦率は9.6%、前回調査比較3.5ポイント減少しており、スポーツ観戦にかけた費用が「0円」が71.7%となっている。一方、感染を希望するトップレベルのスポーツは「野球」「サッカー」「バレーボール」となっている。

課題

- ・「V・ファーレン長崎を応援している」が37.9%。
- ・「長崎ヴェルカを応援している」が34.9%。
- ・スポーツ観戦にかけた費用が「0円」が71.7%。

【アーバンスポーツについて】

アーバンスポーツの経験者は 3.9%、行う上での課題は指導してくれる人がいない、「実施できる場所・専用施設が少ない、遠い」、「一緒に活動する仲間が見つからない」が挙げられている。一方で 64.8%がアーバンスポーツに興味がなく、70.9%は観戦にも興味がない。

課題

- ・ 経験者が少なく指導者もいない。
- ・ アーバンスポーツ自体に 64.8%が興味なく、70.9%が観戦にも興味がない。

【サイクルツーリズムについて】

サイクリング経験者は 22.3%、属性別で「男性」「20 歳代」「30 歳代」「40 歳代」「50 歳代」が多く、サイクリング未経験者のサイクリングに対する興味度は 21.3%、属性別で「島原半島地域」「60 歳代」「70 歳以上」がやや高くなっている。また、県内のサイクリングモデルルート
の認知度は 15.6%で、属性別には「県央地域」「島原半島地域」「30 歳代」「60 歳代」「70 歳以上」がやや認知度が高い。

一方、サイクリングに興味がない理由は「自転車を持っていない、もしくは乗れないから」、「道路が狭く交通量が多いので、自動車との並走が怖いから」、「体力や身体上の理由でできない、もしくは自信がないから」等となっている。

サイクリングを行う上で必要な事は「自転車が安全・安心に走れる道路環境」、「自転車の交通ルールや走行マナーの周知」、「体自動車ドライバーの運転マナー向上」となっている。

課題

- ・ 経験者が少なく興味もない。
- ・ サイクリングモデルルートの認知度は 15.6%と低い。

【参考質問：eスポーツについて】

eスポーツの認知度は 36.6%、前回調査比較 5.6 ポイント増加となっており、eスポーツをスポーツと認識しているのは 14.9%、前回調査比較 2.6 ポイント増加となっている。

eスポーツをスポーツだと思う理由は「反射神経や動体視力、瞬発力などが求められるため」が最も多い。

eスポーツ実施希望は 19.6%で、年代が若いほど実施希望は高くなっている。

第 3 章 アンケート調査結果

第3章 アンケート調査結果

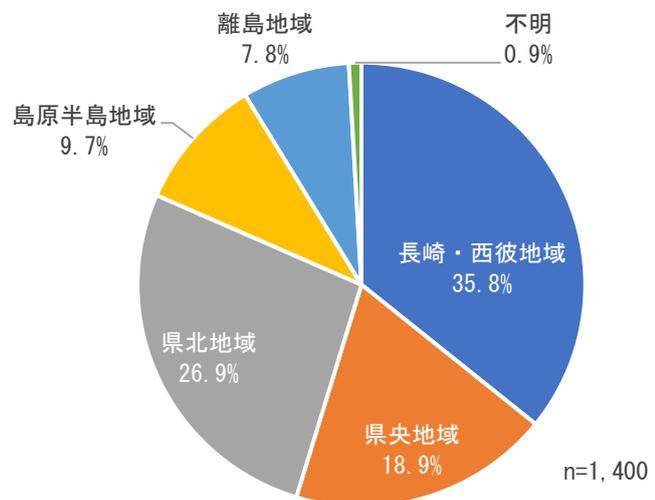
1. 属性について

(1) 居住地



地域別では、「長崎・西彼地域」が36.8%で最も多く、次いで「県北地域」が26.9%、「県央地域」が18.9%、「島原半島地域」が9.7%、「離島地域」が7.8%の順となっている。

また、市・町別では「長崎市」が30.9%で最も多く、次いで「佐世保市」が18.4%、「諫早市」が9.6%、「大村市」9.3%と続いており、回答数はほぼ人口に比例している。

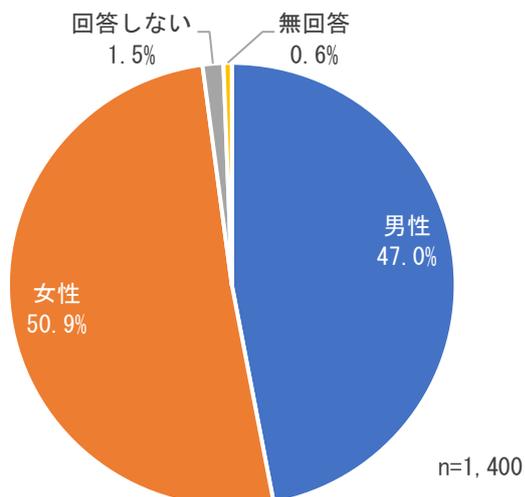


(2) 性別・年齢

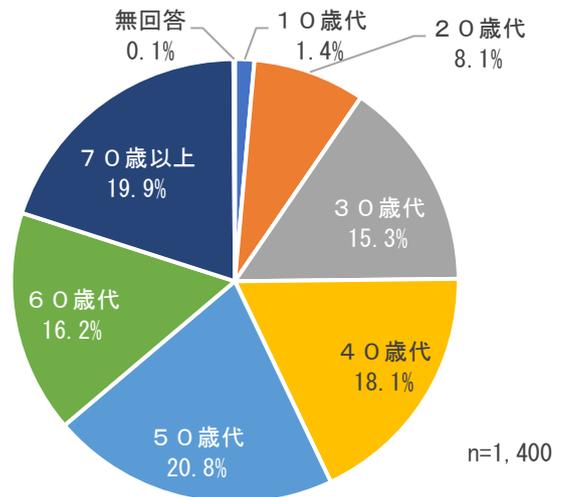
性別では、「男性」が47.0%、「女性」が50.9%となっており県の男女比率とほぼ同一となっている。

年齢別では「50歳代」が20.8%で最も多く、次いで「70歳代」が19.9%、「60歳代」が16.2%、「40歳代」が18.1%、「30歳代」が15.3%、「20歳代」が8.1%、「10歳代」が1.4%の順となっており、60歳以上は36.1%となっている。

【性別】



【年齢】

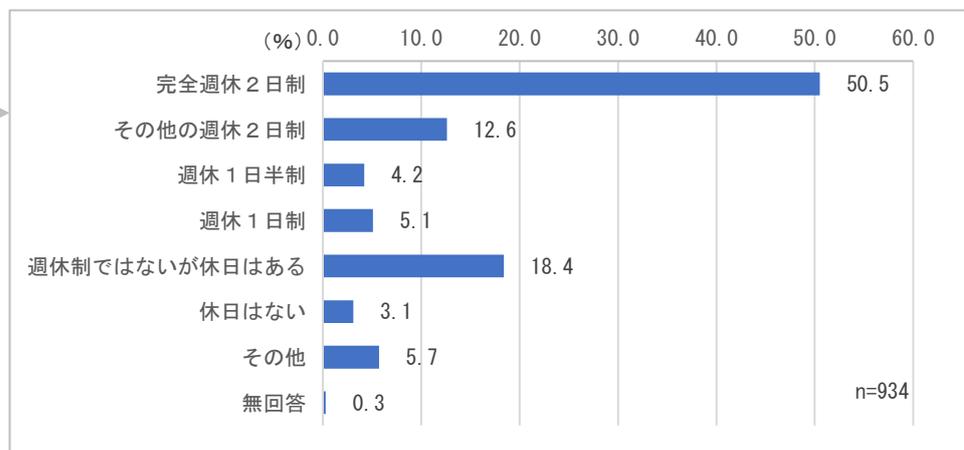
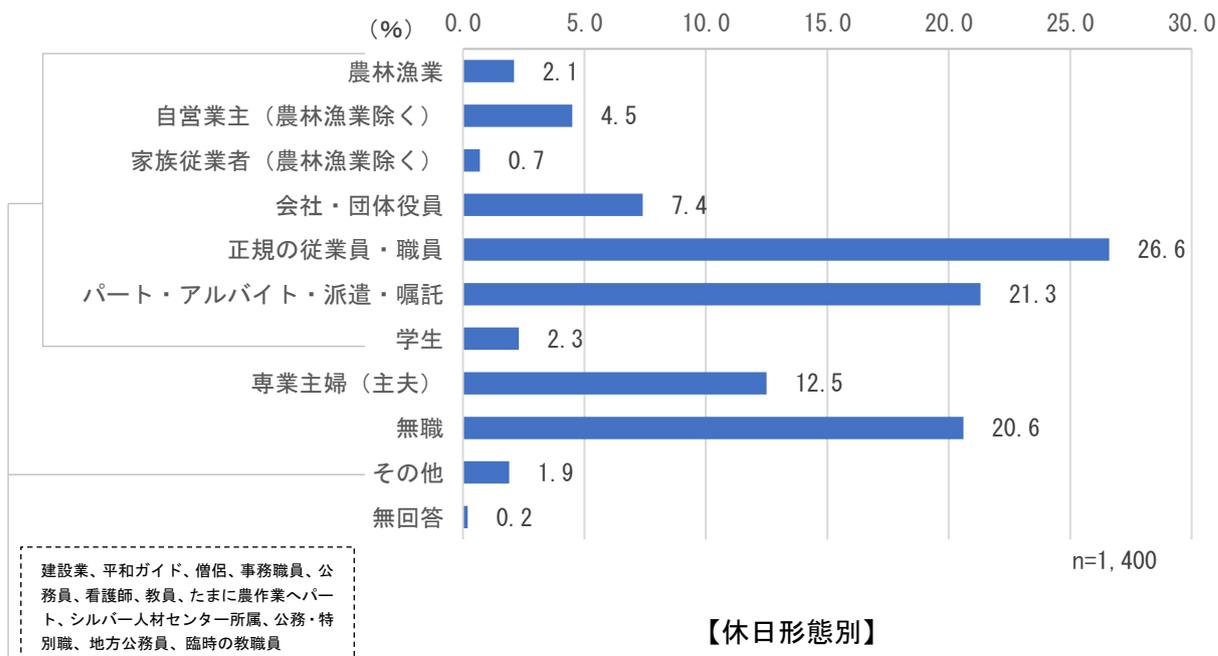


(3) 職業・休日

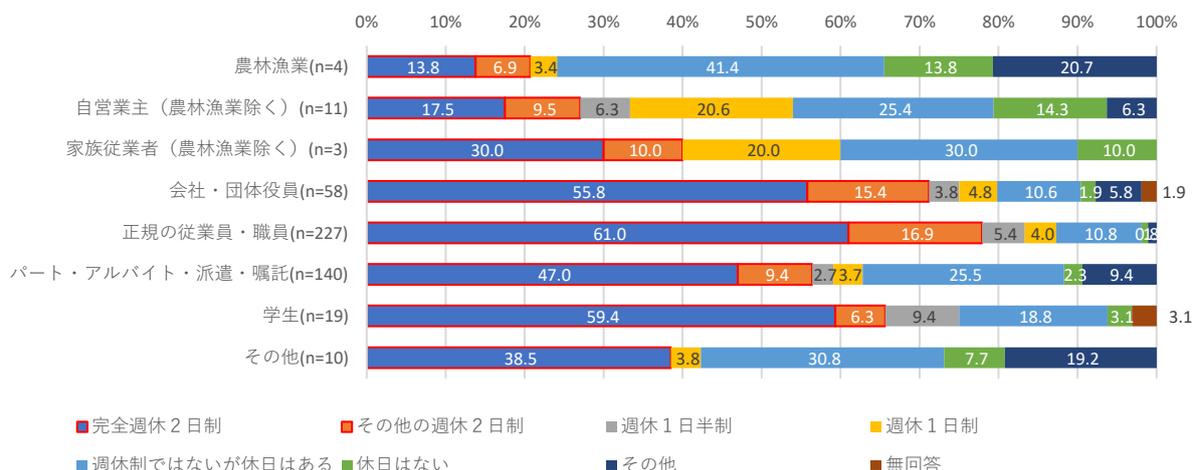
職業別では、「正規の従業員・職員」が26.6%で最も多く、次いで「パート・アルバイト・派遣・嘱託」が21.3%、「無職」が20.6%、「専業主婦（主夫）」が12.5%と続いている。

「専業主婦（主夫）」・「無職」以外の休日形態別では「完全週休2日制」が50.5%で最も多く、次いで「週休制ではないが休日はある」が18.4%、「その他の週休2日制」が12.6%と続いている。

一方、「休日はない」は3.1%とわずかではあるが存在する。また、「週休2日制（「完全週休2日制」+「その他の週休2日制（隔週、月1回、夏季だけなど）」）」が7割を超えるのは「会社・団体役員」・「正規の従業員・職員」となっている。



【職業別休日形態別】

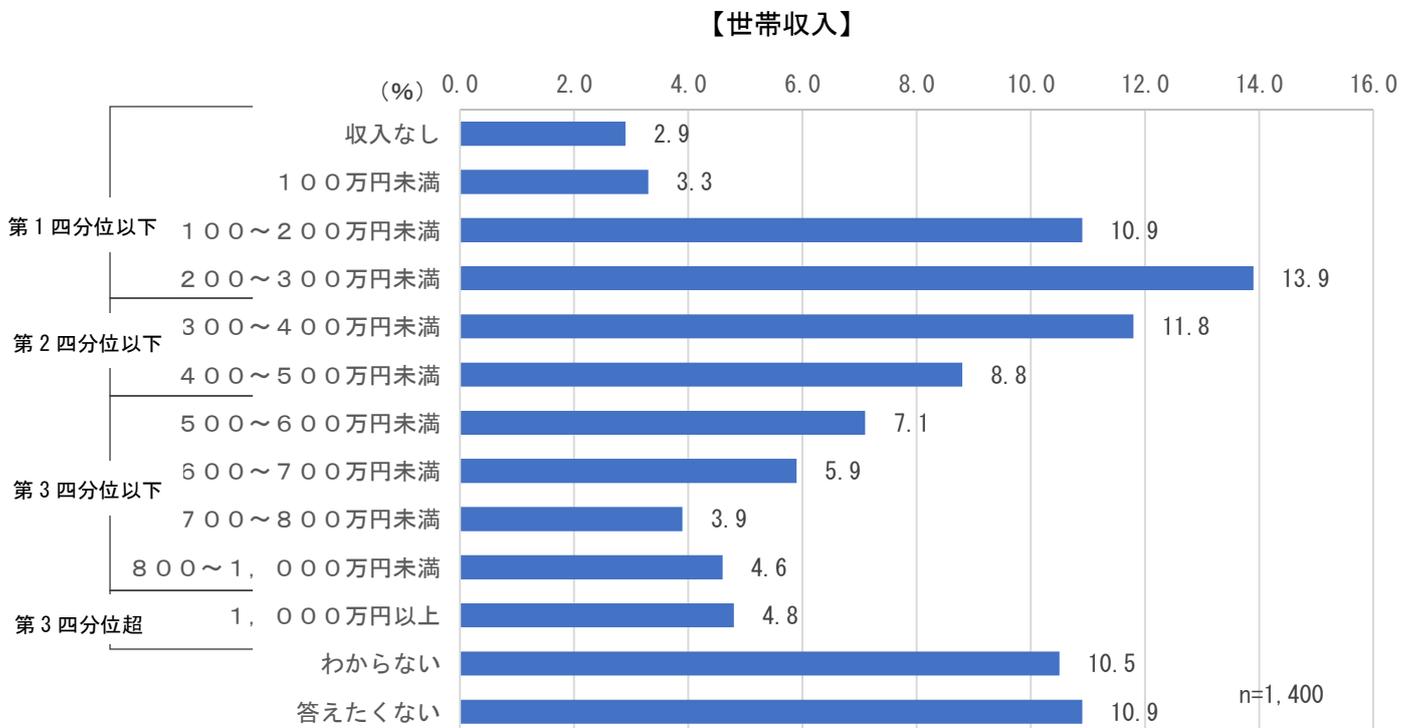
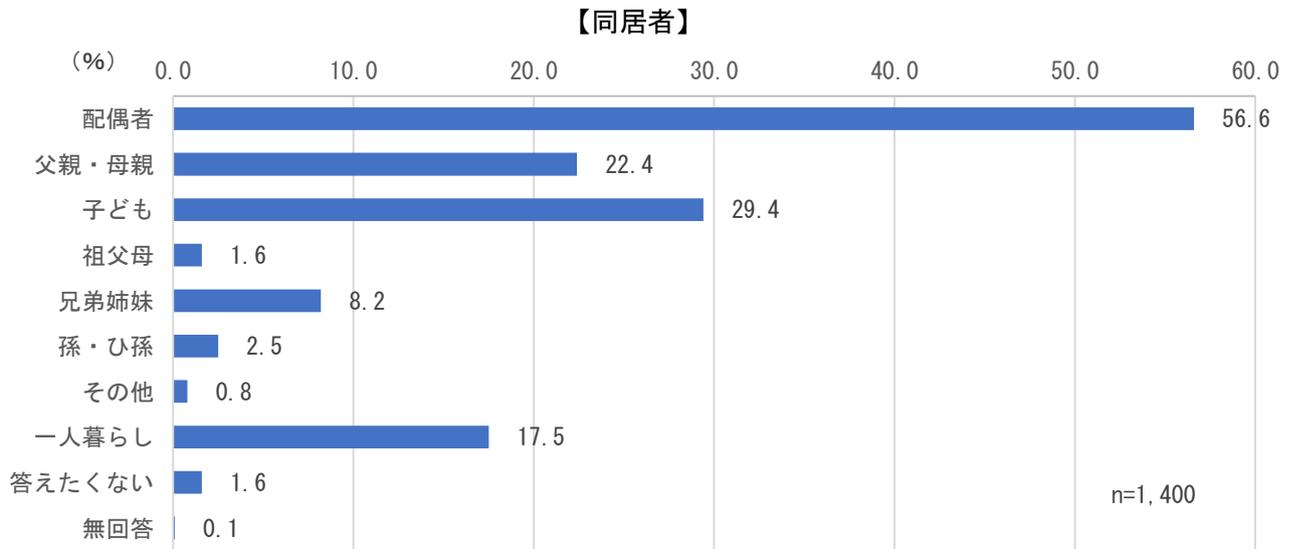


(4) 同居者・収入

同居者は、「配偶者」が56.6%で最も多く、次いで「子ども」が29.4%、「父親・母親」が22.4%、「一人暮らし」が17.5%と続いている。

世帯収入は「200～300万円未満」が13.9%、次いで「300～400万円未満」が11.8%、「100～200万円未満」・「答えたくない」が10.9%で続いている。

また、「わからない」「答えたくない」「無回答」を除く1,089人の回答による第1四分位は「200～300万円未満」、中央値は「300～400万円未満」、第3四分位は「500～600万円未満」となっている。



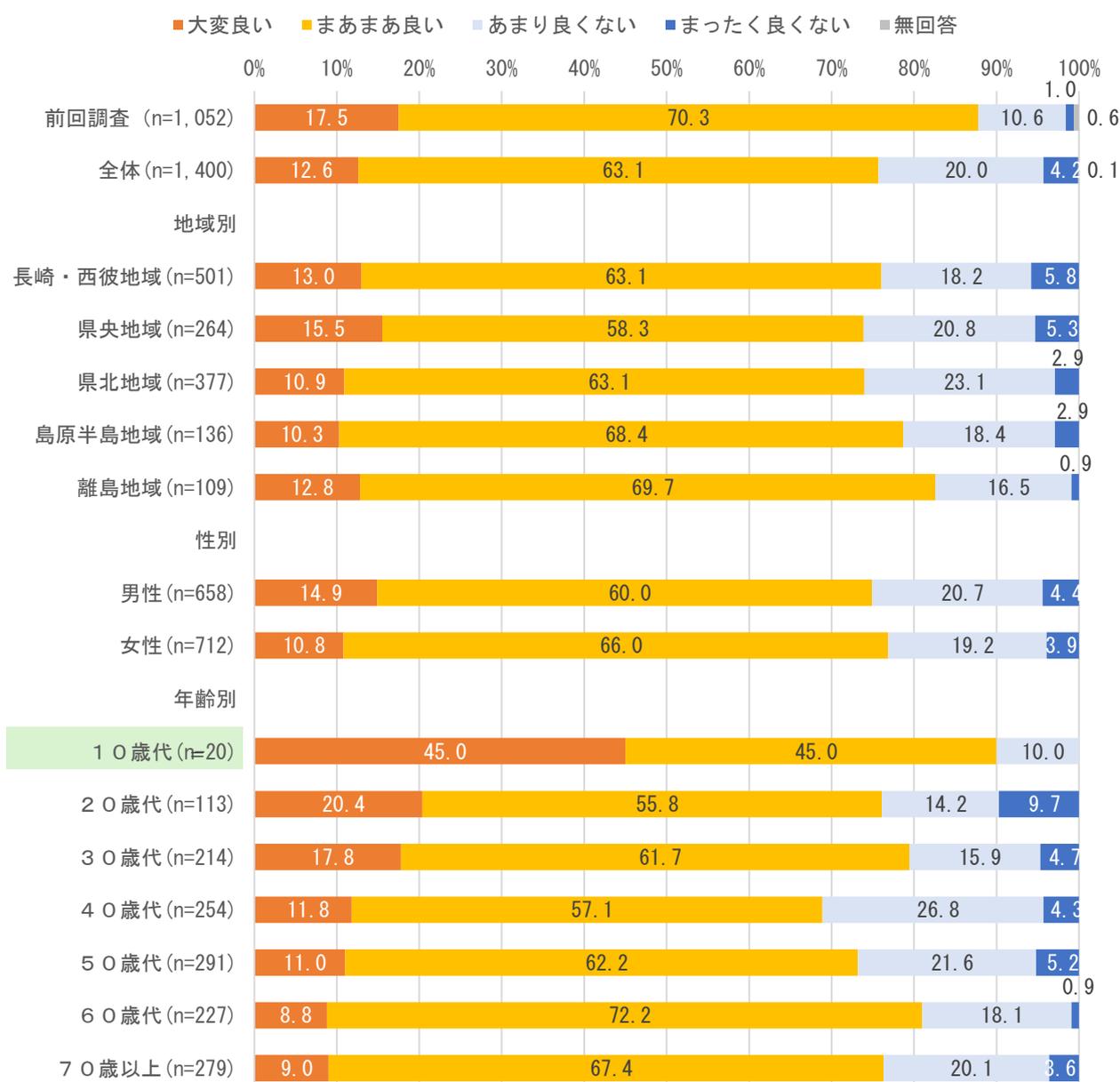
2. 健康・運動・スポーツの実施状況について

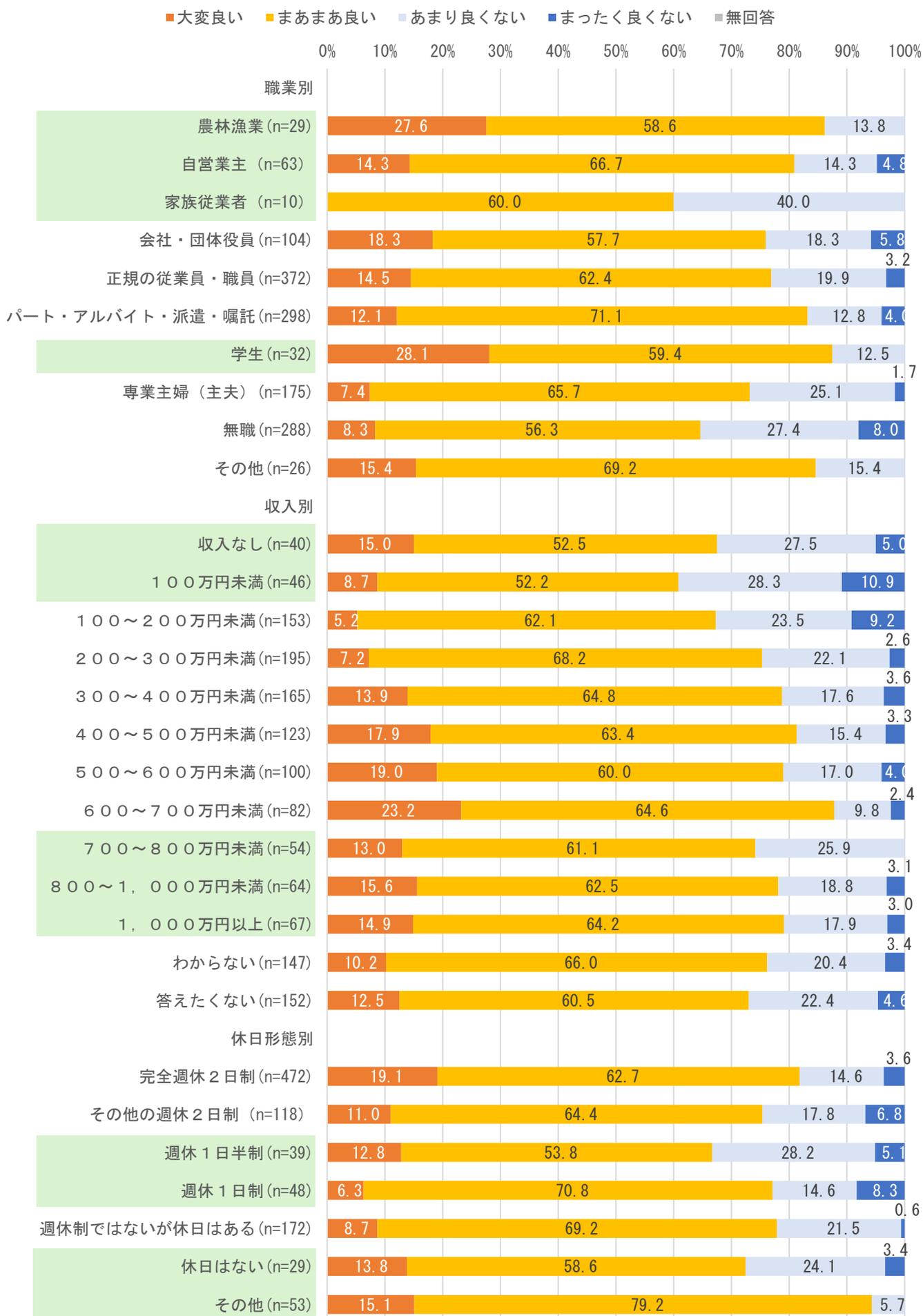
(1) あなたの健康状態はいかがですか。(SA)

「良い」が75.7%、前回調査より12.1ポイント低下

全体では、「まあまあ良い」が63.1%で最も多く、次いで「あまり良くない」が20.0%、「大変良い」が12.6%、「まったく良くない」が4.2%の順となっており、「良い（「大変良い」+「まあまあ良い」）」が75.7%、「悪い（「あまり良くない」+「まったく良くない」）」が24.2%となっており、「良い」が前回調査よりも12.1ポイント低下している。

地域別	「良い」は「島原半島地域」が82.5%で最も高く、「県央地域」が73.8%で最も低く6.4ポイントの差がある。
性別	「良い」は「女性」が76.8%で「男性」が74.9%となっている。
年齢別	「良い」は「60歳代」が81.0%で最も高く、次いで「30歳代」が79.5%、「70歳以上」が76.4%と続き、「40歳代」が68.9%で最も低くなっている。
職業別	「良い」は「パート・アルバイト・派遣・嘱託」が83.2%で最も高い。
収入別	「良い」は「600～700万円未満」が87.8%で最も高い。
休日形態別	「良い」は「完全週休2日制」が81.8%で最も高い。





※母数が少ないものは参考として載せているため、市・町別での考察はしていない。また、他の区分において母数が極端に少ないものは考察には反映していない。項目は考察に反映していない。

※職業別の「自営業主（農林漁業除く）」は「自営業主」、「家族従業者（農林漁業除く）」は「家族従業者」と表記している。

以降同様に表記する。

※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

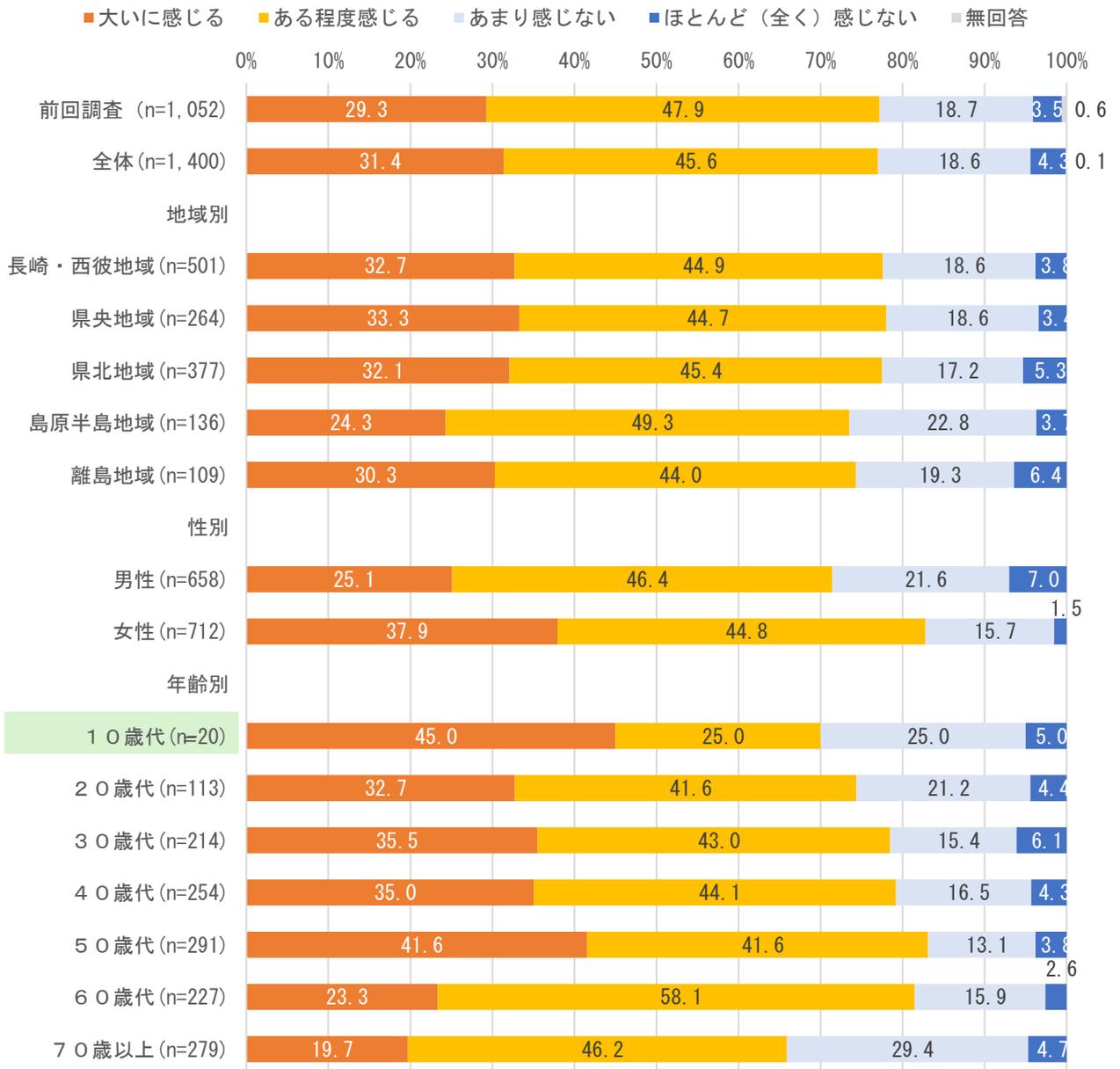
上段：度数 下段：%	合計	大変良い	まあまあ良 い	あまり良く ない	まったく良 くない	無回答
長崎市	433 100.0	55 12.7	274 63.3	77 17.8	27 6.2	- -
長与町	38 100.0	4 10.5	26 68.4	7 18.4	1 2.6	- -
時津町	30 100.0	6 20.0	16 53.3	7 23.3	1 3.3	- -
佐世保市	258 100.0	27 10.5	161 62.4	64 24.8	6 2.3	- -
平戸市	28 100.0	2 7.1	18 64.3	7 25.0	1 3.6	- -
松浦市	19 100.0	1 5.3	11 57.9	5 26.3	2 10.5	- -
西海市	18 100.0	3 16.7	10 55.6	5 27.8	- -	- -
小値賀町	4 100.0	- -	4 100.0	- -	- -	- -
佐々町	12 100.0	2 16.7	7 58.3	3 25.0	- -	- -
東彼杵町	8 100.0	1 12.5	5 62.5	2 25.0	- -	- -
川棚町	22 100.0	3 13.6	16 72.7	1 4.5	2 9.1	- -
波佐見町	12 100.0	2 16.7	10 83.3	- -	- -	- -
島原市	34 100.0	2 5.9	20 58.8	11 32.4	1 2.9	- -
雲仙市	36 100.0	3 8.3	29 80.6	3 8.3	1 2.8	- -
南島原市	66 100.0	9 13.6	44 66.7	11 16.7	2 3.0	- -
諫早市	134 100.0	19 14.2	80 59.7	29 21.6	6 4.5	- -
大村市	130 100.0	22 16.9	74 56.9	26 20.0	8 6.2	- -
対馬市	17 100.0	2 11.8	13 76.5	2 11.8	- -	- -
壱岐市	25 100.0	6 24.0	14 56.0	4 16.0	1 4.0	- -
五島市	39 100.0	2 5.1	29 74.4	8 20.5	- -	- -
新上五島町	24 100.0	4 16.7	16 66.7	4 16.7	- -	- -
上記以外	13 100.0	2 15.4	6 46.2	4 30.8	- -	1 7.7

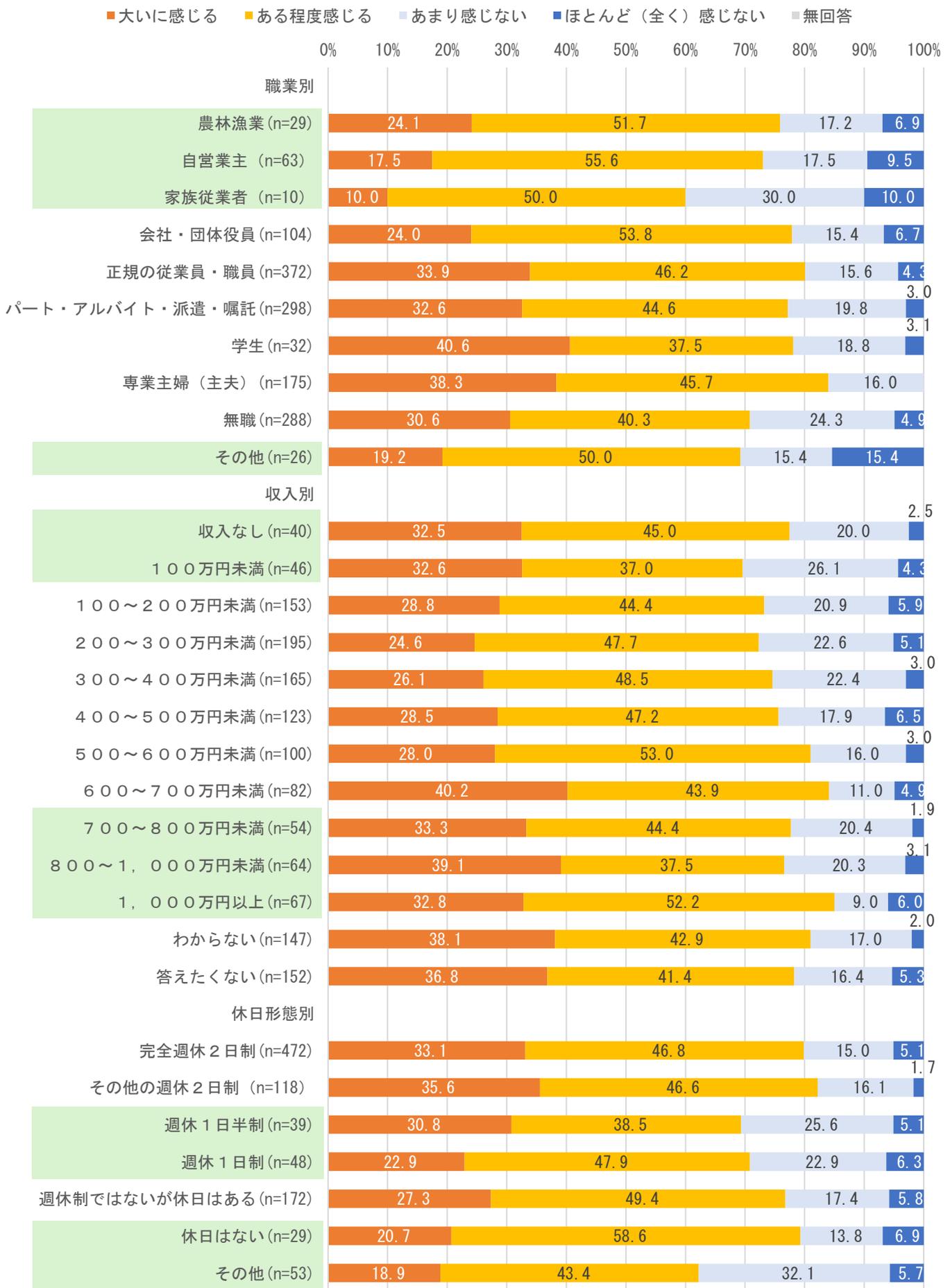
(2) あなたは普段、運動不足を感じますか。(SA)

「運動不足を感じる」が77.0%、前回調査よりも0.2ポイント低下。

全体では、「ある程度感じる」が45.6%で最も多く、次いで「大いに感じる」が31.4%、「あまり感じない」が18.6%、「ほとんど(全く)感じない」が4.3%の順となっており、「運動不足を感じる(「大いに感じる」+「ある程度感じる」)」が77.0%、「運動不足を感じない(「あまり感じない」+「ほとんど(全く)感じない」)」が22.9%となっており、「運動不足を感じない」が前回調査よりも0.7ポイント増加している。

地域別	「運動不足を感じる」は「県央地域」が78.0%で最も高く、「島原半島地域」が73.6%で最も低く4.4ポイントの差がある。
性別	「運動不足を感じる」は「女性」が82.7%で「男性」が71.5%となっている。
年齢別	「運動不足を感じる」は「50歳代」が83.2%で最も高く、次いで「60歳代」が81.4%、「40歳代」が79.1%と続き、「70歳以上」が65.9%で最も低くなっている。
職業別	「運動不足を感じる」は「専業主婦(主夫)」が84.0%で最も高い。
収入別	「運動不足を感じる」は「600～700万円未満」が84.1%で最も高い。
休日形態別	「運動不足を感じる」は「その他の週休2日制(隔週、月1回、夏季だけなど)」が82.2%で最も高い。





※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

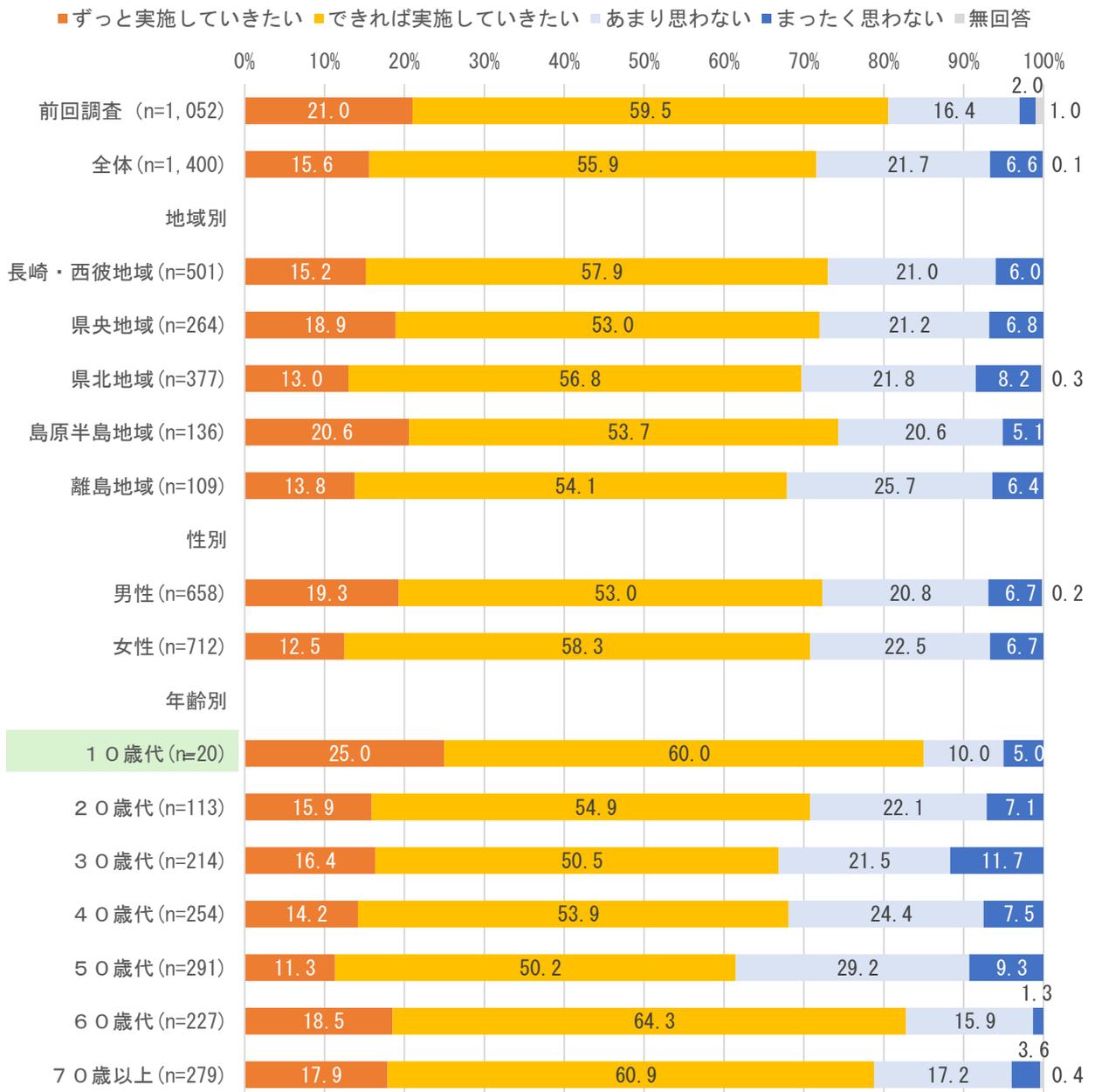
上段：度数 下段：%	合計	大いに感じる	ある程度感じる	あまり感じない	ほとんど (全く) 感じない	無回答
長崎市	433 100.0	143 33.0	191 44.1	80 18.5	19 4.4	- -
長与町	38 100.0	13 34.2	19 50.0	6 15.8	- -	- -
時津町	30 100.0	8 26.7	15 50.0	7 23.3	- -	- -
佐世保市	258 100.0	91 35.3	108 41.9	47 18.2	12 4.7	- -
平戸市	28 100.0	7 25.0	15 53.6	5 17.9	1 3.6	- -
松浦市	19 100.0	4 21.1	11 57.9	1 5.3	3 15.8	- -
西海市	18 100.0	7 38.9	8 44.4	3 16.7	- -	- -
小値賀町	4 100.0	3 75.0	1 25.0	- -	- -	- -
佐々町	12 100.0	6 50.0	5 41.7	1 8.3	- -	- -
東彼杵町	8 100.0	1 12.5	5 62.5	2 25.0	- -	- -
川棚町	22 100.0	3 13.6	11 50.0	4 18.2	4 18.2	- -
波佐見町	12 100.0	2 16.7	8 66.7	2 16.7	- -	- -
島原市	34 100.0	9 26.5	18 52.9	6 17.6	1 2.9	- -
雲仙市	36 100.0	7 19.4	22 61.1	6 16.7	1 2.8	- -
南島原市	66 100.0	17 25.8	27 40.9	19 28.8	3 4.5	- -
諫早市	134 100.0	35 26.1	64 47.8	29 21.6	6 4.5	- -
大村市	130 100.0	53 40.8	54 41.5	20 15.4	3 2.3	- -
対馬市	17 100.0	5 29.4	8 47.1	3 17.6	1 5.9	- -
壱岐市	25 100.0	8 32.0	8 32.0	6 24.0	3 12.0	- -
五島市	39 100.0	12 30.8	20 51.3	6 15.4	1 2.6	- -
新上五島町	24 100.0	5 20.8	11 45.8	6 25.0	2 8.3	- -
上記以外	13 100.0	1 7.7	9 69.2	2 15.4	- -	1 7.7

(3) あなたは生涯にわたり運動やスポーツを実施していきたいと思いませんか。(SA)

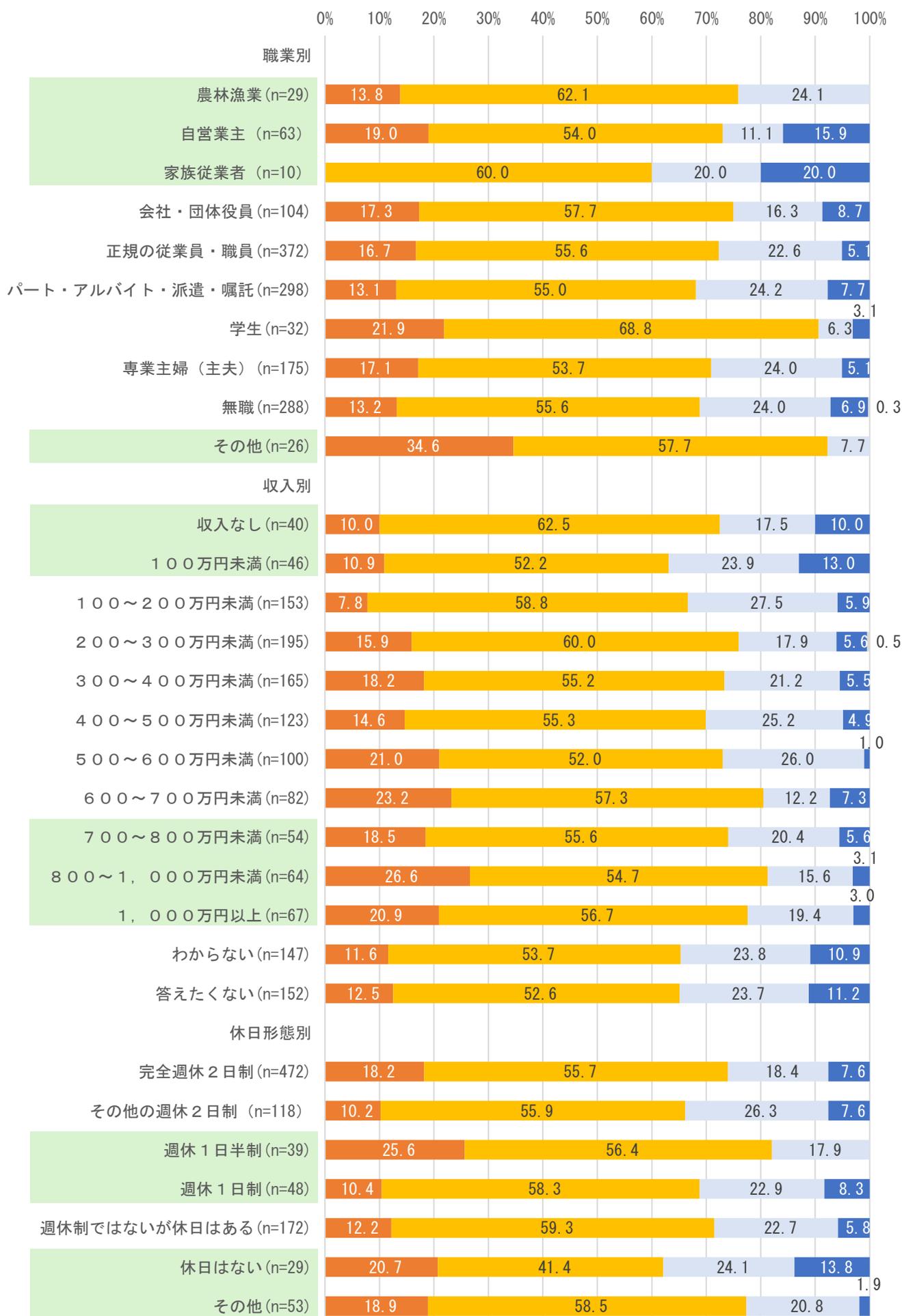
「実施していきたい」が71.5%、前回調査よりも9.0ポイント低下。

全体では、「できれば実施していきたい」が55.9%で最も多く、次いで「あまり思わない」が21.7%、「ずっと実施していきたい」が15.6%、「まったく思わない」が6.6%の順となっており、「実施していきたい（「ずっと実施していきたい」＋「できれば実施していきたい」）」が71.5%、「思わない（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）」が28.7%となっており、「実施していきたい」が前回調査よりも9.0ポイント低下している。

地域別	「実施していきたい」は「島原半島地域」が74.3%で最も高く、「離島地域」が67.9%で最も低く6.4ポイントの差がある。
性別	「実施していきたい」は「男性」が72.3%で「女性」が70.8%となっている。
年齢別	「実施していきたい」は「60歳代」が82.8%で最も高く、次いで「70歳以上」が78.8%、「70歳代」が70.8%と続き、「50歳代」が61.5%で最も低くなっている。
職業別	「実施していきたい」は「会社・団体役員」が75.0%で最も高い。
収入別	「実施していきたい」は「600～700万円未満」が80.5%で最も高い。
休日形態別	「実施していきたい」は「完全週休2日制」が73.9%で最も高い。



■ ずっと実施していきたい ■ できれば実施していきたい ■ あまり思わない ■ まったく思わない ■ 無回答



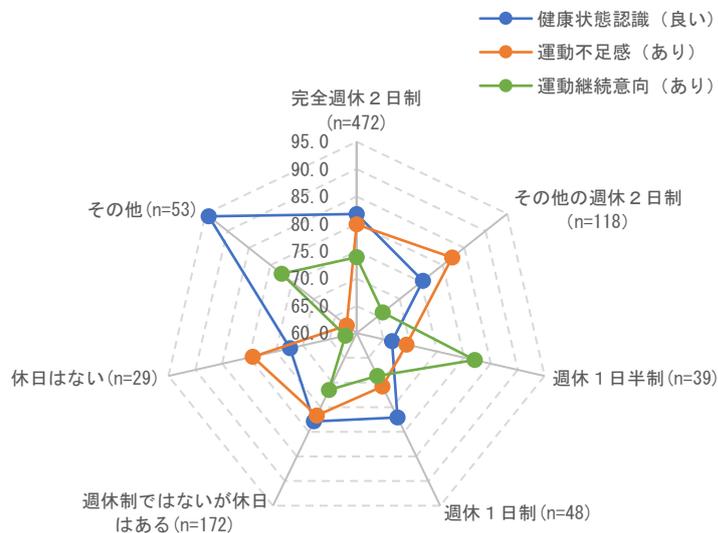
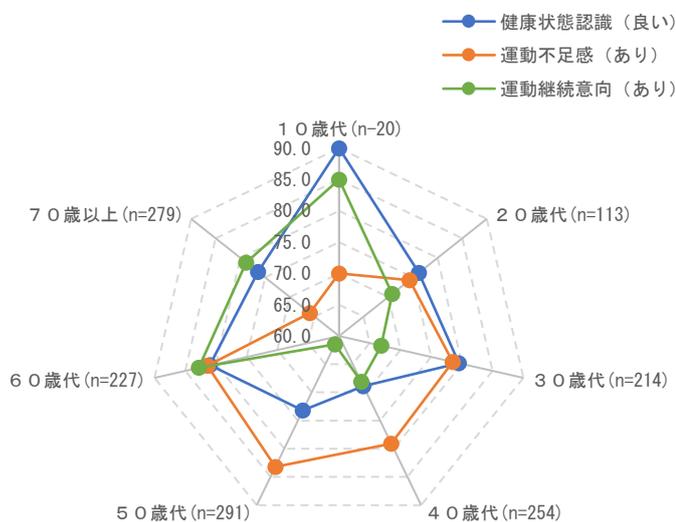
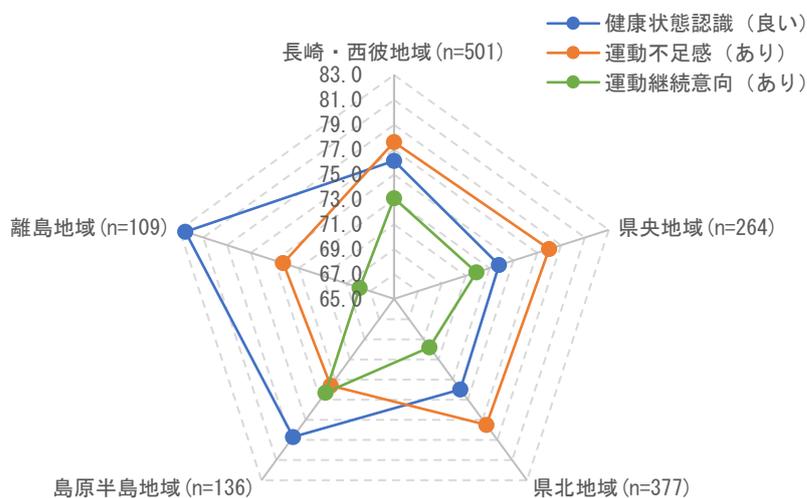
※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	ずっと実 施してい きたい	できれば 実施して いきたい	あまり思 わない	まったく 思わない	無回答
長崎市	433 100.0	66 15.2	253 58.4	86 19.9	28 6.5	- -
長与町	38 100.0	5 13.2	22 57.9	10 26.3	1 2.6	- -
時津町	30 100.0	5 16.7	15 50.0	9 30.0	1 3.3	- -
佐世保市	258 100.0	35 13.6	146 56.6	55 21.3	21 8.1	1 0.4
平戸市	28 100.0	4 14.3	17 60.7	6 21.4	1 3.6	- -
松浦市	19 100.0	2 10.5	13 68.4	1 5.3	3 15.8	- -
西海市	18 100.0	- -	10 55.6	8 44.4	- -	- -
小値賀町	4 100.0	- -	3 75.0	1 25.0	- -	- -
佐々町	12 100.0	2 16.7	6 50.0	3 25.0	1 8.3	- -
東彼杵町	8 100.0	1 12.5	5 62.5	2 25.0	- -	- -
川棚町	22 100.0	5 22.7	8 36.4	4 18.2	5 22.7	- -
波佐見町	12 100.0	- -	9 75.0	3 25.0	- -	- -
島原市	34 100.0	3 8.8	17 50.0	13 38.2	1 2.9	- -
雲仙市	36 100.0	4 11.1	24 66.7	7 19.4	1 2.8	- -
南島原市	66 100.0	21 31.8	32 48.5	8 12.1	5 7.6	- -
諫早市	134 100.0	25 18.7	71 53.0	28 20.9	10 7.5	- -
大村市	130 100.0	25 19.2	69 53.1	28 21.5	8 6.2	- -
対馬市	17 100.0	- -	9 52.9	8 47.1	- -	- -
壱岐市	25 100.0	7 28.0	13 52.0	3 12.0	2 8.0	- -
五島市	39 100.0	4 10.3	21 53.8	12 30.8	2 5.1	- -
新上五島町	24 100.0	4 16.7	13 54.2	4 16.7	3 12.5	- -
上記以外	13 100.0	1 7.7	6 46.2	5 38.5	- -	1 7.7

□ 健康状態・運動量の自己認識と運動継続意向

地域別で、健康状態認識が良く、運動不足感がやや低く、運動継続意向が高いのは「島原半島地域」となっており、年代別では「20歳代～50歳代」は健康状態認識が低く、運動不足感が高いものの、運動継続意向が低くなっている。

休日形態別では「完全週休2日制」は健康状態認識も良く、運動不足感がやや低く、運動継続意向が高くなっている。

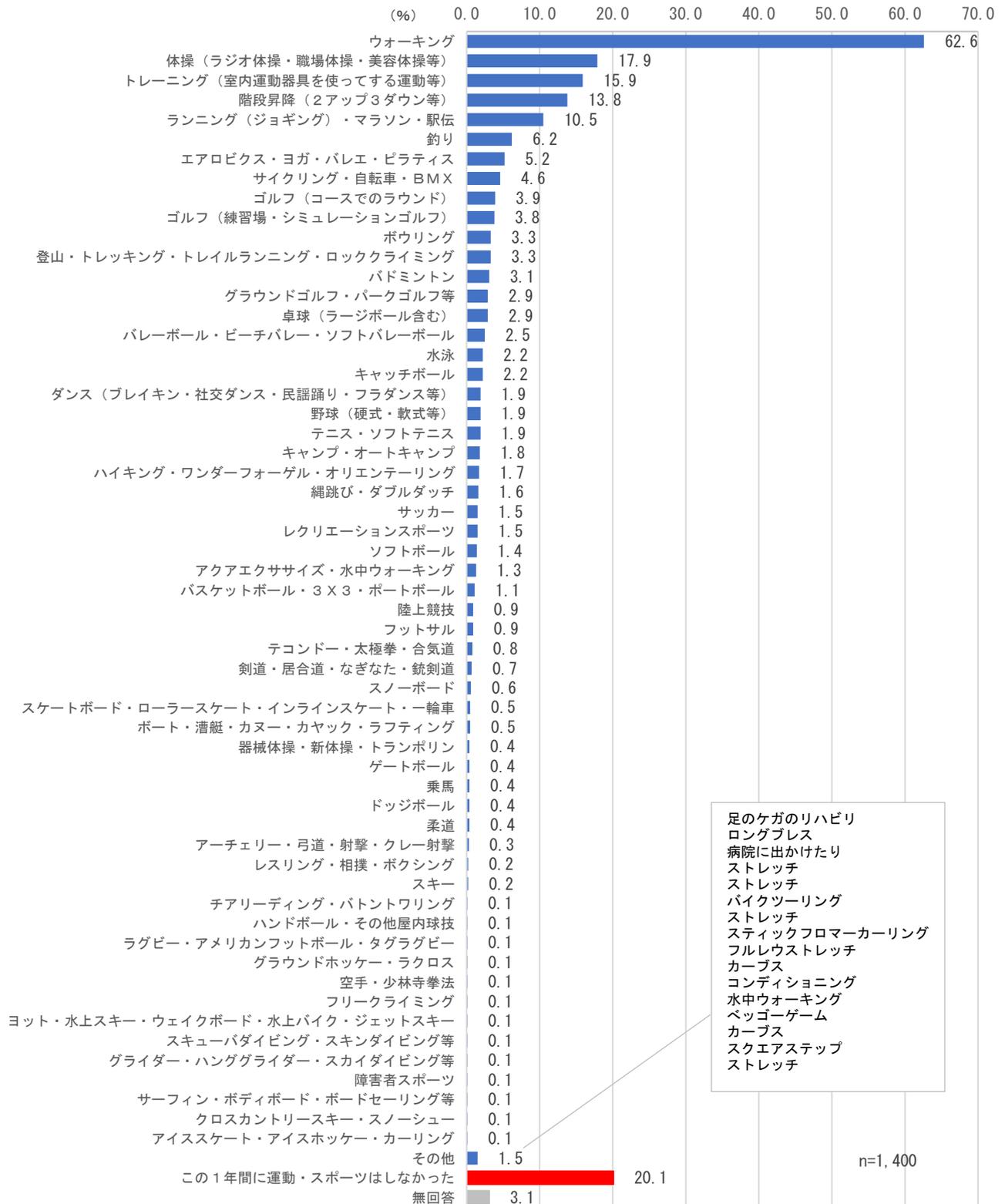


(4) あなたがこの1年間に行った運動やスポーツがあれば全部あげてください。(MA)

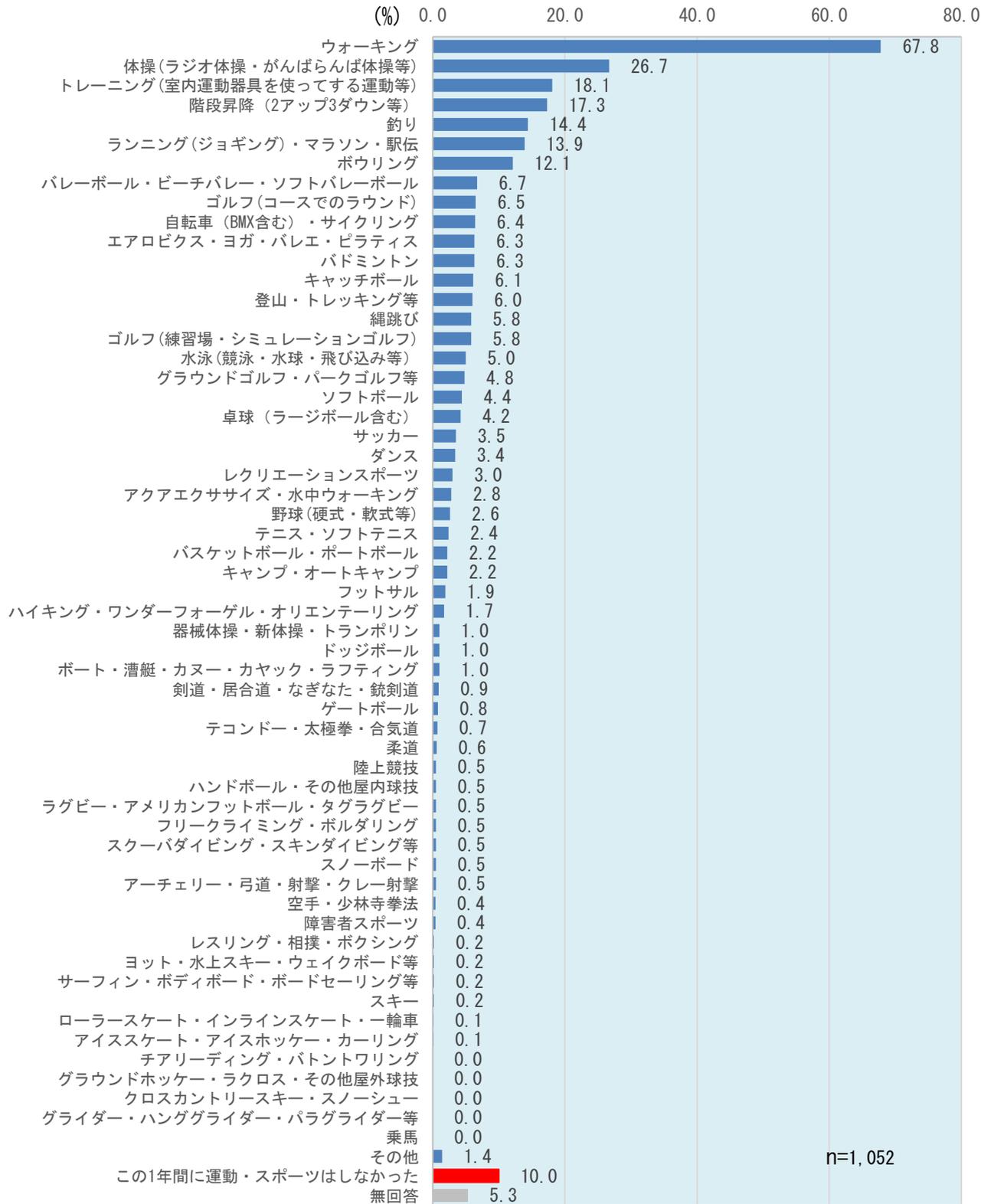
トップは「ウォーキング」が62.6%、「この1年間に運動・スポーツはしなかった」は20.1%、前回調査よりも10.1ポイント増加。

全体では、「ウォーキング（散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む）」が62.6%で最も多く、次いで「体操（ラジオ体操・職場体操・美容体操等）」が17.9%、「トレーニング（筋力トレーニング・トレッドミル（ランニングマシン）・室内運動器具を使ってする運動等）」が15.9%と続いており、前回調査調査と上位3項目の変化はない。

一方、「この1年間に運動・スポーツはしなかった」は20.1%と前回調査よりも10.1ポイント増加している。



【参考：前回調査（令和2年度）】



参考：上位3項目の属性別集計

■ウォーキング

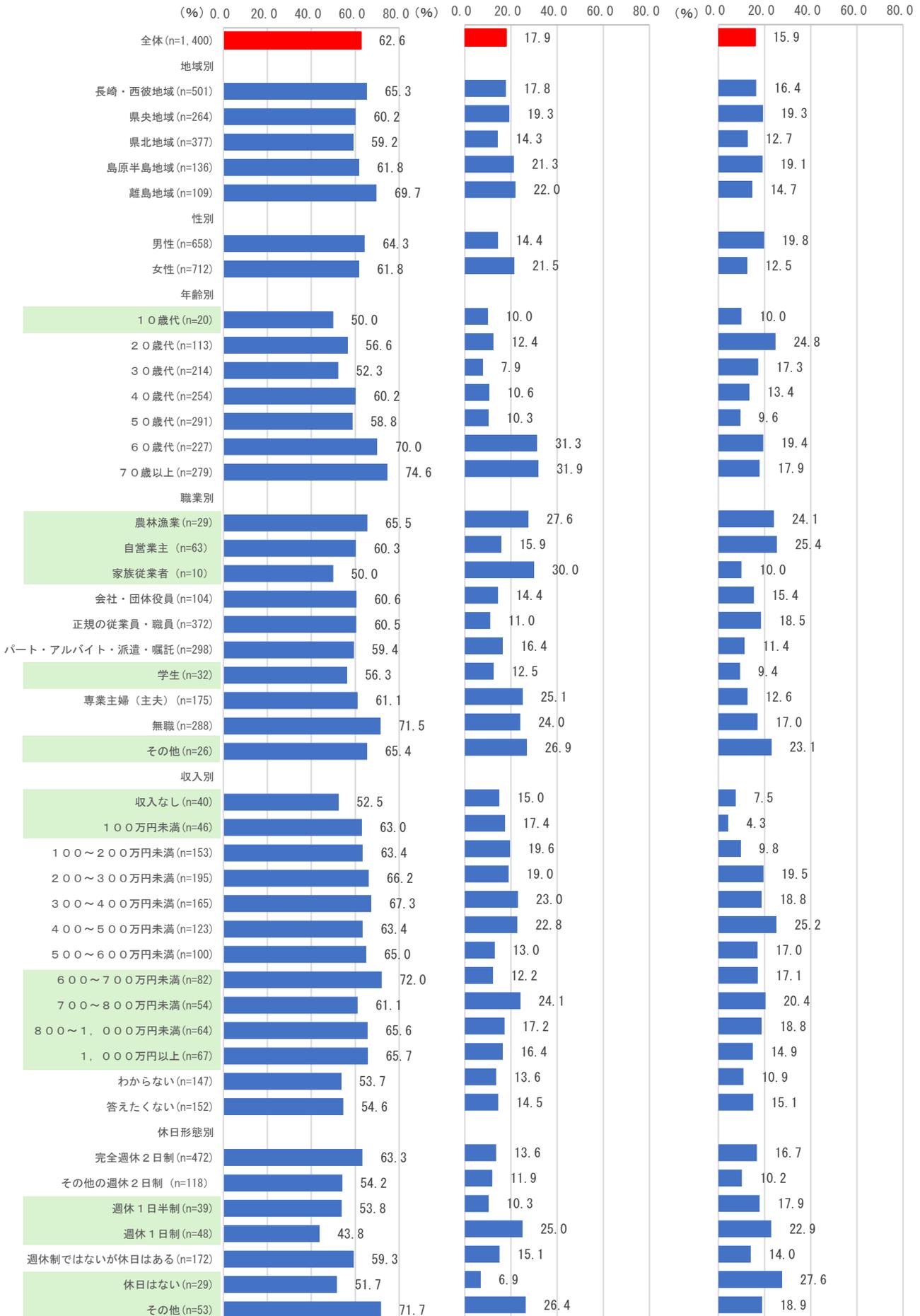
(散歩・ぶらぶら歩き・
一駅歩きなどを含む)

■体操

体操(ラジオ体操・職場体操・
美容体操等)

■トレーニング

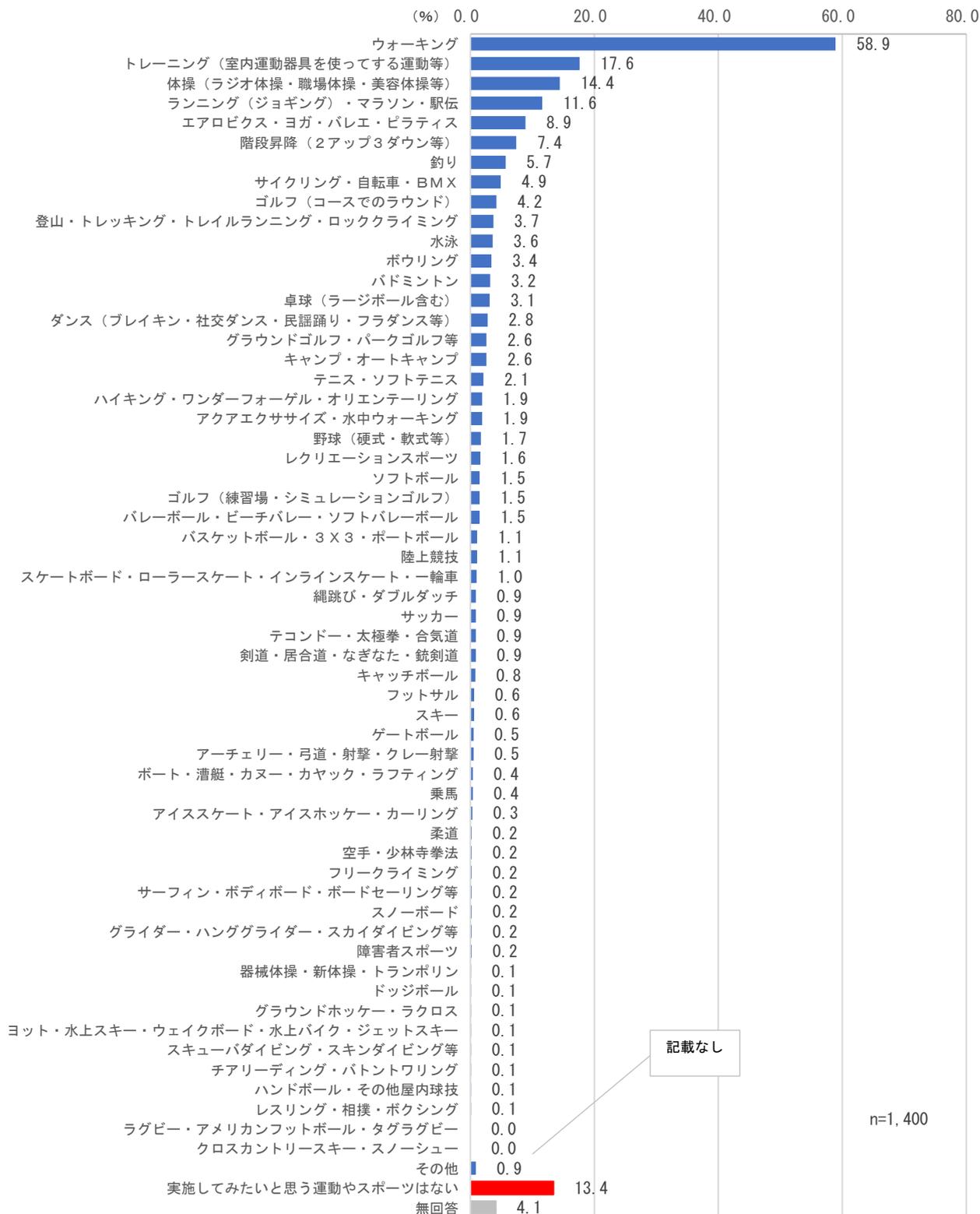
トレーニング(筋力トレーニング・
トレッドミル(ランニングマシン)・
室内運動器具を使ってする運動等)



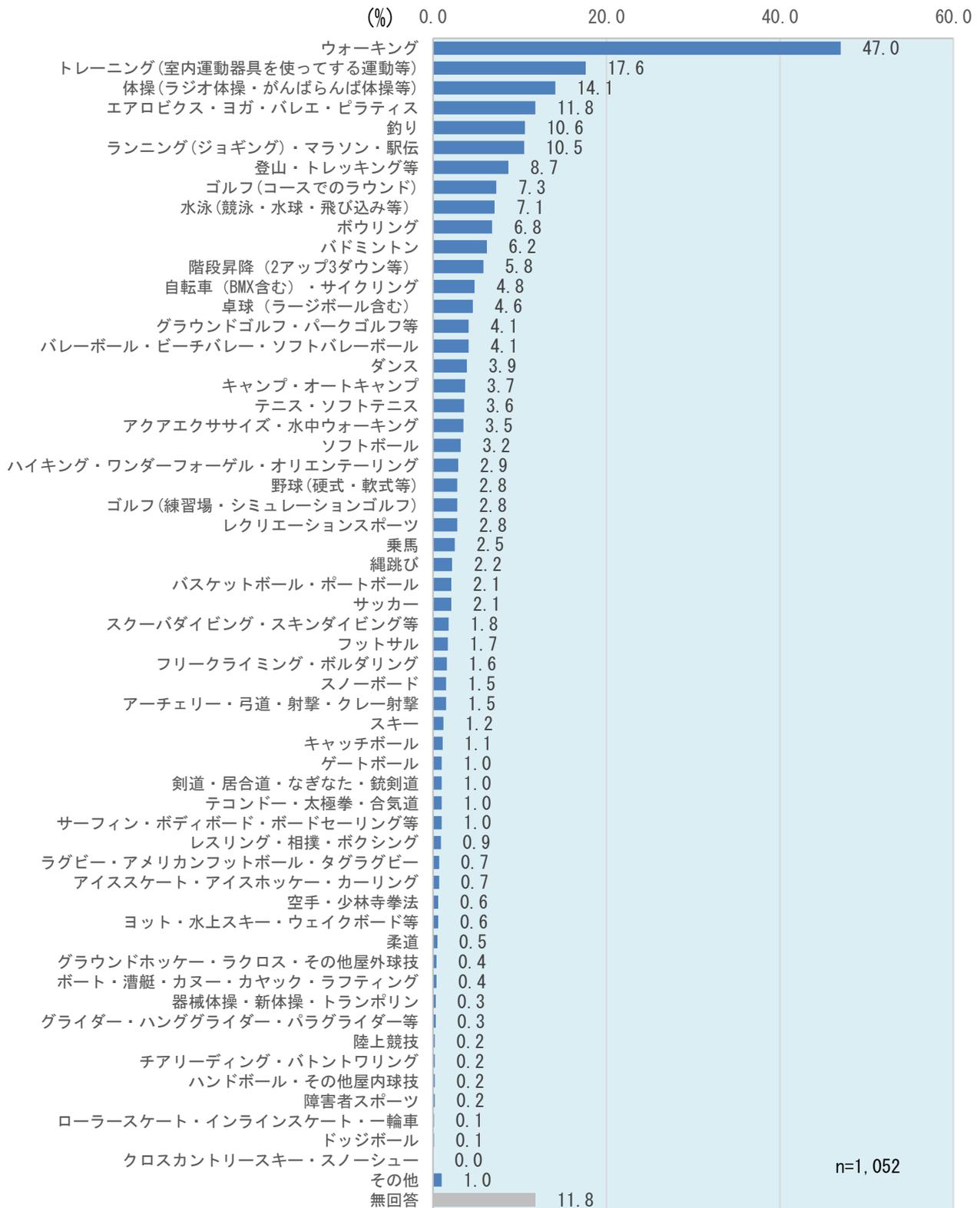
(5) 現在実施しているものを含め、これから最も実施してみたいと思う運動やスポーツを下記の種目名一覧の中から最大3つまで選んでください。(MA)

**トップは「ウォーキング」が50.1%、
「実施してみたいと思う運動やスポーツはない」は13.4%。**

全体では、「ウォーキング（散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む）」が58.9%で最も多く、次いで「トレーニング（筋力トレーニング・トレッドミル（ランニングマシン）・室内運動器具を使ってする運動等）」が17.6%、「体操（ラジオ体操・職場体操・美容体操等）」が14.4%と続いており、前回調査調査と上位3項目の変化はない。
一方、「実施してみたいと思う運動やスポーツはない」は13.4%となっている。



【参考：前回調査（令和2年度）】



参考：上位3項目の属性別集計

■ウォーキング

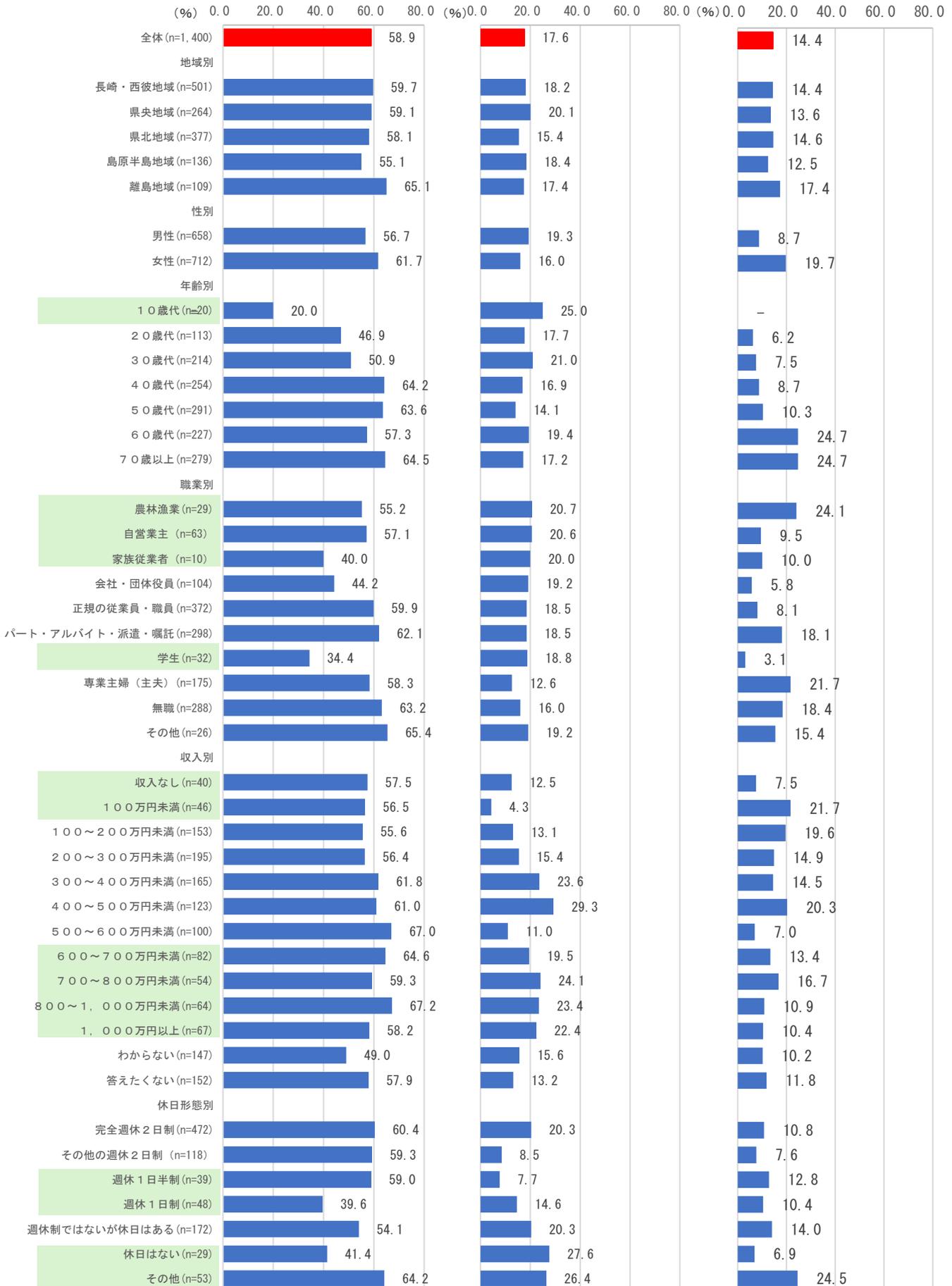
(散歩・ぶらぶら歩き・
一駅歩きなどを含む)

■トレーニング

トレーニング(筋力トレーニング・
トレッドミル(ランニングマシン)・
室内運動器具を使ってする運動等)

■体操

体操(ラジオ体操・職場体操・
美容体操等)



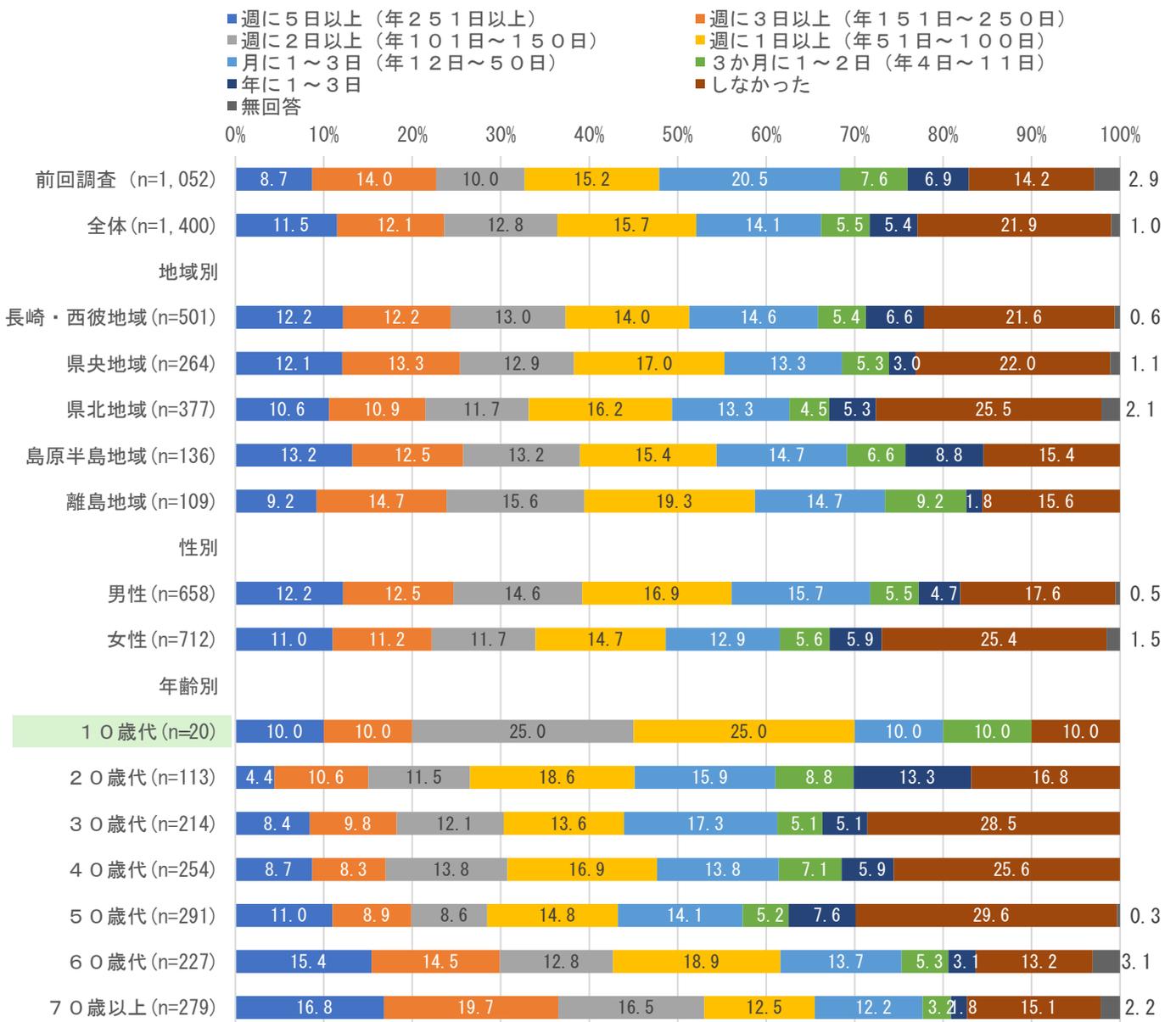
(6) この1年間に運動やスポーツを実施した日数を全部合わせると、何日くらいになりますか。(SA)

スポーツ実施率は52.1%、前回より4.2ポイント増加。
一方、「しなかった」は21.9%、前回より7.7ポイント増加。

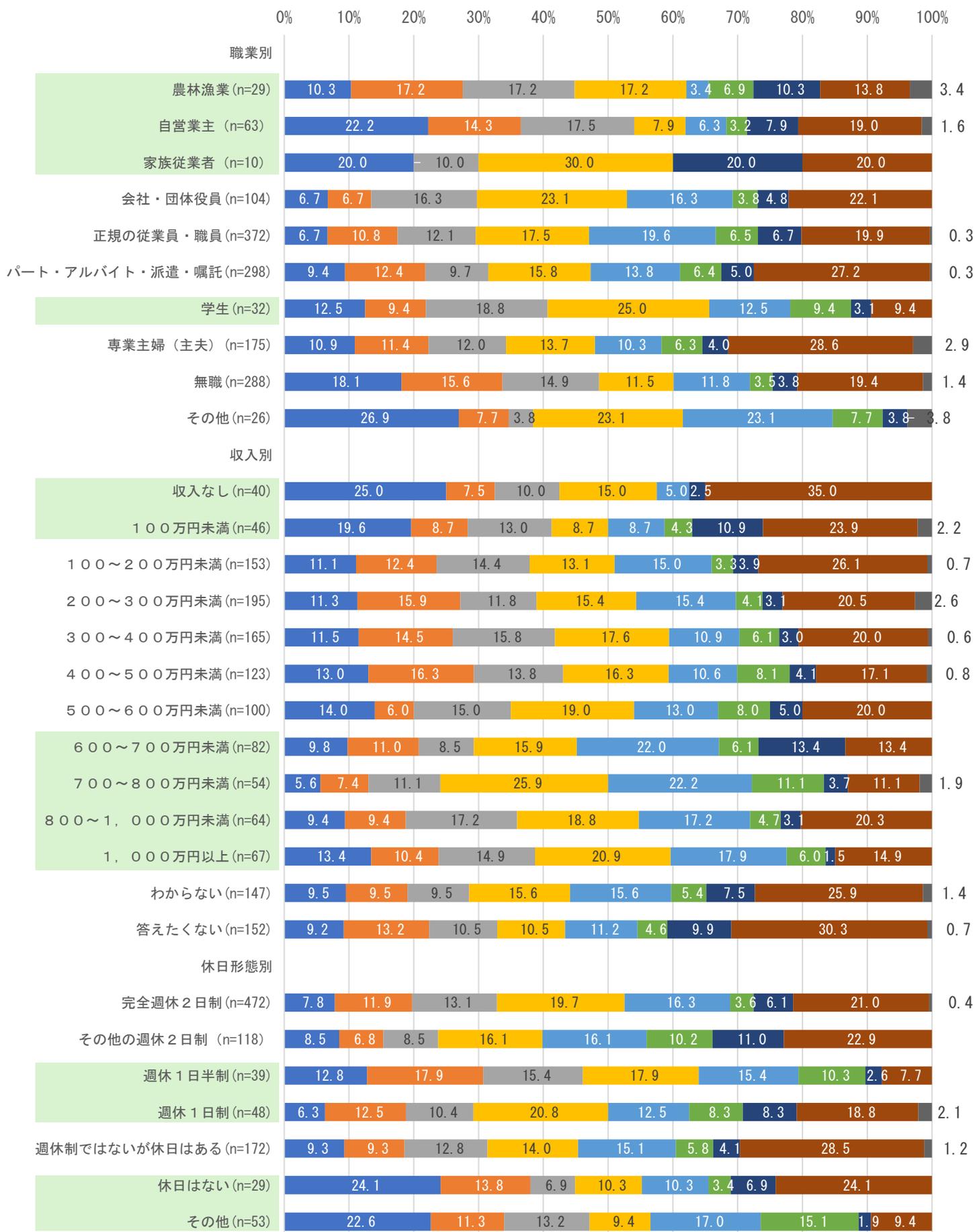
全体では、「しなかった」が21.9%で最も多く、次いで「週に1日以上(年51日~100日)」が15.7%、「月に1~3日(年12日~50日)」が14.1%の順で続いており、週1日以上のスポーツ実施率は52.1%(20歳以上は51.9%)となっている。

スポーツ実施率は前回調査の47.9%から4.0ポイント増加しているが、「しなかった」も前回調査の14.2%から7.8ポイント増加(20歳以上)している。

地域別	スポーツ実施率は「離島地域」が58.8%で最も高く、「県北地域」が49.4%で最も低く9.4ポイントの差がある。
性別	スポーツ実施率は「男性」が56.2%で「女性」が48.6%となっている。
年齢別	スポーツ実施率は「70歳以上」が65.5%で最も高く、次いで「60歳代」が61.6%、「40歳代」が47.7%と続き、「50歳代」が43.3%で最も低くなっている。
職業別	スポーツ実施率は「無職」が60.1%で最も高い。
収入別	スポーツ実施率は「400~500万円未満」・「500~600万円未満」が59.4%で最も高い。
休日形態別	スポーツ実施率は「完全週休2日制」が52.5%で最も高い。



- 週に5日以上 (年251日以上)
- 週に3日以上 (年151日~250日)
- 週に2日以上 (年101日~150日)
- 週に1日以上 (年51日~100日)
- 月に1~3日 (年12日~50日)
- 3か月に1~2日 (年4日~11日)
- 年に1~3日
- しなかった
- 無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

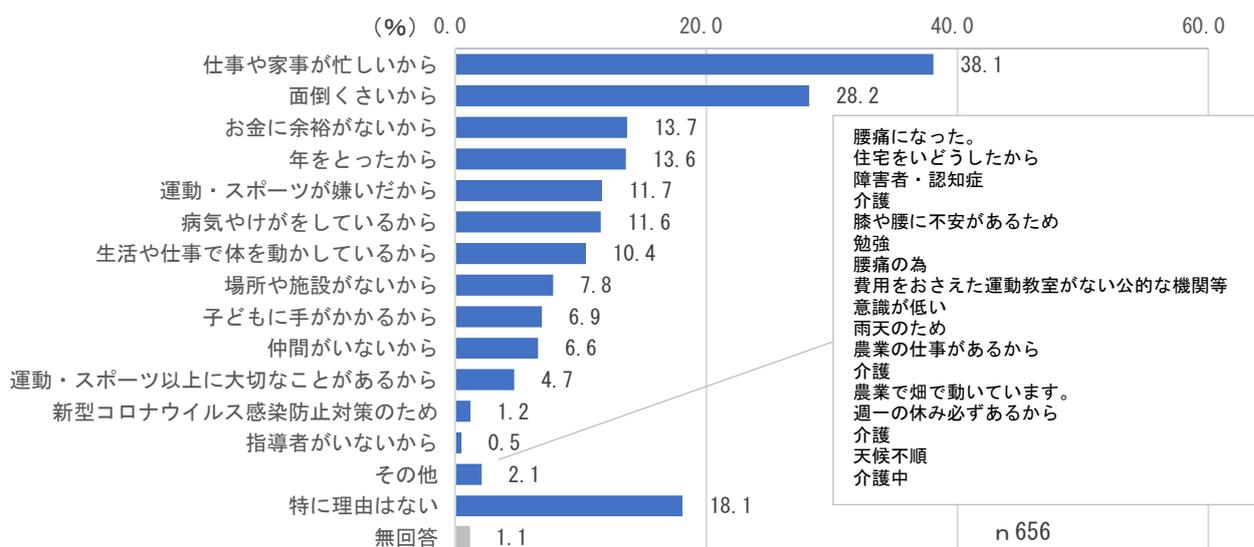
上段：度数 下段：%	合計	週に5日 以上（年 251日 以上）	週に3日 以上（年 151日 ～250 日）	週に2日 以上（年 101日 ～150 日）	週に1日 以上（年 51日～ 100 日）	月に1～ 3日（年 12日～ 50日）	3か月に 1～2日 （年4日 ～11 日）	年に1～ 3日	しなかつ た	無回答
長崎市	433 100.0	54 12.5	55 12.7	59 13.6	55 12.7	62 14.3	22 5.1	29 6.7	94 21.7	3 0.7
長与町	38 100.0	4 10.5	5 13.2	3 7.9	7 18.4	9 23.7	2 5.3	3 7.9	5 13.2	-
時津町	30 100.0	3 10.0	1 3.3	3 10.0	8 26.7	2 6.7	3 10.0	1 3.3	9 30.0	-
佐世保市	258 100.0	31 12.0	27 10.5	26 10.1	48 18.6	39 15.1	9 3.5	11 4.3	62 24.0	5 1.9
平戸市	28 100.0	2 7.1	2 7.1	5 17.9	3 10.7	4 14.3	3 10.7	1 3.6	7 25.0	1 3.6
松浦市	19 100.0	2 10.5	1 5.3	4 21.1	1 5.3	4 21.1	1 5.3	-	6 31.6	-
西海市	18 100.0	1 5.6	1 5.6	5 27.8	1 5.6	1 5.6	2 11.1	-	6 33.3	1 5.6
小値賀町	4 100.0	-	1 25.0	-	1 25.0	-	-	-	2 50.0	-
佐々町	12 100.0	-	2 16.7	2 16.7	1 8.3	-	1 8.3	2 16.7	4 33.3	-
東彼杵町	8 100.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	-	-	2 25.0	2 25.0	-
川棚町	22 100.0	3 13.6	5 22.7	-	4 18.2	1 4.5	-	3 13.6	6 27.3	-
波佐見町	12 100.0	-	2 16.7	1 8.3	2 16.7	1 8.3	1 8.3	1 8.3	3 25.0	1 8.3
島原市	34 100.0	2 5.9	1 2.9	2 5.9	9 26.5	6 17.6	4 11.8	3 8.8	7 20.6	-
雲仙市	36 100.0	5 13.9	7 19.4	9 25.0	3 8.3	3 8.3	-	4 11.1	5 13.9	-
南島原市	66 100.0	11 16.7	9 13.6	7 10.6	9 13.6	11 16.7	5 7.6	5 7.6	9 13.6	-
諫早市	134 100.0	18 13.4	18 13.4	16 11.9	19 14.2	20 14.9	8 6.0	3 2.2	31 23.1	1 0.7
大村市	130 100.0	14 10.8	17 13.1	18 13.8	26 20.0	15 11.5	6 4.6	5 3.8	27 20.8	2 1.5
対馬市	17 100.0	3 17.6	-	2 11.8	4 23.5	3 17.6	1 5.9	1 5.9	3 17.6	-
壱岐市	25 100.0	2 8.0	5 20.0	3 12.0	3 12.0	5 20.0	1 4.0	-	6 24.0	-
五島市	39 100.0	4 10.3	7 17.9	5 12.8	9 23.1	5 12.8	5 12.8	1 2.6	3 7.7	-
新上五島町	24 100.0	1 4.2	3 12.5	7 29.2	4 16.7	3 12.5	3 12.5	-	3 12.5	-
上記以外	13 100.0	-	-	1 7.7	2 15.4	4 30.8	-	-	6 46.2	-

(7) 週に1日以上（年51日～100日）運動・スポーツを実施できなかった理由は何ですか。主なものを3つまで選んでください。(MA)

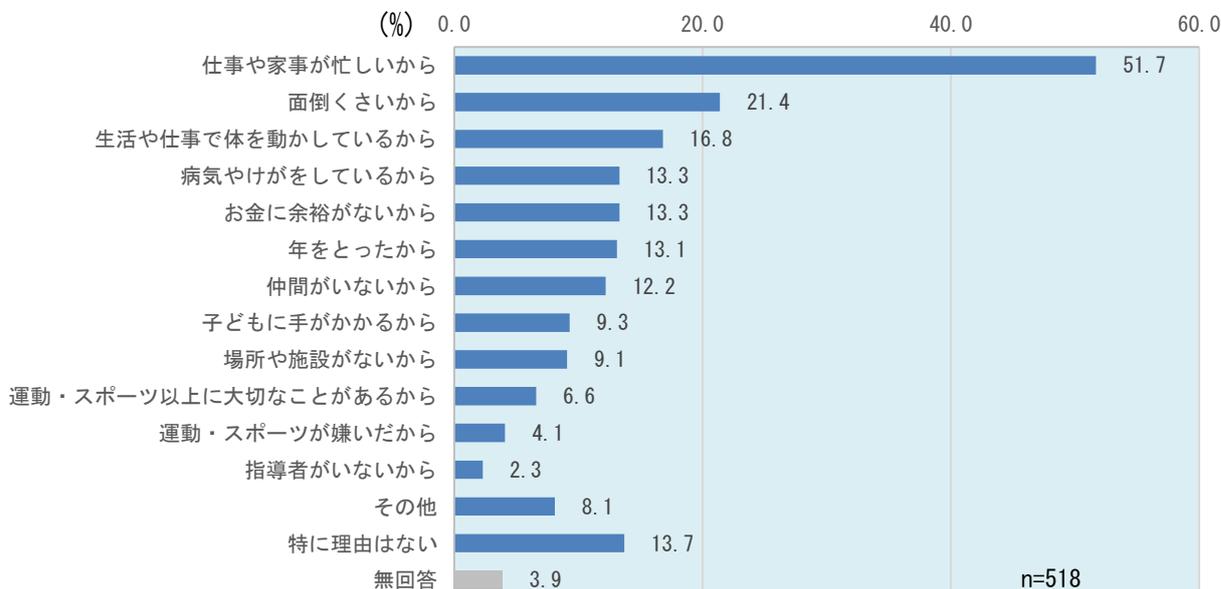
「仕事や家事が忙しいから」が38.1%でトップ。

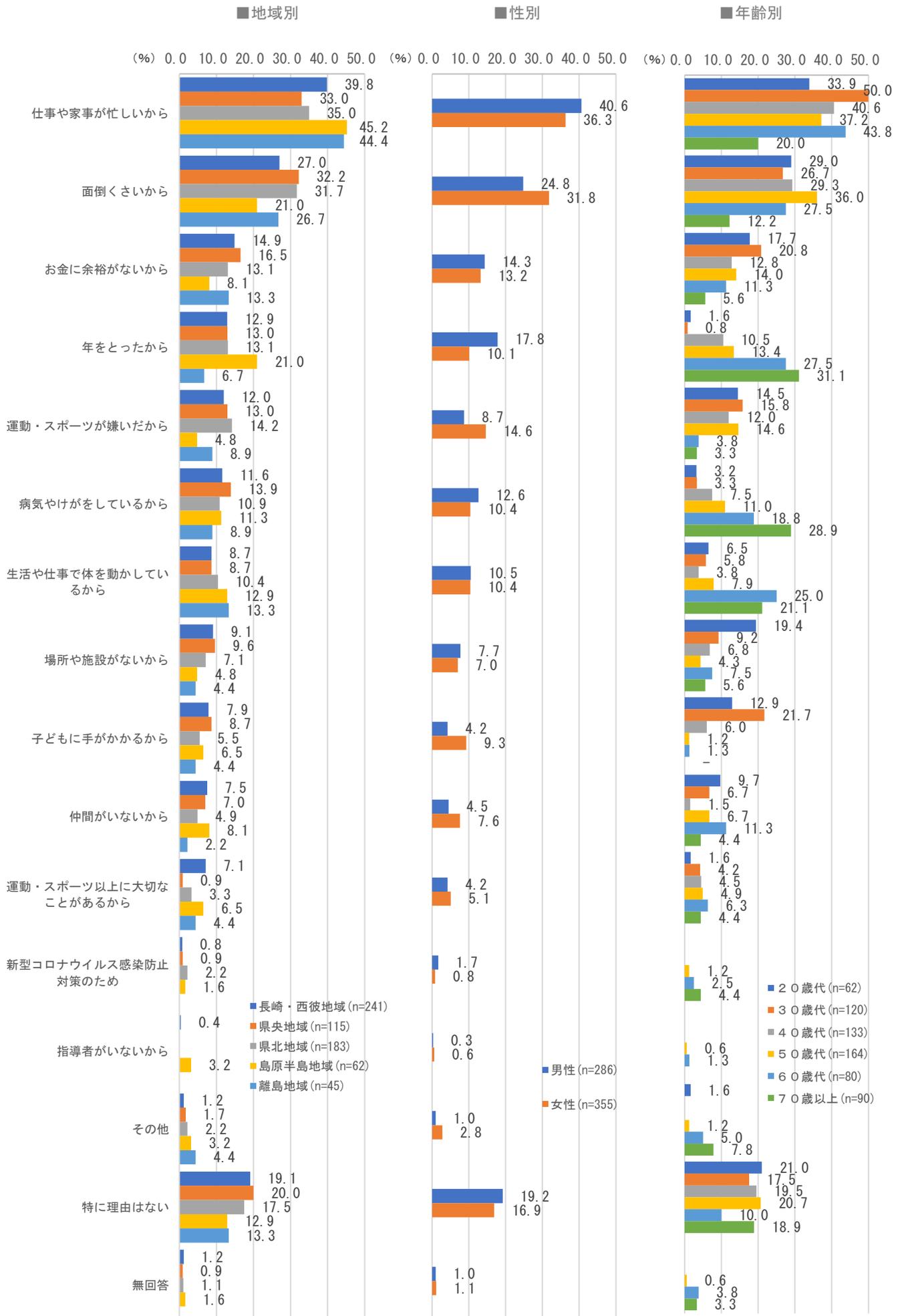
全体では、「仕事や家事が忙しいから」が38.1%で最も多く、次いで「面倒くさいから」が28.2%、「お金の余裕がないから」が13.7%の順で続いている。また、上位2項目は前回調査と変わらないが、「仕事や家事が忙しいから」は51.7%から13.6ポイント減少している。一方、「特に理由はない」が18.1%と前回調の13.7%から4.4ポイント増加となっている。

地域別	上位項目で全体の傾向との相違は「島原半島地域」で「年を取ったから」が2位項目となっている。
性別	上位項目で全体の傾向との相違は「女性」は「運動・スポーツが嫌いだから」が3位項目となっている。
年齢別	年齢での傾向がみられるのは「年をとったから」「病気やけがをしているから」は年齢の上昇とともに増加している。(10歳代は母数が著しく少ないため表記していない)
職業別	母数にバラツキがあり、著しく少ないものが多いため個別の分析は行っていない。
収入別	
休日形態別	



【参考：前回調査（令和2年度）】





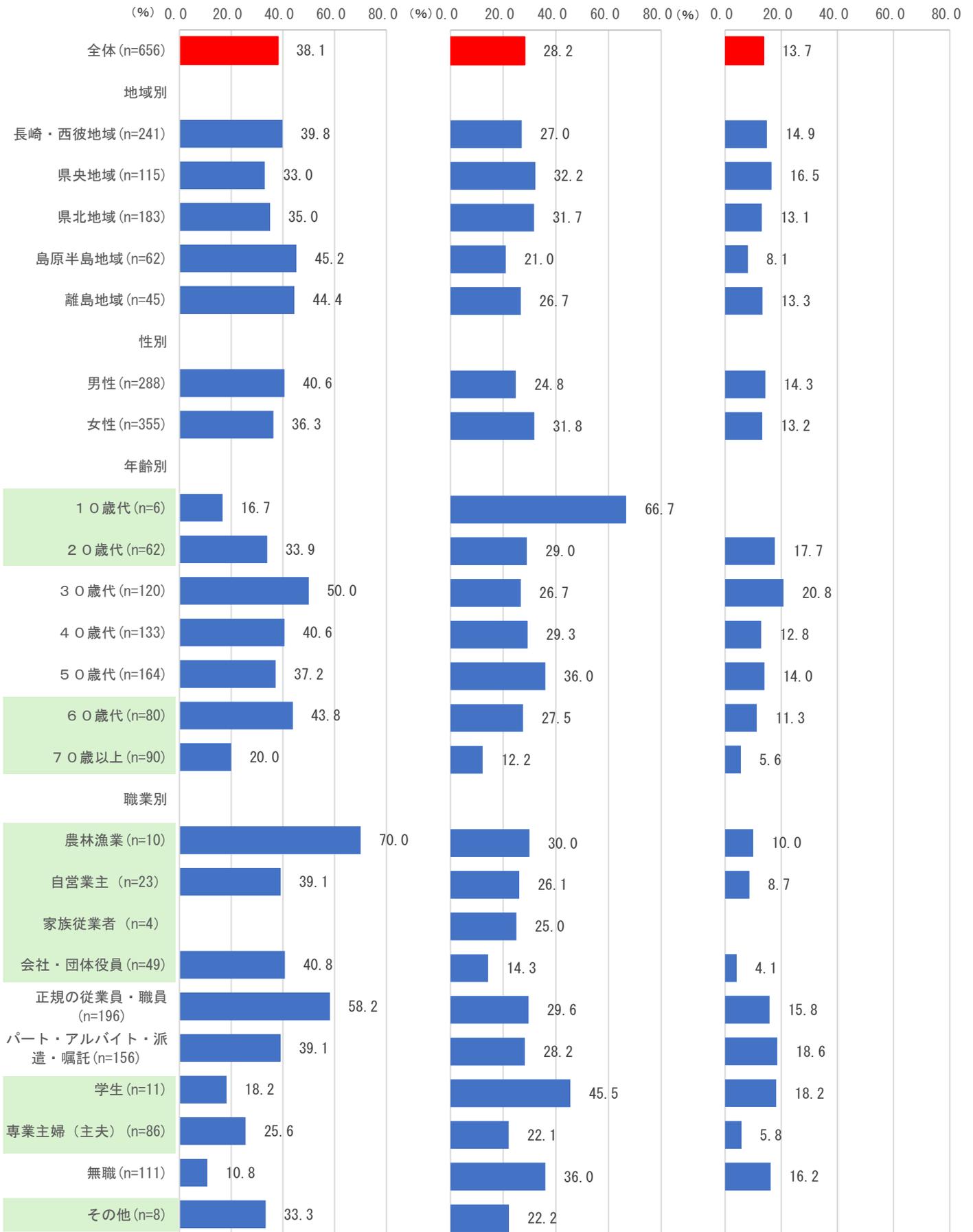
参考：上位3項目の属性別集計

※市町別、「収入別」、「休日形態別」は母数が小さなものが多いため表示していない。

■仕事や家事が忙しいから

■面倒くさいから

■お金に余裕がないから

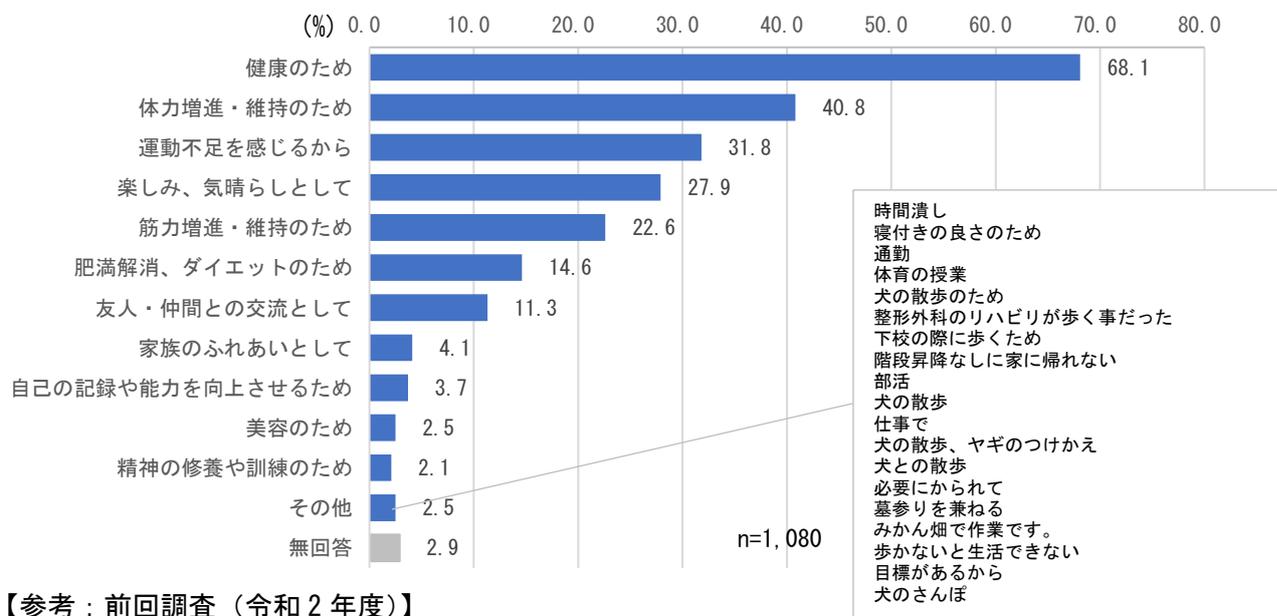


(8) この1年間に、あなたが運動やスポーツを実施したのはどのような理由からですか。主なものを3つまで選んでください。(MA)

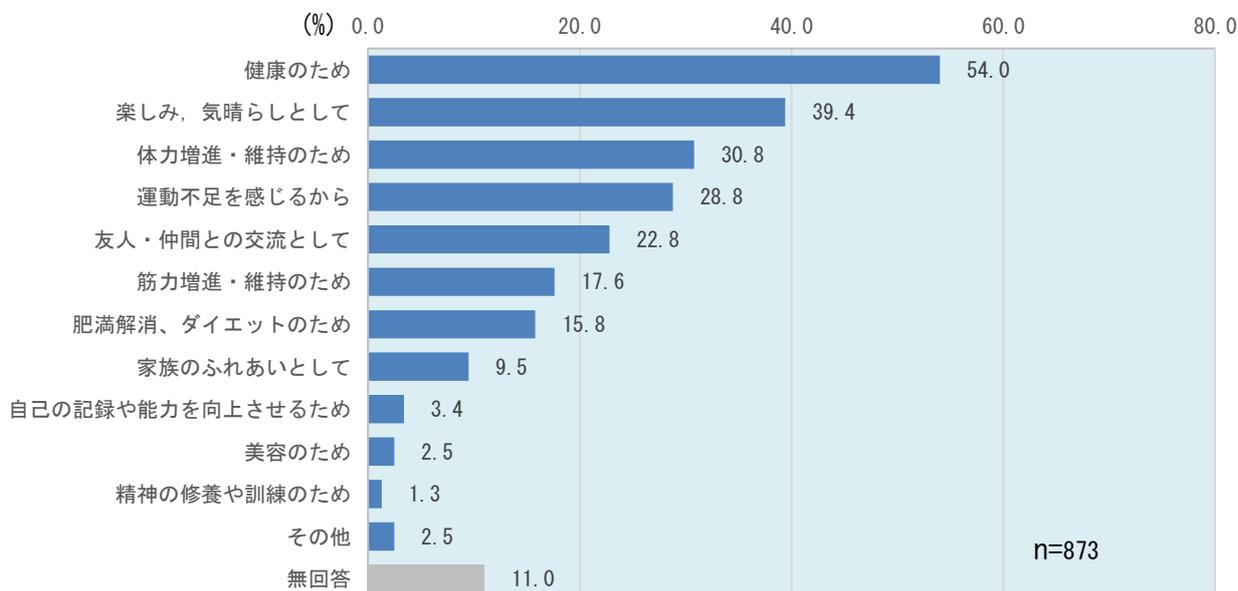
「健康のため」が68.1%でトップ。

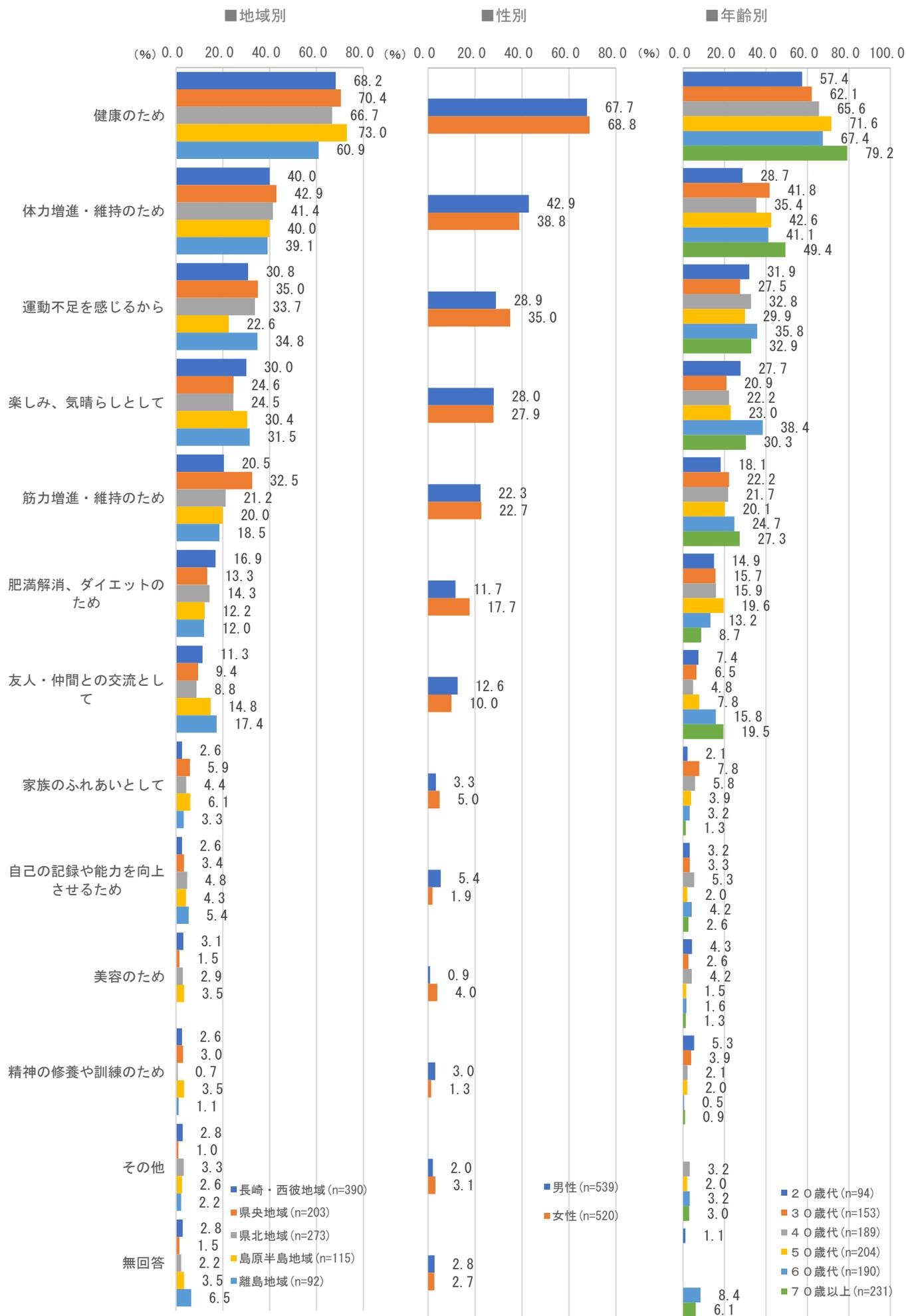
全体では、「健康のため」が68.1%で最も多く、次いで「体力増進・維持のため」が40.8%、「運動不足を感じるから」が31.8%の順で続いている。また、前回調査の「健康のため」は54.0%から14.1ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられない。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられない。
年齢別	全体の傾向との大きな相違はみられず、「健康のため」では年齢の上昇とともに増加傾向にある。(10歳代は母数が著しく少ないため表記していない)
職業別	母数にバラツキがあり、著しく少ないものが多いため個別の分析は行っていない。
収入別	
休日形態別	



【参考：前回調査（令和2年度）】

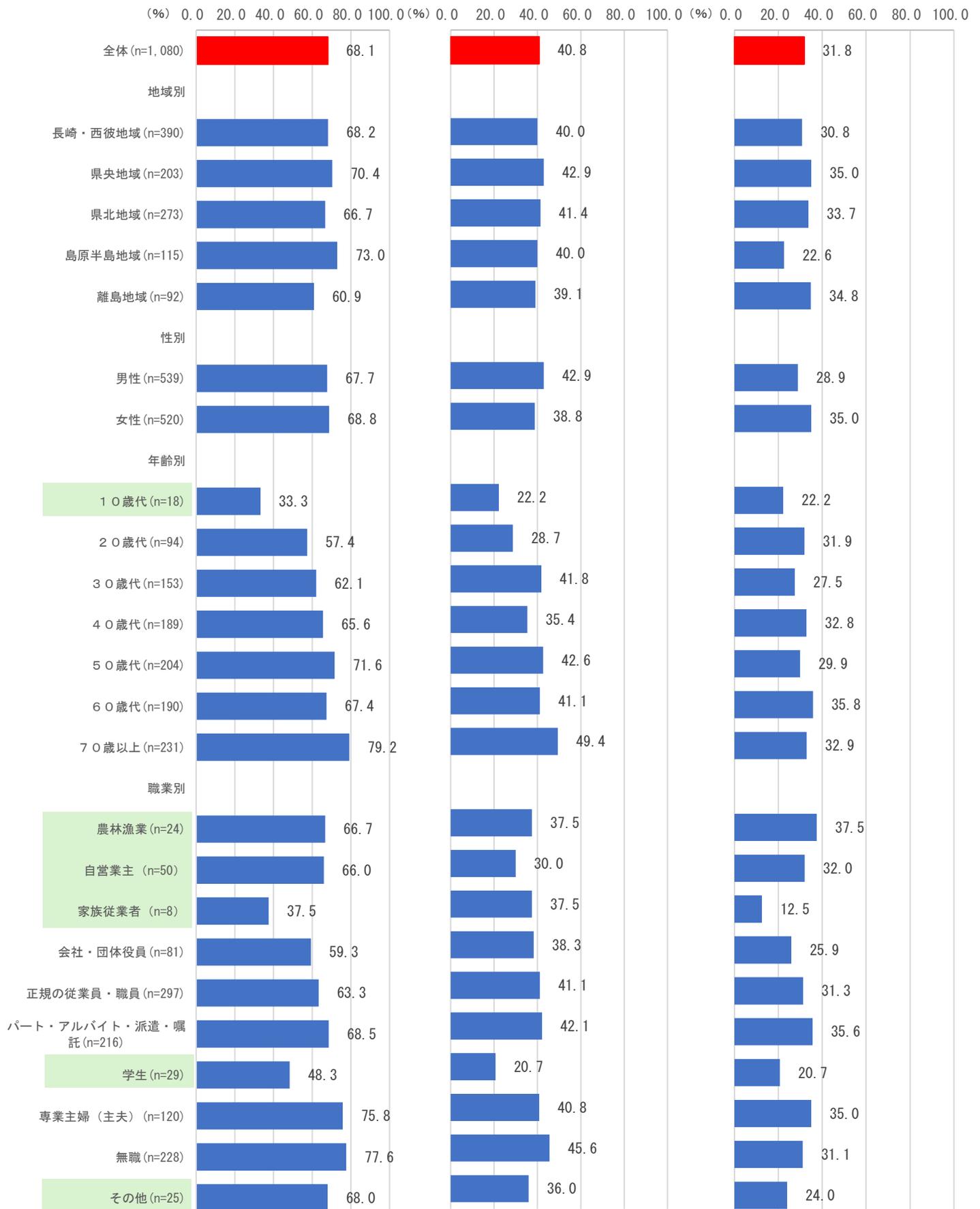




参考：上位3項目の属性別集計

※「市町別」、「収入別」、「休日形態別」は母数が小さなものが多いため表示していない。

■健康のため ■体力増進・維持のため ■運動不足を感じるから

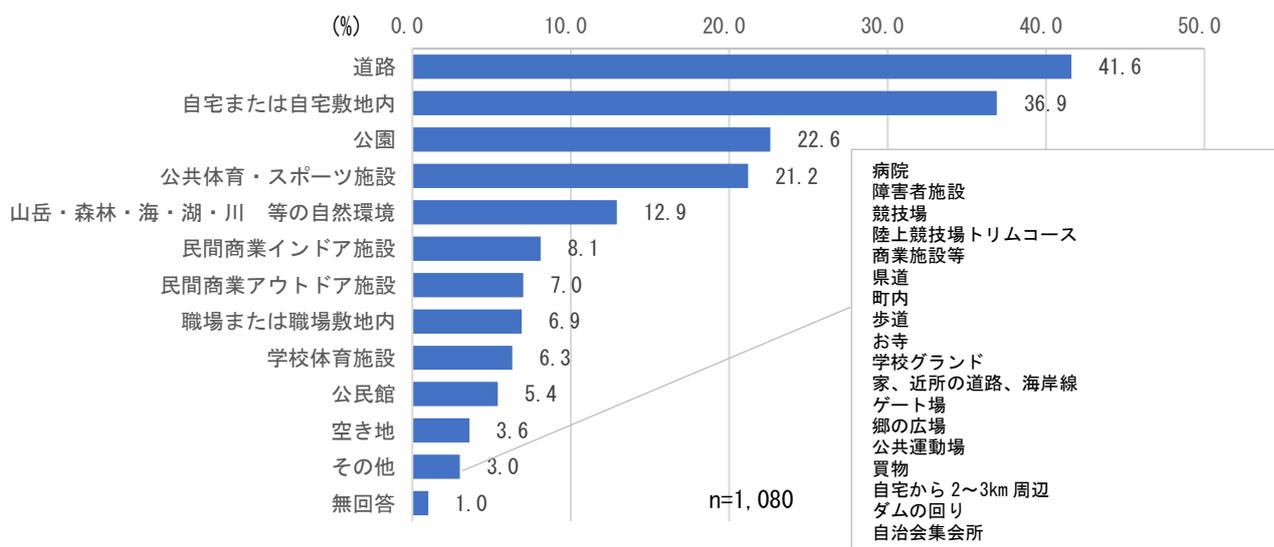


(9) この1年間に、運動・スポーツをどこで実施しましたか。主なものを3つまで選んでください。(MA)

「道路」が41.6%でトップ。前回調査より7.0ポイント増加！

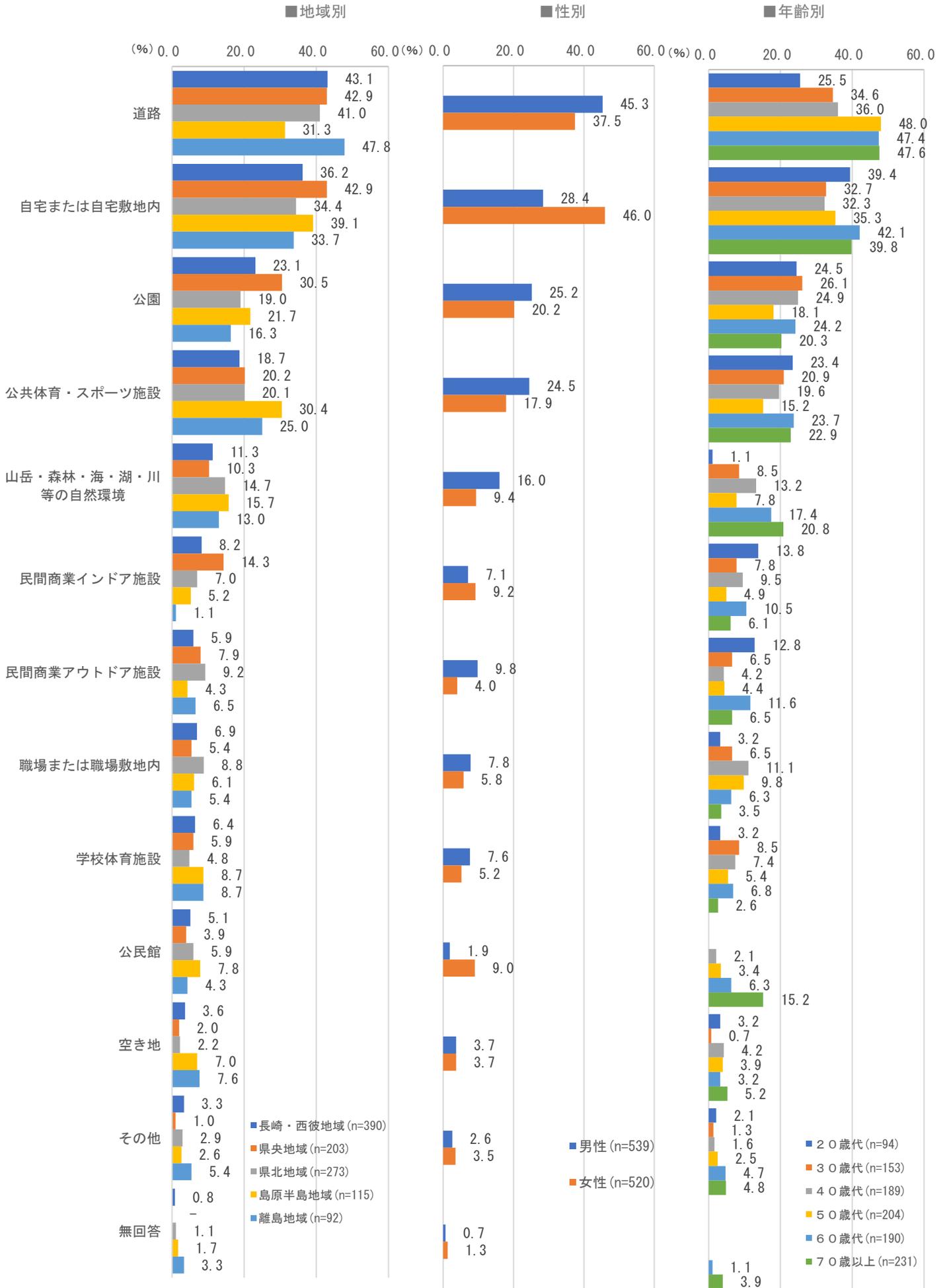
全体では、「道路」が41.6%で最も多く、次いで「自宅または自宅敷地内」が36.9%、「公園」が22.6%の順で続いている。また、前回調査の「道路」は37.6%から4.0ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられない。
性別	全体の傾向との相違は「女性」は「自宅または自宅敷地内」が1位項目となっている。
年齢別	全体の傾向との大きな相違は「20歳代」は「自宅または自宅敷地内」が1位項目となっている。また、1位項目の「道路」は年代の上昇に伴い高くなる傾向がみられる。(10歳代は母数が著しく少ないため表記していない)
職業別 収入別 休日形態別	母数にバラツキがあり、著しく少ないものが多いため個別の分析は行っていない。



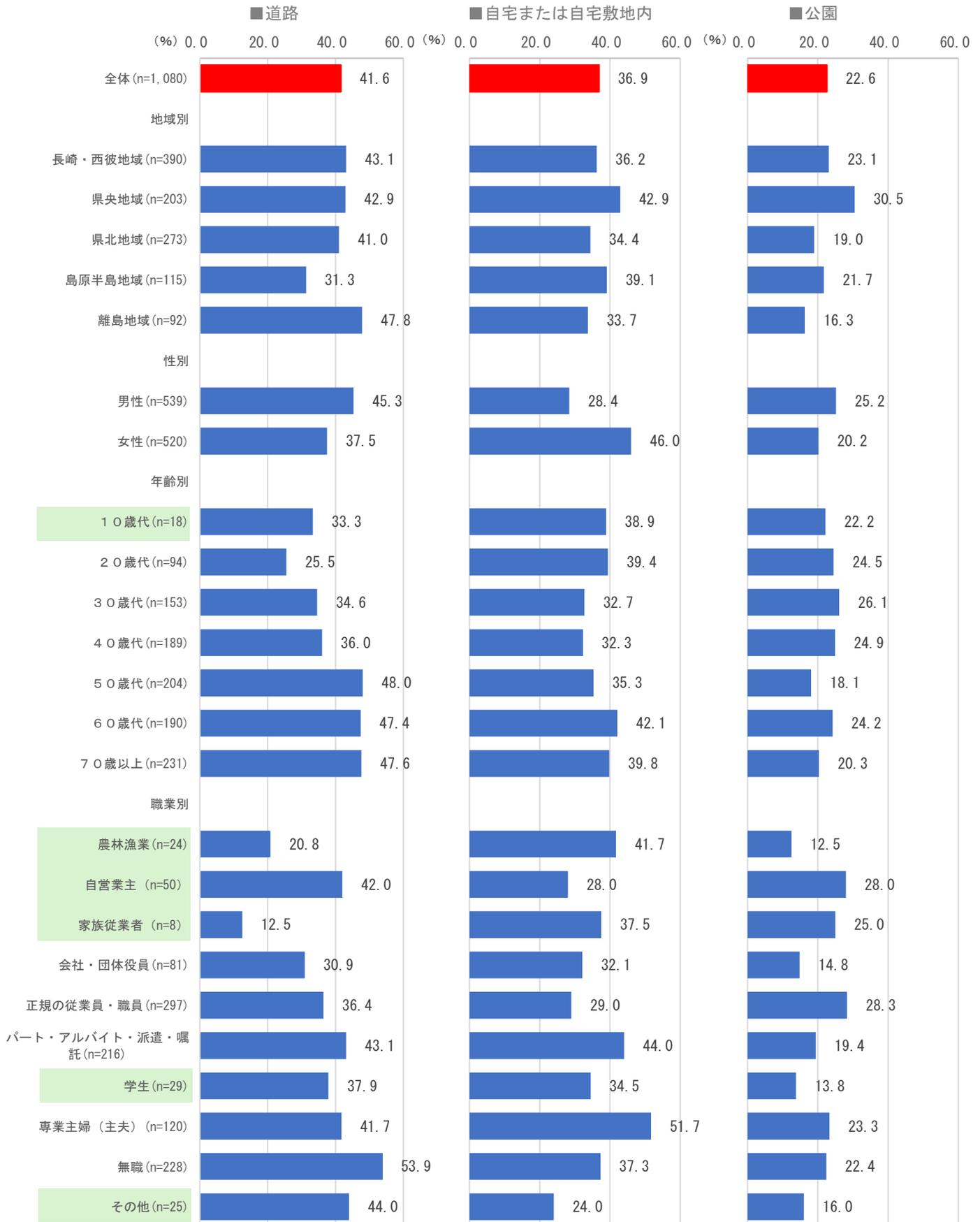
【参考：前回調査（令和2年度）】





参考：上位3項目の属性別集計

※「市町別」、「収入別」、「休日形態別」は母数が小さなものが多いため表示していない。

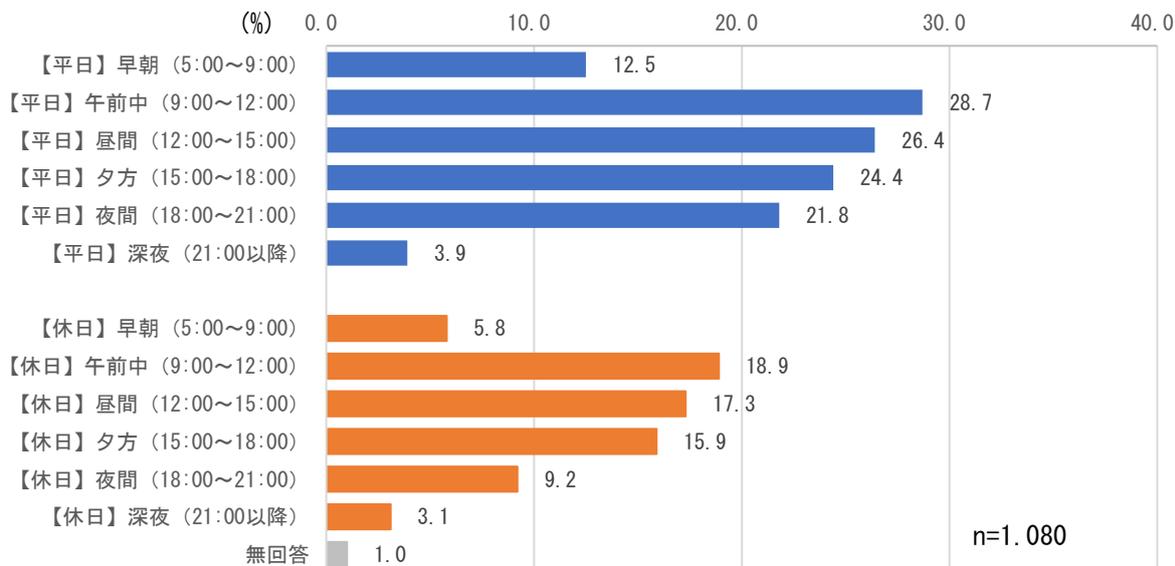


(10) この1年間に、運動・スポーツをどの時間帯に実施しましたか。主なものを3つまで選んでください。(MA)

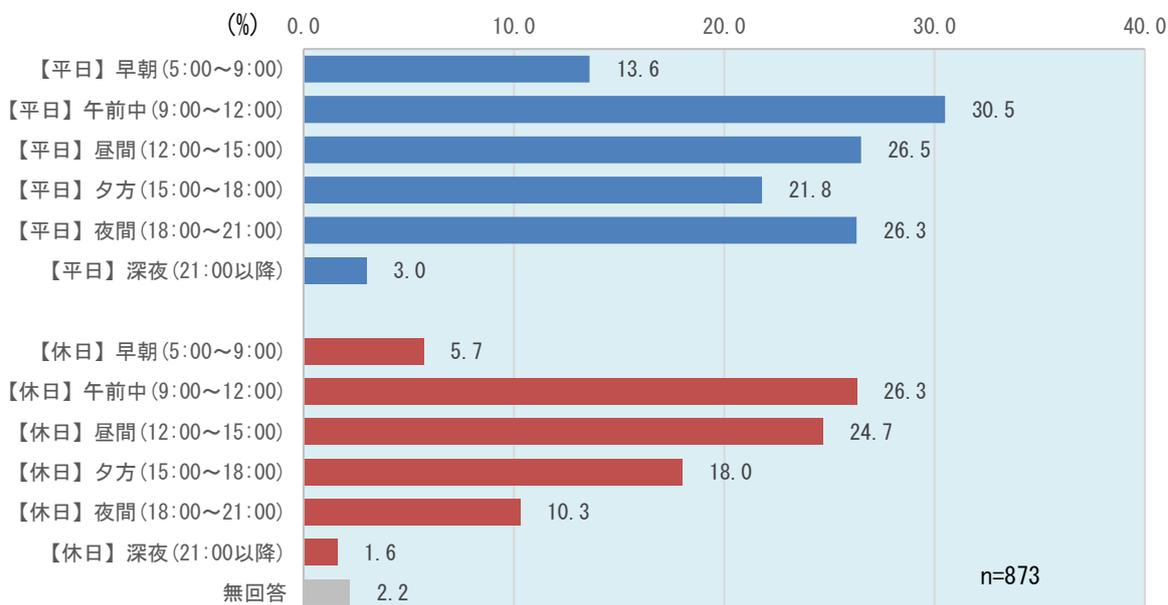
「平日午前中」が28.7%でトップ。前回調査比較で「平日夕方」2.6ポイント増加、「休日午前中」「休日昼間」は7.4ポイント減少！

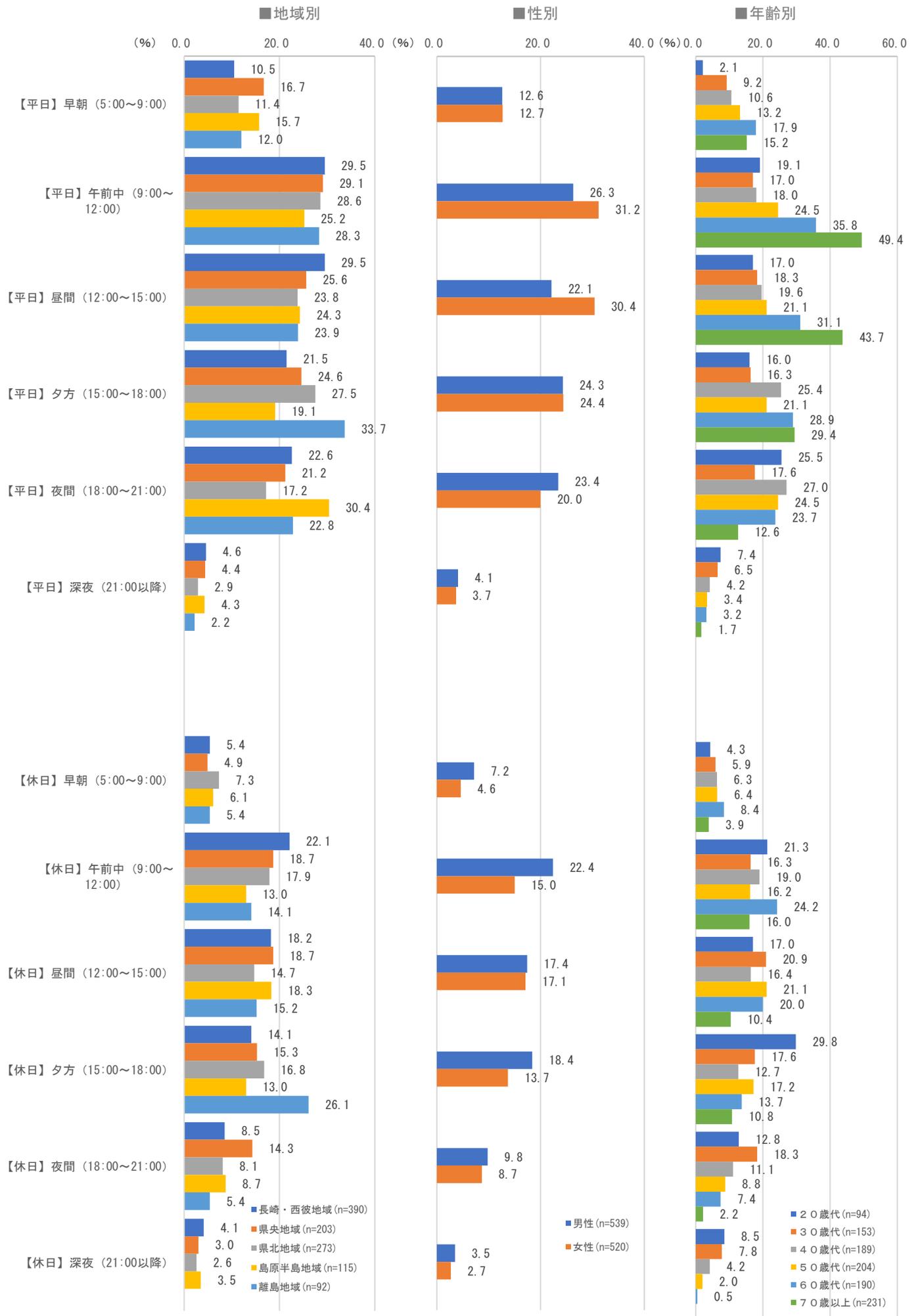
全体では、「【平日】午前中(9:00~12:00)」が28.7%で最も多く、次いで「【平日】昼間(12:00~15:00)」が26.4%、「【平日】夕方(15:00~18:00)」が24.4%の順で続いている。また、前回調査との比較で変化量の大きいのは平日の「夜間(18:00~21:00)」が4.5ポイント減少、休日で「午前中(9:00~12:00)」、「昼間(12:00~15:00)」が7.4ポイント減少している。

地域別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが「【平日】夕方(15:00~18:00)」で「離島地域」、「【平日】夜間(18:00~21:00)」で「島原半島地域」がやや高くなっている。
性別	性別での比較で「女性」は「【平日】午前中(9:00~12:00)」、「【平日】昼間(12:00~15:00)」、「男性」は「【休日】午前中(9:00~12:00)」「【休日】夕方(15:00~18:00)」がやや高くなっている。
年齢別	平日、休日ともに「夜間(18:00~21:00)」「深夜(21:00以降)」は年齢の上昇とともに減少傾向がみられる。(10歳代は母数が著しく少ないため表記していない)
職業別 収入別 休日形態別	母数にバラツキがあり、著しく少ないものが多いため個別の分析は行っていない。



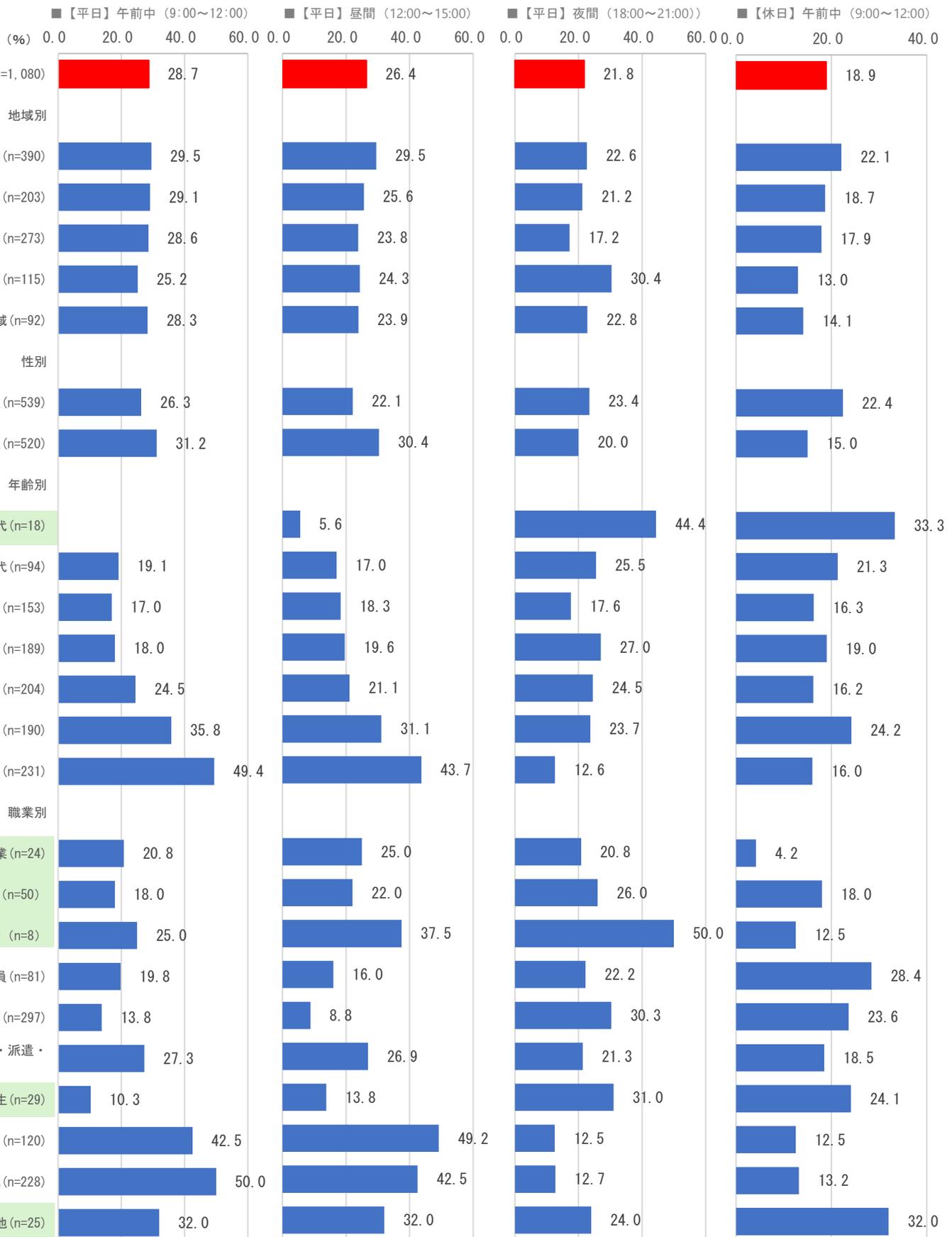
【参考：前回調査(令和2年度)】





参考：上位4項目の属性別集計

※「市町別」、「収入別」、「休日形態別」は母数が小さなものが多いため表示していない。

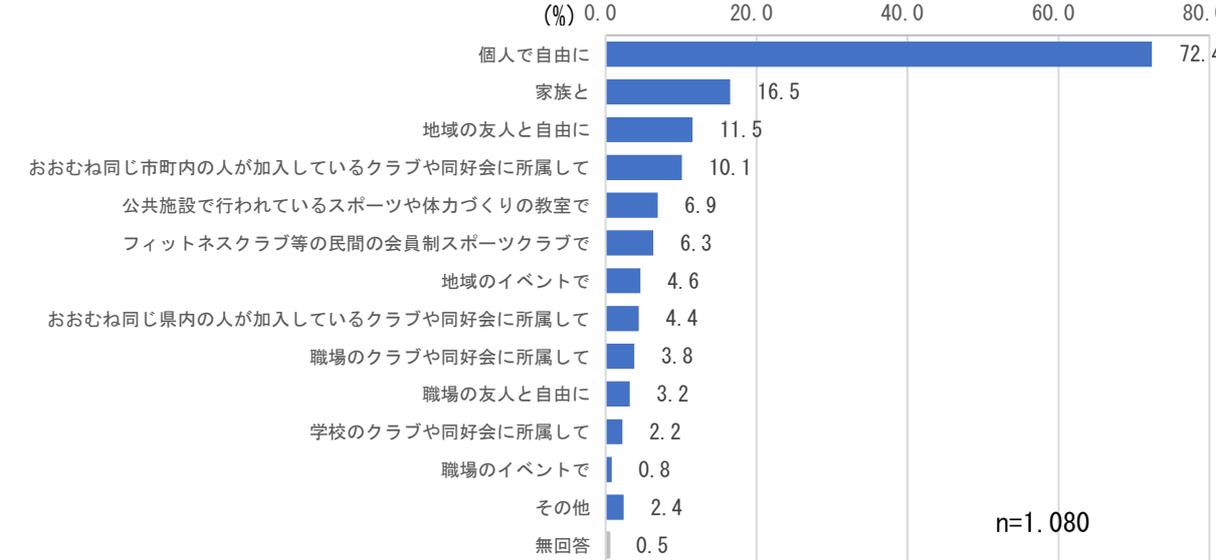


(11) この1年間に、運動・スポーツをどのような形で実施しましたか。主なものを3つまで選んでください。(MA)

**「個人で自由に」が72.4%でトップ。
前回調査比較で「地域の友人と自由に」「家族と」など複数での実施が減少傾向！**

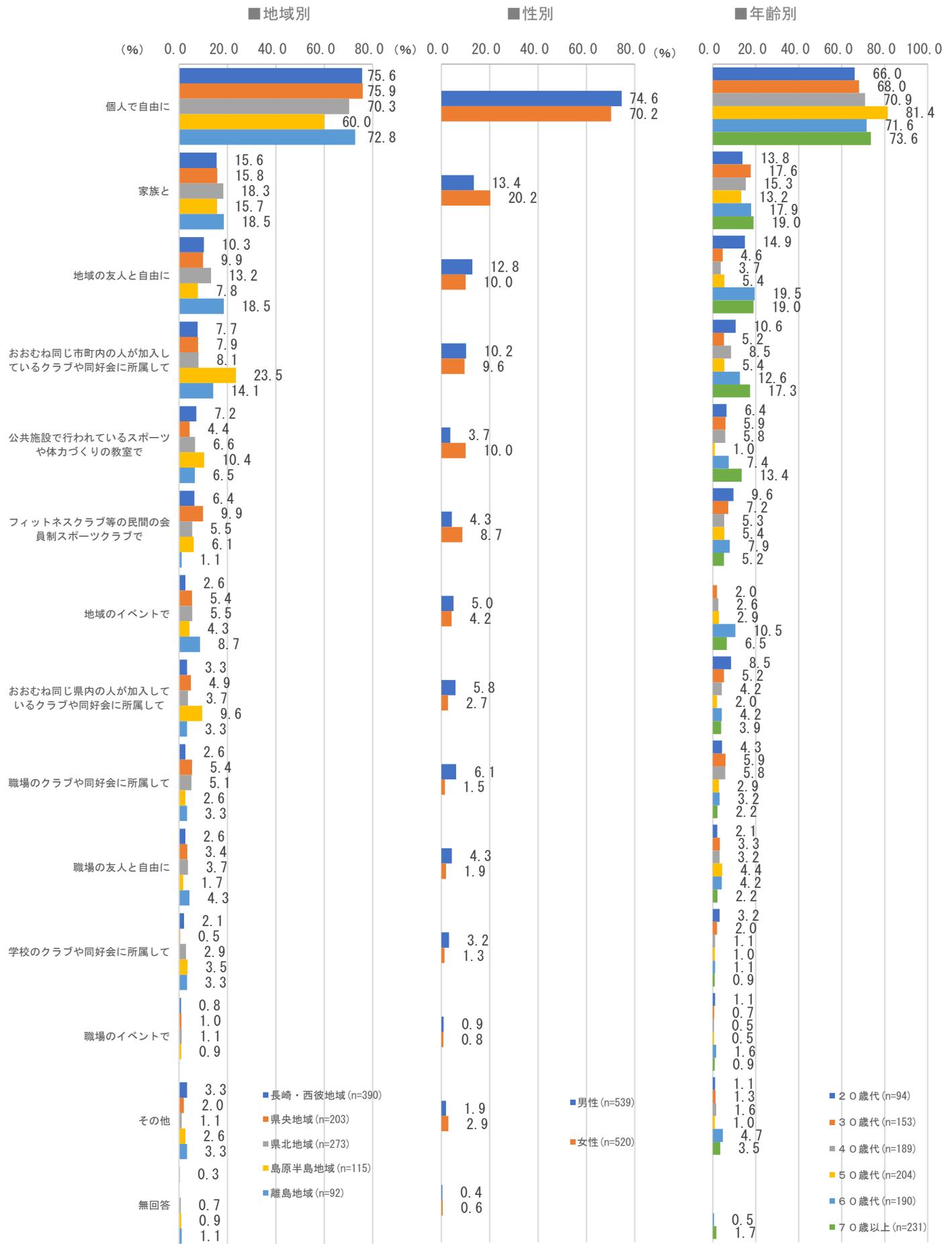
全体では、「個人で自由に」が72.4%で最も多く、次いで「家族と」が16.5%、「地域の友人と自由に」が11.5%の順で続いている。また、前回調査との比較で変化量の大きいのは「個人で自由に」が7.1ポイント増加、「地域の友人と自由に」が6.6ポイント、「家族と」が6.5ポイント減少している。

地域別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
性別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、性別での比較でやや差が表れているのは「女性」は「家族と」「フィットネスクラブ等の民間の会員制スポーツクラブで」で「男性」よりも6ポイント以上高くなっている。
年齢別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、年齢別で「地域の友人と自由に」は「20歳代」「60歳代」「70歳以上」は他の年代より10ポイント以上高くなっている。(10歳代は母数が著しく少ないため表記していない)
職業別 収入別 休日形態別	母数にバラツキがあり、著しく少ないものが多いため個別の分析は行っていない。



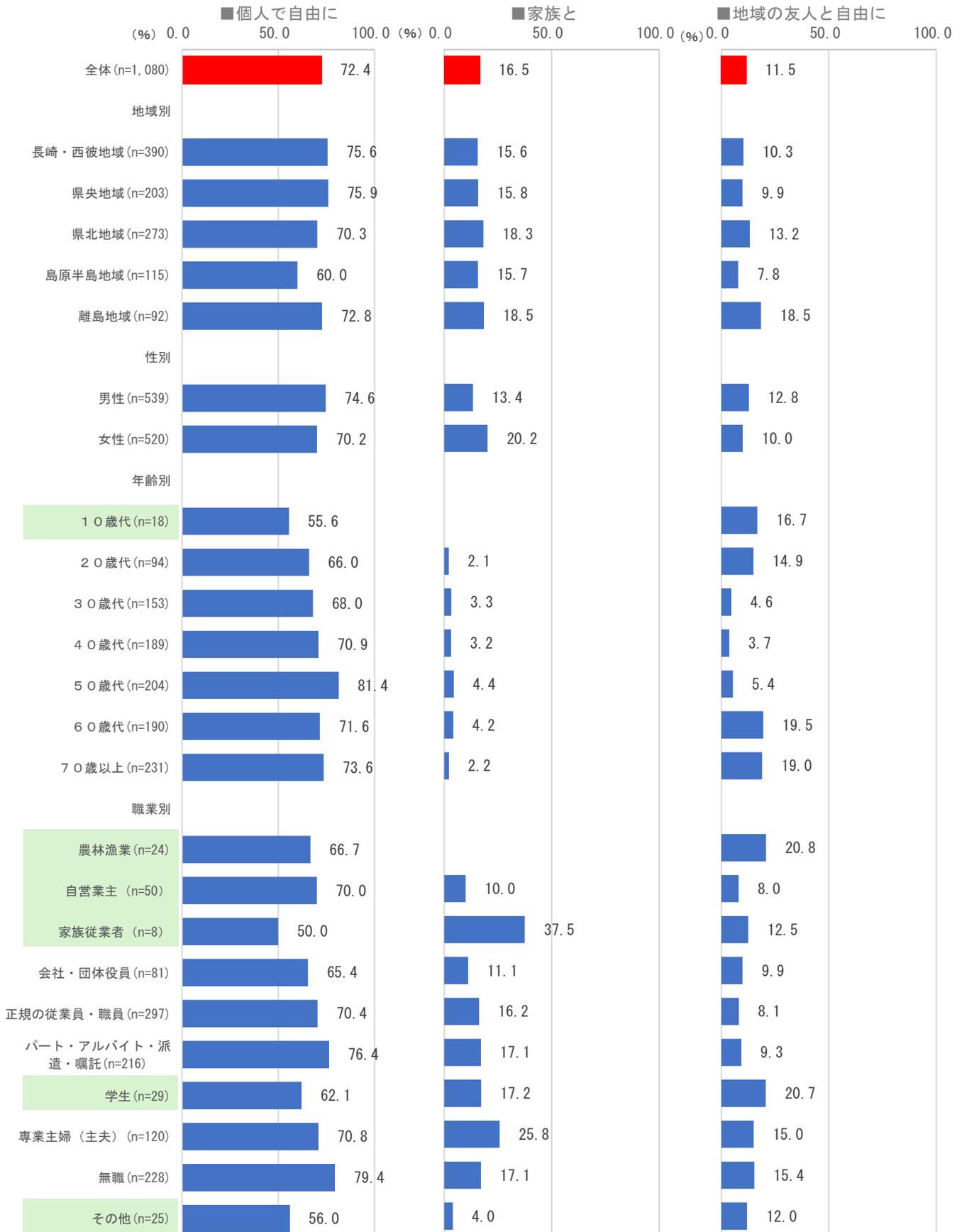
【参考：前回調査（令和2年度）】





参考：上位3項目の属性別集計

※「市町別」、「収入別」、「休日形態別」は母数が小さなものが多いため表示していない。



3. 運動・スポーツの今後の意識について

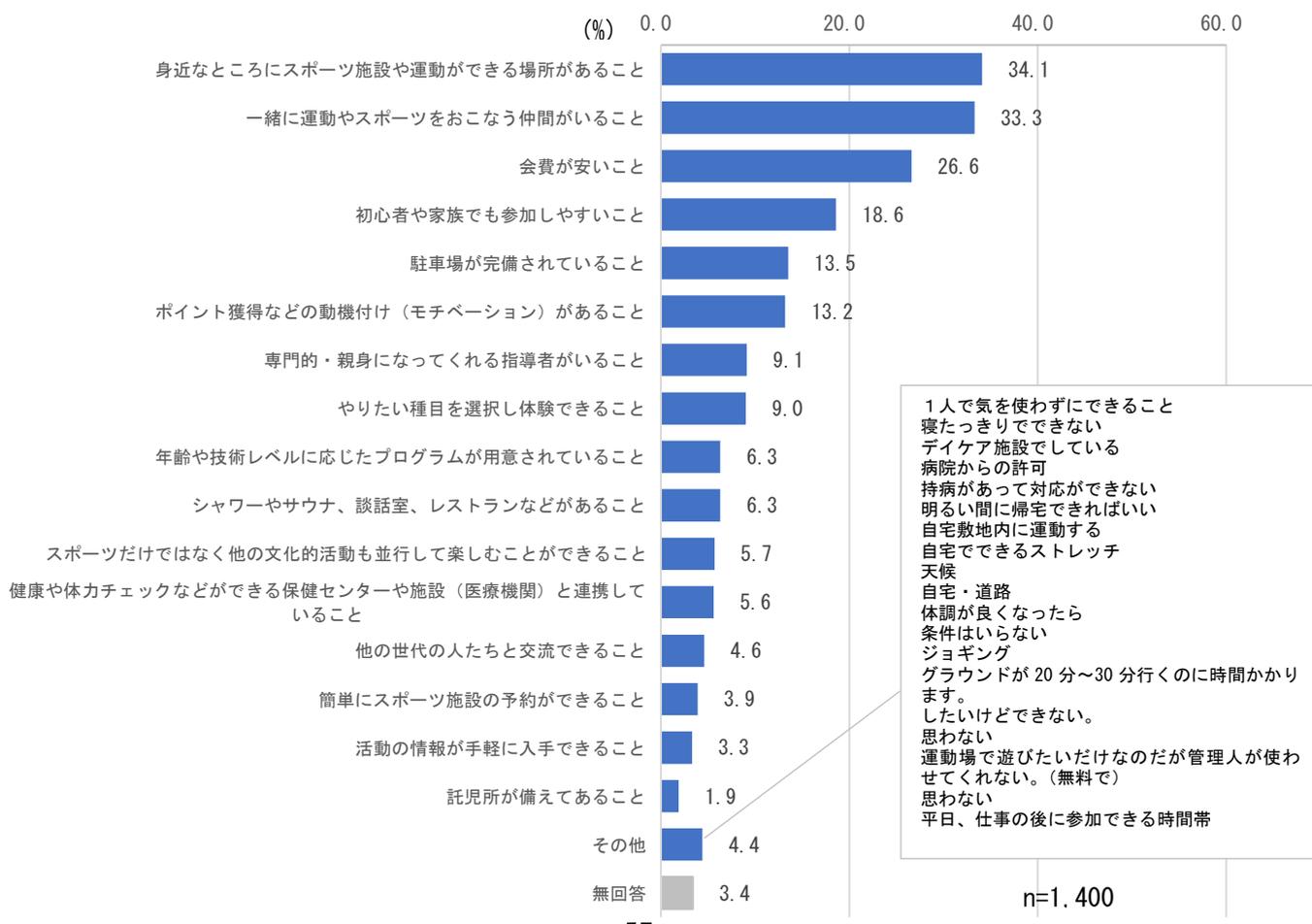
(1) あなたは、どのような条件がそろっていれば、運動やスポーツを実施したいと思いますか。すでに定期的な運動やスポーツ活動を実施しておられる方もお答えください。主なものを3つまで選んでください。(MA)

「身近なところにスポーツ施設や運動ができる場所があること」が 34.1%でトップ、前回より 12.0 ポイント減少。

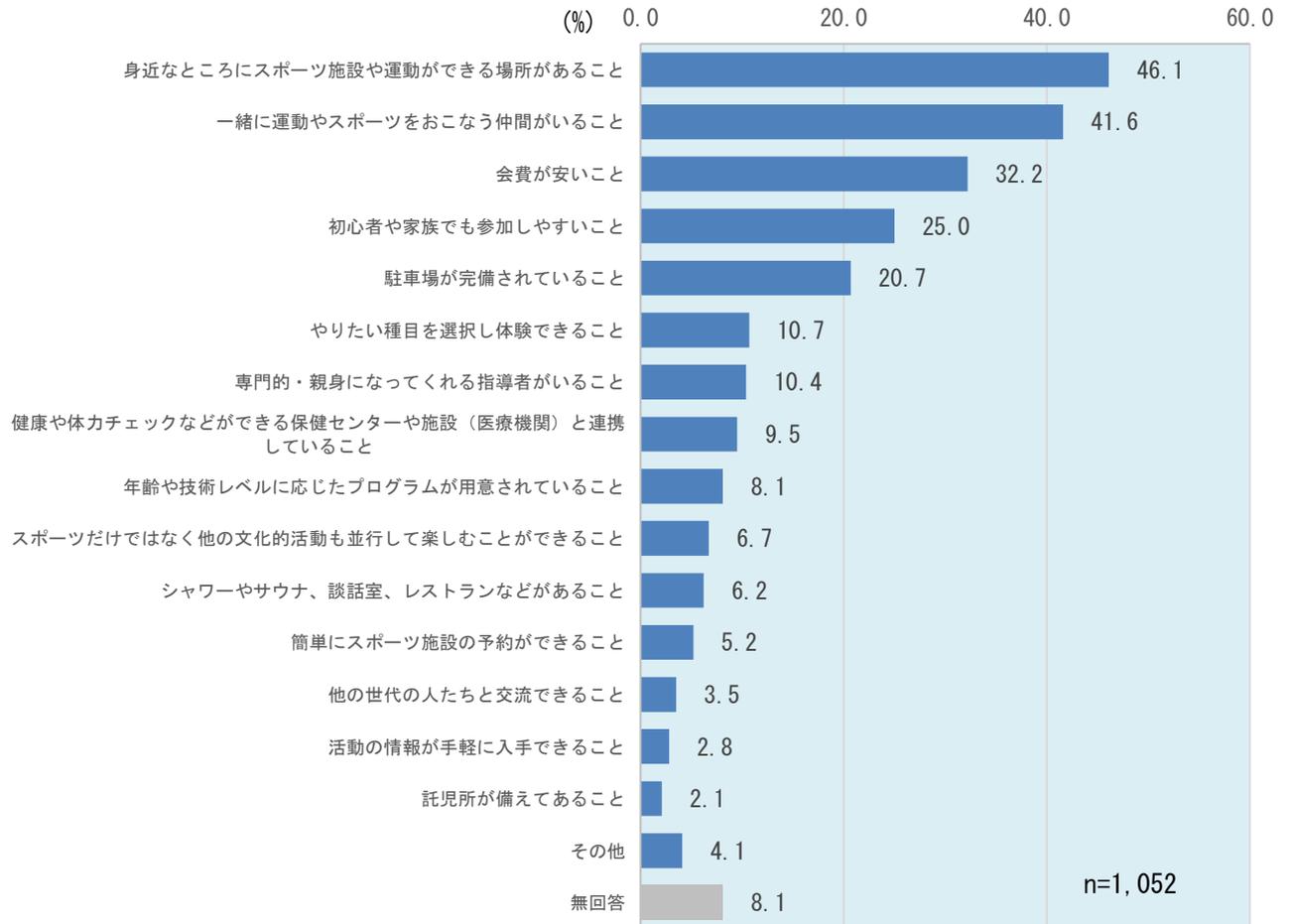
全体では、「身近なところにスポーツ施設や運動ができる場所があること」が 34.1%で最も多く、次いで「一緒に運動やスポーツをおこなう仲間がいること」が 33.3%、「会費が安いこと」が 26.6%の順で続いている。

前回調査と上位 5 項目の順位の変化はなく、どの項目も前回調査より減少している。最も大きいのは「身近なところにスポーツ施設や運動ができる場所があること」の 12.0 ポイントの減少であった。

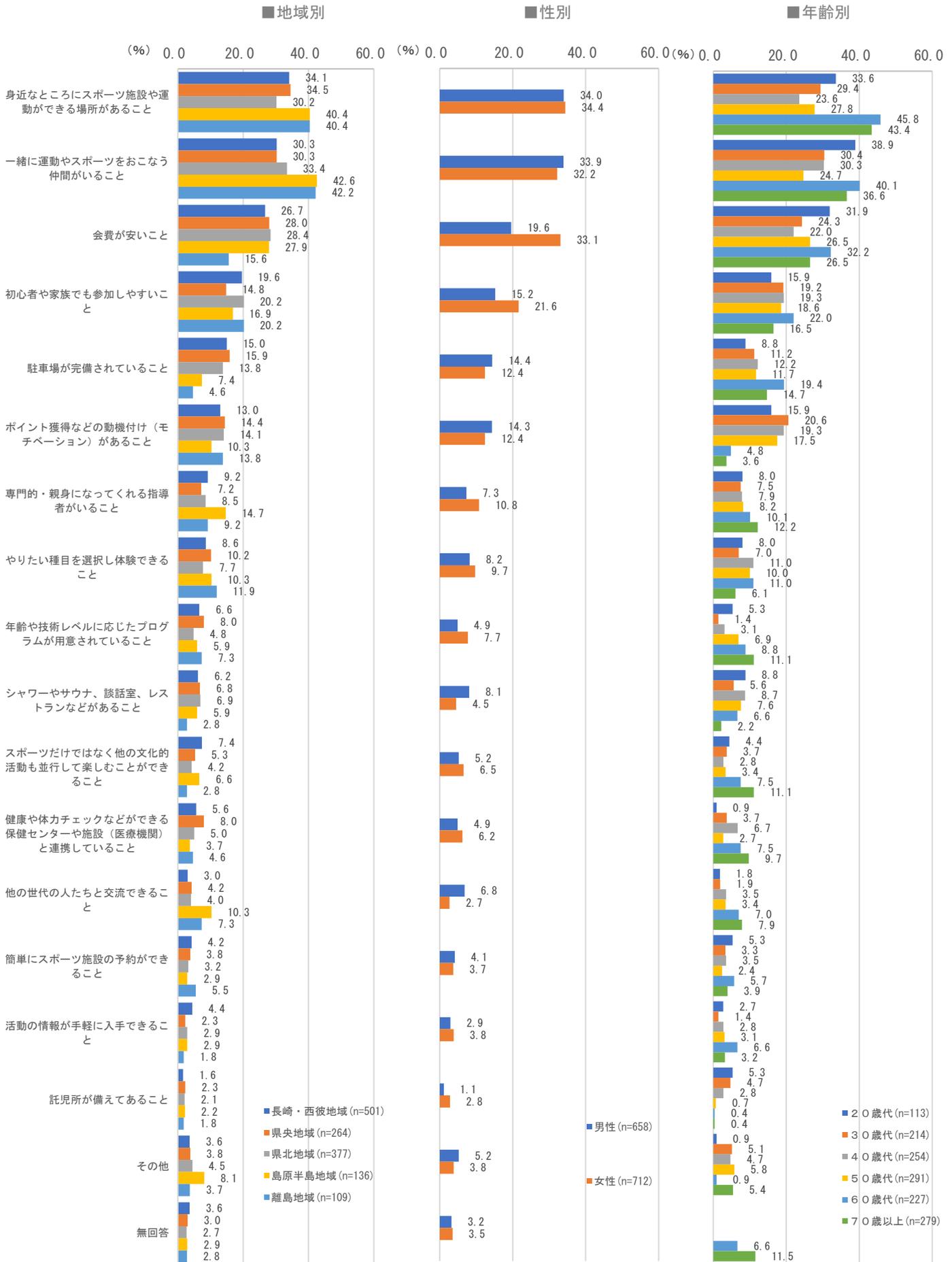
地域別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。「身近なところにスポーツ施設や運動ができる場所があること」・「身近なところにスポーツ施設や運動ができる場所があること」の項目は「島原半島地域」「離島地域」が高くなっている。
性別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、性別での比較でやや差が表れているのは「女性」は「会費が安いこと」「初心者や家族でも参加しやすいこと」で「男性」よりも 6 ポイント以上になっている。
年齢別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、上位 3 項目で「20 歳代」「50 歳代」は他の年代より低くなっている。10 歳代は母数が著しく少ないため表記していない)
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「会費が安いこと」は「パート・アルバイト・派遣・嘱託」が高くなっている。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、上位 3 項目で「300～400 万円未満」「400～500 万円未満」「500～60 万円未満」がやや高くなっている。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「会費が安いこと」は「その他の週休 2 日制」が高くなっている。

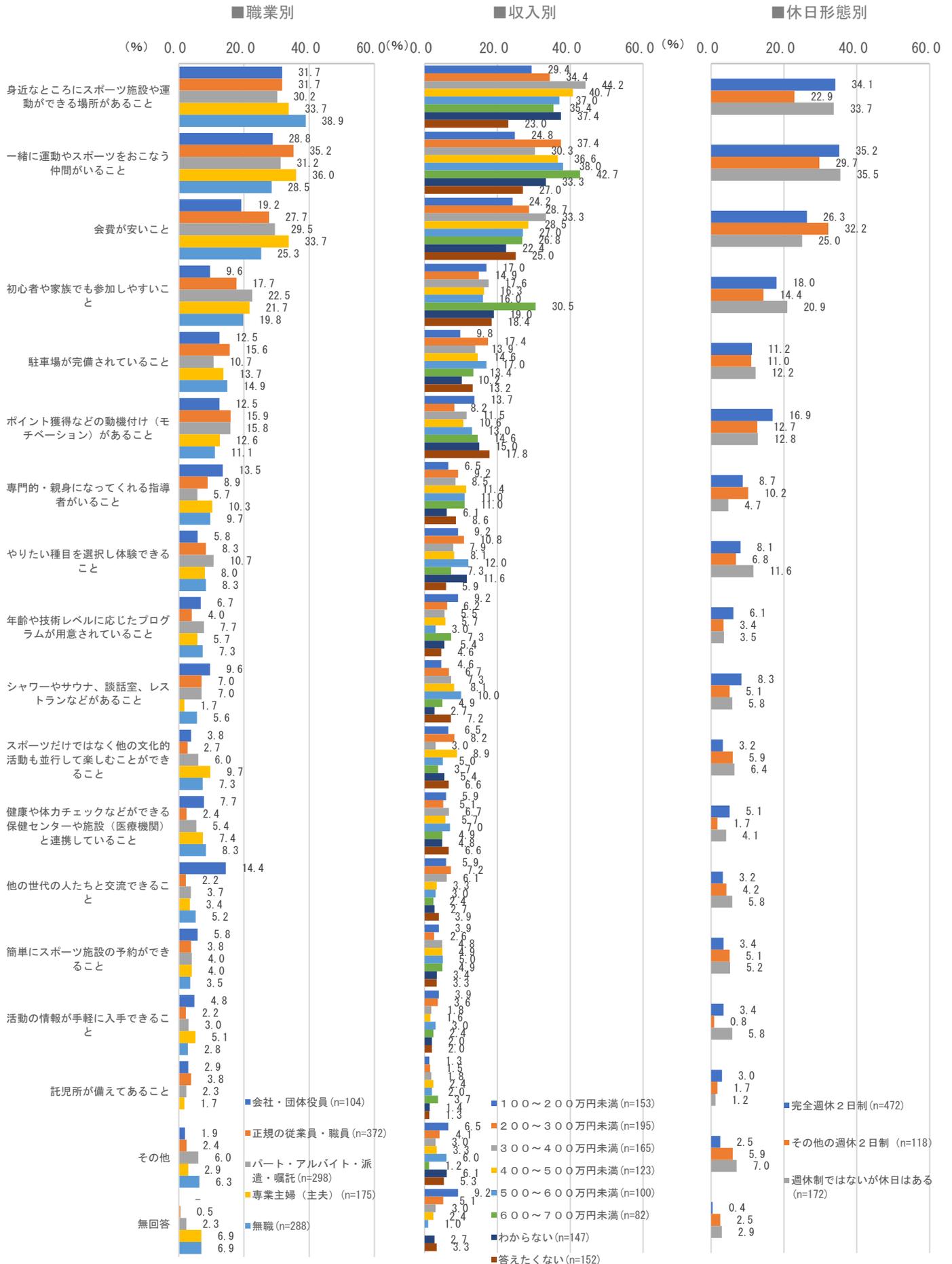


【参考：前回調査（令和2年度）】



※母数が少ないため、「10歳代」、「農林業」、「自営業主」、「家族従事者」、「学生」、「その他」、「収入なし」、「700～800万円未満」、「800～1,000万円未満」、「1,000万円以上」、「週休1日半制」、「週休1日制」、「休日はない」、「その他」は図に表示していない。





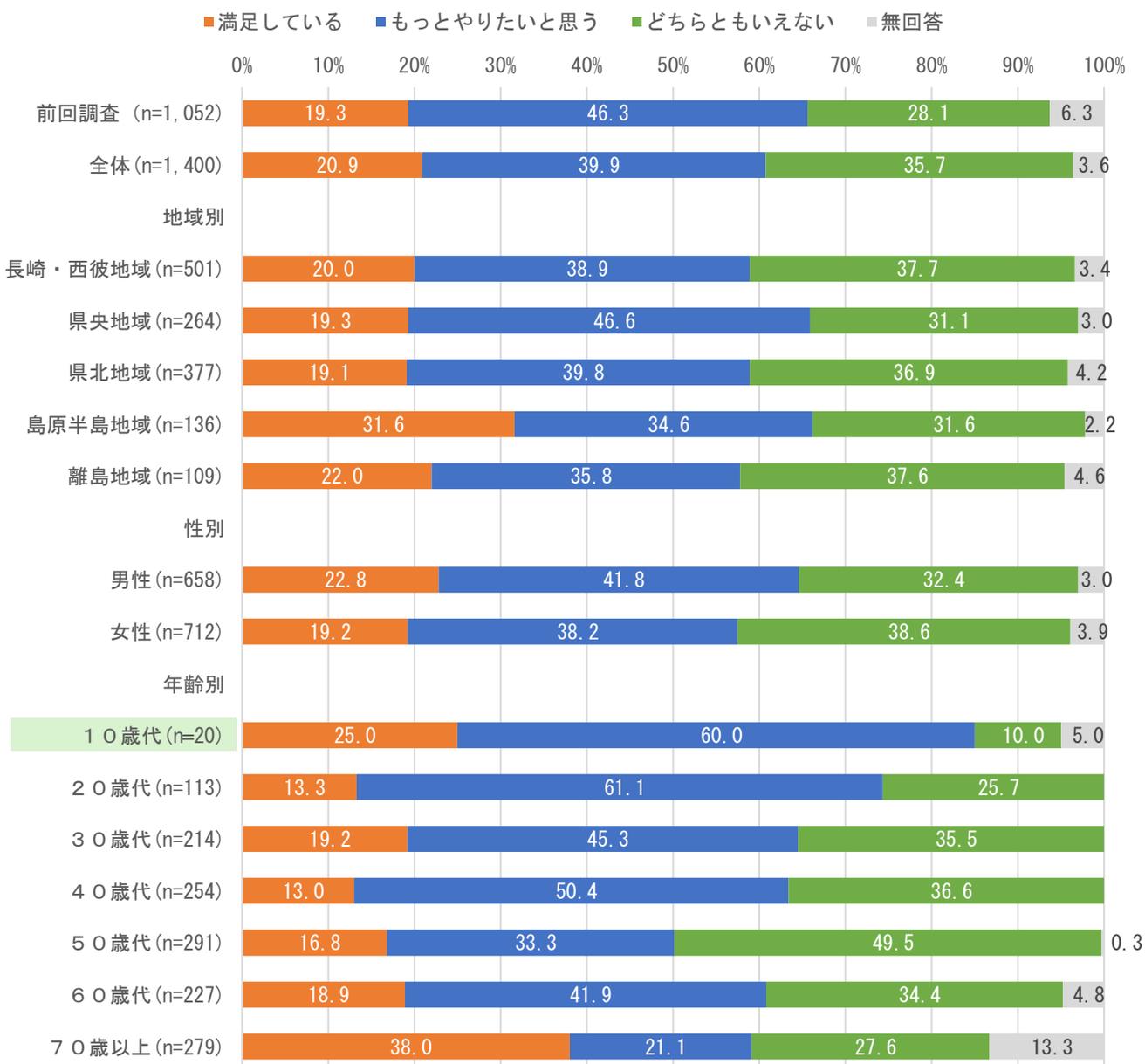
(2) あなたは現在の運動・スポーツの実施頻度に満足していますか。(SA)

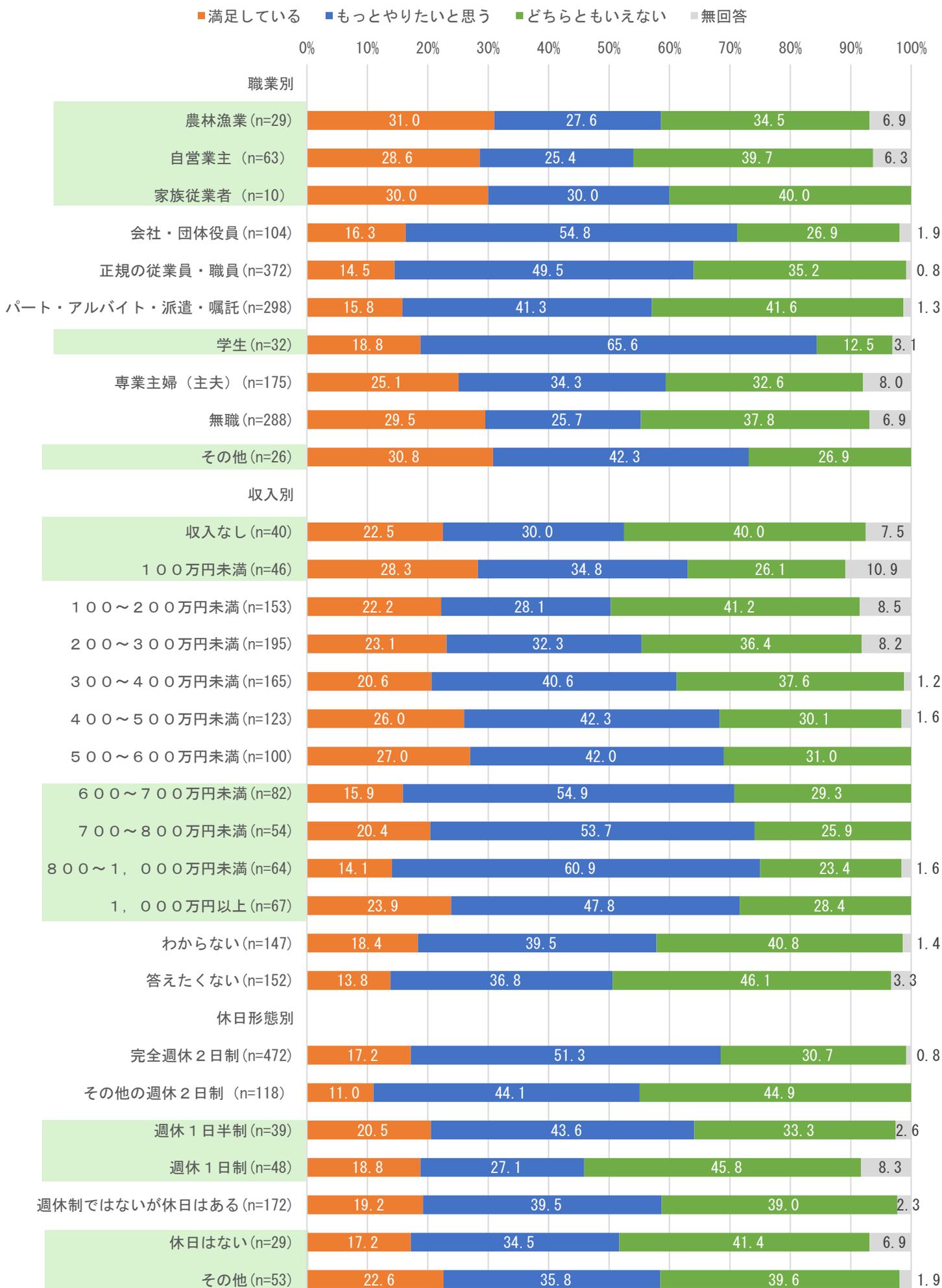
**実施頻度の満足度は 20.9%、前回調査より 1.6 ポイント増加。
一方、「実施意向」は 4.8 ポイント減少。**

全体では、「もっとやりたいと思う」が 39.9%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が 35.7%、「満足している」が 20.9%の順となっており、「実施意向（「満足している」+「もっとやりたいと思う」）」は 60.8%となっている。

満足度は前回調査の 19.3%から 1.6 ポイント増加しているが、「実施意向」は 4.8 ポイント減少している。

地域別	満足度は「島原半島地域」が 31.6%で最も高く、「県北地域」が 19.1%で最も低い。「もっとやりたいと思う」との意欲は「県央地区」が 46.6%で最も高く、「実施意向」は「島原半島地域」が 66.2%で最も高い。
性別	「満足度」「実施意向」とともに「男性」が女性よりも高い。
年齢別	「満足度」は「70 歳以上」が 38.0%、「意欲」は「会社・団体役員」が 54.8%、「実施意向」は「20 歳代」が 74.4%で最も高くなっている。
職業別	「満足度」は「無職」が 29.5%、「意欲」は「20 歳代」が 61.1%、「実施意向」は「会社・団体役員」が 71.1%で最も高くなっている。
収入別	「満足度」は「500～600 万円未満」が 27.0%、「意欲」は「400～500 万円未満」が 42.3%、「実施意向」は「500～600 万円未満」が 69.0%で最も高くなっている。
休日形態別	「満足度」は「週休制ではないが休日はある」が 19.2%、「意欲」は「完全週休 2 日制」が 51.3%、「実施意向」は「完全週休 2 日制」が 68.5%で最も高くなっている。





※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

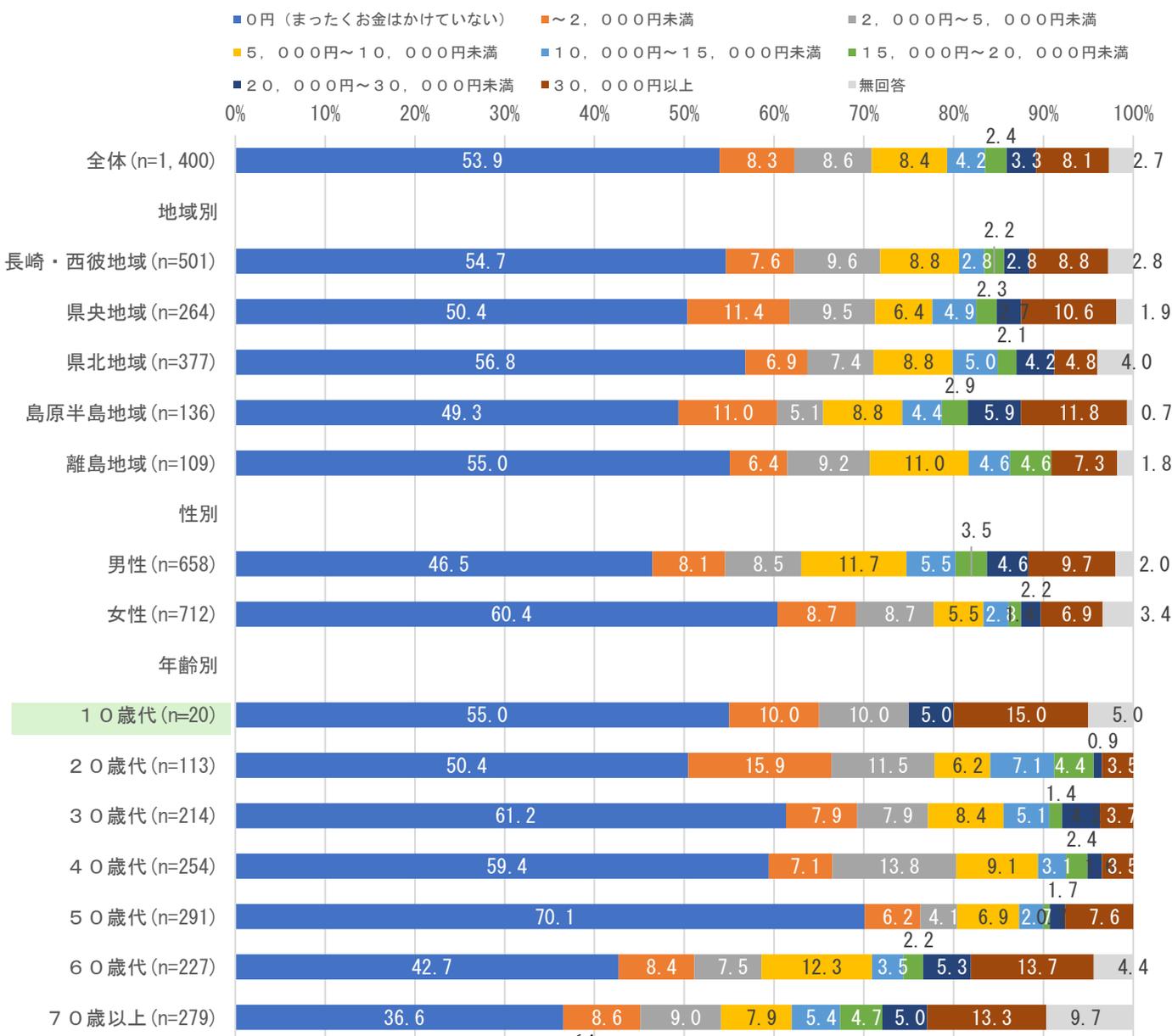
上段：度数 下段：%	合計	満足している	もっとやりたいと思う	どちらとも いえない	無回答
長崎市	433 100.0	83 19.2	169 39.0	165 38.1	16 3.7
長与町	38 100.0	5 13.2	18 47.4	15 39.5	- -
時津町	30 100.0	12 40.0	8 26.7	9 30.0	1 3.3
佐世保市	258 100.0	52 20.2	107 41.5	91 35.3	8 3.1
平戸市	28 100.0	2 7.1	15 53.6	9 32.1	2 7.1
松浦市	19 100.0	5 26.3	8 42.1	5 26.3	1 5.3
西海市	18 100.0	2 11.1	6 33.3	7 38.9	3 16.7
小値賀町	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	- -
佐々町	12 100.0	1 8.3	4 33.3	6 50.0	1 8.3
東彼杵町	8 100.0	2 25.0	1 12.5	5 62.5	- -
川棚町	22 100.0	7 31.8	7 31.8	8 36.4	- -
波佐見町	12 100.0	1 8.3	2 16.7	8 66.7	1 8.3
島原市	34 100.0	6 17.6	11 32.4	16 47.1	1 2.9
雲仙市	36 100.0	9 25.0	15 41.7	12 33.3	- -
南島原市	66 100.0	28 42.4	21 31.8	15 22.7	2 3.0
諫早市	134 100.0	26 19.4	59 44.0	45 33.6	4 3.0
大村市	130 100.0	25 19.2	64 49.2	37 28.5	4 3.1
対馬市	17 100.0	4 23.5	5 29.4	7 41.2	1 5.9
壱岐市	25 100.0	6 24.0	8 32.0	9 36.0	2 8.0
五島市	39 100.0	6 15.4	19 48.7	13 33.3	1 2.6
新上五島町	24 100.0	7 29.2	6 25.0	10 41.7	1 4.2
上記以外	13 100.0	2 15.4	4 30.8	6 46.2	1 7.7

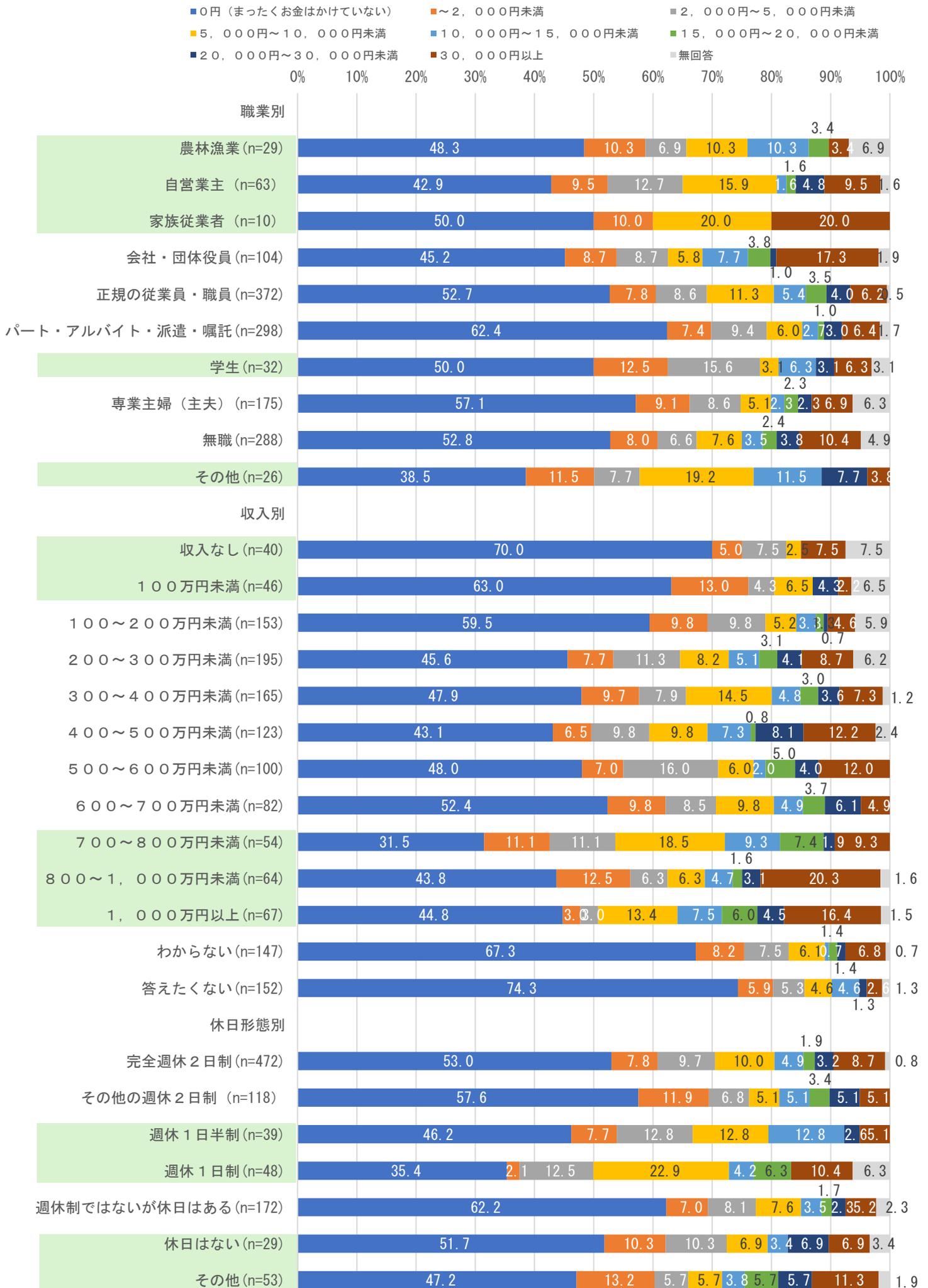
(3) あなたはご自身が実施する運動・スポーツのために1年間にいくら程度費用をかけていますか(スポーツ用品、スポーツクラブやトレーニングジム等の会費、ゴルフ場等の施設使用料、交通費・宿泊費等を含む)(SA)

「0円(まったくお金はかけていない)」が53.9%、前回調査より9.8ポイント増加。

全体では、「0円(まったくお金はかけていない)」が53.9%で最も多く、次いで「2,000円～5,000円未満」が8.6%、「5,000円～10,000円未満」が8.4%の順となっており、「～20,000円未満」は31.9%となっている。
 前回調査「0円」が44.1%から9.8ポイント増加し、「～20,000円未満」は29.5%から2.4ポイント増加している。

地域別	「0円」は「県北地域」が56.8%で最も高く、「お金をかけている(「～2000円未満」～「30,000円以上」)」は「島原半島地域」が49.9%で最も高くなっている。
性別	「お金をかけている」は「男性」が女性よりも15.4ポイント高くなっている。
年齢別	「お金をかけている」は「70歳以上」が53.9%で最も高く、「50歳代」が29.9%で最も低くなっている。
職業別	「お金をかけている」は「会社・団体役員」が53.0%で最も高く、「パート・アルバイト・派遣・嘱託」が26.5%で最も低くなっている。
収入別	「お金をかけている」は「400～500万円未満」が54.5%で最も高く、「100～200万円未満」が34.7%で最も低くなっている。
休日形態別	「お金をかけている」は「完全週休2日制」が46.2%で最も高く、「週休制ではないが休日はある」が35.4%で最も低くなっている。





※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	0円(まったくお金は かけていない)	2,000円未満	2,000円～5,000円未満	5,000円～10,000円未満	10,000円～15,000円未満	15,000円～20,000円未満	20,000円～30,000円未満	30,000円以上	無回答
長崎市	433 100.0	238 55.0	32 7.4	43 9.9	37 8.5	13 3.0	8 1.8	13 3.0	37 8.5	12 2.8
長与町	38 100.0	20 52.6	4 10.5	2 5.3	4 10.5	-	3 7.9	1 2.6	4 10.5	-
時津町	30 100.0	16 53.3	2 6.7	3 10.0	3 10.0	1 3.3	-	-	3 10.0	2 6.7
佐世保市	258 100.0	155 60.1	16 6.2	18 7.0	17 6.6	15 5.8	5 1.9	8 3.1	16 6.2	8 3.1
平戸市	28 100.0	9 32.1	3 10.7	4 14.3	6 21.4	-	1 3.6	2 7.1	-	3 10.7
松浦市	19 100.0	11 57.9	1 5.3	1 5.3	2 10.5	1 5.3	1 5.3	2 10.5	-	-
西海市	18 100.0	9 50.0	1 5.6	1 5.6	1 5.6	-	1 5.6	3 16.7	-	2 11.1
小値賀町	4 100.0	4 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
佐々町	12 100.0	9 75.0	-	1 8.3	1 8.3	-	-	-	-	1 8.3
東彼杵町	8 100.0	4 50.0	2 25.0	-	1 12.5	1 12.5	-	-	-	-
川棚町	22 100.0	12 54.5	2 9.1	2 9.1	3 13.6	1 4.5	-	-	2 9.1	-
波佐見町	12 100.0	5 41.7	1 8.3	1 8.3	2 16.7	1 8.3	-	1 8.3	-	1 8.3
島原市	34 100.0	21 61.8	3 8.8	1 2.9	2 5.9	2 5.9	1 2.9	2 5.9	2 5.9	-
雲仙市	36 100.0	19 52.8	6 16.7	2 5.6	6 16.7	1 2.8	1 2.8	-	1 2.8	-
南島原市	66 100.0	27 40.9	6 9.1	4 6.1	4 6.1	3 4.5	2 3.0	6 9.1	13 19.7	1 1.5
諫早市	134 100.0	63 47.0	13 9.7	14 10.4	10 7.5	5 3.7	4 3.0	4 3.0	18 13.4	3 2.2
大村市	130 100.0	70 53.8	17 13.1	11 8.5	7 5.4	8 6.2	2 1.5	3 2.3	10 7.7	2 1.5
対馬市	17 100.0	10 58.8	1 5.9	1 5.9	1 5.9	2 11.8	1 5.9	-	-	1 5.9
壱岐市	25 100.0	13 52.0	1 4.0	1 4.0	4 16.0	1 4.0	3 12.0	-	1 4.0	1 4.0
五島市	39 100.0	22 56.4	1 2.6	5 12.8	4 10.3	2 5.1	1 2.6	-	4 10.3	-
新上五島町	24 100.0	11 45.8	4 16.7	3 12.5	3 12.5	-	-	-	3 12.5	-
上記以外	13 100.0	6 46.2	-	3 23.1	-	2 15.4	-	1 7.7	-	1 7.7

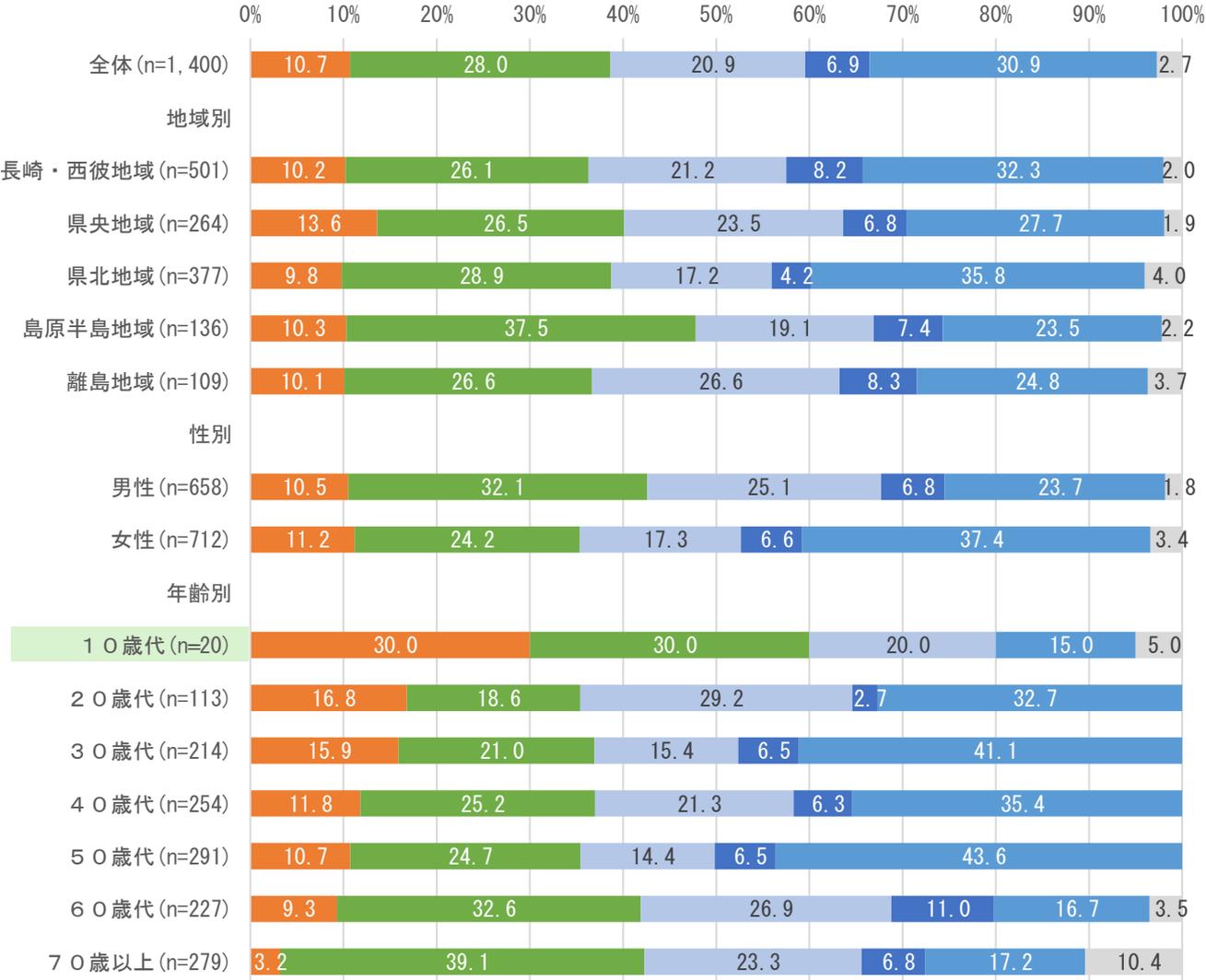
(4) 新型コロナウイルス感染症の国内発生から5類感染症移行までの間において、あなたご自身の運動・スポーツの状況に最もよく当てはまるのはどれですか。(SA)

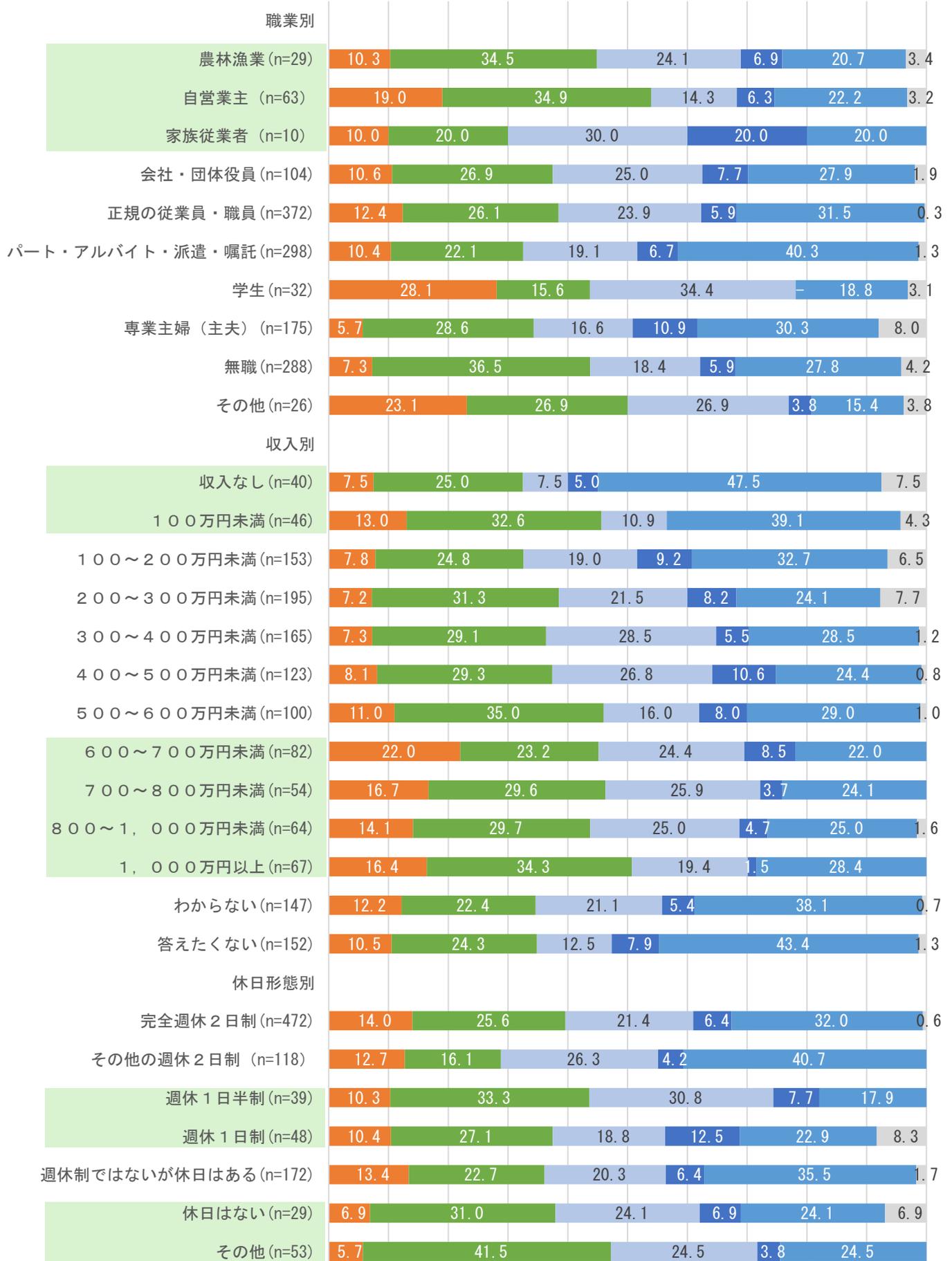
「増えた」は10.7%、「変化なし」は28.0%、「減った」は27.8%

全体では、「発生以前から運動・スポーツを実施していない」が30.9%で最も多く、次いで「発生以前と同頻度で運動・スポーツを行っていた」が28.0%、「発生以前から運動・スポーツは続けていたが、その実施頻度は減った」が20.9%と続いており、「増えた（「発生以前より運動・スポーツの実施頻度は増えた」）」は10.7%、「減った（「発生以前から運動・スポーツは続けていたが、その実施頻度は減った」+「発生以降、運動・スポーツを実施しなくなった」）」は27.8%となっている。

地域別	「増えた」は「県央地域」が13.6%、「変化なし」は「島原半島地域」が37.5%、「減った」は「離島地域」が34.9%で最も高くなっている。
性別	「増えた」は「女性」、「変化なし」・「減った」は「男性」が高くなっている。
年齢別	「増えた」は「20歳代」が16.8%、「変化なし」は「70歳以上」が39.1%、「減った」は「60歳代」が37.9%で最も高くなっている。
職業別	「増えた」は「正規の従業員・職員」が12.4%、「変化なし」は「会社・団体役員」が23.9%、「減った」は「会社・団体役員」が32.7%で最も高くなっている。
収入別	「増えた」は「600～700万円未満」が22.0%、「変化なし」は「500～600万円未満」が35.0%、「減った」は「400～500万円未満」が37.4%で最も高くなっている。
休日形態別	「増えた」は「週休制ではないが休日はある」が10.7%、「変化なし」は「完全週休2日制」が25.6%、「減った」は「その他の週休2日制」が30.5%で最も高くなっている。

- 発生以前より運動・スポーツの実施頻度は増えた
- 発生以前と同頻度で運動・スポーツを行っていた
- 発生以前から運動・スポーツは続けていたが、その実施頻度は減った
- 発生以降、運動・スポーツを実施しなくなった
- 発生以前から運動・スポーツを実施していない
- 無回答





※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	発生以前より運動・スポーツの実施頻度は増えた	発生以前と同頻度で運動・スポーツを行っていた	発生以前から運動・スポーツは続けていたが、その実施頻度は減った	発生以降、運動・スポーツを実施しなくなった	発生以前から運動・スポーツを実施していない	無回答
長崎市	433 100.0	47 10.9	117 27.0	88 20.3	34 7.9	137 31.6	10 2.3
長与町	38 100.0	2 5.3	7 18.4	12 31.6	3 7.9	14 36.8	- -
時津町	30 100.0	2 6.7	7 23.3	6 20.0	4 13.3	11 36.7	- -
佐世保市	258 100.0	30 11.6	79 30.6	40 15.5	8 3.1	92 35.7	9 3.5
平戸市	28 100.0	- -	6 21.4	9 32.1	2 7.1	10 35.7	1 3.6
松浦市	19 100.0	1 5.3	5 26.3	6 31.6	1 5.3	6 31.6	- -
西海市	18 100.0	- -	4 22.2	4 22.2	1 5.6	6 33.3	3 16.7
小値賀町	4 100.0	2 50.0	- -	- -	- -	2 50.0	- -
佐々町	12 100.0	2 16.7	1 8.3	2 16.7	- -	6 50.0	1 8.3
東彼杵町	8 100.0	1 12.5	3 37.5	- -	1 12.5	3 37.5	- -
川棚町	22 100.0	3 13.6	8 36.4	3 13.6	2 9.1	6 27.3	- -
波佐見町	12 100.0	- -	3 25.0	1 8.3	1 8.3	6 50.0	1 8.3
島原市	34 100.0	3 8.8	4 11.8	13 38.2	1 2.9	13 38.2	- -
雲仙市	36 100.0	7 19.4	14 38.9	2 5.6	3 8.3	9 25.0	1 2.8
南島原市	66 100.0	4 6.1	33 50.0	11 16.7	6 9.1	10 15.2	2 3.0
諫早市	134 100.0	18 13.4	36 26.9	33 24.6	8 6.0	36 26.9	3 2.2
大村市	130 100.0	18 13.8	34 26.2	29 22.3	10 7.7	37 28.5	2 1.5
対馬市	17 100.0	- -	4 23.5	1 5.9	4 23.5	5 29.4	3 17.6
壱岐市	25 100.0	2 8.0	5 20.0	11 44.0	1 4.0	5 20.0	1 4.0
五島市	39 100.0	6 15.4	16 41.0	8 20.5	2 5.1	7 17.9	- -
新上五島町	24 100.0	1 4.2	4 16.7	9 37.5	2 8.3	8 33.3	- -
上記以外	13 100.0	1 7.7	2 15.4	4 30.8	2 15.4	3 23.1	1 7.7

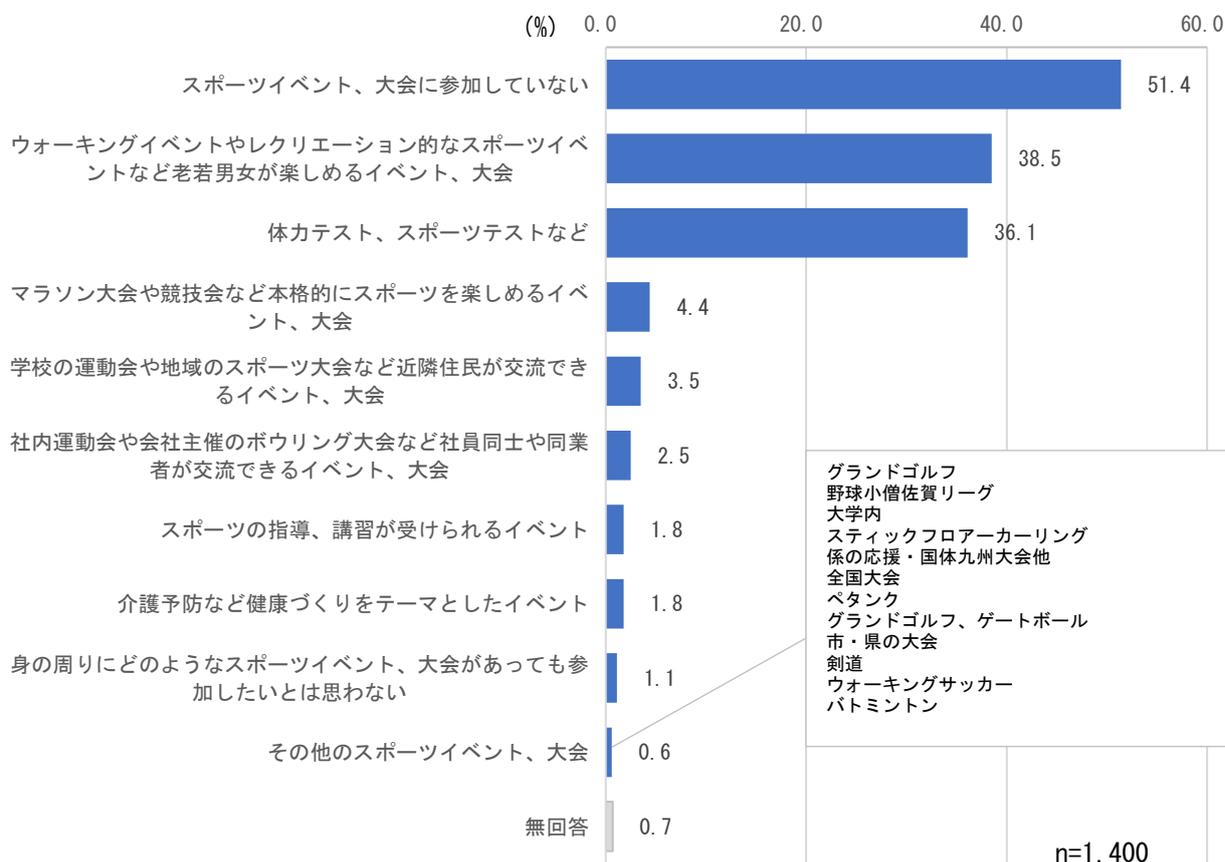
4. 運動・スポーツの実施環境について

(1) この1年間に、どのようなスポーツイベント、大会に参加しましたか。また、どのようなスポーツイベント、大会であれば参加したいと思いますか。あてはまるものすべて (MA)

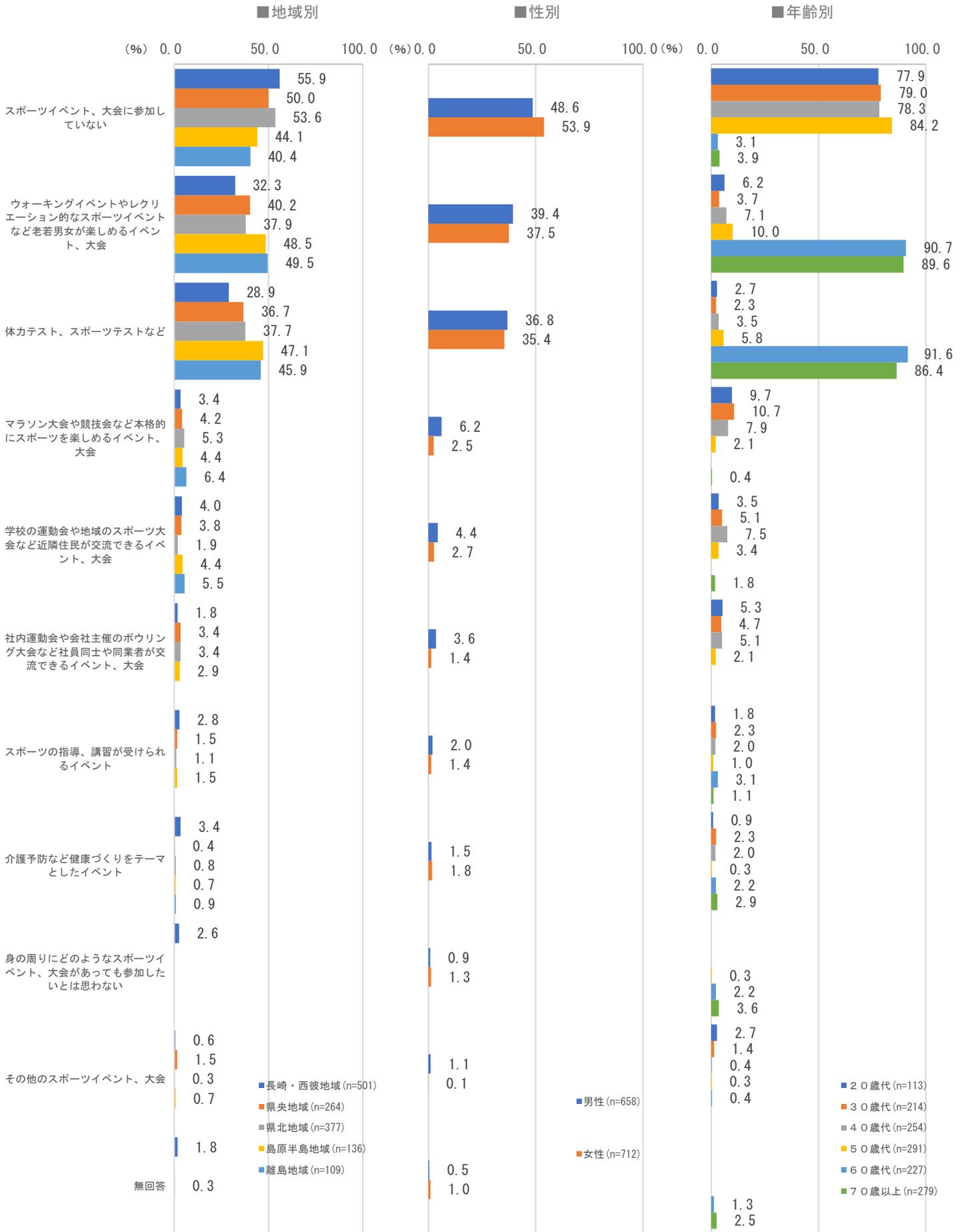
「スポーツイベント、大会に参加していない」が51.4%でトップ、

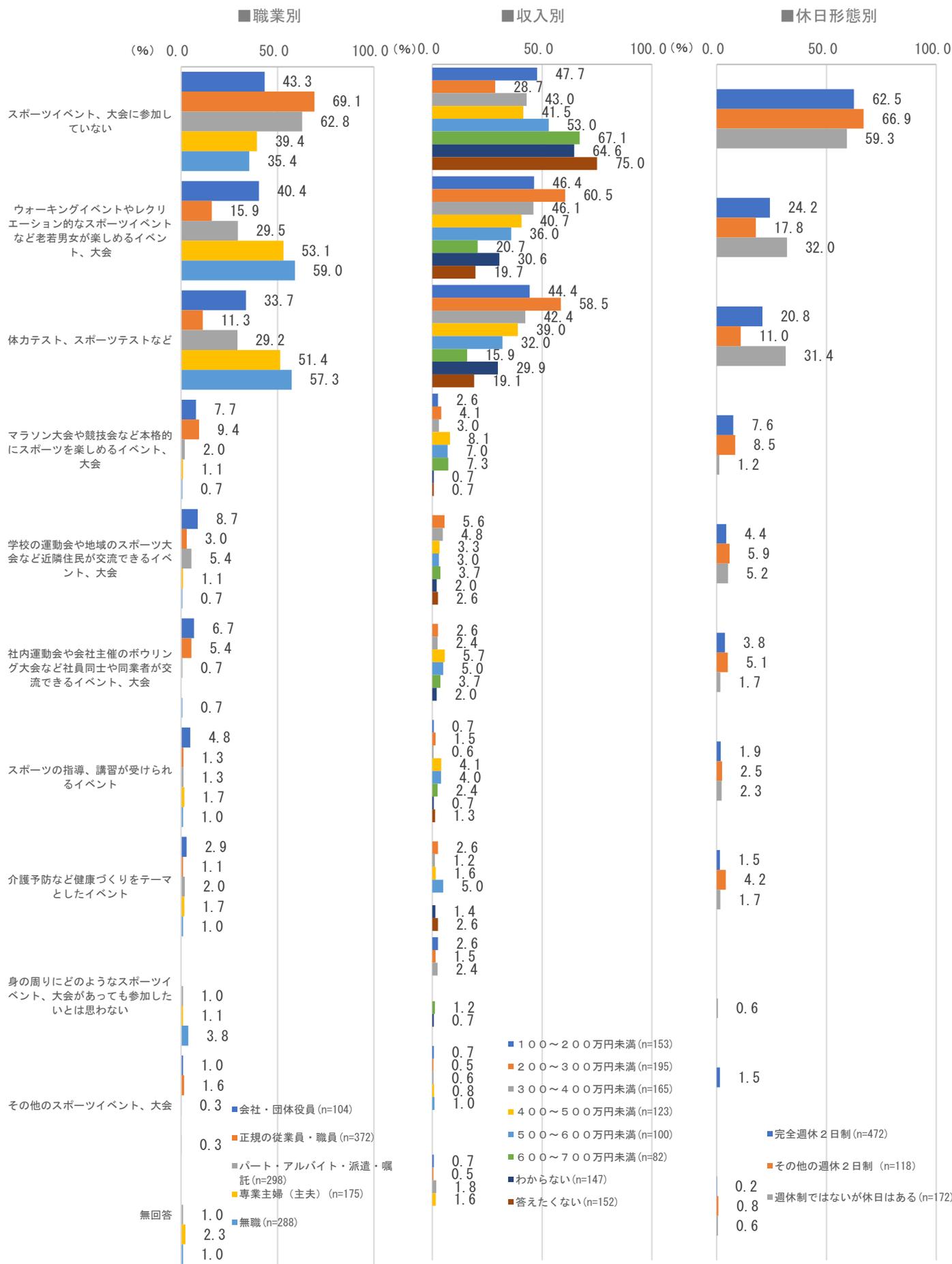
全体では、「スポーツイベント、大会に参加していない」が51.4%で最も多く、次いで「ウォーキングイベントやレクリエーション的なスポーツイベントなど老若男女が楽しめるイベント、大会」が38.5%、「体力テスト、スポーツテストなど」が36.1%の順で続いている。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられない。「スポーツイベント、大会に参加していない」の項目は「長崎・西彼地域」・「県央地域」がやや高く、「ウォーキングイベントやレクリエーション的なスポーツイベントなど老若男女が楽しめるイベント、大会」・「体力テスト、スポーツテストなど」は「島原半島地域」「離島地域」がやや高くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	年齢による相違がみられるのは「スポーツイベント、大会に参加していない」は「20歳代～50歳代」が高く、「ウォーキングイベントやレクリエーション的なスポーツイベントなど老若男女が楽しめるイベント、大会」・「体力テスト、スポーツテストなど」は「60歳代」「70歳以上」が高くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「ウォーキングイベントやレクリエーション的なスポーツイベントなど老若男女が楽しめるイベント、大会」・「体力テスト、スポーツテストなど」は「専業主婦(主夫)」・「無職」が高くなっている。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「ウォーキングイベントやレクリエーション的なスポーツイベントなど老若男女が楽しめるイベント、大会」・「体力テスト、スポーツテストなど」は世帯収入が増えると参加率は減少する傾向がみられる。
休日形態別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、ウォーキングイベントやレクリエーション的なスポーツイベントなど老若男女が楽しめるイベント、大会」・「体力テスト、スポーツテストなど」は「その他の週休2日制」が低くなっている。



※母数が少ないため、「10歳代」、「農林業」、「自営業」、「家族従事者」、「学生」、「その他」、「収入なし」、「700～800万円未満」、「800～1,000万円未満」、「1,000万円以上」、「週休1日半制」、「週休1日制」、「休日はない」、「その他」は図に表示していない。



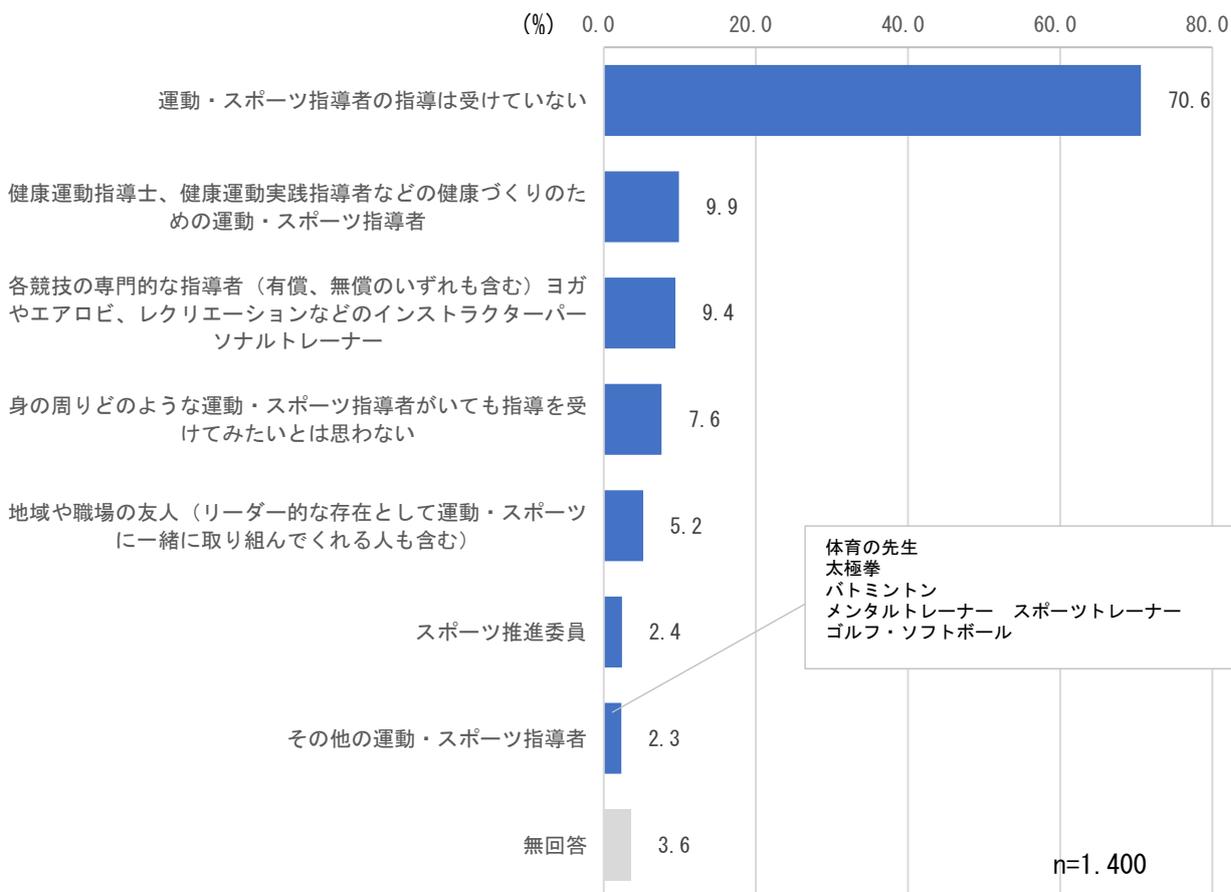


(2) 普段、運動・スポーツの指導やサポート（リーダー的な存在として運動・スポーツと一緒に取り組んでくれる人も含む）を受けていますか。また、自分の身の周りにどのような運動・スポーツ指導者（サポートしてくれる人）がいれば、指導を受けてみたいと思いますか。あてはまるものすべて（MA）

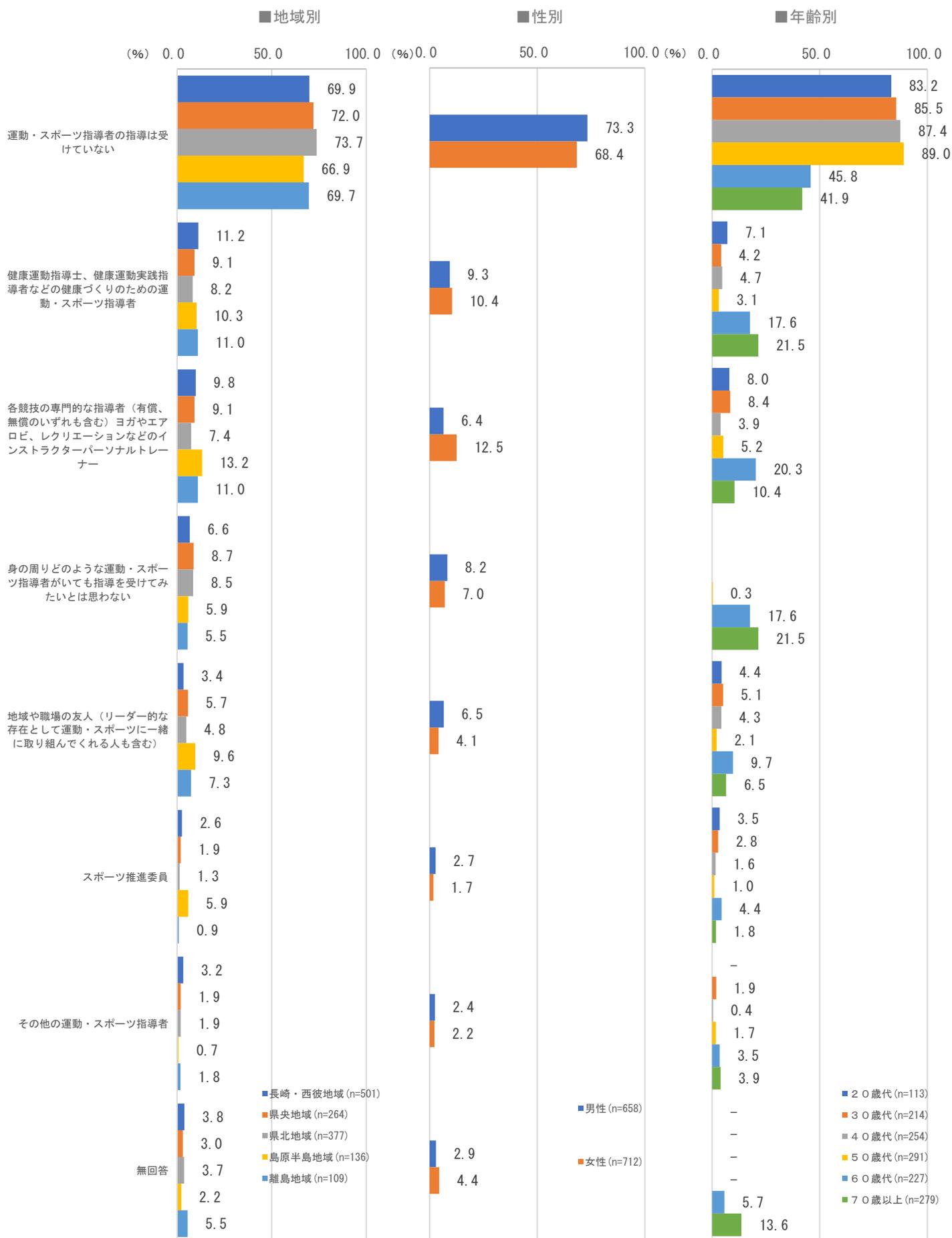
「運動・スポーツ指導者の指導は受けていない」が70.6%でトップ、指導を受けたいのは「健康運動指導士等」「競技の専門指導者」

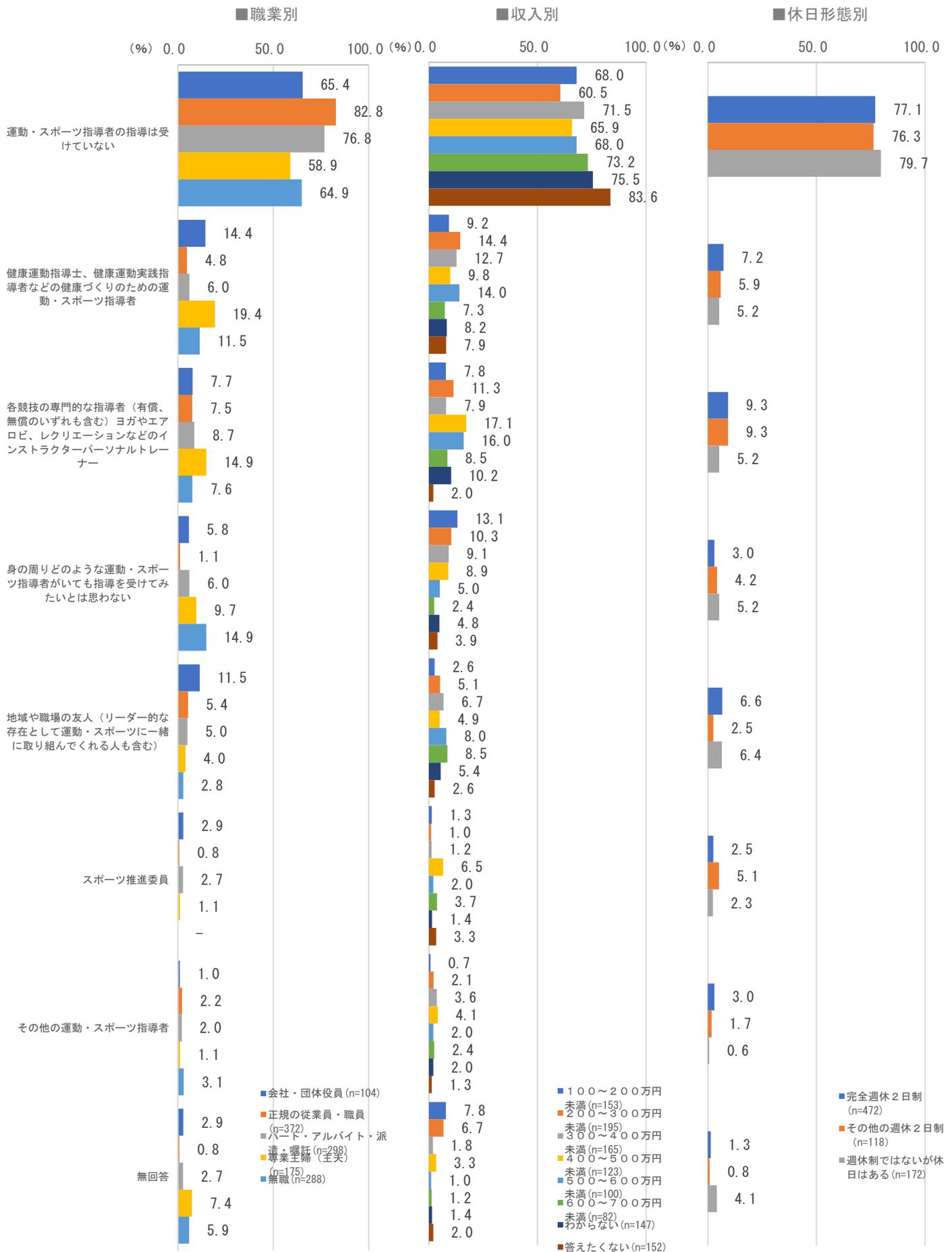
全体では、「運動・スポーツ指導者の指導は受けていない」が70.6%で最も多く、次いで「健康運動指導士、健康運動実践指導者などの健康づくりのための運動・スポーツ指導者」が9.9%、「各競技の専門的な指導者（有償、無償のいずれも含む）ヨガやエアロビ、レクリエーションなどのインストラクターパーソナルトレーナー」が9.4%の順で続いている。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられず、地域差も小さくなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	年齢による相違がみられるのは「運動・スポーツ指導者の指導は受けていない」で「60歳代」「70歳以上」は「20歳代～50歳代」約半分となっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「運動・スポーツ指導者の指導は受けていない」で「県央地域」「県北地域」は高く、最も低い「島原半島地域」とは20ポイント前後の乖離がみられ、「健康運動指導士等」「競技の専門指導者」希望は「県央地域」「県北地域」は低く、「島原半島地域」と7ポイント以上の差はが出ている。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
休日形態別	全体の傾向との大きな相違はみられない。



※母数が少ないため、「10歳代」、「農林業」、「自営業」、「家族従事者」、「学生」、「その他」、「収入なし」、「700～800万円未満」、「800～1,000万円未満」、「1,000万円以上」、「週休1日半制」、「週休1日制」、「休日はない」、「その他」は図に表示していない。



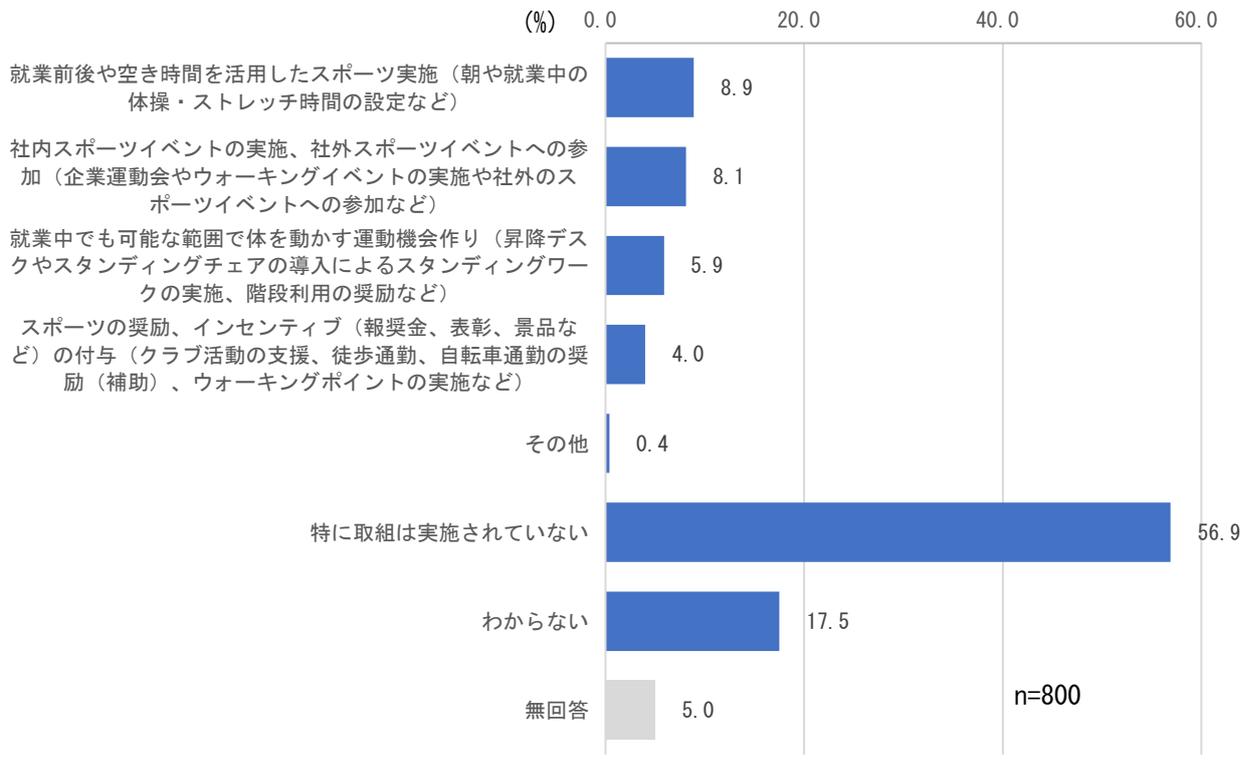


(3) 企業・団体にお勤めの方にお聞きします。あなたの職場では、従業員の運動・スポーツ実施を支援するような取組が実施されていますか。あてはまるものすべて (MA)

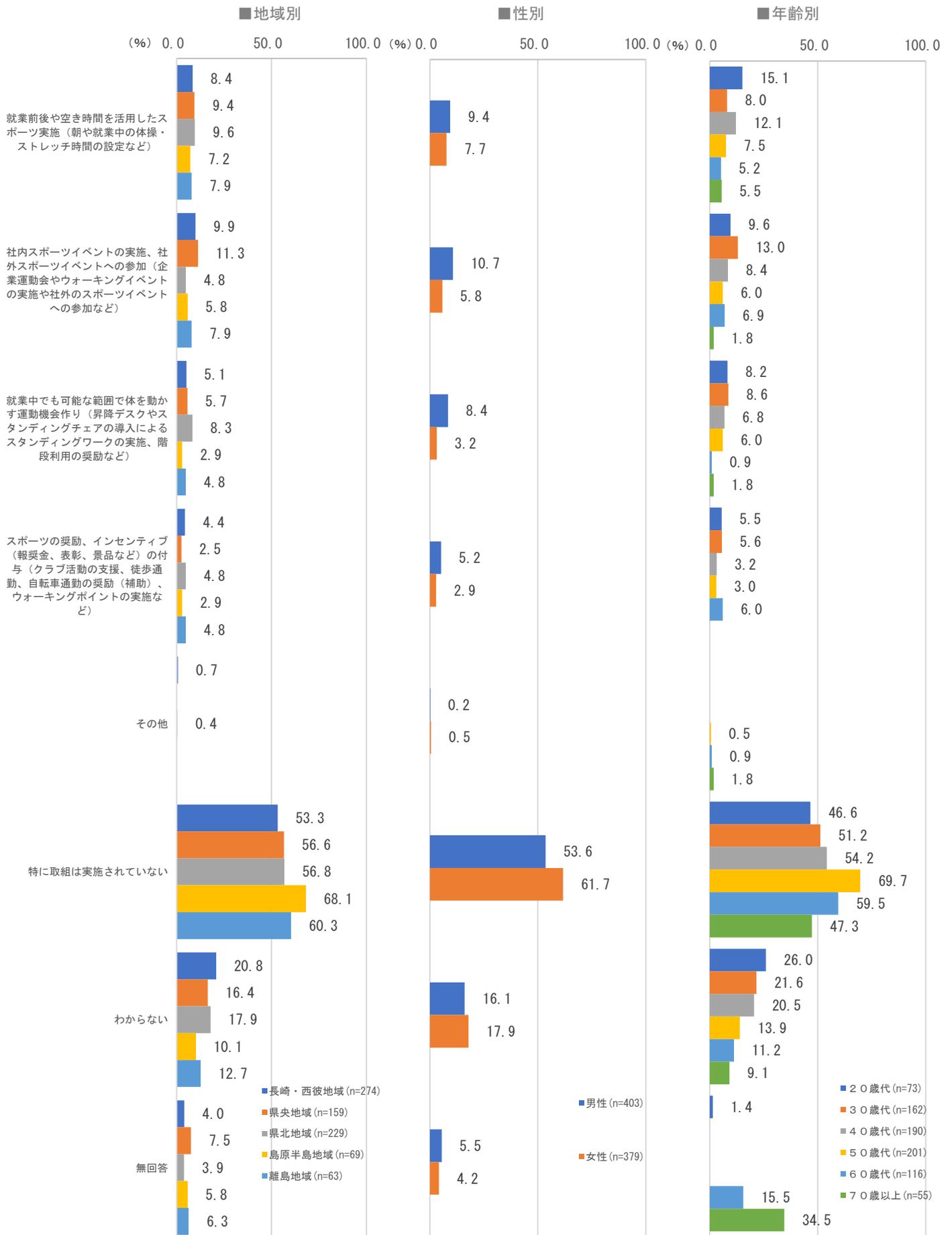
**「特に取組は実施されていない」が 56.9%でトップ、
取組されている項目は 10%以下**

全体では、「特に取組は実施されていない」が 56.9%で最も多く、次いで「就業前後や空き時間を活用したスポーツ実施（朝や就業中の体操・ストレッチ時間の設定など）」が 8.9%、「社内スポーツイベントの実施、社外スポーツイベントへの参加（企業運動会やウォーキングイベントの実施や社外のスポーツイベントへの参加など）」が 8.1%と続いている。

地域別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
性別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
年齢別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
職業別 収入別 休日形態別	母数にバラツキがあり、著しく少ないものが多いため個別の分析は行っていない。



※母数が少ないため、「10歳代」は図に表示していない。また、「市町別」、「収入別」、「休日形態別」は母数が小さなものが多いため表示していない。



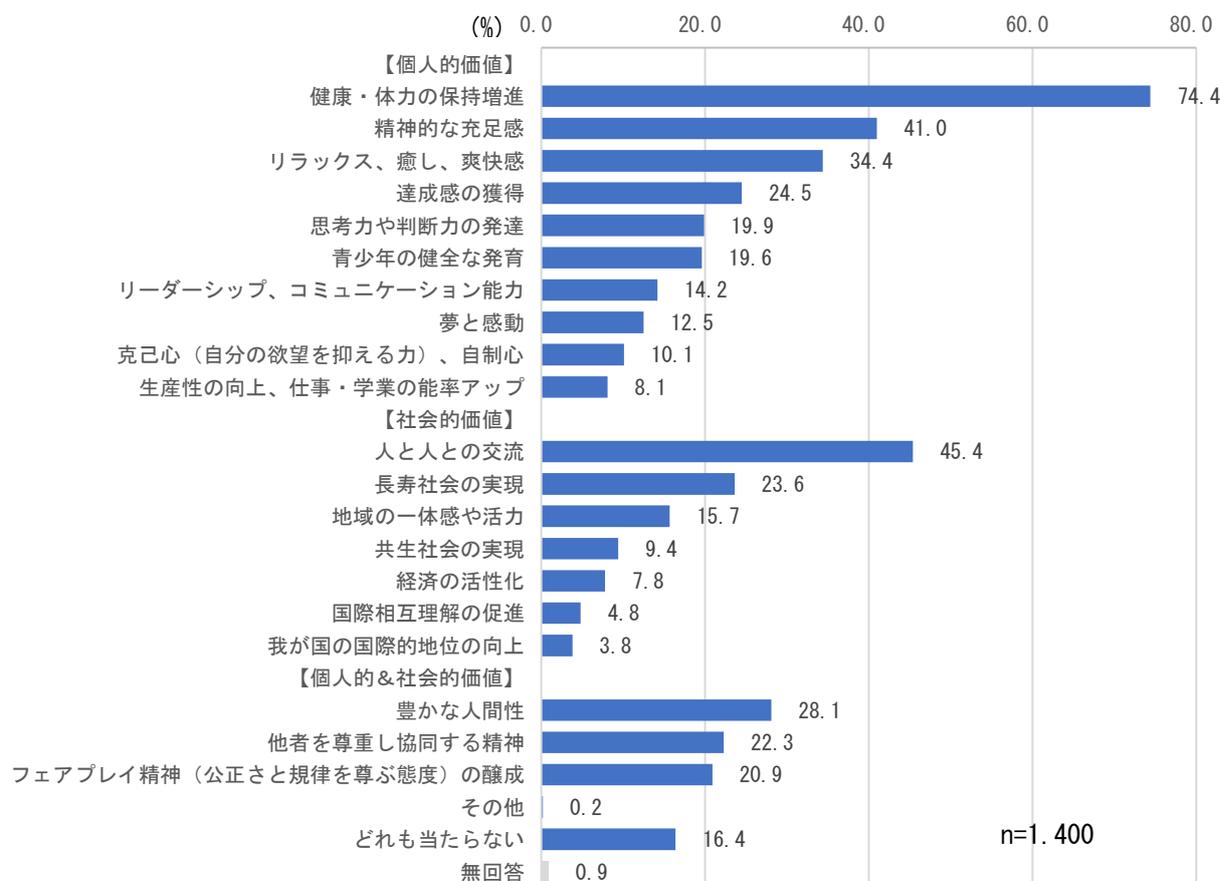
5. 運動・スポーツの価値について

(1) スポーツが個人や社会にもたらす効果についてあてはまると思うものはどれですか。あてはまるものすべて (MA)

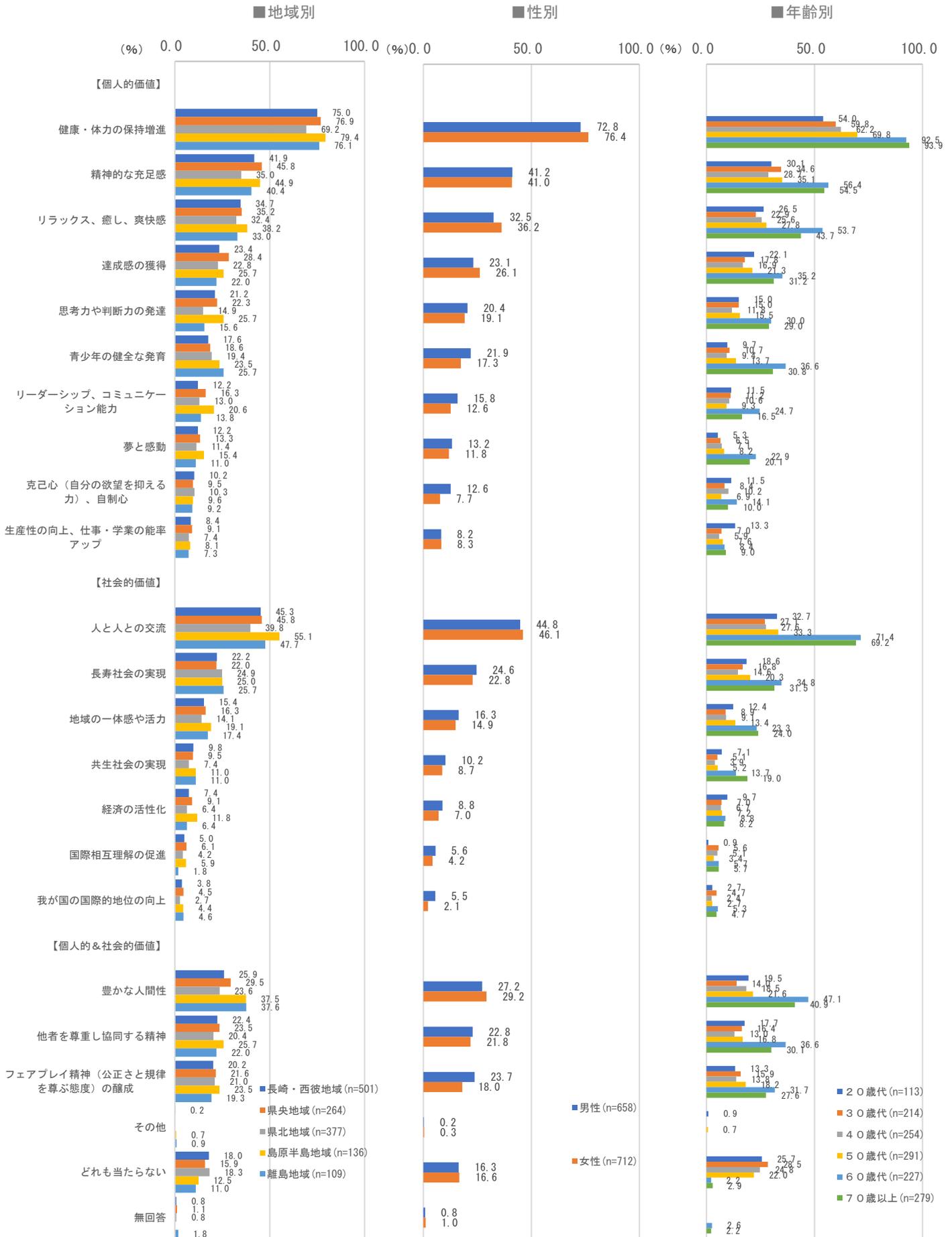
個人的価値として「健康・体力の保持増進」、社会的価値として「人と人との交流」
個人的価値&社会的価値として「豊かな人間性」

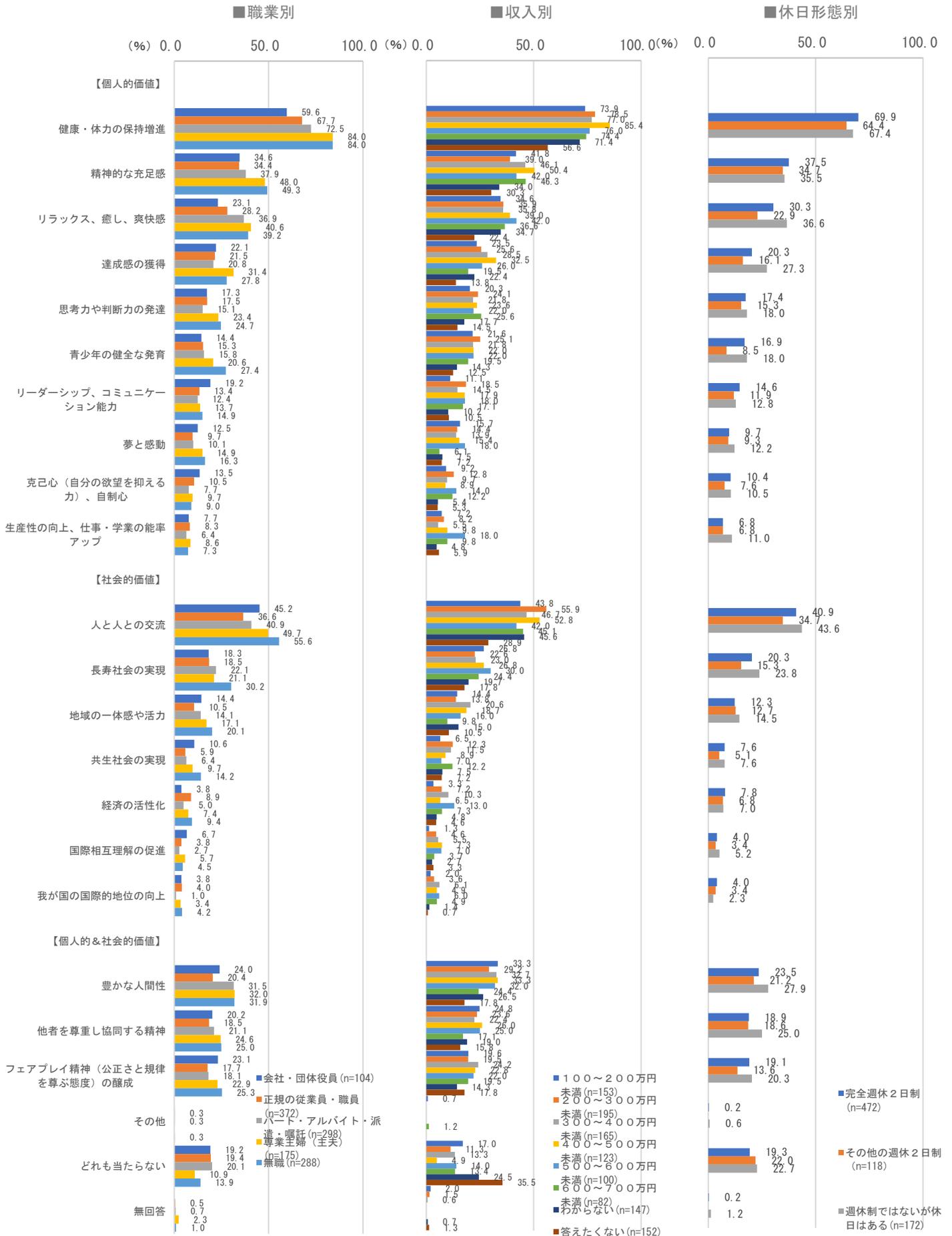
全体では、「健康・体力の保持増進」が74.4%で最も多く、次いで「人と人との交流」が45.4%、「精神的な充足感」が41.0%と続いており、「個人的価値」、「社会的価値」の項目が並んでいる。

地域別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「青少年の健全な発育」の項目で「離島地域」「島原半島地域」が高く「長崎・西彼地域」「県央地域」がやや低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「健康・体力の保持増進」「精神的な充足感」「リラックス、癒し、爽快感」など全般的に年齢の上昇に世もない高くなる傾向がみられる。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられず、職種による大きな偏りはみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられず、収入による大きな偏りはみられない。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。



※母数が少ないため、{「10歳代」、{「農林業」、「自営業主」、「家族従事者」、「学生」、「その他」、{「収入なし」、{「700～800万円未満」、{「800～1,000万円未満」、{「1,000万円以上」、{「週休1日半制」、{「週休1日制」、{「休日はない」、{「その他」}は図に表示していない。



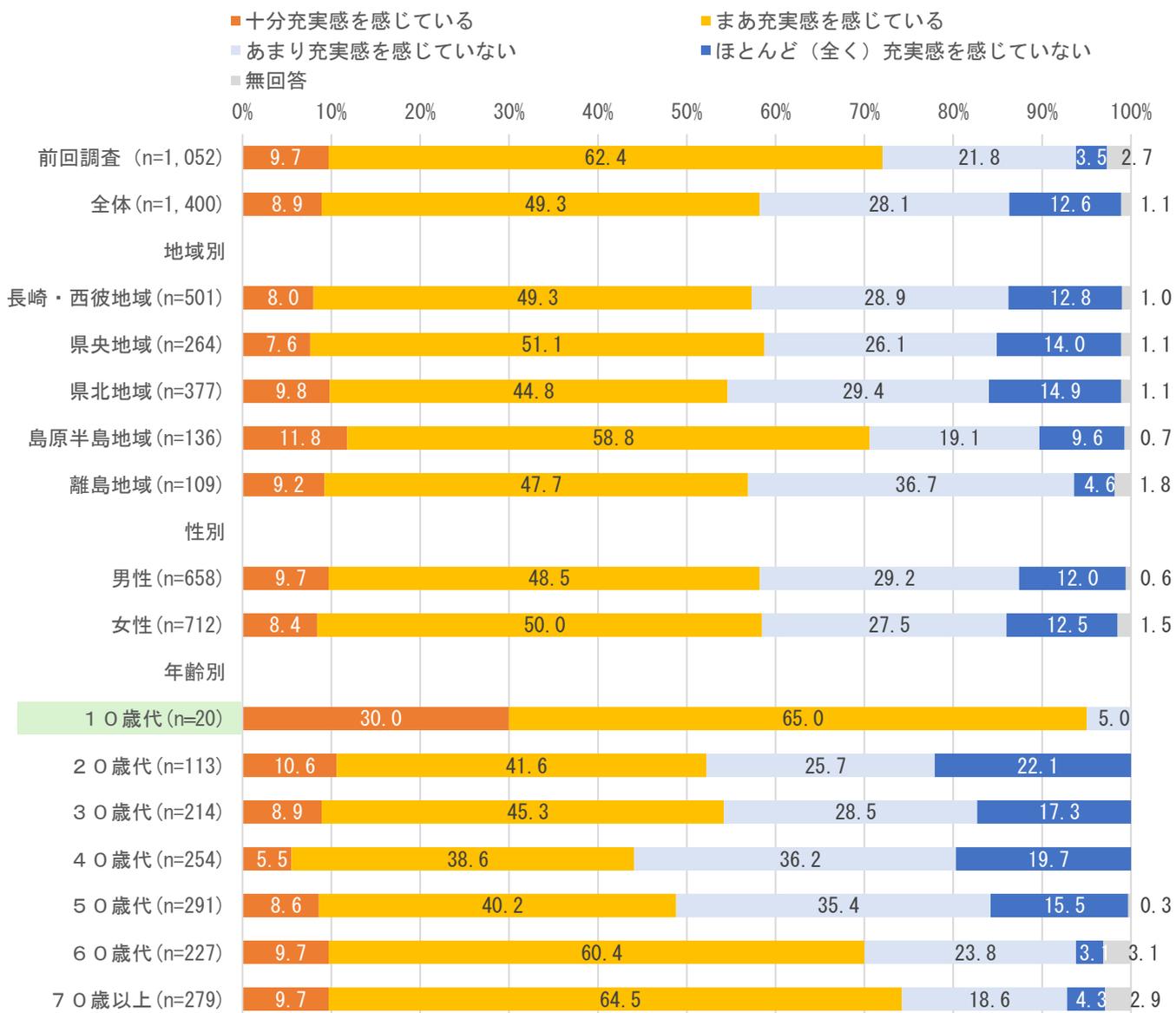


(2) あなたは日常生活の中で、どの程度充実感を感じていますか。(SA)

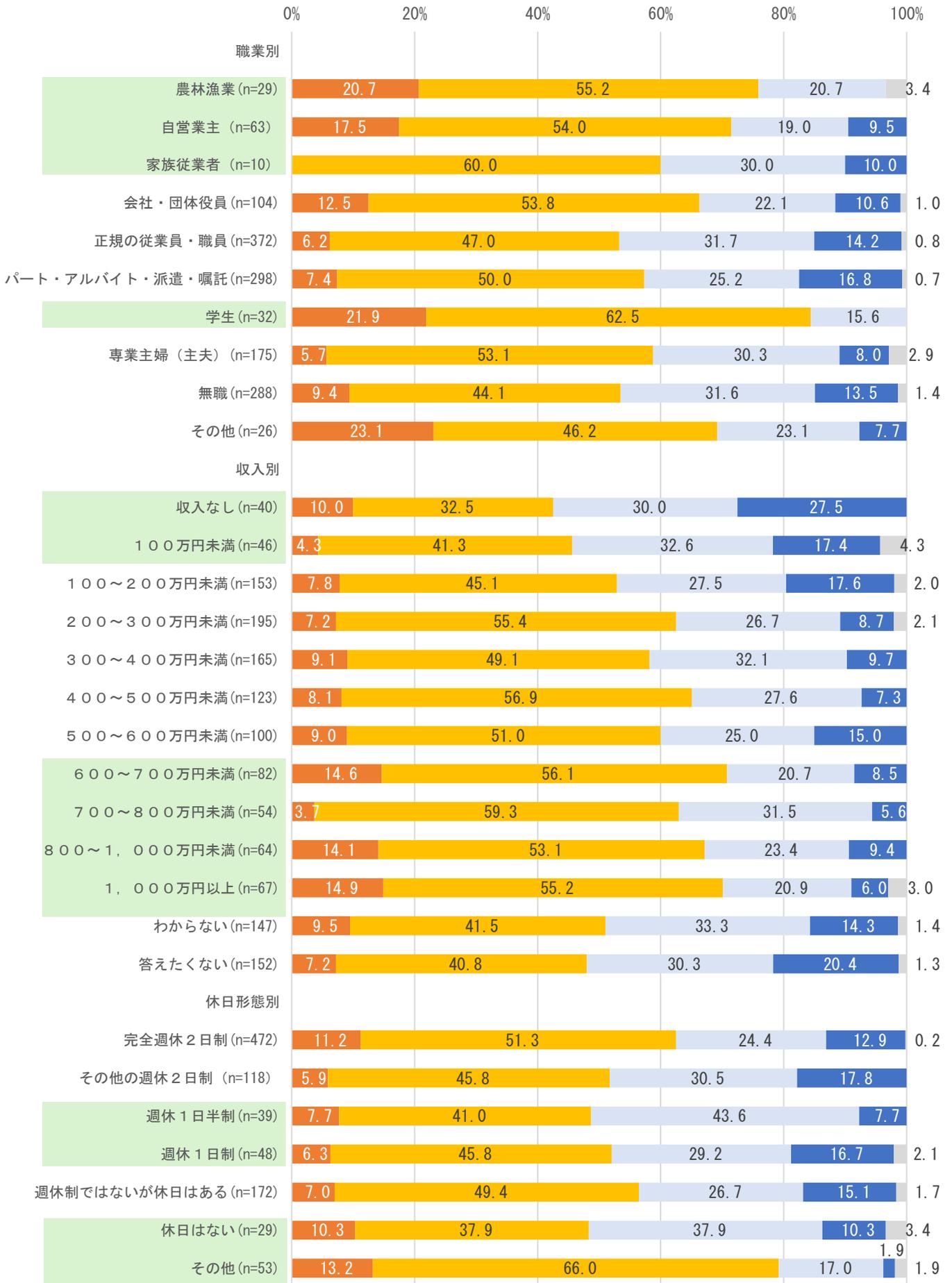
「充実感がある」は 58.2%、前回調査より 13.9 ポイント減少
 「充実感はない」は 40.7%、前回調査より 15.4 ポイント増加

全体では、「まあ充実感を感じている」が 49.3%で最も多く、次いで「あまり充実感を感じていない」が 28.1%、「ほとんど(全く)充実感を感じていない」が 12.6%と続いており、「充実感がある(「十分充実感を感じている」+「まあ充実感を感じている」)」が 58.2%、「充実感はない(「あまり充実感を感じていない」+「ほとんど(全く)充実感を感じていない」)」が 40.7%となっている。前回調査との比較で「充実感がある」は 13.9 ポイント減少し、「充実感はない」は 15.4 ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「充実感がある」は「島原半島地域」が最も高く「県北地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	全体の傾向との相違は「40歳代」「50歳代」は「充実感がある」と「充実感はない」が逆転している。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられず、職種による大きな偏りはみられない。「充実感がある」は「会社・団体役員」が最も高くなっている。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられず、収入による大きな偏りはみられない。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。



- 十分充実感を感じている
- まあ充実感を感じている
- あまり充実感を感じていない
- ほとんど（全く）充実感を感じていない
- 無回答



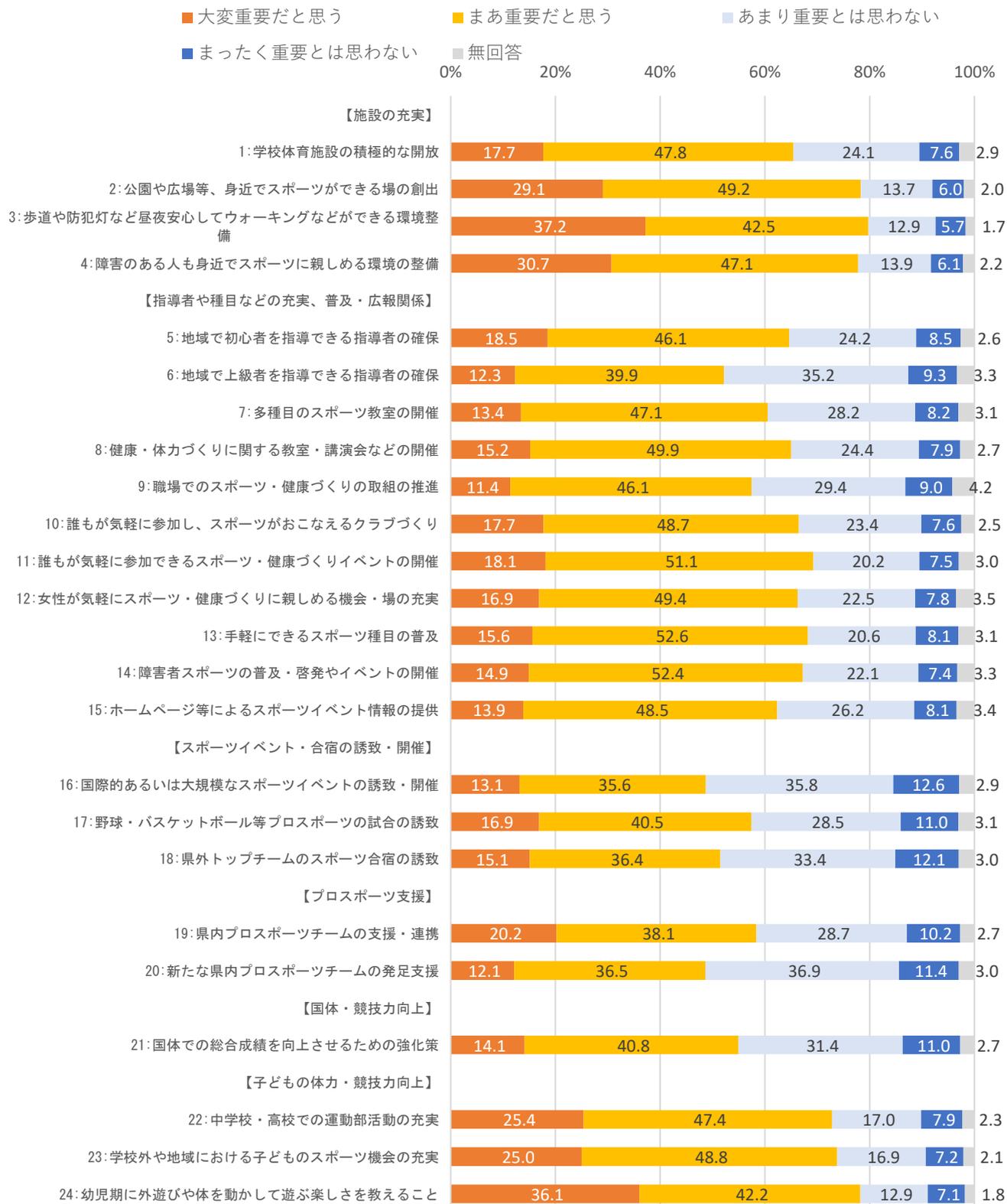
※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	十分充実感を 感じている	まあ充実感を 感じている	あまり充実感 を感じていな い	ほとんど（全 く）充実感を 感じていない	無回答
長崎市	433 100.0	36 8.3	207 47.8	126 29.1	59 13.6	5 1.2
長与町	38 100.0	3 7.9	21 55.3	10 26.3	4 10.5	- -
時津町	30 100.0	1 3.3	19 63.3	9 30.0	1 3.3	- -
佐世保市	258 100.0	26 10.1	114 44.2	79 30.6	39 15.1	- -
平戸市	28 100.0	3 10.7	7 25.0	10 35.7	5 17.9	3 10.7
松浦市	19 100.0	1 5.3	9 47.4	5 26.3	4 21.1	- -
西海市	18 100.0	2 11.1	8 44.4	5 27.8	2 11.1	1 5.6
小値賀町	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	- -	- -
佐々町	12 100.0	1 8.3	7 58.3	4 33.3	- -	- -
東彼杵町	8 100.0	2 25.0	4 50.0	1 12.5	1 12.5	- -
川棚町	22 100.0	2 9.1	11 50.0	4 18.2	5 22.7	- -
波佐見町	12 100.0	- -	9 75.0	3 25.0	- -	- -
島原市	34 100.0	4 11.8	16 47.1	8 23.5	6 17.6	- -
雲仙市	36 100.0	4 11.1	21 58.3	8 22.2	2 5.6	1 2.8
南島原市	66 100.0	8 12.1	43 65.2	10 15.2	5 7.6	- -
諫早市	134 100.0	9 6.7	73 54.5	30 22.4	21 15.7	1 0.7
大村市	130 100.0	11 8.5	62 47.7	39 30.0	16 12.3	2 1.5
対馬市	17 100.0	1 5.9	9 52.9	6 35.3	- -	1 5.9
壱岐市	25 100.0	3 12.0	12 48.0	9 36.0	- -	1 4.0
五島市	39 100.0	1 2.6	17 43.6	18 46.2	3 7.7	- -
新上五島町	24 100.0	4 16.7	12 50.0	6 25.0	2 8.3	- -
上記以外	13 100.0	2 15.4	7 53.8	2 15.4	1 7.7	1 7.7

(3) あなたは長崎県のスポーツ・運動の普及をもっと盛んにするために、以下の各事柄に対してどの程度「重要性」を感じますか。(SA)

**重要度が最も高いのは
「3:歩道や防犯灯など昼夜安心してウォーキングなどができる環境整備」が79.7%**

「重要（「大変重要だと思う」+「まあ重要だと思う）」は「3:歩道や防犯灯など昼夜安心してウォーキングなどができる環境整備」が79.7%で最も高く、次いで「2:公園や広場等、身近でスポーツができる場の創出」「24:幼児期に外遊びや体を動かして遊ぶ楽しさを教えること」が78.3%、「4:障害のある人も身近でスポーツに親しめる環境の整備」が77.8%と続いている。
また、半数以下の支持は2項目あり、「16:国際的あるいは大規模なスポーツイベントの誘致・開催」が48.7%、「20:新たな県内プロスポーツチームの発足支援」が48.6%となっている。



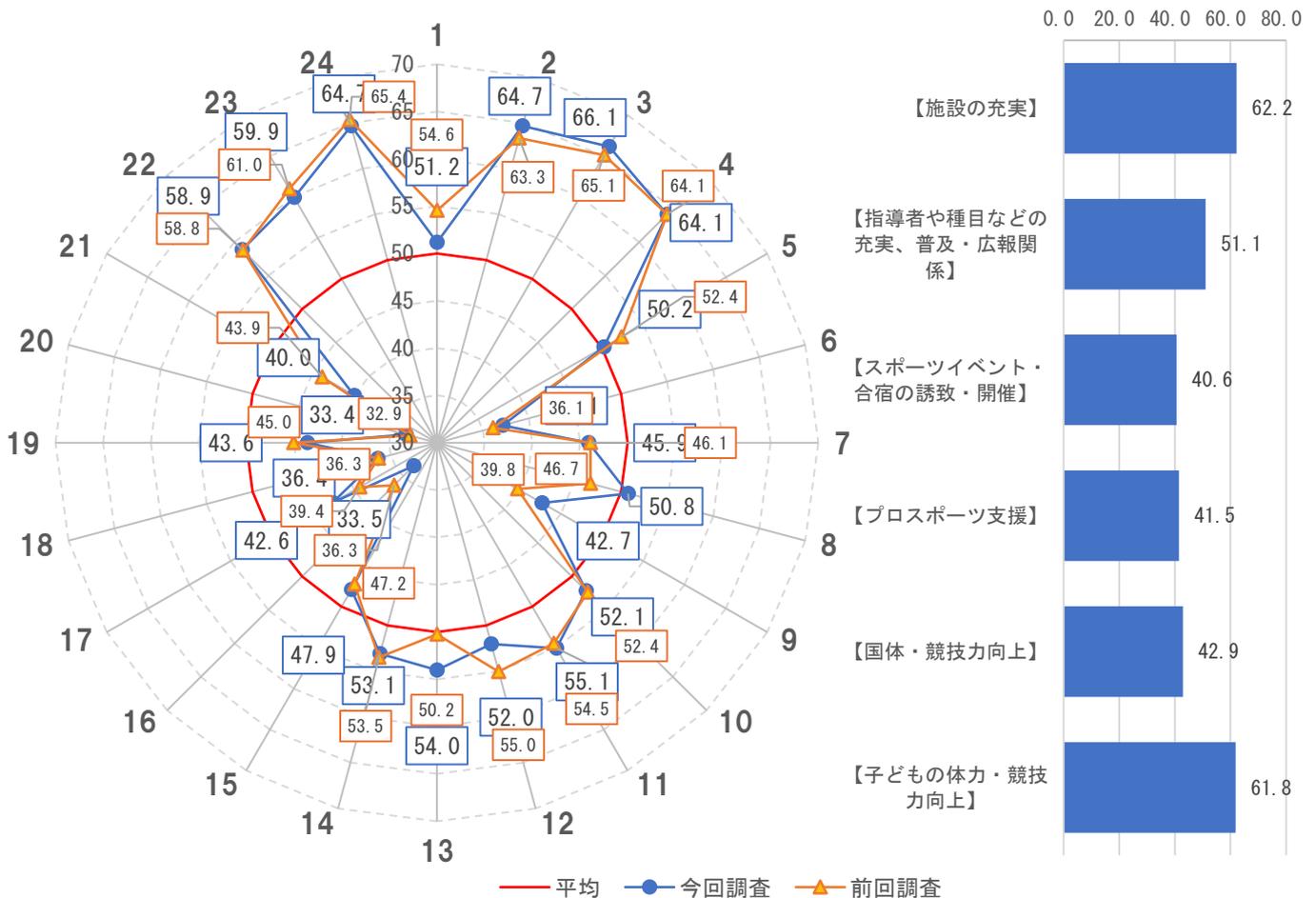
各設問の回答で「重要である」と回答した割合を偏差値で表すと下表の通りとなり、県民が重要と思う割合の平均以下となったのは項目番号（下記凡例参照）で6・7・9・15・16・17・18・19・20・21の10項目であり前回調査の11項目から減少している。

経年比較で「重要度（%）」が10ポイント以上減少したのは、大きい順に1・12・23・4・3・5・2の順となっており、偏差値で最も減少したのは「1:学校体育施設の積極的な開放」の3.4ポイント減少であった。

また、大項目の偏差値でみると「施設の充実」が62.2で最も大きく。「子どもの体力・競技力向上」が61.8、「指導者や種目などの充実、普及・広報関係」が51.1と続いており、経年による項目の変更はみられない。

【小項目偏差値】

【大項目偏差値（小項目平均）】



1	学校体育施設の積極的な開放	13	手軽にできるスポーツ種目（レクリエーション）の普及
2	公園や広場等、身近でスポーツができる場の創出	14	障害者スポーツの普及・啓発やイベントの開催
3	歩道や防犯灯など昼夜安心してウォーキングなどができる環境整備	15	ホームページ等によるスポーツイベント情報の提供
4	障害のある人も身近でスポーツに親しめる環境の整備	16	国際的あるいは大規模なスポーツイベントの誘致・開催
5	地域で初心者を指導できる指導者の確保	17	野球・バスケットボール等プロスポーツの試合の誘致
6	地域で上級者を指導できる指導者の確保	18	県外トップチーム（実業団・プロ）のスポーツ合宿の誘致
7	多種目のスポーツ教室の開催	19	県内プロスポーツチーム（V・ファーレン）の支援・連携
8	健康・体力づくりに関する教室・講演会などの開催	20	新たな県内プロスポーツチームの発足支援
9	職場でのスポーツ・健康づくりの取組の推進	21	国体での総合成績を向上させるための強化策
10	誰もが気軽に参加し、スポーツがおこなえるクラブづくり	22	中学校・高校での運動部活動の充実
11	誰もが気軽に参加できるスポーツ・健康づくりイベントの開催	23	学校外や地域における子どものスポーツ機会の充実
12	女性が気軽にスポーツ・健康づくりに親しめる機会・場の充実	24	幼児期に外遊びや体を動かして遊ぶ楽しさを教えること

	重要度 (%)			重要度 (偏差値)		
	今回調査	前回調査	増減	今回調査	前回調査	増減
【施設の充実】						
1:学校体育施設の積極的な開放	65.5	77.7	▲ 12.2	51.2	54.6	▲ 3.4
2:公園や広場等、身近でスポーツができる場の創出	78.3	88.5	▲ 10.2	64.7	63.3	1.3
3:歩道や防犯灯など昼夜安心してウォーキングなどができる環境整備	79.7	90.7	▲ 11.0	66.1	65.1	1.0
4:障害のある人も身近でスポーツに親しめる環境の整備	77.8	89.5	▲ 11.7	64.1	64.1	0.0
【指導者や種目などの充実、普及・広報関係】						
5:地域で初心者をご指導できる指導者の確保	64.6	75.0	▲ 10.4	50.2	52.4	▲ 2.1
6:地域で上級者を指導できる指導者の確保	52.2	55.0	▲ 2.8	37.1	36.1	1.0
7:多種目のスポーツ教室の開催	60.5	67.3	▲ 6.8	45.9	46.1	▲ 0.2
8:健康・体力づくりに関する教室・講演会などの開催	65.1	68.0	▲ 2.9	50.8	46.7	4.1
9:職場でのスポーツ・健康づくりの取組の推進	57.5	59.5	▲ 2.0	42.7	39.8	3.0
10:誰もが気軽に参加し、スポーツがおこなえるクラブづくり	66.4	75.0	▲ 8.6	52.1	52.4	▲ 0.2
11:誰もが気軽に参加できるスポーツ・健康づくりイベントの開催	69.2	77.6	▲ 8.4	55.1	54.5	0.6
12:女性が気軽にスポーツ・健康づくりに親しめる機会・場の充実	66.3	78.3	▲ 12.0	52.0	55.0	▲ 3.0
13:手軽にできるスポーツ種目の普及	68.2	72.4	▲ 4.2	54.0	50.2	3.8
14:障害者スポーツの普及・啓発やイベントの開催	67.3	76.4	▲ 9.1	53.1	53.5	▲ 0.4
15:ホームページ等によるスポーツイベント情報の提供	62.4	68.7	▲ 6.3	47.9	47.2	0.7
【スポーツイベント・合宿の誘致・開催】						
16:国際的あるいは大規模なスポーツイベントの誘致・開催	48.7	55.3	▲ 6.6	33.5	36.3	▲ 2.9
17:野球・バスケットボール等プロスポーツの試合の誘致	57.4	59.0	▲ 1.6	42.6	39.4	3.3
18:県外トップチームのスポーツ合宿の誘致	51.5	55.3	▲ 3.8	36.4	36.3	0.1
【プロスポーツ支援】						
19:県内プロスポーツチームの支援・連携	58.3	66.0	▲ 7.7	43.6	45.0	▲ 1.5
20:新たな県内プロスポーツチームの発足支援	48.6	51.1	▲ 2.5	33.4	32.9	0.4
【国体・競技力向上】						
21:国体での総合成績を向上させるための強化策	54.9	64.6	▲ 9.7	40.0	43.9	▲ 3.9
【子どもの体力・競技力向上】						
22:中学校・高校での運動部活動の充実	72.8	82.9	▲ 10.1	58.9	58.8	0.1
23:学校外や地域における子どものスポーツ機会の充実	73.8	85.6	▲ 11.8	59.9	61.0	▲ 1.0
24:幼児期に外遊びや体を動かして遊ぶ楽しさを教えること	78.3	91.0	▲ 12.7	64.7	65.4	▲ 0.7

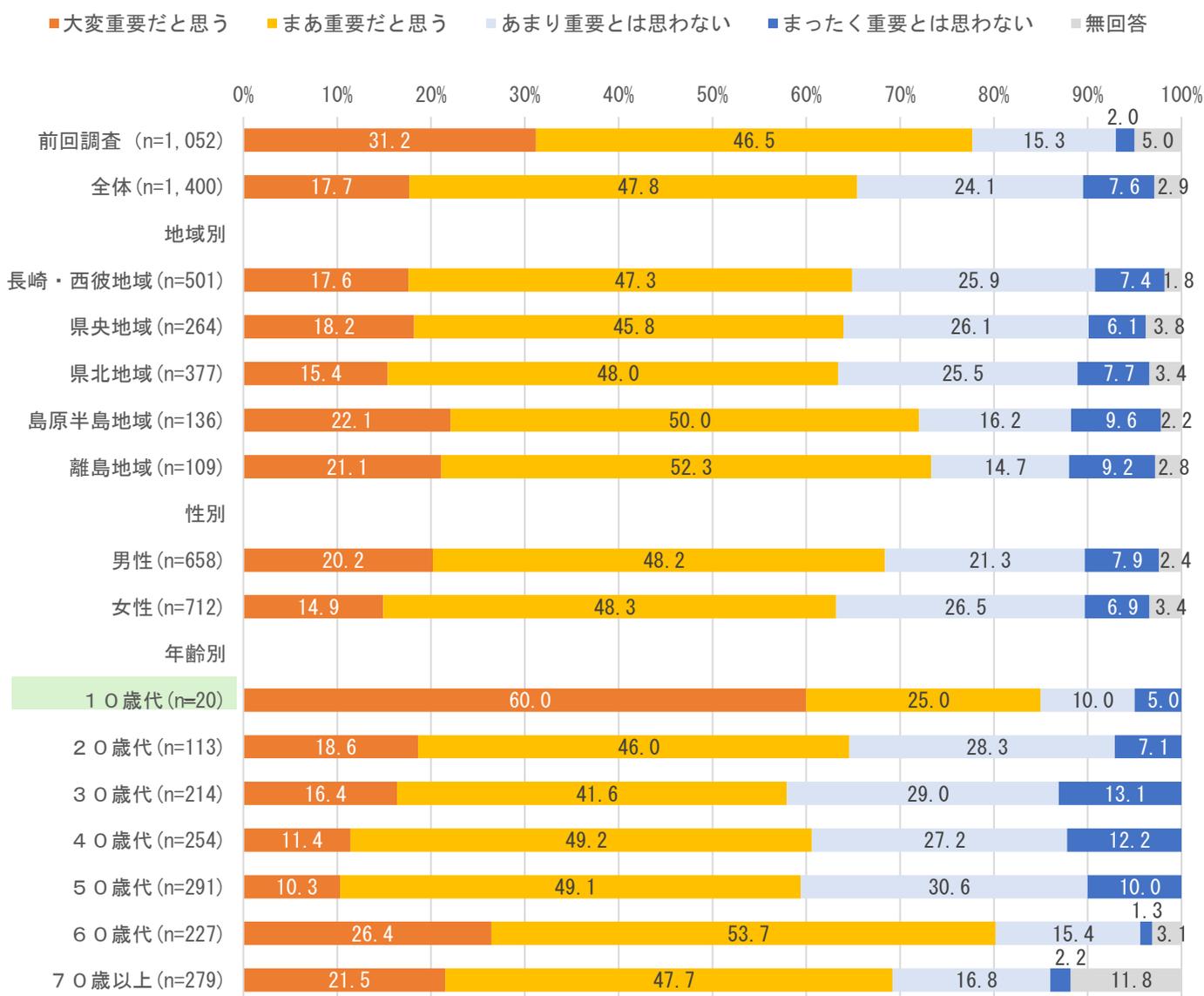
1: 学校体育施設の積極的な開放 (大学含む)。(SA)

重要度は 65.5%

全体では、「まあ重要だと思う」が 47.8%で最も多く、次いで「あまり重要とは思わない」が 24.1%、「大変重要だと思う」が 17.7%と続いており、「重要である（「大変重要だと思う」+「まあ重要だと思う」）」が 65.5%、「重要ではない（「あまり重要とは思わない」+「まったく重要とは思わない」）」が 31.7%となっている。

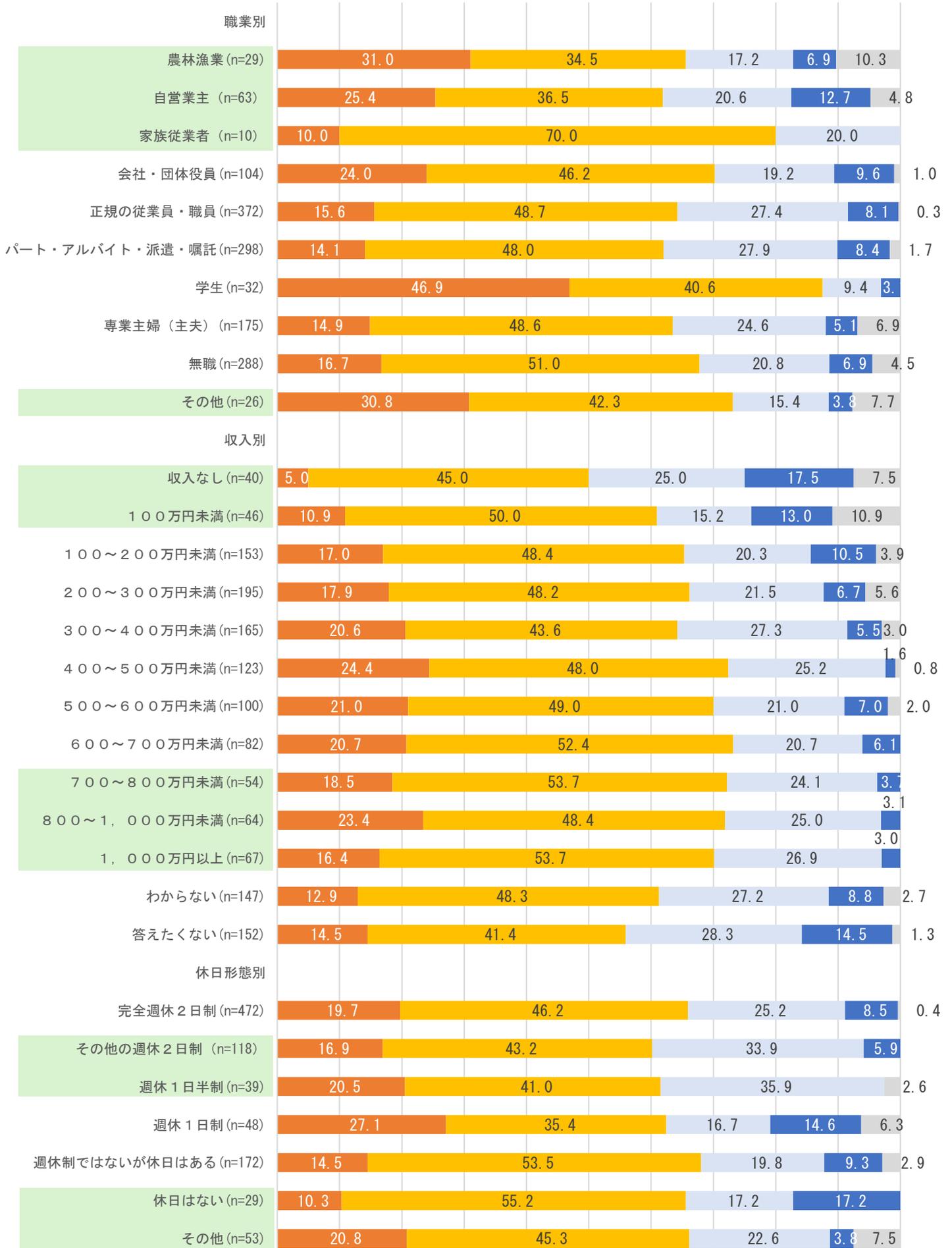
前回調査との比較で「重要である」は 12.2 ポイント減少し、「重要ではない」は 14.4 ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「離島地域」が最も高く「県北地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「男性」が「女性」よりも 5.2 ポイント高くなっている。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが「60 歳代」は「重要である」が 80.1%と他の年代よりも 10 ポイント以上高くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。



■大変重要だと思う ■まあ重要だと思う ■あまり重要とは思わない ■まったく重要とは思わない ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	33 7.6	109 25.2	205 47.3	77 17.8	9 2.1
長与町	38 100.0	1 2.6	13 34.2	18 47.4	6 15.8	- -
時津町	30 100.0	3 10.0	8 26.7	14 46.7	5 16.7	- -
佐世保市	258 100.0	22 8.5	65 25.2	124 48.1	44 17.1	3 1.2
平戸市	28 100.0	1 3.6	8 28.6	12 42.9	4 14.3	3 10.7
松浦市	19 100.0	2 10.5	4 21.1	10 52.6	2 10.5	1 5.3
西海市	18 100.0	2 11.1	4 22.2	7 38.9	1 5.6	4 22.2
小値賀町	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	- -
佐々町	12 100.0	1 8.3	2 16.7	7 58.3	2 16.7	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	3 37.5	4 50.0	1 12.5	- -
川棚町	22 100.0	1 4.5	6 27.3	12 54.5	3 13.6	- -
波佐見町	12 100.0	- -	4 33.3	5 41.7	1 8.3	2 16.7
島原市	34 100.0	5 14.7	4 11.8	20 58.8	5 14.7	- -
雲仙市	36 100.0	2 5.6	9 25.0	17 47.2	7 19.4	1 2.8
南島原市	66 100.0	6 9.1	9 13.6	31 47.0	18 27.3	2 3.0
諫早市	134 100.0	8 6.0	39 29.1	56 41.8	26 19.4	5 3.7
大村市	130 100.0	8 6.2	30 23.1	65 50.0	22 16.9	5 3.8
対馬市	17 100.0	- -	3 17.6	8 47.1	5 29.4	1 5.9
壱岐市	25 100.0	2 8.0	2 8.0	15 60.0	5 20.0	1 4.0
五島市	39 100.0	4 10.3	5 12.8	22 56.4	7 17.9	1 2.6
新上五島町	24 100.0	3 12.5	5 20.8	11 45.8	5 20.8	- -
上記以外	13 100.0	1 7.7	4 30.8	5 38.5	1 7.7	2 15.4

2:公園や広場等、身近でスポーツができる場の創出（オープンスペース等の有効活用）。(SA)

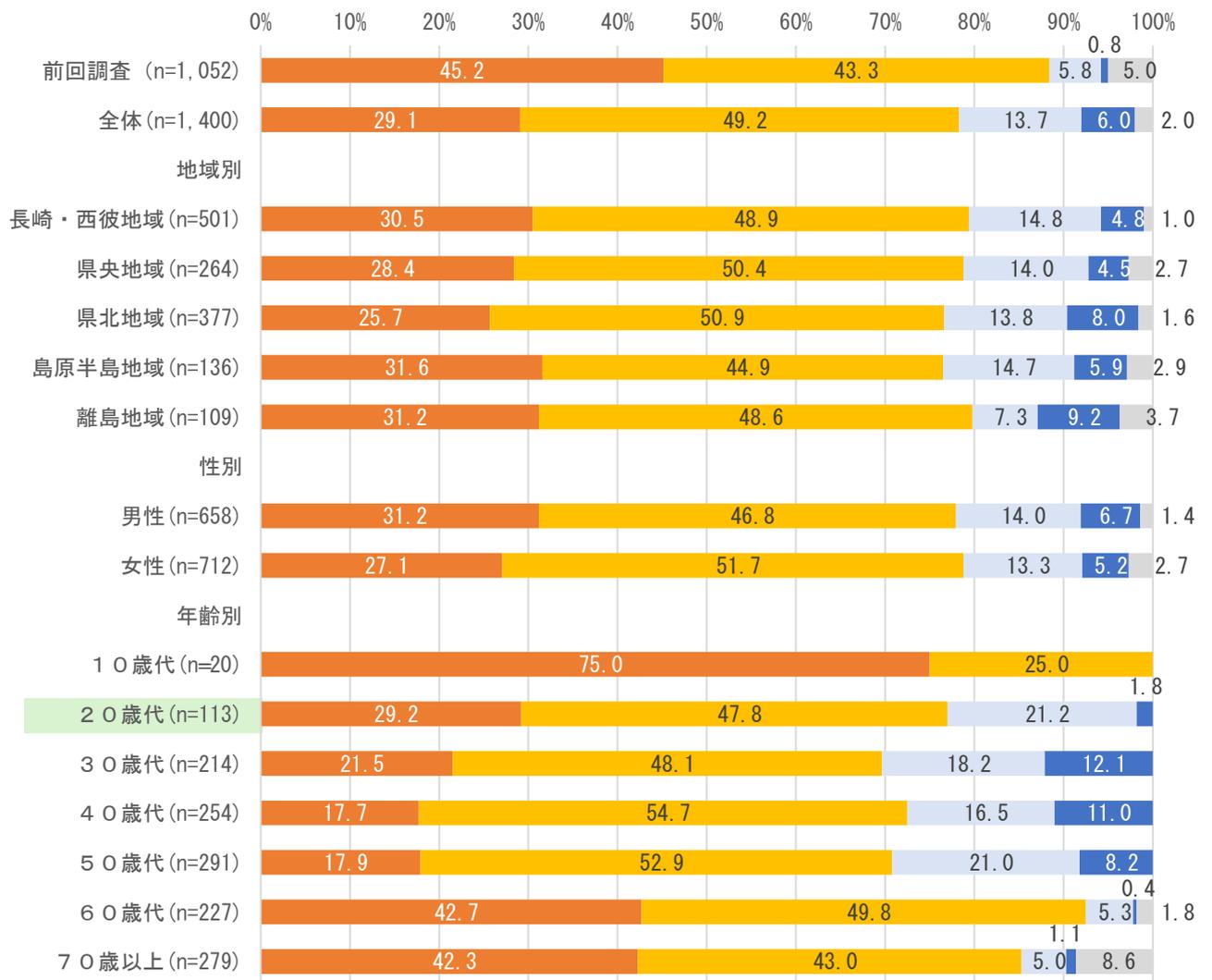
重要度は 78.3%

全体では、「まあ重要だと思う」が 49.2%で最も多く、次いで「大変重要だと思う」が 29.1%、「あまり重要とは思わない」が 13.7%と続いており、「重要である」が 78.3%、「重要ではない」が 19.7%となっている。

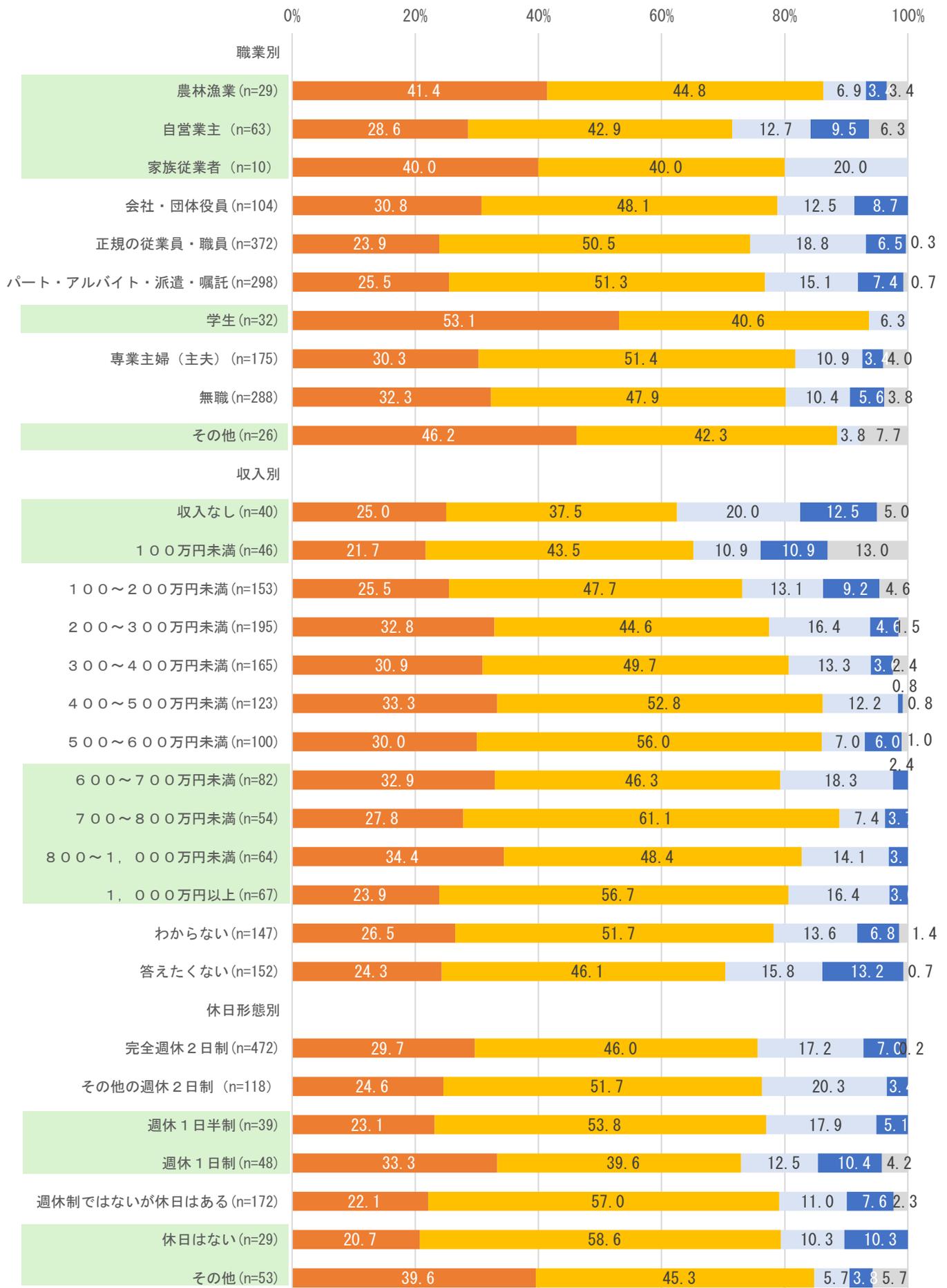
前回調査との比較で「重要である」は 10.2 ポイント減少し、「重要ではない」は 13.1 ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「離島地域」が最も高く「島原半島地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが「60歳代」・「70歳以上」は「重要である」が他の年代よりも10ポイント以上高くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。

■ 大変重要だと思う ■ まあ重要だと思う ■ あまり重要とは思わない ■ まったく重要とは思わない ■ 無回答



■ 大変重要だと思う
 ■ まあ重要だと思う
 ■ あまり重要とは思わない
■ まったく重要とは思わない
 ■ 無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	22 5.1	62 14.3	209 48.3	135 31.2	5 1.2
長与町	38 100.0	- -	7 18.4	22 57.9	9 23.7	- -
時津町	30 100.0	2 6.7	5 16.7	14 46.7	9 30.0	- -
佐世保市	258 100.0	20 7.8	36 14.0	133 51.6	68 26.4	1 0.4
平戸市	28 100.0	4 14.3	5 17.9	9 32.1	7 25.0	3 10.7
松浦市	19 100.0	3 15.8	1 5.3	8 42.1	6 31.6	1 5.3
西海市	18 100.0	1 5.6	2 11.1	9 50.0	6 33.3	- -
小値賀町	4 100.0	1 25.0	- -	2 50.0	- -	1 25.0
佐々町	12 100.0	1 8.3	1 8.3	9 75.0	1 8.3	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	2 25.0	3 37.5	3 37.5	- -
川棚町	22 100.0	1 4.5	4 18.2	13 59.1	4 18.2	- -
波佐見町	12 100.0	- -	1 8.3	8 66.7	2 16.7	1 8.3
島原市	34 100.0	3 8.8	5 14.7	18 52.9	7 20.6	1 2.9
雲仙市	36 100.0	1 2.8	7 19.4	15 41.7	12 33.3	1 2.8
南島原市	66 100.0	4 6.1	8 12.1	28 42.4	24 36.4	2 3.0
諫早市	134 100.0	7 5.2	22 16.4	65 48.5	38 28.4	2 1.5
大村市	130 100.0	5 3.8	15 11.5	68 52.3	37 28.5	5 3.8
対馬市	17 100.0	- -	2 11.8	7 41.2	7 41.2	1 5.9
壱岐市	25 100.0	2 8.0	2 8.0	13 52.0	6 24.0	2 8.0
五島市	39 100.0	4 10.3	3 7.7	22 56.4	10 25.6	- -
新上五島町	24 100.0	3 12.5	1 4.2	9 37.5	11 45.8	- -
上記以外	13 100.0	- -	1 7.7	5 38.5	5 38.5	2 15.4

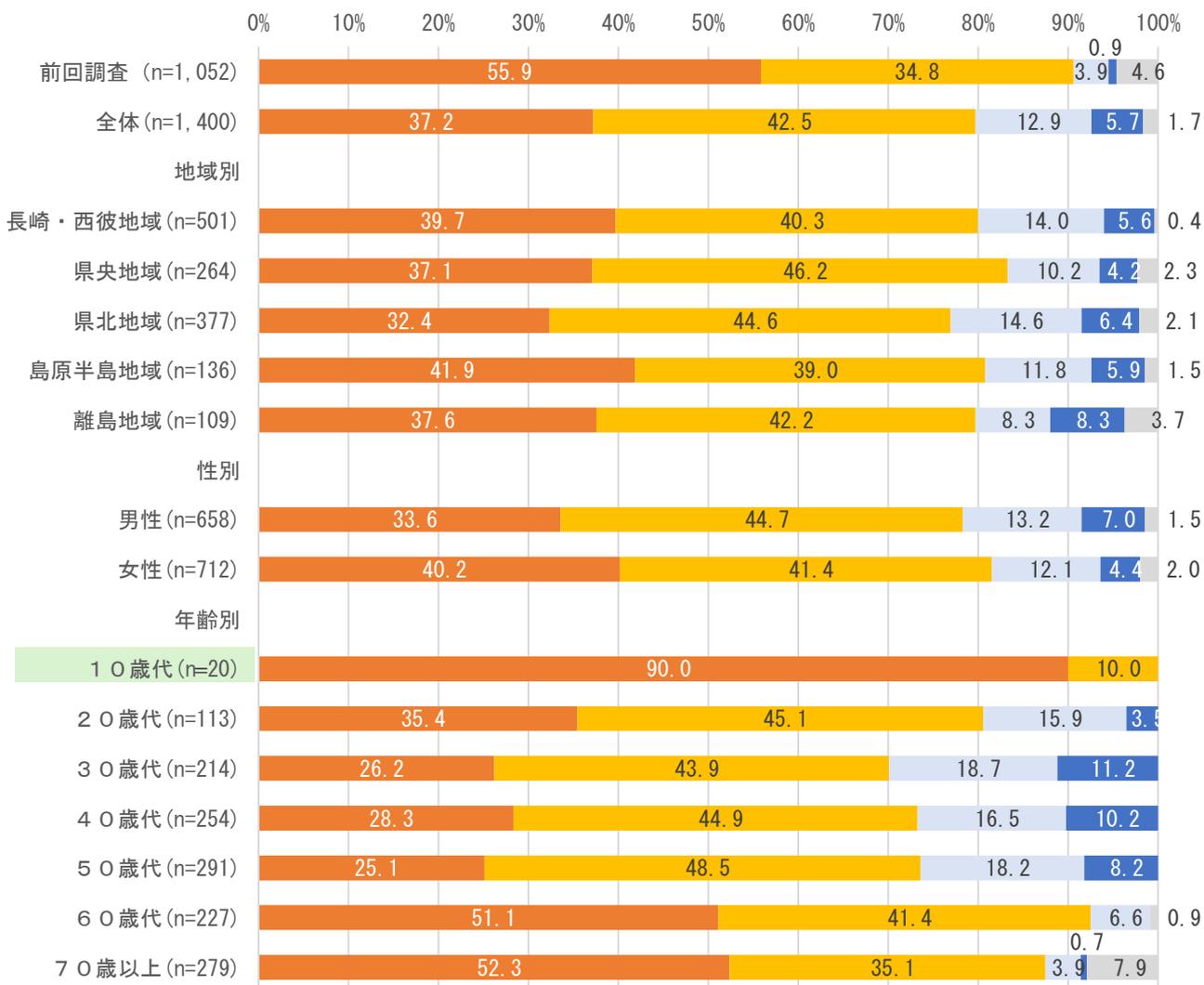
3: 歩道や防犯灯など昼夜安心してウォーキングなどができる環境整備。(SA)

重要度は 79.7%

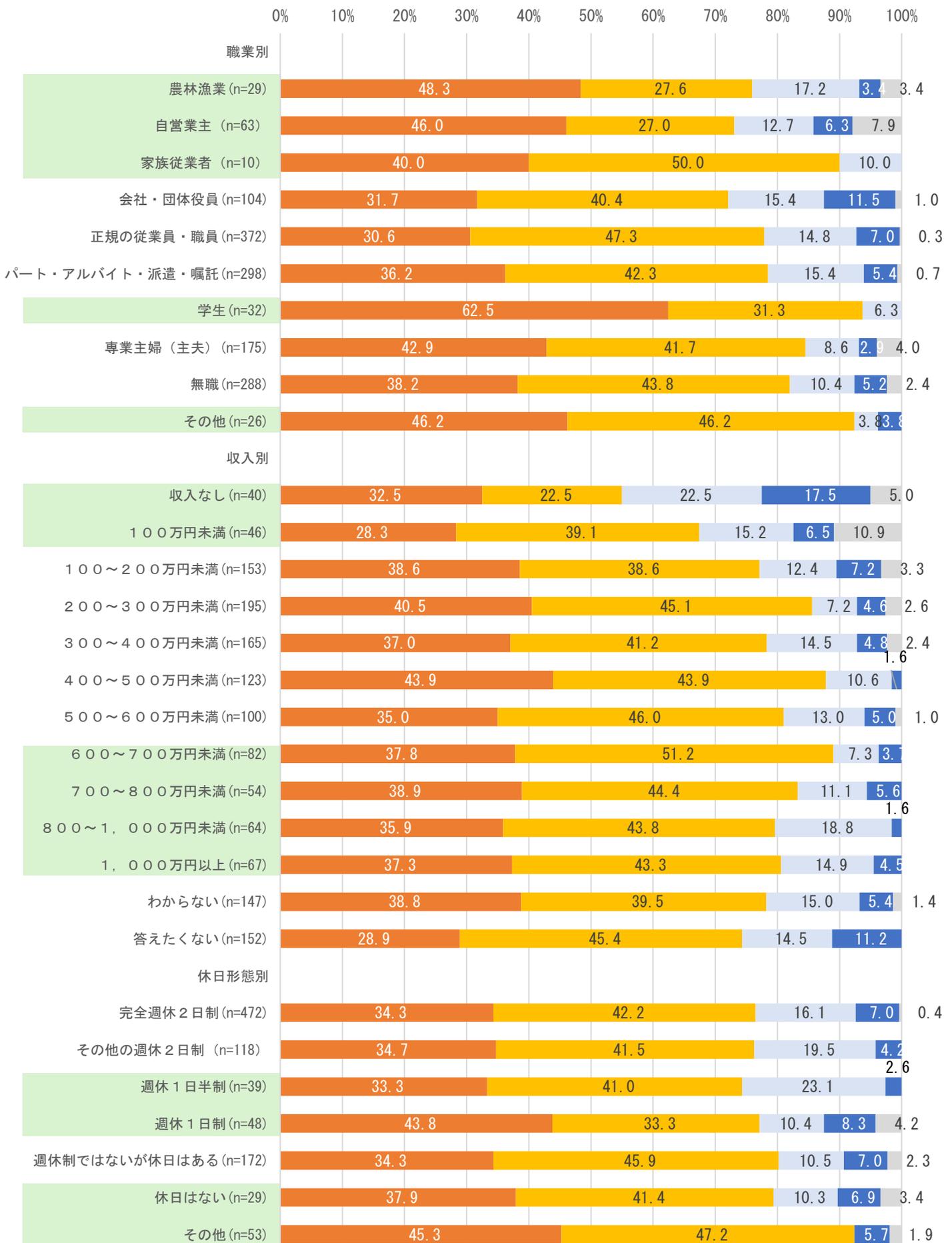
全体では、「まあ重要だと思う」が 42.5%で最も多く、次いで「大変重要だと思う」が 37.2%、「あまり重要とは思わない」が 12.9%と続いており、「重要である」が 79.7%、「重要ではない」が 18.6%となっている。
 前回調査との比較で「重要である」は 11.0 ポイント減少し、「重要ではない」は 13.8 ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「県央地域」が最も高く「県北地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での大きな差はみられない。
年齢別	全体の傾向との相違は似られないが「60歳代」・「70歳以上」は「重要である」が他の年代よりも 6.9 ポイント以上高くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられず、職種による大きな偏りはみられない。「重要である」は「専業主婦(主夫)」・「無職」がやや高くなっている。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。

■ 大変重要だと思う
 ■ まあ重要だと思う
 ■ あまり重要とは思わない
 ■ まったく重要とは思わない
 ■ 無回答



■ 大変重要だと思う
 ■ まあ重要だと思う
 ■ あまり重要とは思わない
 ■ まったく重要とは思わない
 ■ 無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	25 5.8	63 14.5	174 40.2	169 39.0	2 0.5
長与町	38 100.0	- -	6 15.8	17 44.7	15 39.5	- -
時津町	30 100.0	3 10.0	1 3.3	11 36.7	15 50.0	- -
佐世保市	258 100.0	18 7.0	37 14.3	113 43.8	87 33.7	3 1.2
平戸市	28 100.0	1 3.6	9 32.1	13 46.4	4 14.3	1 3.6
松浦市	19 100.0	2 10.5	1 5.3	9 47.4	6 31.6	1 5.3
西海市	18 100.0	1 5.6	2 11.1	9 50.0	4 22.2	2 11.1
小値賀町	4 100.0	1 25.0	- -	2 50.0	1 25.0	- -
佐々町	12 100.0	- -	- -	6 50.0	6 50.0	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	- -	4 50.0	4 50.0	- -
川棚町	22 100.0	1 4.5	3 13.6	13 59.1	5 22.7	- -
波佐見町	12 100.0	1 8.3	3 25.0	1 8.3	6 50.0	1 8.3
島原市	34 100.0	3 8.8	4 11.8	17 50.0	9 26.5	1 2.9
雲仙市	36 100.0	1 2.8	8 22.2	11 30.6	15 41.7	1 2.8
南島原市	66 100.0	4 6.1	4 6.1	25 37.9	33 50.0	- -
諫早市	134 100.0	5 3.7	14 10.4	66 49.3	47 35.1	2 1.5
大村市	130 100.0	6 4.6	13 10.0	56 43.1	51 39.2	4 3.1
対馬市	17 100.0	- -	3 17.6	5 29.4	8 47.1	1 5.9
壱岐市	25 100.0	2 8.0	3 12.0	11 44.0	7 28.0	2 8.0
五島市	39 100.0	3 7.7	1 2.6	19 48.7	15 38.5	1 2.6
新上五島町	24 100.0	3 12.5	2 8.3	9 37.5	10 41.7	- -
上記以外	13 100.0	- -	3 23.1	4 30.8	4 30.8	2 15.4

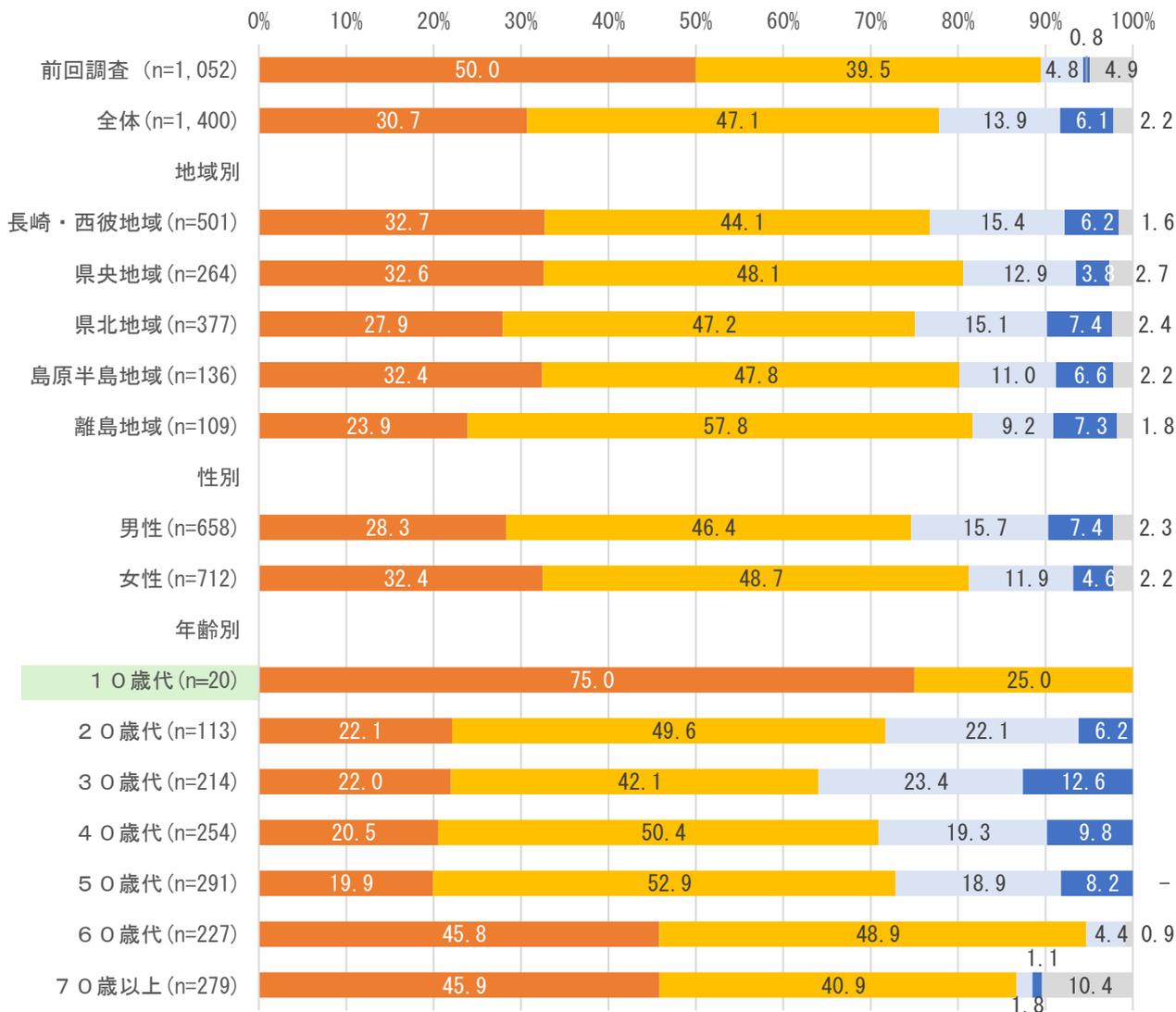
4: 障害のある人も身近でスポーツに親しめる環境の整備。(SA)

重要度は 77.8%

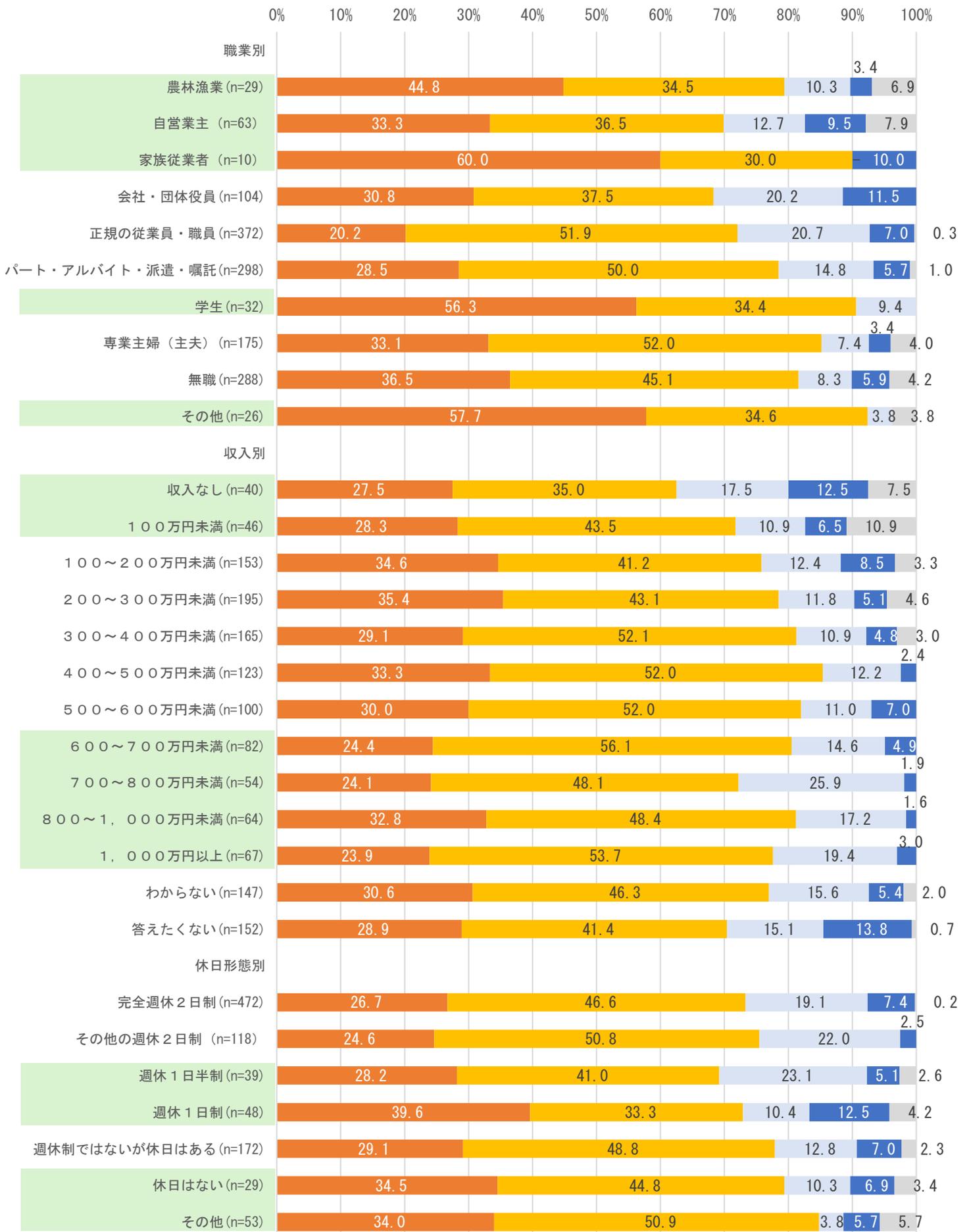
全体では、「まあ重要だと思う」が 47.1%で最も多く、次いで「大変重要だと思う」が 30.7%、「あまり重要とは思わない」が 13.9%と続いており、「重要である」が 77.8%、「重要ではない」が 20.0%となっている。
 前回調査との比較で「重要である」は 11.7 ポイント減少し、「重要ではない」は 14.4 ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「離島地域」が最も高く「島原半島地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「女性」が「男性」よりも 5.4 ポイント高くなっている。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが「60 歳代」・「70 歳以上」は「重要である」が他の年代よりも 10 ポイント以上高くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「会社・団体役員」「正規の従業員・職員」は低くなっている。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられず、収入の上昇に伴い「重要である」は高くなる傾向がみられる。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。

■ 大変重要だと思う ■ まあ重要だと思う ■ あまり重要とは思わない ■ まったく重要とは思わない ■ 無回答



■大変重要だと思う ■まあ重要だと思う ■あまり重要とは思わない ■まったく重要とは思わない ■無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

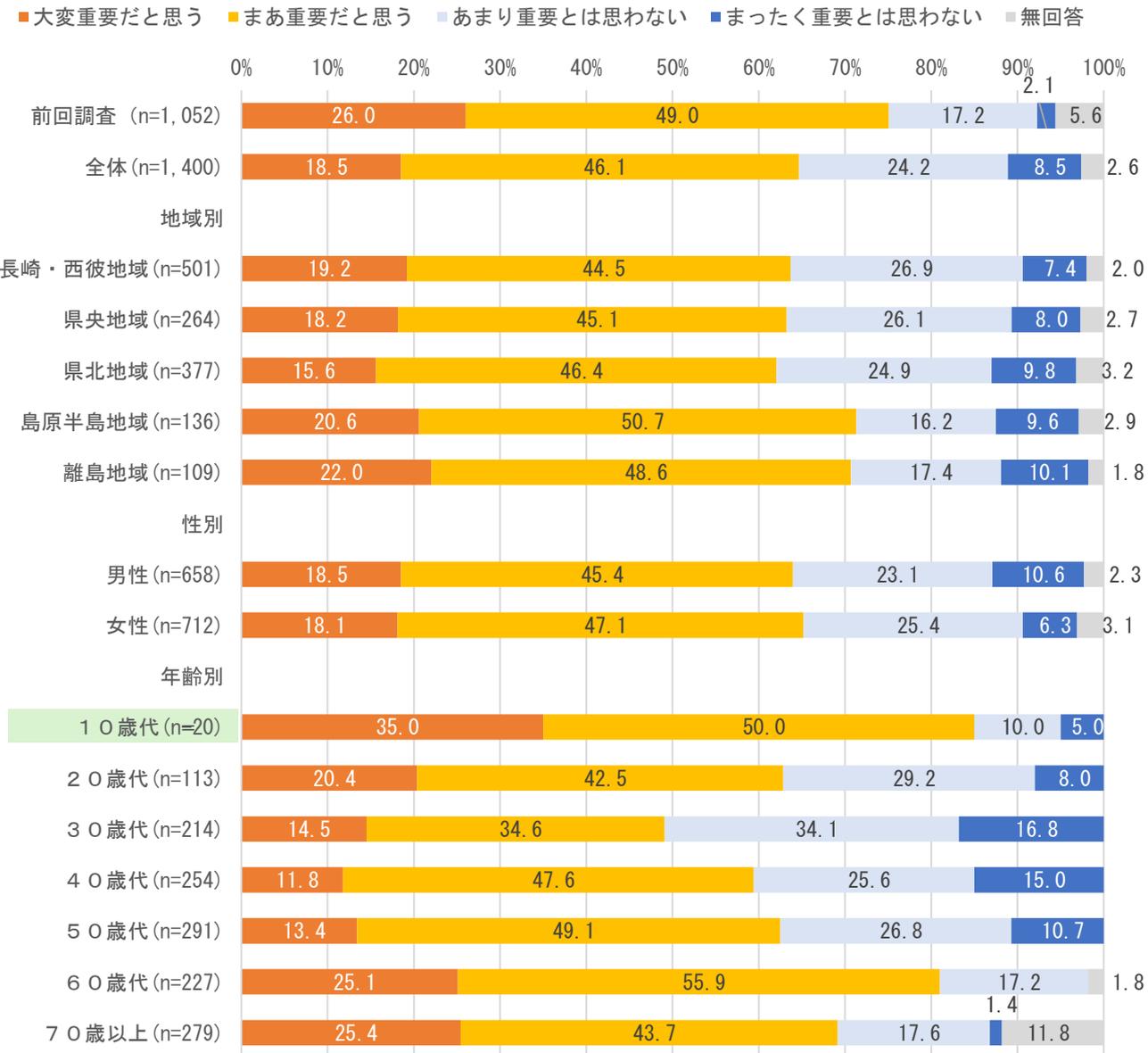
上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	29 6.7	65 15.0	191 44.1	140 32.3	8 1.8
長与町	38 100.0	- -	6 15.8	20 52.6	12 31.6	- -
時津町	30 100.0	2 6.7	6 20.0	10 33.3	12 40.0	- -
佐世保市	258 100.0	23 8.9	40 15.5	122 47.3	71 27.5	2 0.8
平戸市	28 100.0	1 3.6	8 28.6	12 42.9	5 17.9	2 7.1
松浦市	19 100.0	2 10.5	2 10.5	9 47.4	5 26.3	1 5.3
西海市	18 100.0	1 5.6	2 11.1	4 22.2	8 44.4	3 16.7
小値賀町	4 100.0	1 25.0	- -	3 75.0	- -	- -
佐々町	12 100.0	1 8.3	- -	7 58.3	4 33.3	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	1 12.5	4 50.0	3 37.5	- -
川棚町	22 100.0	- -	3 13.6	13 59.1	6 27.3	- -
波佐見町	12 100.0	- -	1 8.3	7 58.3	3 25.0	1 8.3
島原市	34 100.0	4 11.8	6 17.6	15 44.1	8 23.5	1 2.9
雲仙市	36 100.0	1 2.8	4 11.1	18 50.0	12 33.3	1 2.8
南島原市	66 100.0	4 6.1	5 7.6	32 48.5	24 36.4	1 1.5
諫早市	134 100.0	5 3.7	21 15.7	60 44.8	45 33.6	3 2.2
大村市	130 100.0	5 3.8	13 10.0	67 51.5	41 31.5	4 3.1
対馬市	17 100.0	- -	2 11.8	9 52.9	6 35.3	- -
壱岐市	25 100.0	2 8.0	2 8.0	15 60.0	5 20.0	1 4.0
五島市	39 100.0	2 5.1	2 5.1	25 64.1	9 23.1	1 2.6
新上五島町	24 100.0	3 12.5	4 16.7	11 45.8	6 25.0	- -
上記以外	13 100.0	- -	1 7.7	5 38.5	5 38.5	2 15.4

28-5:地域で初心者をご指導できる指導者の確保 (SA)

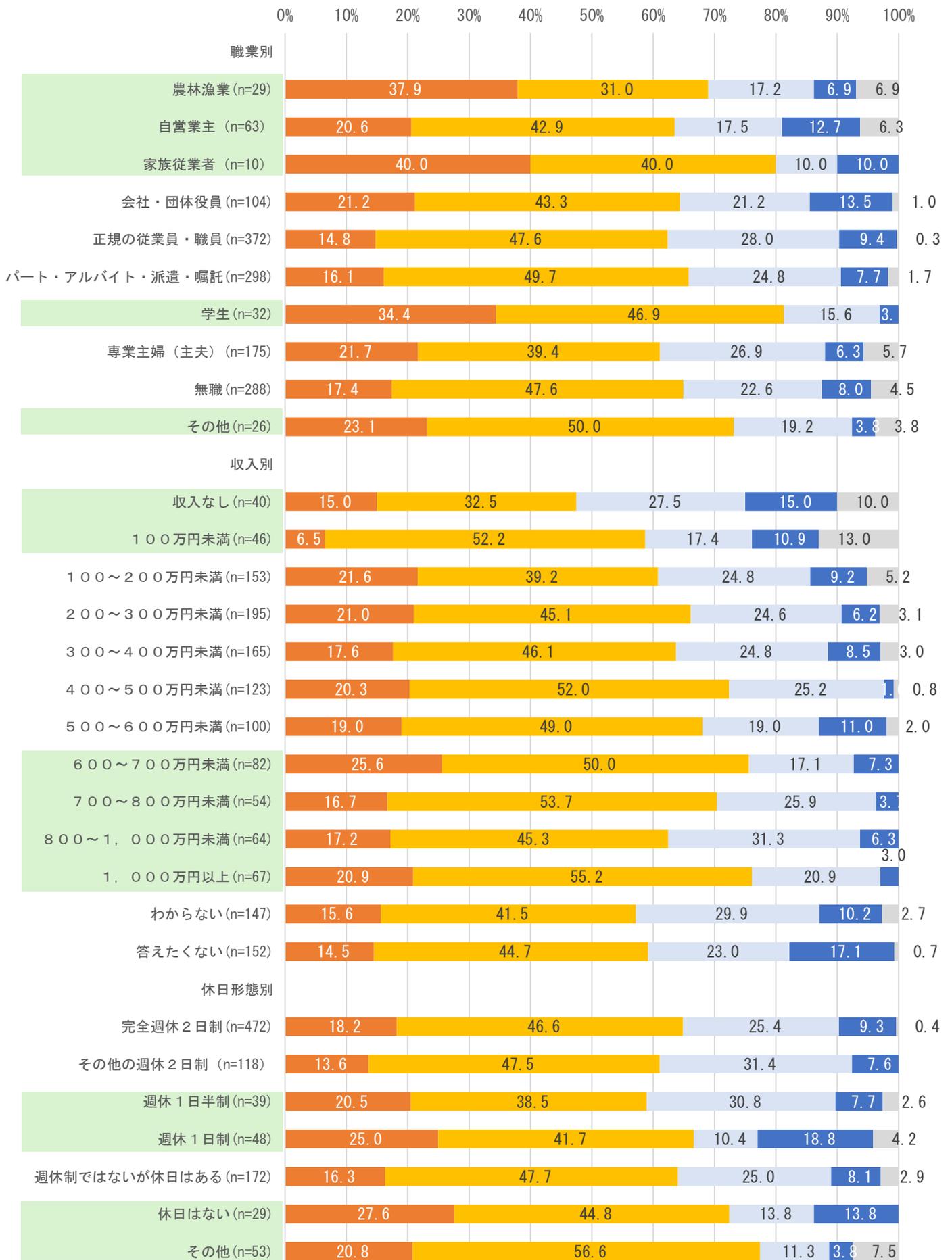
重要度は 64.6%

全体では、「まあ重要だと思う」が 46.1%で最も多く、次いで「あまり重要とは思わない」が 24.2%、「大変重要だと思う」が 18.5%と続いており、「重要である」が 64.6%、「重要ではない」が 32.7%となっている。
 前回調査との比較で「重要である」は 10.4 ポイント減少し、「重要ではない」は 13.4 ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「島原半島地域」が最も高く「県北地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが「60歳代」は「重要である」が 80.1%と他の年代よりも 10 ポイント以上高くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「400～500万円未満」が最も高くなっている。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。



■大変重要だと思う ■まあ重要だと思う ■あまり重要とは思わない ■まったく重要とは思わない ■無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	32 7.4	116 26.8	188 43.4	87 20.1	10 2.3
長与町	38 100.0	3 7.9	12 31.6	19 50.0	4 10.5	- -
時津町	30 100.0	2 6.7	7 23.3	16 53.3	5 16.7	- -
佐世保市	258 100.0	27 10.5	64 24.8	121 46.9	41 15.9	5 1.9
平戸市	28 100.0	2 7.1	12 42.9	8 28.6	4 14.3	2 7.1
松浦市	19 100.0	2 10.5	4 21.1	10 52.6	2 10.5	1 5.3
西海市	18 100.0	1 5.6	5 27.8	6 33.3	3 16.7	3 16.7
小値賀町	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	- -	- -
佐々町	12 100.0	1 8.3	- -	8 66.7	3 25.0	- -
東彼杵町	8 100.0	1 12.5	1 12.5	3 37.5	3 37.5	- -
川棚町	22 100.0	3 13.6	4 18.2	12 54.5	3 13.6	- -
波佐見町	12 100.0	- -	4 33.3	7 58.3	- -	1 8.3
島原市	34 100.0	5 14.7	8 23.5	15 44.1	5 14.7	1 2.9
雲仙市	36 100.0	2 5.6	7 19.4	21 58.3	5 13.9	1 2.8
南島原市	66 100.0	6 9.1	7 10.6	33 50.0	18 27.3	2 3.0
諫早市	134 100.0	12 9.0	36 26.9	63 47.0	20 14.9	3 2.2
大村市	130 100.0	9 6.9	33 25.4	56 43.1	28 21.5	4 3.1
対馬市	17 100.0	- -	2 11.8	7 41.2	8 47.1	- -
壱岐市	25 100.0	2 8.0	8 32.0	7 28.0	6 24.0	2 8.0
五島市	39 100.0	5 12.8	4 10.3	23 59.0	7 17.9	- -
新上五島町	24 100.0	3 12.5	4 16.7	14 58.3	3 12.5	- -
上記以外	13 100.0	- -	- -	7 53.8	4 30.8	2 15.4

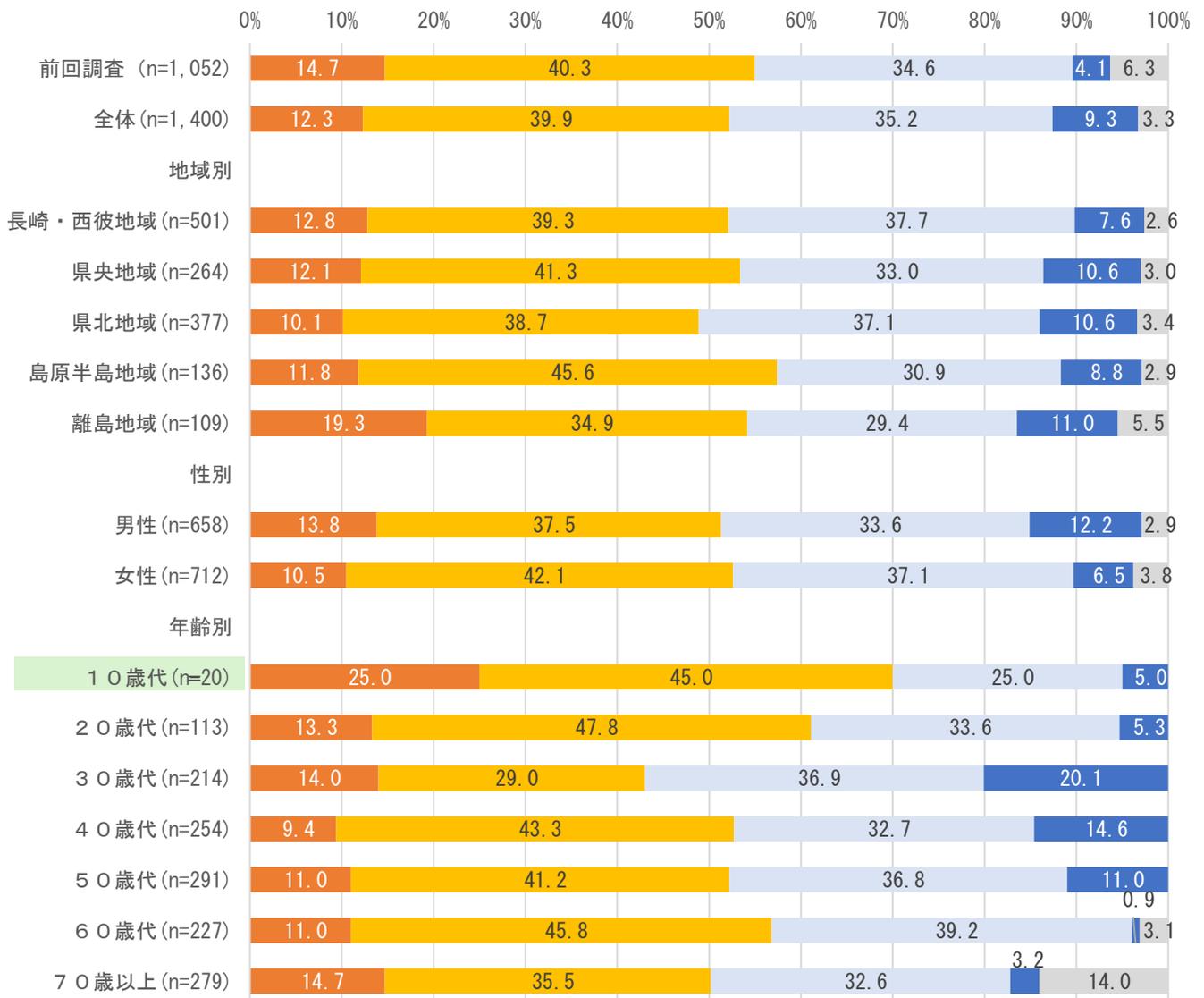
28-6: 地域で上級者を指導できる指導者の確保 (SA)

重要度は 52.2%

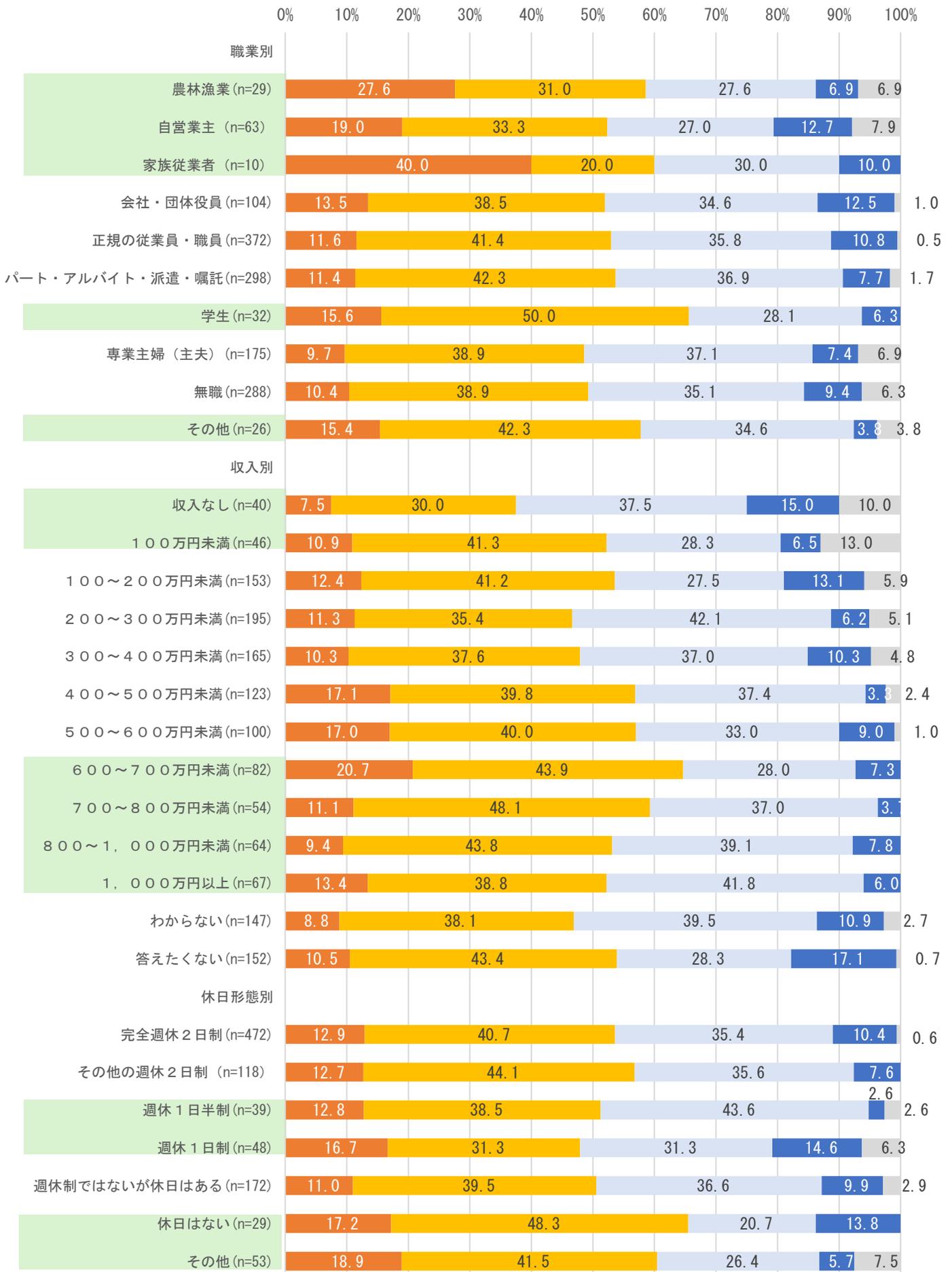
全体では、「まあ重要だと思う」が 39.9%で最も多く、次いで「あまり重要とは思わない」が 35.2%、「大変重要だと思う」が 12.3%と続いており、「重要である」が 52.2%、「重要ではない」が 44.5%となっている。
 前回調査との比較で「重要である」は 2.8 ポイント減少し、「重要ではない」は 5.8 ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「島原半島地域」が最も高く「県北地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが「20 歳代」は「重要である」が他の年代よりもやや高くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられず、収入の上昇に伴い「重要である」は高くなる傾向がみられる。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。

■ 大変重要だと思う ■ まあ重要だと思う ■ あまり重要とは思わない ■ まったく重要とは思わない ■ 無回答



■大変重要だと思う ■まあ重要だと思う ■あまり重要とは思わない ■まったく重要とは思わない ■無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	34 7.9	157 36.3	171 39.5	58 13.4	13 3.0
長与町	38 100.0	2 5.3	20 52.6	13 34.2	3 7.9	- -
時津町	30 100.0	2 6.7	12 40.0	13 43.3	3 10.0	- -
佐世保市	258 100.0	30 11.6	90 34.9	104 40.3	29 11.2	5 1.9
平戸市	28 100.0	1 3.6	17 60.7	5 17.9	3 10.7	2 7.1
松浦市	19 100.0	3 15.8	8 42.1	6 31.6	1 5.3	1 5.3
西海市	18 100.0	2 11.1	5 27.8	4 22.2	3 16.7	4 22.2
小値賀町	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	- -	- -
佐々町	12 100.0	- -	2 16.7	10 83.3	- -	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	3 37.5	4 50.0	1 12.5	- -
川棚町	22 100.0	3 13.6	9 40.9	9 40.9	1 4.5	- -
波佐見町	12 100.0	1 8.3	6 50.0	4 33.3	- -	1 8.3
島原市	34 100.0	8 23.5	7 20.6	16 47.1	2 5.9	1 2.9
雲仙市	36 100.0	1 2.8	11 30.6	19 52.8	4 11.1	1 2.8
南島原市	66 100.0	3 4.5	24 36.4	27 40.9	10 15.2	2 3.0
諫早市	134 100.0	18 13.4	48 35.8	52 38.8	13 9.7	3 2.2
大村市	130 100.0	10 7.7	39 30.0	57 43.8	19 14.6	5 3.8
対馬市	17 100.0	- -	4 23.5	5 29.4	6 35.3	2 11.8
壱岐市	25 100.0	3 12.0	11 44.0	6 24.0	2 8.0	3 12.0
五島市	39 100.0	5 12.8	9 23.1	17 43.6	7 17.9	1 2.6
新上五島町	24 100.0	3 12.5	7 29.2	8 33.3	6 25.0	- -
上記以外	13 100.0	- -	3 23.1	7 53.8	1 7.7	2 15.4

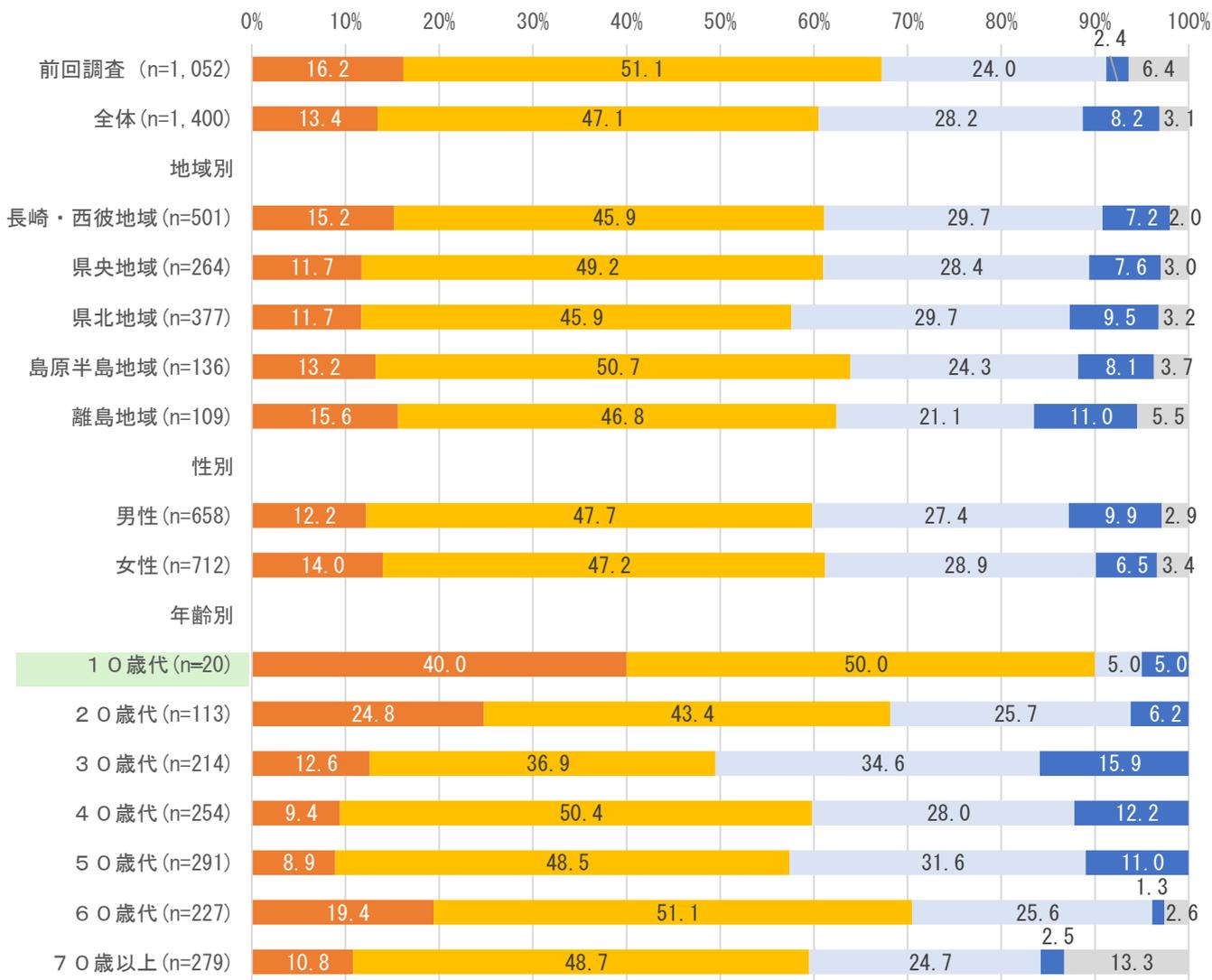
28-7: 多種目のスポーツ教室の開催 (SA)

重要度は 60.5%

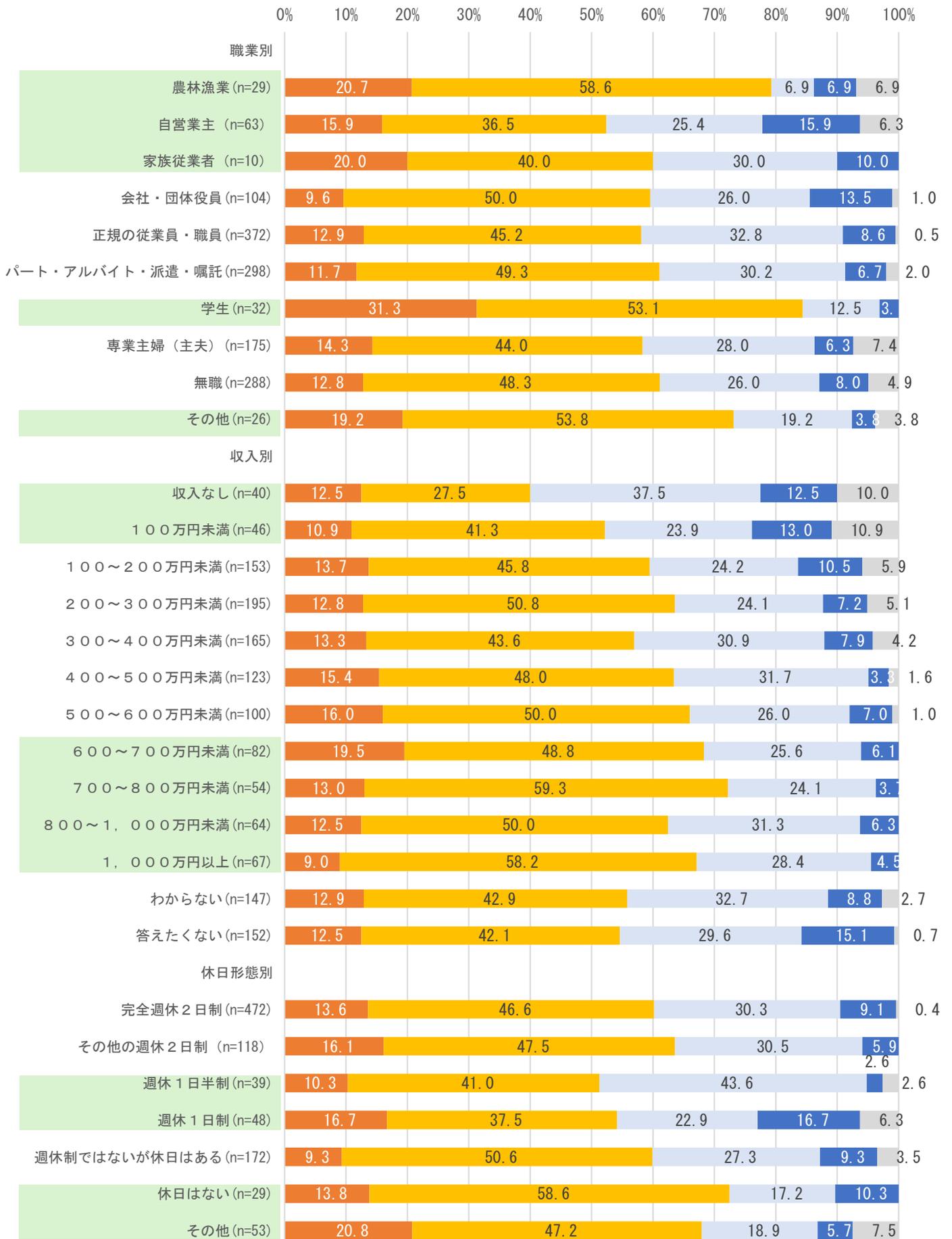
全体では、「まあ重要だと思う」が 47.1%で最も多く、次いで「あまり重要とは思わない」が 28.2%、「大変重要だと思う」が 13.4%と続いており、「重要である」が 60.5%、「重要ではない」が 36.4%となっている。
 前回調査との比較で「重要である」は 6.8 ポイント減少し、「重要ではない」は 10.0 ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「島原半島地域」が最も高く「県北地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが「20 歳代」「60 歳代」は「重要である」が他の年代よりも 8 ポイント以上高くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。

■ 大変重要だと思う ■ まあ重要だと思う ■ あまり重要とは思わない ■ まったく重要とは思わない ■ 無回答



■大変重要だと思う ■まあ重要だと思う ■あまり重要とは思わない ■まったく重要とは思わない ■無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	31 7.2	122 28.2	199 46.0	71 16.4	10 2.3
長与町	38 100.0	2 5.3	14 36.8	19 50.0	3 7.9	- -
時津町	30 100.0	3 10.0	13 43.3	12 40.0	2 6.7	- -
佐世保市	258 100.0	26 10.1	72 27.9	122 47.3	33 12.8	5 1.9
平戸市	28 100.0	2 7.1	11 39.3	12 42.9	1 3.6	2 7.1
松浦市	19 100.0	3 15.8	4 21.1	10 52.6	1 5.3	1 5.3
西海市	18 100.0	1 5.6	4 22.2	6 33.3	4 22.2	3 16.7
小値賀町	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	- -	- -
佐々町	12 100.0	1 8.3	3 25.0	6 50.0	2 16.7	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	3 37.5	4 50.0	1 12.5	- -
川棚町	22 100.0	2 9.1	8 36.4	11 50.0	1 4.5	- -
波佐見町	12 100.0	1 8.3	7 58.3	2 16.7	1 8.3	1 8.3
島原市	34 100.0	4 11.8	10 29.4	17 50.0	2 5.9	1 2.9
雲仙市	36 100.0	2 5.6	9 25.0	19 52.8	4 11.1	2 5.6
南島原市	66 100.0	5 7.6	14 21.2	33 50.0	12 18.2	2 3.0
諫早市	134 100.0	13 9.7	40 29.9	65 48.5	13 9.7	3 2.2
大村市	130 100.0	7 5.4	35 26.9	65 50.0	18 13.8	5 3.8
対馬市	17 100.0	- -	2 11.8	6 35.3	7 41.2	2 11.8
壱岐市	25 100.0	2 8.0	8 32.0	10 40.0	2 8.0	3 12.0
五島市	39 100.0	6 15.4	6 15.4	19 48.7	7 17.9	1 2.6
新上五島町	24 100.0	3 12.5	6 25.0	14 58.3	1 4.2	- -
上記以外	13 100.0	- -	3 23.1	6 46.2	2 15.4	2 15.4

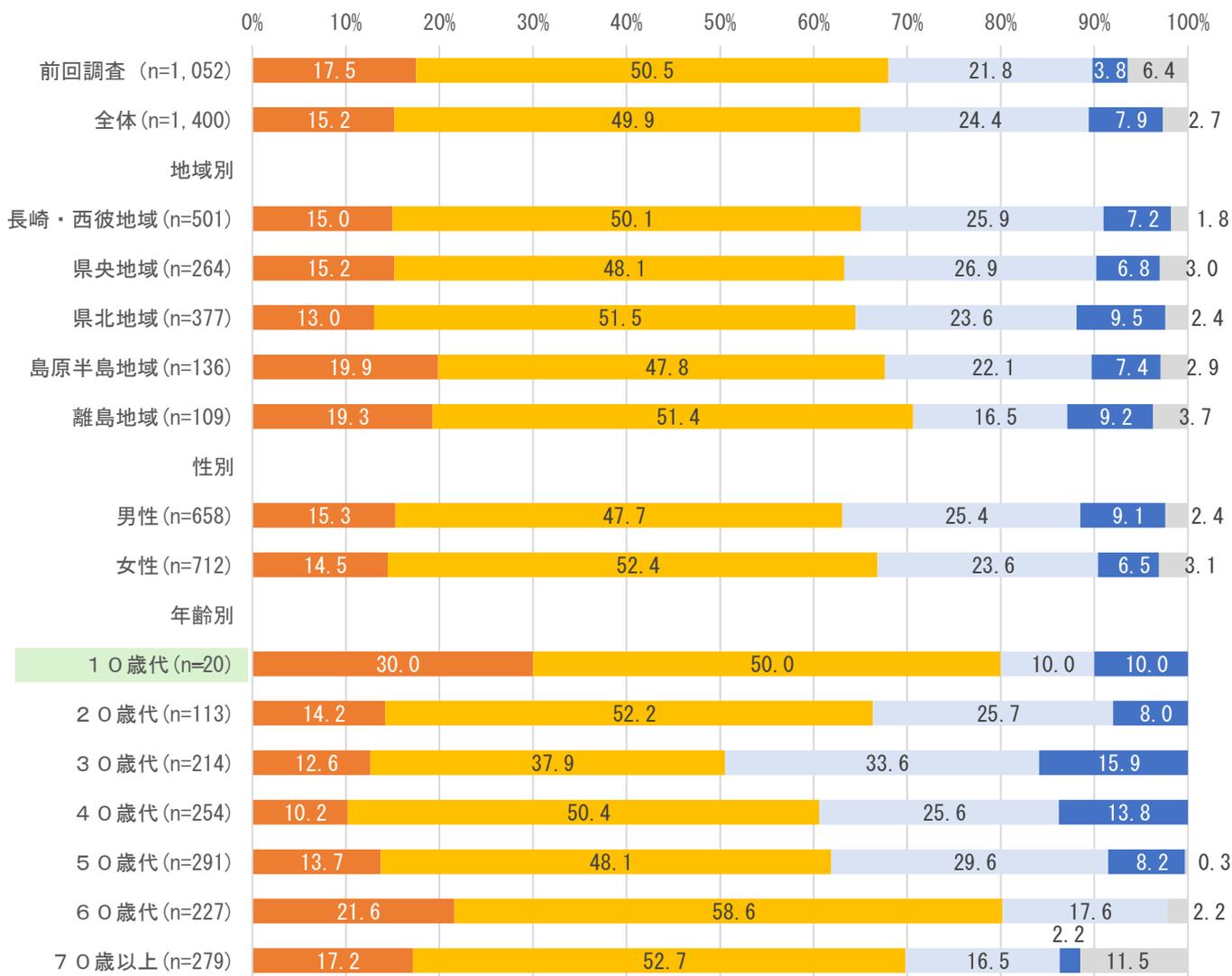
28-8:健康・体力づくりに関する教室・講演会などの開催 (SA)

重要度は 65.1%

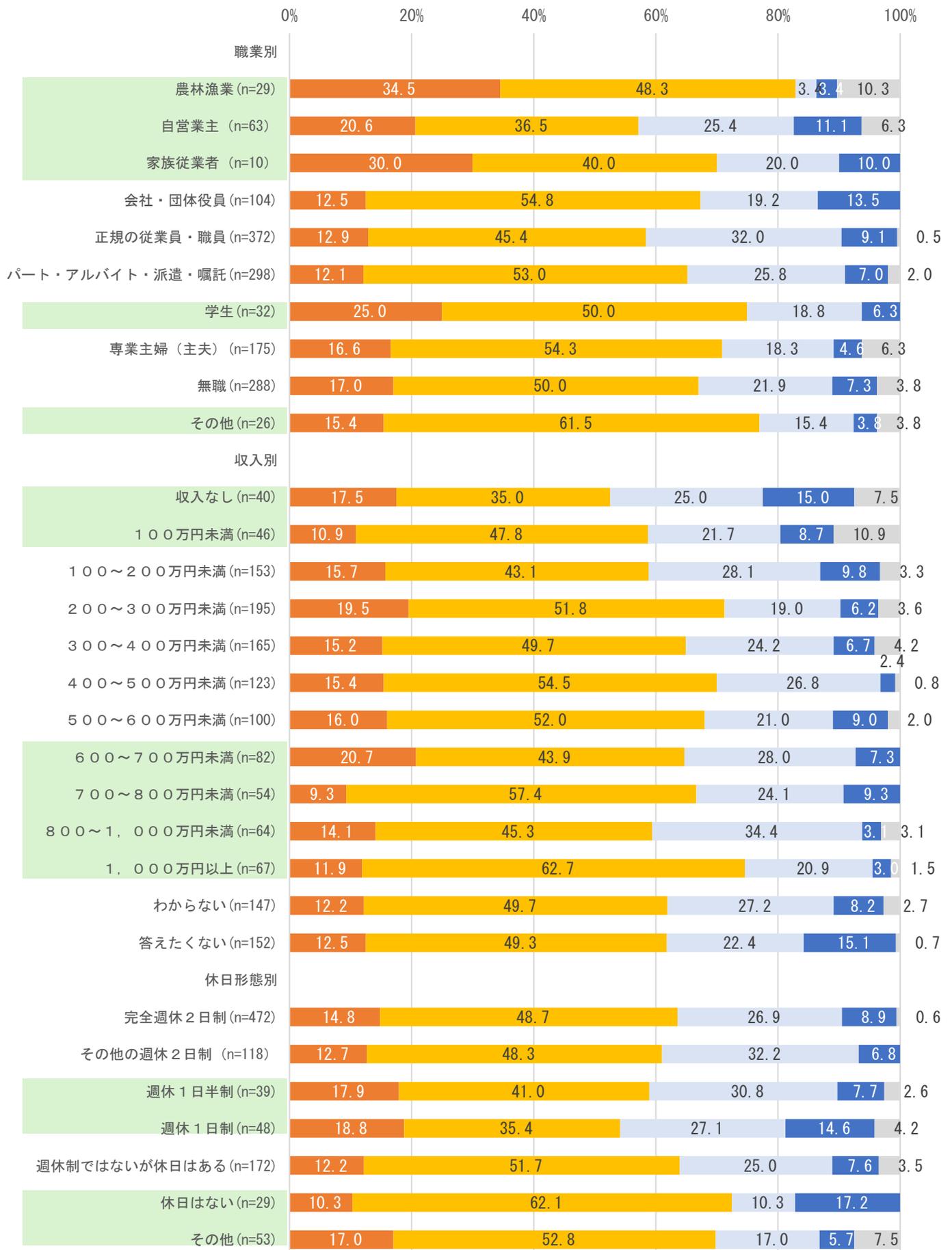
全体では、「まあ重要だと思う」が 49.9%で最も多く、次いで「あまり重要とは思わない」が 24.4%、「大変重要だと思う」が 15.2%と続いており、「重要である」が 65.1%、「重要ではない」が 32.3%となっている。
 前回調査との比較で「重要である」は 2.9 ポイント減少し、「重要ではない」は 6.7 ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「離島地域」が最も高く「県央地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが「60歳代」は「重要である」が 80.1%と他の年代よりも 10 ポイント以上高くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「会社・団体役員」は「重要である」が他の職種よりも 7 ポイント以上低くなっている。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「100～200万円未満」は「重要である」がやや低くなっている。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。

■ 大変重要だと思う ■ まあ重要だと思う ■ あまり重要とは思わない ■ まったく重要とは思わない ■ 無回答



■ 大変重要だと思う
 ■ まあ重要だと思う
 ■ あまり重要とは思わない
 ■ まったく重要とは思わない
 ■ 無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	34 7.9	108 24.9	216 49.9	66 15.2	9 2.1
長与町	38 100.0	- -	9 23.7	25 65.8	4 10.5	- -
時津町	30 100.0	2 6.7	13 43.3	10 33.3	5 16.7	- -
佐世保市	258 100.0	28 10.9	61 23.6	129 50.0	36 14.0	4 1.6
平戸市	28 100.0	1 3.6	6 21.4	16 57.1	3 10.7	2 7.1
松浦市	19 100.0	2 10.5	5 26.3	10 52.6	1 5.3	1 5.3
西海市	18 100.0	1 5.6	3 16.7	10 55.6	3 16.7	1 5.6
小値賀町	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	- -	- -
佐々町	12 100.0	2 16.7	1 8.3	8 66.7	1 8.3	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	3 37.5	2 25.0	3 37.5	- -
川棚町	22 100.0	2 9.1	5 22.7	13 59.1	2 9.1	- -
波佐見町	12 100.0	- -	5 41.7	6 50.0	- -	1 8.3
島原市	34 100.0	4 11.8	10 29.4	15 44.1	4 11.8	1 2.9
雲仙市	36 100.0	2 5.6	9 25.0	18 50.0	6 16.7	1 2.8
南島原市	66 100.0	4 6.1	11 16.7	32 48.5	17 25.8	2 3.0
諫早市	134 100.0	9 6.7	46 34.3	58 43.3	18 13.4	3 2.2
大村市	130 100.0	9 6.9	25 19.2	69 53.1	22 16.9	5 3.8
対馬市	17 100.0	- -	2 11.8	7 41.2	8 47.1	- -
壱岐市	25 100.0	2 8.0	4 16.0	10 40.0	6 24.0	3 12.0
五島市	39 100.0	4 10.3	6 15.4	22 56.4	6 15.4	1 2.6
新上五島町	24 100.0	3 12.5	4 16.7	16 66.7	1 4.2	- -
上記以外	13 100.0	- -	3 23.1	5 38.5	1 7.7	4 30.8

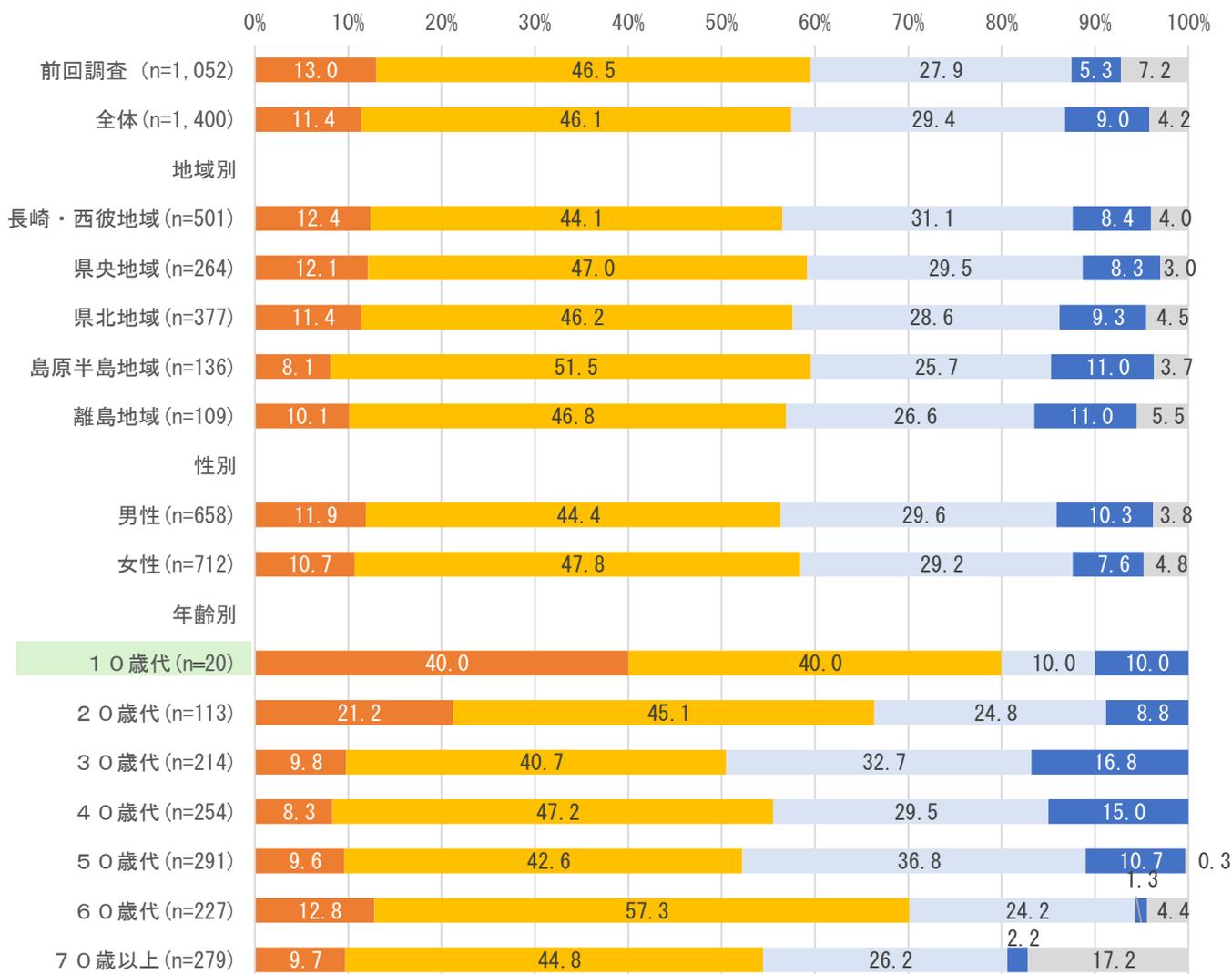
28-9:職場でのスポーツ・健康づくりの取組の推進 (SA)

重要度は 57.5%

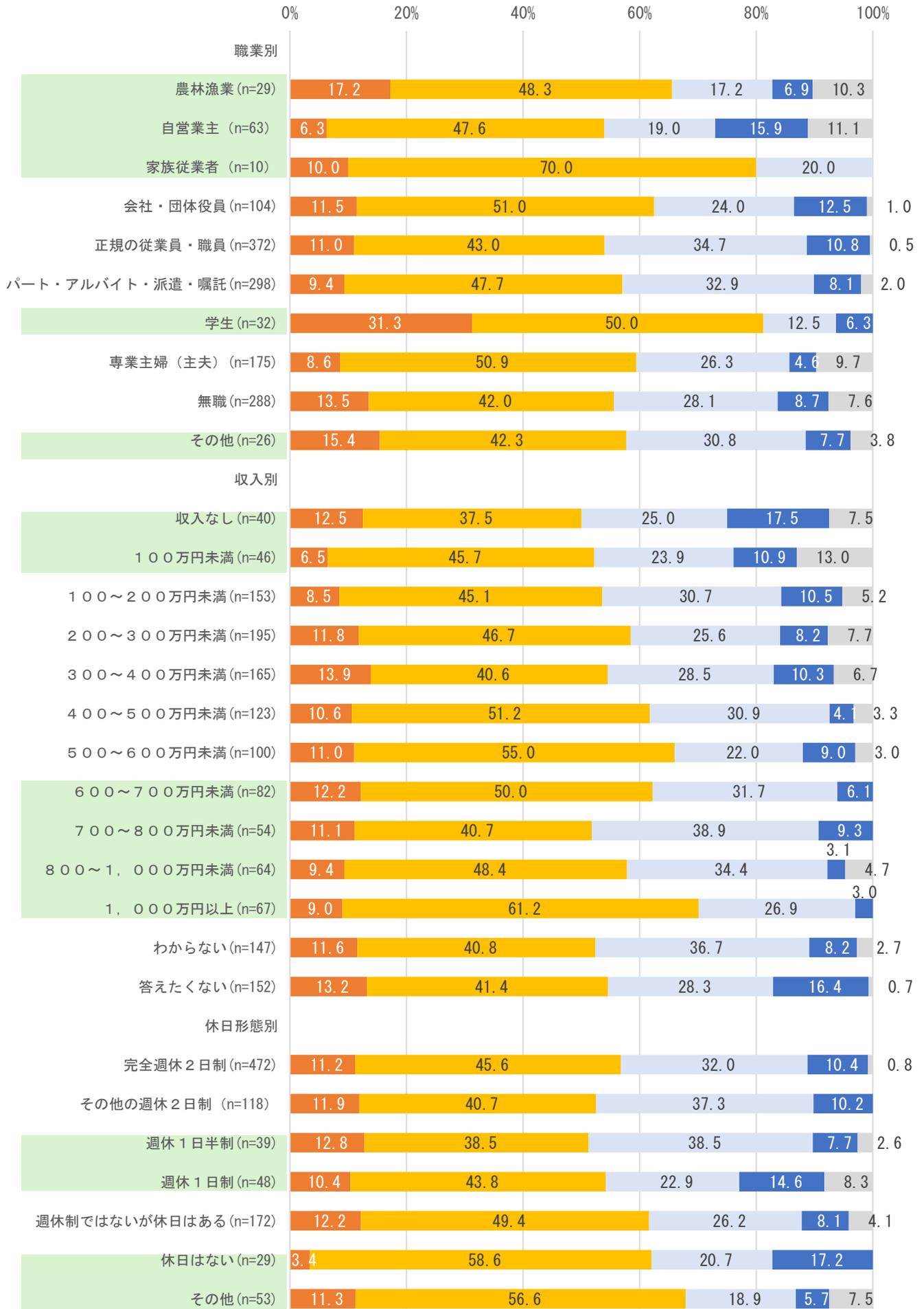
全体では、「まあ重要だと思う」が 46.1%で最も多く、次いで「あまり重要とは思わない」が 29.4%、「大変重要だと思う」が 11.4%と続いており、「重要である」が 57.5%、「重要ではない」が 38.4%となっている。
 前回調査との比較で「重要である」は 2.0 ポイント減少し、「重要ではない」は 5.2 ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「島原半島地域」が最も高く「県北地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが「20 歳代」「60 歳代」は「重要である」が他の年代よりも 10 ポイント以上高くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。

■ 大変重要だと思う ■ まあ重要だと思う ■ あまり重要とは思わない ■ まったく重要とは思わない ■ 無回答



■大変重要だと思う ■まあ重要だと思う ■あまり重要とは思わない ■まったく重要とは思わない ■無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

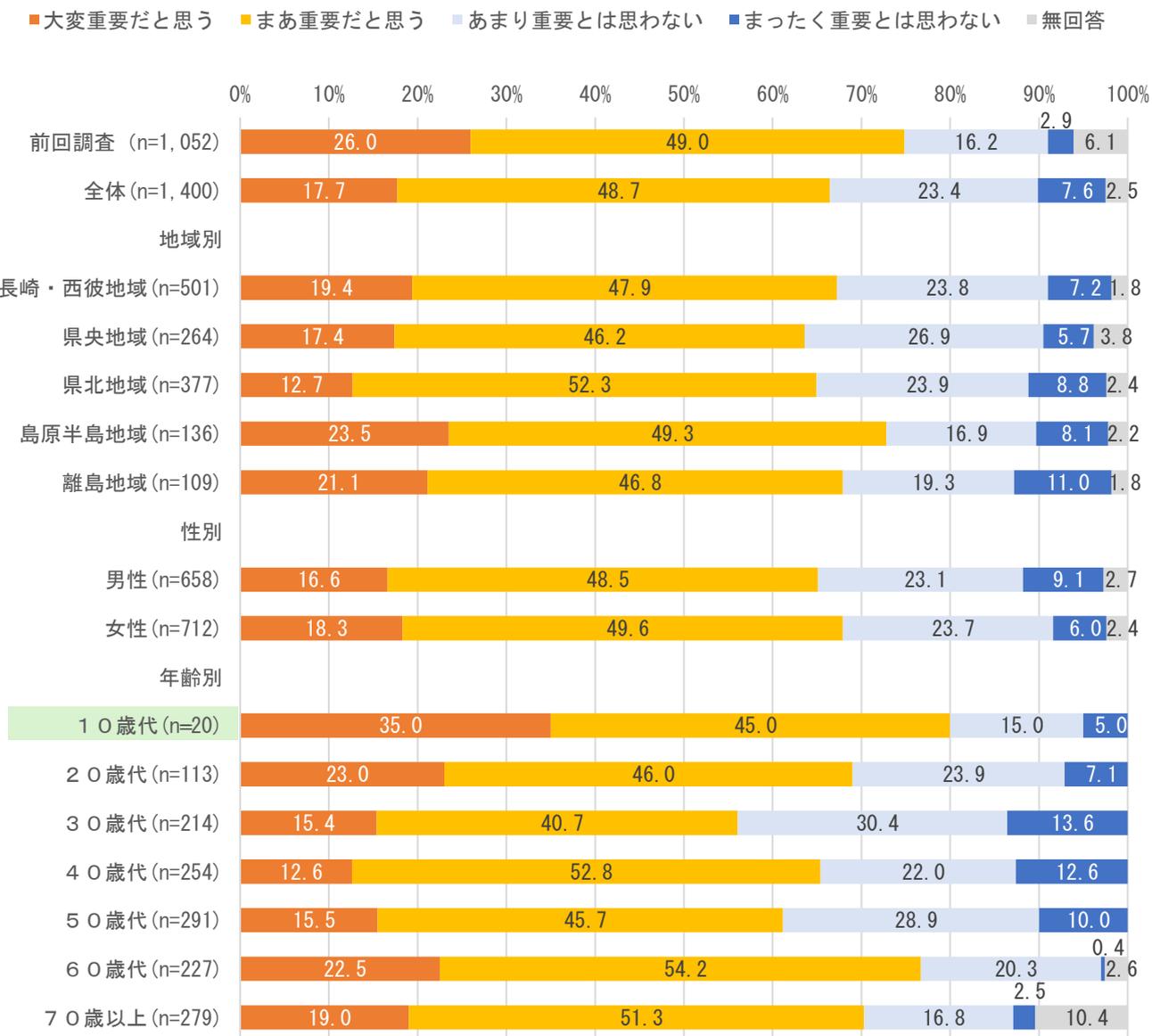
上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	36 8.3	127 29.3	193 44.6	57 13.2	20 4.6
長与町	38 100.0	2 5.3	16 42.1	18 47.4	2 5.3	- -
時津町	30 100.0	4 13.3	13 43.3	10 33.3	3 10.0	- -
佐世保市	258 100.0	27 10.5	74 28.7	117 45.3	32 12.4	8 3.1
平戸市	28 100.0	2 7.1	7 25.0	15 53.6	1 3.6	3 10.7
松浦市	19 100.0	2 10.5	4 21.1	11 57.9	1 5.3	1 5.3
西海市	18 100.0	2 11.1	6 33.3	6 33.3	1 5.6	3 16.7
小値賀町	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	- -	- -
佐々町	12 100.0	1 8.3	3 25.0	6 50.0	2 16.7	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	2 25.0	5 62.5	1 12.5	- -
川棚町	22 100.0	1 4.5	7 31.8	10 45.5	4 18.2	- -
波佐見町	12 100.0	- -	5 41.7	4 33.3	1 8.3	2 16.7
島原市	34 100.0	4 11.8	6 17.6	20 58.8	3 8.8	1 2.9
雲仙市	36 100.0	6 16.7	11 30.6	16 44.4	1 2.8	2 5.6
南島原市	66 100.0	5 7.6	18 27.3	34 51.5	7 10.6	2 3.0
諫早市	134 100.0	11 8.2	44 32.8	62 46.3	13 9.7	4 3.0
大村市	130 100.0	11 8.5	34 26.2	62 47.7	19 14.6	4 3.1
対馬市	17 100.0	- -	2 11.8	9 52.9	4 23.5	2 11.8
壱岐市	25 100.0	2 8.0	8 32.0	10 40.0	2 8.0	3 12.0
五島市	39 100.0	6 15.4	10 25.6	18 46.2	4 10.3	1 2.6
新上五島町	24 100.0	3 12.5	7 29.2	13 54.2	1 4.2	- -
上記以外	13 100.0	- -	5 38.5	5 38.5	- -	3 23.1

28-10: 誰もが気軽に参加し、スポーツがおこなえるクラブづくり (SA)

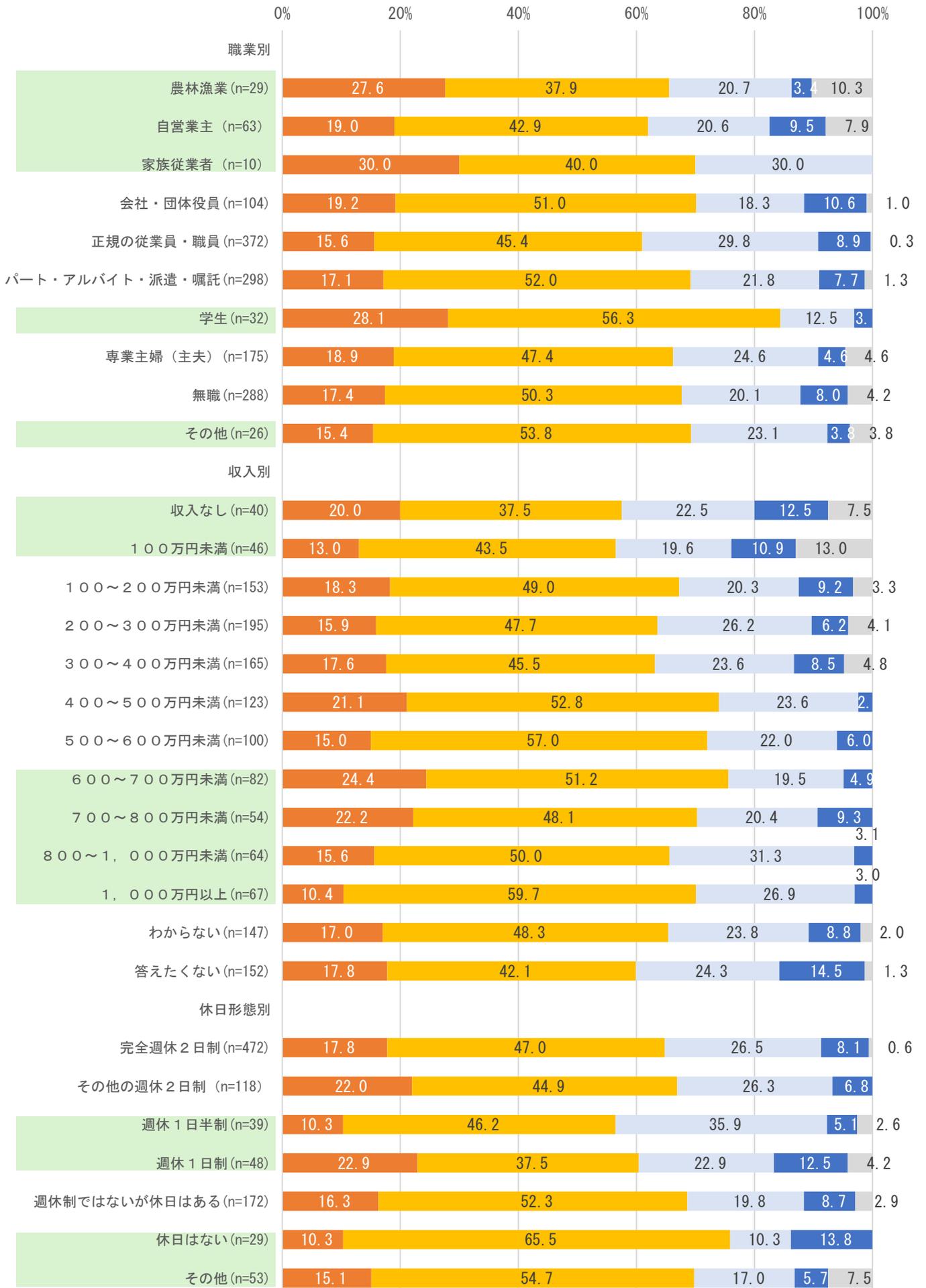
重要度は 66.4%

全体では、「まあ重要だと思う」が 48.7%で最も多く、次いで「あまり重要とは思わない」が 23.4%、「大変重要だと思う」が 17.7%と続いており、「重要である」が 66.4%、「重要ではない」が 31.0%となっている。
 前回調査との比較で「重要である」は 8.6 ポイント減少し、「重要ではない」は 11.9 ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「島原半島地域」が最も高く「県央地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが「30 歳代」は「重要である」が他の年代よりも 5 ポイント以上低くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。



■ 大変重要だと思う
 ■ まあ重要だと思う
 ■ あまり重要とは思わない
 ■ まったく重要とは思わない
 ■ 無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

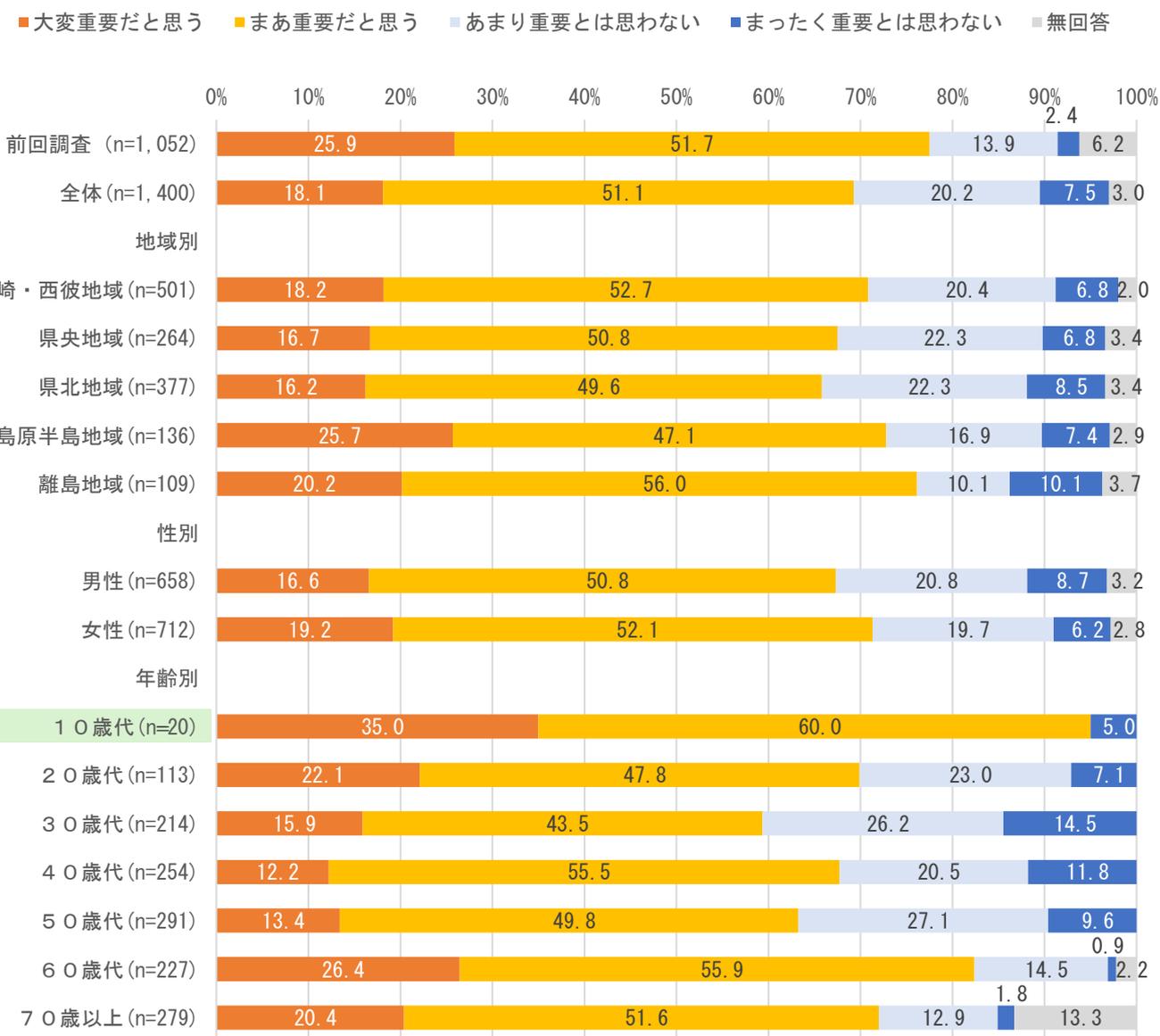
上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	32 7.4	100 23.1	202 46.7	90 20.8	9 2.1
長与町	38 100.0	1 2.6	11 28.9	23 60.5	3 7.9	- -
時津町	30 100.0	3 10.0	8 26.7	15 50.0	4 13.3	- -
佐世保市	258 100.0	23 8.9	62 24.0	137 53.1	33 12.8	3 1.2
平戸市	28 100.0	1 3.6	11 39.3	12 42.9	2 7.1	2 7.1
松浦市	19 100.0	2 10.5	2 10.5	12 63.2	2 10.5	1 5.3
西海市	18 100.0	2 11.1	3 16.7	9 50.0	2 11.1	2 11.1
小値賀町	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	- -	- -
佐々町	12 100.0	2 16.7	4 33.3	5 41.7	1 8.3	- -
東彼杵町	8 100.0	1 12.5	- -	5 62.5	2 25.0	- -
川棚町	22 100.0	2 9.1	6 27.3	10 45.5	4 18.2	- -
波佐見町	12 100.0	- -	2 16.7	7 58.3	2 16.7	1 8.3
島原市	34 100.0	3 8.8	10 29.4	16 47.1	4 11.8	1 2.9
雲仙市	36 100.0	3 8.3	6 16.7	14 38.9	12 33.3	1 2.8
南島原市	66 100.0	5 7.6	7 10.6	37 56.1	16 24.2	1 1.5
諫早市	134 100.0	9 6.7	38 28.4	60 44.8	21 15.7	6 4.5
大村市	130 100.0	6 4.6	33 25.4	62 47.7	25 19.2	4 3.1
対馬市	17 100.0	- -	5 29.4	6 35.3	6 35.3	- -
壱岐市	25 100.0	2 8.0	7 28.0	9 36.0	5 20.0	2 8.0
五島市	39 100.0	6 15.4	5 12.8	21 53.8	7 17.9	- -
新上五島町	24 100.0	3 12.5	3 12.5	13 54.2	5 20.8	- -
上記以外	13 100.0	- -	4 30.8	5 38.5	2 15.4	2 15.4

28-11:誰もが気軽に参加できるスポーツ・健康づくりイベントの開催 (SA)

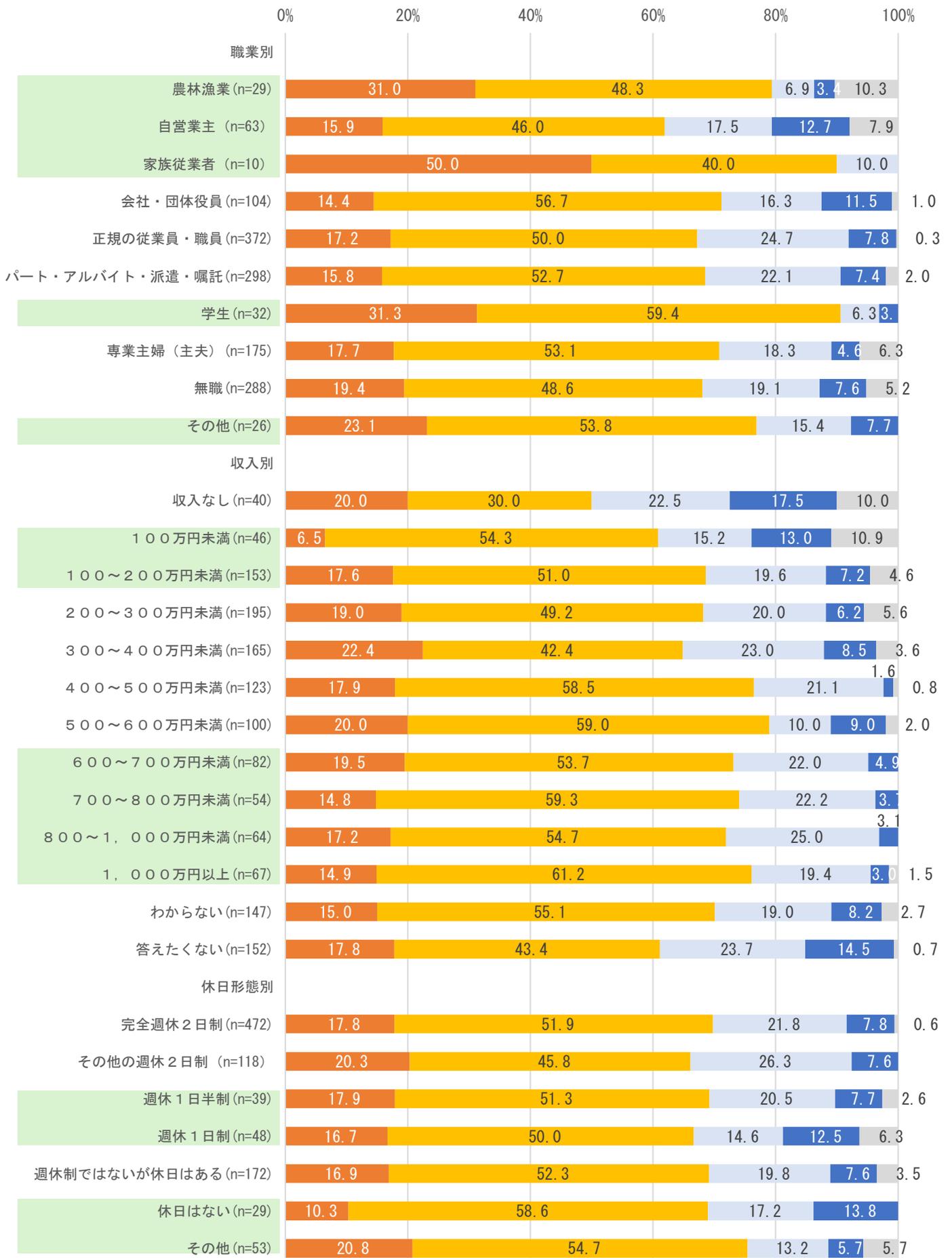
重要度は 69.2%

全体では、「まあ重要だと思う」が 51.1%で最も多く、次いで「あまり重要とは思わない」が 20.2%、「大変重要だと思う」が 18.1%と続いており、「重要である」が 69.2%、「重要ではない」が 27.7%となっている。
 前回調査との比較で「重要である」は 8.4 ポイント減少し、「重要ではない」は 11.4 ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「離島地域」が最も高く「県北地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが「60歳代」は「重要である」が他の年代よりも10ポイント以上高くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「400～70万円未満」は「重要である」がやや高くなっている。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。



■大変重要だと思う ■まあ重要だと思う ■あまり重要とは思わない ■まったく重要とは思わない ■無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	30 6.9	87 20.1	224 51.7	82 18.9	10 2.3
長与町	38 100.0	1 2.6	7 18.4	26 68.4	4 10.5	- -
時津町	30 100.0	3 10.0	8 26.7	14 46.7	5 16.7	- -
佐世保市	258 100.0	22 8.5	60 23.3	125 48.4	45 17.4	6 2.3
平戸市	28 100.0	4 14.3	7 25.0	14 50.0	1 3.6	2 7.1
松浦市	19 100.0	2 10.5	3 15.8	11 57.9	2 10.5	1 5.3
西海市	18 100.0	1 5.6	3 16.7	8 44.4	4 22.2	2 11.1
小値賀町	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	- -	- -
佐々町	12 100.0	1 8.3	2 16.7	7 58.3	1 8.3	1 8.3
東彼杵町	8 100.0	- -	2 25.0	4 50.0	2 25.0	- -
川棚町	22 100.0	2 9.1	5 22.7	11 50.0	4 18.2	- -
波佐見町	12 100.0	- -	2 16.7	7 58.3	2 16.7	1 8.3
島原市	34 100.0	3 8.8	9 26.5	16 47.1	5 14.7	1 2.9
雲仙市	36 100.0	2 5.6	9 25.0	14 38.9	9 25.0	2 5.6
南島原市	66 100.0	5 7.6	5 7.6	34 51.5	21 31.8	1 1.5
諫早市	134 100.0	8 6.0	34 25.4	69 51.5	18 13.4	5 3.7
大村市	130 100.0	10 7.7	25 19.2	65 50.0	26 20.0	4 3.1
対馬市	17 100.0	- -	3 17.6	8 47.1	5 29.4	1 5.9
壱岐市	25 100.0	2 8.0	2 8.0	13 52.0	6 24.0	2 8.0
五島市	39 100.0	5 12.8	2 5.1	25 64.1	6 15.4	1 2.6
新上五島町	24 100.0	3 12.5	3 12.5	13 54.2	5 20.8	- -
上記以外	13 100.0	- -	4 30.8	6 46.2	1 7.7	2 15.4

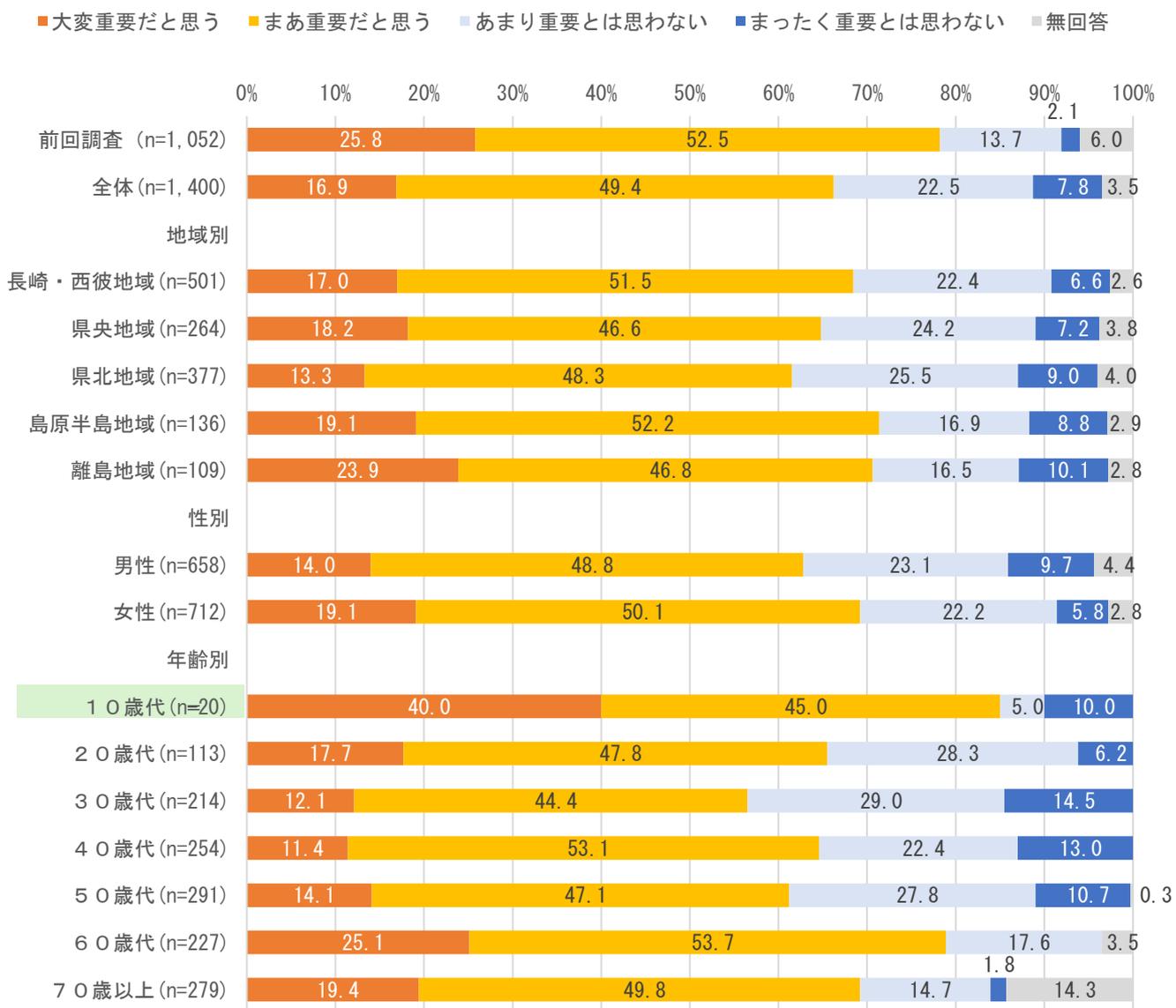
28-12: 女性が気軽にスポーツ・健康づくりに親しめる機会・場の充実（イベント・体験教室など）(SA)

重要度は 66.3%

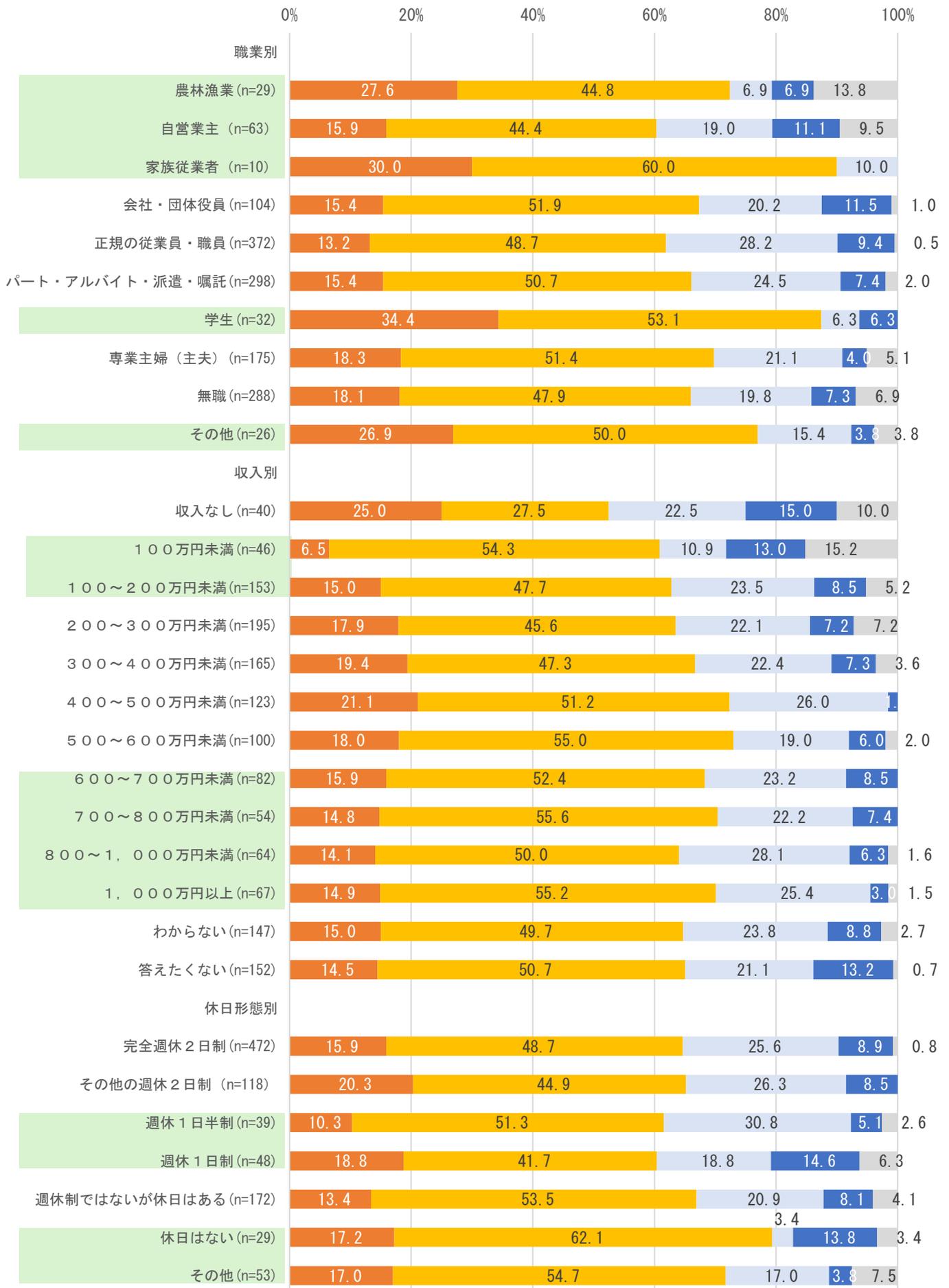
全体では、「まあ重要だと思う」が 49.4%で最も多く、次いで「あまり重要とは思わない」が 22.5%、「大変重要だと思う」が 16.9%と続いており、「重要である」が 66.3%、「重要ではない」が 30.3%となっている。

前回調査との比較で「重要である」は 12.0 ポイント減少し、「重要ではない」は 14.5 ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「島原半島地域」が最も高く「県北地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「女性」が「男性」よりも 6.4 ポイント高くなっている。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが「60 歳代」は「重要である」が他の年代よりも 9 ポイント以上高くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。



■大変重要だと思う ■まあ重要だと思う ■あまり重要とは思わない ■まったく重要とは思わない ■無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	29 6.7	93 21.5	219 50.6	79 18.2	13 3.0
長与町	38 100.0	2 5.3	10 26.3	23 60.5	3 7.9	- -
時津町	30 100.0	2 6.7	9 30.0	16 53.3	3 10.0	- -
佐世保市	258 100.0	23 8.9	63 24.4	128 49.6	38 14.7	6 2.3
平戸市	28 100.0	2 7.1	10 35.7	11 39.3	2 7.1	3 10.7
松浦市	19 100.0	2 10.5	4 21.1	10 52.6	2 10.5	1 5.3
西海市	18 100.0	1 5.6	4 22.2	9 50.0	1 5.6	3 16.7
小値賀町	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	- -	- -
佐々町	12 100.0	2 16.7	1 8.3	7 58.3	2 16.7	- -
東彼杵町	8 100.0	1 12.5	- -	5 62.5	2 25.0	- -
川棚町	22 100.0	3 13.6	8 36.4	9 40.9	2 9.1	- -
波佐見町	12 100.0	- -	6 50.0	3 25.0	1 8.3	2 16.7
島原市	34 100.0	3 8.8	8 23.5	17 50.0	5 14.7	1 2.9
雲仙市	36 100.0	3 8.3	9 25.0	16 44.4	7 19.4	1 2.8
南島原市	66 100.0	6 9.1	6 9.1	38 57.6	14 21.2	2 3.0
諫早市	134 100.0	10 7.5	32 23.9	66 49.3	21 15.7	5 3.7
大村市	130 100.0	9 6.9	32 24.6	57 43.8	27 20.8	5 3.8
対馬市	17 100.0	- -	1 5.9	10 58.8	6 35.3	- -
壱岐市	25 100.0	2 8.0	4 16.0	12 48.0	5 20.0	2 8.0
五島市	39 100.0	5 12.8	7 17.9	16 41.0	10 25.6	1 2.6
新上五島町	24 100.0	3 12.5	5 20.8	11 45.8	5 20.8	- -
上記以外	13 100.0	- -	2 15.4	6 46.2	1 7.7	4 30.8

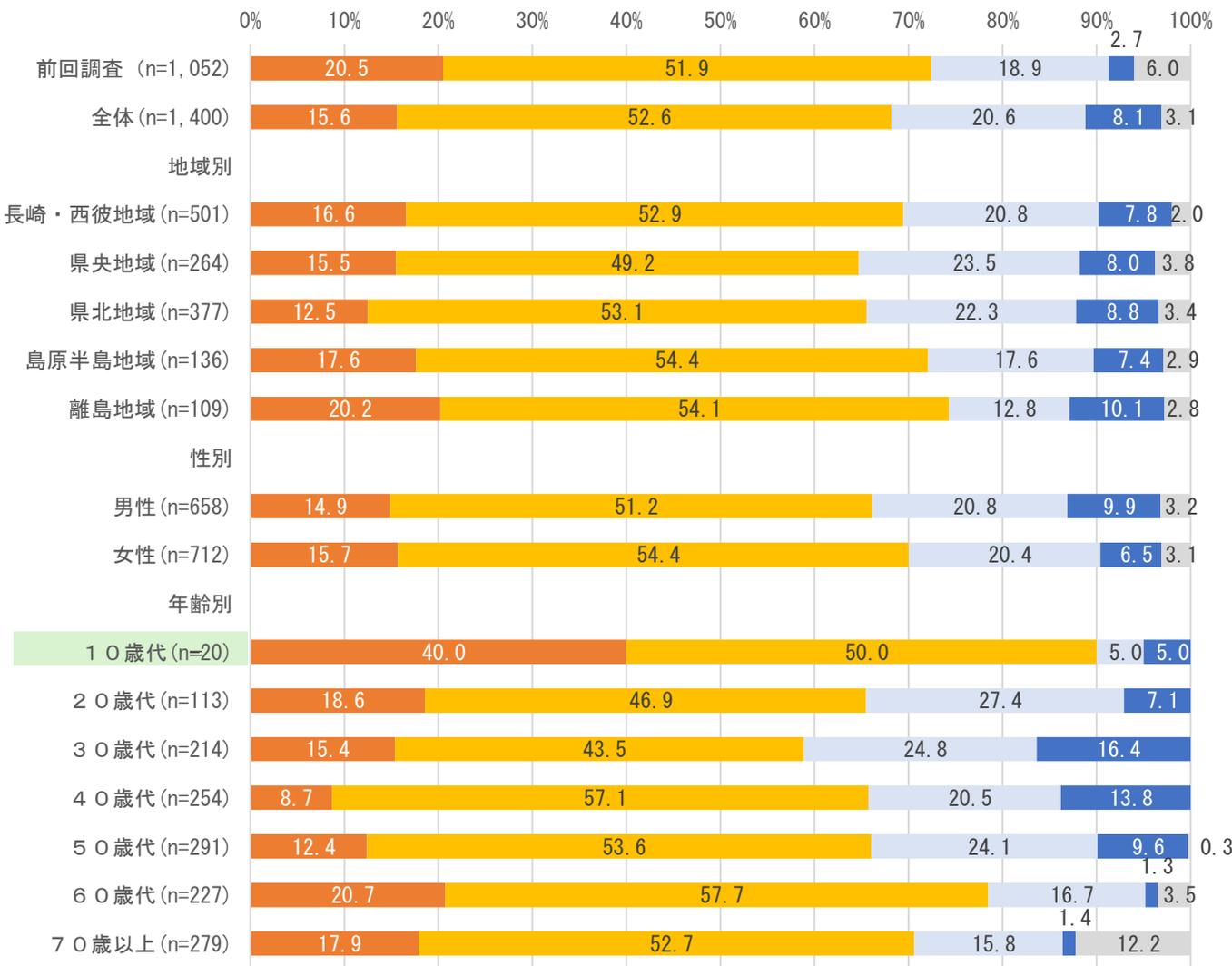
28-13:手軽にできるスポーツ種目（レクリエーション）の普及（SA）

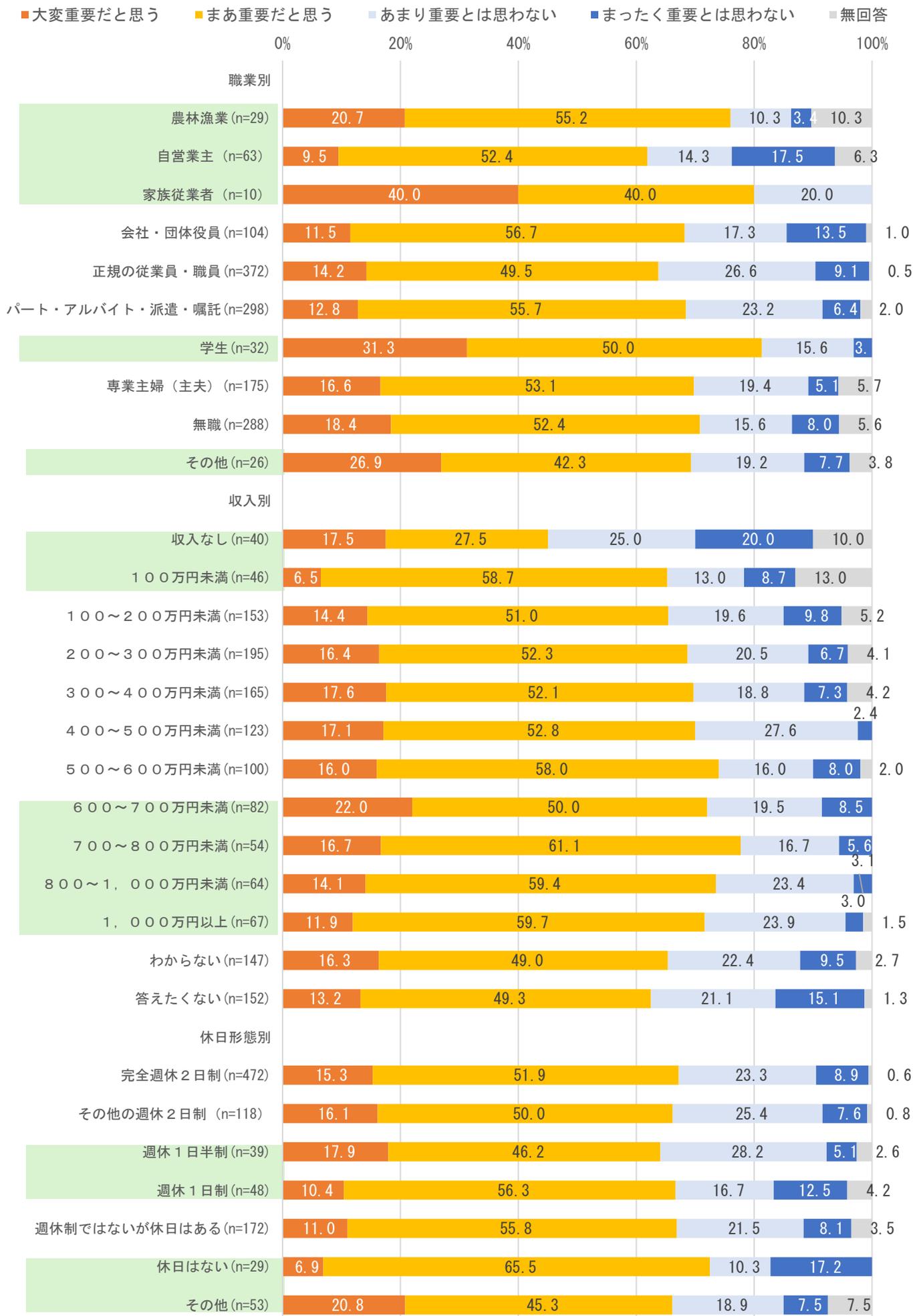
重要度は 68.2%

全体では、「まあ重要だと思う」が 52.6%で最も多く、次いで「あまり重要とは思わない」が 20.6%、「大変重要だと思う」が 15.6%と続いており、「重要である」が 68.2%、「重要ではない」が 28.7%となっている。
 前回調査との比較で「重要である」は 4.2 ポイント減少し、「重要ではない」は 7.1 ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「離島地域」が最も高く「県央地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが「60 歳代」「70 歳以上」は「重要である」が他の年代よりもやや高くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。

■ 大変重要だと思う ■ まあ重要だと思う ■ あまり重要とは思わない ■ まったく重要とは思わない ■ 無回答





※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	34 7.9	87 20.1	227 52.4	75 17.3	10 2.3
長与町	38 100.0	3 7.9	8 21.1	23 60.5	4 10.5	- -
時津町	30 100.0	2 6.7	9 30.0	15 50.0	4 13.3	- -
佐世保市	258 100.0	25 9.7	56 21.7	139 53.9	33 12.8	5 1.9
平戸市	28 100.0	1 3.6	10 35.7	11 39.3	3 10.7	3 10.7
松浦市	19 100.0	2 10.5	3 15.8	11 57.9	2 10.5	1 5.3
西海市	18 100.0	1 5.6	4 22.2	6 33.3	4 22.2	3 16.7
小値賀町	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	- -
佐々町	12 100.0	1 8.3	2 16.7	9 75.0	- -	- -
東彼杵町	8 100.0	1 12.5	- -	6 75.0	1 12.5	- -
川棚町	22 100.0	2 9.1	5 22.7	12 54.5	3 13.6	- -
波佐見町	12 100.0	- -	4 33.3	6 50.0	1 8.3	1 8.3
島原市	34 100.0	3 8.8	6 17.6	21 61.8	3 8.8	1 2.9
雲仙市	36 100.0	1 2.8	11 30.6	18 50.0	5 13.9	1 2.8
南島原市	66 100.0	6 9.1	7 10.6	35 53.0	16 24.2	2 3.0
諫早市	134 100.0	12 9.0	38 28.4	60 44.8	19 14.2	5 3.7
大村市	130 100.0	9 6.9	24 18.5	70 53.8	22 16.9	5 3.8
対馬市	17 100.0	- -	1 5.9	10 58.8	6 35.3	- -
壱岐市	25 100.0	2 8.0	6 24.0	10 40.0	5 20.0	2 8.0
五島市	39 100.0	5 12.8	1 2.6	26 66.7	6 15.4	1 2.6
新上五島町	24 100.0	3 12.5	5 20.8	12 50.0	4 16.7	- -
上記以外	13 100.0	- -	1 7.7	8 61.5	1 7.7	3 23.1

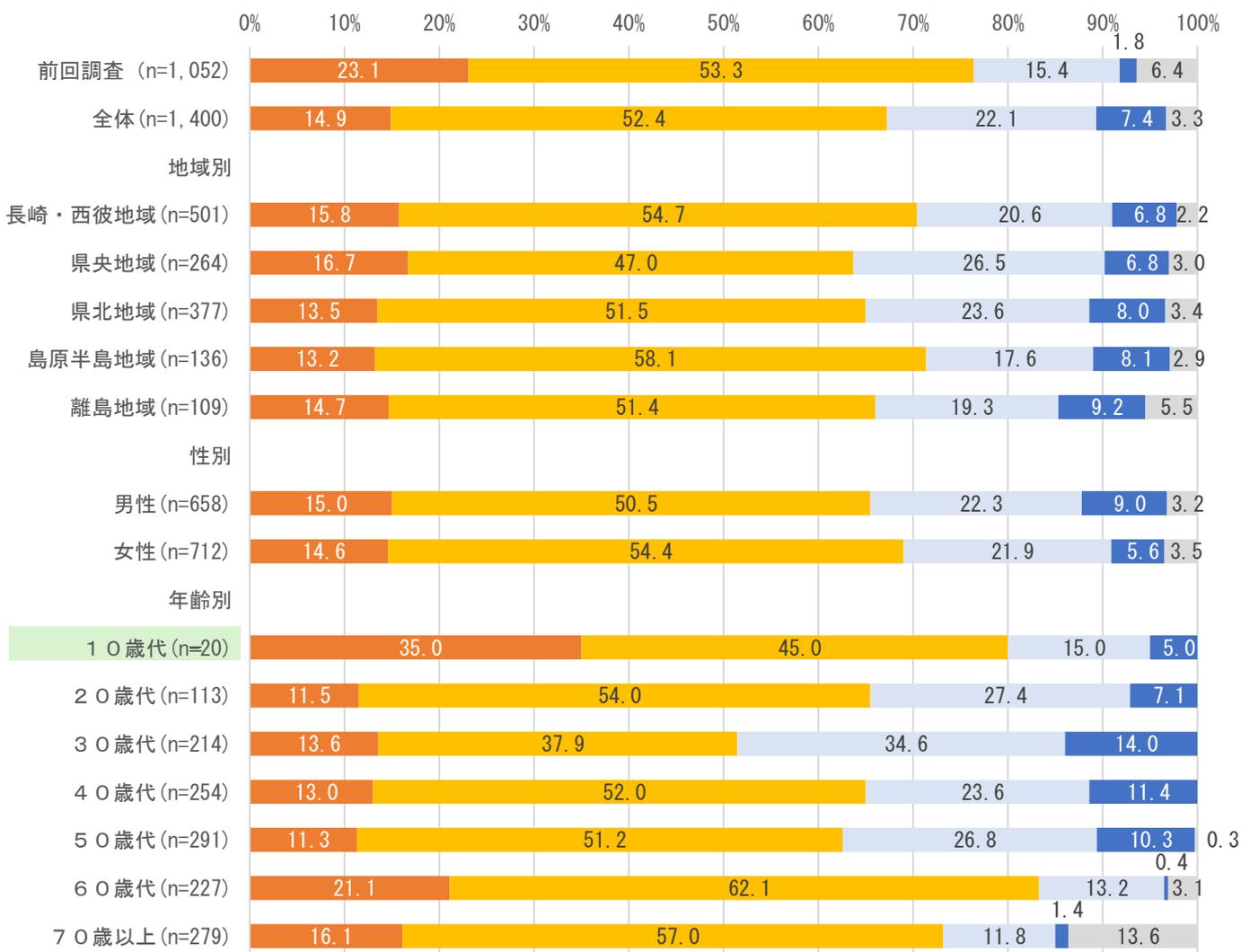
28-14:障害者スポーツの普及・啓発やイベントの開催 (SA)

重要度は 67.3%

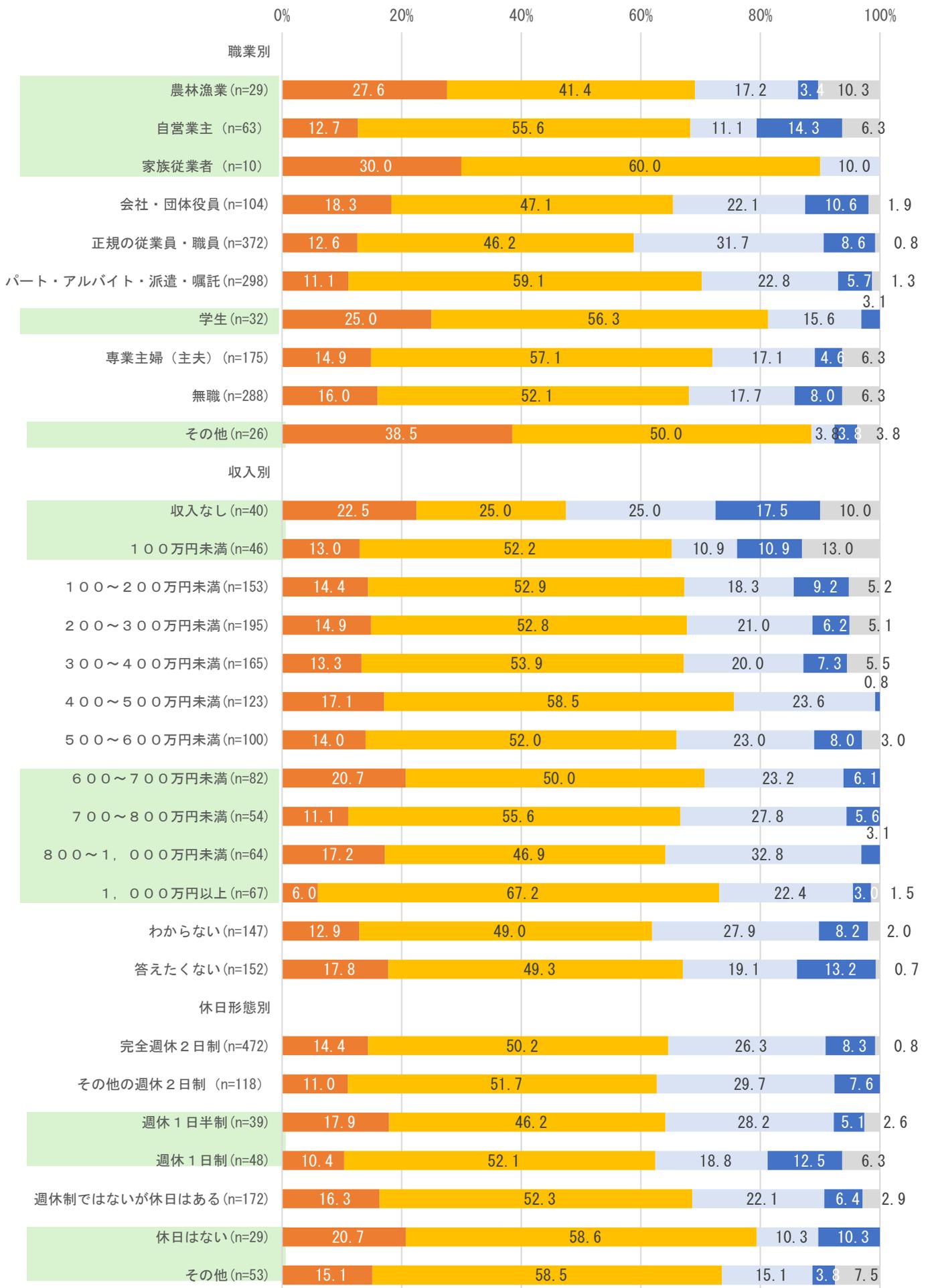
全体では、「まあ重要だと思う」が 52.4%で最も多く、次いで「あまり重要とは思わない」が 22.1%、「大変重要だと思う」が 14.9%と続いており、「重要である」が 67.3%、「重要ではない」が 29.5%となっている。
 前回調査との比較で「重要である」は 9.1 ポイント減少し、「重要ではない」は 12.3 ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「島原半島地域」が最も高く「県央地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが「60歳代」は「重要である」が他の年代よりも10ポイント以上高くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。

■ 大変重要だと思う ■ まあ重要だと思う ■ あまり重要とは思わない ■ まったく重要とは思わない ■ 無回答



■大変重要だと思う ■まあ重要だと思う ■あまり重要とは思わない ■まったく重要とは思わない ■無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	28 6.5	83 19.2	240 55.4	71 16.4	11 2.5
長与町	38 100.0	3 7.9	10 26.3	21 55.3	4 10.5	- -
時津町	30 100.0	3 10.0	10 33.3	13 43.3	4 13.3	- -
佐世保市	258 100.0	23 8.9	64 24.8	131 50.8	36 14.0	4 1.6
平戸市	28 100.0	1 3.6	7 25.0	15 53.6	2 7.1	3 10.7
松浦市	19 100.0	2 10.5	3 15.8	11 57.9	2 10.5	1 5.3
西海市	18 100.0	1 5.6	2 11.1	9 50.0	2 11.1	4 22.2
小値賀町	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	- -	- -
佐々町	12 100.0	1 8.3	3 25.0	7 58.3	1 8.3	- -
東彼杵町	8 100.0	1 12.5	- -	4 50.0	3 37.5	- -
川棚町	22 100.0	1 4.5	7 31.8	9 40.9	5 22.7	- -
波佐見町	12 100.0	- -	3 25.0	8 66.7	- -	1 8.3
島原市	34 100.0	3 8.8	8 23.5	18 52.9	4 11.8	1 2.9
雲仙市	36 100.0	2 5.6	11 30.6	19 52.8	3 8.3	1 2.8
南島原市	66 100.0	6 9.1	5 7.6	42 63.6	11 16.7	2 3.0
諫早市	134 100.0	10 7.5	39 29.1	64 47.8	17 12.7	4 3.0
大村市	130 100.0	8 6.2	31 23.8	60 46.2	27 20.8	4 3.1
対馬市	17 100.0	- -	3 17.6	8 47.1	4 23.5	2 11.8
壱岐市	25 100.0	2 8.0	7 28.0	10 40.0	3 12.0	3 12.0
五島市	39 100.0	4 10.3	6 15.4	21 53.8	7 17.9	1 2.6
新上五島町	24 100.0	3 12.5	4 16.7	15 62.5	2 8.3	- -
上記以外	13 100.0	- -	2 15.4	6 46.2	1 7.7	4 30.8

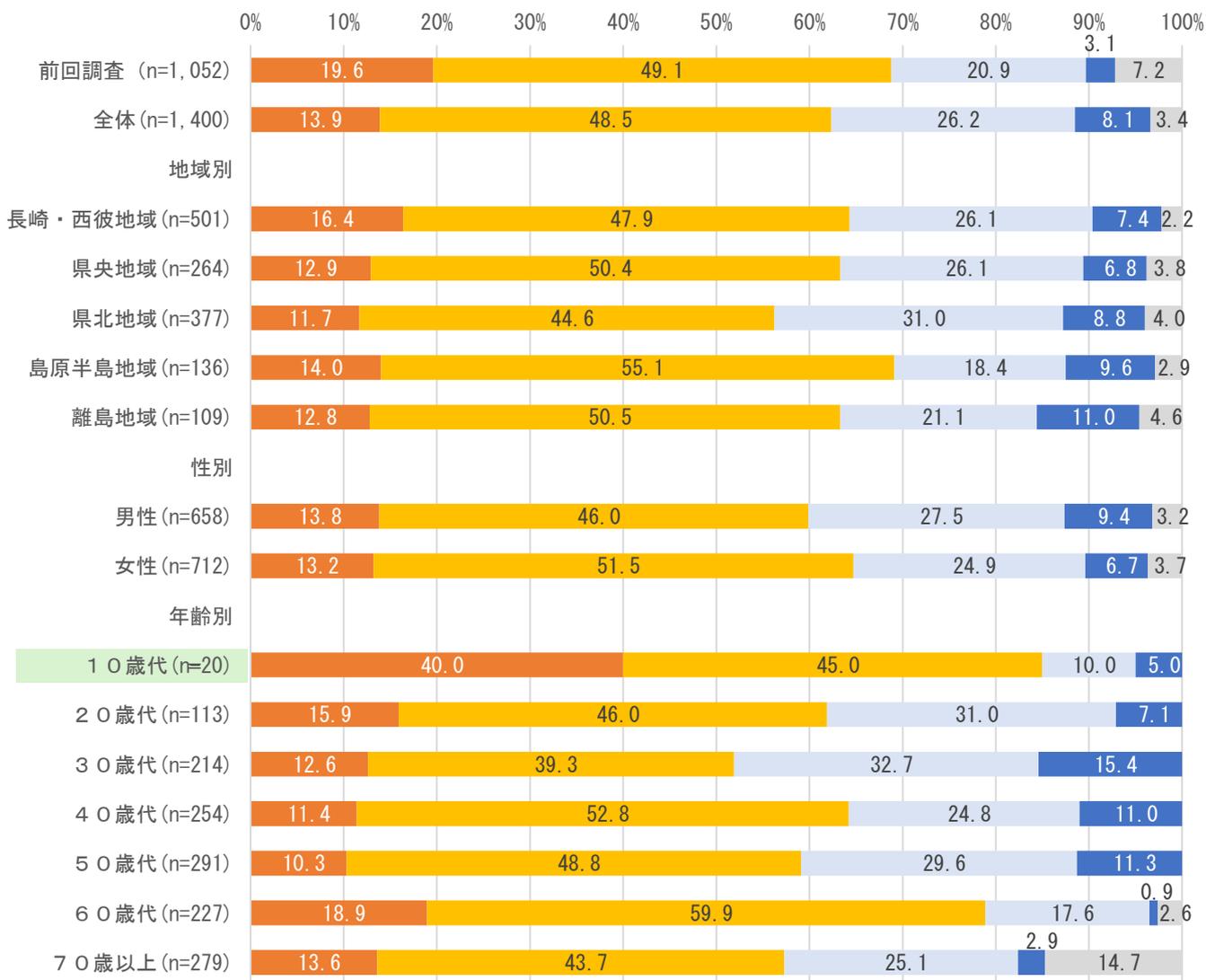
28-15: ホームページ等によるスポーツイベント情報の提供 (SA)

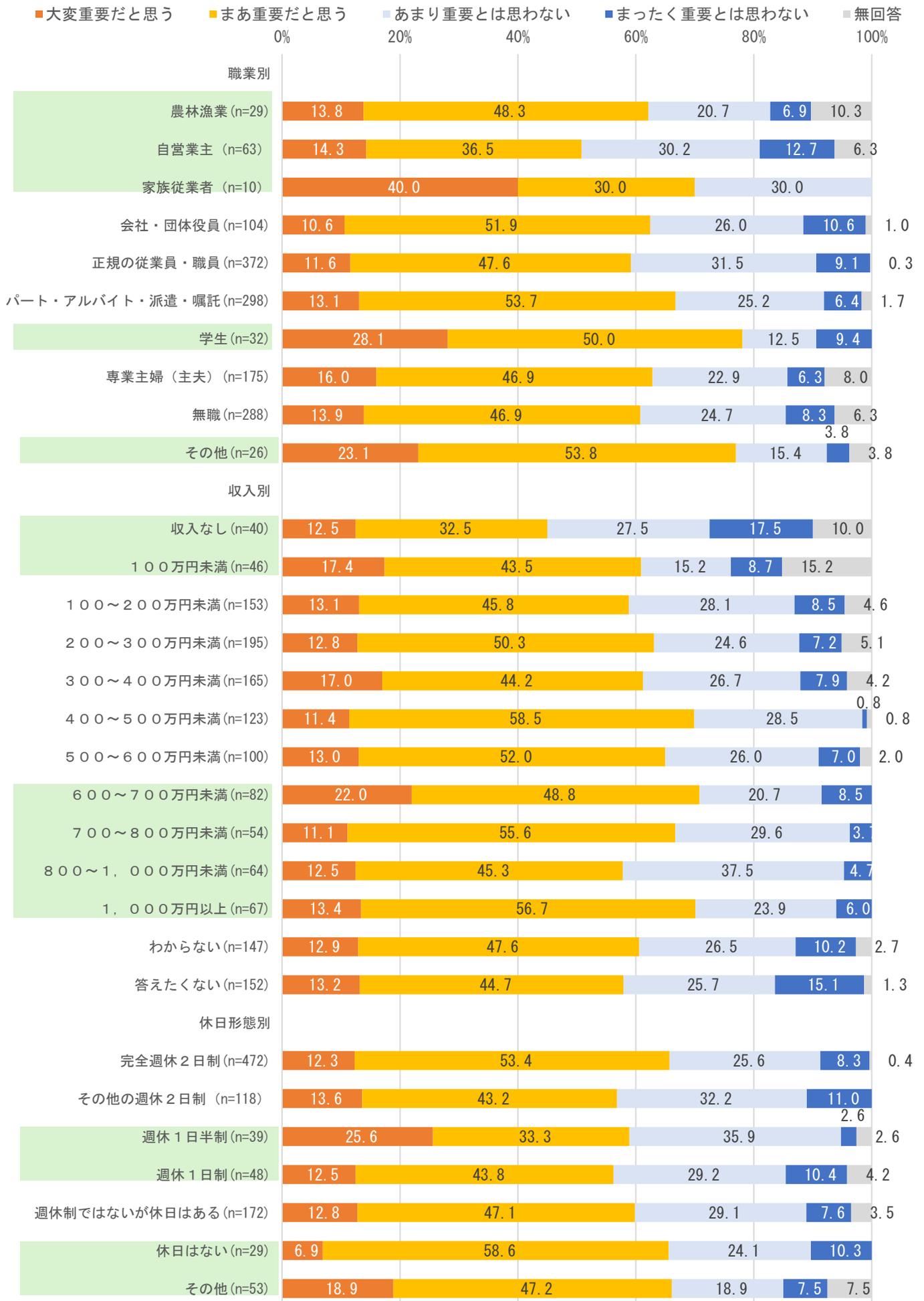
重要度は 62.4%

全体では、「まあ重要だと思う」が 48.5%で最も多く、次いで「あまり重要とは思わない」が 26.2%、「大変重要だと思う」が 13.9%と続いており、「重要である」が 62.4%、「重要ではない」が 34.3%となっている。
 前回調査との比較で「重要である」は 6.3 ポイント減少し、「重要ではない」は 10.3 ポイント増加している

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「島原半島地域」が最も高く「県北地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「女性」が「男性」よりも 4.9 ポイント高くなっている。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが「60 歳代」は「重要である」が他の年代よりも 10 ポイント以上高くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。

■ 大変重要だと思う ■ まあ重要だと思う ■ あまり重要とは思わない ■ まったく重要とは思わない ■ 無回答





※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	31 7.2	111 25.6	205 47.3	75 17.3	11 2.5
長与町	38 100.0	2 5.3	11 28.9	22 57.9	3 7.9	- -
時津町	30 100.0	4 13.3	9 30.0	13 43.3	4 13.3	- -
佐世保市	258 100.0	25 9.7	76 29.5	120 46.5	31 12.0	6 2.3
平戸市	28 100.0	- -	12 42.9	7 25.0	6 21.4	3 10.7
松浦市	19 100.0	2 10.5	8 42.1	6 31.6	2 10.5	1 5.3
西海市	18 100.0	1 5.6	5 27.8	7 38.9	1 5.6	4 22.2
小値賀町	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	- -	- -
佐々町	12 100.0	1 8.3	1 8.3	10 83.3	- -	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	3 37.5	5 62.5	- -	- -
川棚町	22 100.0	4 18.2	8 36.4	6 27.3	4 18.2	- -
波佐見町	12 100.0	- -	4 33.3	7 58.3	- -	1 8.3
島原市	34 100.0	3 8.8	7 20.6	19 55.9	4 11.8	1 2.9
雲仙市	36 100.0	3 8.3	9 25.0	18 50.0	5 13.9	1 2.8
南島原市	66 100.0	7 10.6	9 13.6	38 57.6	10 15.2	2 3.0
諫早市	134 100.0	10 7.5	41 30.6	63 47.0	14 10.4	6 4.5
大村市	130 100.0	8 6.2	28 21.5	70 53.8	20 15.4	4 3.1
対馬市	17 100.0	1 5.9	5 29.4	8 47.1	2 11.8	1 5.9
壱岐市	25 100.0	3 12.0	3 12.0	14 56.0	2 8.0	3 12.0
五島市	39 100.0	4 10.3	9 23.1	18 46.2	7 17.9	1 2.6
新上五島町	24 100.0	3 12.5	4 16.7	14 58.3	3 12.5	- -
上記以外	13 100.0	- -	2 15.4	8 61.5	1 7.7	2 15.4

28-16: 国際的あるいは大規模なスポーツイベントの誘致・開催 (SA)

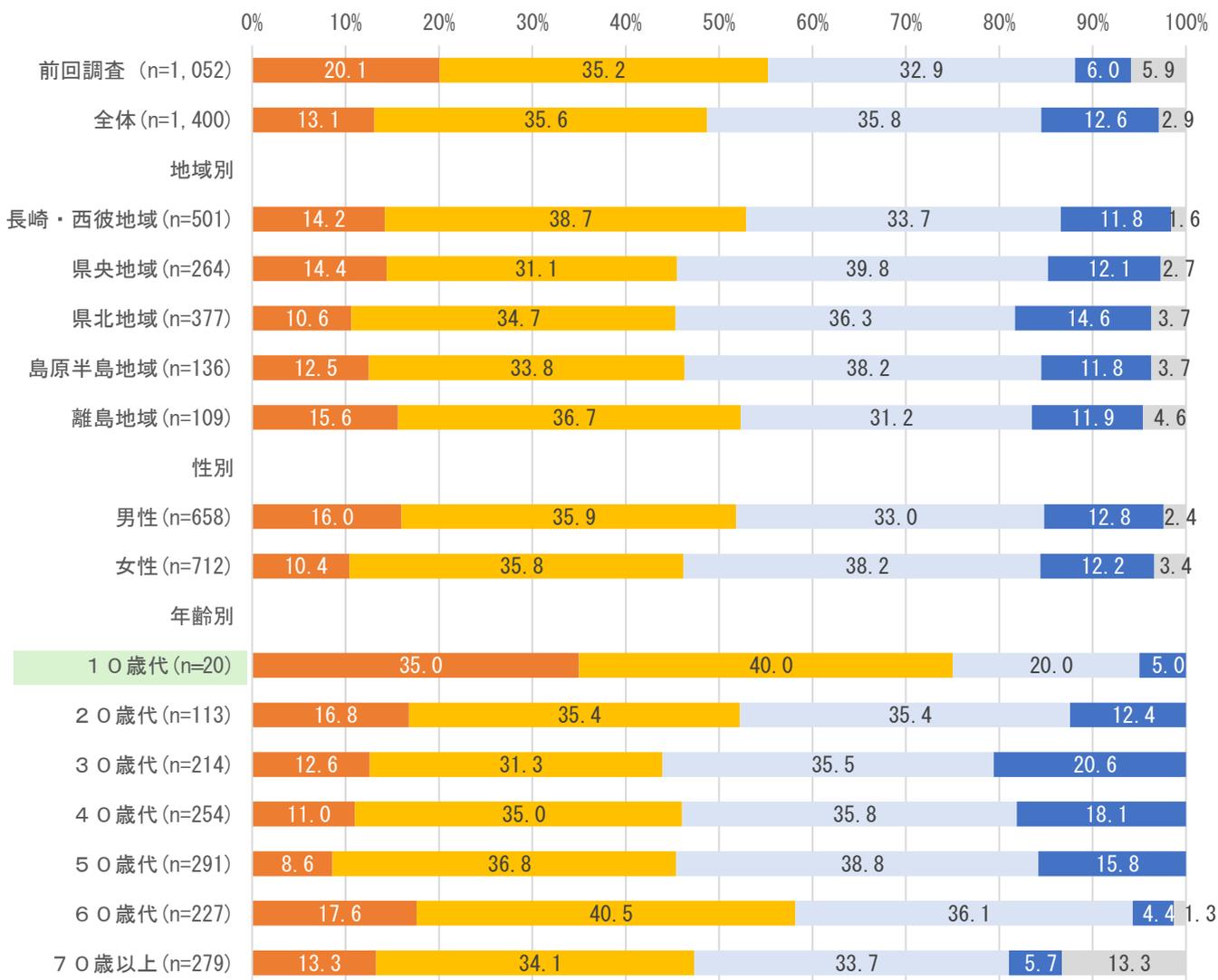
重要度は 48.7%

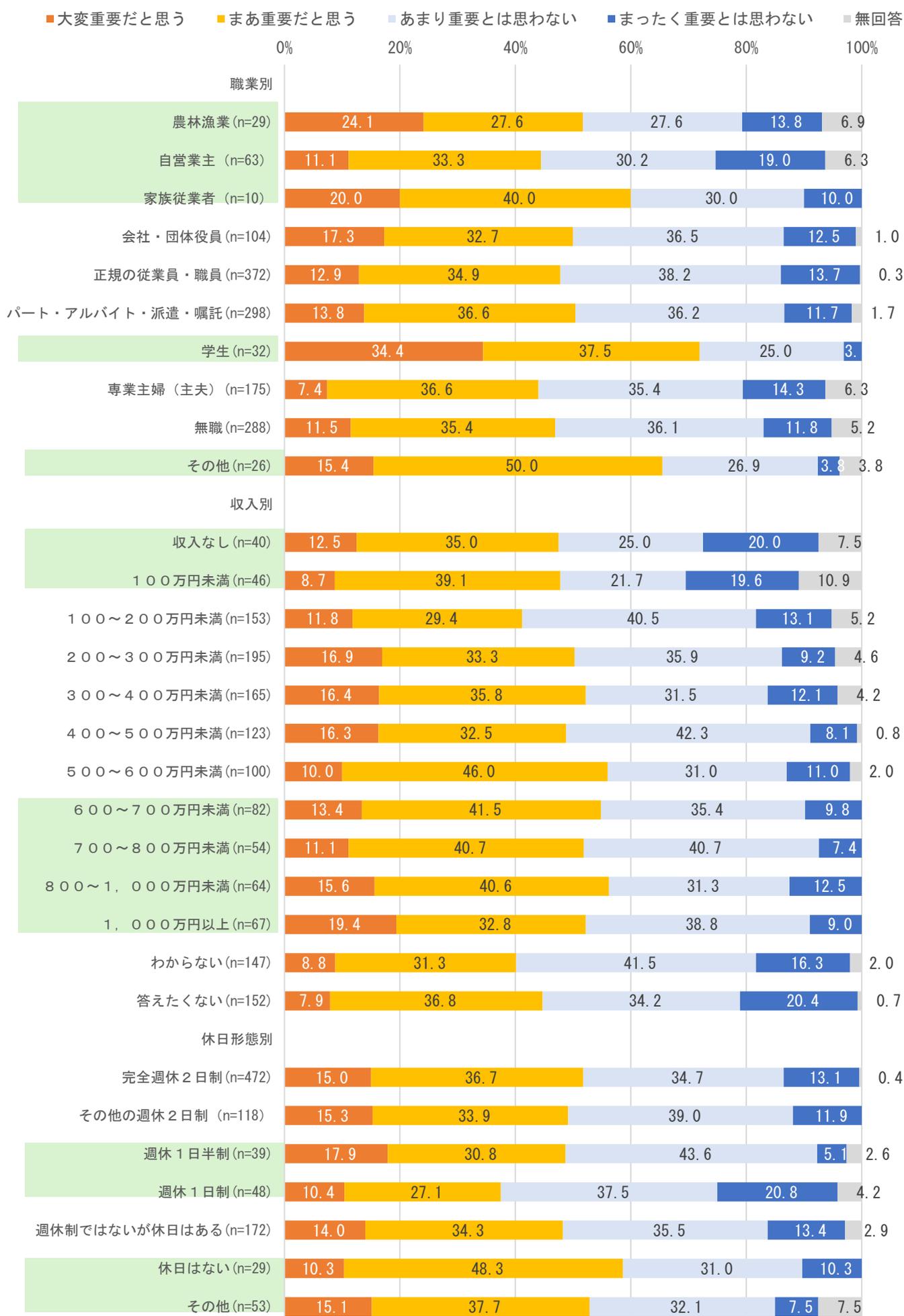
全体では、「あまり重要とは思わない」が 35.8%で最も多く、次いで「まあ重要だと思う」が 35.6%、「大変重要だと思う」が 13.1%と続いており、「重要である」が 48.7%、「重要ではない」が 48.4%となっている。

前回調査との比較で「重要である」は 6.6 ポイント減少し、「重要ではない」は 9.5 ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違は、「長崎・西彼地域」・「離島地域」は「まあ重要だと思う」が「あまり重要ではない」を上回っている。
性別	全体の傾向との大きな相違は、「男性」は「まあ重要だと思う」が「あまり重要ではない」を上回っている。
年齢別	全体の傾向との大きな相違は、「60歳代」「70歳以上」は「まあ重要だと思う」が「あまり重要ではない」を上回っている。
職業別	全体の傾向との大きな相違は、「パート・アルバイト・派遣・嘱託」「専業主婦(主夫)」は「まあ重要だと思う」が「あまり重要ではない」を上回っている。
収入別	全体の傾向との大きな相違は、「300~400万円未満」「500~700万円未満」は「まあ重要だと思う」が「あまり重要ではない」を上回っている。
休日形態別	全体の傾向との大きな相違は、「完全週休2日制」は「まあ重要だと思う」が「あまり重要ではない」を上回っている。

■ 大変重要だと思う ■ まあ重要だと思う ■ あまり重要とは思わない ■ まったく重要とは思わない ■ 無回答





※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	49 11.3	145 33.5	170 39.3	61 14.1	8 1.8
長与町	38 100.0	7 18.4	14 36.8	12 31.6	5 13.2	- -
時津町	30 100.0	3 10.0	10 33.3	12 40.0	5 16.7	- -
佐世保市	258 100.0	37 14.3	91 35.3	94 36.4	31 12.0	5 1.9
平戸市	28 100.0	4 14.3	14 50.0	7 25.0	1 3.6	2 7.1
松浦市	19 100.0	4 21.1	7 36.8	5 26.3	1 5.3	2 10.5
西海市	18 100.0	4 22.2	5 27.8	5 27.8	- -	4 22.2
小値賀町	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	- -	- -
佐々町	12 100.0	1 8.3	2 16.7	6 50.0	3 25.0	- -
東彼杵町	8 100.0	1 12.5	5 62.5	2 25.0	- -	- -
川棚町	22 100.0	4 18.2	7 31.8	9 40.9	2 9.1	- -
波佐見町	12 100.0	- -	6 50.0	3 25.0	2 16.7	1 8.3
島原市	34 100.0	4 11.8	10 29.4	15 44.1	4 11.8	1 2.9
雲仙市	36 100.0	4 11.1	18 50.0	12 33.3	1 2.8	1 2.8
南島原市	66 100.0	8 12.1	24 36.4	19 28.8	12 18.2	3 4.5
諫早市	134 100.0	17 12.7	62 46.3	37 27.6	15 11.2	3 2.2
大村市	130 100.0	15 11.5	43 33.1	45 34.6	23 17.7	4 3.1
対馬市	17 100.0	1 5.9	6 35.3	8 47.1	1 5.9	1 5.9
壱岐市	25 100.0	3 12.0	7 28.0	9 36.0	3 12.0	3 12.0
五島市	39 100.0	4 10.3	14 35.9	11 28.2	9 23.1	1 2.6
新上五島町	24 100.0	4 16.7	6 25.0	10 41.7	4 16.7	- -
上記以外	13 100.0	2 15.4	4 30.8	5 38.5	1 7.7	1 7.7

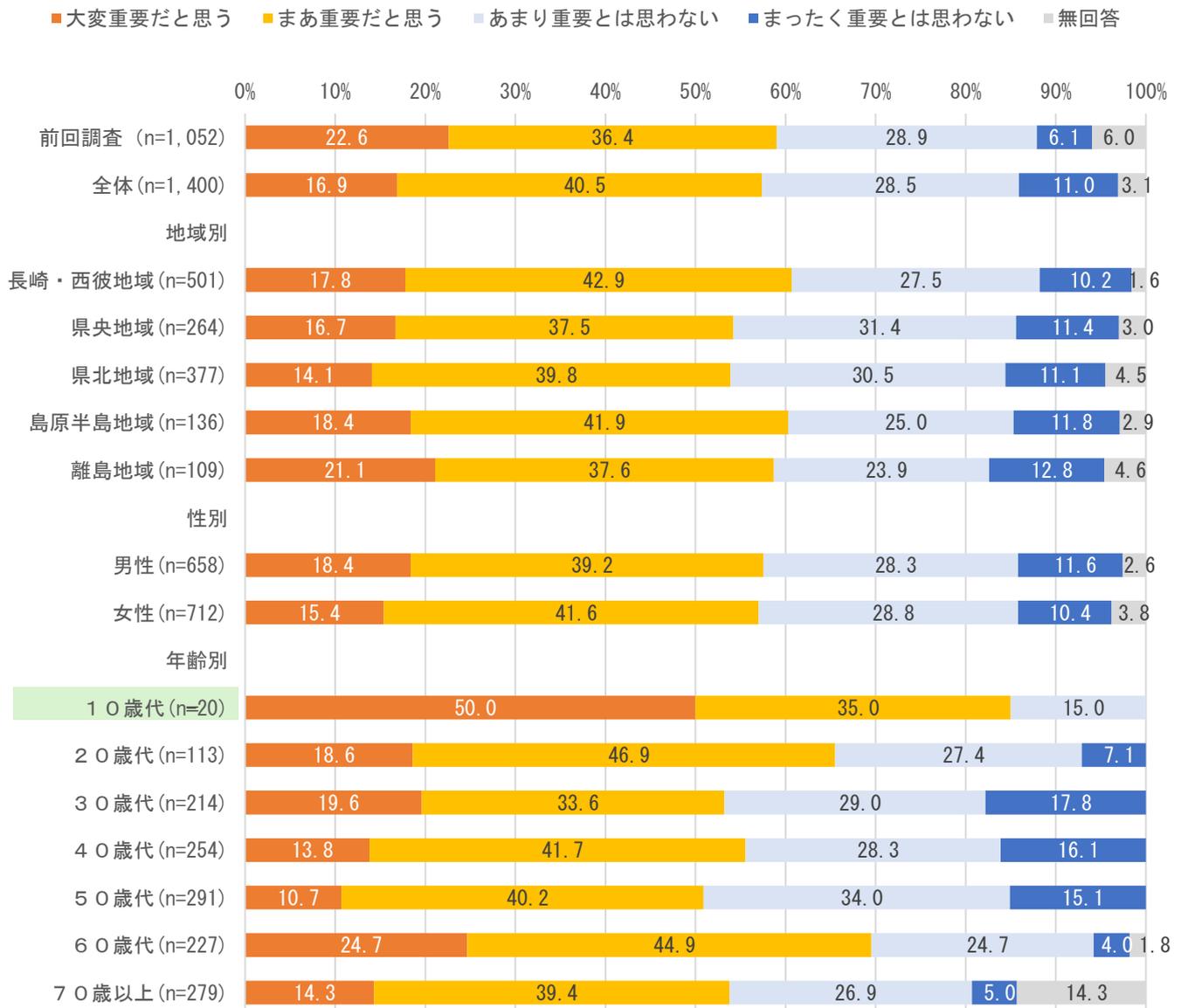
28-17:野球・バスケットボール等プロスポーツの試合の誘致 (SA)

重要度は 57.4%

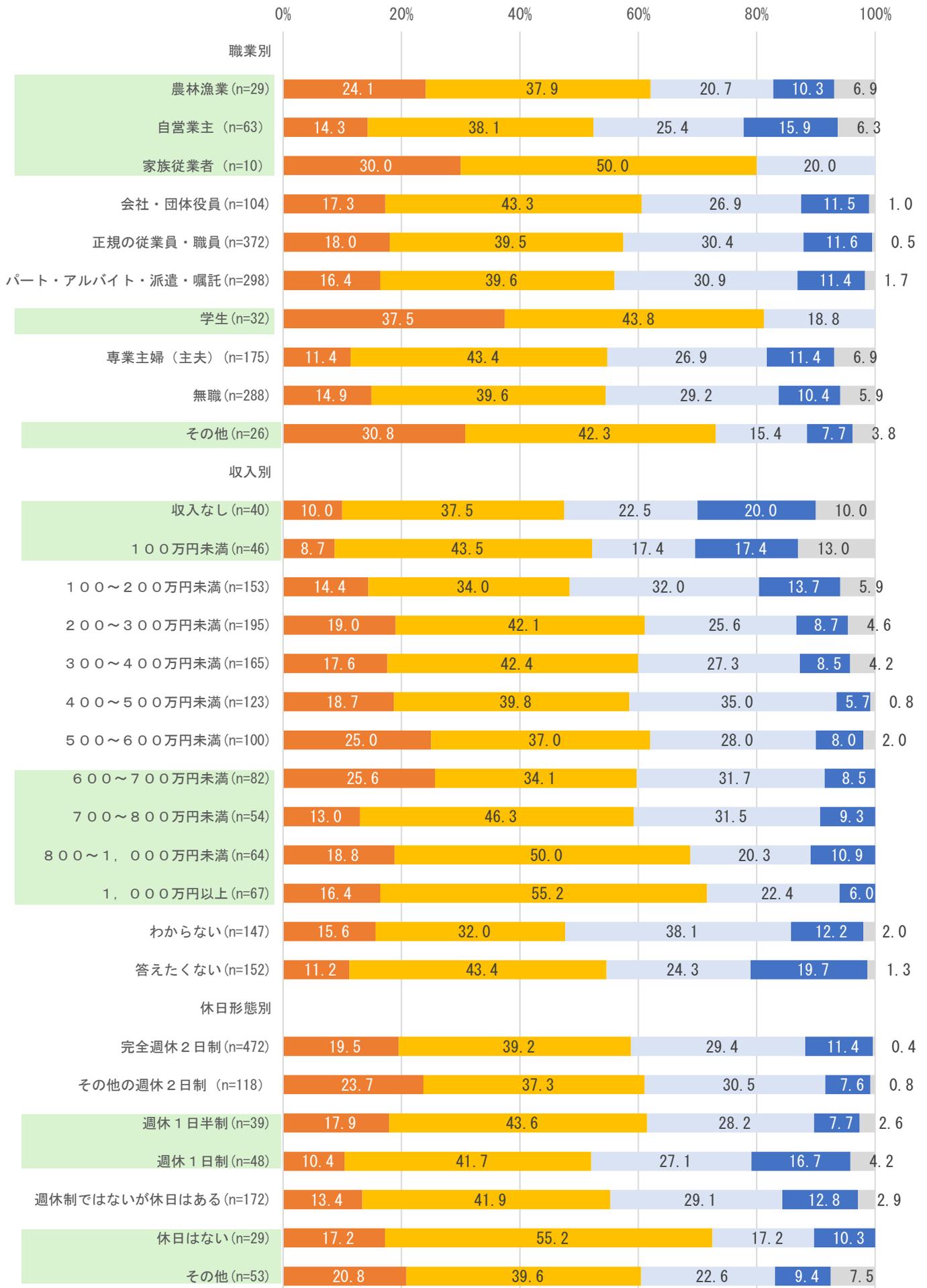
全体では、「まあ重要だと思う」が 40.5%で最も多く、次いで「あまり重要とは思わない」が 28.5%、「大変重要だと思う」が 16.9%と続いており、「重要である」が 57.4%、「重要ではない」が 39.5%となっている。

前回調査との比較で「重要である」は 1.6 ポイント減少し、「重要ではない」は 4.5 ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「島原半島地域」が最も高く「県北地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが「20 歳代」「60 歳代」は「重要である」が他の年代よりも 10 ポイント以上高くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「100～200 万円未満」は他収入層より 10 ポイント以上低くなっている。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。



■大変重要だと思う ■まあ重要だと思う ■あまり重要とは思わない ■まったく重要とは思わない ■無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	43 9.9	114 26.3	189 43.6	79 18.2	8 1.8
長与町	38 100.0	5 13.2	13 34.2	14 36.8	6 15.8	- -
時津町	30 100.0	3 10.0	11 36.7	12 40.0	4 13.3	- -
佐世保市	258 100.0	31 12.0	72 27.9	106 41.1	42 16.3	7 2.7
平戸市	28 100.0	2 7.1	14 50.0	8 28.6	1 3.6	3 10.7
松浦市	19 100.0	4 21.1	7 36.8	5 26.3	1 5.3	2 10.5
西海市	18 100.0	3 16.7	4 22.2	6 33.3	1 5.6	4 22.2
小値賀町	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	- -	- -
佐々町	12 100.0	- -	2 16.7	8 66.7	2 16.7	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	5 62.5	3 37.5	- -	- -
川棚町	22 100.0	2 9.1	7 31.8	9 40.9	4 18.2	- -
波佐見町	12 100.0	- -	4 33.3	5 41.7	2 16.7	1 8.3
島原市	34 100.0	4 11.8	6 17.6	19 55.9	4 11.8	1 2.9
雲仙市	36 100.0	5 13.9	7 19.4	16 44.4	7 19.4	1 2.8
南島原市	66 100.0	7 10.6	21 31.8	22 33.3	14 21.2	2 3.0
諫早市	134 100.0	15 11.2	51 38.1	39 29.1	25 18.7	4 3.0
大村市	130 100.0	15 11.5	32 24.6	60 46.2	19 14.6	4 3.1
対馬市	17 100.0	- -	6 35.3	7 41.2	3 17.6	1 5.9
壱岐市	25 100.0	3 12.0	5 20.0	10 40.0	4 16.0	3 12.0
五島市	39 100.0	6 15.4	8 20.5	13 33.3	11 28.2	1 2.6
新上五島町	24 100.0	4 16.7	6 25.0	9 37.5	5 20.8	- -
上記以外	13 100.0	1 7.7	3 23.1	5 38.5	2 15.4	2 15.4

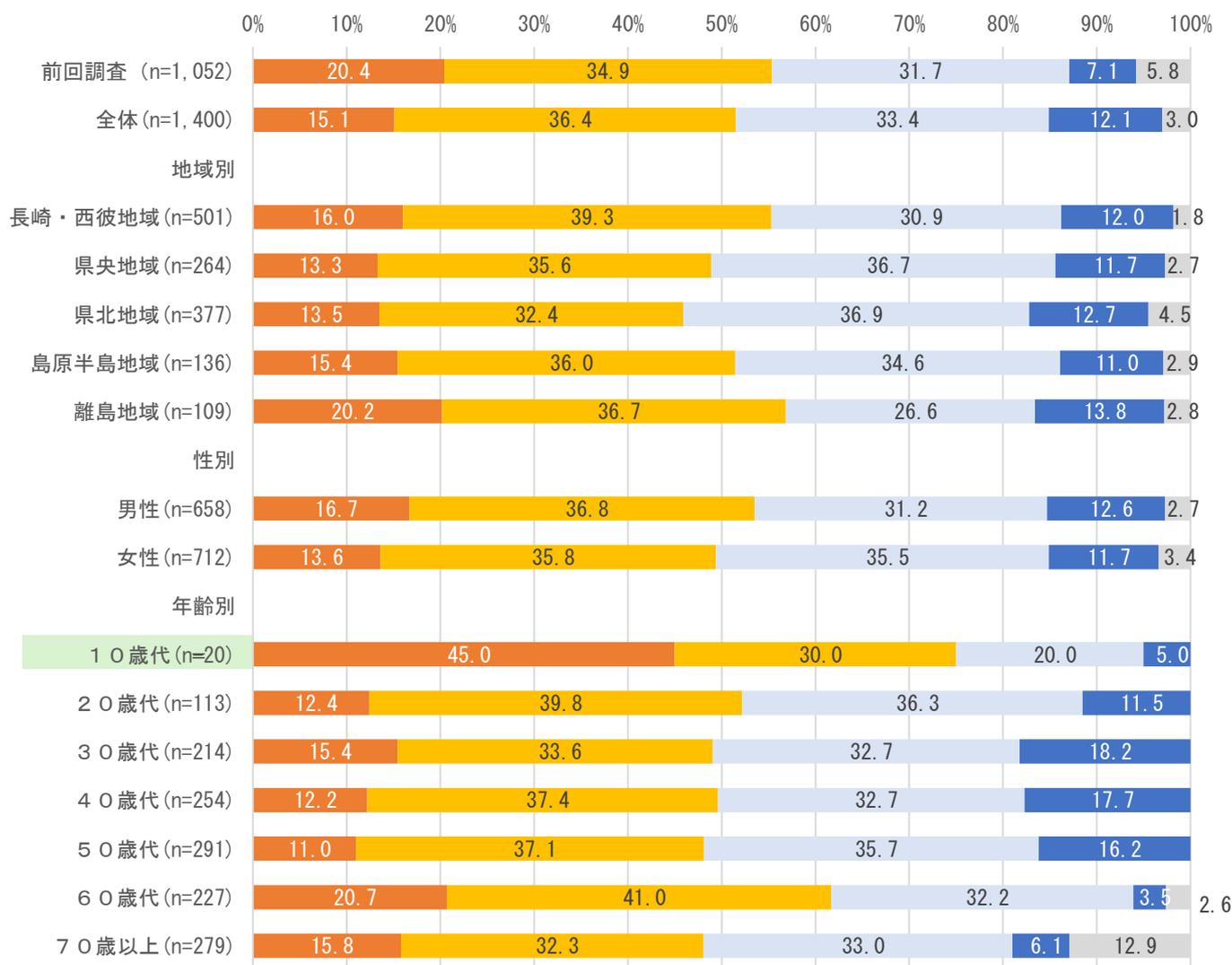
28-18: 県外トップチーム（実業団・プロ）のスポーツ合宿の誘致（SA）

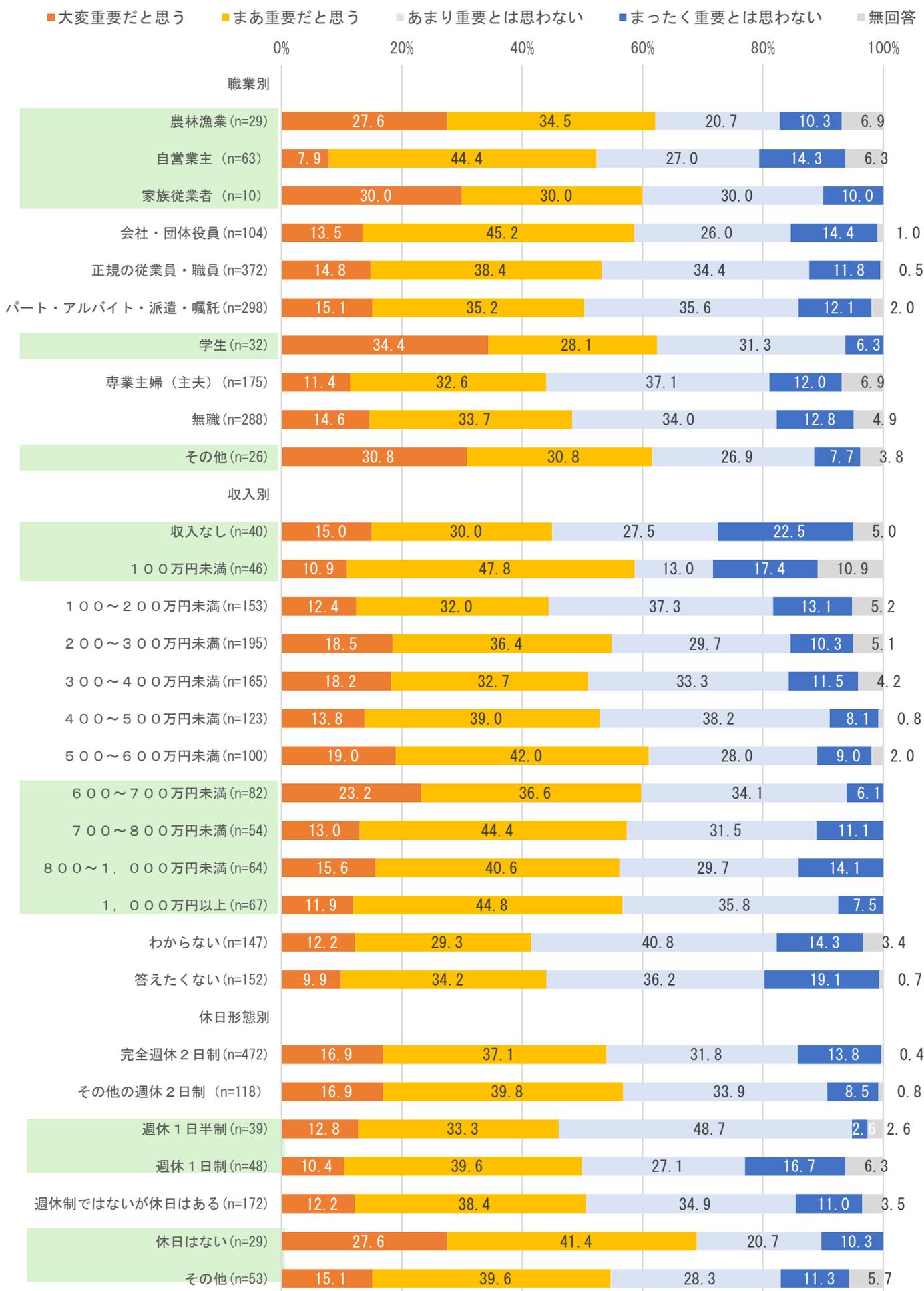
重要度は 51.5%

全体では、「まあ重要だと思う」が 36.4%で最も多く、次いで「あまり重要とは思わない」が 33.4%、「大変重要だと思う」が 15.1%と続いており、「重要である」が 51.5%、「重要ではない」が 45.5%となっている。
 前回調査との比較で「重要である」は 3.8 ポイント減少し、「重要ではない」は 6.7 ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違は、「県央地域」・「県北地域」は「あまり重要ではない」が「まあ重要だと思う」を上回っている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが「60歳代」は「重要である」が他の年代よりも9ポイント以上高くなっている。
職業別	全体の傾向との大きな相違は、「パート・アルバイト・派遣・嘱託」・「専業主婦（主夫）」・「無職」は「あまり重要ではない」が「まあ重要だと思う」を上回っている。
収入別	全体の傾向との大きな相違は、「100～200万円未満」・「300＝400万円未満」は「あまり重要ではない」が「まあ重要だと思う」を上回っている。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。

■ 大変重要だと思う ■ まあ重要だと思う ■ あまり重要とは思わない ■ まったく重要とは思わない ■ 無回答





※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	52 12.0	126 29.1	176 40.6	71 16.4	8 1.8
長与町	38 100.0	5 13.2	15 39.5	12 31.6	5 13.2	1 2.6
時津町	30 100.0	3 10.0	14 46.7	9 30.0	4 13.3	- -
佐世保市	258 100.0	36 14.0	87 33.7	88 34.1	39 15.1	8 3.1
平戸市	28 100.0	1 3.6	17 60.7	5 17.9	3 10.7	2 7.1
松浦市	19 100.0	3 15.8	8 42.1	4 21.1	2 10.5	2 10.5
西海市	18 100.0	3 16.7	6 33.3	3 16.7	2 11.1	4 22.2
小値賀町	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	- -	- -
佐々町	12 100.0	1 8.3	2 16.7	9 75.0	- -	- -
東彼杵町	8 100.0	1 12.5	4 50.0	2 25.0	1 12.5	- -
川棚町	22 100.0	2 9.1	10 45.5	8 36.4	2 9.1	- -
波佐見町	12 100.0	1 8.3	5 41.7	3 25.0	2 16.7	1 8.3
島原市	34 100.0	5 14.7	9 26.5	14 41.2	5 14.7	1 2.9
雲仙市	36 100.0	5 13.9	11 30.6	16 44.4	3 8.3	1 2.8
南島原市	66 100.0	5 7.6	27 40.9	19 28.8	13 19.7	2 3.0
諫早市	134 100.0	15 11.2	58 43.3	41 30.6	17 12.7	3 2.2
大村市	130 100.0	16 12.3	39 30.0	53 40.8	18 13.8	4 3.1
対馬市	17 100.0	1 5.9	5 29.4	7 41.2	3 17.6	1 5.9
壱岐市	25 100.0	3 12.0	6 24.0	10 40.0	5 20.0	1 4.0
五島市	39 100.0	6 15.4	7 17.9	15 38.5	10 25.6	1 2.6
新上五島町	24 100.0	4 16.7	9 37.5	7 29.2	4 16.7	- -
上記以外	13 100.0	1 7.7	1 7.7	7 53.8	2 15.4	2 15.4

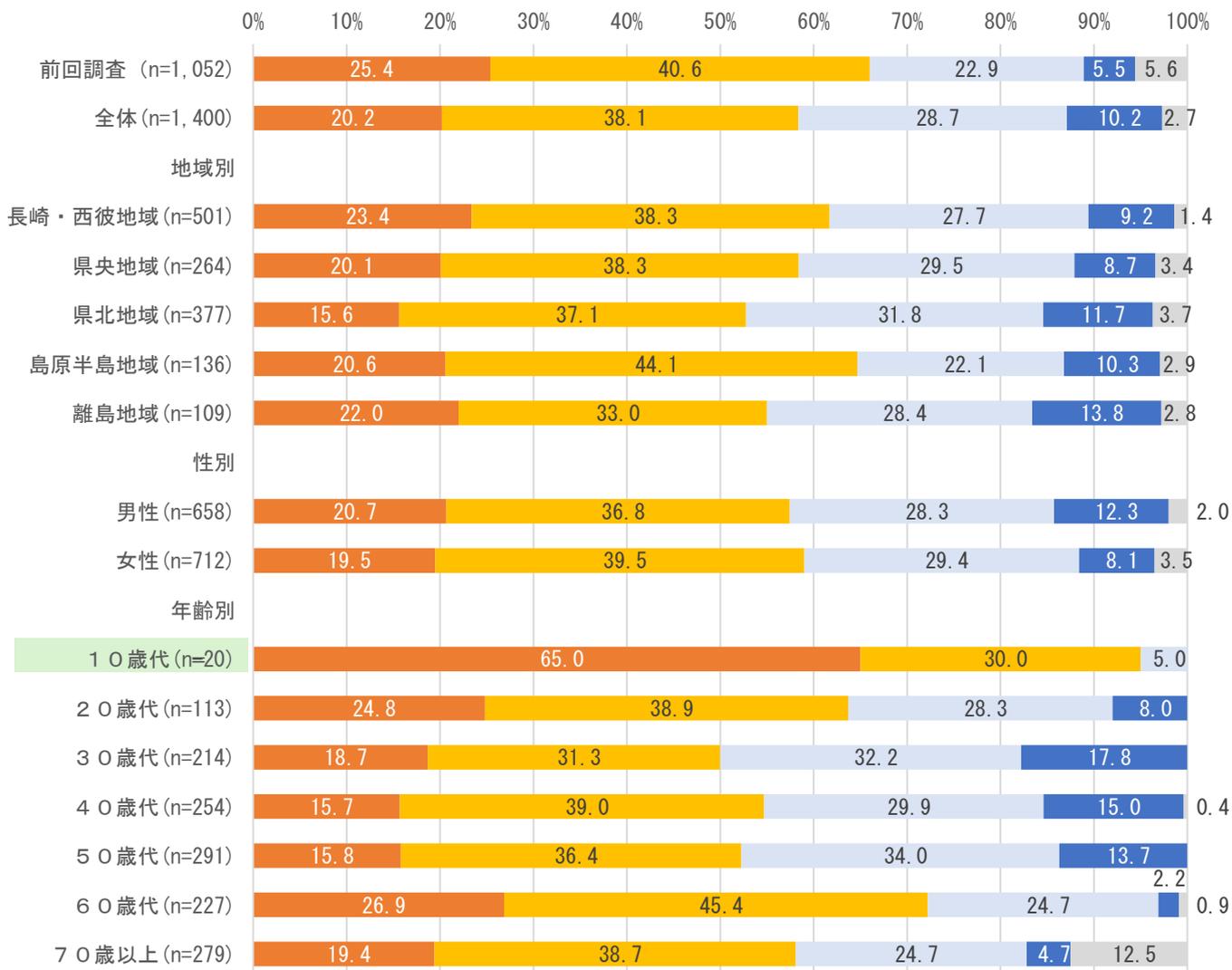
28-19: 県内プロスポーツチーム（V・ファーレン、ヴェルカ）の支援・連携（SA）

重要度は 58.3%

全体では、「まあ重要だと思う」が 38.1%で最も多く、次いで「あまり重要とは思わない」が 28.7%、「大変重要だと思う」が 20.2%と続いており、「重要である」が 58.3%、「重要ではない」が 38.9%となっている。
 前回調査との比較で「重要である」は 7.7 ポイント減少し、「重要ではない」は 10.5 ポイント増加している。

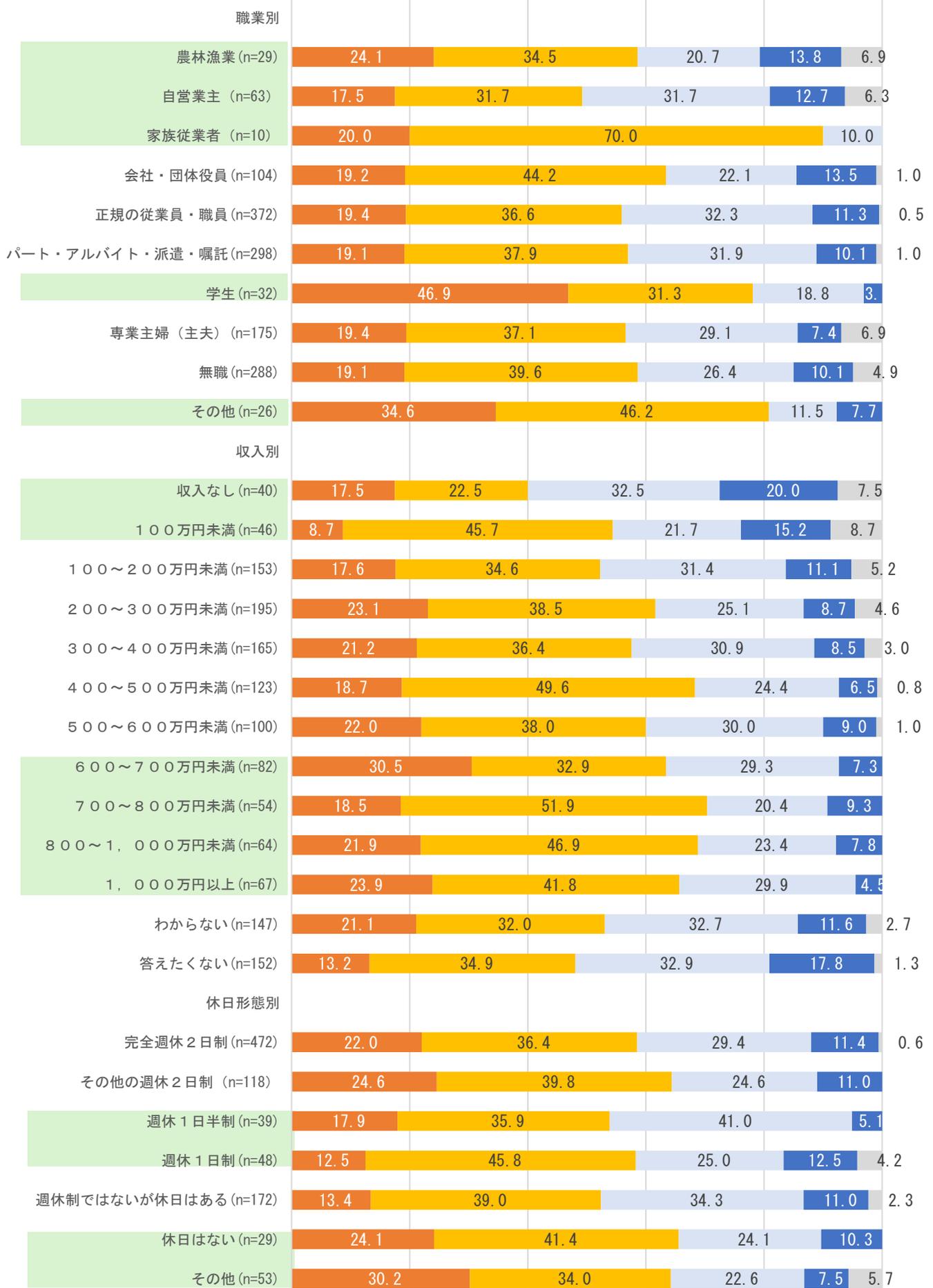
地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「島原半島地域」が最も高く「県北地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが「60歳代」は「重要である」が他の年代よりも 10 ポイント以上高くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「100～200万円未満」は他収入層より 10 ポイント以上低くなっている。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。

■ 大変重要だと思う ■ まあ重要だと思う ■ あまり重要とは思わない ■ まったく重要とは思わない ■ 無回答



■大変重要だと思う ■まあ重要だと思う ■あまり重要とは思わない ■まったく重要とは思わない ■無回答

0% 20% 40% 60% 80% 100%



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	39 9.0	119 27.5	167 38.6	101 23.3	7 1.6
長与町	38 100.0	4 10.5	10 26.3	16 42.1	8 21.1	- -
時津町	30 100.0	3 10.0	10 33.3	9 30.0	8 26.7	- -
佐世保市	258 100.0	33 12.8	74 28.7	99 38.4	46 17.8	6 2.3
平戸市	28 100.0	1 3.6	16 57.1	7 25.0	2 7.1	2 7.1
松浦市	19 100.0	4 21.1	7 36.8	6 31.6	1 5.3	1 5.3
西海市	18 100.0	4 22.2	5 27.8	3 16.7	2 11.1	4 22.2
小値賀町	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	- -	- -
佐々町	12 100.0	- -	1 8.3	9 75.0	2 16.7	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	5 62.5	1 12.5	2 25.0	- -
川棚町	22 100.0	2 9.1	9 40.9	9 40.9	2 9.1	- -
波佐見町	12 100.0	- -	3 25.0	6 50.0	2 16.7	1 8.3
島原市	34 100.0	5 14.7	7 20.6	16 47.1	5 14.7	1 2.9
雲仙市	36 100.0	3 8.3	10 27.8	14 38.9	7 19.4	2 5.6
南島原市	66 100.0	6 9.1	13 19.7	30 45.5	16 24.2	1 1.5
諫早市	134 100.0	11 8.2	45 33.6	49 36.6	25 18.7	4 3.0
大村市	130 100.0	12 9.2	33 25.4	52 40.0	28 21.5	5 3.8
対馬市	17 100.0	1 5.9	6 35.3	6 35.3	3 17.6	1 5.9
壱岐市	25 100.0	3 12.0	8 32.0	8 32.0	4 16.0	2 8.0
五島市	39 100.0	7 17.9	7 17.9	15 38.5	10 25.6	- -
新上五島町	24 100.0	3 12.5	9 37.5	5 20.8	7 29.2	- -
上記以外	13 100.0	1 7.7	4 30.8	5 38.5	2 15.4	1 7.7

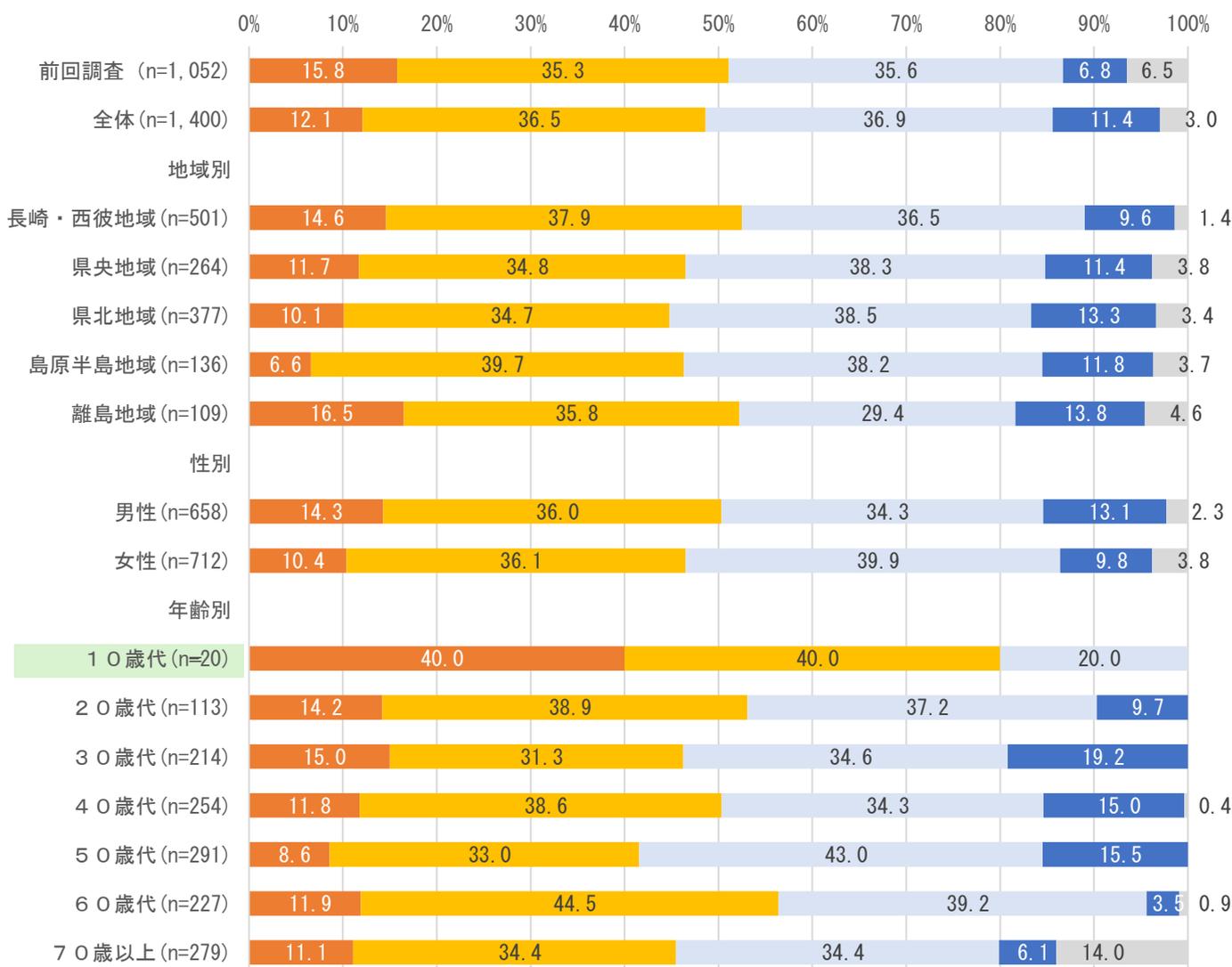
28-20:新たな県内プロスポーツチームの発足支援 (SA)

重要度は 48.6%

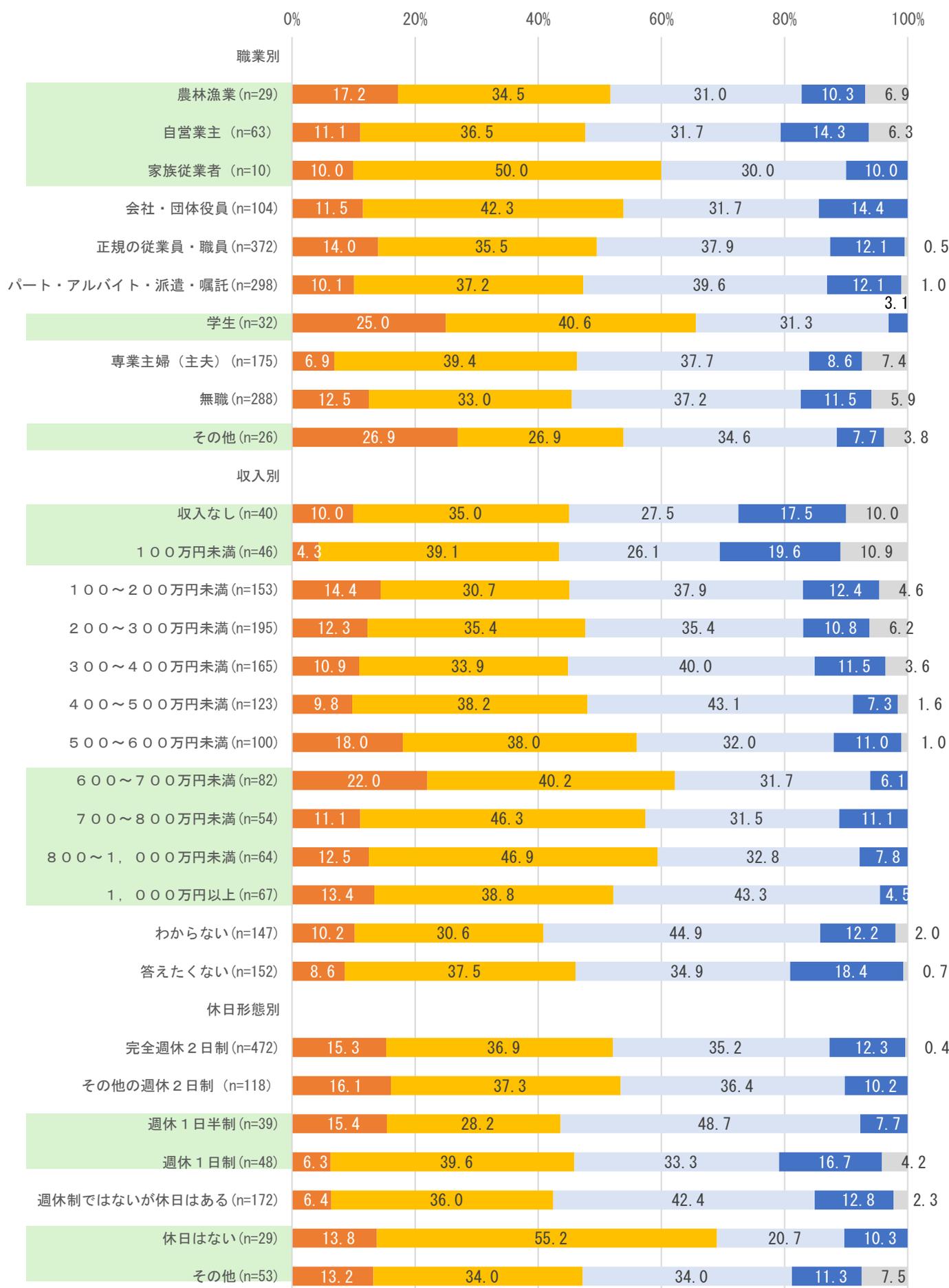
全体では、「あまり重要とは思わない」が 36.9%で最も多く、次いで「まあ重要だと思う」が 36.5%、「大変重要だと思う」が 12.1%と続いており、「重要である」が 48.6%、「重要ではない」が 48.3%となっている。
 前回調査との比較で「重要である」は 2.5 ポイント減少し、「重要ではない」は 5.9 ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違は、「長崎・西彼地域」・「離島地域」は「まあ重要だと思う」が「あまり重要ではない」を上回っている。
性別	全体の傾向との大きな相違は、「男性」は「まあ重要だと思う」が「あまり重要ではない」を上回っている。
年齢別	全体の傾向との相違は「30 歳代」「50 歳代」は「重要である」と「重要ではない」が逆転している。
職業別	全体の傾向との相違は「正規の従業員・職員」「パート・アルバイト・派遣・嘱託」「無職」は「重要である」と「重要ではない」が逆転している。
収入別	全体の傾向との相違は「100～200 万円未満」「300～400 万円未満」「400～500 万円未満」は「重要である」と「重要ではない」が逆転している。
休日形態別	全体の傾向との相違は「週休制ではないが休日はある」は「重要である」と「重要ではない」が逆転している。

■ 大変重要だと思う ■ まあ重要だと思う ■ あまり重要とは思わない ■ まったく重要とは思わない ■ 無回答



■ 大変重要だと思う ■ まあ重要だと思う ■ あまり重要とは思わない ■ まったく重要とは思わない ■ 無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	40 9.2	154 35.6	168 38.8	64 14.8	7 1.6
長与町	38 100.0	4 10.5	17 44.7	12 31.6	5 13.2	- -
時津町	30 100.0	4 13.3	12 40.0	10 33.3	4 13.3	- -
佐世保市	258 100.0	34 13.2	93 36.0	93 36.0	32 12.4	6 2.3
平戸市	28 100.0	2 7.1	19 67.9	5 17.9	- -	2 7.1
松浦市	19 100.0	4 21.1	6 31.6	8 42.1	- -	1 5.3
西海市	18 100.0	4 22.2	5 27.8	4 22.2	2 11.1	3 16.7
小値賀町	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	- -	- -
佐々町	12 100.0	1 8.3	3 25.0	8 66.7	- -	- -
東彼杵町	8 100.0	1 12.5	4 50.0	2 25.0	1 12.5	- -
川棚町	22 100.0	3 13.6	10 45.5	7 31.8	2 9.1	- -
波佐見町	12 100.0	1 8.3	5 41.7	4 33.3	1 8.3	1 8.3
島原市	34 100.0	7 20.6	9 26.5	16 47.1	1 2.9	1 2.9
雲仙市	36 100.0	4 11.1	13 36.1	14 38.9	3 8.3	2 5.6
南島原市	66 100.0	5 7.6	30 45.5	24 36.4	5 7.6	2 3.0
諫早市	134 100.0	14 10.4	56 41.8	48 35.8	12 9.0	4 3.0
大村市	130 100.0	16 12.3	45 34.6	44 33.8	19 14.6	6 4.6
対馬市	17 100.0	1 5.9	6 35.3	7 41.2	2 11.8	1 5.9
壱岐市	25 100.0	3 12.0	7 28.0	8 32.0	4 16.0	3 12.0
五島市	39 100.0	7 17.9	10 25.6	13 33.3	8 20.5	1 2.6
新上五島町	24 100.0	3 12.5	8 33.3	9 37.5	4 16.7	- -
上記以外	13 100.0	1 7.7	4 30.8	5 38.5	1 7.7	2 15.4

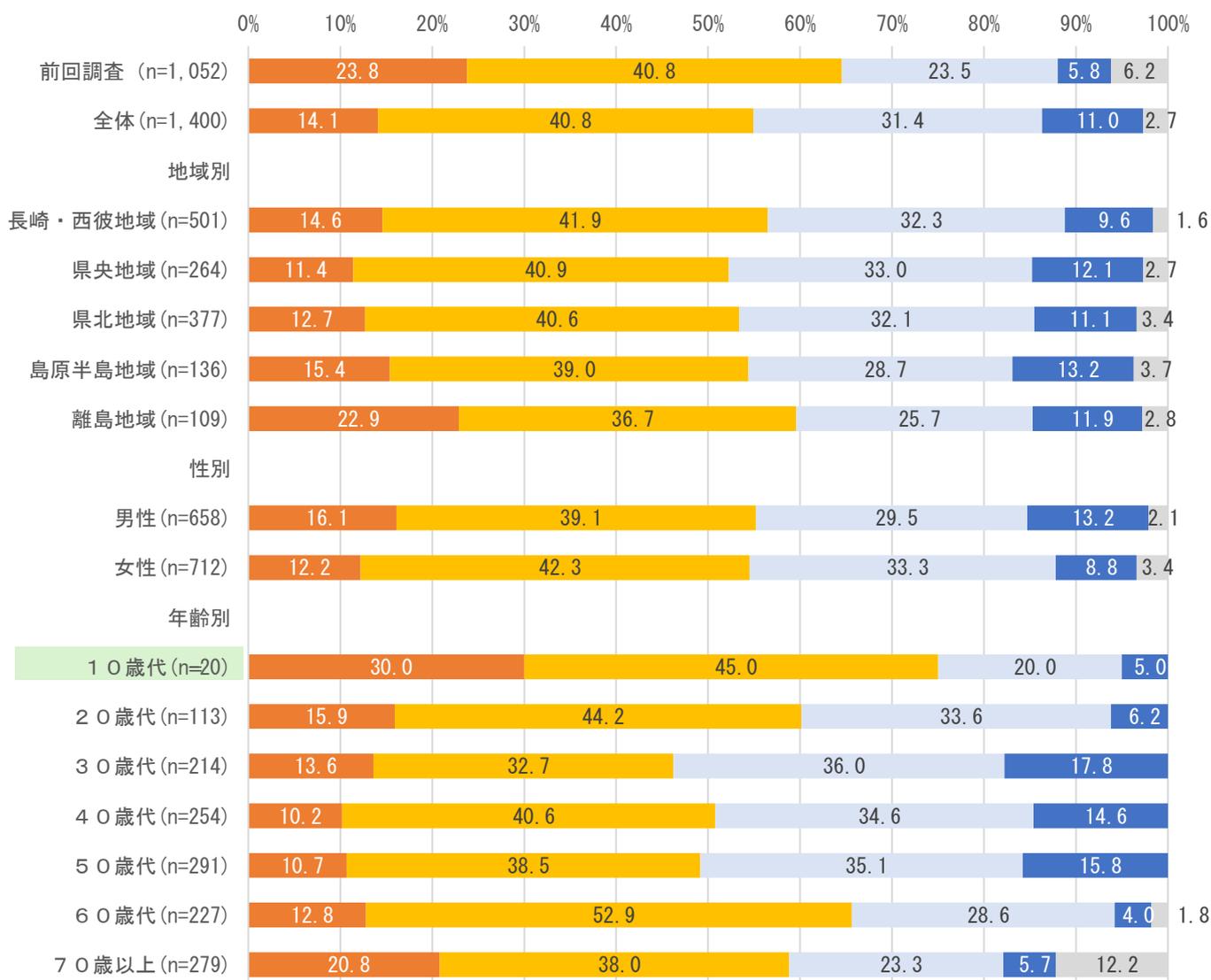
28-21:国体での総合成績を向上させるための強化策 (SA)

重要度は 54.9%

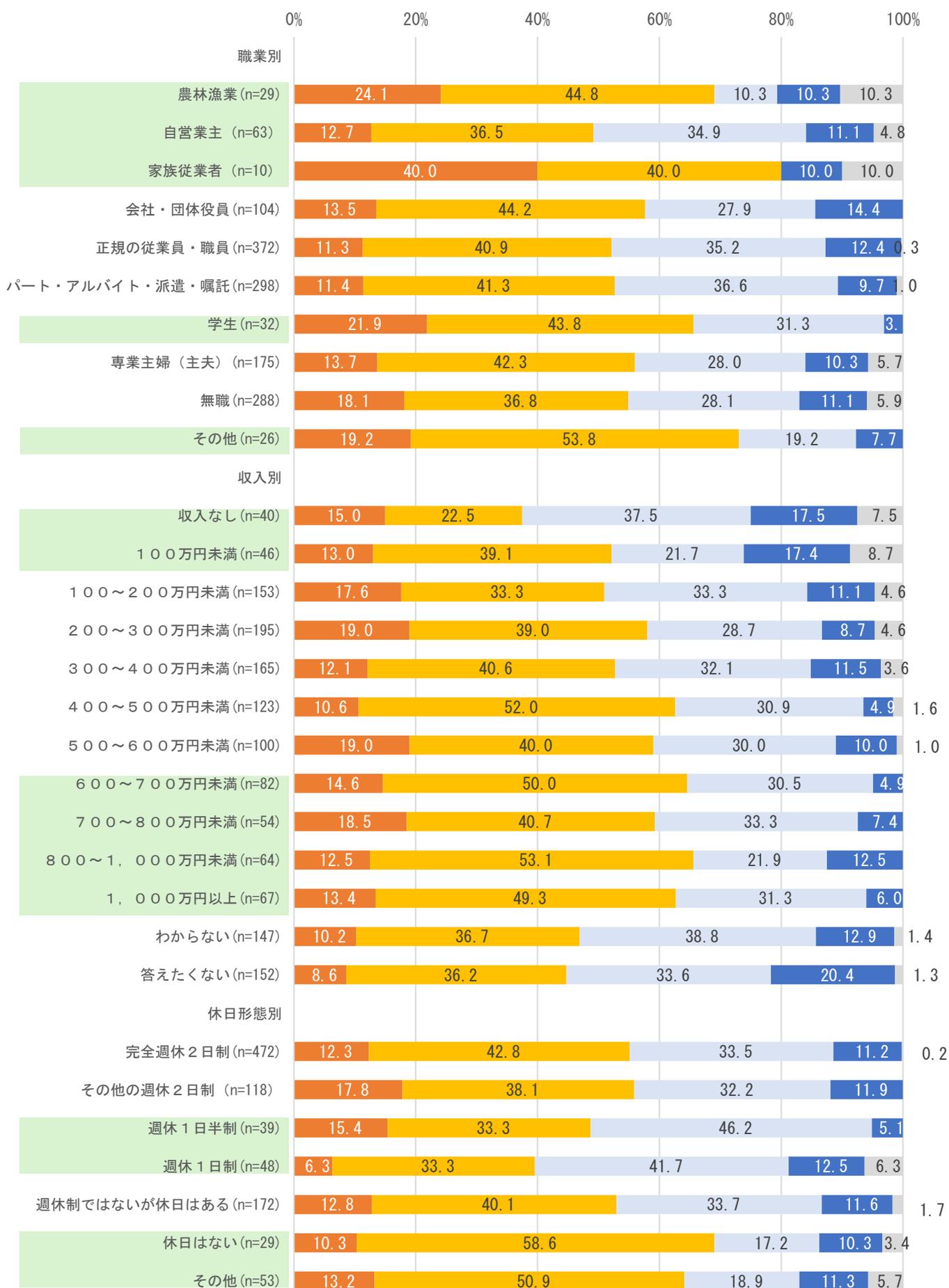
全体では、「まあ重要だと思う」が 40.8%で最も多く、次いで「あまり重要とは思わない」が 31.4%、「大変重要だと思う」が 14.1%と続いており、「重要である」が 54.9%、「重要ではない」が 42.4%となっている。
 前回調査との比較で「重要である」は 9.7 ポイント減少し、「重要ではない」は 13.1 ポイント増加している

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「離島地域」が最も高く「県央地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	全体の傾向との相違は「30 歳代」「50 歳代」は「重要である」と「重要ではない」が逆転している。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。

■ 大変重要だと思う ■ まあ重要だと思う ■ あまり重要とは思わない ■ まったく重要とは思わない ■ 無回答



■ 大変重要だと思う
 ■ まあ重要だと思う
 ■ あまり重要とは思わない
 ■ まったく重要とは思わない
 ■ 無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	41 9.5	136 31.4	185 42.7	63 14.5	8 1.8
長与町	38 100.0	4 10.5	13 34.2	17 44.7	4 10.5	- -
時津町	30 100.0	3 10.0	13 43.3	8 26.7	6 20.0	- -
佐世保市	258 100.0	30 11.6	79 30.6	108 41.9	36 14.0	5 1.9
平戸市	28 100.0	1 3.6	13 46.4	9 32.1	2 7.1	3 10.7
松浦市	19 100.0	3 15.8	6 31.6	8 42.1	2 10.5	- -
西海市	18 100.0	3 16.7	4 22.2	6 33.3	2 11.1	3 16.7
小値賀町	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	- -
佐々町	12 100.0	1 8.3	2 16.7	9 75.0	- -	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	5 62.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5
川棚町	22 100.0	4 18.2	7 31.8	9 40.9	2 9.1	- -
波佐見町	12 100.0	- -	5 41.7	3 25.0	3 25.0	1 8.3
島原市	34 100.0	5 14.7	9 26.5	16 47.1	3 8.8	1 2.9
雲仙市	36 100.0	5 13.9	10 27.8	15 41.7	3 8.3	3 8.3
南島原市	66 100.0	8 12.1	20 30.3	22 33.3	15 22.7	1 1.5
諫早市	134 100.0	14 10.4	55 41.0	50 37.3	12 9.0	3 2.2
大村市	130 100.0	18 13.8	32 24.6	58 44.6	18 13.8	4 3.1
対馬市	17 100.0	1 5.9	6 35.3	6 35.3	3 17.6	1 5.9
壱岐市	25 100.0	3 12.0	6 24.0	10 40.0	5 20.0	1 4.0
五島市	39 100.0	5 12.8	7 17.9	15 38.5	11 28.2	1 2.6
新上五島町	24 100.0	3 12.5	8 33.3	8 33.3	5 20.8	- -
上記以外	13 100.0	1 7.7	2 15.4	7 53.8	1 7.7	2 15.4

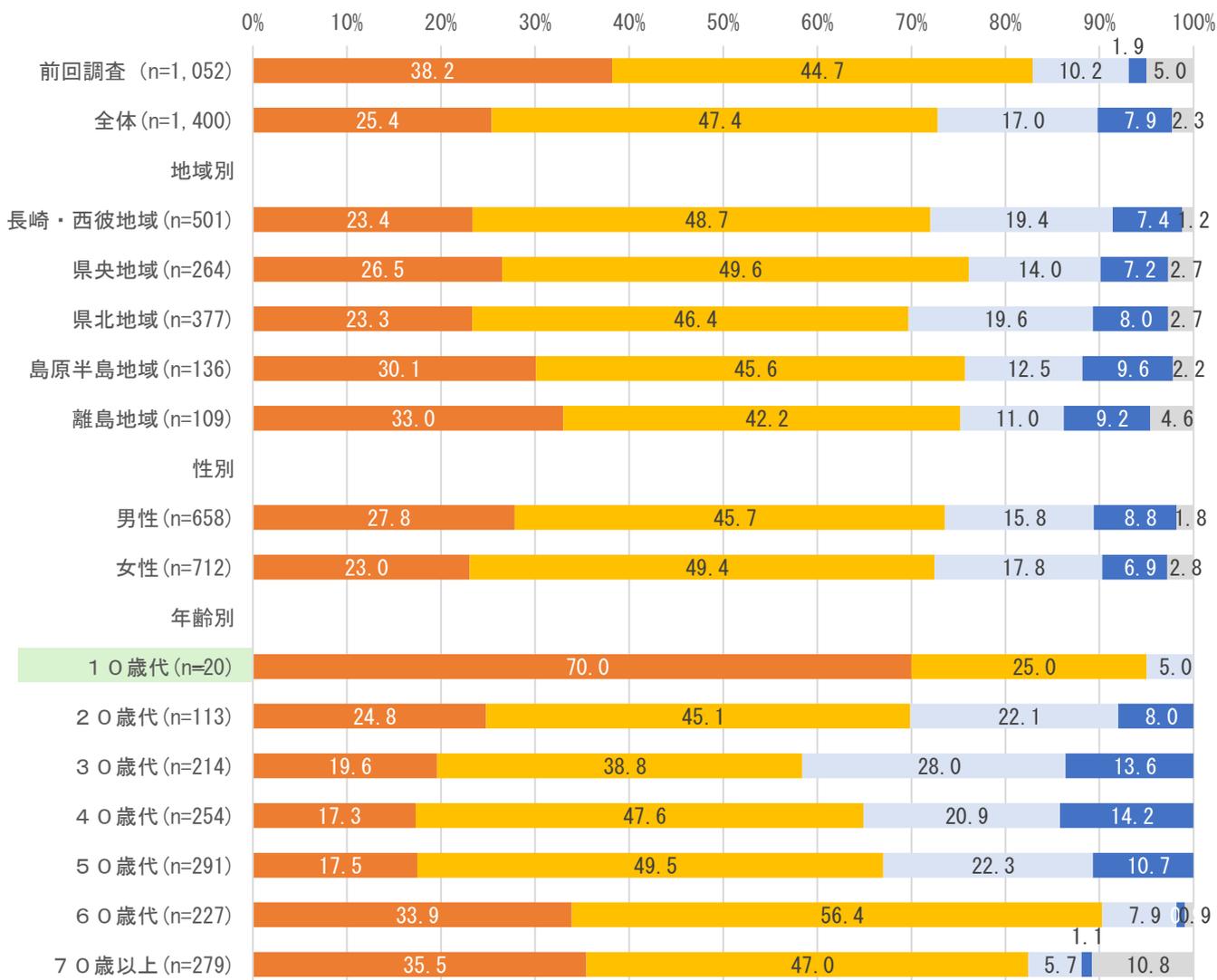
28-22: 中学校・高校での運動部活動の充実 (SA)

重要度は 72.8%

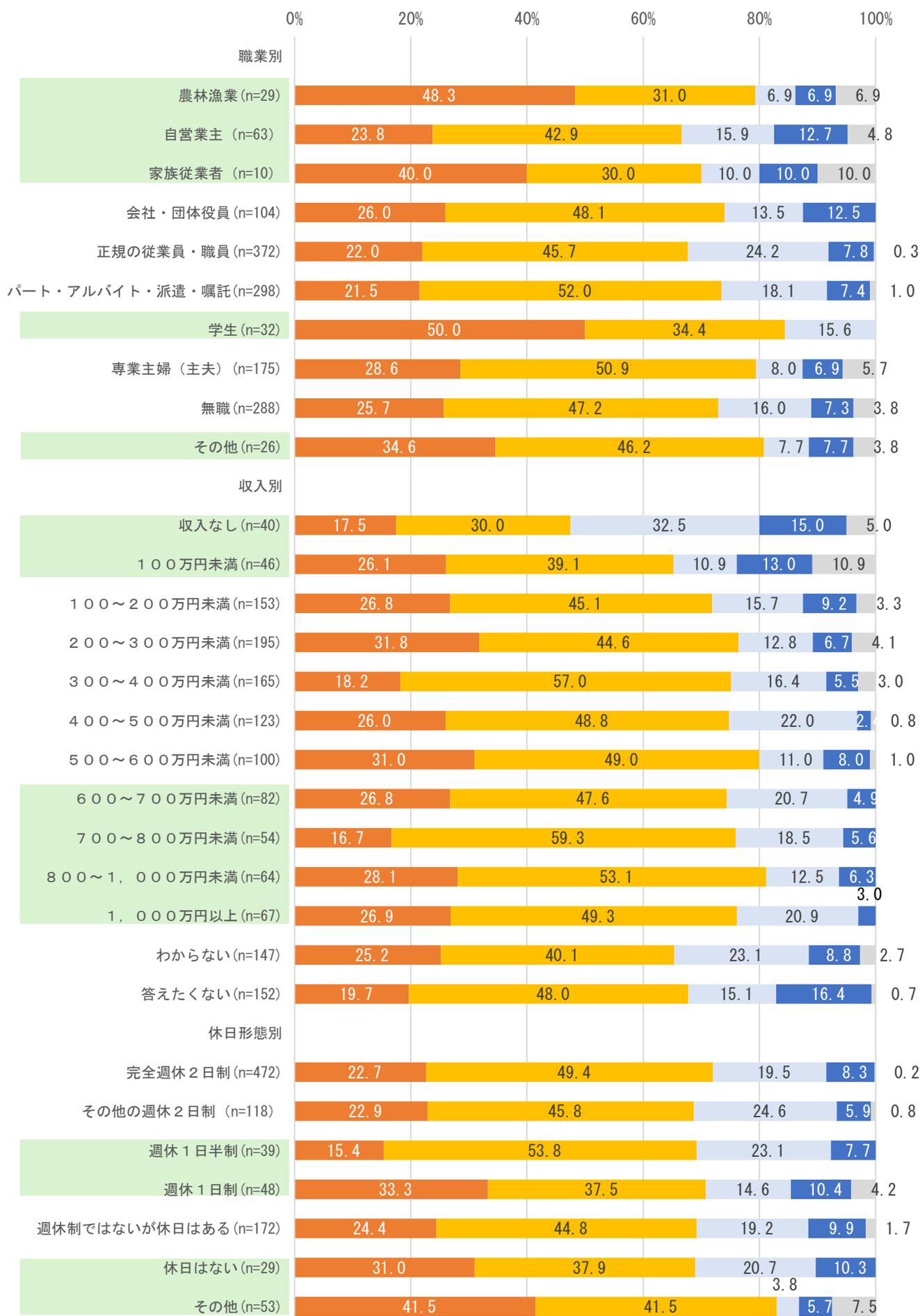
全体では、「まあ重要だと思う」が 47.4% で最も多く、次いで「大変重要だと思う」が 25.4%、「あまり重要とは思わない」が 17.0% と続いており、「重要である」が 72.8%、「重要ではない」が 24.9% となっている。
 前回調査との比較で「重要である」は 10.1 ポイント減少し、「重要ではない」は 12.8 ポイント増加している

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「島原半島地域」が最も高く「県北地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが「60 歳代」「70 歳以上」は「重要である」が他の年代よりも 10 ポイント以上高くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。

■ 大変重要だと思う ■ まあ重要だと思う ■ あまり重要とは思わない ■ まったく重要とは思わない ■ 無回答



■大変重要だと思う ■まあ重要だと思う ■あまり重要とは思わない ■まったく重要とは思わない ■無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	31 7.2	86 19.9	212 49.0	98 22.6	6 1.4
長与町	38 100.0	3 7.9	6 15.8	17 44.7	12 31.6	- -
時津町	30 100.0	3 10.0	5 16.7	15 50.0	7 23.3	- -
佐世保市	258 100.0	25 9.7	52 20.2	113 43.8	63 24.4	5 1.9
平戸市	28 100.0	2 7.1	5 17.9	13 46.4	6 21.4	2 7.1
松浦市	19 100.0	2 10.5	4 21.1	10 52.6	3 15.8	- -
西海市	18 100.0	- -	3 16.7	8 44.4	5 27.8	2 11.1
小値賀町	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	- -
佐々町	12 100.0	- -	2 16.7	9 75.0	1 8.3	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	3 37.5	2 25.0	3 37.5	- -
川棚町	22 100.0	1 4.5	4 18.2	12 54.5	5 22.7	- -
波佐見町	12 100.0	- -	1 8.3	8 66.7	2 16.7	1 8.3
島原市	34 100.0	5 14.7	2 5.9	18 52.9	8 23.5	1 2.9
雲仙市	36 100.0	2 5.6	8 22.2	17 47.2	8 22.2	1 2.8
南島原市	66 100.0	6 9.1	7 10.6	27 40.9	25 37.9	1 1.5
諫早市	134 100.0	13 9.7	21 15.7	69 51.5	28 20.9	3 2.2
大村市	130 100.0	6 4.6	16 12.3	62 47.7	42 32.3	4 3.1
対馬市	17 100.0	- -	2 11.8	7 41.2	7 41.2	1 5.9
壱岐市	25 100.0	1 4.0	2 8.0	11 44.0	8 32.0	3 12.0
五島市	39 100.0	5 12.8	5 12.8	14 35.9	14 35.9	1 2.6
新上五島町	24 100.0	3 12.5	2 8.3	13 54.2	6 25.0	- -
上記以外	13 100.0	1 7.7	1 7.7	6 46.2	4 30.8	1 7.7

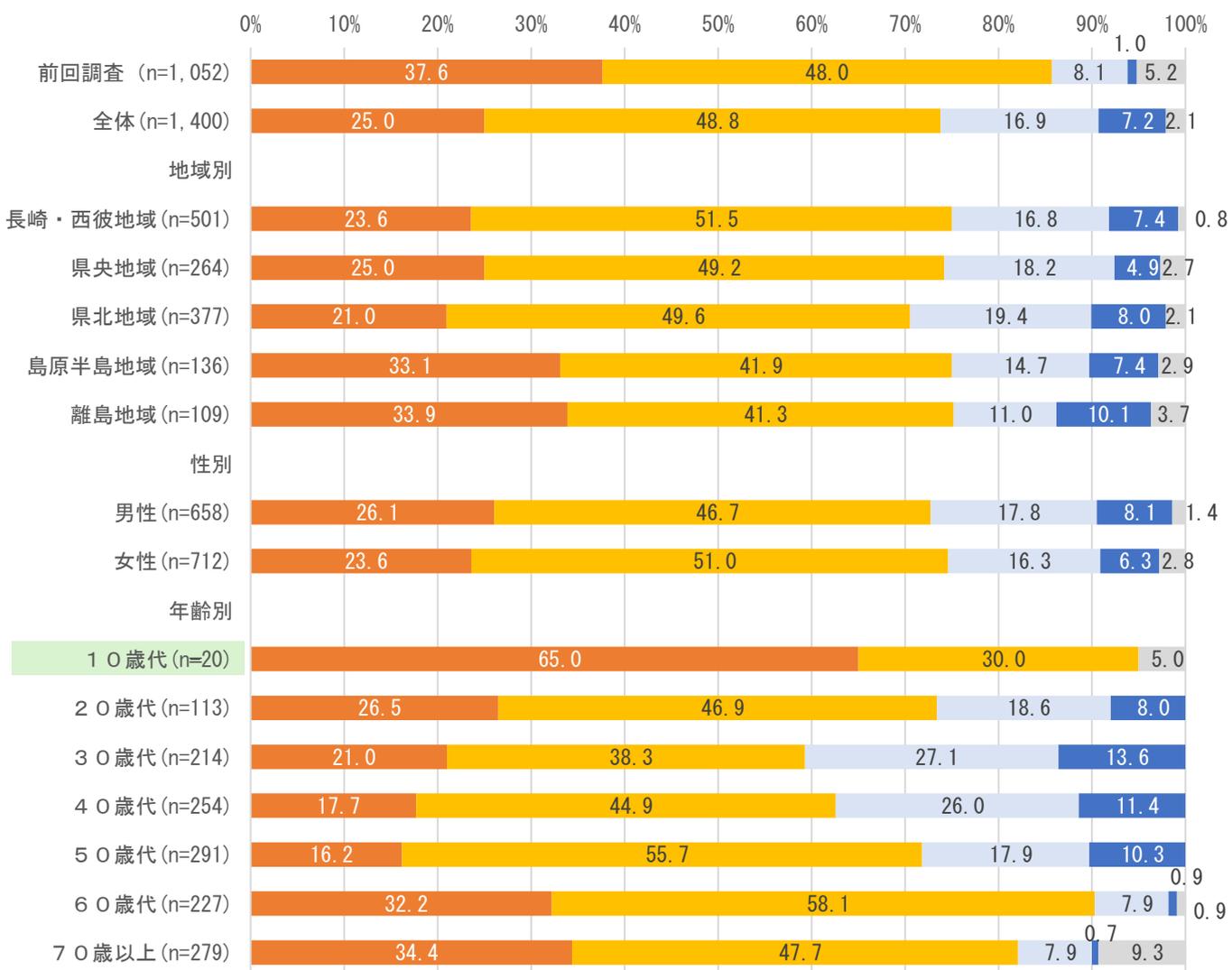
28-23: 学校外や地域における子どものスポーツ機会の充実 (SA)

重要度は 73.8%

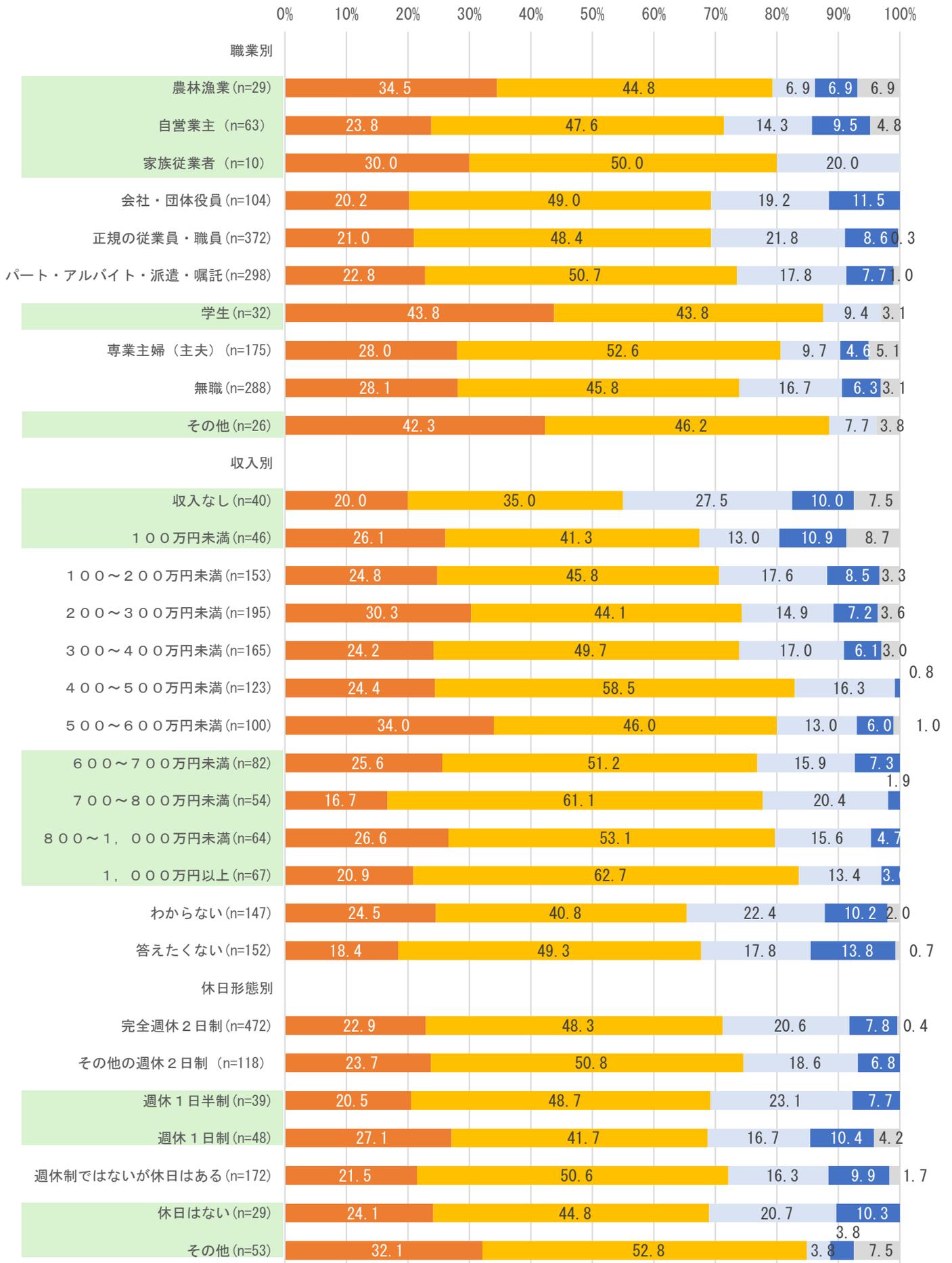
全体では、「まあ重要だと思う」が 48.8%で最も多く、次いで「大変重要だと思う」が 25.0%、「あまり重要とは思わない」が 16.9%と続いており、「重要である」が 73.8%、「重要ではない」が 24.1%となっている。
 前回調査との比較で「重要である」は 11.8 ポイント減少し、「重要ではない」は 15.0 ポイント増加している

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「島原半島地域」が最も高く「県北地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	全体の傾向との相違は「30 歳代」は「大変重要だと思う」と「あまり重要とは思わない」が逆転している。
職業別	全体の傾向との相違は「正規の従業員・職員」は「大変重要だと思う」と「あまり重要とは思わない」が逆転している。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。

■ 大変重要だと思う ■ まあ重要だと思う ■ あまり重要とは思わない ■ まったく重要とは思わない ■ 無回答



■ 大変重要だと思う
 ■ まあ重要だと思う
 ■ あまり重要とは思わない
 ■ まったく重要とは思わない
 ■ 無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	32 7.4	73 16.9	218 50.3	106 24.5	4 0.9
長与町	38 100.0	2 5.3	5 13.2	24 63.2	7 18.4	- -
時津町	30 100.0	3 10.0	6 20.0	16 53.3	5 16.7	- -
佐世保市	258 100.0	24 9.3	51 19.8	124 48.1	56 21.7	3 1.2
平戸市	28 100.0	2 7.1	3 10.7	15 53.6	6 21.4	2 7.1
松浦市	19 100.0	2 10.5	3 15.8	12 63.2	2 10.5	- -
西海市	18 100.0	- -	4 22.2	7 38.9	5 27.8	2 11.1
小値賀町	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	- -	- -
佐々町	12 100.0	1 8.3	2 16.7	9 75.0	- -	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	3 37.5	2 25.0	3 37.5	- -
川棚町	22 100.0	1 4.5	5 22.7	11 50.0	5 22.7	- -
波佐見町	12 100.0	- -	2 16.7	7 58.3	2 16.7	1 8.3
島原市	34 100.0	3 8.8	5 14.7	16 47.1	9 26.5	1 2.9
雲仙市	36 100.0	2 5.6	7 19.4	16 44.4	9 25.0	2 5.6
南島原市	66 100.0	5 7.6	8 12.1	25 37.9	27 40.9	1 1.5
諫早市	134 100.0	8 6.0	27 20.1	71 53.0	25 18.7	3 2.2
大村市	130 100.0	5 3.8	21 16.2	59 45.4	41 31.5	4 3.1
対馬市	17 100.0	- -	3 17.6	7 41.2	6 35.3	1 5.9
壱岐市	25 100.0	1 4.0	3 12.0	11 44.0	7 28.0	3 12.0
五島市	39 100.0	6 15.4	3 7.7	13 33.3	17 43.6	- -
新上五島町	24 100.0	3 12.5	2 8.3	12 50.0	7 29.2	- -
上記以外	13 100.0	- -	- -	6 46.2	5 38.5	2 15.4

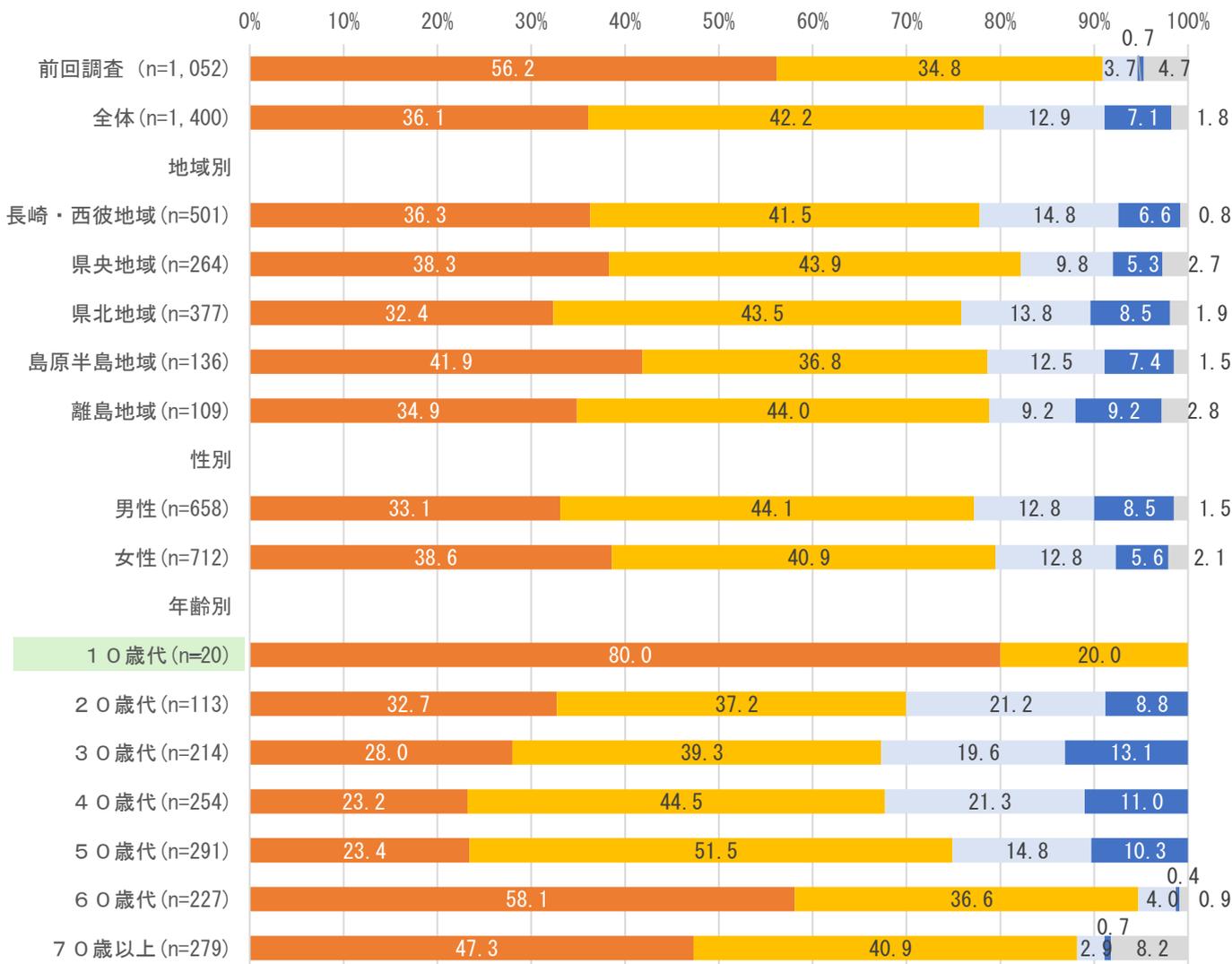
28-24: 幼児期に外遊びや体を動かして遊ぶ楽しさを教えること (SA)

重要度は 73.8%

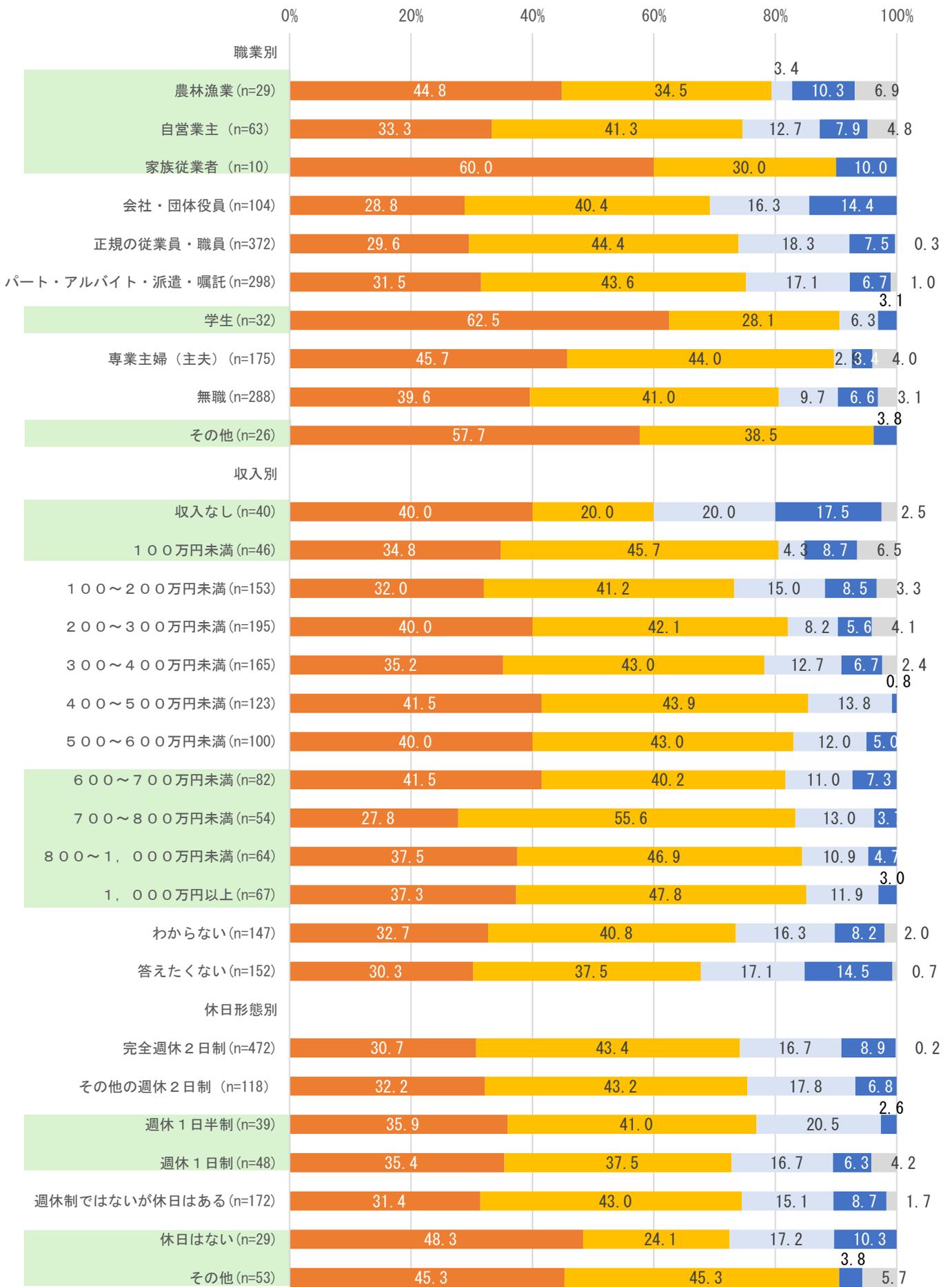
全体では、「まあ重要だと思う」が 42.2%で最も多く、次いで「大変重要だと思う」が 36.1%、「あまり重要とは思わない」が 12.9%と続いており、「重要である」が 78.3%、「重要ではない」が 20.0%となっている。
 前回調査との比較で「重要である」は 12.7 ポイント減少し、「重要ではない」は 15.6 ポイント増加している

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「重要である」は「県央地域」が最も高く「長崎・西彼地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが「60 歳代」「70 歳以上」は「重要である」が他の年代よりも 10 ポイント以上高くなっている。
職業別	全体の傾向との相違はみられないが「専業主婦 (主夫)」「無職」は「重要である」が他の職種よりも 5 ポイント以上高くなっている。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。

■ 大変重要だと思う ■ まあ重要だと思う ■ あまり重要とは思わない ■ まったく重要とは思わない ■ 無回答



■ 大変重要だと思う
 ■ まあ重要だと思う
 ■ あまり重要とは思わない
 ■ まったく重要とは思わない
 ■ 無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	まったく重要とは思わない	あまり重要とは思わない	まあ重要だと思う	大変重要だと思う	無回答
長崎市	433 100.0	29 6.7	65 15.0	178 41.1	157 36.3	4 0.9
長与町	38 100.0	1 2.6	4 10.5	16 42.1	17 44.7	- -
時津町	30 100.0	3 10.0	5 16.7	14 46.7	8 26.7	- -
佐世保市	258 100.0	25 9.7	37 14.3	111 43.0	83 32.2	2 0.8
平戸市	28 100.0	1 3.6	6 21.4	10 35.7	9 32.1	2 7.1
松浦市	19 100.0	2 10.5	3 15.8	8 42.1	6 31.6	- -
西海市	18 100.0	1 5.6	2 11.1	6 33.3	7 38.9	2 11.1
小値賀町	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	- -
佐々町	12 100.0	1 8.3	1 8.3	8 66.7	2 16.7	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	- -	5 62.5	3 37.5	- -
川棚町	22 100.0	1 4.5	3 13.6	10 45.5	8 36.4	- -
波佐見町	12 100.0	1 8.3	- -	6 50.0	4 33.3	1 8.3
島原市	34 100.0	4 11.8	4 11.8	15 44.1	10 29.4	1 2.9
雲仙市	36 100.0	2 5.6	7 19.4	13 36.1	13 36.1	1 2.8
南島原市	66 100.0	4 6.1	6 9.1	22 33.3	34 51.5	- -
諫早市	134 100.0	8 6.0	16 11.9	66 49.3	41 30.6	3 2.2
大村市	130 100.0	6 4.6	10 7.7	50 38.5	60 46.2	4 3.1
対馬市	17 100.0	- -	1 5.9	10 58.8	5 29.4	1 5.9
壱岐市	25 100.0	1 4.0	2 8.0	13 52.0	8 32.0	1 4.0
五島市	39 100.0	5 12.8	5 12.8	11 28.2	17 43.6	1 2.6
新上五島町	24 100.0	3 12.5	1 4.2	13 54.2	7 29.2	- -
上記以外	13 100.0	- -	1 7.7	5 38.5	5 38.5	2 15.4

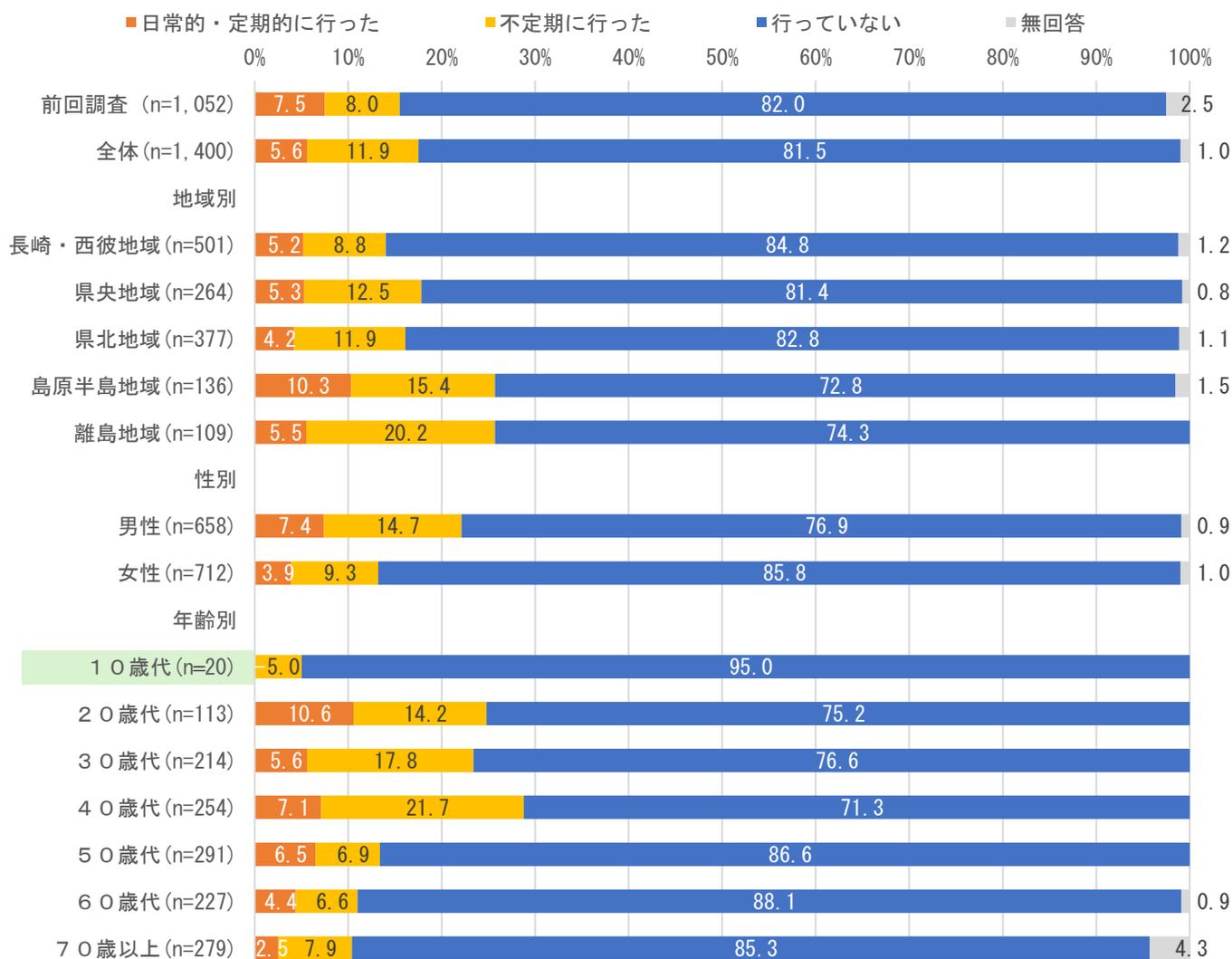
6. スポーツに関するボランティア活動について

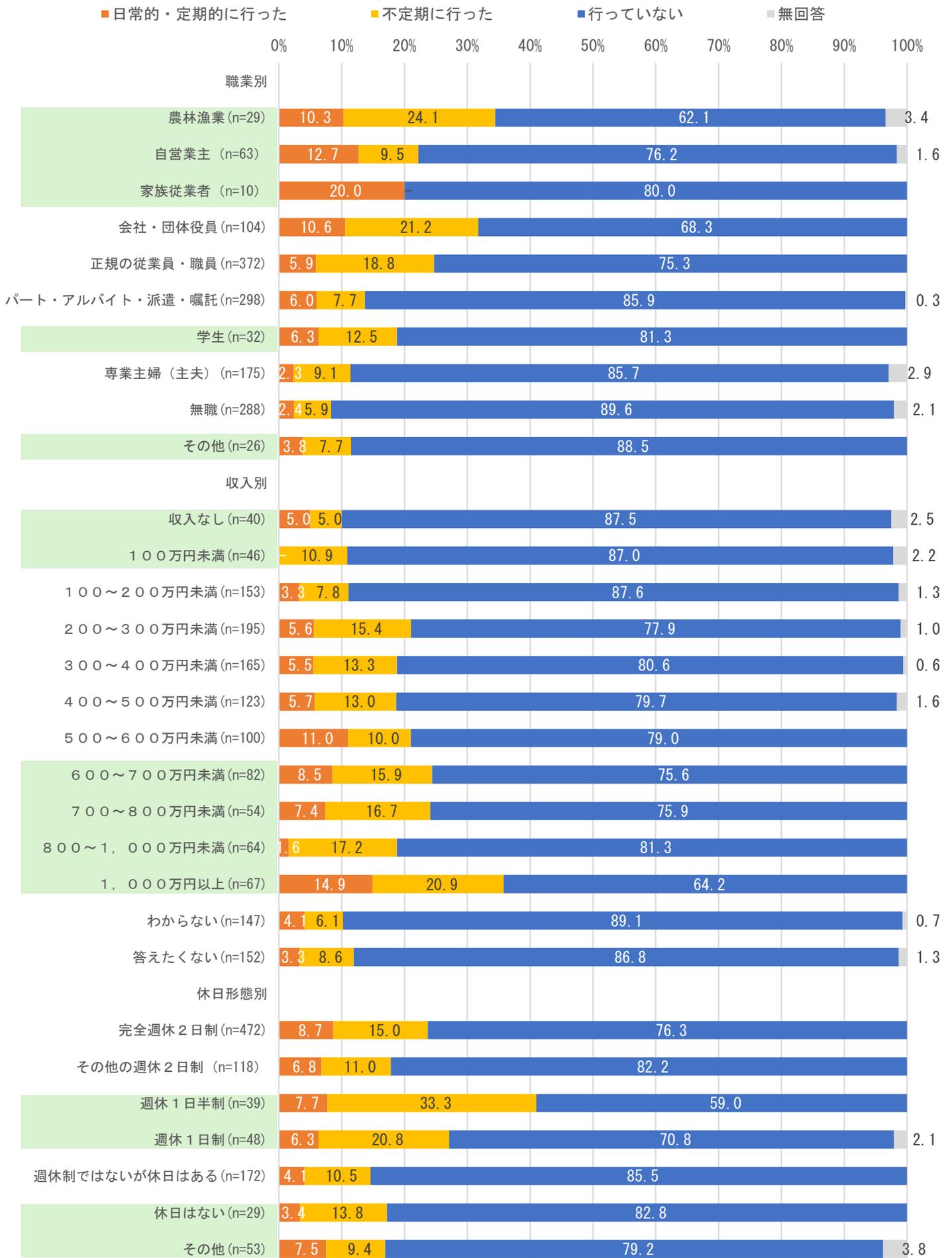
(1) この1年間に、スポーツの指導やスポーツ大会の運営、自身やお子さんが所属するスポーツクラブの手伝い（練習や大会での参加者の送迎、参加者の飲料や弁当の準備等）など運動・スポーツに関するボランティア活動を行いましたか。(SA)

ボランティア活動を「行った」は17.5%。前回調査よりも2.0ポイント増加

全体では、「行っていない」が81.5%で最も多く、次いで「不定期に行った」が11.9%、「日常的・定期的に行った」が5.6%と続いており、「行った（「日常的・定期的に行った」+「不定期に行った」）」は17.5%となっており、前回調査の15.5%より2.0ポイント増加している。

地域別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、地域差が出ており、「離島地域」「島原半島地域」が高く「長崎・西彼地域」「県央地域」「県北地域」がやや低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが「行っている」は「男性」が「女性」よりも8.9ポイント高くなっている。
年齢別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、年代による差が出ており、「行っている」は「20歳代」、「30歳代」、「40歳代」よりも「50歳代」、「60歳代」、「70歳以上」は10ポイント以上低くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、職業による差が出ており、「行っている」は「会社・団体役員」、「正規の従業員・職員」よりも「パート・アルバイト・派遣・嘱託」、「専業主婦（主夫）」、「無職」は10ポイント以上低くなっている。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられず、「100～200万円未満」は他の収入層よりも「行っている」が7ポイント以上低くなっている。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが「完全週休2日制」は他の休日形態よりも「行っている」が5ポイント以上高くなっている。





※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	日常的・定期的に行った	不定期に行った	行っていない	無回答
長崎市	433 100.0	24 5.5	39 9.0	364 84.1	6 1.4
長与町	38 100.0	1 2.6	1 2.6	36 94.7	- -
時津町	30 100.0	1 3.3	4 13.3	25 83.3	- -
佐世保市	258 100.0	16 6.2	29 11.2	210 81.4	3 1.2
平戸市	28 100.0	- -	6 21.4	22 78.6	- -
松浦市	19 100.0	- -	2 10.5	17 89.5	- -
西海市	18 100.0	- -	2 11.1	16 88.9	- -
小値賀町	4 100.0	1 25.0	- -	3 75.0	- -
佐々町	12 100.0	- -	1 8.3	11 91.7	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	2 25.0	6 75.0	- -
川棚町	22 100.0	- -	3 13.6	19 86.4	- -
波佐見町	12 100.0	- -	- -	11 91.7	1 8.3
島原市	34 100.0	- -	7 20.6	27 79.4	- -
雲仙市	36 100.0	6 16.7	3 8.3	25 69.4	2 5.6
南島原市	66 100.0	8 12.1	11 16.7	47 71.2	- -
諫早市	134 100.0	6 4.5	18 13.4	109 81.3	1 0.7
大村市	130 100.0	8 6.2	15 11.5	106 81.5	1 0.8
対馬市	17 100.0	1 5.9	3 17.6	13 76.5	- -
壱岐市	25 100.0	- -	10 40.0	15 60.0	- -
五島市	39 100.0	3 7.7	6 15.4	30 76.9	- -
新上五島町	24 100.0	1 4.2	3 12.5	20 83.3	- -
上記以外	13 100.0	2 15.4	2 15.4	9 69.2	- -

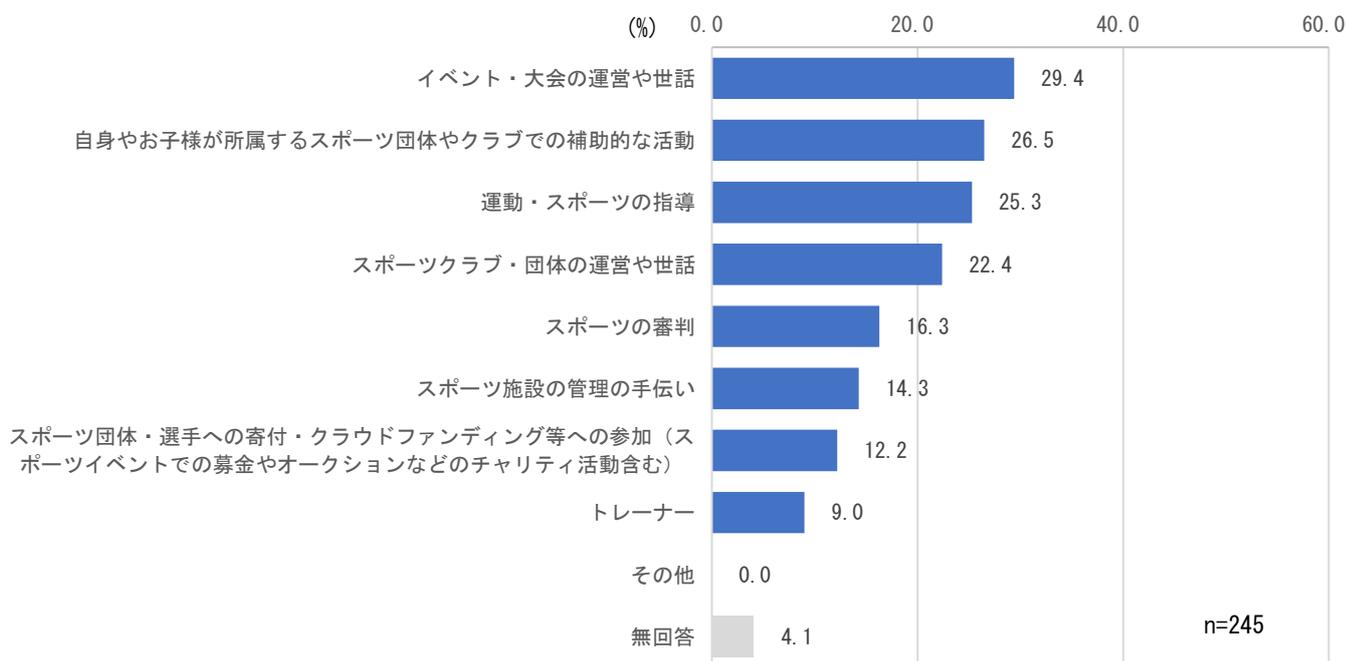
(2) そのボランティア活動は具体的にどのような内容ですか。主なものを3つまで選んでください。(MA)

**「イベント・大会の運営や世話」が29.4%でトップ。
前回トップの「自身やお子様ที่所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動」は半減**

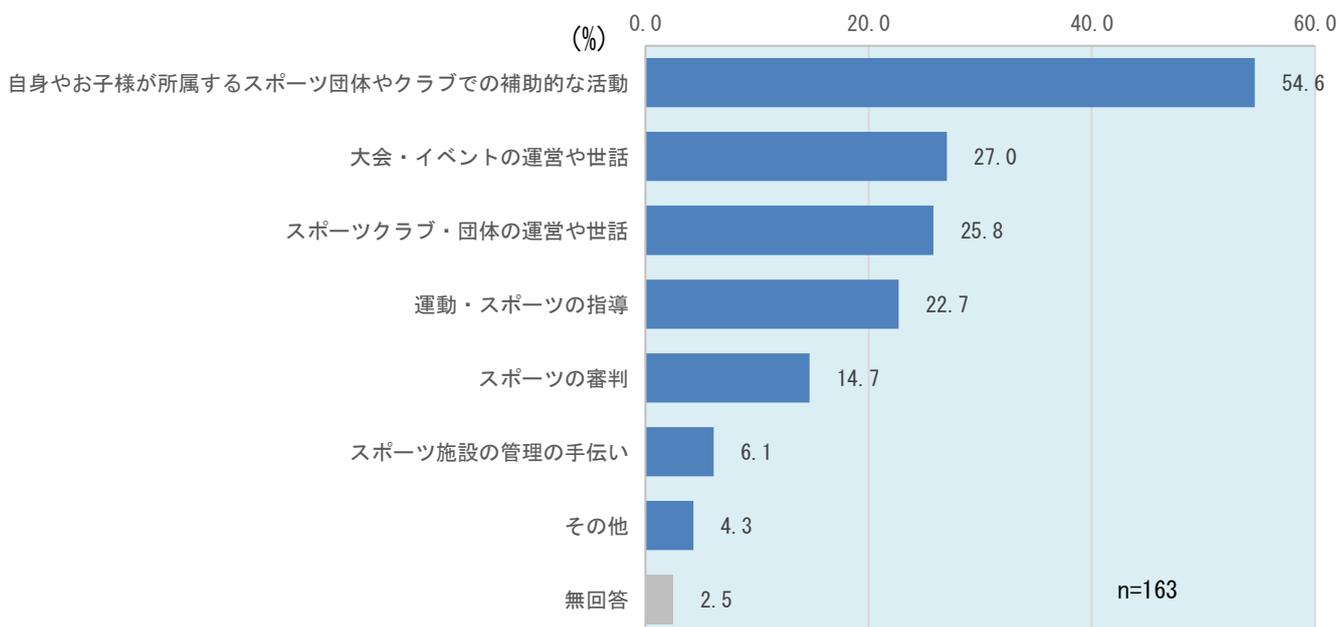
全体では、「イベント・大会の運営や世話」が29.4%で最も多く、次いで「自身やお子様ที่所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動（練習や大会での参加者の送迎、参加者の飲料や弁当の準備、活動場所や施設の予約・手配、指導や審判の補助、役員や会計係等、ウェブサイトやチラシの作成等）」が26.5%、「運動・スポーツの指導」が25.3%と続いている。

前回調査のトップである「自身やお子様ที่所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動」は25.2ポイント減少している。

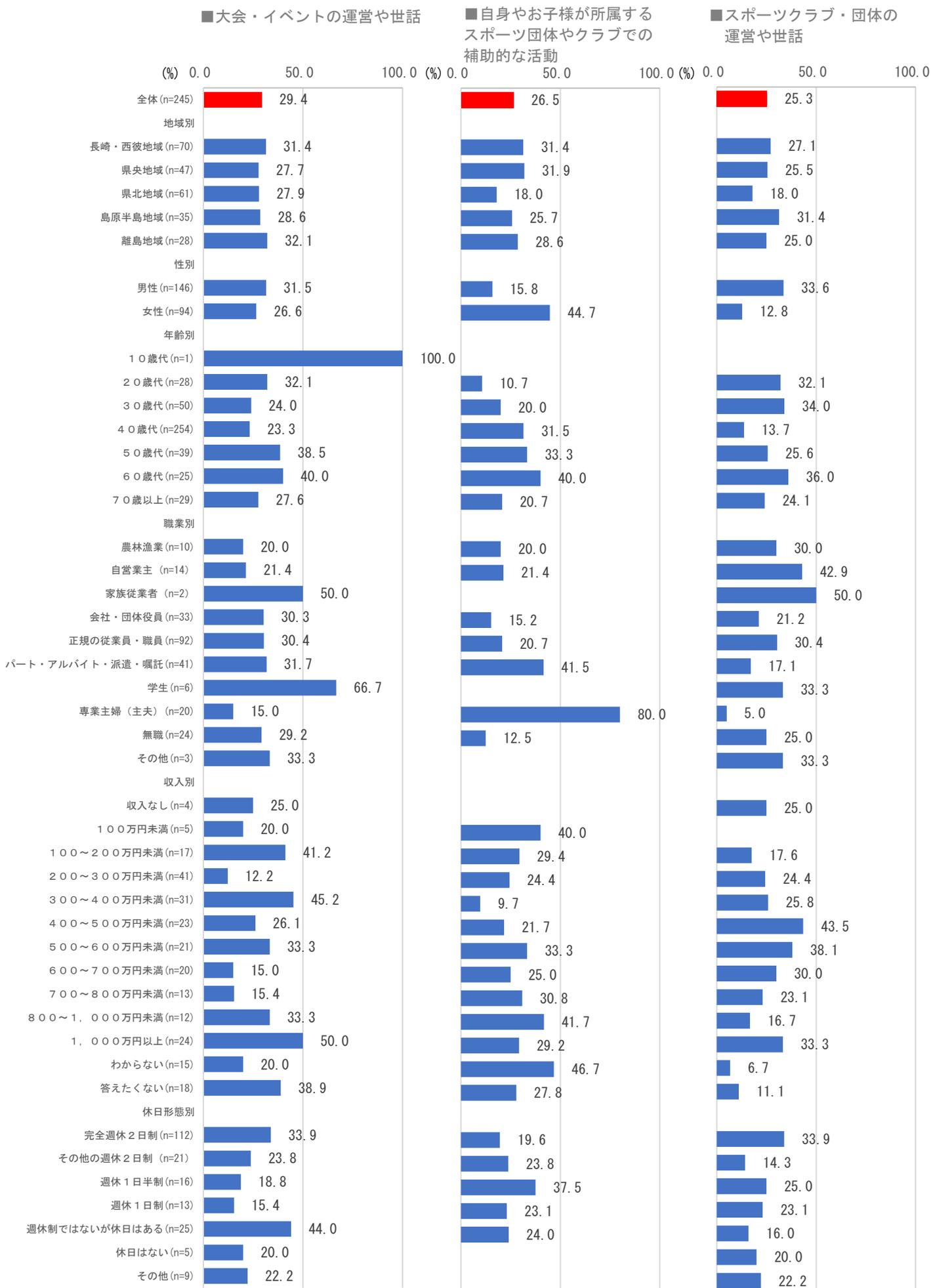
※他区分は母数にバラツキがあり、著しく少ないものが多いため個別の分析は行っていない。



【参考：前回調査（令和2年度）】



参考：上位3項目の属性別集計

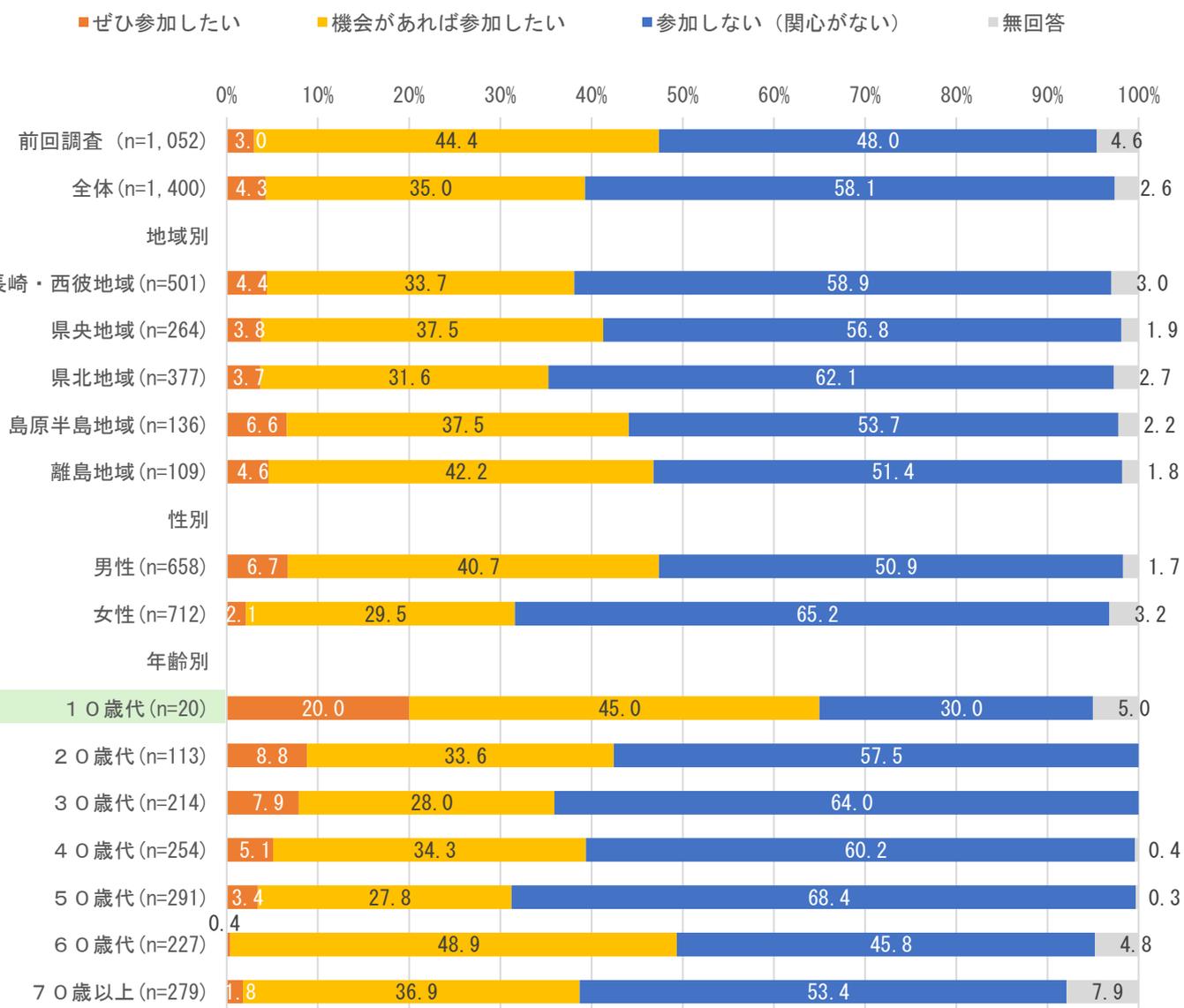


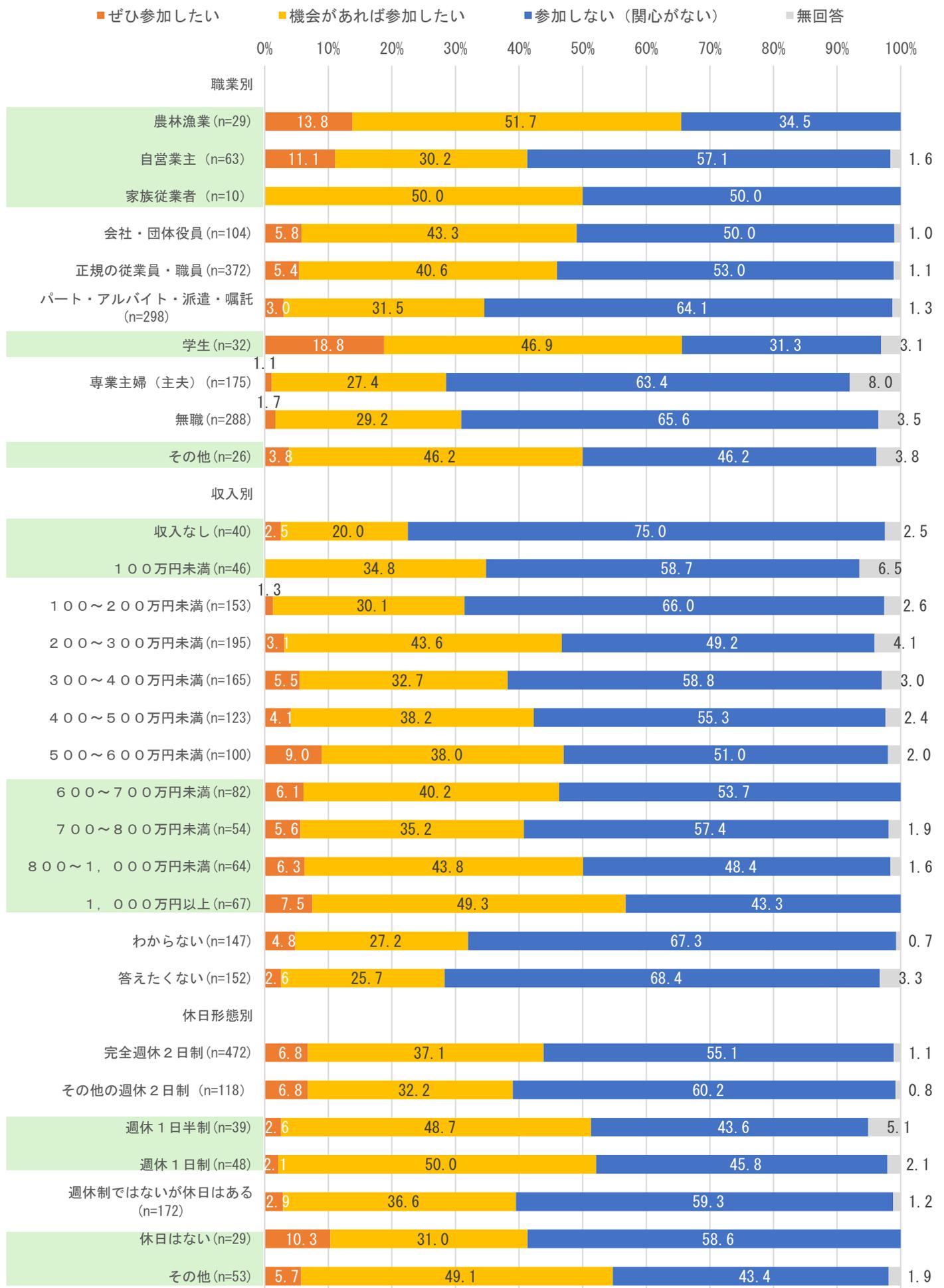
(3) あなたは今後、スポーツに関するボランティア活動に参加してみたいですか。(SA)

ボランティア活動に「参加したい」は 39.3%、前回調査より 8.1 ポイント減少

全体では、「参加しない（関心がない）」が 58.1%で最も多く、次いで「機会があれば参加したい」が 35.0%、「ぜひ参加したい」が 4.3%と続いており、「参加したい（「ぜひ参加したい」+「機会があれば参加したい）」は 39.3%となっており、前回調査の 47.4%より 8.1 ポイント減少している。

地域別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。「参加したい」は「離島地域」が最も高く、「県北地域」が最も低く「参加したくない」が6割以上となっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが「参加したい」は「男性」が「女性」よりも 15.8 ポイント高く、「女性」は「参加したくない」が6割を超えている。
年齢別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。「参加したい」は「60歳代」が最も高く、「50歳代」が最も低くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、職業による差が出ており、「参加したくない」は「パート・アルバイト・派遣・嘱託」、「専業主婦（主夫）」、「無職」で6割以上となっている。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられず、「100～200万円未満」は「参加したくない」が6割以上となっている。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが「その他の週休2日制」は「参加したくない」が6割以上となっている。





※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	ぜひ参加したい	機会があれば 参加したい	参加しない (関心がな い)	無回答
長崎市	433 100.0	18 4.2	153 35.3	249 57.5	13 3.0
長与町	38 100.0	2 5.3	11 28.9	25 65.8	- -
時津町	30 100.0	2 6.7	5 16.7	21 70.0	2 6.7
佐世保市	258 100.0	12 4.7	75 29.1	164 63.6	7 2.7
平戸市	28 100.0	1 3.6	7 25.0	19 67.9	1 3.6
松浦市	19 100.0	- -	7 36.8	12 63.2	- -
西海市	18 100.0	- -	6 33.3	12 66.7	- -
小値賀町	4 100.0	- -	- -	4 100.0	- -
佐々町	12 100.0	- -	6 50.0	6 50.0	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	3 37.5	5 62.5	- -
川棚町	22 100.0	1 4.5	10 45.5	11 50.0	- -
波佐見町	12 100.0	- -	5 41.7	5 41.7	2 16.7
島原市	34 100.0	4 11.8	7 20.6	23 67.6	- -
雲仙市	36 100.0	- -	15 41.7	20 55.6	1 2.8
南島原市	66 100.0	5 7.6	29 43.9	30 45.5	2 3.0
諫早市	134 100.0	5 3.7	50 37.3	78 58.2	1 0.7
大村市	130 100.0	5 3.8	49 37.7	72 55.4	4 3.1
対馬市	17 100.0	1 5.9	5 29.4	11 64.7	- -
壱岐市	25 100.0	1 4.0	16 64.0	7 28.0	1 4.0
五島市	39 100.0	3 7.7	14 35.9	22 56.4	- -
新上五島町	24 100.0	- -	11 45.8	12 50.0	1 4.2
上記以外	13 100.0	- -	6 46.2	6 46.2	1 7.7

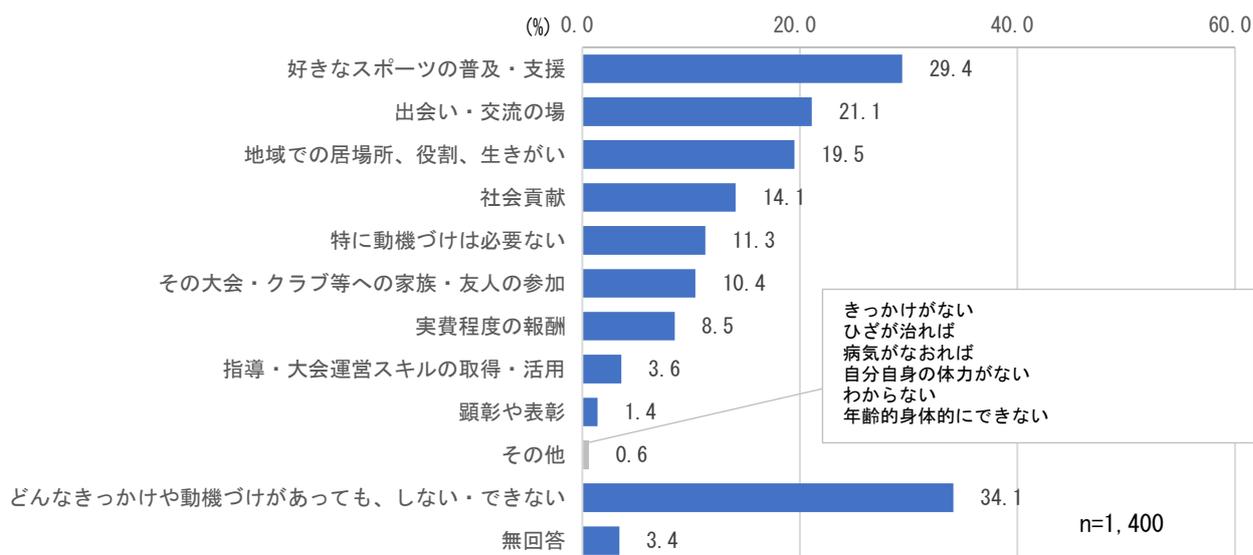
(4) どんなきっかけや動機づけ（モチベーション）があれば、スポーツに関するボランティア活動を行ったり続けたりすると思いますか。主なものを3つまで選んでください。（MA）

**「どんなきっかけや動機づけがあっても、しない・できない」が34.1%。
前回調査より16.4ポイント増加（倍増）**

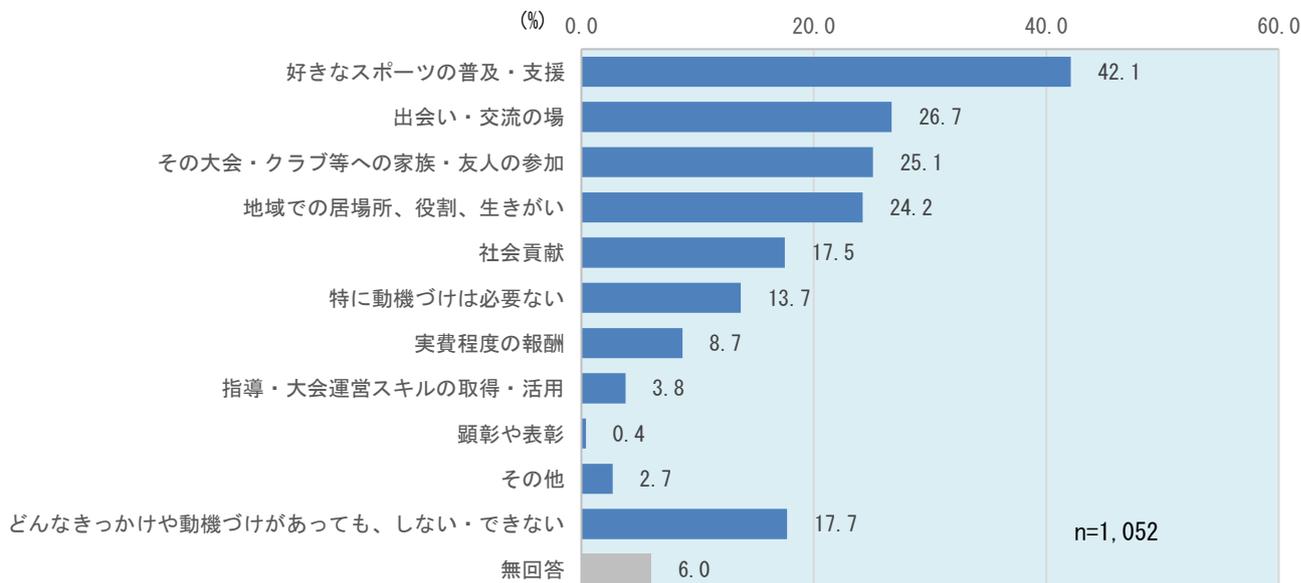
全体では、「どんなきっかけや動機づけがあっても、しない・できない」が34.1%で最も多く、次いで「好きなスポーツの普及・支援」が29.4%、「出会い・交流の場」が21.1%と続いている。

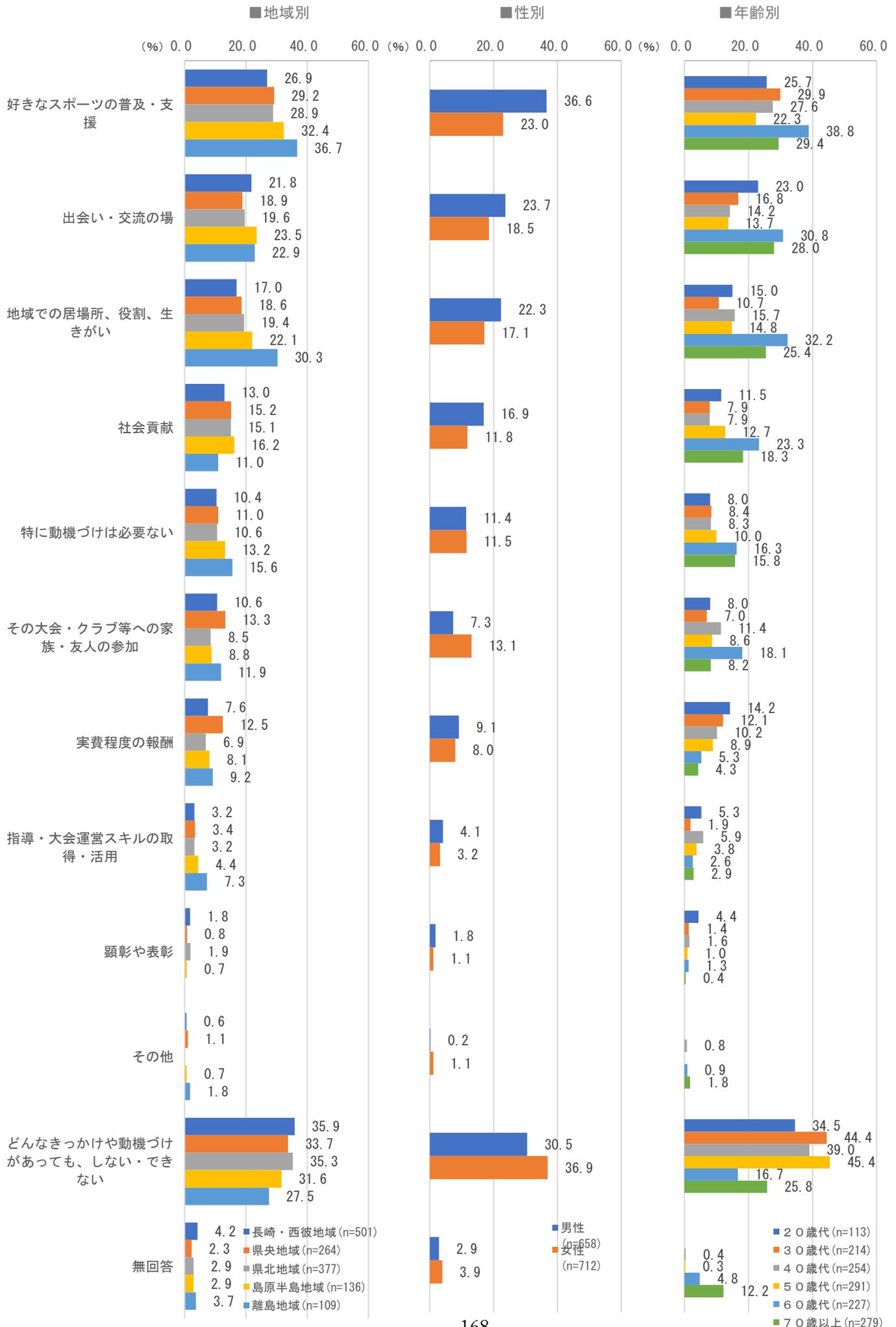
前回調査と比べ「どんなきっかけや動機づけがあっても、しない・できない」は17.7%より16.4ポイント増加となり倍増している。

地域別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。「どんなきっかけや動機づけがあっても、しない・できない」は「長崎・西彼地域」が最も高く、「離島地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが「どんなきっかけや動機づけがあっても、しない・できない」は「男性」が「女性」よりも6.4ポイント高くなっている。
年齢別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。「どんなきっかけや動機づけがあっても、しない・できない」は「20歳代」「30歳代」「40歳代」「50歳代」が高く、「60歳代」「70歳以上」が低くなっている。
職業別 収入別 休日形態別	数にバラツキがあり、著しく少ないものが多いため個別の分析は行っていない。



【参考：前回調査（令和2年度）】





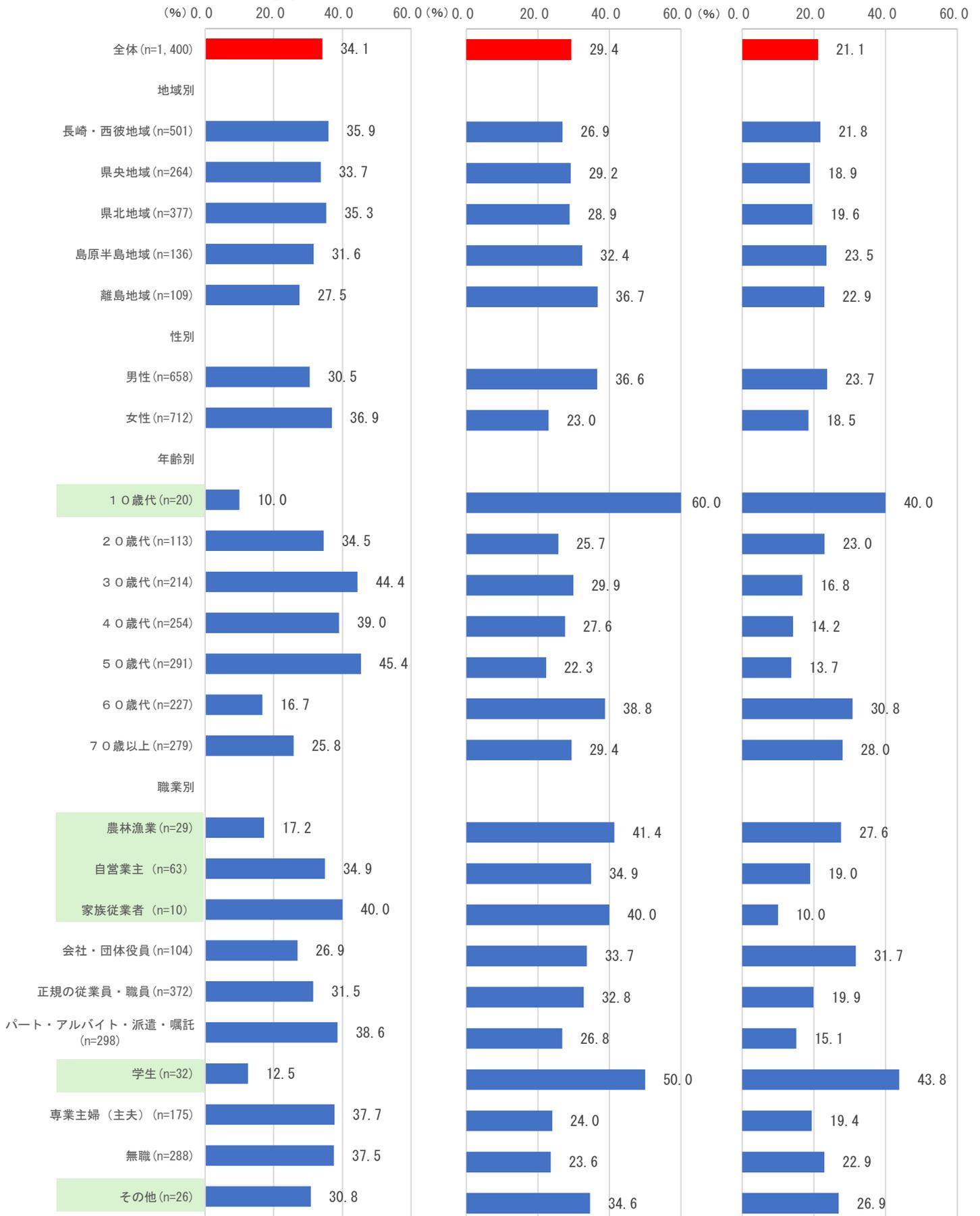
参考：上位3項目の属性別集計

※「市町別」、「収入別」、「休日形態別」は母数が小さなものが多いため表示していない。

■ どんなきっかけや動機
づけがあっても、しな
い・できない

■ 好きなスポーツの普及・支援

■ 出会い・交流の場



7. 運動・スポーツに関する情報について

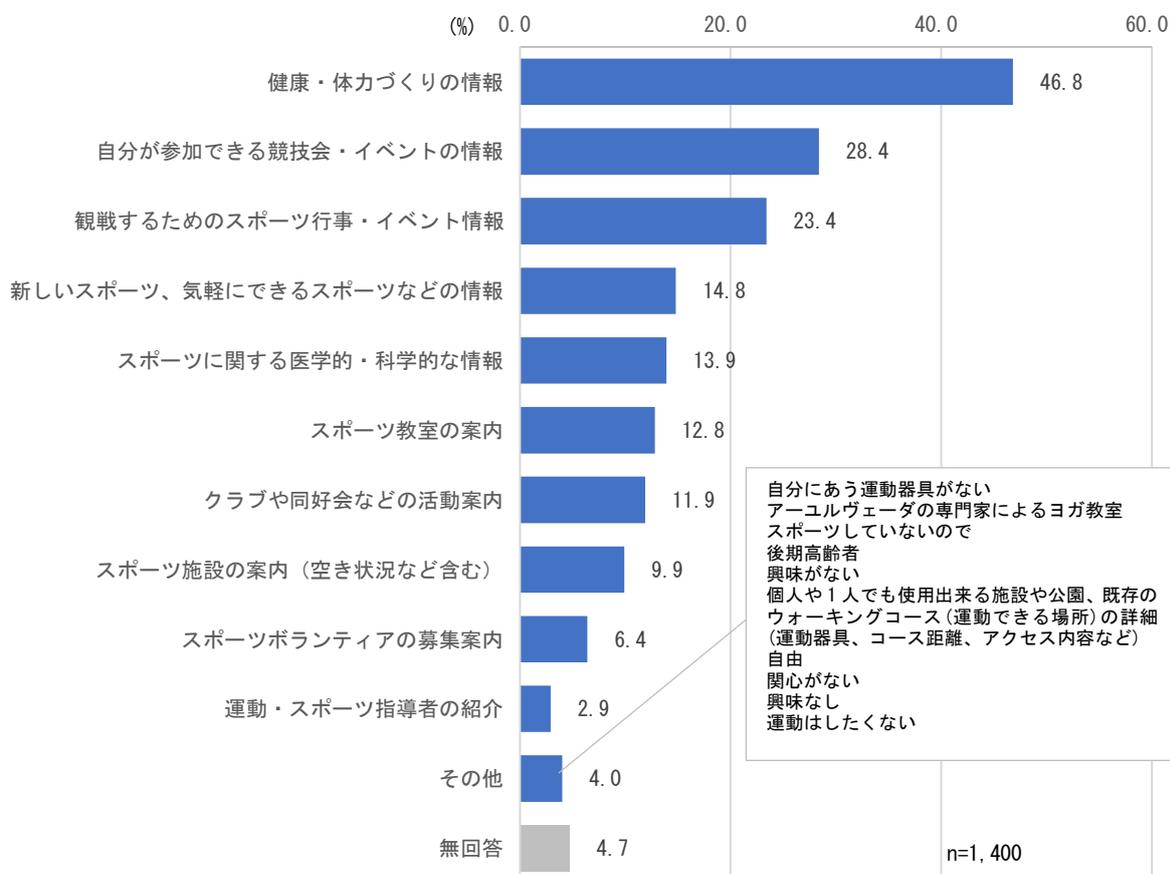
(1) あなたは運動やスポーツに関するどのような情報が欲しいと思っていますか。主なものを3つまで選んでください。(MA)

**「健康・体力づくりの情報」が46.8%でトップ、
上位4項目は前回と変わらず。**

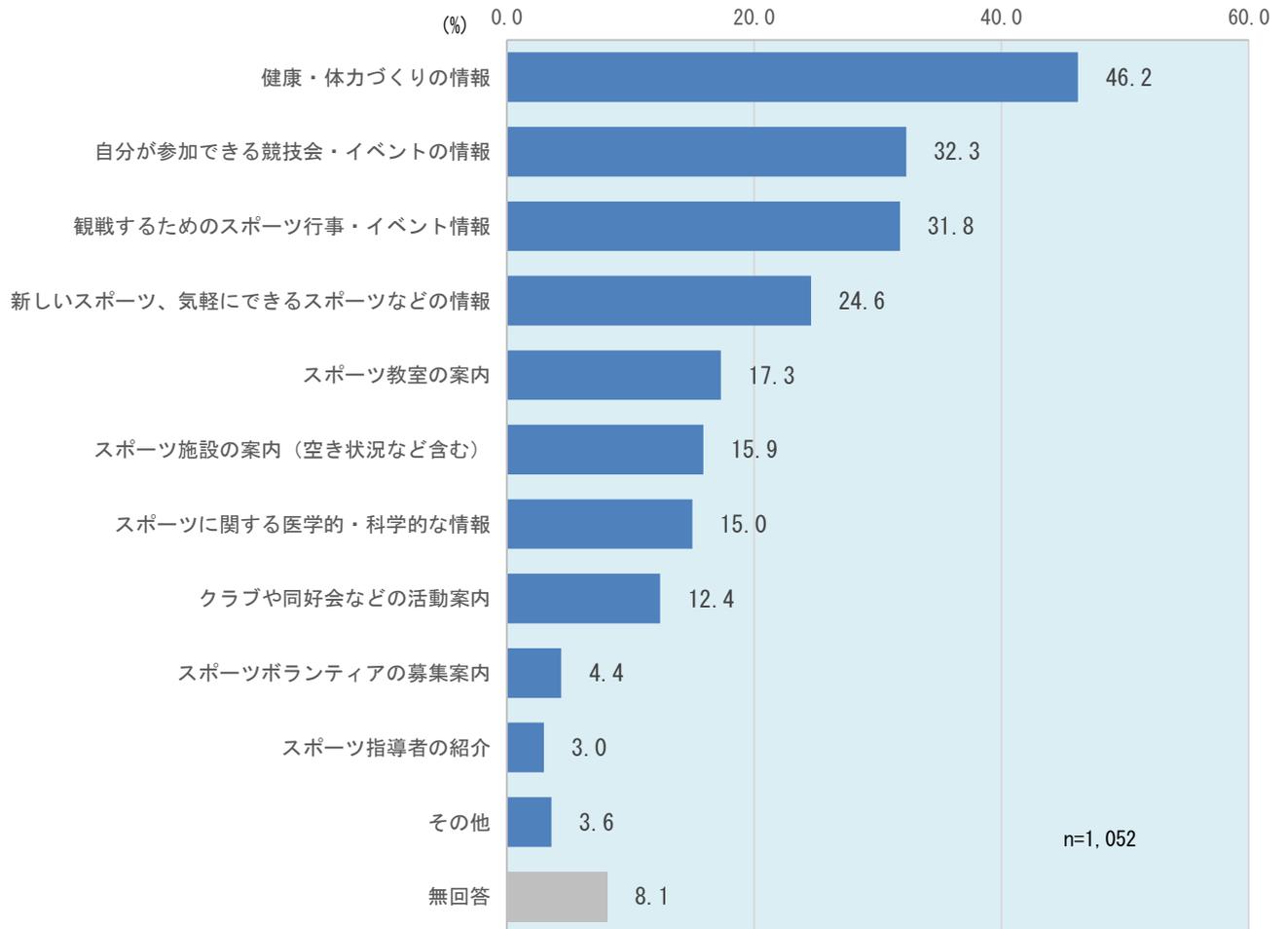
全体では、「健康・体力づくりの情報」が46.8%で最も多く、次いで「自分が参加できる競技会・イベントの情報」が28.4%、「観戦するためのスポーツ行事・イベント情報」が23.4%の順で続いている。

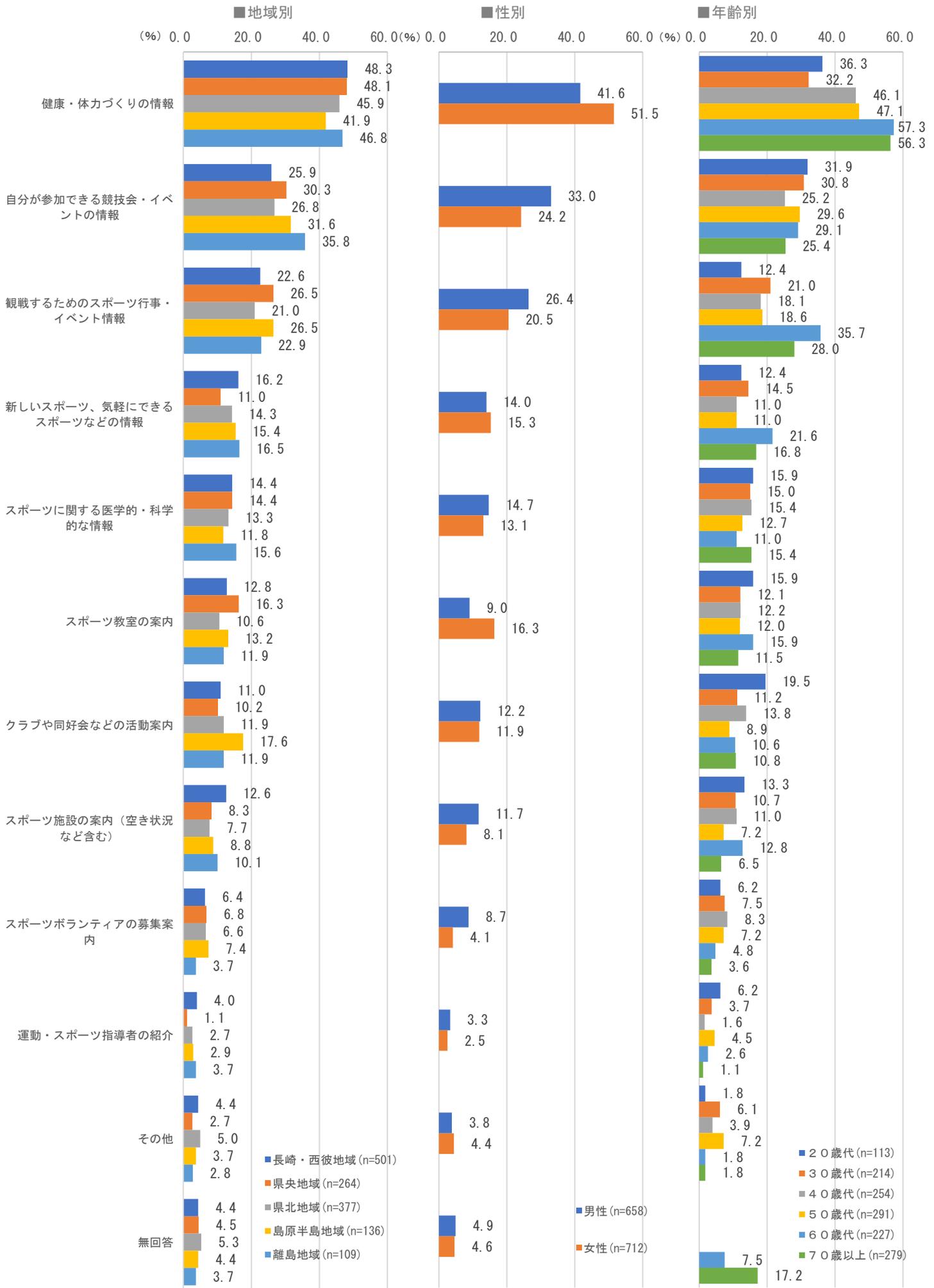
前回調査と上位4項目の順位の変化はない。最も変化量が大きいのは「新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報」の9.8ポイントの減少であった。

地域別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。「健康・体力づくりの情報」は「長崎・西彼地域」が最も高く、「島原半島地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが「健康・体力づくりの情報」は「女性」が「男性」よりも9.9ポイント高くなっている。
年齢別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。「健康・体力づくりの情報」は年代の上昇に伴い高くなる傾向にあり、「自分が参加できる競技会・イベントの情報」は年代が高くなると低くなる傾向がみられる。
職業別 収入別 休日形態別	数にバラツキがあり、著しく少ないものが多いため個別の分析は行っていない。



【参考：前回調査（令和2年度）】





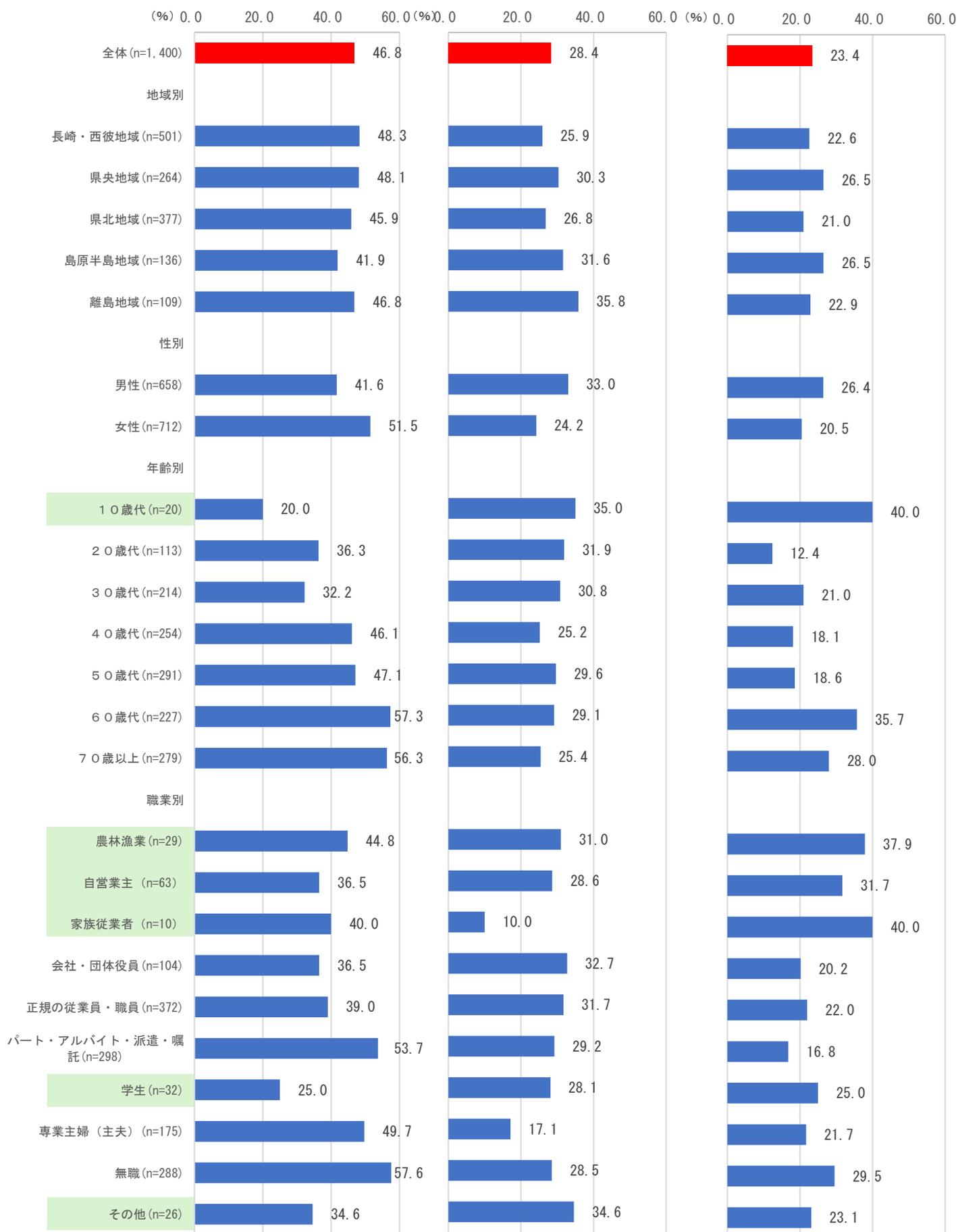
参考：上位3項目の属性別集計

※「市町別」、「収入別」、「休日形態別」は母数が小さなものが多いため表示していない。

■健康・体力づくりの情報

■自分が参加できる競技会・イベントの情報

■観戦するためのスポーツ行事・イベント情報



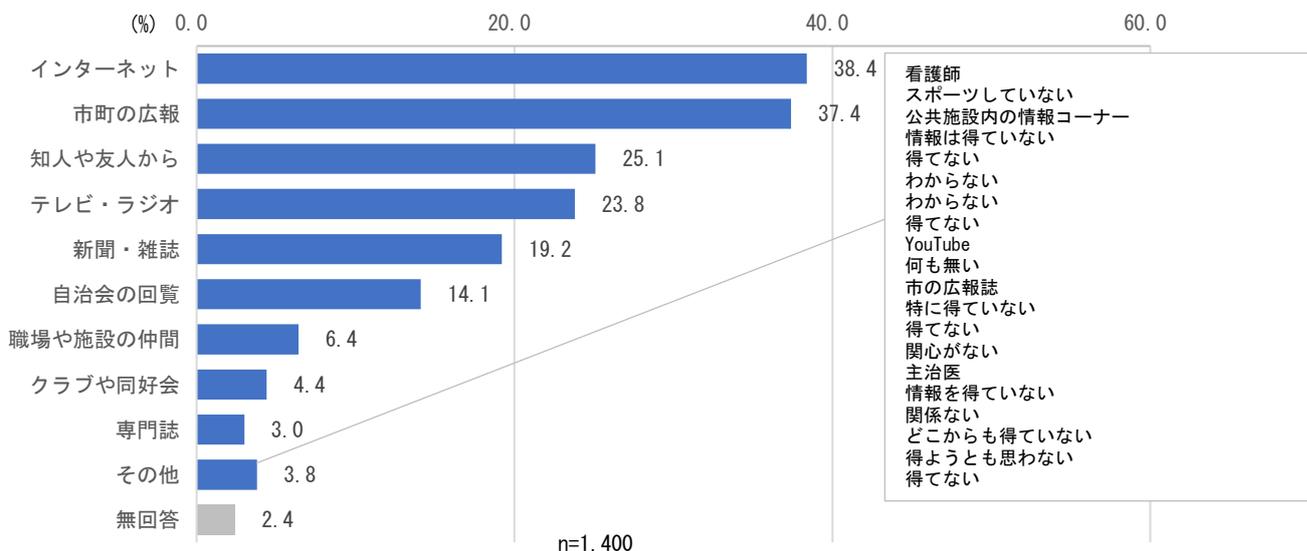
(2) あなたは運動やスポーツに関する情報をどこから得ていますか。主なものを3つまで選んでください。(MA)

**「インターネット」が38.4%でトップ、
「テレビ・ラジオ」、「新聞・雑誌」は前回調査より15ポイント以上減少。**

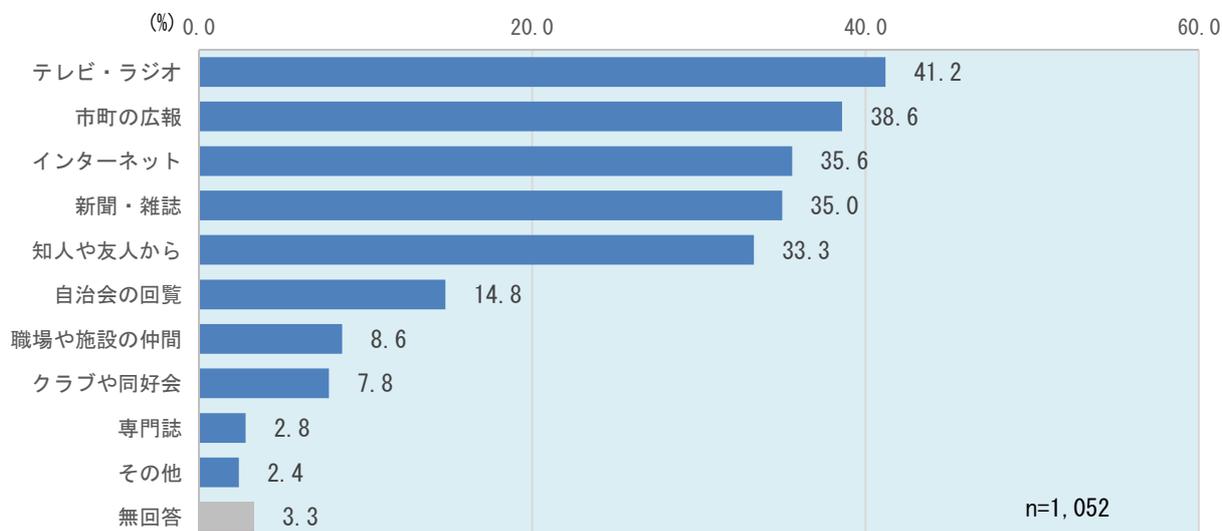
全体では、「インターネット」が38.4%で最も多く、次いで「市町の広報」が37.4%、「知人や友人から」が25.1%の順で続いている。

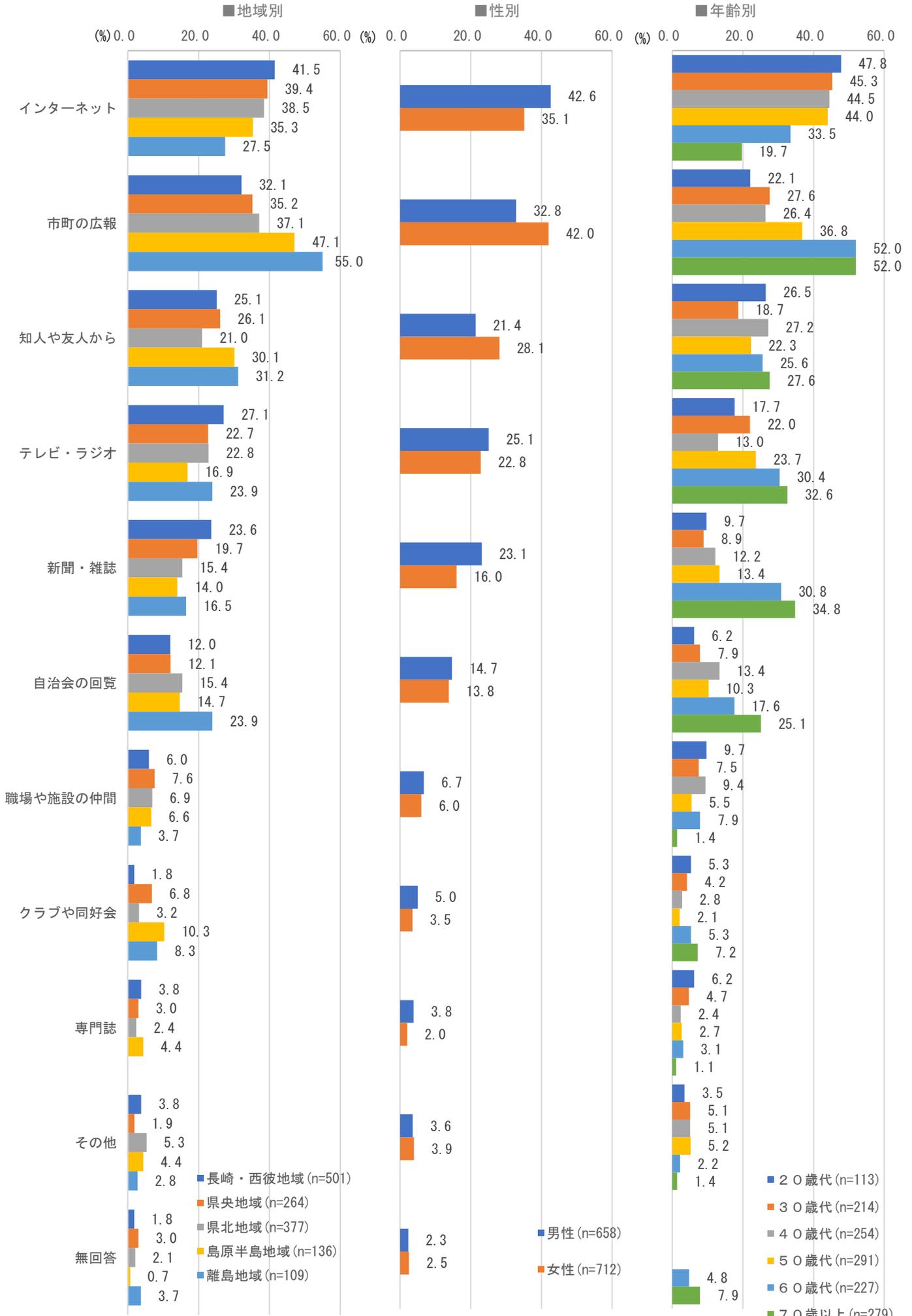
前回調査と比べ変化量大きいのは「テレビ・ラジオ」の17.4ポイント、「新聞・雑誌」が15.8ポイントの減少となっている。

地域別	全体の傾向との相違は、「市町の広報」が「島原半島地域」「離島地域」で最も多くなっており、「島原半島地域」では50.0%を超えている。
性別	全体の傾向との相違は、「女性」は「市町の広報」が1位項目となっている。
年齢別	全体の傾向との大きな相違は、「60歳代」「70歳以上」は「市町の広報」が1位項目で50%を超えており、「インターネット」は年台の上昇とともに減少している。
職業別 収入別 休日形態別	母数にバラツキがあり、著しく少ないものが多いため個別の分析は行っていない。



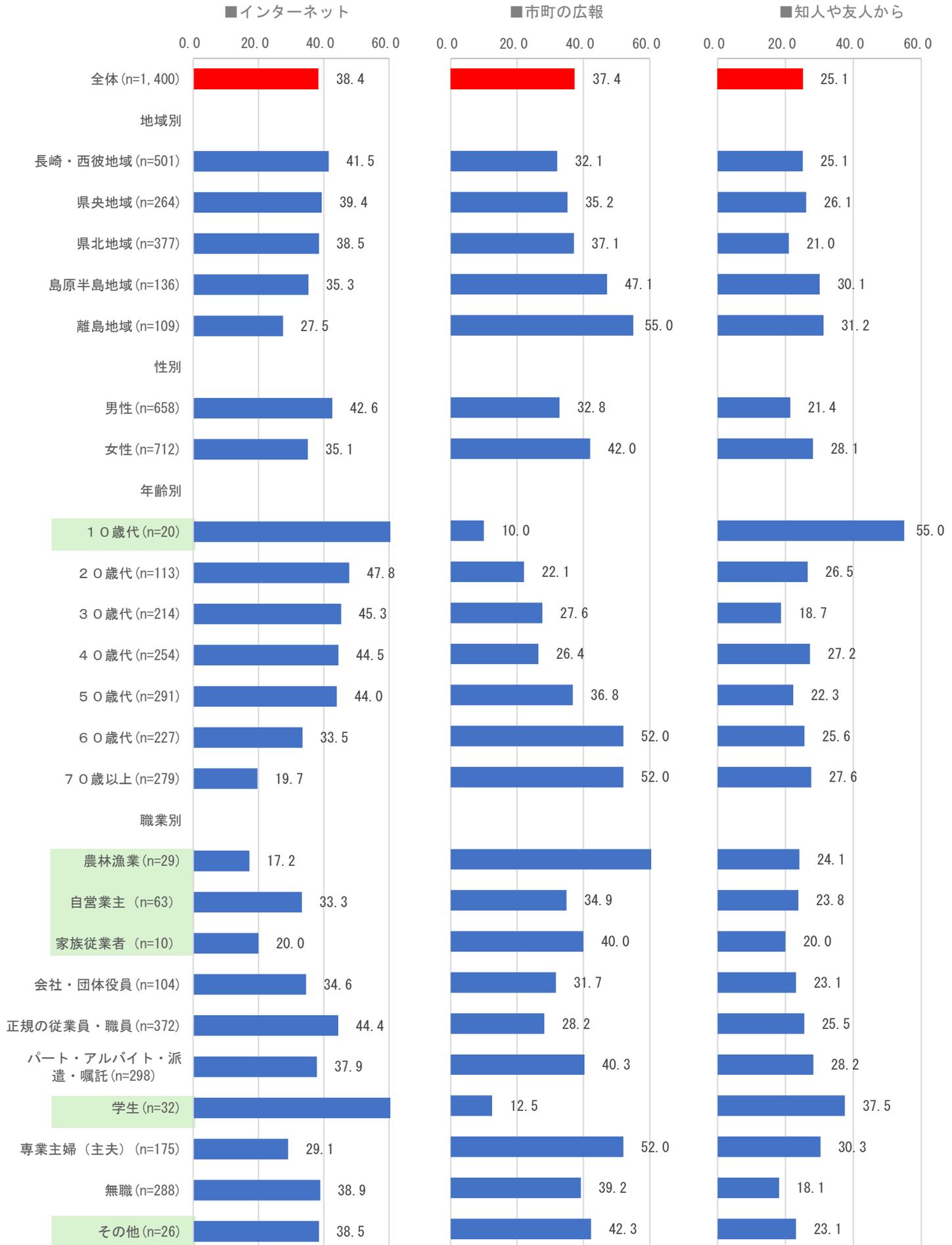
【参考：前回調査（令和2年度）】





参考：上位3項目の属性別集計

※「市町別」、「収入別」、「休日形態別」は母数が小さなものが多いため表示していない。



8. 用語の認知度について

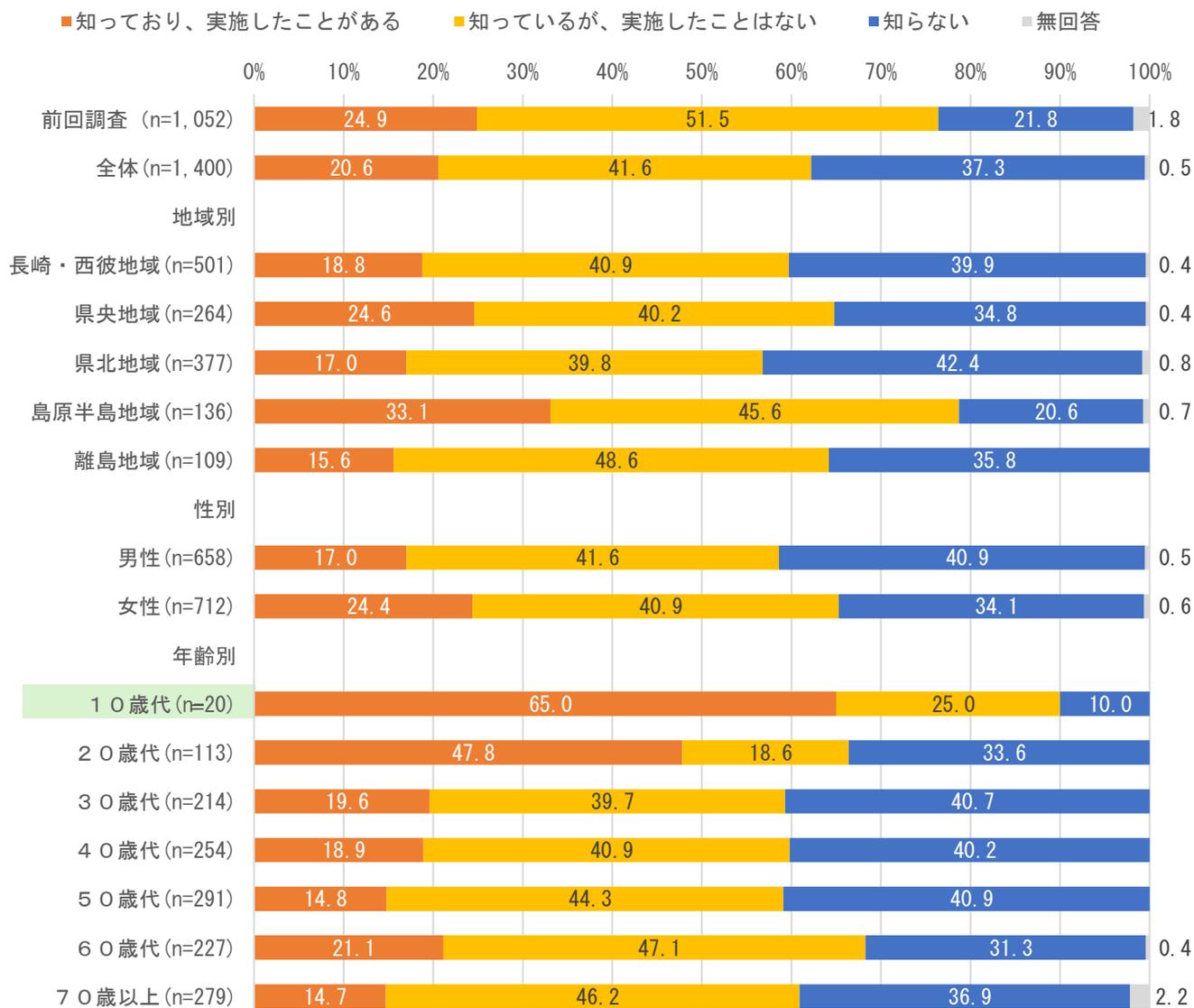
(1) あなたは、「がんばらんば体操」をご存知ですか。(SA)

「がんばらんば体操」の認知度は 62.2%、前回調査より 14.2 ポイント減少。

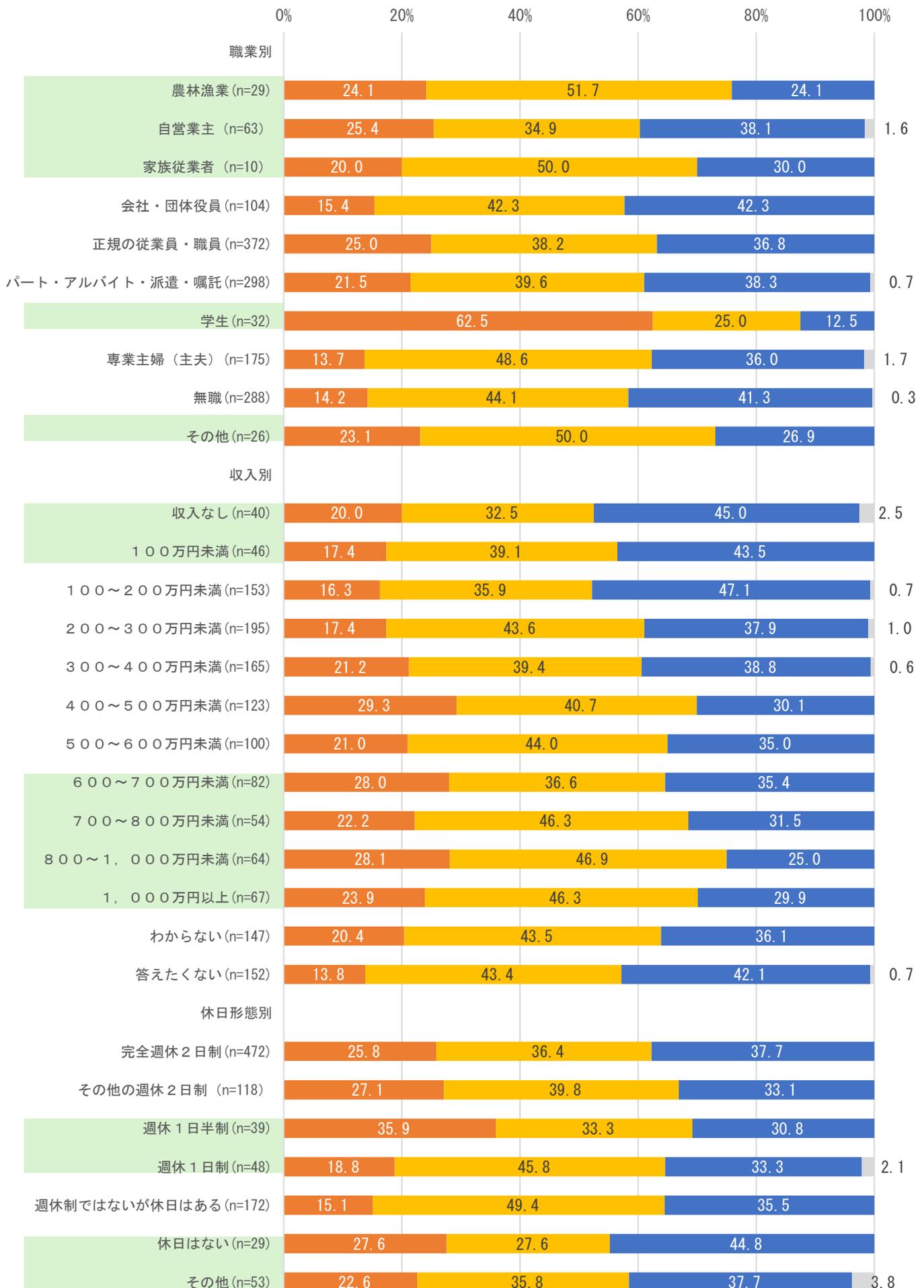
全体では、「知っているが、実施したことはない」が 41.6%で最も多く、次いで「知らない」が 37.3%、「知っており、実施したことがある」が 20.6%の順で続いており、「認知度」62.2%となっている。

前回調査と比べ認知度は 14.2 ポイント減少している。

地域別	全体の傾向との相違は「県北地域」は「知らない」が最も多くなっており、認知度も「県北地域」56.8%で最も低く、認知度の最も高い「島原半島地域」の 78.7%と比べ 21.9 ポイントの乖離がある。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが認知度は「女性」が「男性」よりも 6.7 ポイント高くなっている。
年齢別	全体の傾向との相違は「20 歳代」は「知っており、実施したことがある」が 1 位項目となり、「30 歳代」は「知らない」が最も多くなっている。認知度も「30 歳代」56.8%で最も低く、認知度の最も高い「60 歳代」の 68.2%と比べ 8.9 ポイントの差がある。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。



■ 知っており、実施したことがある
 ■ 知っているが、実施したことはない
 ■ 知らない
 ■ 無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	知っており、 実施したことが ある	知っている が、実施した ことはない	知らない	無回答
長崎市	433 100.0	85 19.6	176 40.6	170 39.3	2 0.5
長与町	38 100.0	6 15.8	16 42.1	16 42.1	- -
時津町	30 100.0	3 10.0	13 43.3	14 46.7	- -
佐世保市	258 100.0	40 15.5	108 41.9	109 42.2	1 0.4
平戸市	28 100.0	5 17.9	14 50.0	9 32.1	- -
松浦市	19 100.0	2 10.5	8 42.1	9 47.4	- -
西海市	18 100.0	3 16.7	3 16.7	11 61.1	1 5.6
小値賀町	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	- -
佐々町	12 100.0	2 16.7	4 33.3	6 50.0	- -
東彼杵町	8 100.0	1 12.5	1 12.5	6 75.0	- -
川棚町	22 100.0	5 22.7	9 40.9	8 36.4	- -
波佐見町	12 100.0	6 50.0	3 25.0	2 16.7	1 8.3
島原市	34 100.0	10 29.4	15 44.1	9 26.5	- -
雲仙市	36 100.0	10 27.8	19 52.8	6 16.7	1 2.8
南島原市	66 100.0	25 37.9	28 42.4	13 19.7	- -
諫早市	134 100.0	28 20.9	63 47.0	42 31.3	1 0.7
大村市	130 100.0	37 28.5	43 33.1	50 38.5	- -
対馬市	17 100.0	2 11.8	4 23.5	11 64.7	- -
壱岐市	25 100.0	5 20.0	13 52.0	7 28.0	- -
五島市	39 100.0	4 10.3	25 64.1	10 25.6	- -
新上五島町	24 100.0	5 20.8	9 37.5	10 41.7	- -
上記以外	13 100.0	4 30.8	6 46.2	3 23.1	- -

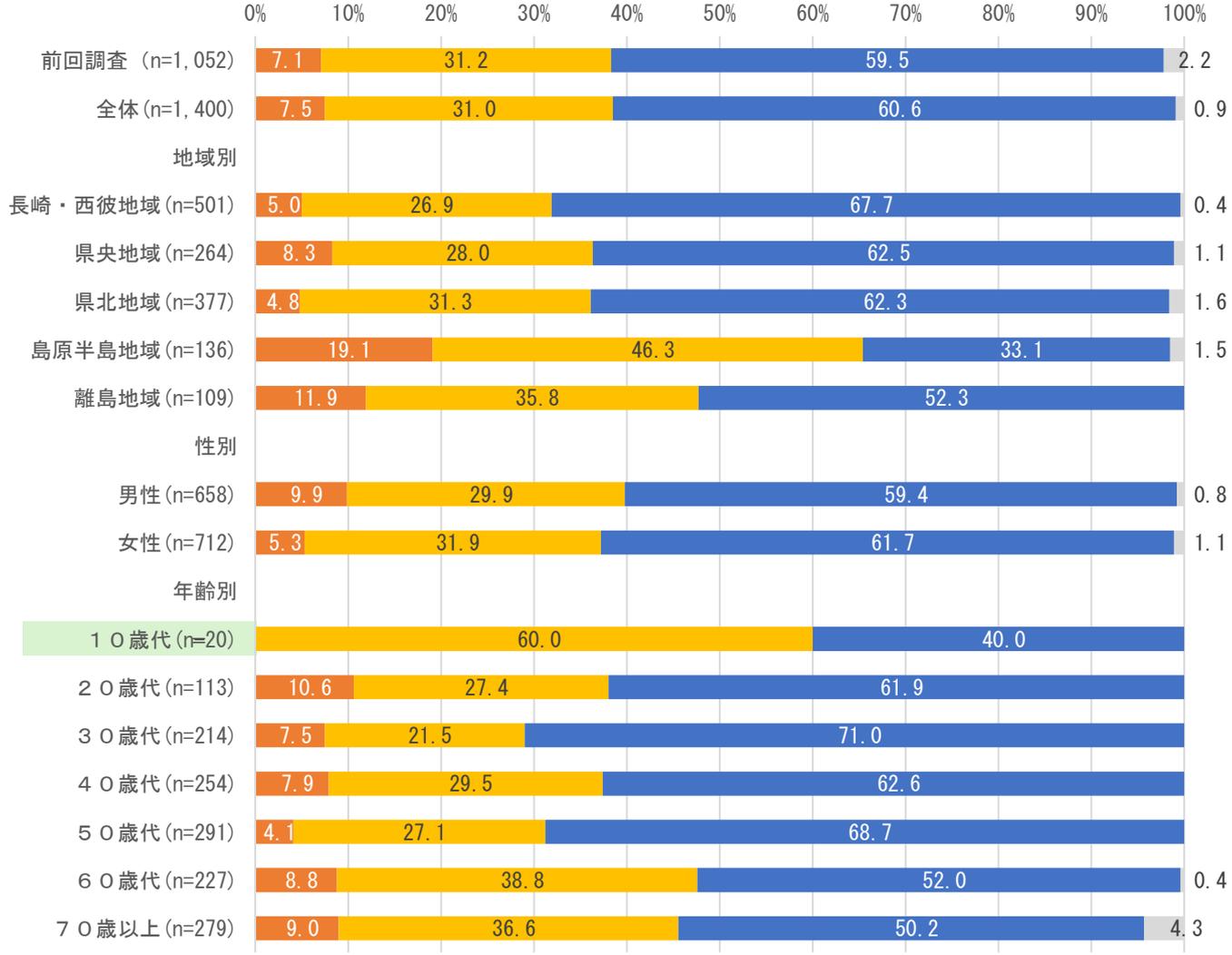
(2) あなたは、各市町の教育委員会等から委嘱されているスポーツ推進委員の存在を知っていますか。(SA)

「スポーツ推進委員」の認知度は38.5%、前回調査より0.3ポイント増加。

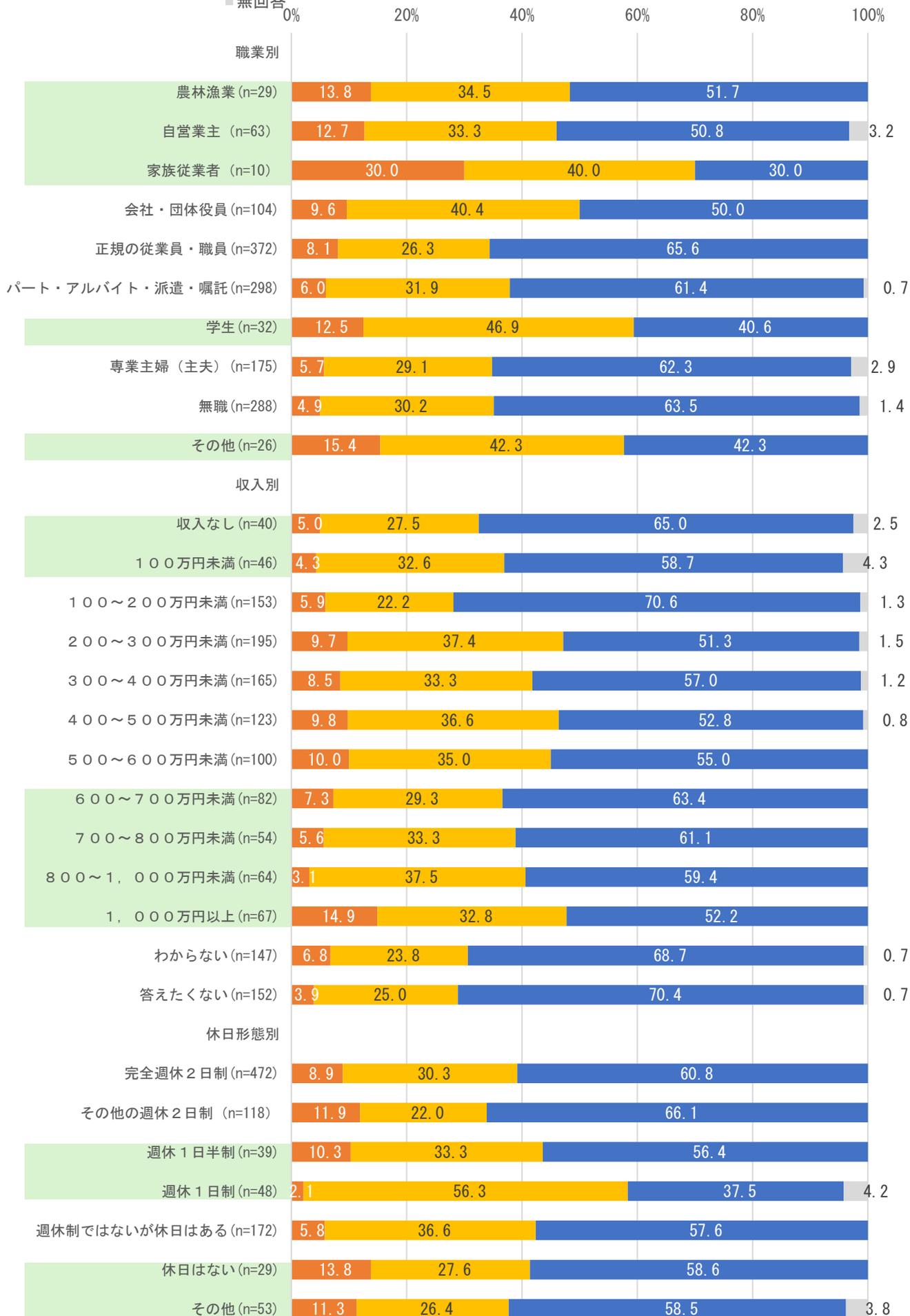
全体では、「スポーツ推進委員の存在を知らない」が60.6%で最も多く、次いで「スポーツ推進委員の存在は知っているが、活動内容はあまり知らない」が31.0%、「スポーツ推進委員の存在を知っており、活動内容もある程度知っている」が7.5%の順で続いており、「認知度」38.5%となっている。
 前回調査と比べ認知度は0.2ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との相違は「島原半島地域」は「スポーツ推進委員の存在は知っているが、活動内容はあまり知らない」が最も多くなっており、認知度も65.4%で最も低く、認知度の最も低い「長崎・西彼地域」の31.9%と比べ33.5ポイントの乖離がある。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女別での差はみられない。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが、認知度は「30歳代」29.0%で最も低く、認知度の最も高い「60歳代」の47.6%と比べ18.6ポイントの乖離がある。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。

- スポーツ推進委員の存在を知っており、活動内容もある程度知っている
- スポーツ推進委員の存在は知っているが、活動内容はあまり知らない
- スポーツ推進委員の存在を知らない
- 無回答



- スポーツ推進委員の存在を知っており、活動内容もある程度知っている
- スポーツ推進委員の存在は知っているが、活動内容はあまり知らない
- スポーツ推進委員の存在を知らない
- 無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

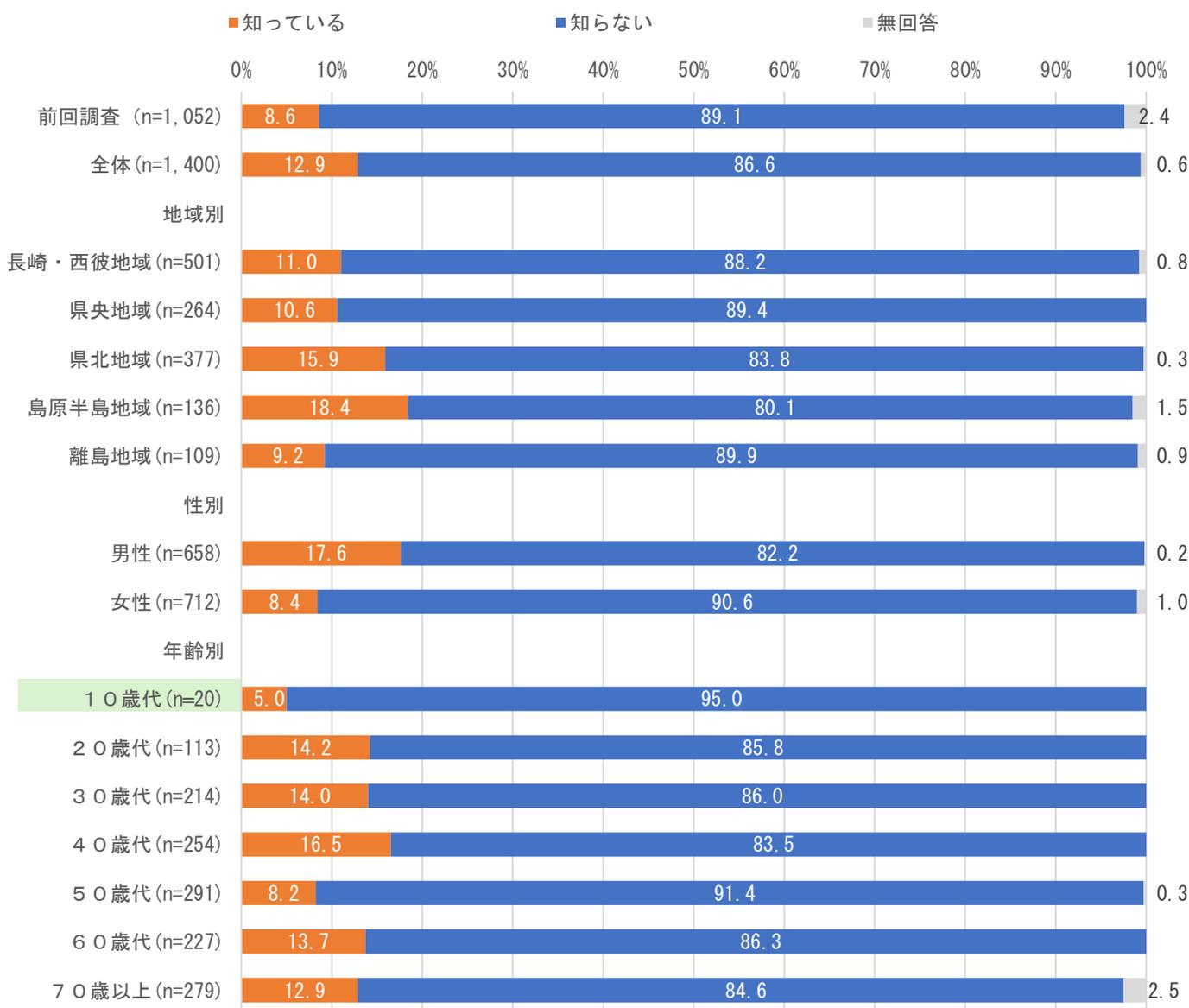
上段：度数 下段：%	合計	スポーツ推進委員の存在を知っており、活動内容もある程度知っている	スポーツ推進委員の存在は知っているが、活動内容はあまり知らない	スポーツ推進委員の存在を知らない	無回答
長崎市	433 100.0	21 4.8	117 27.0	293 67.7	2 0.5
長与町	38 100.0	2 5.3	9 23.7	27 71.1	-
時津町	30 100.0	2 6.7	9 30.0	19 63.3	-
佐世保市	258 100.0	10 3.9	76 29.5	169 65.5	3 1.2
平戸市	28 100.0	3 10.7	11 39.3	14 50.0	-
松浦市	19 100.0	1 5.3	8 42.1	10 52.6	-
西海市	18 100.0	-	8 44.4	9 50.0	1 5.6
小値賀町	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	-
佐々町	12 100.0	-	5 41.7	7 58.3	-
東彼杵町	8 100.0	-	3 37.5	5 62.5	-
川棚町	22 100.0	3 13.6	5 22.7	14 63.6	-
波佐見町	12 100.0	1 8.3	2 16.7	7 58.3	2 16.7
島原市	34 100.0	4 11.8	15 44.1	15 44.1	-
雲仙市	36 100.0	6 16.7	15 41.7	13 36.1	2 5.6
南島原市	66 100.0	16 24.2	33 50.0	17 25.8	-
諫早市	134 100.0	12 9.0	37 27.6	84 62.7	1 0.7
大村市	130 100.0	10 7.7	37 28.5	81 62.3	2 1.5
対馬市	17 100.0	3 17.6	3 17.6	11 64.7	-
壱岐市	25 100.0	2 8.0	10 40.0	13 52.0	-
五島市	39 100.0	5 12.8	14 35.9	20 51.3	-
新上五島町	24 100.0	2 8.3	10 41.7	12 50.0	-
上記以外	13 100.0	1 7.7	5 38.5	7 53.8	-

(3) あなたは総合型地域スポーツクラブをご存知ですか。(SA)

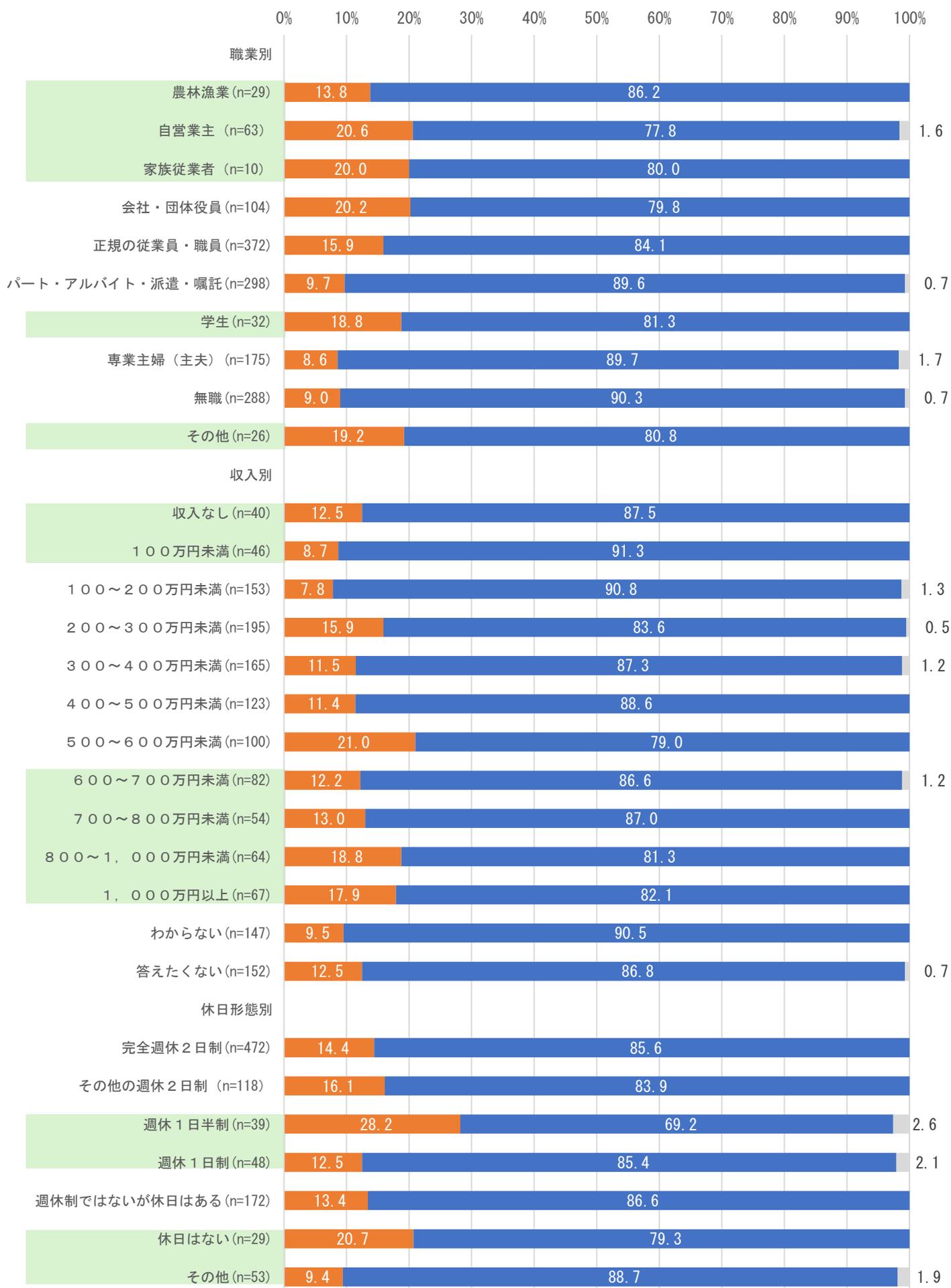
「総合型地域スポーツクラブ」の認知度は 12.9%、前回調査より 4.3 ポイント増加。

全体では、「知らない」が 86.6%、「知っている」が 12.9%となっている。
 前回調査と比べ認知度は 4.3 ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、認知度は「島原半島地域」が最も高く、「離島地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられずが、認知度は「男性」が「女性」よりも 9.2 歩イン tp 高くなっている。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが、認知度は「50 歳代」が 8.2%で最も低く、認知度の最も高い「40 歳代」の 16.5%と比べ 8.3 ポイントの差がある。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「パート・アルバイト・派遣・嘱託」「専業主婦(主夫)」「無職」は認知度が 10%以下と低くなっている。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「100~200 万円未満」は認知度が 10%以下と低くなっている。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。



■知っている ■知らない ■無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	知っている	知らない	無回答
長崎市	433 100.0	50 11.5	379 87.5	4 0.9
長与町	38 100.0	2 5.3	36 94.7	- -
時津町	30 100.0	3 10.0	27 90.0	- -
佐世保市	258 100.0	43 16.7	214 82.9	1 0.4
平戸市	28 100.0	4 14.3	24 85.7	- -
松浦市	19 100.0	3 15.8	16 84.2	- -
西海市	18 100.0	3 16.7	15 83.3	- -
小値賀町	4 100.0	- -	4 100.0	- -
佐々町	12 100.0	- -	12 100.0	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	8 100.0	- -
川棚町	22 100.0	7 31.8	15 68.2	- -
波佐見町	12 100.0	- -	12 100.0	- -
島原市	34 100.0	5 14.7	29 85.3	- -
雲仙市	36 100.0	5 13.9	29 80.6	2 5.6
南島原市	66 100.0	15 22.7	51 77.3	- -
諫早市	134 100.0	13 9.7	121 90.3	- -
大村市	130 100.0	15 11.5	115 88.5	- -
対馬市	17 100.0	2 11.8	15 88.2	- -
壱岐市	25 100.0	2 8.0	22 88.0	1 4.0
五島市	39 100.0	3 7.7	36 92.3	- -
新上五島町	24 100.0	3 12.5	21 87.5	- -
上記以外	13 100.0	2 15.4	11 84.6	- -

(4) あなたは、今後「総合型地域スポーツクラブ」の会員になりたいと思われませんか。(SA)

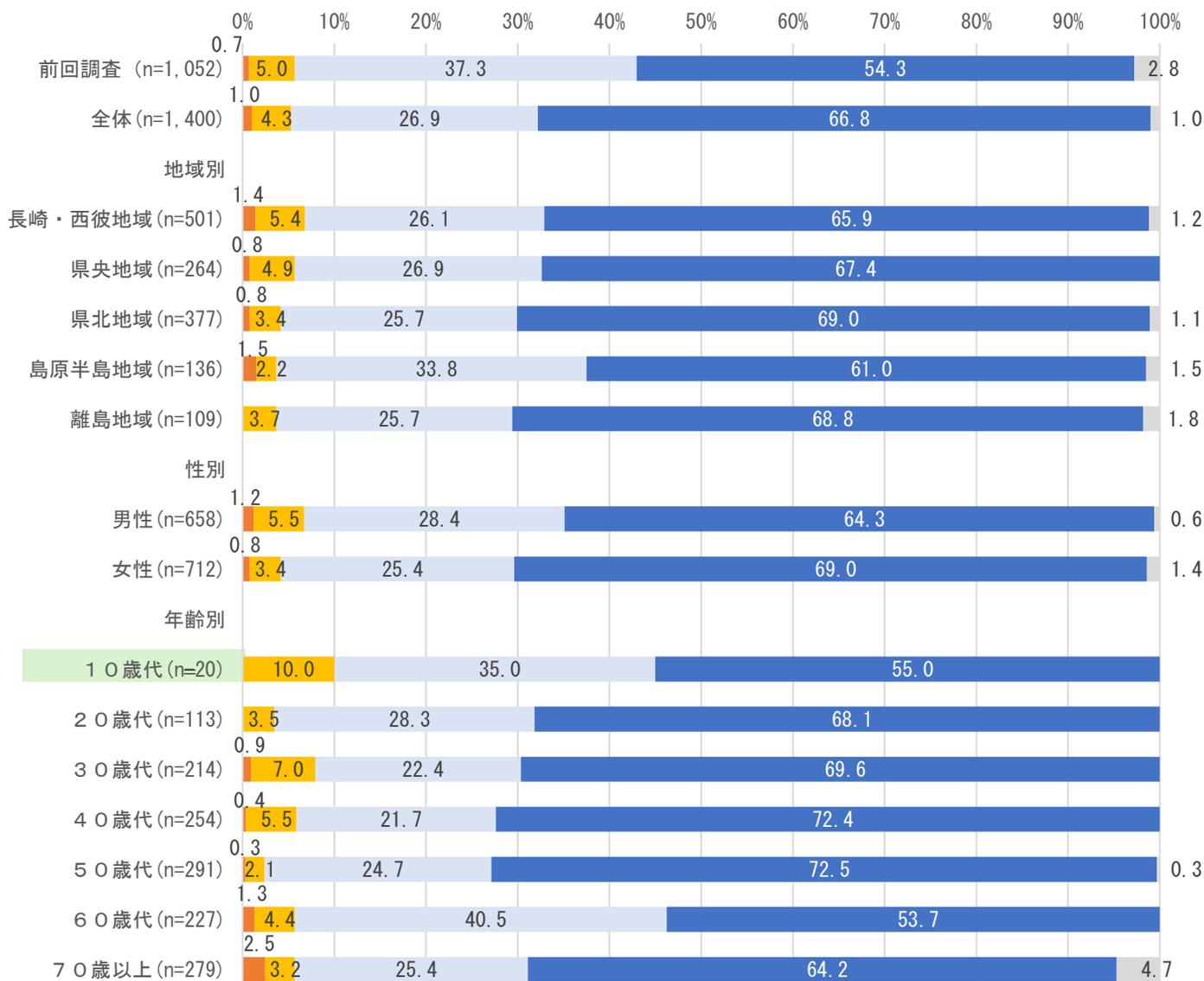
「総合型地域スポーツクラブ」の入会意思是5.3%、前回調査より0.4ポイント減少。

全体では、「会員にはならない」が66.8%で最も多く、次いで「開講種目次第で考える」が26.9%、「身近にそういったクラブがあれば、ぜひ会員になりたい」が4.3%と続いており、「入会意思（「すでにクラブ会員である」+「身近にそういったクラブがあれば、ぜひ会員になりたい」）」は5.3%となっている。

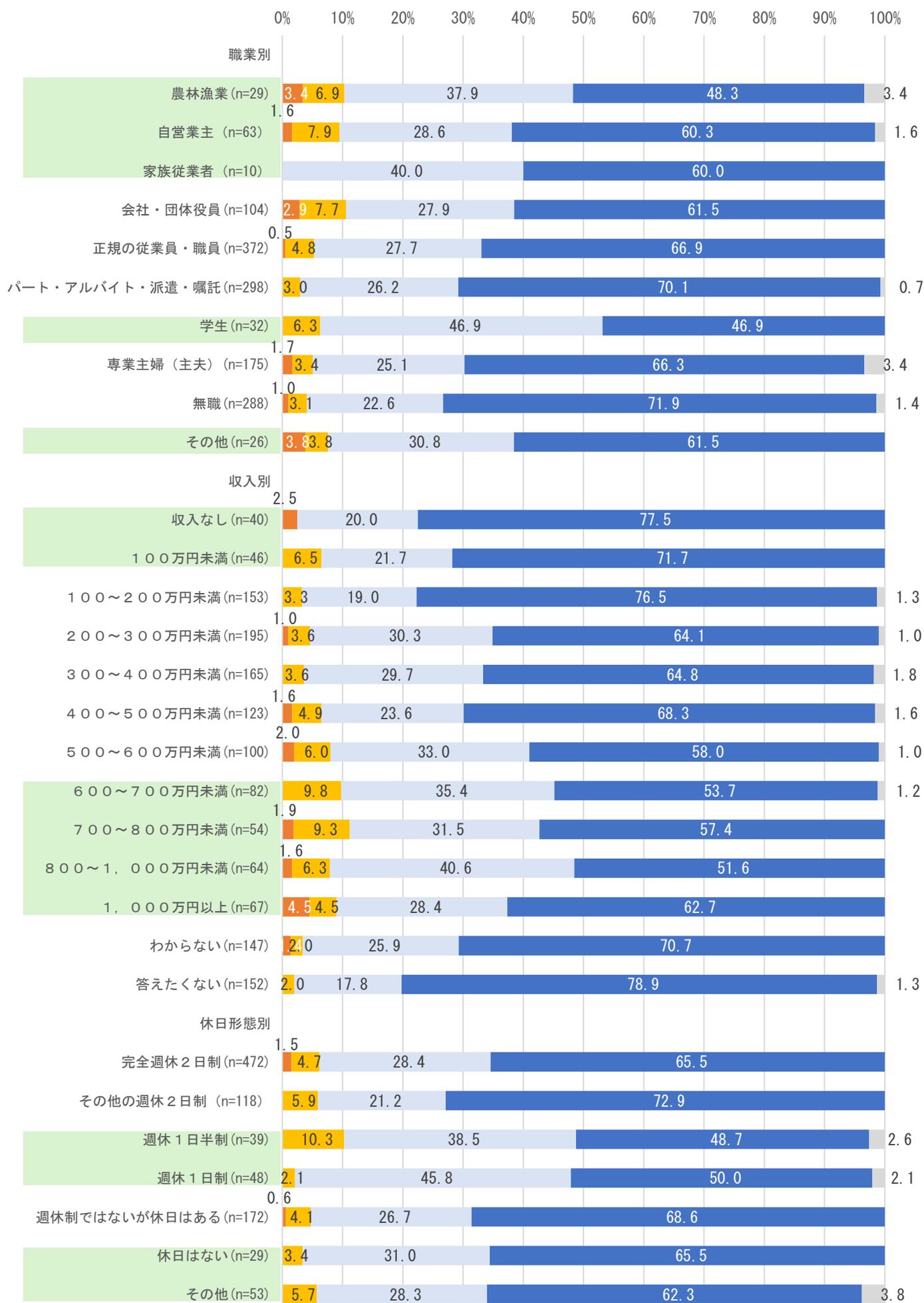
前回調査と比べ入会意思是0.4ポイント減少している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、入会意思是「長崎・西彼地域」が最も高く、「島原半島地域」「離島地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、入会意思是「男性」が「女性」よりも9.2ポイント高くなっている。
年齢別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、年収の増加に伴い入会意思是高くなる傾向がある。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。

■すでにクラブ会員である ■身近にそういったクラブがあれば、ぜひ会員になりたい ■開講種目次第で考える ■会員にはならない ■無回答



■すでにクラブ会員である ■身近にそういったクラブがあれば、ぜひ会員になりたい ■開講種目次第で考える ■会員にはならない ■無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	すでにクラブ 会員である	身近にそうい ったクラブが あれば、ぜひ 会員になりた い	開講種目次第 で考える	会員にはなら ない	無回答
長崎市	433 100.0	7 1.6	25 5.8	118 27.3	277 64.0	6 1.4
長与町	38 100.0	- -	2 5.3	8 21.1	28 73.7	- -
時津町	30 100.0	- -	- -	5 16.7	25 83.3	- -
佐世保市	258 100.0	1 0.4	10 3.9	63 24.4	181 70.2	3 1.2
平戸市	28 100.0	- -	2 7.1	7 25.0	19 67.9	- -
松浦市	19 100.0	- -	- -	6 31.6	13 68.4	- -
西海市	18 100.0	1 5.6	- -	3 16.7	13 72.2	1 5.6
小値賀町	4 100.0	- -	- -	1 25.0	3 75.0	- -
佐々町	12 100.0	- -	- -	5 41.7	7 58.3	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	- -	1 12.5	7 87.5	- -
川棚町	22 100.0	1 4.5	1 4.5	7 31.8	13 59.1	- -
波佐見町	12 100.0	- -	- -	5 41.7	7 58.3	- -
島原市	34 100.0	- -	- -	11 32.4	23 67.6	- -
雲仙市	36 100.0	1 2.8	2 5.6	12 33.3	19 52.8	2 5.6
南島原市	66 100.0	1 1.5	1 1.5	23 34.8	41 62.1	- -
諫早市	134 100.0	2 1.5	5 3.7	35 26.1	92 68.7	- -
大村市	130 100.0	- -	8 6.2	36 27.7	86 66.2	- -
対馬市	17 100.0	- -	1 5.9	3 17.6	13 76.5	- -
壱岐市	25 100.0	- -	1 4.0	5 20.0	18 72.0	1 4.0
五島市	39 100.0	- -	1 2.6	13 33.3	25 64.1	- -
新上五島町	24 100.0	- -	1 4.2	6 25.0	16 66.7	1 4.2
上記以外	13 100.0	- -	- -	4 30.8	9 69.2	- -

(5) あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」の運営に興味がありますか。(SA)

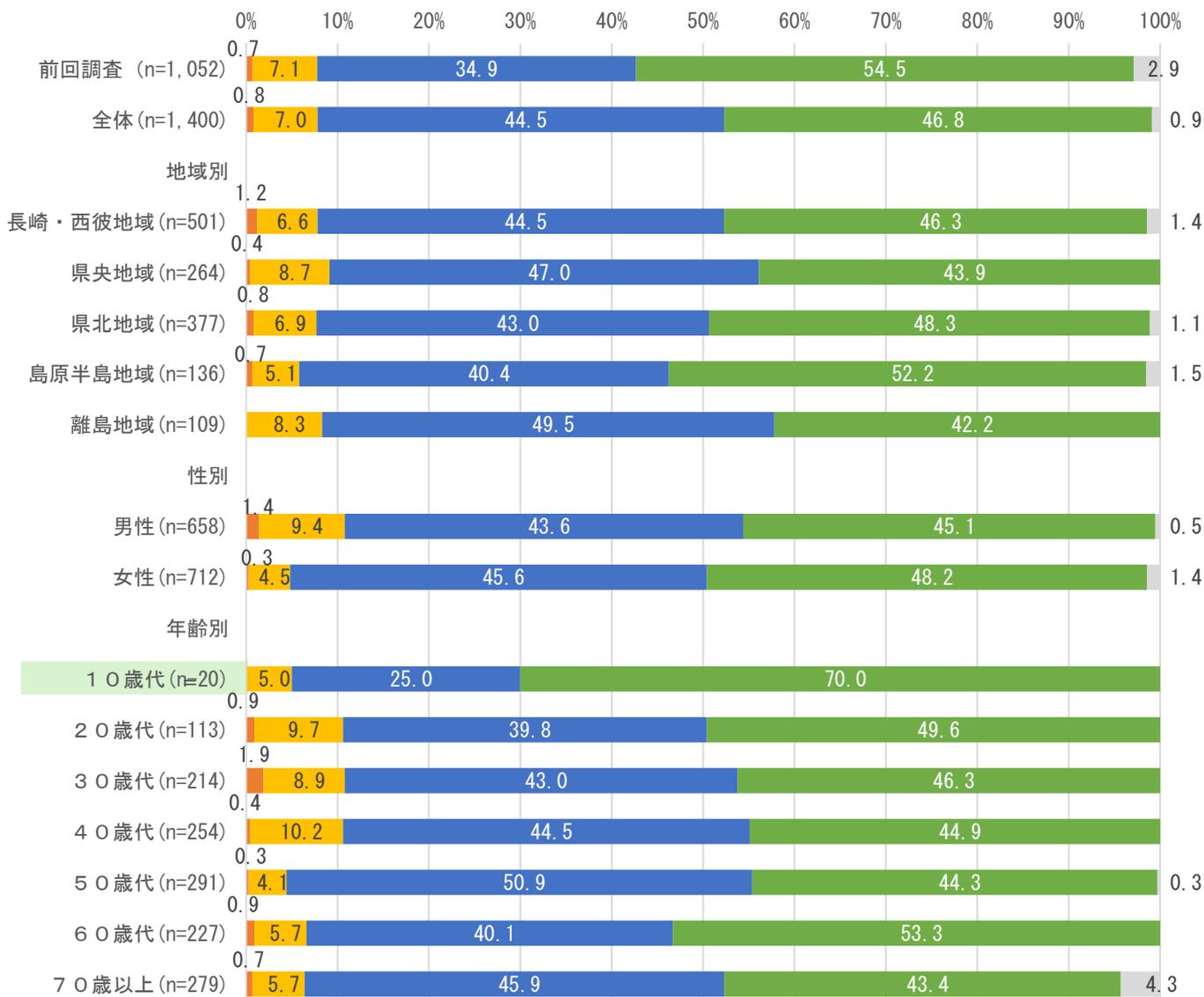
「総合型地域スポーツクラブ」の運営に「興味あり」は7.8%、前回調査と変動なし

全体では、「わからない」が46.8%で最も多く、次いで「運営に携わりたいとは思わない」が44.5%、「クラブの運営に興味がある、携わりたい、支援したい」が7.0%と続いており「興味がある（「すでにクラブの運営に携わっている、支援している」+「クラブの運営に興味がある、携わりたい、支援したい）」は7.8%となっている。

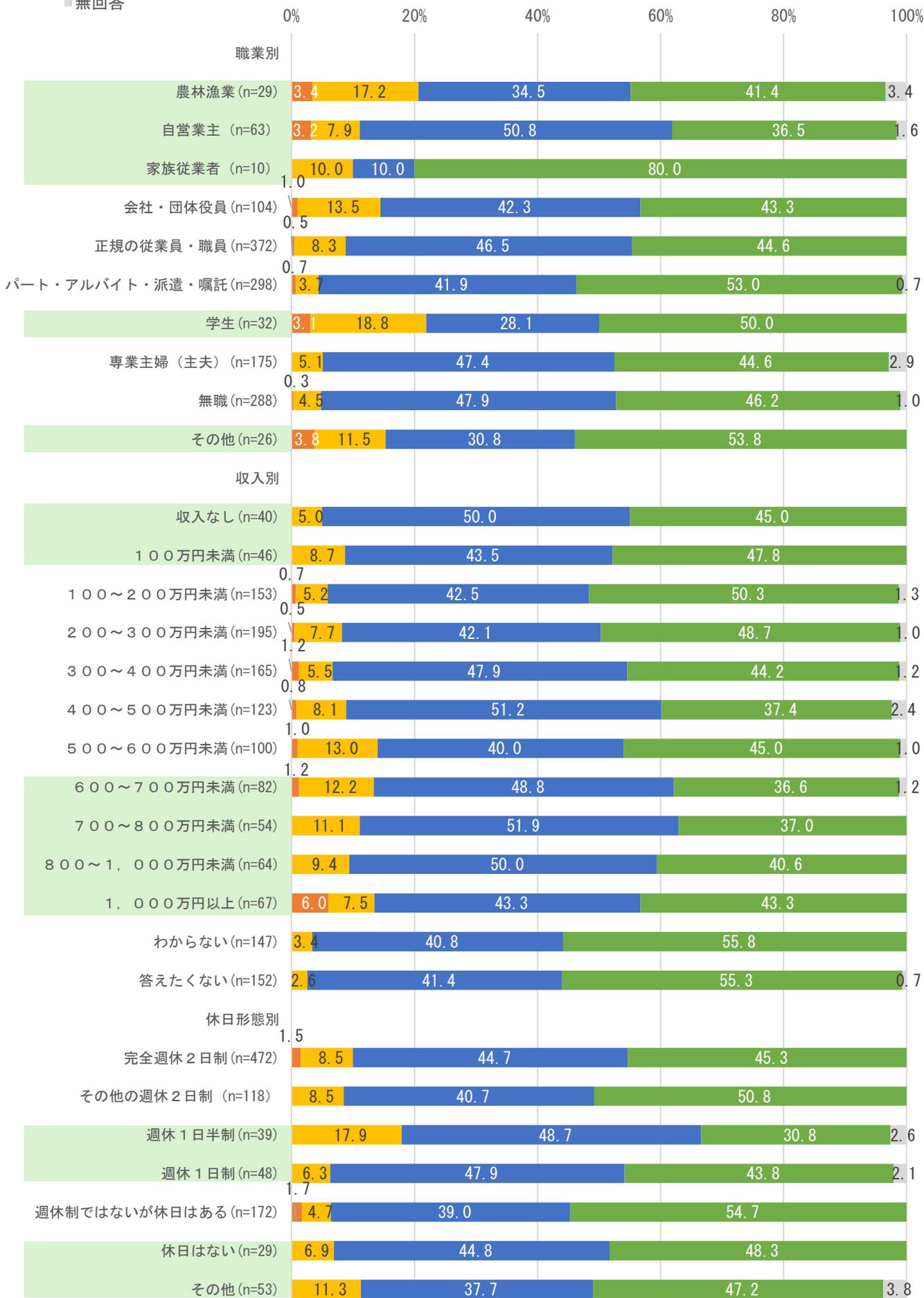
前回調査と比べ「興味がある」の増減はない。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「興味がある」は「県央地域」が最も高く、「島原半島地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「興味がある」は「男性」が「女性」よりも6.0ポイント高くなっている。
年齢別	バラツキはあるものの全体の傾向との相違はみられないが、「20歳代」「30歳代」「40歳代」はやや「興味がある」が高くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「会社・団体役員」は「興味がある」が他の職業と比べ5.7ポイント以上高くなっている。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「500～600万円未満」「600～700万円未満」は「興味がある」が13%を超えている。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。

- すでにクラブの運営に携わっている、支援している
- クラブの運営に興味がある、携わりたい、支援したい
- 運営に携わりたいとは思わない
- わからない
- 無回答



- すでにクラブの運営に携わっている、支援している
- クラブの運営に興味がある、携わりたい、支援したい
- 運営に携わりたいとは思わない
- わからない
- 無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	すでにクラブ の運営に携わ っている、支 援している	クラブの運営 に興味があ る、携わりた い、支援した い	運営に携わり たいと思わ ない	わからない	無回答
長崎市	433 100.0	5 1.2	29 6.7	191 44.1	201 46.4	7 1.6
長与町	38 100.0	- -	3 7.9	18 47.4	17 44.7	- -
時津町	30 100.0	1 3.3	1 3.3	14 46.7	14 46.7	- -
佐世保市	258 100.0	2 0.8	22 8.5	118 45.7	113 43.8	3 1.2
平戸市	28 100.0	1 3.6	2 7.1	7 25.0	18 64.3	- -
松浦市	19 100.0	- -	1 5.3	7 36.8	11 57.9	- -
西海市	18 100.0	- -	- -	9 50.0	8 44.4	1 5.6
小値賀町	4 100.0	- -	- -	2 50.0	2 50.0	- -
佐々町	12 100.0	- -	- -	6 50.0	6 50.0	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	- -	3 37.5	5 62.5	- -
川棚町	22 100.0	- -	1 4.5	8 36.4	13 59.1	- -
波佐見町	12 100.0	- -	- -	4 33.3	8 66.7	- -
島原市	34 100.0	- -	2 5.9	11 32.4	21 61.8	- -
雲仙市	36 100.0	- -	2 5.6	19 52.8	13 36.1	2 5.6
南島原市	66 100.0	1 1.5	3 4.5	25 37.9	37 56.1	- -
諫早市	134 100.0	1 0.7	13 9.7	56 41.8	64 47.8	- -
大村市	130 100.0	- -	10 7.7	68 52.3	52 40.0	- -
対馬市	17 100.0	- -	2 11.8	6 35.3	9 52.9	- -
壱岐市	25 100.0	- -	4 16.0	10 40.0	11 44.0	- -
五島市	39 100.0	- -	2 5.1	22 56.4	15 38.5	- -
新上五島町	24 100.0	- -	1 4.2	14 58.3	9 37.5	- -
上記以外	13 100.0	- -	- -	5 38.5	8 61.5	- -

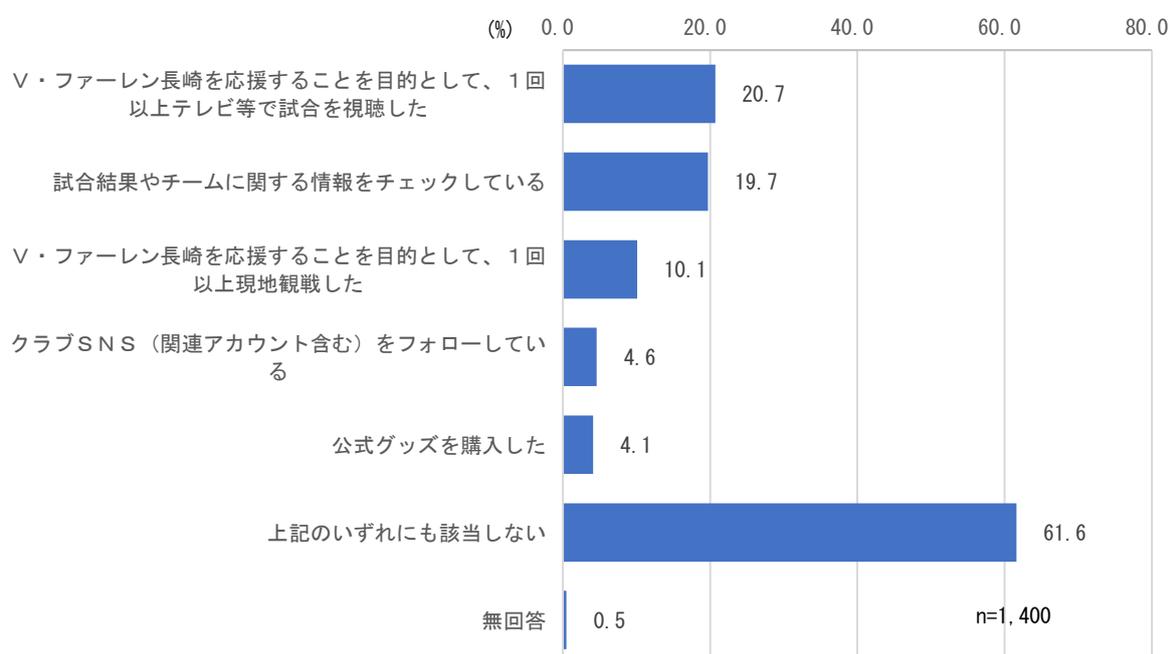
9. スポーツ観戦について

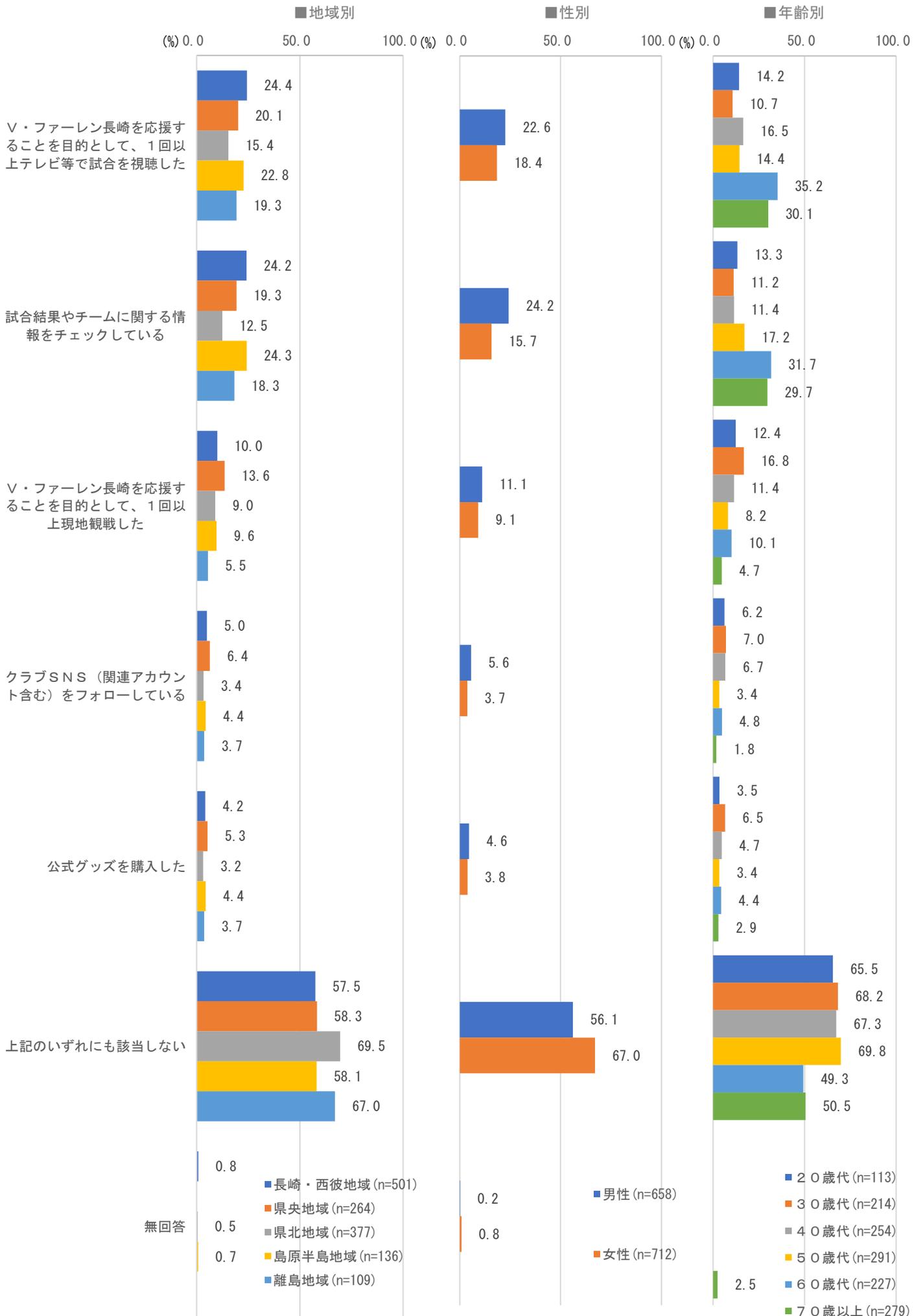
(1) この1年間において、V・ファーレン長崎（※サッカー）について、あなたが当てはまる項目すべてを選んでください。(MA)

61.6%が「V・ファーレン長崎」に関心を示していない。

全体では、「V・ファーレン長崎を応援することを目的として、1回以上テレビ等で試合を視聴した」が20.7%で最も多く、次いで「試合結果やチームに関する情報をチェックしている」が19.7%、「V・ファーレン長崎を応援することを目的として、1回以上現地観戦した」が10.1%の順で続いている。一方、「上記のいずれにも該当しない」は61.6%と過半数が「V・ファーレン長崎」に関心を示していない。

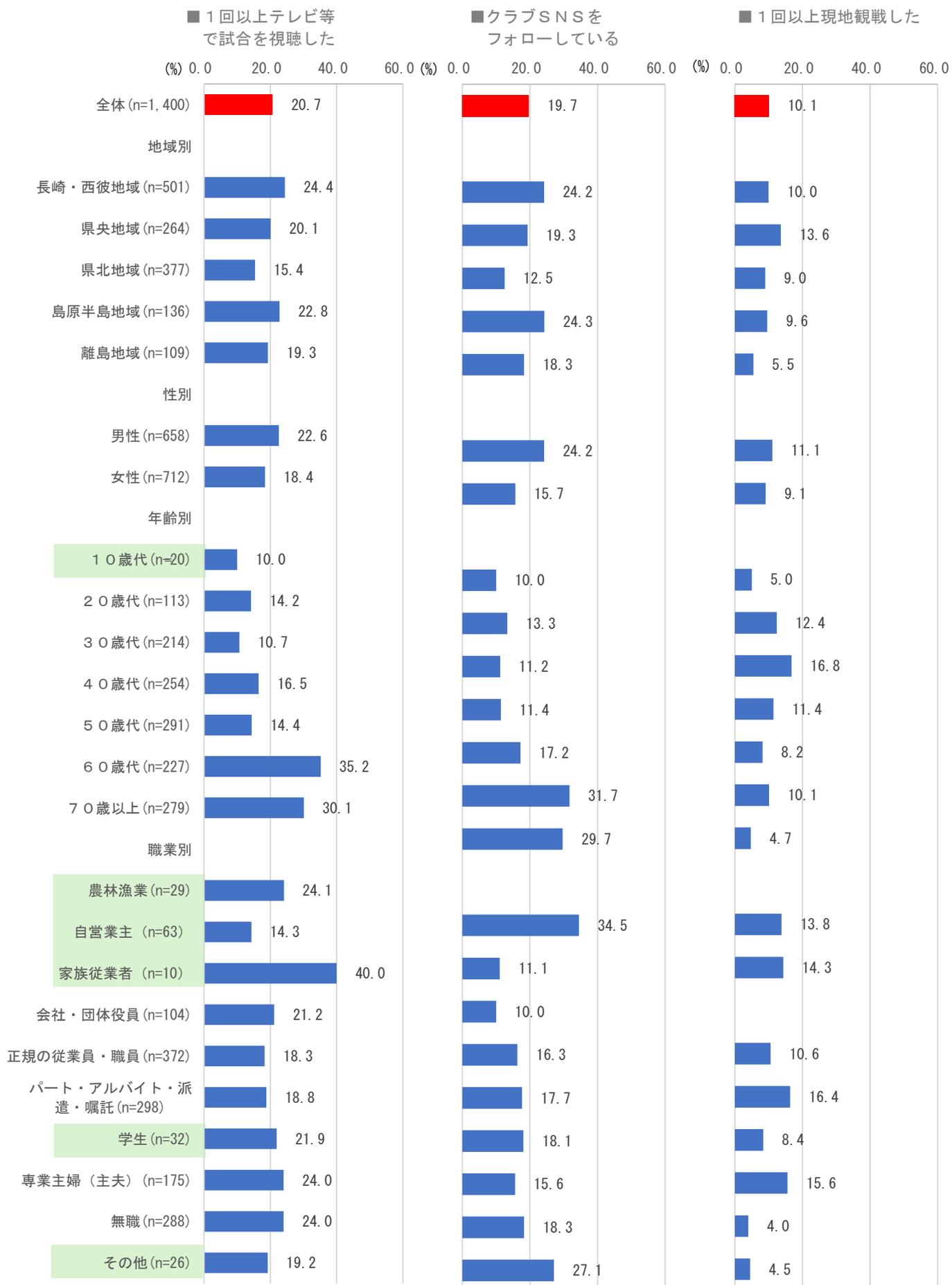
地域別	全体の傾向との相違はみられないが、「県北地域」「離島地域」は「上記のいずれにも該当しない」がやや高くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが「上記のいずれにも該当しない」は「女性」が「男性」よりも10.9ポイント高くなっている。
年齢別	全体の傾向との大きな相違はみられないが「上記のいずれにも該当しない」は「60歳代」「70歳以上」がやや低くなっている。
職業別 収入別 休日形態別	母数にバラツキがあり、著しく少ないものが多いため個別の分析は行っていない。





参考：上位3項目の属性別集計

「市町別」、「収入別」、「休日形態別」は母数が小さなものが多いため表示していない。

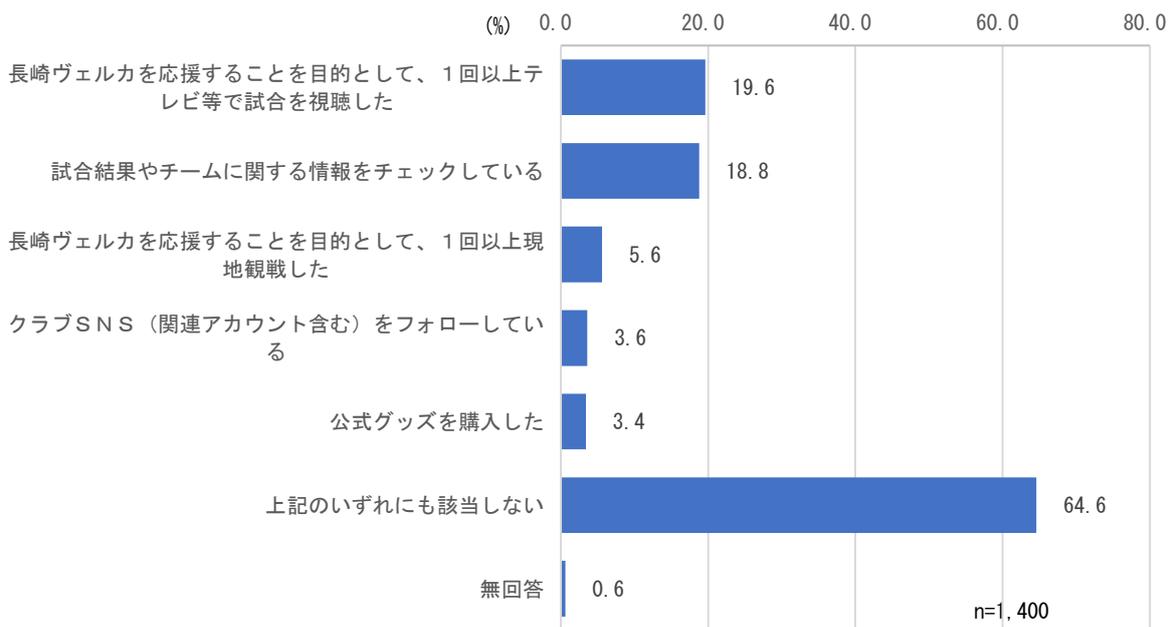


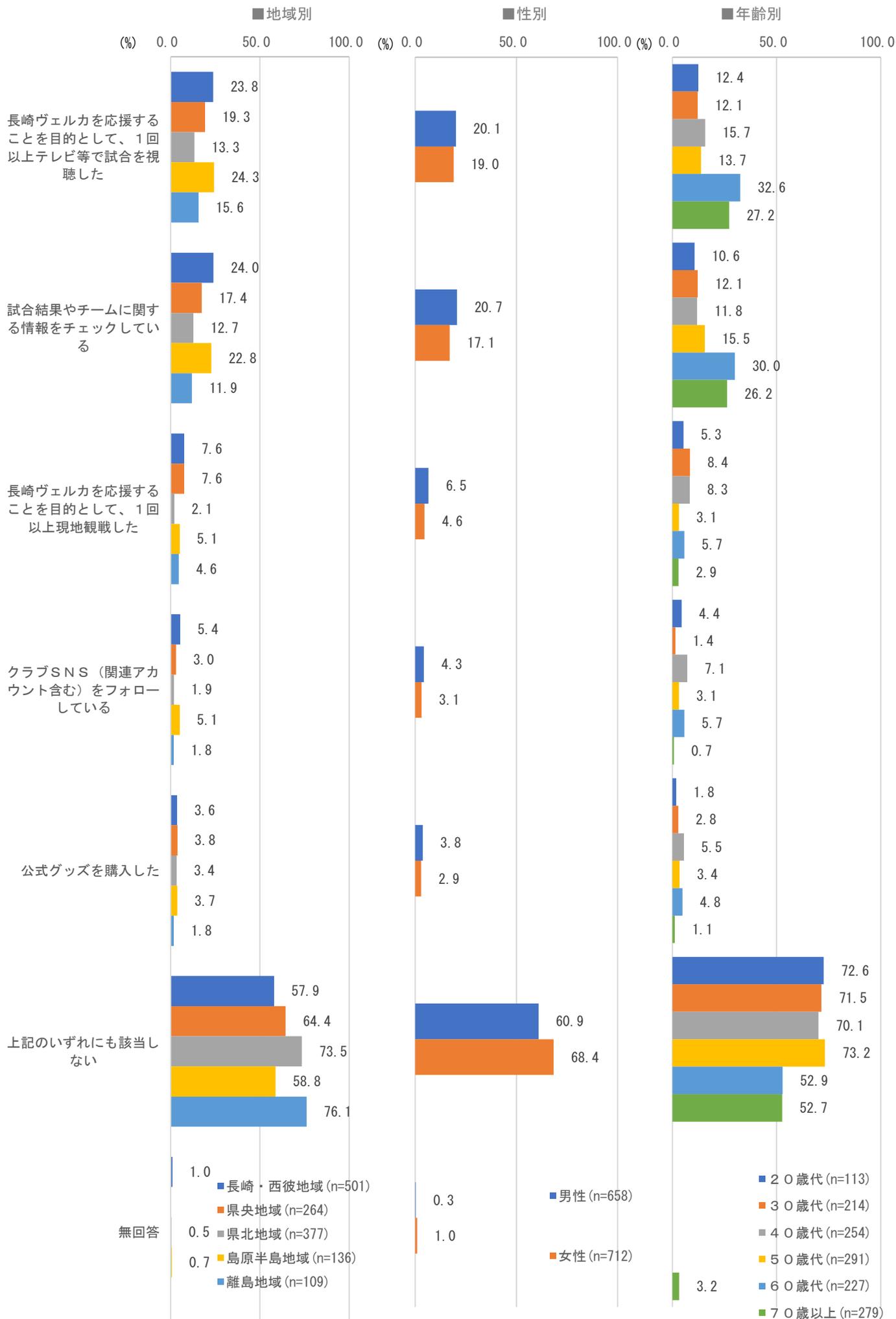
(2) この1年間において、長崎ヴェルカ（※バスケット）について、あなたが当てはまる項目すべてを選んでください。(MA)

64.6%が「長崎ヴェルカ」に関心を示していない。

全体では、「長崎ヴェルカを応援することを目的として、1回以上テレビ等で試合を視聴した」が19.6%で最も多く、次いで「試合結果やチームに関する情報をチェックしている」が18.8%、「長崎ヴェルカを応援することを目的として、1回以上現地観戦した」が5.6%の順で続いている。一方、「上記のいずれにも該当しない」は64.6%と過半数が「長崎ヴェルカ」に関心を示していない。

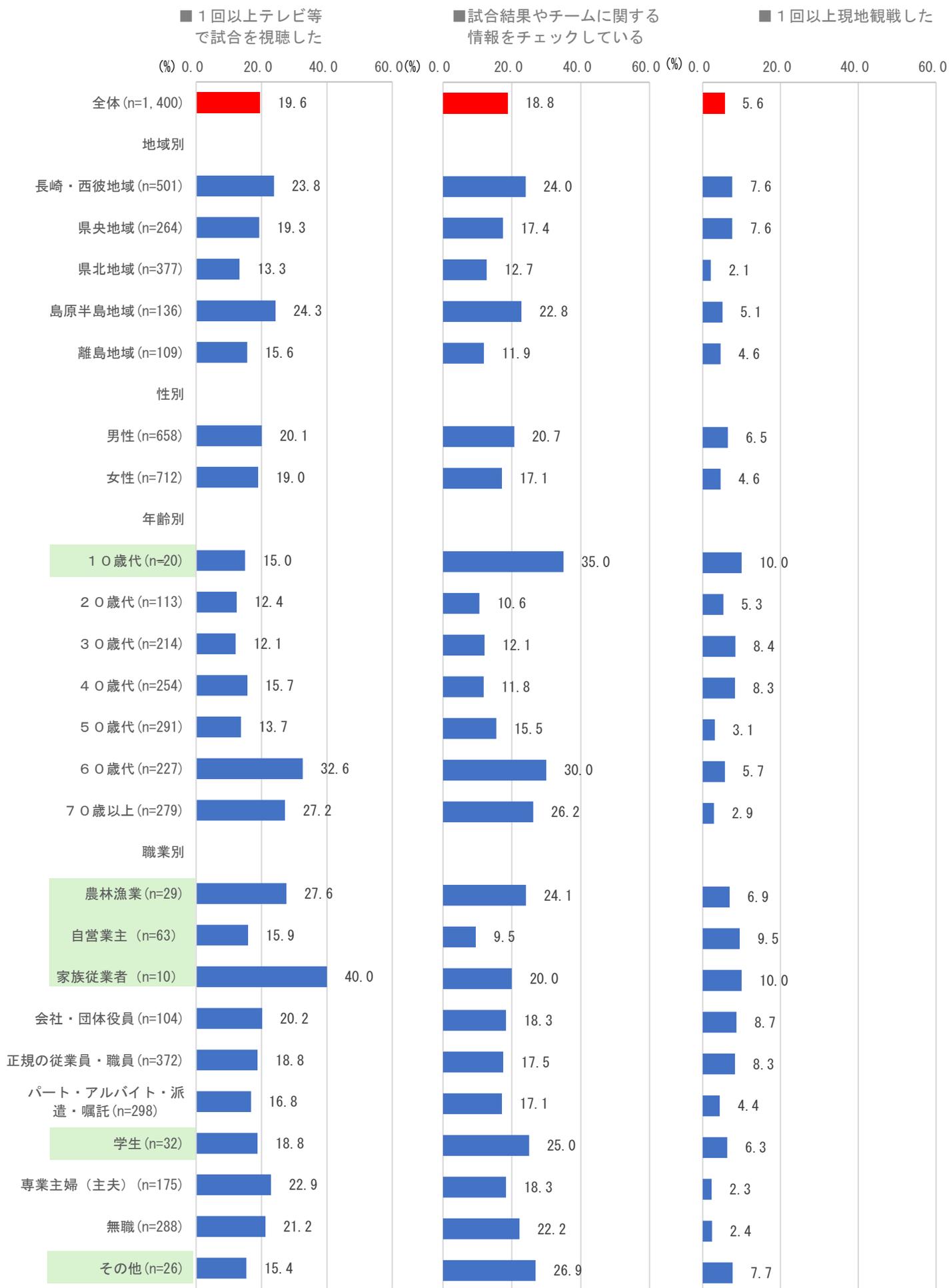
地域別	全体の傾向との相違はみられないが、「県北地域」「離島地域」は「上記のいずれにも該当しない」がやや高くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが「上記のいずれにも該当しない」は「女性」が「男性」よりも7.5ポイント高くなっている。
年齢別	全体の傾向との大きな相違はみられないが「上記のいずれにも該当しない」は「60歳代」「70歳以上」がやや低くなっている。
職業別 収入別 休日形態別	母数にバラツキがあり、著しく少ないものが多いため個別の分析は行っていない。





参考：上位3項目の属性別集計

「市町別」、「収入別」、「休日形態別」は母数が小さなものが多いため表示していない。

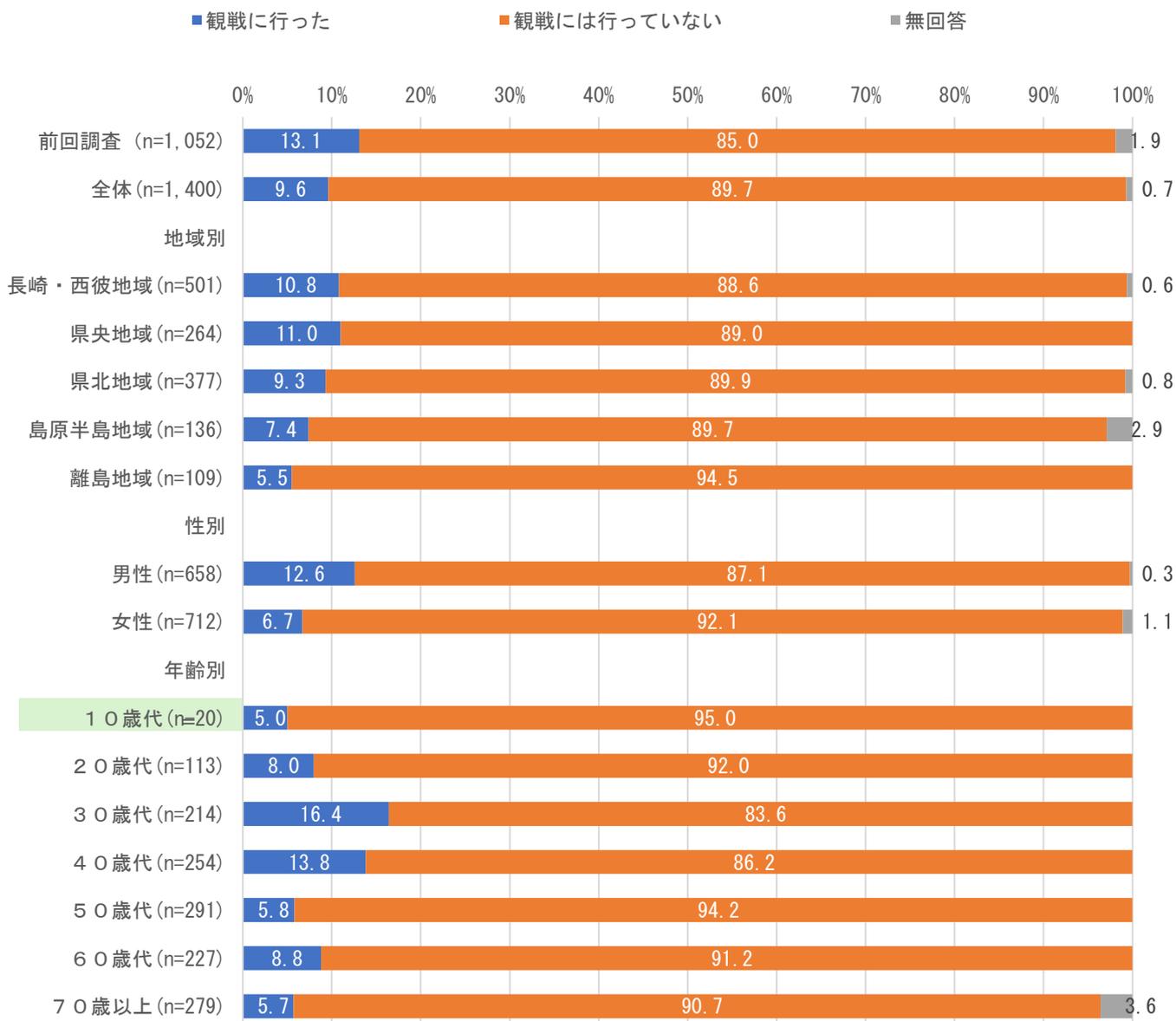


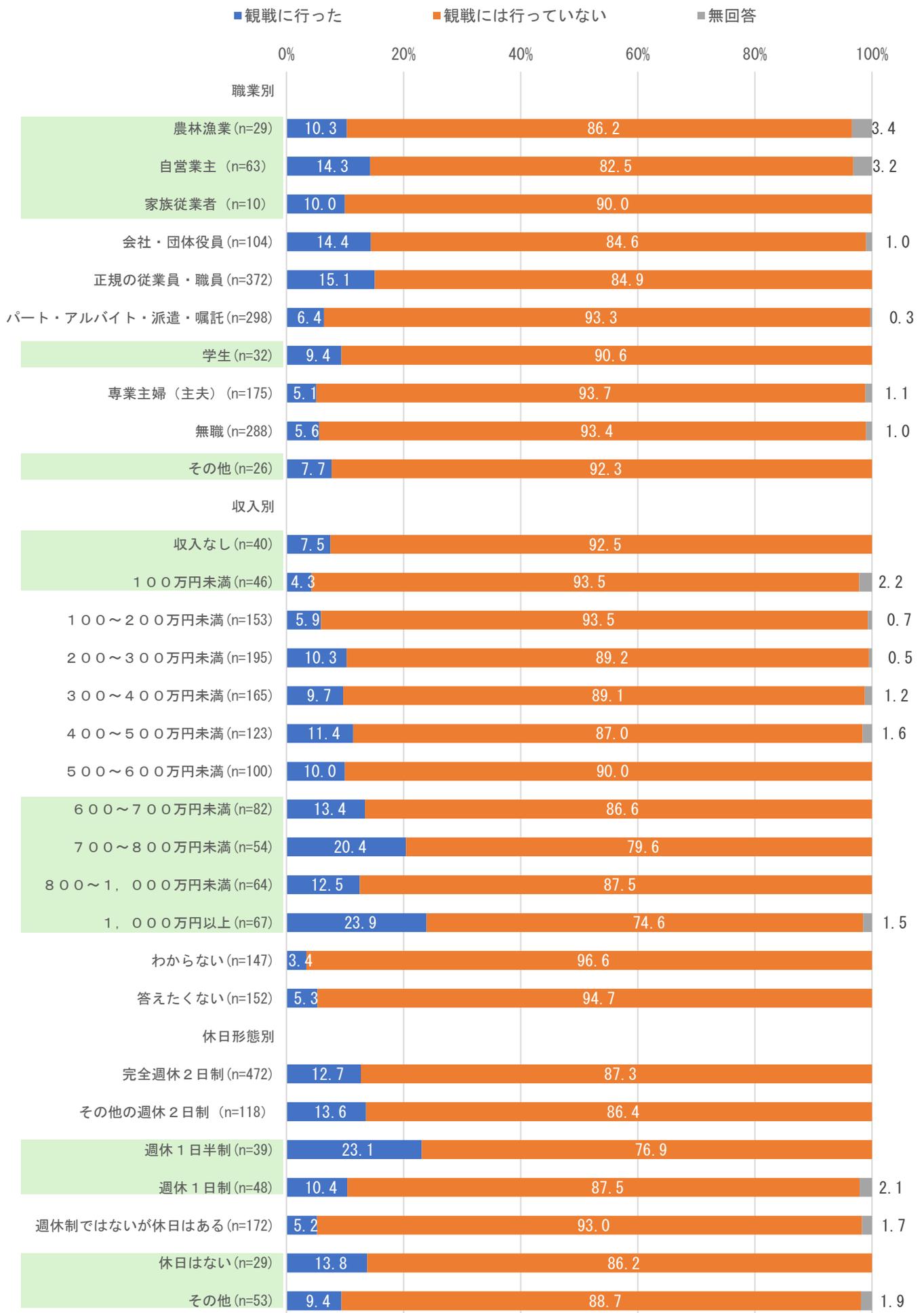
(3) あなたはこの1年間に、V・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカ以外のプロスポーツの試合を観戦に行きましたか。(SA)

**V・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカ以外の観戦率は9.6%、
前回調査より3.5ポイント減少。**

全体では、「観戦には行っていない」が89.7%、「観戦に行った」は9.6%となっている。
前回調査と比べ「観戦に行った」は3.5ポイント減少している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、観戦率は「県央地域」が最も高く、「島原半島地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、観戦率は「男性」が「女性」よりも5.9ポイント高くなっている。
年齢別	バラツキはあるものの全体の傾向との相違はみられないが、「30歳代」「40歳代」は他の年代よりも5ポイント以上観戦率が高くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「会社・団体役員」は「興味がある」が他の職業と比べ8ポイント以上観戦率が高くなっている。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「100～200万円未満」は観戦率が最も低くなっている。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「週休制ではないが休日はある」は観戦率が極端に低くなっている。





※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	観戦に行った	観戦には行っ ていない	無回答
長崎市	433 100.0	53 12.2	377 87.1	3 0.7
長与町	38 100.0	- -	38 100.0	- -
時津町	30 100.0	1 3.3	29 96.7	- -
佐世保市	258 100.0	26 10.1	230 89.1	2 0.8
平戸市	28 100.0	5 17.9	23 82.1	- -
松浦市	19 100.0	- -	18 94.7	1 5.3
西海市	18 100.0	- -	18 100.0	- -
小値賀町	4 100.0	- -	4 100.0	- -
佐々町	12 100.0	- -	12 100.0	- -
東彼杵町	8 100.0	2 25.0	6 75.0	- -
川棚町	22 100.0	2 9.1	20 90.9	- -
波佐見町	12 100.0	- -	12 100.0	- -
島原市	34 100.0	1 2.9	33 97.1	- -
雲仙市	36 100.0	5 13.9	29 80.6	2 5.6
南島原市	66 100.0	4 6.1	60 90.9	2 3.0
諫早市	134 100.0	18 13.4	116 86.6	- -
大村市	130 100.0	11 8.5	119 91.5	- -
対馬市	17 100.0	1 5.9	16 94.1	- -
壱岐市	25 100.0	- -	25 100.0	- -
五島市	39 100.0	3 7.7	36 92.3	- -
新上五島町	24 100.0	2 8.3	22 91.7	- -
上記以外	13 100.0	- -	13 100.0	- -

(4) あなたご自身が直接スポーツを観戦・視聴するために1年間にいくら程度費用をかけていますか(交通費・宿泊費等を含み、スタジアム等での飲食代は含みません)。(SA)

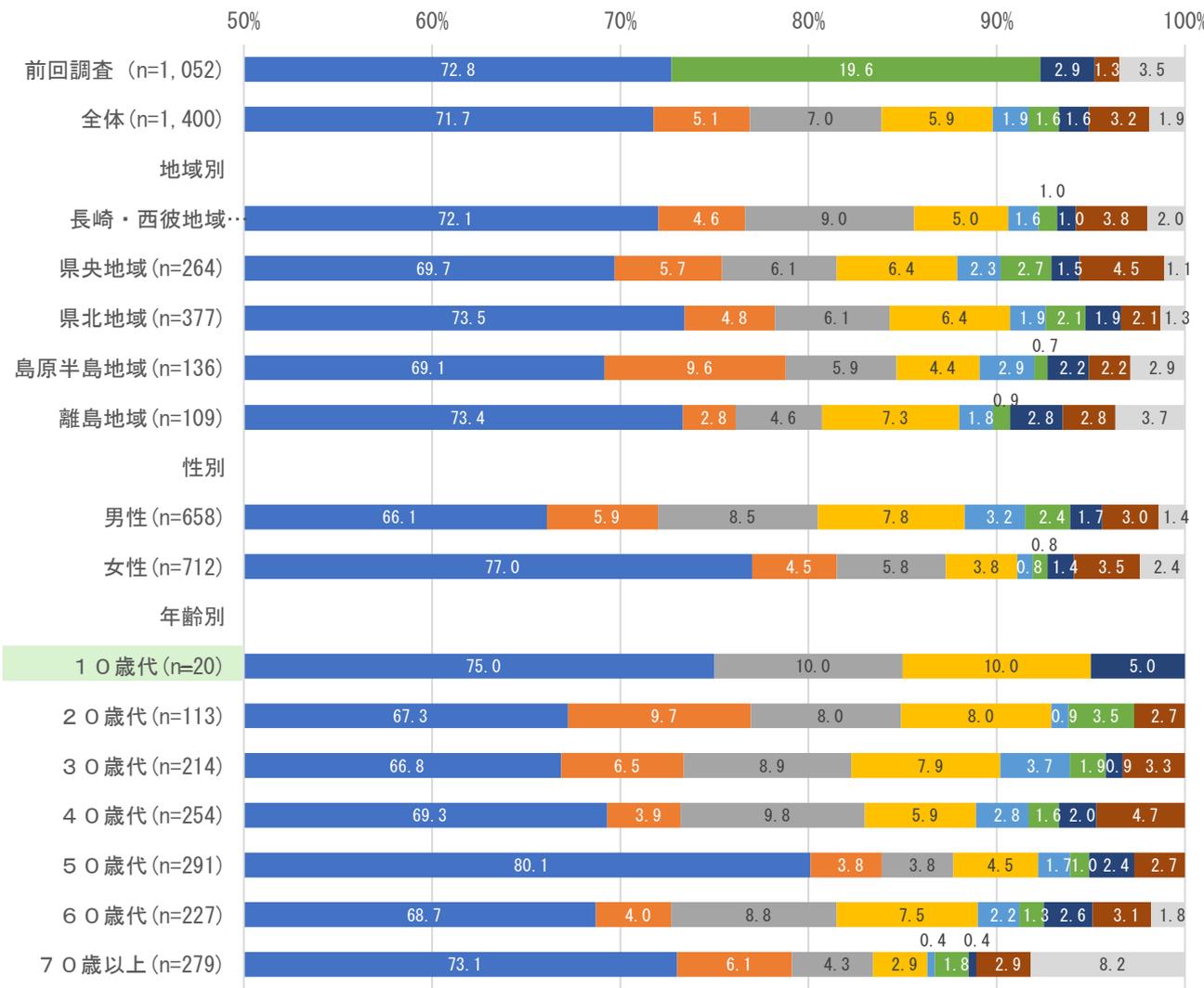
スポーツ観戦にかけた費用「0円」が71.7%

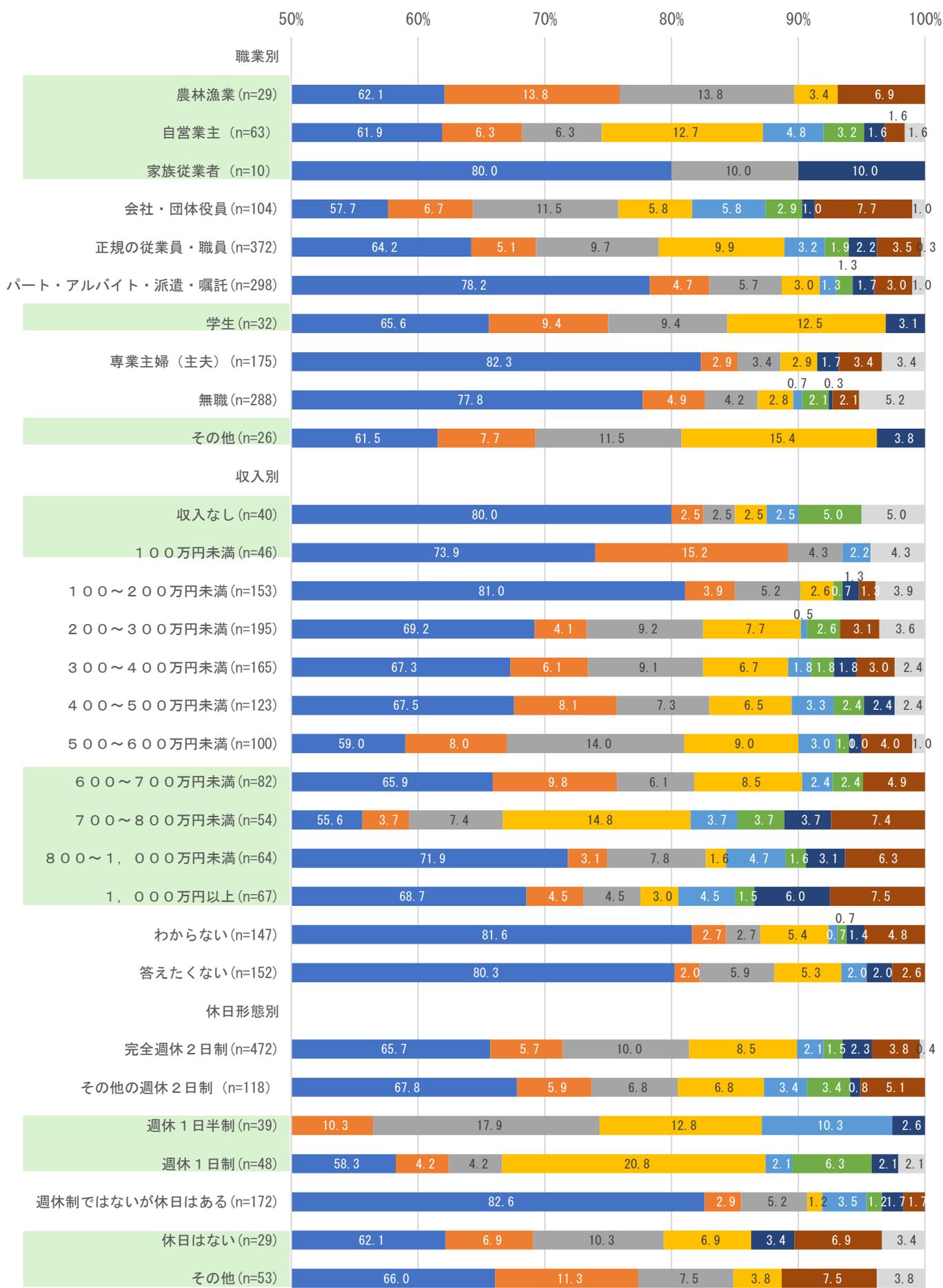
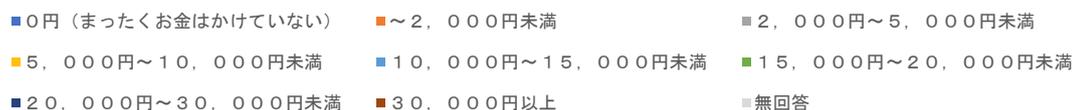
全体では、「0円(まったくお金はかけていない)」が71.7%で最も多く、次いで「2,000円～5,000円未満」は7.0%、「5,000円～10,000円未満」が5.9%と続いており、「1円～20,000円未満」は21.5%となっている。

前回調査と設問項目を合わせ比べると「0円」は1.1ポイント減少し、「1円～20,000円未満」1.9ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、費用をかけた割合は「県央地域」が最も高く、「離島地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、費用をかけた割合は「男性」が「女性」よりも11.9ポイント高くなっている。
年齢別	バラツキはあるものの全体の傾向との相違はみられないが、費用をかけた割合は「70歳以上」が最も低くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「会社・団体役員」は「興味がある」が他の職業と比べ費用をかける割合が高くなっている。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、収入の増加に伴い費用をかける割合が高くなる傾向がみられる。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「週休制ではないが休日はある」は「0円」が82.6%と他休暇形態との乖離が大きくなっている。

- 0円(まったくお金はかけていない)
- 2,000円～5,000円未満
- 5,000円～10,000円未満
- 10,000円～15,000円未満
- 15,000円～20,000円未満
- 20,000円～30,000円未満
- 30,000円以上
- 無回答





※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

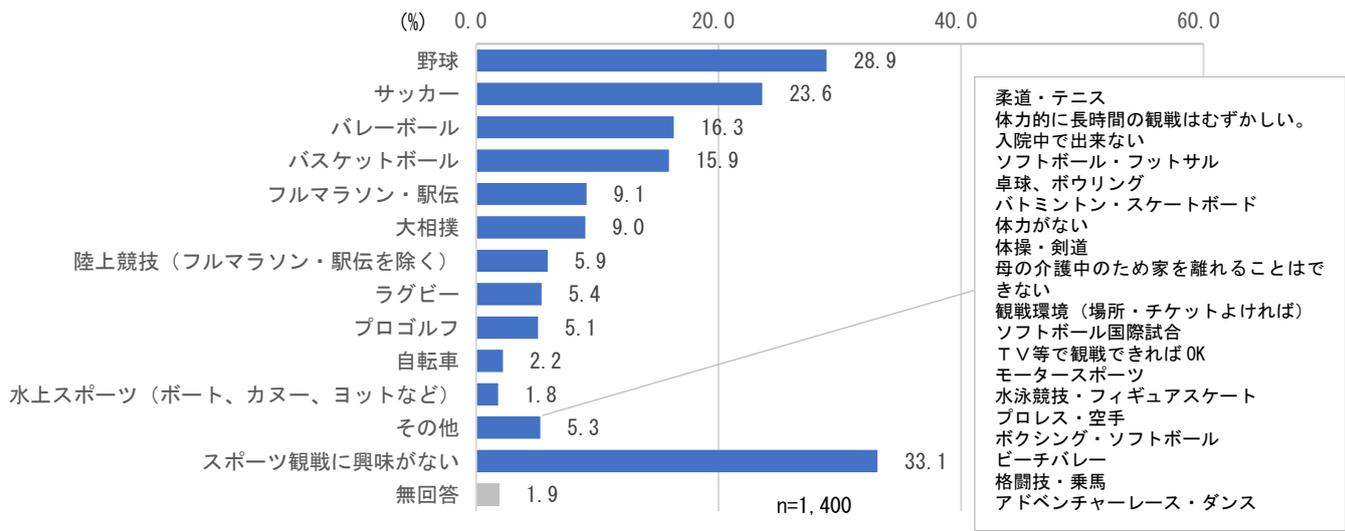
上段：度数 下段：%	合計	0円(まったくお金はかけていない)	2,000円未満	5,000円未満	10,000円未満	15,000円未満	20,000円未満	30,000円以上	無回答	
長崎市	433 100.0	308 71.1	19 4.4	41 9.5	22 5.1	8 1.8	5 1.2	4 0.9	17 3.9	9 2.1
長与町	38 100.0	31 81.6	2 5.3	1 2.6	3 7.9	-	-	-	1 2.6	-
時津町	30 100.0	22 73.3	2 6.7	3 10.0	-	-	-	1 3.3	1 3.3	1 3.3
佐世保市	258 100.0	195 75.6	13 5.0	14 5.4	14 5.4	3 1.2	6 2.3	4 1.6	6 2.3	3 1.2
平戸市	28 100.0	15 53.6	2 7.1	4 14.3	3 10.7	2 7.1	-	1 3.6	1 3.6	-
松浦市	19 100.0	13 68.4	1 5.3	-	1 5.3	1 5.3	1 5.3	1 5.3	-	1 5.3
西海市	18 100.0	15 83.3	-	-	2 11.1	-	-	1 5.6	-	-
小値賀町	4 100.0	4 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
佐々町	12 100.0	7 58.3	1 8.3	-	2 16.7	1 8.3	-	-	-	1 8.3
東彼杵町	8 100.0	5 62.5	1 12.5	-	1 12.5	-	-	-	1 12.5	-
川棚町	22 100.0	18 81.8	-	3 13.6	1 4.5	-	-	-	-	-
波佐見町	12 100.0	9 75.0	-	2 16.7	-	-	1 8.3	-	-	-
島原市	34 100.0	24 70.6	5 14.7	1 2.9	-	3 8.8	-	-	-	1 2.9
雲仙市	36 100.0	19 52.8	5 13.9	4 11.1	1 2.8	-	1 2.8	2 5.6	1 2.8	3 8.3
南島原市	66 100.0	51 77.3	3 4.5	3 4.5	5 7.6	1 1.5	-	1 1.5	2 3.0	-
諫早市	134 100.0	92 68.7	8 6.0	9 6.7	9 6.7	2 1.5	4 3.0	2 1.5	8 6.0	-
大村市	130 100.0	92 70.8	7 5.4	7 5.4	8 6.2	4 3.1	3 2.3	2 1.5	4 3.1	3 2.3
対馬市	17 100.0	13 76.5	1 5.9	1 5.9	1 5.9	-	-	-	-	1 5.9
壱岐市	25 100.0	17 68.0	-	1 4.0	3 12.0	1 4.0	-	-	1 4.0	2 8.0
五島市	39 100.0	28 71.8	-	3 7.7	2 5.1	1 2.6	1 2.6	2 5.1	1 2.6	1 2.6
新上五島町	24 100.0	18 75.0	2 8.3	-	2 8.3	-	-	1 4.2	1 4.2	-
上記以外	13 100.0	8 61.5	-	1 7.7	2 15.4	-	1 7.7	-	-	1 7.7

(5) あなたは、長崎県にどのようなトップレベルのスポーツ大会が開催されれば、より積極的に観戦してみたいと思いますか。主なものを3つまで選んでください。(MA)

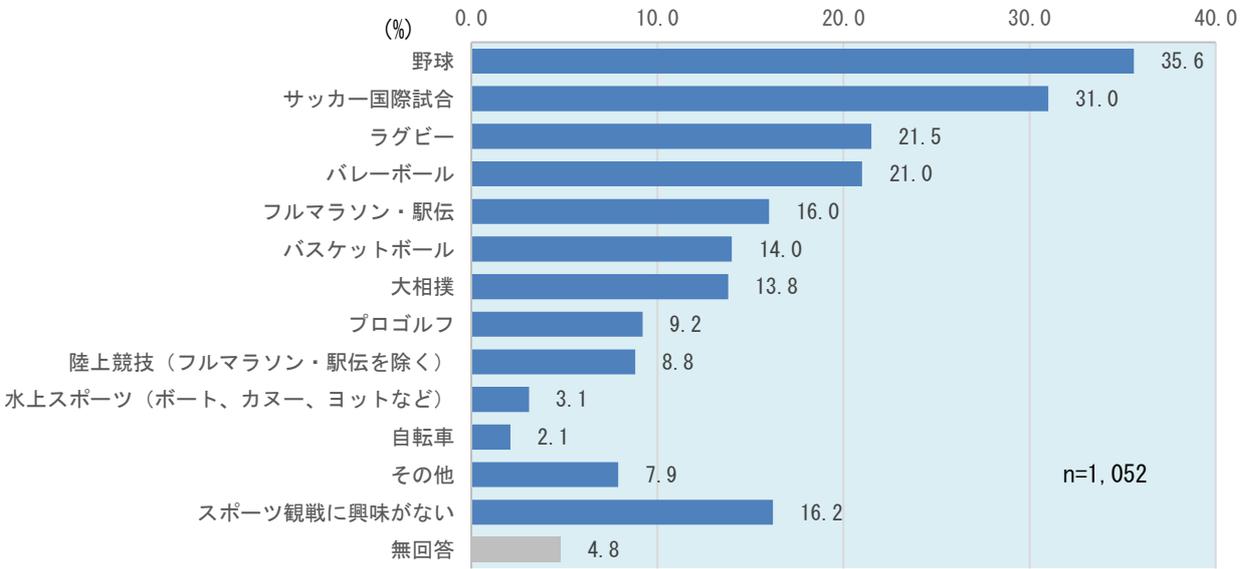
33.1%が「スポーツ観戦に興味がない」

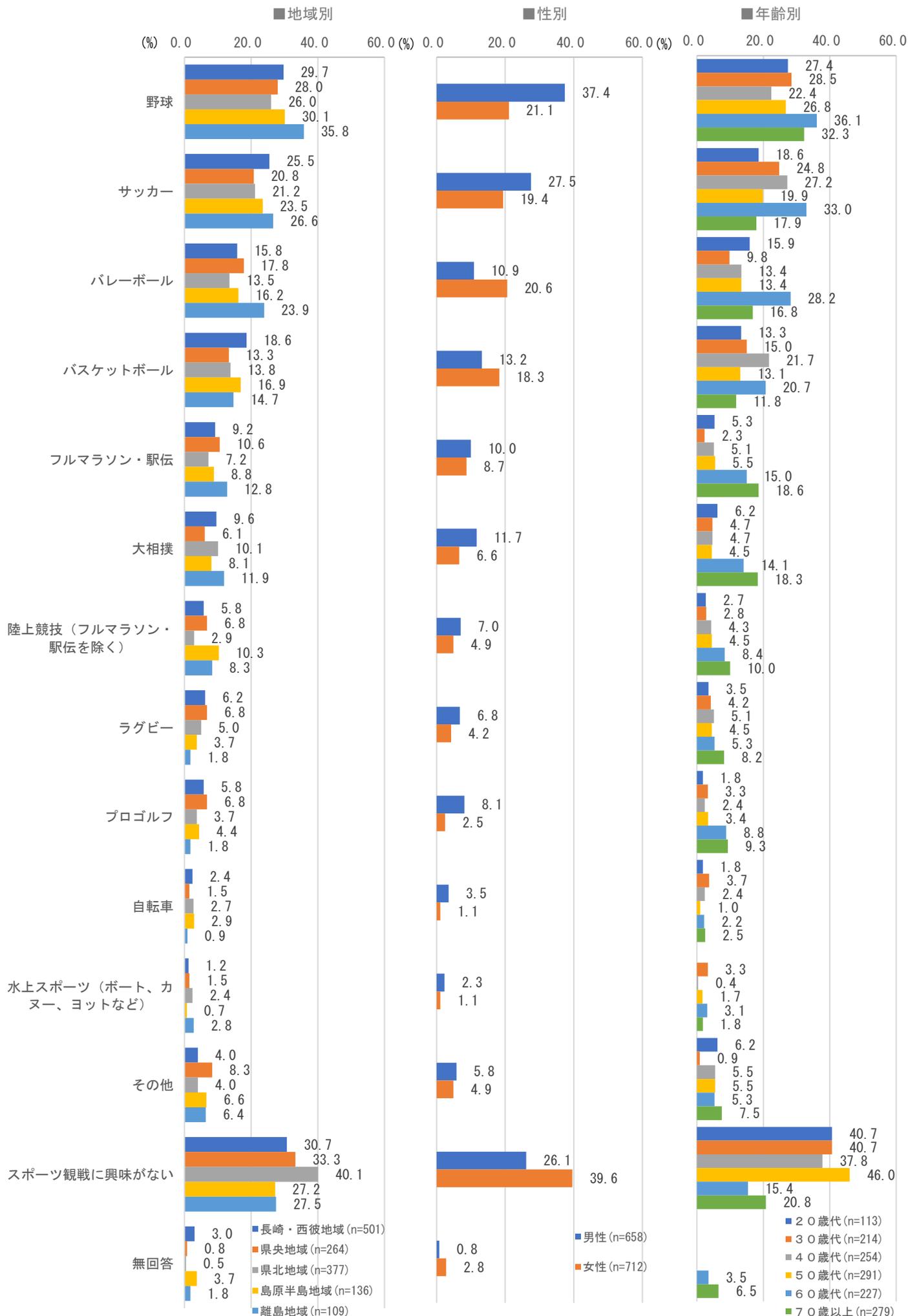
全体では、「野球」が28.9%で最も多く、次いで「サッカー」が23.6、「バレーボール」が16.3%の順で続いている。
 一方、「スポーツ観戦に興味がない」が33.1%と前回調査より16.9ポイント増加(倍増)している。また、いずれの競技も前回調査を下回っており、最も減少が大きかったのは「ラグビー」の16.1ポイント減少となっている。

地域別	ややバラツキがあるものの全体の傾向との相違はみられない。
性別	全体の傾向との相違は「男性」は「バスケット」が3位項目、「女性」は「バレーボール」が2位項目に上がっている。
年齢別	バラツキがあるものの全体の傾向との相違はみられない。
職業別 収入別 休日形態別	母数にバラツキがあり、著しく少ないものが多いため個別の分析は行っていない。



【参考：前回調査（令和2年度）】





参考：上位3項目の属性別集計

「市町別」、「収入別」、「休日形態別」は母数が小さなものが多いため表示していない。



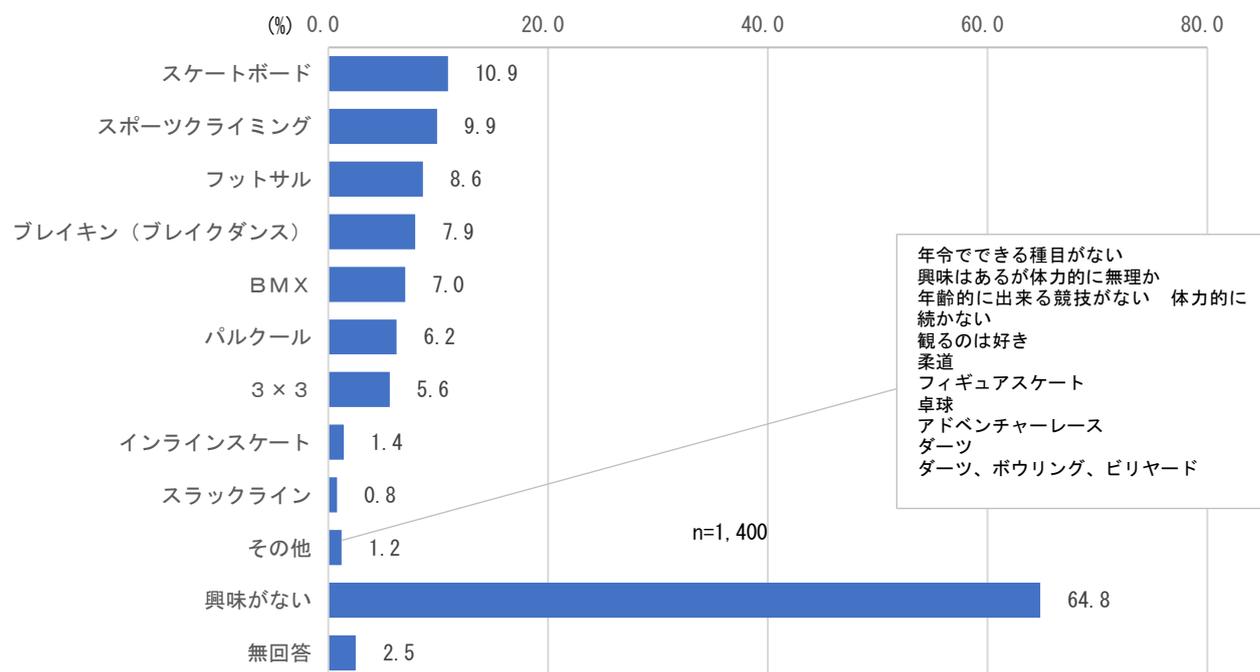
10. アーバンスポーツについて

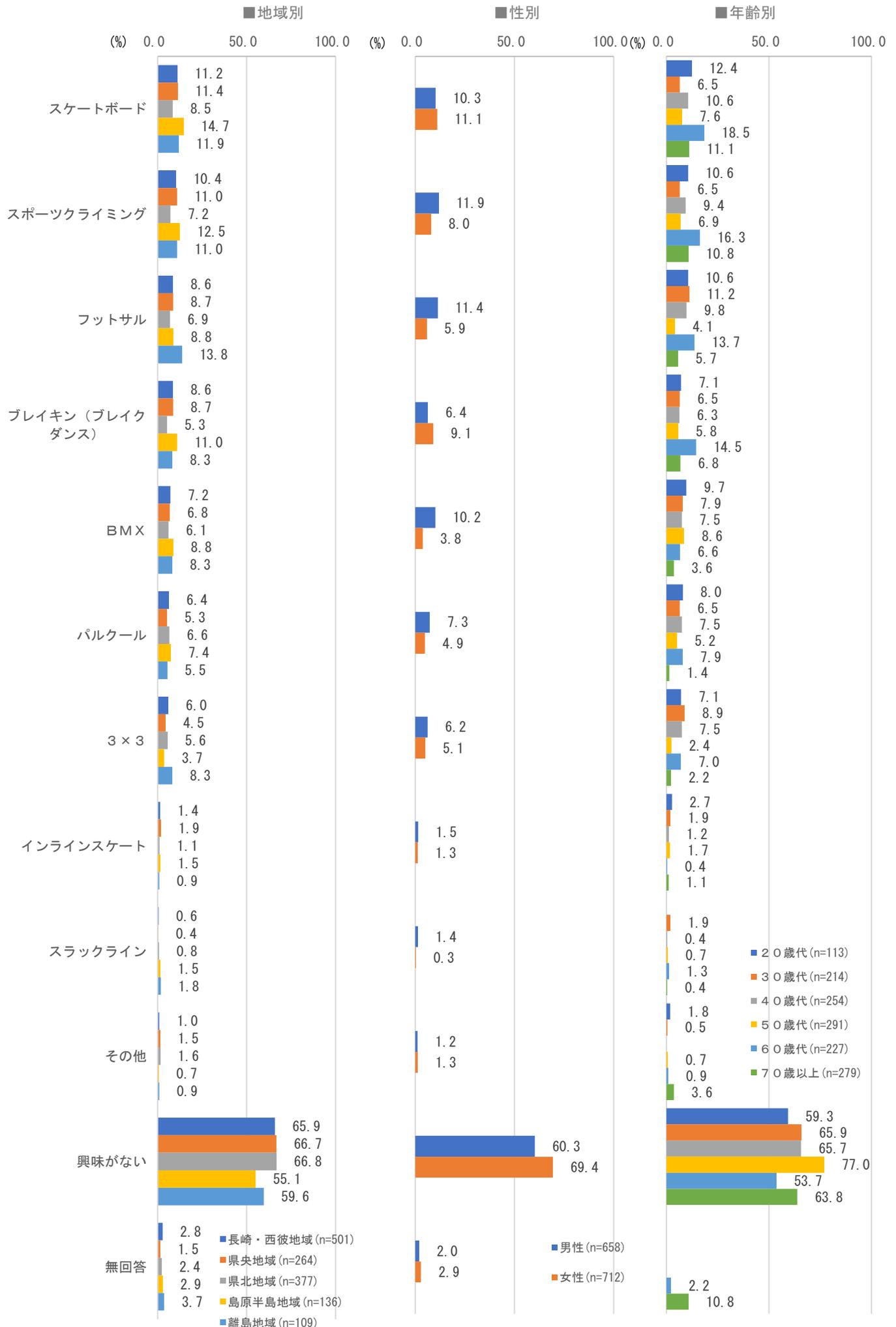
(1) アーバンスポーツのどの競技に興味がありますか。主なものを3つまで選んでください。
(MA)

64.8%がアーバンスポーツに興味がない。

全体では、「スケートボード」が10.9%で最も多く、次いで「スポーツクライミング」が9.9%、「フットサル」が8.6%の順で続いている。
一方、「興味がない」は64.8%と過半数がアーバンスポーツに関心を示していない。

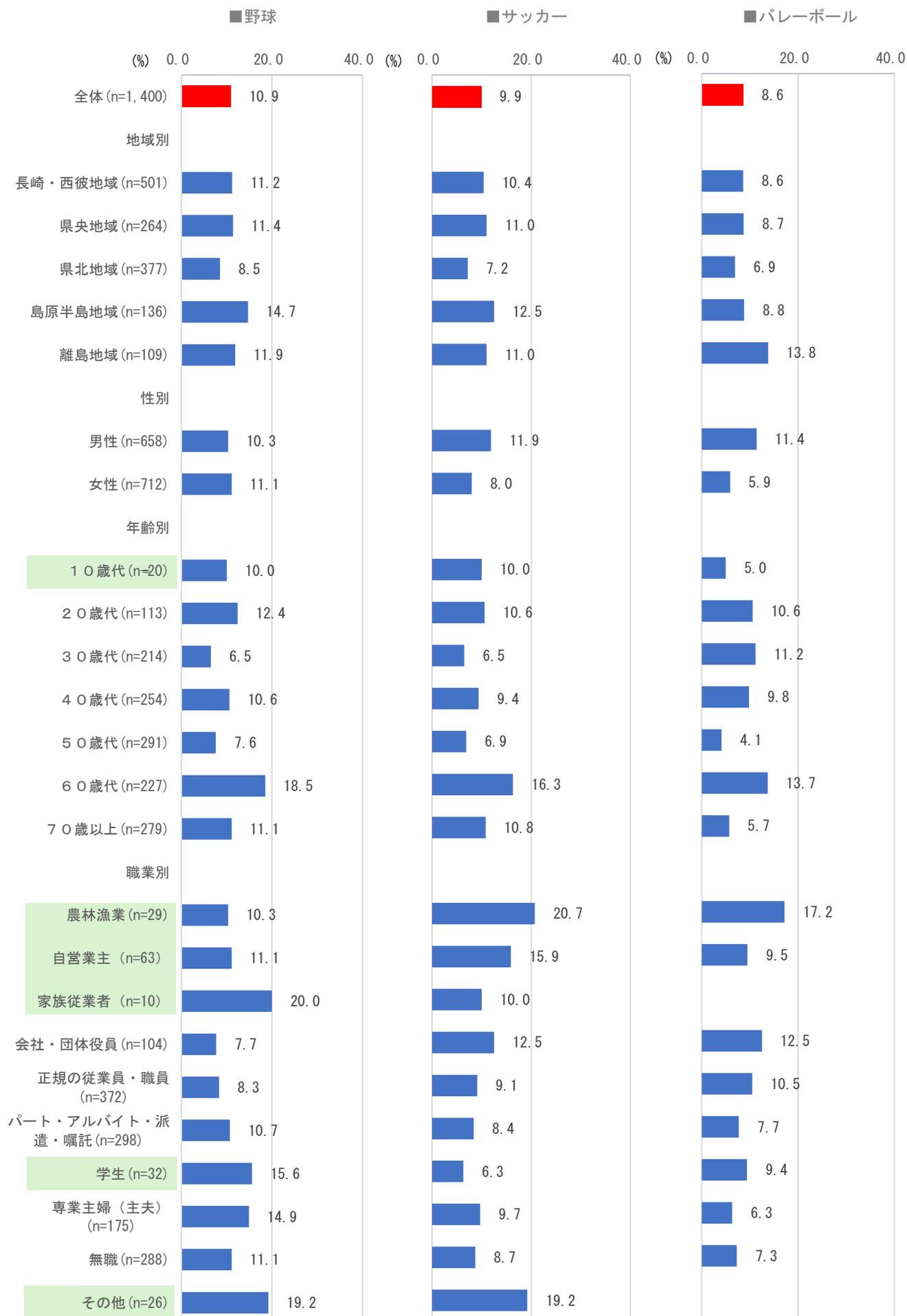
地域別	全体の傾向との相違はみられないが、「長崎・西彼地域」「県央地域」「県北地域」は「興味がない」がやや高くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが「興味がない」は「女性」が「男性」よりも9.1ポイント高くなっている。
年齢別	全体の傾向との大きな相違はみられないが「興味がない」は「50歳代」が最も高くなっている。
職業別 収入別 休日形態別	母数にバラツキがあり、著しく少ないものが多いため個別の分析は行っていない。





参考：上位3項目の属性別集計

「市町別」、「収入別」、「休日形態別」は母数が小さなものが多いため表示していない。

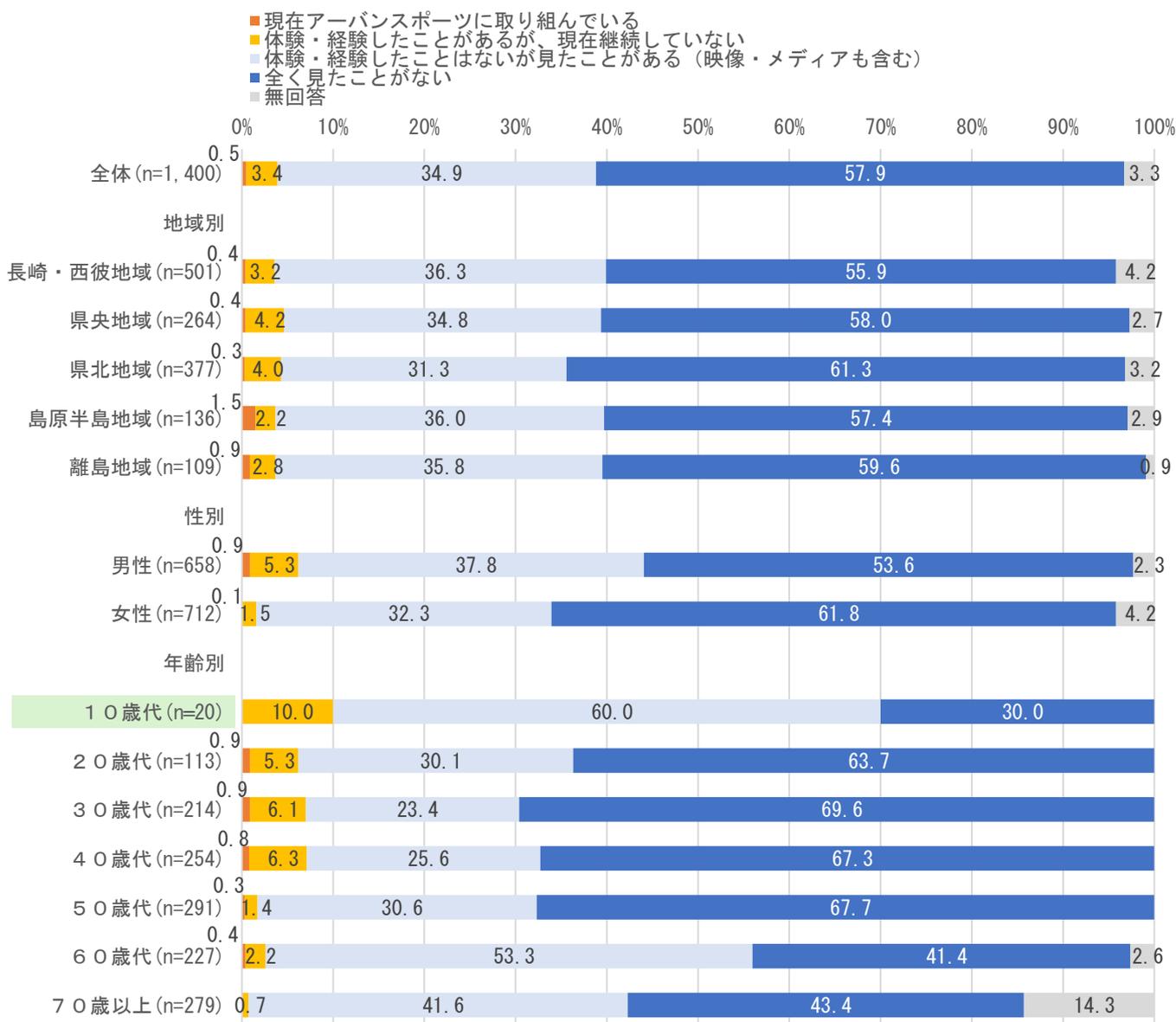


(2) あなたのアーバンスポーツとの関係性を教えてください。(SA)

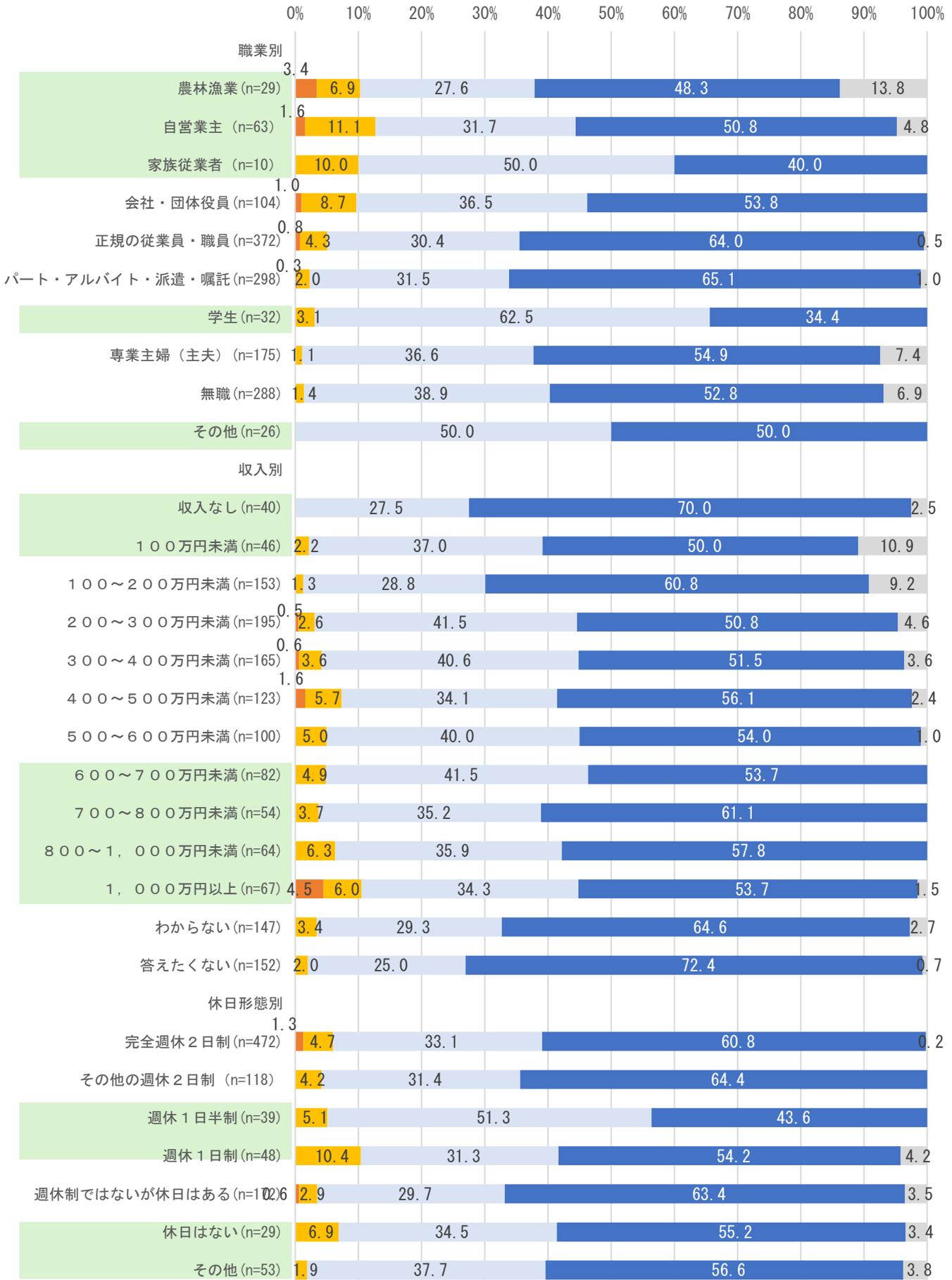
アーバンスポーツ体験者は 3.9%

全体では、「全く見たことがない」が 57.9%で最も多く、次いで「体験・経験したことはないが見たことがある (映像・メディアも含む)」は 34.9%、「体験・経験したことがあるが、現在継続していない」が 3.4%と続いており、「体験した (『現在アーバンスポーツに取り組んでいる』+『体験・経験したことがあるが、現在継続していない』)」は 3.9%となっている。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられず、地域による差はみられない。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、体験者は「男性」が「女性」よりも 4.6 ポイント高くなっている。
年齢別	バラツキはあるものの全体の傾向との相違はみられないが、体験者は「60 歳代」「70 歳以上」が低くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「会社・団体役員」は体験者が他の職業と比べ費用をかける割合が高くなっている。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。



- 現在アーバンスポーツに取り組んでいる
- 体験・経験したことがあるが、現在継続していない
- 体験・経験したことはないが見たことがある（映像・メディアも含む）
- 全く見たことがない
- 無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

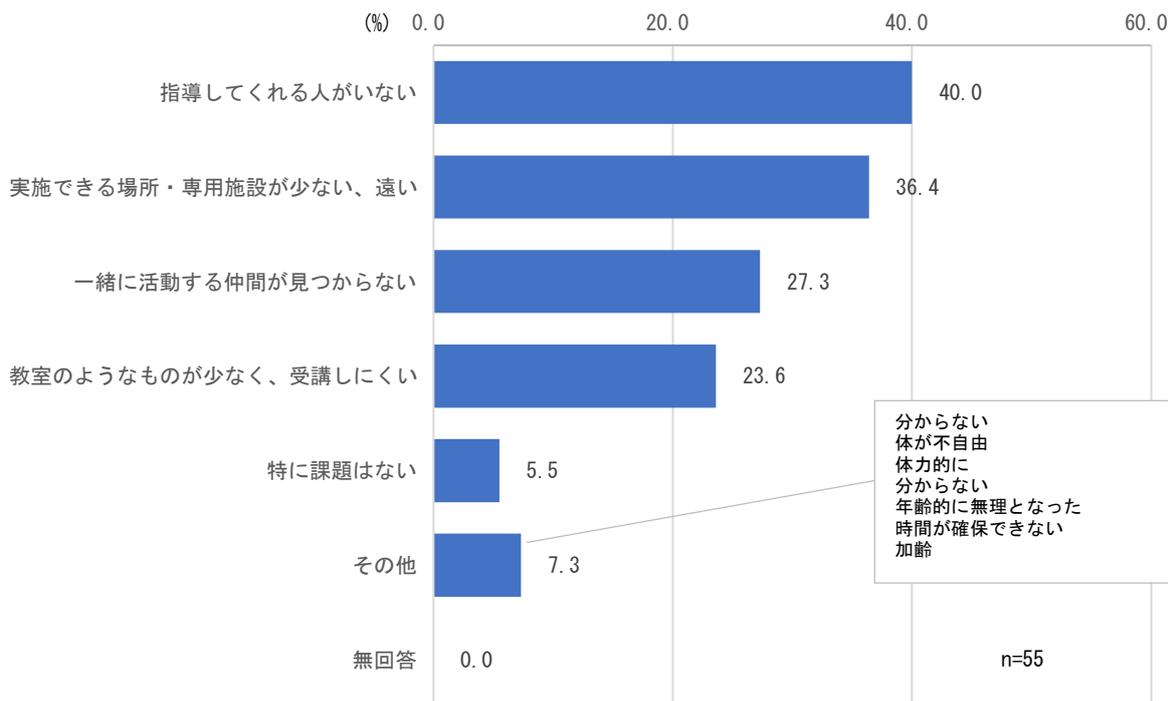
上段：度数 下段：%	合計	現在アーバン スポーツに取り 組んでいる	体験・経験し たことがある が、現在継続 していない	体験・経験し たことはない が見たことが ある（映像・ メディアも含 む）	全く見たこと がない	無回答
長崎市	433 100.0	2 0.5	14 3.2	152 35.1	246 56.8	19 4.4
長与町	38 100.0	- -	1 2.6	16 42.1	20 52.6	1 2.6
時津町	30 100.0	- -	1 3.3	14 46.7	14 46.7	1 3.3
佐世保市	258 100.0	1 0.4	13 5.0	79 30.6	162 62.8	3 1.2
平戸市	28 100.0	- -	- -	10 35.7	16 57.1	2 7.1
松浦市	19 100.0	- -	- -	7 36.8	9 47.4	3 15.8
西海市	18 100.0	- -	- -	4 22.2	13 72.2	1 5.6
小値賀町	4 100.0	- -	- -	1 25.0	3 75.0	- -
佐々町	12 100.0	- -	1 8.3	3 25.0	8 66.7	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	- -	3 37.5	4 50.0	1 12.5
川棚町	22 100.0	- -	1 4.5	7 31.8	14 63.6	- -
波佐見町	12 100.0	- -	- -	5 41.7	5 41.7	2 16.7
島原市	34 100.0	1 2.9	- -	15 44.1	18 52.9	- -
雲仙市	36 100.0	- -	2 5.6	7 19.4	25 69.4	2 5.6
南島原市	66 100.0	1 1.5	1 1.5	27 40.9	35 53.0	2 3.0
諫早市	134 100.0	1 0.7	5 3.7	41 30.6	83 61.9	4 3.0
大村市	130 100.0	- -	6 4.6	51 39.2	70 53.8	3 2.3
対馬市	17 100.0	- -	1 5.9	5 29.4	11 64.7	- -
壱岐市	25 100.0	- -	1 4.0	9 36.0	14 56.0	1 4.0
五島市	39 100.0	1 2.6	- -	14 35.9	24 61.5	- -
新上五島町	24 100.0	- -	1 4.2	10 41.7	13 54.2	- -
上記以外	13 100.0	- -	- -	8 61.5	4 30.8	1 7.7

(3) アーバンスポーツを行ううえでの課題は何ですか。あてはまるものすべて選んでください。(MA)

「指導してくれる人がいない」が40.0%でトップ

全体では、「指導してくれる人がいない」が40.0%で最も多く、次いで「実施できる場所・専用施設が少ない、遠い」が36.4%、「一緒に活動する仲間が見つからない」が27.3%の順で続いている。

※他区分は母数著しく少ないものが多いため個別の分析は行っていない。

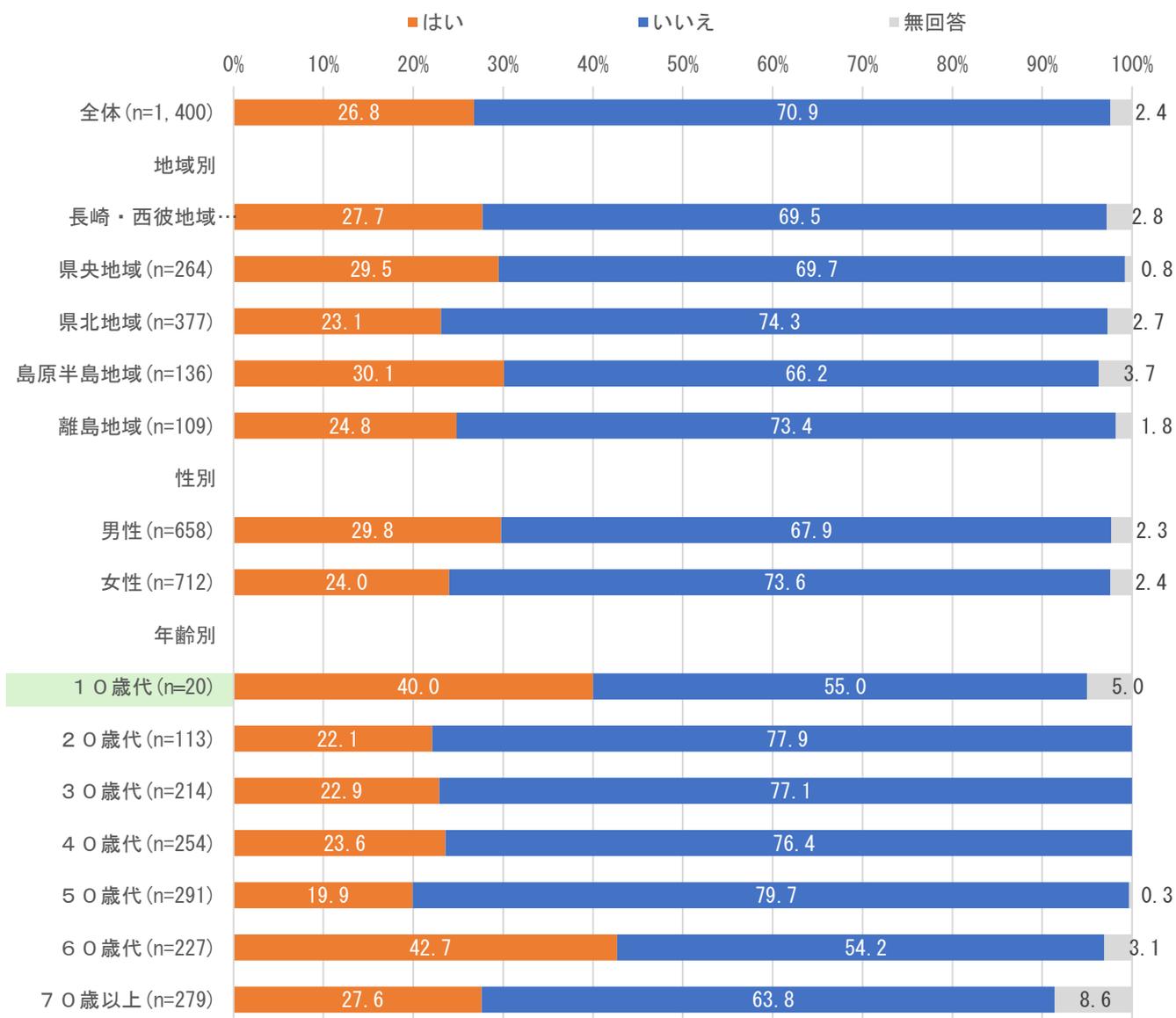


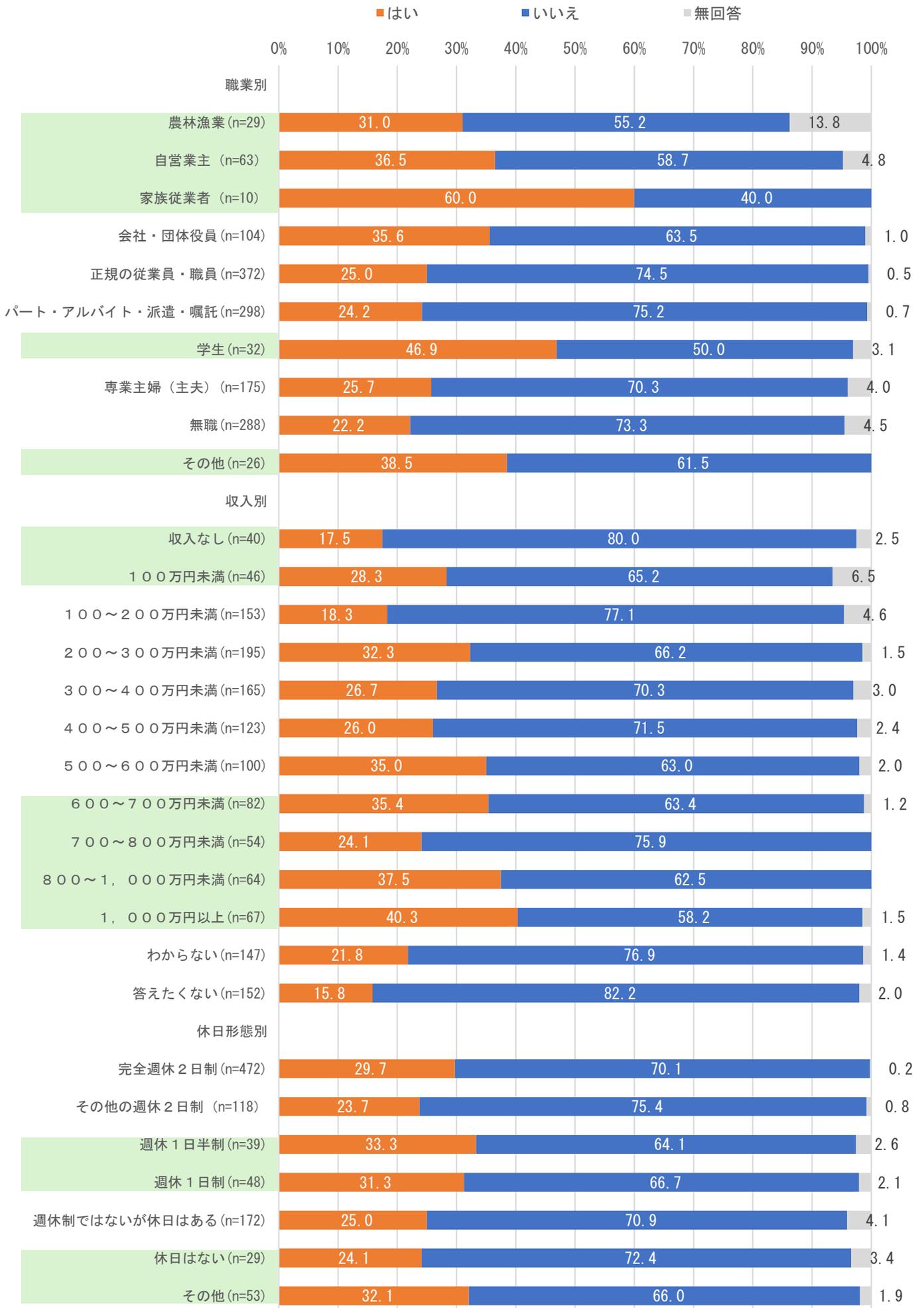
(4) 一流の選手が参加するアーバンスポーツの大会やデモンストレーションを実際に観戦したいと思いますか。(SA)

70.9%がアーバンスポーツの観戦に興味がない

全体では、「いいえ」が70.9%で、「はい」が26.8%となっている。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられず、地域による差はみられない。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、「はい」は「男性」が「女性」よりも5.8ポイント高くなっている。
年齢別	バラツキはあるものの全体の傾向との相違はみられないが、「はい」は「60歳代」が15ポイント以上高くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「100～200万円未満」は他収入帯よりも低くなっている。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。





※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	はい	いいえ	無回答
長崎市	433 100.0	121 27.9	299 69.1	13 3.0
長与町	38 100.0	12 31.6	26 68.4	- -
時津町	30 100.0	6 20.0	23 76.7	1 3.3
佐世保市	258 100.0	65 25.2	190 73.6	3 1.2
平戸市	28 100.0	7 25.0	19 67.9	2 7.1
松浦市	19 100.0	2 10.5	15 78.9	2 10.5
西海市	18 100.0	1 5.6	16 88.9	1 5.6
小値賀町	4 100.0	- -	4 100.0	- -
佐々町	12 100.0	2 16.7	10 83.3	- -
東彼杵町	8 100.0	1 12.5	7 87.5	- -
川棚町	22 100.0	5 22.7	17 77.3	- -
波佐見町	12 100.0	4 33.3	6 50.0	2 16.7
島原市	34 100.0	11 32.4	23 67.6	- -
雲仙市	36 100.0	8 22.2	26 72.2	2 5.6
南島原市	66 100.0	22 33.3	41 62.1	3 4.5
諫早市	134 100.0	37 27.6	96 71.6	1 0.7
大村市	130 100.0	41 31.5	88 67.7	1 0.8
対馬市	17 100.0	3 17.6	14 82.4	- -
壱岐市	25 100.0	8 32.0	15 60.0	2 8.0
五島市	39 100.0	11 28.2	28 71.8	- -
新上五島町	24 100.0	5 20.8	19 79.2	- -
上記以外	13 100.0	3 23.1	10 76.9	- -

1 1. サイクルツーリズムについて

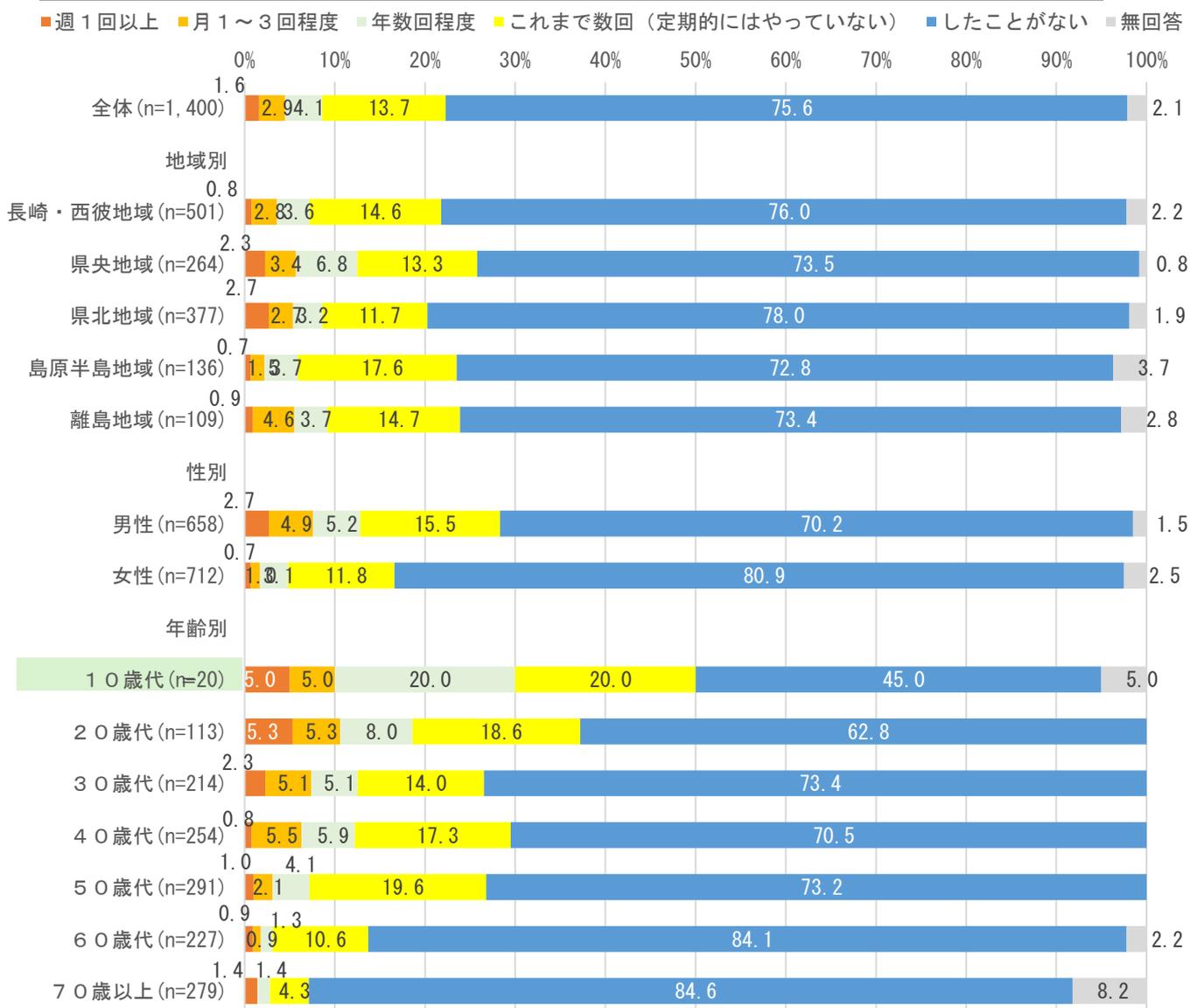
(1) あなたは最近、どれくらいの頻度でサイクリング（楽しむことを目的とした自転車の遠乗り）をしていますか。(SA)

75.6%がサイクリングの経験がない。

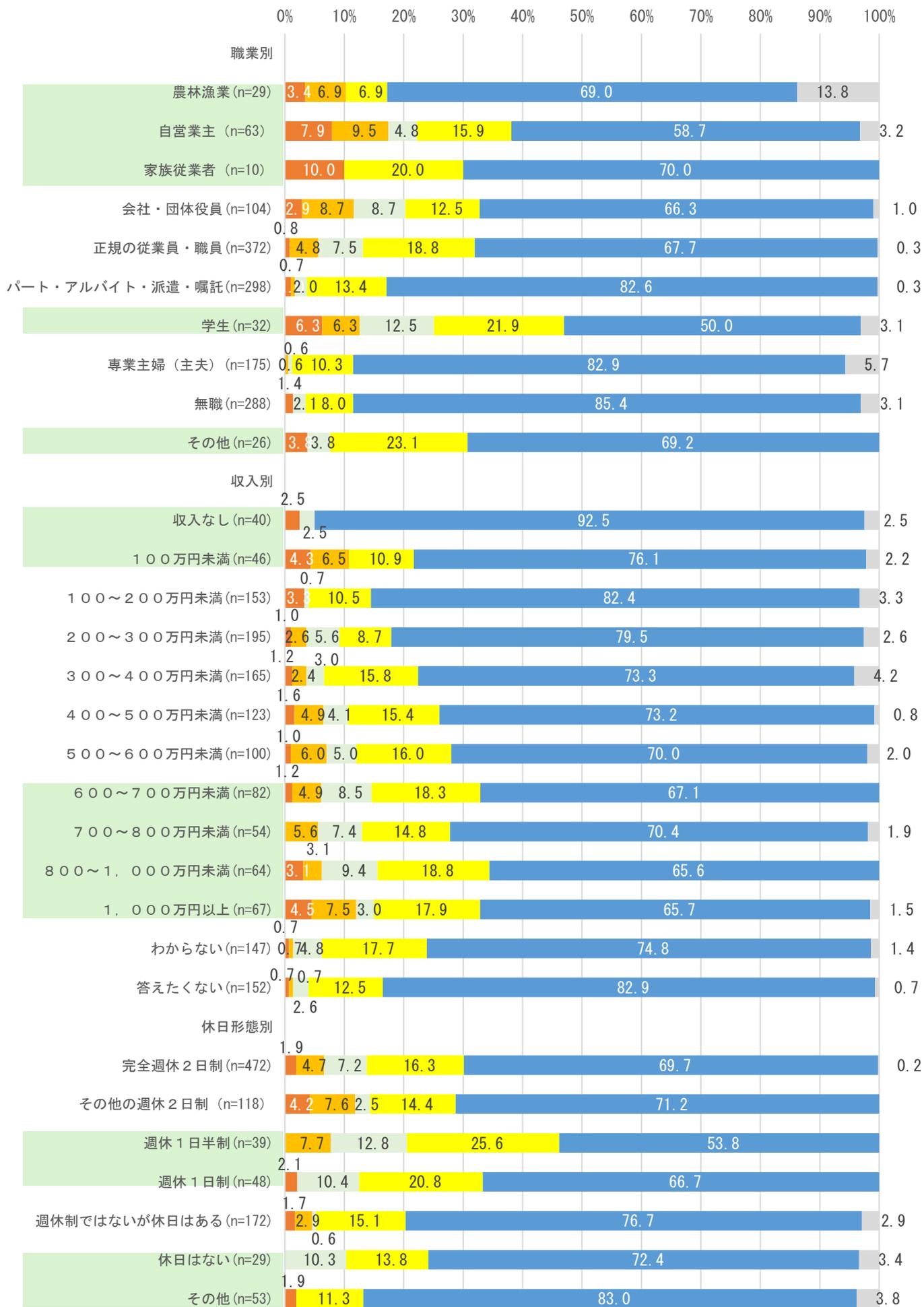
全体では、「これまで数回（定期的にはやっていない）」が13.7%で最も多く、次いで「年数回程度」が4.1%、「月1～3回程度」が2.9%の順で続いており、「サイクリング経験あり」は22.3%となっている。

一方、「したことがない」は75.6%と3/4以上がサイクリングの経験がない。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられず大きな差はないが、サイクリング経験があるのは「県央地域」が最も高く、「県北地域」が最も低い。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、サイクリング経験があるのは「男性」が「女性」よりも11.7ポイント高くなっている。
年齢別	バラツキはあるものの全体の傾向との相違はみられないが、「60歳代」「70歳以上」は84%以上がサイクリング経験はない。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「パート・アルバイト・派遣・嘱託」「専業主婦（主夫）」「無職」のサイクリング経験者は10%台と低い。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「100～200万円未満」「200～300万円未満」のサイクリング経験者は10%台と低い。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。



■週1回以上 ■月1～3回程度 ■年数回程度 ■これまで数回（定期的にはやっていない） ■したことがない ■無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

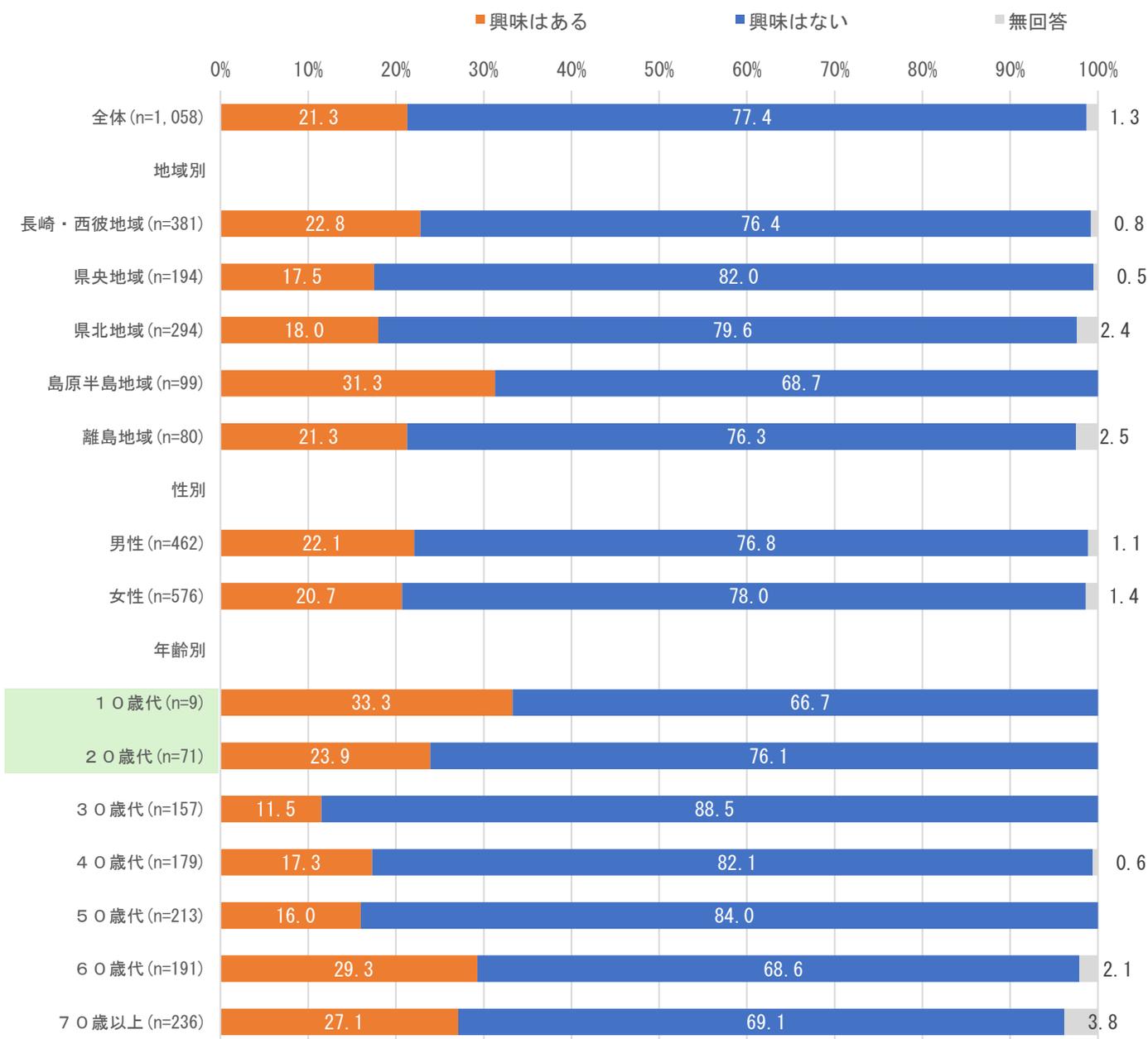
上段：度数 下段：%	合計	週1回以上	月1～3回 程度	年数回程度	これまで数 回（定期的 にはやって いない）	したことが ない	無回答
長崎市	433 100.0	3 0.7	14 3.2	14 3.2	64 14.8	328 75.8	10 2.3
長与町	38 100.0	- -	- -	2 5.3	6 15.8	30 78.9	- -
時津町	30 100.0	1 3.3	- -	2 6.7	3 10.0	23 76.7	1 3.3
佐世保市	258 100.0	10 3.9	8 3.1	8 3.1	28 10.9	200 77.5	4 1.6
平戸市	28 100.0	- -	- -	- -	3 10.7	24 85.7	1 3.6
松浦市	19 100.0	- -	1 5.3	1 5.3	3 15.8	14 73.7	- -
西海市	18 100.0	- -	- -	- -	3 16.7	14 77.8	1 5.6
小値賀町	4 100.0	- -	- -	- -	- -	4 100.0	- -
佐々町	12 100.0	- -	- -	- -	3 25.0	9 75.0	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	- -	1 12.5	- -	7 87.5	- -
川棚町	22 100.0	- -	1 4.5	2 9.1	2 9.1	17 77.3	- -
波佐見町	12 100.0	- -	- -	- -	2 16.7	9 75.0	1 8.3
島原市	34 100.0	- -	1 2.9	1 2.9	8 23.5	24 70.6	- -
雲仙市	36 100.0	- -	- -	2 5.6	7 19.4	25 69.4	2 5.6
南島原市	66 100.0	1 1.5	1 1.5	2 3.0	9 13.6	50 75.8	3 4.5
諫早市	134 100.0	3 2.2	2 1.5	9 6.7	23 17.2	97 72.4	- -
大村市	130 100.0	3 2.3	7 5.4	9 6.9	12 9.2	97 74.6	2 1.5
対馬市	17 100.0	- -	2 11.8	1 5.9	2 11.8	11 64.7	1 5.9
壱岐市	25 100.0	1 4.0	- -	1 4.0	4 16.0	17 68.0	2 8.0
五島市	39 100.0	- -	3 7.7	- -	6 15.4	30 76.9	- -
新上五島町	24 100.0	- -	- -	2 8.3	4 16.7	18 75.0	- -
上記以外	13 100.0	1 7.7	- -	1 7.7	- -	10 76.9	1 7.7

(2) サイクリングに興味はありますか。(SA)

77.4%がサイクリングに興味がない。

全体では、「興味はない」が77.4%で、「興味がある」が21.3%となっている。

地域別	全体の傾向との相違はみられないが、「興味がある」は「島原半島地域」が最も高く、「県央地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女の差はない。
年齢別	全体の傾向との大きな相違はみられないが「興味がある」は「60歳代」が最も高くなっている。
職業別 収入別 休日形態別	母数にバラツキがあり、著しく少ないものが多いため個別の分析は行っていない。



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

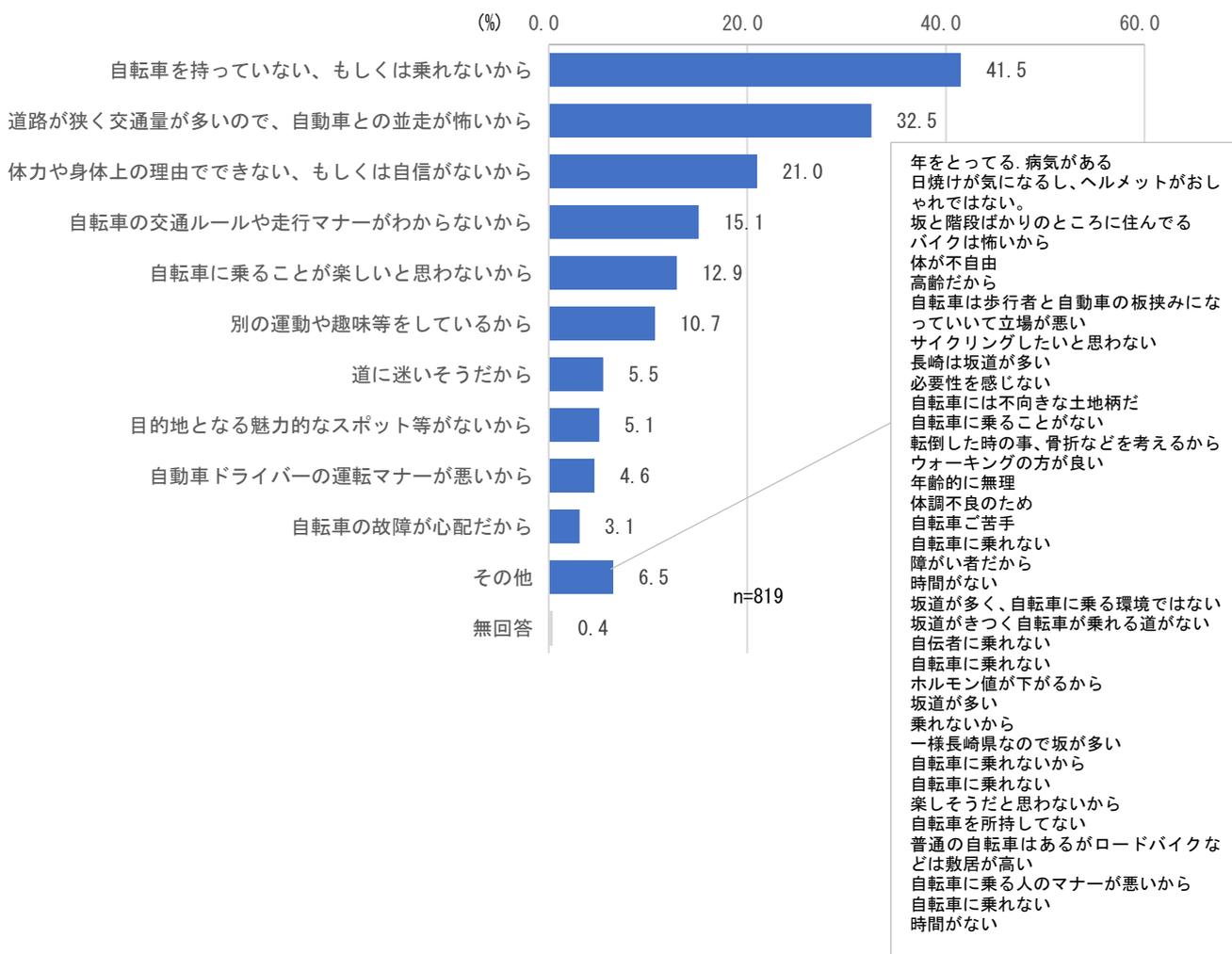
上段：度数 下段：%	合計	興味はある	興味はない	無回答
長崎市	328 100.0	73 22.3	252 76.8	3 0.9
長与町	30 100.0	9 30.0	21 70.0	- -
時津町	23 100.0	5 21.7	18 78.3	- -
佐世保市	200 100.0	37 18.5	158 79.0	5 2.5
平戸市	24 100.0	5 20.8	19 79.2	- -
松浦市	14 100.0	3 21.4	11 78.6	- -
西海市	14 100.0	1 7.1	13 92.9	- -
小値賀町	4 100.0	2 50.0	2 50.0	- -
佐々町	9 100.0	2 22.2	7 77.8	- -
東彼杵町	7 100.0	- -	5 71.4	2 28.6
川棚町	17 100.0	5 29.4	12 70.6	- -
波佐見町	9 100.0	- -	9 100.0	- -
島原市	24 100.0	6 25.0	18 75.0	- -
雲仙市	25 100.0	3 12.0	22 88.0	- -
南島原市	50 100.0	22 44.0	28 56.0	- -
諫早市	97 100.0	17 17.5	79 81.4	1 1.0
大村市	97 100.0	17 17.5	80 82.5	- -
対馬市	11 100.0	1 9.1	10 90.9	- -
壱岐市	17 100.0	4 23.5	11 64.7	2 11.8
五島市	30 100.0	7 23.3	23 76.7	- -
新上五島町	18 100.0	3 16.7	15 83.3	- -
上記以外	10 100.0	3 30.0	6 60.0	1 10.0

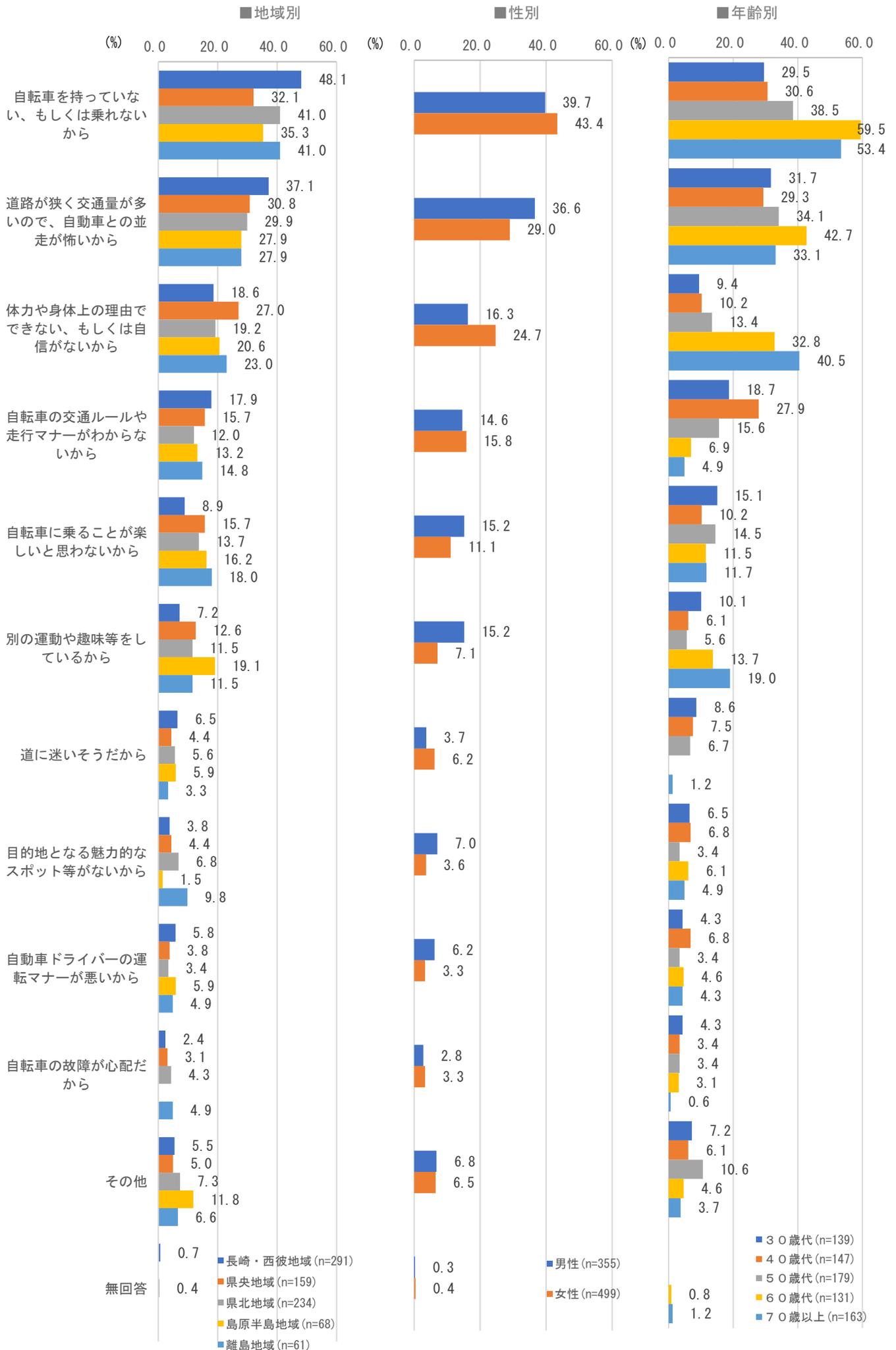
(3) サイクリングに興味がない理由を教えてください。主なものを3つまで選んでください。
(MA)

「自転車を持っていない、もしくは乗れないから」が41.5%でトップ。

全体では、「自転車を持っていない、もしくは乗れないから」が41.5%で最も多く、次いで「道路が狭く交通量が多いので、自動車との並走が怖いから」が32.5%、「体力や身体上の理由でできない、もしくは自信がないから」が21.0%の順で続いている。

地域別	全体の傾向との相違はみられないが、「興味がある」は「島原半島地域」が最も高く、「県央地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女の差はない。
年齢別	年代による順位の前後があり、「自転車を持っていない、もしくは乗れないから」「道路が狭く交通量が多いので、自動車との並走が怖いから」は70歳未満で1・2位項目となっているが、「70歳以上は」は「体力や身体上の理由でできない、もしくは自信がないから」が2位項目となっている。
職業別 収入別 休日形態別	母数にバラツキがあり、著しく少ないものが多いため個別の分析は行っていない。



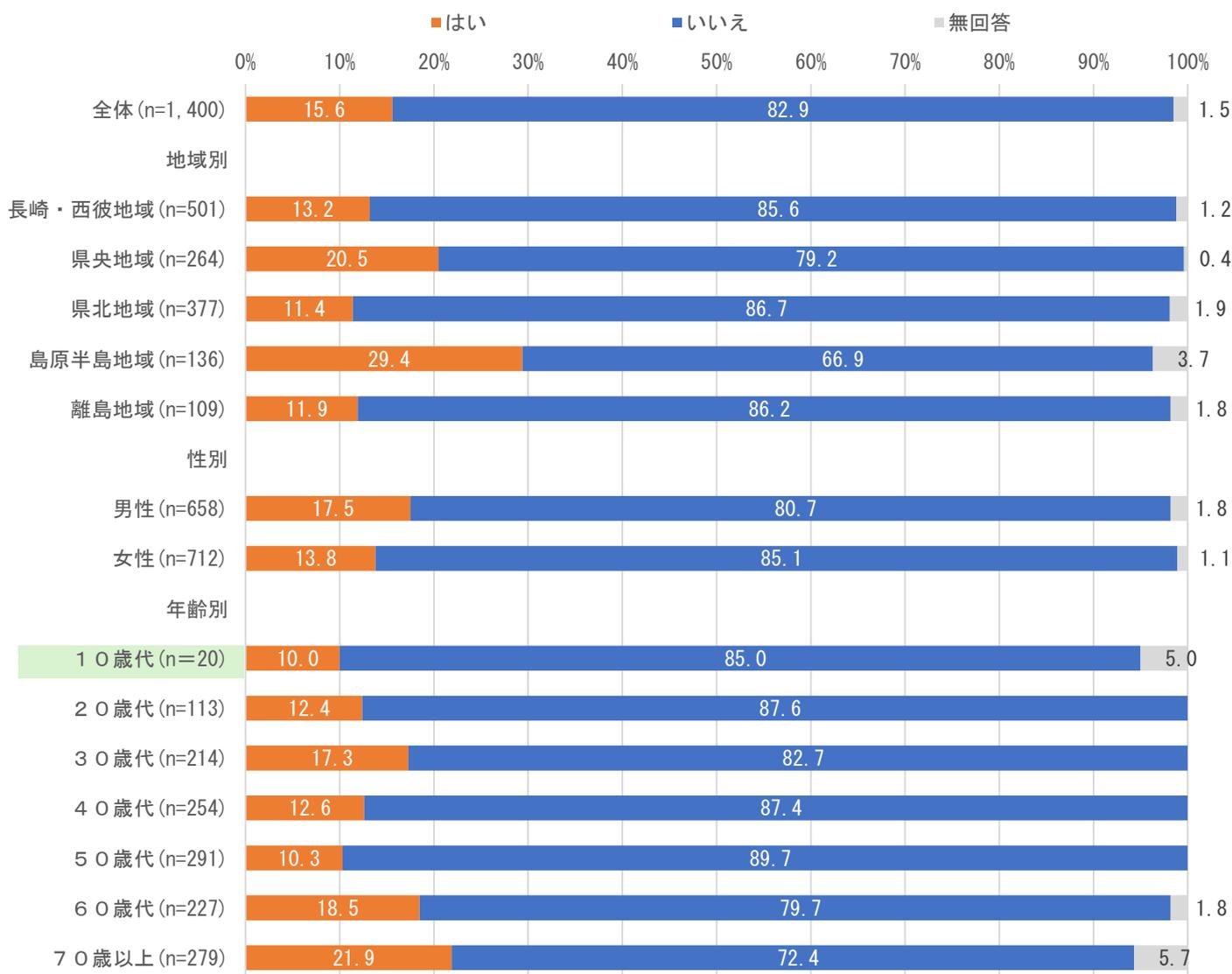


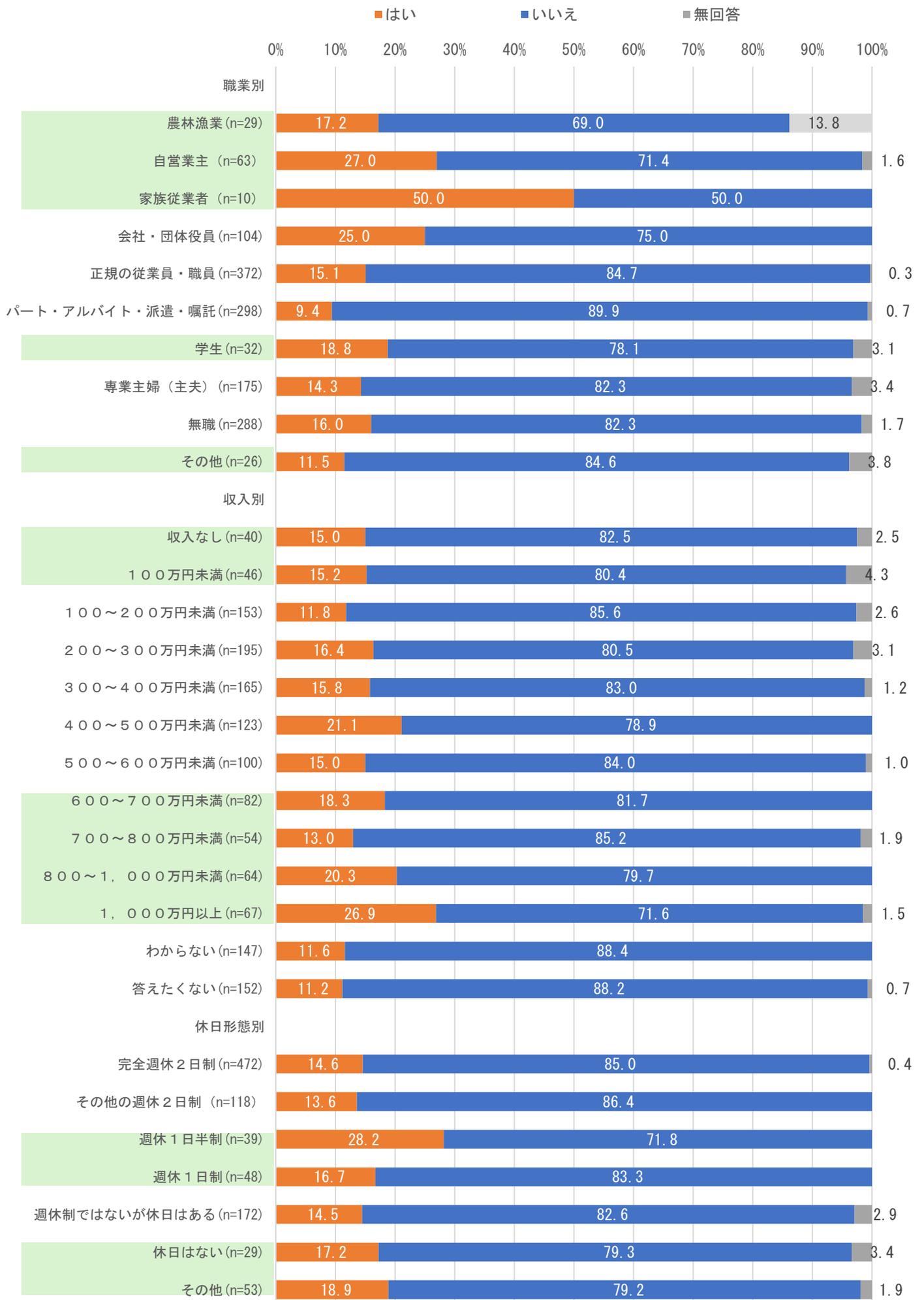
(4) 長崎県では、自転車で地域を巡り、沿線の魅力を楽しむ体験型・交流型旅行等を推進することを目的として「下五島ルート」「上五島ルート」「大村湾南部ルート」「島原半島一周ルート」という県内4つのモデルルートを設定しています。このことをご存じでしょうか。(SA)

認知度は15.6%

全体では、「いいえ」が82.9%で、「はい」が15.6%となっている。

地域別	全体の傾向との大きな相違はみられず大きな差はないが、認知度は「島原半島地域」が最も高く、「離島地域」が最も低い。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、認知度は「男性」が「女性」よりもやや高くなっている。
年齢別	バラツキはあるものの全体の傾向との相違はみられないが、認知度は「50歳代」が最も低く「70歳以上」が最も高い。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、認知度は「パート・アルバイト・派遣・嘱託」最も低くなっている。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、認知度は「100～200万円未満」が最も低くなっている。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。



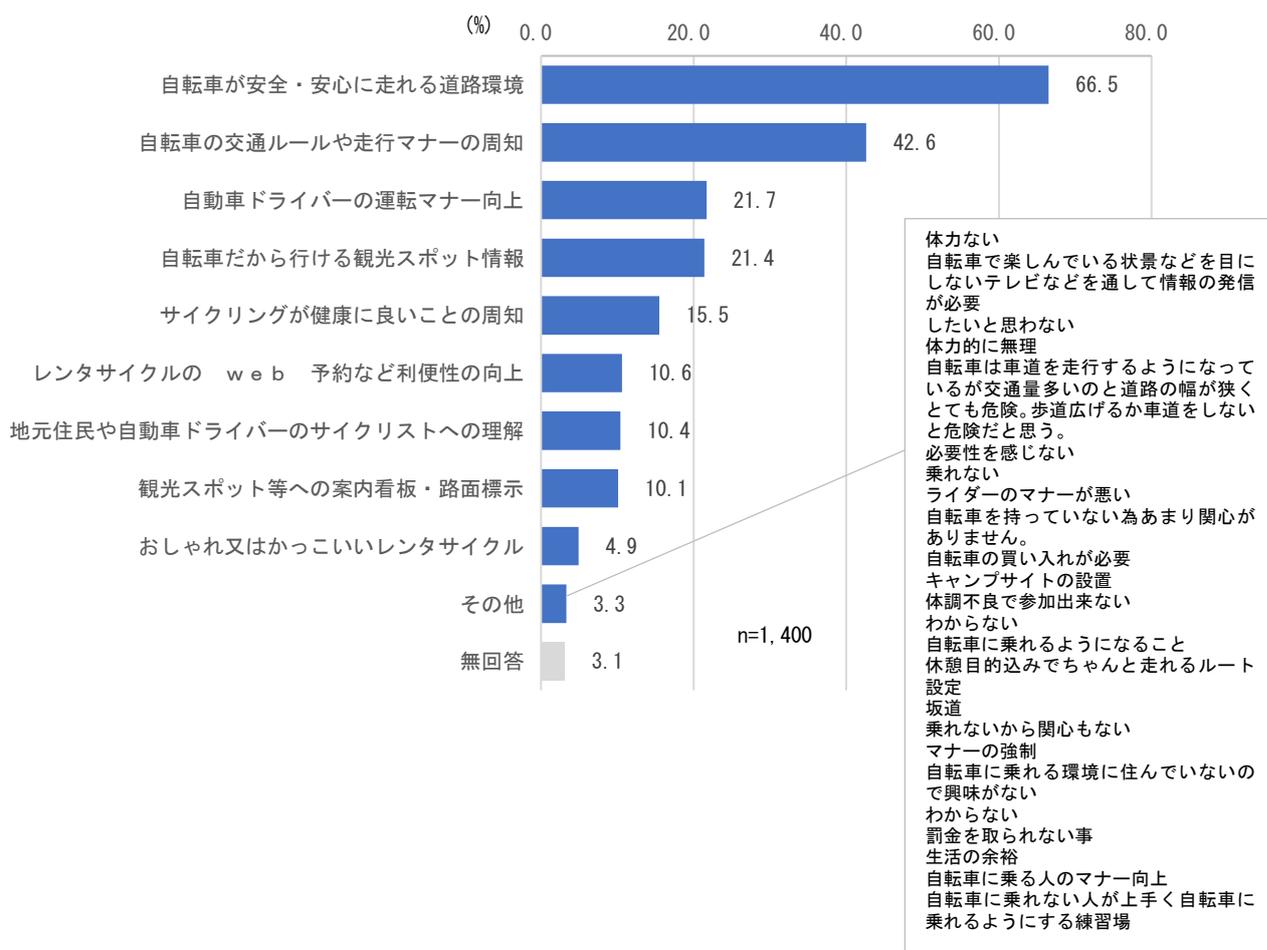


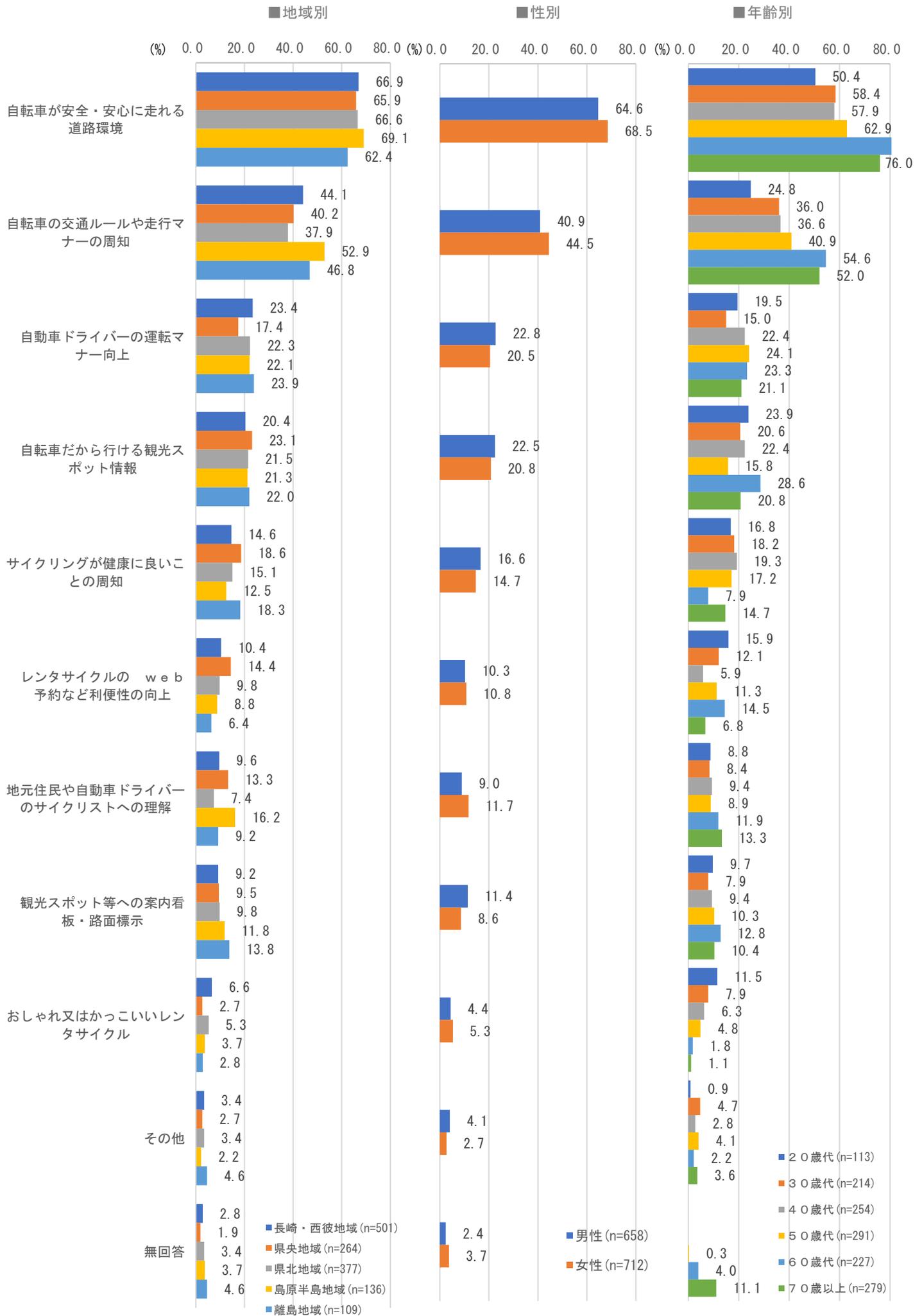
(5) サイクリングを行うにあたり、あなたが必要だと思うことについて教えてください。主なものを3つまで選んでください。(MA)

「自転車が安全・安心に走れる道路環境」が66.5%でトップ。

全体では、「自転車が安全・安心に走れる道路環境」が66.5%で最も多く、次いで「自転車の交通ルールや走行マナーの周知」が42.6%、「自動車ドライバーの運転マナー向上」が21.7%の順で続いている。

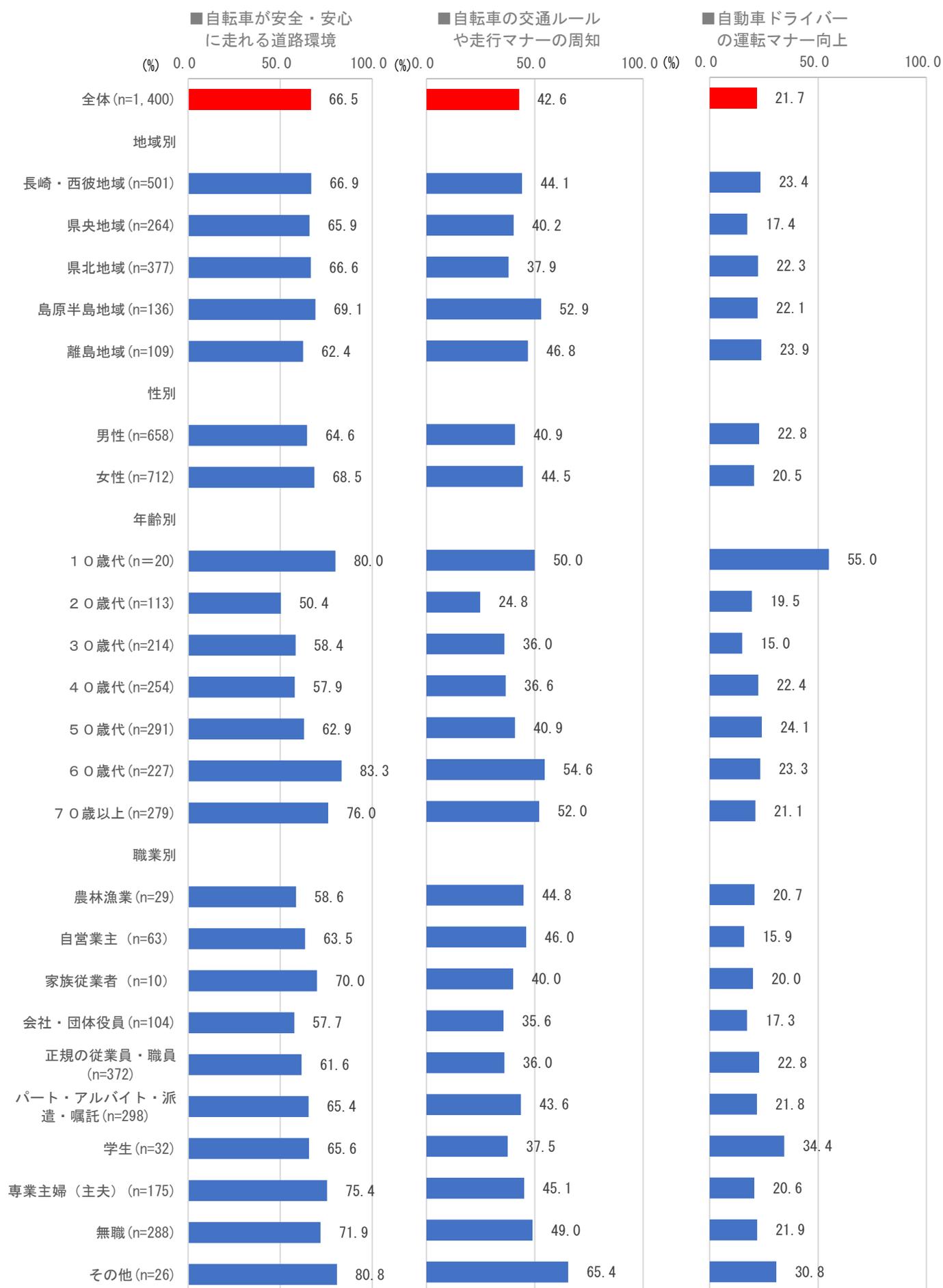
地域別	バラツキがあるものの全体の傾向との相違はみられない。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられず、男女の差はない。
年齢別	バラツキがあるものの全体の傾向との相違はみられないが、「自転車が安全・安心に走れる道路環境」、「自転車の交通ルールや走行マナーの周知」は年代の上昇とともに高くなる傾向がみられる。
職業別 収入別 休日形態別	母数にバラツキがあり、著しく少ないものが多いため個別の分析は行っていない。





参考：上位3項目の属性別集計

「市町別」、「収入別」、「休日形態別」は母数が小さなものが多いため表示していない。

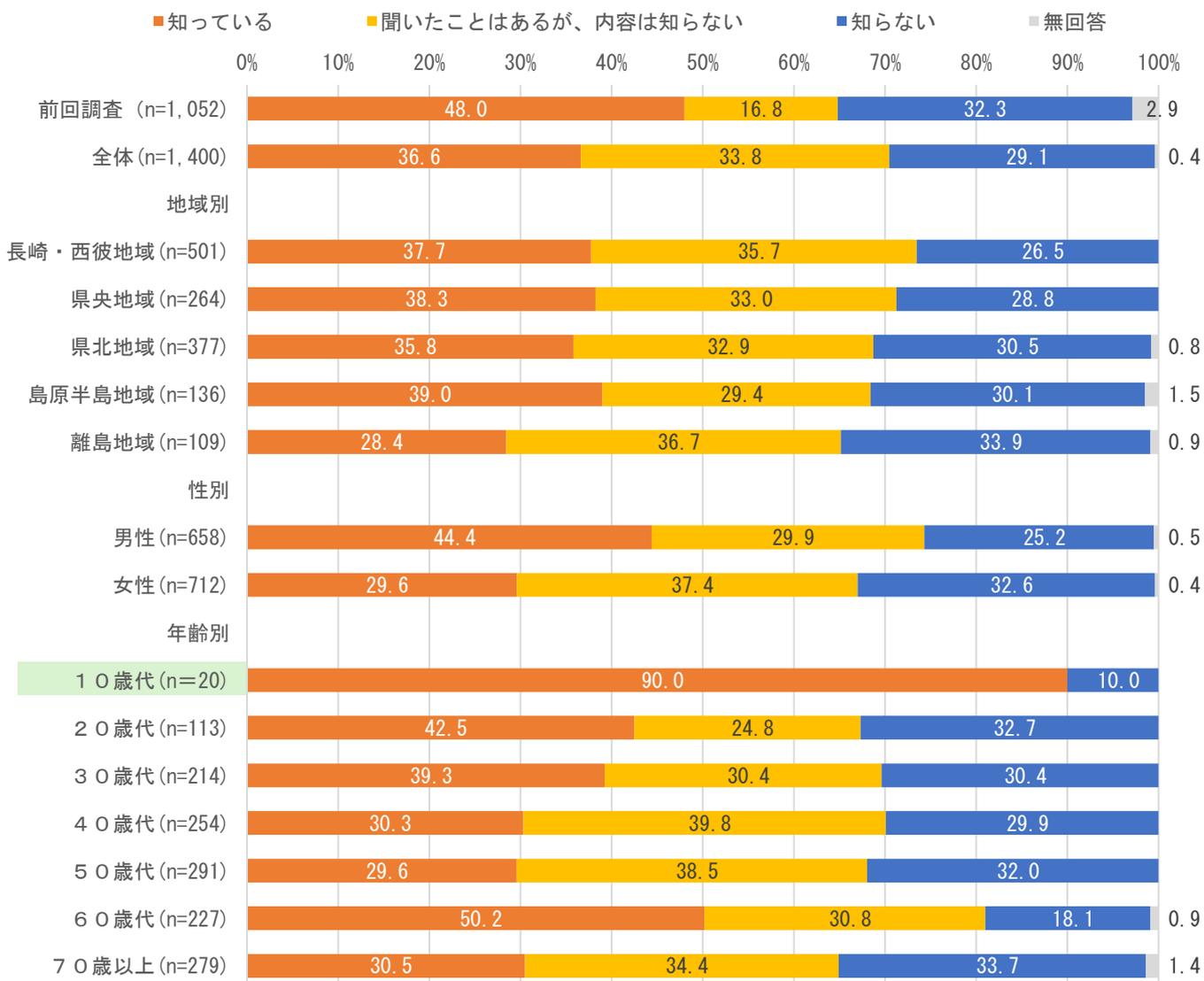


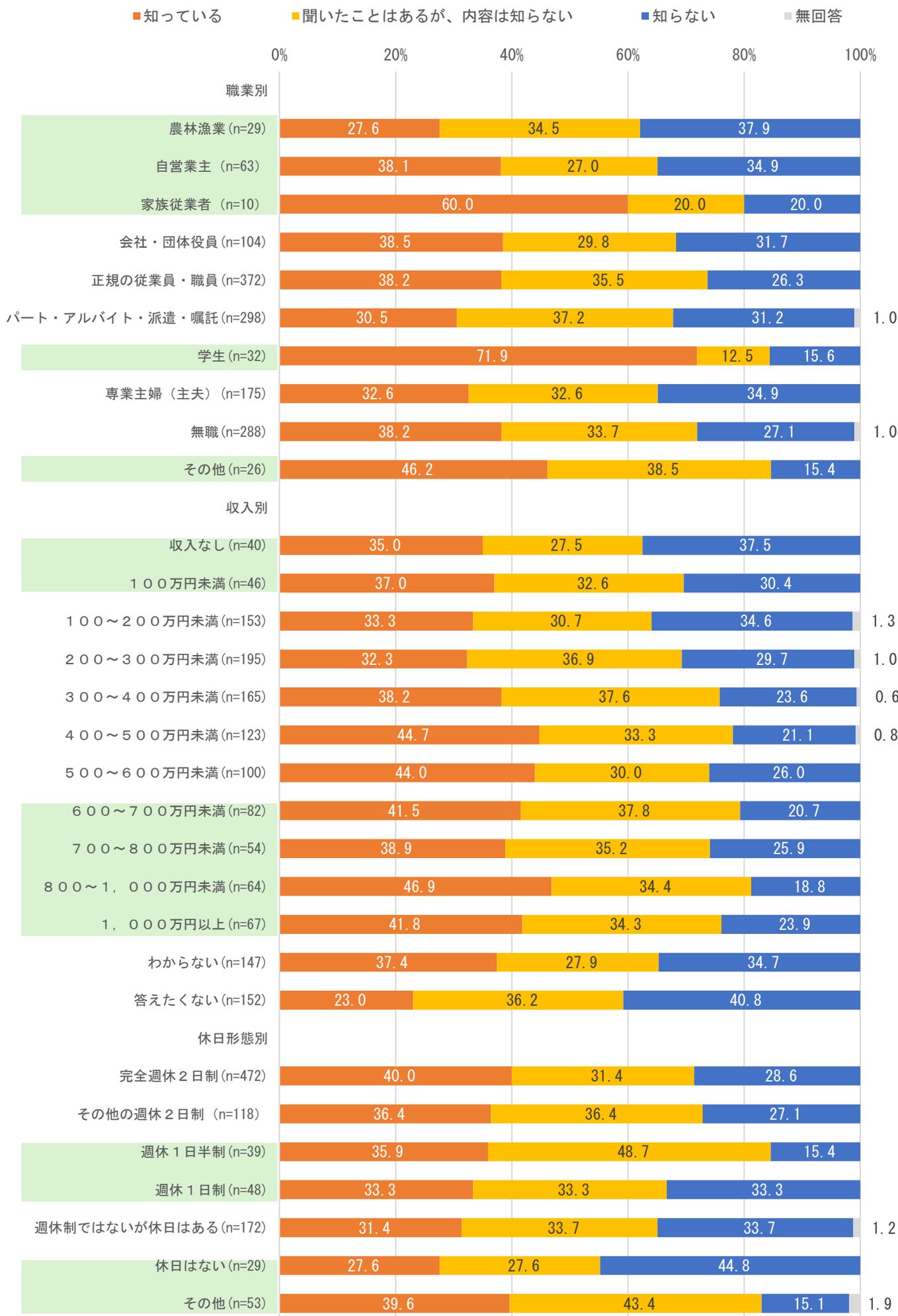
(1) あなたは、「eスポーツ」をご存知ですか。(SA)

eスポーツの認知度は70.4%、前回調査より5.6ポイント増加

全体では、「知っている」が36.6%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が33.8%、「知らない」が29.1%の順で続いており、「認知度（「知っている」+「聞いたことはあるが、内容は知らない」）」は70.4%となっている。
 前回調査と比べ認知度は5.6ポイント増加している。

地域別	全体の傾向との相違はみられないが、認知度は「長崎・西彼地域」が最も高く、「離島地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが認知度は「女性」が「男性」よりも7.3ポイント高くなっている。
年齢別	バラツキがあるものの全体の傾向との相違はみられないが、認知度は「60歳代」が最も高く、「70歳以上」が最も低くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが収入の増加に伴い認知度が高くなる傾向がみられる。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。





※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

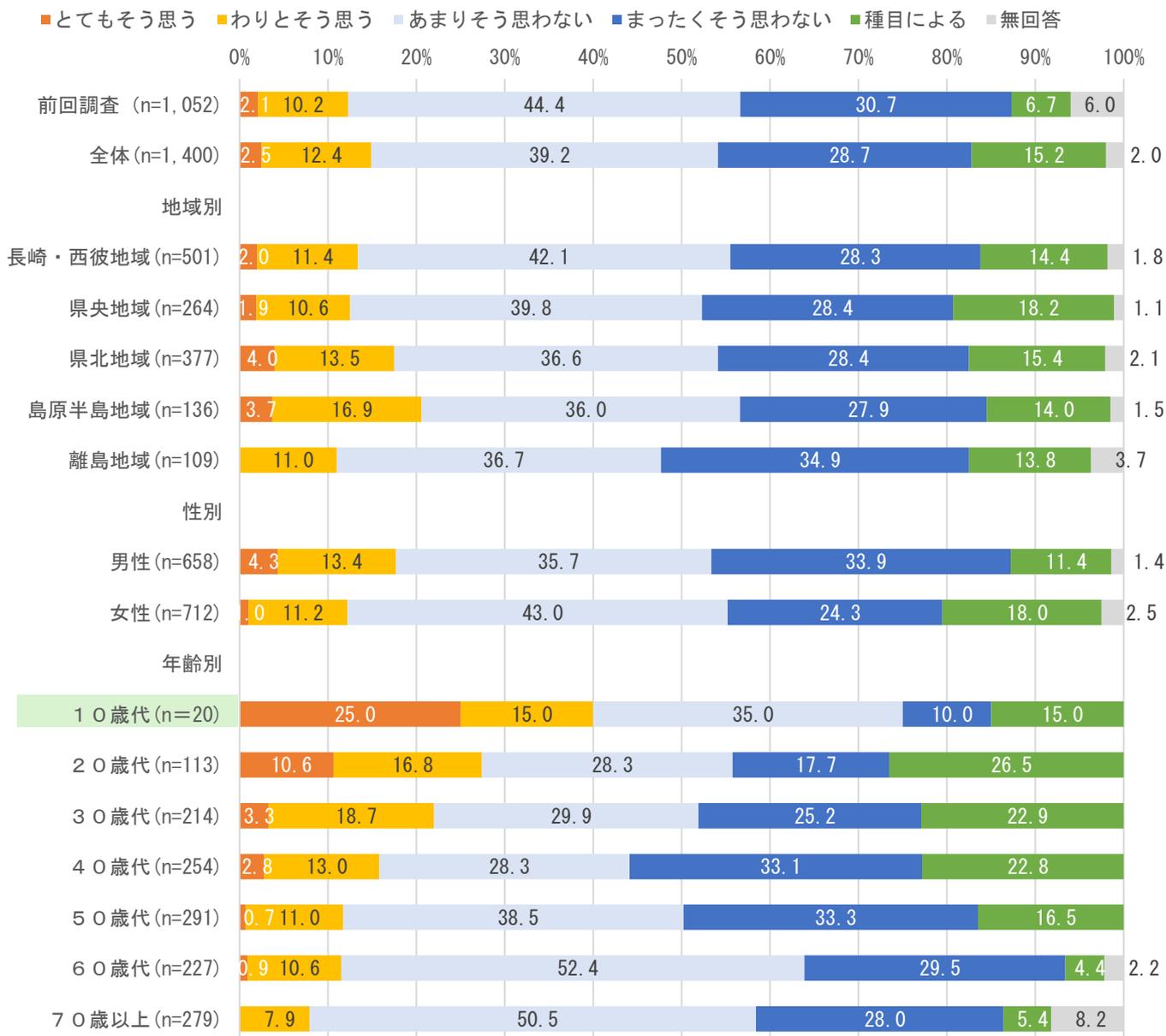
上段：度数 下段：%	合計	知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
長崎市	433 100.0	157 36.3	158 36.5	118 27.3	- -
長与町	38 100.0	18 47.4	13 34.2	7 18.4	- -
時津町	30 100.0	14 46.7	8 26.7	8 26.7	- -
佐世保市	258 100.0	101 39.1	84 32.6	72 27.9	1 0.4
平戸市	28 100.0	7 25.0	7 25.0	13 46.4	1 3.6
松浦市	19 100.0	4 21.1	10 52.6	5 26.3	- -
西海市	18 100.0	7 38.9	6 33.3	5 27.8	- -
小値賀町	4 100.0	- -	3 75.0	1 25.0	- -
佐々町	12 100.0	4 33.3	4 33.3	4 33.3	- -
東彼杵町	8 100.0	2 25.0	3 37.5	3 37.5	- -
川棚町	22 100.0	7 31.8	7 31.8	8 36.4	- -
波佐見町	12 100.0	3 25.0	3 25.0	5 41.7	1 8.3
島原市	34 100.0	10 29.4	12 35.3	12 35.3	- -
雲仙市	36 100.0	12 33.3	9 25.0	13 36.1	2 5.6
南島原市	66 100.0	31 47.0	19 28.8	16 24.2	- -
諫早市	134 100.0	51 38.1	43 32.1	40 29.9	- -
大村市	130 100.0	50 38.5	44 33.8	36 27.7	- -
対馬市	17 100.0	4 23.5	4 23.5	8 47.1	1 5.9
壱岐市	25 100.0	5 20.0	9 36.0	11 44.0	- -
五島市	39 100.0	15 38.5	13 33.3	11 28.2	- -
新上五島町	24 100.0	7 29.2	11 45.8	6 25.0	- -
上記以外	13 100.0	4 30.8	3 23.1	6 46.2	- -

(2) 「eスポーツ」をスポーツだと思いますか。(SA)

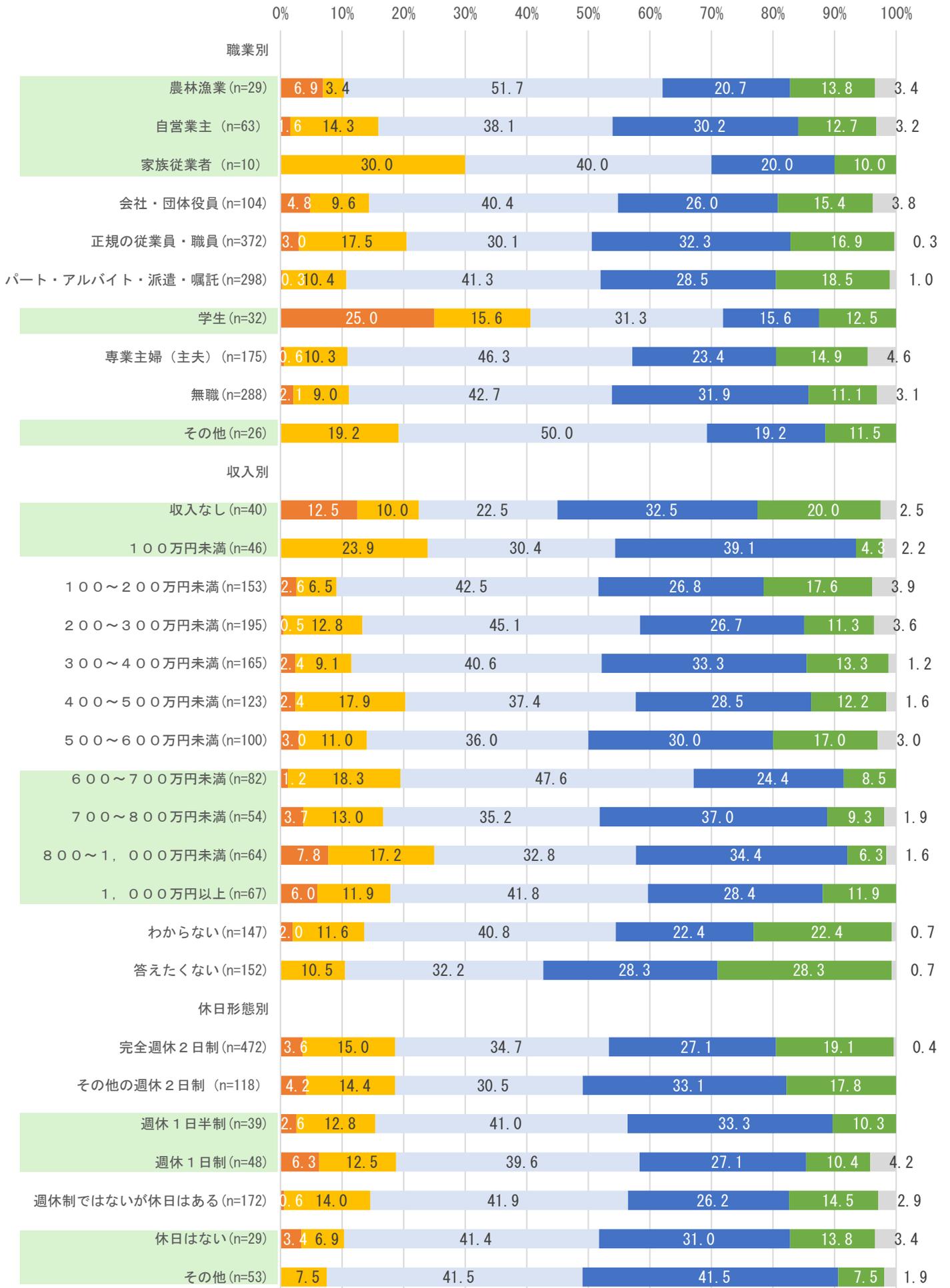
eスポーツをスポーツと認識しているのは14.9%、前回調査より2.6ポイント増加

全体では、「あまりそう思わない」が39.2%で最も多く、次いで「まったくそう思わない」が28.7%、「種目による」が15.2%の順で続いており、「スポーツと認識（「とてもそう思う」+「わりとそう思う）」は14.9%、「スポーツと思わない（「あまりそう思わない」+「まったくそう思わない）」は67.9%となっている。
 前回調査と比べ認知度は2.6ポイント増加している。

地域別	バラツキがあるものの全体の傾向との相違はみられないが、認知度は「島原半島地域」が最も高く、「離島地域」が最も低くなっている。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、認知度は「男性」が「女性」よりも5.5ポイント高くなっている。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが、認知度は年代の上昇に伴い低くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが「正規の従業員・職員」と「パート・アルバイト・派遣・嘱託」「専業主婦（主夫）」「無職」の認知度は10ポイント以上の乖離がある。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが「100～200万円未満」は認知度が9.1%と極端に低くなっている。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられない。



■ とてもそう思う
 ■ わりとそう思う
 ■ あまりそう思わない
 ■ まったくそう思わない
 ■ 種目による
 ■ 無回答



※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	とてもそう 思う	わりとそう 思う	あまりそう 思わない	まったくそ う思わない	種目による	無回答
長崎市	433 100.0	8 1.8	52 12.0	182 42.0	113 26.1	69 15.9	9 2.1
長与町	38 100.0	1 2.6	2 5.3	15 39.5	18 47.4	2 5.3	- -
時津町	30 100.0	1 3.3	3 10.0	14 46.7	11 36.7	1 3.3	- -
佐世保市	258 100.0	13 5.0	40 15.5	94 36.4	70 27.1	37 14.3	4 1.6
平戸市	28 100.0	- -	1 3.6	11 39.3	12 42.9	3 10.7	1 3.6
松浦市	19 100.0	1 5.3	- -	4 21.1	9 47.4	4 21.1	1 5.3
西海市	18 100.0	1 5.6	2 11.1	7 38.9	4 22.2	3 16.7	1 5.6
小値賀町	4 100.0	- -	- -	3 75.0	1 25.0	- -	- -
佐々町	12 100.0	- -	3 25.0	6 50.0	- -	3 25.0	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	1 12.5	3 37.5	3 37.5	1 12.5	- -
川棚町	22 100.0	- -	2 9.1	9 40.9	8 36.4	3 13.6	- -
波佐見町	12 100.0	- -	2 16.7	4 33.3	1 8.3	4 33.3	1 8.3
島原市	34 100.0	1 2.9	7 20.6	11 32.4	10 29.4	5 14.7	- -
雲仙市	36 100.0	1 2.8	3 8.3	12 33.3	10 27.8	8 22.2	2 5.6
南島原市	66 100.0	3 4.5	13 19.7	26 39.4	18 27.3	6 9.1	- -
諫早市	134 100.0	3 2.2	12 9.0	55 41.0	40 29.9	23 17.2	1 0.7
大村市	130 100.0	2 1.5	16 12.3	50 38.5	35 26.9	25 19.2	2 1.5
対馬市	17 100.0	- -	1 5.9	6 35.3	3 17.6	4 23.5	3 17.6
壱岐市	25 100.0	- -	4 16.0	11 44.0	8 32.0	2 8.0	- -
五島市	39 100.0	- -	5 12.8	11 28.2	16 41.0	7 17.9	- -
新上五島町	24 100.0	- -	2 8.3	9 37.5	10 41.7	2 8.3	1 4.2
上記以外	13 100.0	- -	2 15.4	6 46.2	2 15.4	1 7.7	2 15.4

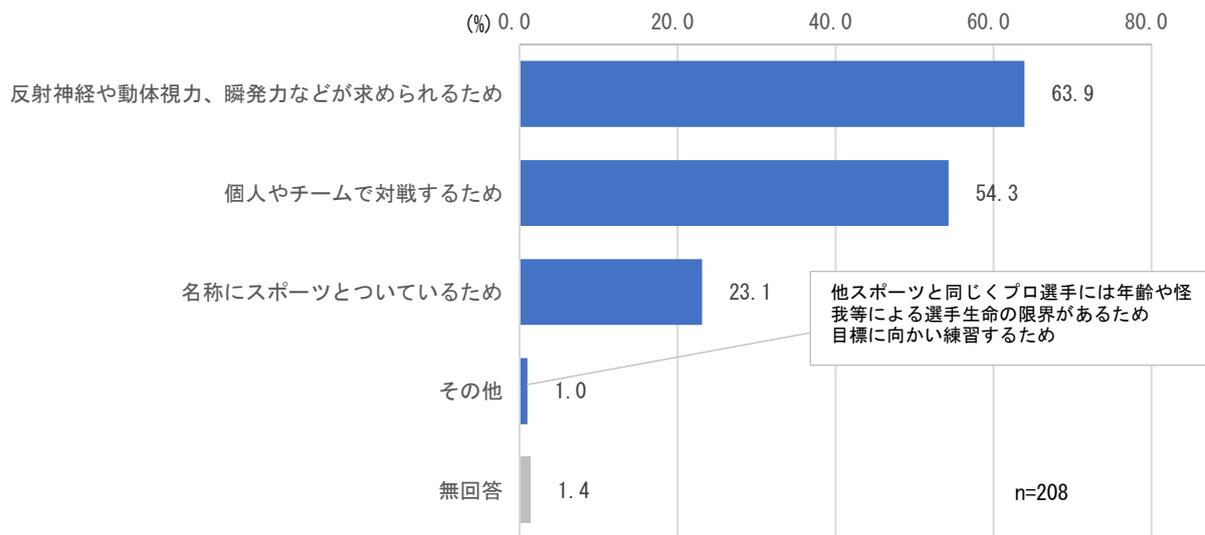
(3) 「eスポーツ」をスポーツだと思うのはどのような理由からですか。主なものを2つまで選んでください。(MA)

「反射神経や動体視力、瞬発力などが求められるため」が63.9%でトップ。

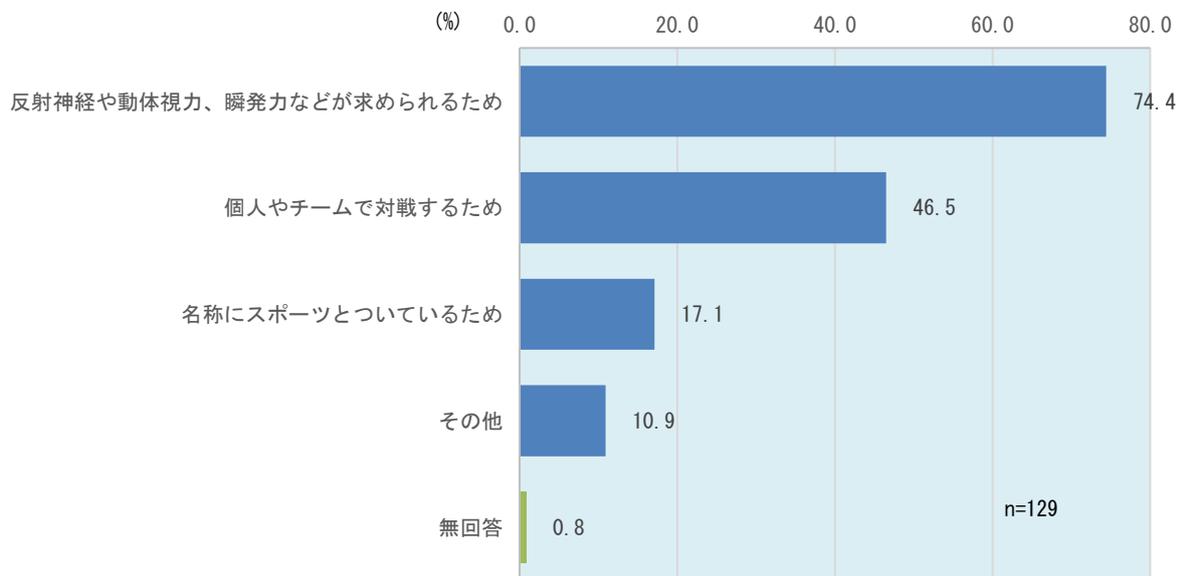
全体では、「反射神経や動体視力、瞬発力などが求められるため」が63.9%で最も多く、次いで「個人やチームで対戦するため」が54.3%、「名称にスポーツとついているため」が23.1%の順で続いている。

前回調査と比べて傾向の変化はみられない。

※他区分は母数著しく少ないものが多いため個別の分析は行っていない。



【参考：前回調査（令和2年度）】

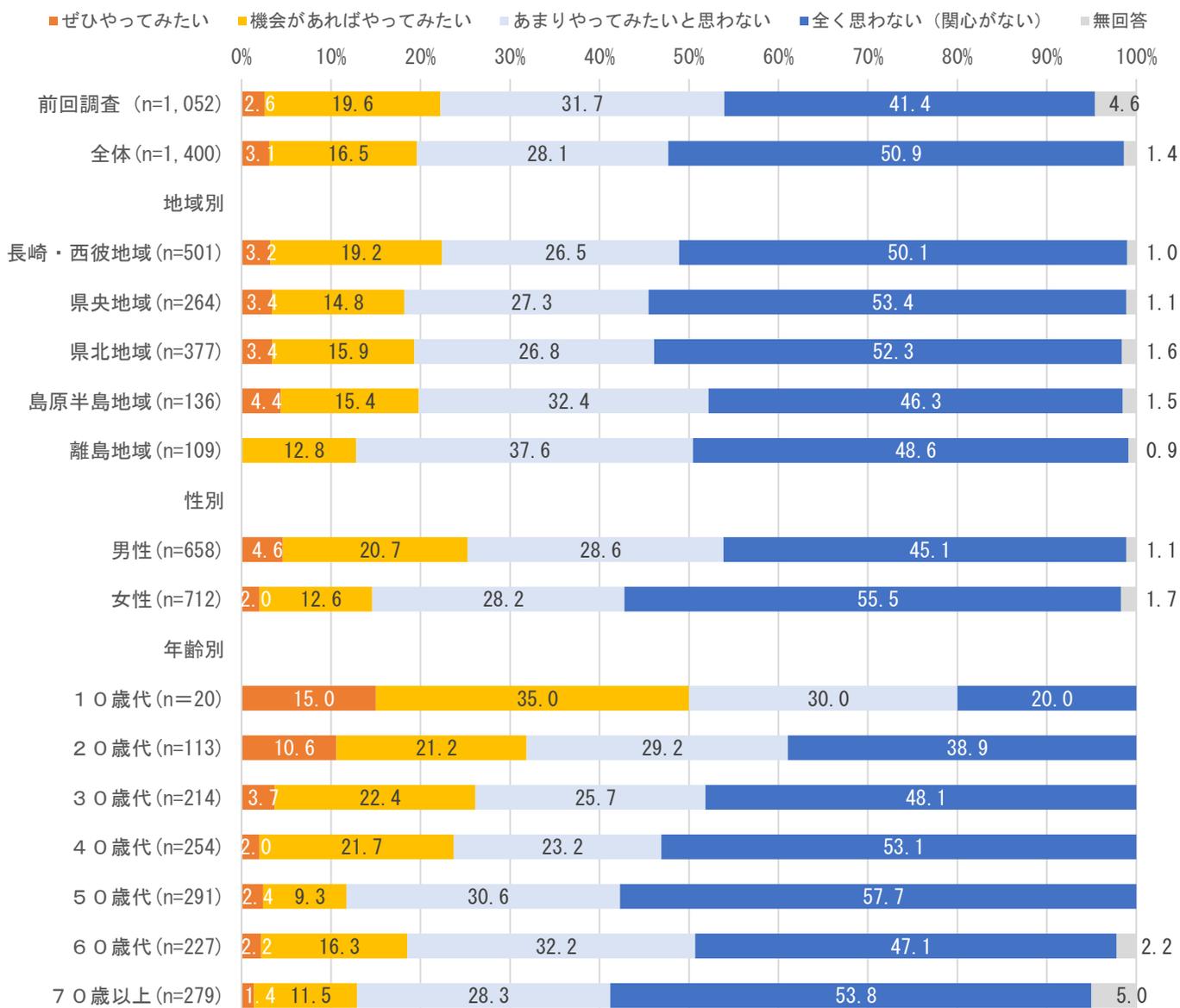


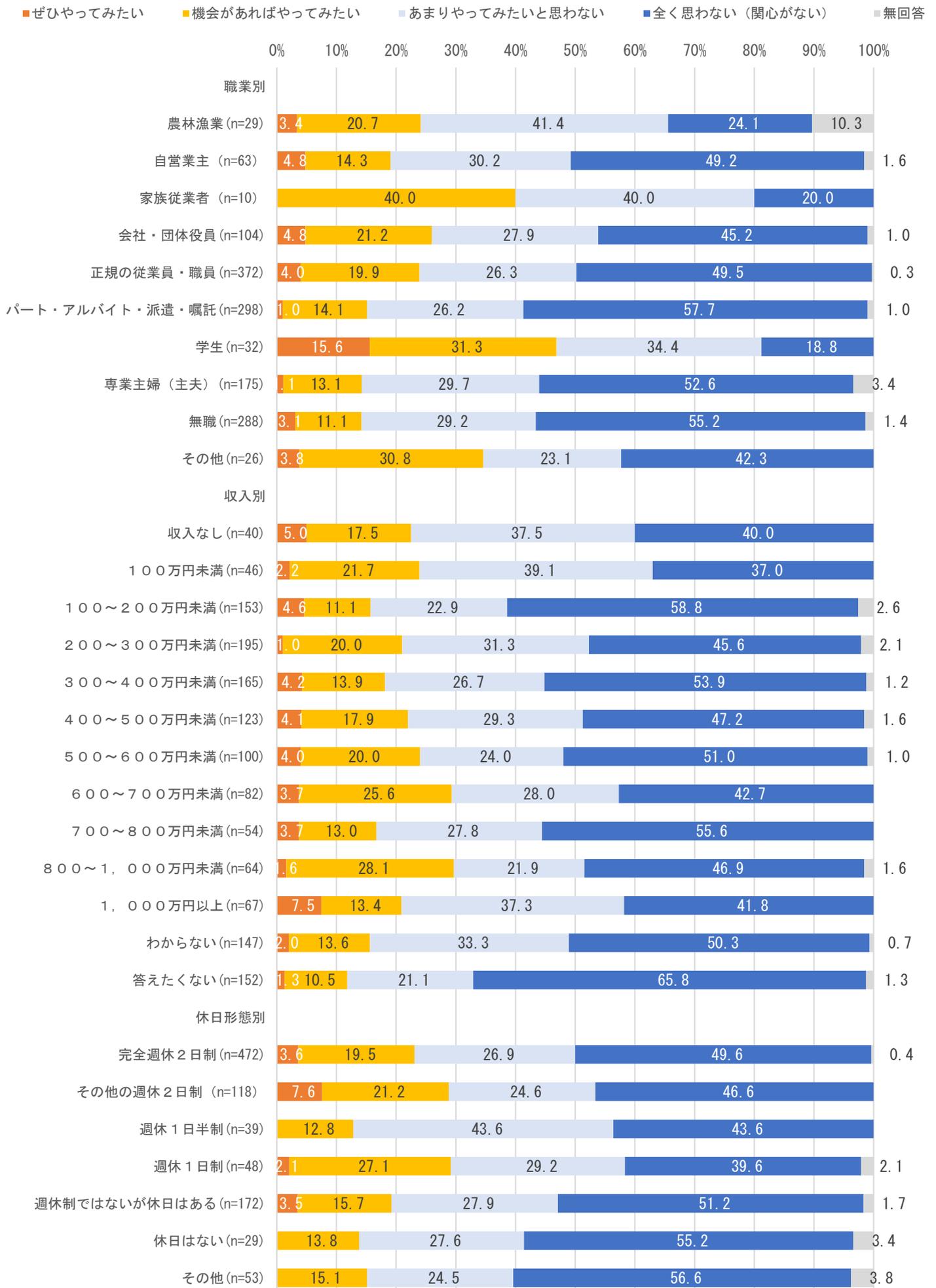
(4) あなたは、「eスポーツ」をしてみたいと思いますか。(SA)

eスポーツを「してみたい」は19.6%、前回調査より1.6ポイント減少

全体では、「全く思わない（関心がない）」が50.9%で最も多く、次いで「あまりやってみようと思わない」が28.1%、「機会があればやってみよう」が16.5%の順で続いており、「してみよう（「ぜひやってみよう」+「機会があればやってみよう」）」は19.6%、「したくない（「あまりそう思わない」+「全く思わない（関心がない）」）」は79.0%となっている。
 前回調査と比べ「してみよう」は2.6ポイント減少している。

地域別	バラツキがあるものの全体の傾向との相違はみられないが、「してみよう」は「長崎・西彼地域」が最も高く、「離島地域」が最も低くなっており、9.6ポイントの乖離がある。
性別	全体の傾向との大きな相違はみられないが、認知度は「男性」が「女性」よりも10.7ポイント高くなっている。
年齢別	全体の傾向との相違はみられないが、「してみよう」は年代の上昇に伴い低くなっている。
職業別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが「会社・団体役員」「正規の従業員・職員」と「パート・アルバイト・派遣・嘱託」「専業主婦（主夫）」「無職」の「してみよう」は8ポイント以上の乖離がある。
収入別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが「100～200万円未満」は「してみよう」が最も低くなっている。
休日形態別	バラツキはあるものの全体の傾向との大きな相違はみられないが、「週休制ではないが休日はある」は「してみよう」が最も低くなっている。





※市町別は母数が小さいものが多いため参考表示

上段：度数 下段：%	合計	ぜひやってみ たい	機会があれば やってみたい	あまりやって みたいと思わ ない	全く思わない (関心がな い)	無回答
長崎市	433 100.0	14 3.2	87 20.1	118 27.3	209 48.3	5 1.2
長与町	38 100.0	1 2.6	5 13.2	6 15.8	26 68.4	- -
時津町	30 100.0	1 3.3	4 13.3	9 30.0	16 53.3	- -
佐世保市	258 100.0	11 4.3	48 18.6	68 26.4	129 50.0	2 0.8
平戸市	28 100.0	- -	2 7.1	7 25.0	18 64.3	1 3.6
松浦市	19 100.0	- -	2 10.5	3 15.8	14 73.7	- -
西海市	18 100.0	1 5.6	2 11.1	3 16.7	11 61.1	1 5.6
小値賀町	4 100.0	- -	- -	2 50.0	2 50.0	- -
佐々町	12 100.0	1 8.3	2 16.7	2 16.7	7 58.3	- -
東彼杵町	8 100.0	- -	1 12.5	3 37.5	3 37.5	1 12.5
川棚町	22 100.0	- -	2 9.1	11 50.0	9 40.9	- -
波佐見町	12 100.0	- -	1 8.3	4 33.3	6 50.0	1 8.3
島原市	34 100.0	1 2.9	3 8.8	11 32.4	19 55.9	- -
雲仙市	36 100.0	- -	7 19.4	9 25.0	18 50.0	2 5.6
南島原市	66 100.0	5 7.6	11 16.7	24 36.4	26 39.4	- -
諫早市	134 100.0	3 2.2	18 13.4	38 28.4	74 55.2	1 0.7
大村市	130 100.0	6 4.6	21 16.2	34 26.2	67 51.5	2 1.5
対馬市	17 100.0	- -	1 5.9	4 23.5	12 70.6	- -
壱岐市	25 100.0	- -	5 20.0	11 44.0	8 32.0	1 4.0
五島市	39 100.0	- -	5 12.8	14 35.9	20 51.3	- -
新上五島町	24 100.0	- -	3 12.5	10 41.7	11 45.8	- -
上記以外	13 100.0	- -	1 7.7	3 23.1	7 53.8	2 15.4

